

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第290集

# 大鳥 I 遺跡発掘調査報告書

世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査

(財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

おおとり  
大鳥 I 遺跡発掘調査報告書

世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査





円筒下層式土器



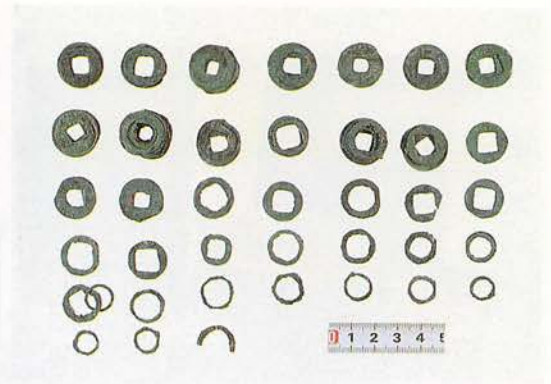
半円状偏平打製石器

巻頭カラー、大鳥 I 遺跡出土遺物





R D51 遺物出土状況(北から)



銭貨



鎌



内耳鉄鍋

# 序

豊かな自然に恵まれた岩手県には、縄文時代をはじめとする数多くの遺跡や重要な文化財が残されており、これら多くの先人たちの創造してきた文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策であります。発掘調査により遺跡が消滅することは、まことに惜しいことではありますが、その反面それまで闇に包まれていた先人たちの営みに光明があたるのも事実であります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和も今日的な課題であり、財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所による世増ダム建設事業に関連して、平成7年度に発掘調査を行った軽米町の大鳥Ⅰ遺跡の調査結果をまとめたものであります。大鳥Ⅰ遺跡は、軽米町の東側を北流する雪谷川左岸の河岸段丘上に立地しており、調査の結果、縄文時代前期の遺構と遺物、中世・近世の建物跡や墓壇などが発見され、貴重な資料を提供することができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所、岩手県教育委員会、軽米町教育委員会をはじめとする関係者各位に衷心より謝意を表します。

平成11年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 船越 昭治



# 例 言

1. 本報告書は岩手県九戸郡軽米町大字軽米第17地割字大鳥163-1ほかに所在する大鳥 I 遺跡の発掘調査の結果を収録したものである。
2. 本遺跡の調査は、世増<sup>よまさり</sup>ダム建設事業（八戸平原開拓建設事業関連）に関わる事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会文化課と農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所との協議を経て、財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
3. 本遺跡の調査成果は、先に『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成7年度分）』（岩埋文246集）に発表しているが、本書の内容が優先するものである。
4. 岩手県遺跡台帳に登録される大鳥 I 遺跡の遺跡番号と遺跡略号は次のとおりである。  
遺跡番号 IF63-2029      遺跡略号 OTI-95。
5. 野外調査の調査面積・期間・担当者は次のとおりである。  
調査面積：5,812㎡。  
調査期間：平成7年6月16日～11月16日。  
調査担当者：阿部勝則・沼田和宏。
6. 室内整理の期間・担当者は次のとおりである。  
整理期間：平成7年11月1日～平成8年3月31日、担当者：阿部勝則・沼田和宏。  
平成9年4月1日～平成10年3月31日、担当者：阿部勝則。
7. 本報告書の執筆は「I. 調査に至る経過」を高橋與右衛門、その他を阿部勝則が執筆した。
8. 土層の観察と土器の色調観察にあたっては『新版標準土色帖』9版（1989 小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
9. 遺物の鑑定にあたっては次の方々に依頼した。  
石材鑑定：佐藤二郎（株長内水源工業） 炭化材樹種鑑定：早坂松次郎（岩手県木炭協会）  
鉄製品の分析・保存処理：新日本製鐵株釜石製鐵所釜石試験分析センター  
人骨の鑑定：野坂洋一郎（岩手医科大学） 火山灰の分析・鑑定：三辻利一（奈良教育大学）
10. 基準点測量は株式会社ハイマーテックに委託した。
11. 空中写真撮影は東邦航空株式会社に委託した。
12. 写真測量は株式会社シン技術コンサルに委託した。
13. 発掘・整理・執筆にあたっては次の方々に御協力、御指導をいただいた（順不同・敬称略）。  
高橋信雄 佐々木勝 佐藤嘉広 佐々木務（岩手県教育委員会文化課）、三浦謙一 日下和寿（岩手県立博物館）、越田賢一郎（北海道埋蔵文化財センター）、佐々木浩一（八戸市立博物館）、千葉啓蔵（久慈市教育委員会）、佐野忠史（森田村教育委員会）、木村鐵次郎（青森県埋蔵文化財調査センター）  
農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所、軽米町教育委員会。
14. 本遺跡の調査で得られた一切の資料は岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。
15. 本書で使用した地形図は以下のとおりである。
  - a. 建設省国土地理院発行の5万分の1地形図「一戸」「三戸」、同2万5千分の1地形図「市の沢」。
  - b. 東北農政局八戸平原開拓建設事業所 1000分の1地形図「世増ダム池敷平面図17」。
  - c. 軽米町発行の5000分の1地形図「軽米町全図27-2・3」。

# 目 次

序  
例言

## 〈 本 文 〉

I. 調査に至る経過	1
II. 遺跡の位置と立地	2
1. 遺跡の位置および地理的環境	2
2. 遺跡の立地および周辺の地形・地質	2
3. 基本土層	3
4. 周辺の遺跡	3
III. 調査・整理の方法	16
1. 野外調査	16
2. 室内整理	17
3. 掲載図版等について	19
IV. 検出遺構	20
1. 竪穴住居跡	20
2. 土 坑	27
3. 陥し穴状遺構	57
4. 土器埋設遺構	57
5. 焼土遺構	57
6. 溝状遺構	60
7. 遺物包含層	64
8. 掘立柱建物跡	70
9. 墓 墳	76
V. 出土遺物	96
1. 縄文土器	96
2. 土師器・須恵器	180
3. 土製品	182
4. 石 器	183
5. 石製品	186
6. 金属製品	231
VI. 考察とまとめ	260
1. 遺跡の性格	260
2. 縄文時代：円筒下層式土器について	262
3. 中・近世：墓墳について	275
4. 総括	277
VII. 分析・鑑定	279
報告書抄録	444

## 〈 表 〉

第 1 表	周辺の遺跡	6
第 2 表	土器観察表(1)土師器・須恵器	180
第 3 表	土製品観察表	182
第 4 表	土器観察表(2)縄文土器	239
第 5 表	石器・石製品観察表	252
第 6 表	金属製品観察表	259

## 〈 図 版 〉

第 1 図 岩手県全図	第 28 図 RD58・59・60土坑	7	56
第 2 図 遺跡位置図	第 29 図 RD07陥し穴状遺構、	8	
第 3 図 遺跡周辺の地形図	RZ01土器埋設遺構	9	58
第 4 図 遺跡の地形図・調査区位置図	第 30 図 RF01・02焼土遺構	11	59
第 5 図 地形分類図	第 31 図 RG02・03・04・05溝状遺構(1)	12	61
第 6 図 基本土層模式図	第 32 図 RG02・03・04・05溝状遺構(2)	13	62
第 7 図 周辺の遺跡：大鳥遺跡群	第 33 図 遺物包含層(1)	14	66
第 8 図 周辺の遺跡：世増ダム建設事業関連遺跡	第 34 図 遺物包含層(2)	15	67
第 9 図 大鳥 I 遺跡遺構配置全体図	第 35 図 遺物包含層(3)	21	68
第 10 図 大鳥 I 遺跡遺構配置部分図	第 36 図 遺物包含層(4)	23	69
A区(1)・(2)	第 37 図 RB01掘立柱建物跡(1)	23	71
第 11 図 大鳥 I 遺跡遺構配置部分図 C区(3)	第 38 図 RB01掘立柱建物跡(2)	24	72
第 12 図 RA01住居跡	第 39 図 RB02掘立柱建物跡	25	73
第 13 図 RA02住居跡	第 40 図 RB03掘立柱建物跡(1)	26	74
第 14 図 RD01・02・03・04土坑	第 41 図 RB03掘立柱建物跡(2)	42	75
第 15 図 RD05・06・08・09土坑	第 42 図 RD21・22・23・25墓壙	43	80
第 16 図 RD10・11・12・13土坑	第 43 図 RD21・22・25墓壙	44	81
第 17 図 RD14・15・50土坑	第 44 図 RD24・26・46墓壙	45	82
第 18 図 RD16・17・18・19土坑	第 45 図 RD48・51墓壙	46	83
第 19 図 RD20・27土坑	第 46 図 RA01・02、RD06・09・14・15・	47	
第 20 図 RD28・29・30土坑	19・30・39・52出土遺物	48	84
第 21 図 RD31・32・33・34土坑	第 47 図 RD53出土遺物	49	85
第 22 図 RD35・36・37・38・39・40土坑	第 48 図 RD54・55出土遺物	50	86
第 23 図 RD41・42・43土坑	第 49 図 RD56・57・58・60(1)出土遺物	51	87
第 24 図 RD44・45・47・49土坑	第 50 図 RD60(2)、RZ01出土遺物	52	88
第 25 図 RD52・53土坑	第 51 図 RG02出土遺物	53	89
第 26 図 RD54土坑	第 52 図 RG03(1)出土遺物	54	90
第 27 図 RD55・56・57土坑	第 53 図 RG03(2)出土遺物	55	91



第54图	RG03(3)出土遺物	92	第92图	土器(35): F7I09(2)、J09	134
第55图	RG05出土遺物	93	第93图	土器(36): F7F10(1)	135
第56图	RB01・02、RD21・24・25 40・46・49出土遺物	94	第94图	土器(37): F7F10(2)、G10(1)	136
第57图	RD51出土遺物	95	第95图	土器(38): F7G10(2)	137
第58图	土器(1): RD15・19・53(1)	100	第96图	土器(39): F7G10(3)	138
第59图	土器(2): RD53(2)・54(1)	101	第97图	土器(40): F7G10(4)、H10	139
第60图	土器(3): RD54(2)・55	102	第98图	土器(41): F7F11、G11(1)	140
第61图	土器(4): RD56・60(1)	103	第99图	土器(42): F7G11(2)	141
第62图	土器(5): RD60(2)	104	第100图	土器(43): F7G11(3)、H11(1)	142
第63图	土器(6): RD60(3)	105	第101图	土器(44): F7H11(2)	143
第64图	土器(7): RD60(4)	106	第102图	土器(45): F7H11(3)、I11	144
第65图	土器(8): RD60(5)、RZ01	107	第103图	土器(46): F7J11、G12(1)	145
第66图	土器(9): RG02	108	第104图	土器(47): F7G12(2)、 I12、L13、L24(1)	146
第67图	土器(10): RG03(1)	109	第105图	土器(48): F7L24(2)、F7区、F5区	147
第68图	土器(11): RG03(2)	110	第106图	土器(49): RA01・02、RD09・14・ 15・22・30・49・52・53(1)	148
第69图	土器(12): RG03(3)	111	第107图	土器(50): RD53(2)・54(1)	149
第70图	土器(13): RG03(4)	112	第108图	土器(51): RD54(2)・55	150
第71图	土器(14): RG03(5)	113	第109图	土器(52): RD56・57・58・60(1)	151
第72图	土器(15): RG03(6)	114	第110图	土器(53): RD60(2)、RG02(1)	152
第73图	土器(16): RG03(7)	115	第111图	土器(54): RG02(2)・03(1)	153
第74图	土器(17): RG05(1)	116	第112图	土器(55): RG03(2)	154
第75图	土器(18): RG05(2)、F7H04(1)	117	第113图	土器(56): RG03(3)	155
第76图	土器(19): F7H04(2)、H05(1)	118	第114图	土器(57): RG03(4)・05	156
第77图	土器(20): F7H05(2)、I05、H06(1)	119	第115图	土器(58): F7H04、H05(1)	157
第78图	土器(21): F7H06(2)	120	第116图	土器(59): F7H05(2)、I05、G06、 H06(1)	158
第79图	土器(22): F7H06(3)、I06	121	第117图	土器(60): F7H06(2)	159
第80图	土器(23): F7G07(1)	122	第118图	土器(61): F7I06、F07、G07(1)	160
第81图	土器(24): F7G07(2)、H07(1)	123	第119图	土器(62): F7G07(2)	161
第82图	土器(25): F7H07(2)	124	第120图	土器(63): F7H07(1)	162
第83图	土器(26): F7I07	125	第121图	土器(64): F7H07(2)、I07(1)	163
第84图	土器(27): F7G08、H08、I08(1)	126	第122图	土器(65): F7I07(2)、G08(1)	164
第85图	土器(28): F7I08(2)	127	第123图	土器(66): F7G08(2)、H08	165
第86图	土器(29): F7I08(3)、J08	128	第124图	土器(67): F7I08(1)	166
第87图	土器(30): F7F09	139	第125图	土器(68): F7I08(2)	167
第88图	土器(31): F7G09(1)	130	第126图	土器(69): F7I08(3)、J08	168
第89图	土器(32): F7G09(2)	131	第127图	土器(70): F7F09、G09、H09(1)	169
第90图	土器(33): F7G09(3)	132			
第91图	土器(34): F7H09、I09(1)	133			

第128図	土器(71): F7H09(2)、I09(1)……………170	第164図	石器(25)……………211
第129図	土器(72): F7I09(2)、J09(1)……………171	第165図	石器(26)……………212
第130図	土器(73): F7J09(2)……………172	第166図	石器(27)……………213
第131図	土器(74): F7J09(3)……………173	第167図	石器(28)……………214
第132図	土器(75): F7F10……………174	第168図	石器(29)……………215
第133図	土器(76): F7G10、I10、J10……………175	第169図	石器(30)……………216
第134図	土器(77): F7G11(1)……………176	第170図	石器(31)……………217
第135図	土器(78): F7G11(2)、H11、J11、 F12、G12(1)……………177	第171図	石器(32)……………218
第136図	土器(79): F7G12(2)、H12、 G12~I12(1)……………178	第172図	石器(33)……………219
第137図	土器(80): F7G12~I12(2)、L13、 F5区、F7区、F8区……………179	第173図	石器(34)……………220
第138図	土師器・須恵器: RA02……………181	第174図	石器(35)……………221
第139図	土製品……………182	第175図	石器(36)……………222
第140図	石器(1)……………187	第176図	石器(37)……………223
第141図	石器(2)……………188	第177図	石器(38)……………224
第142図	石器(3)……………189	第178図	石器(39)……………225
第143図	石器(4)……………190	第179図	石器(40)……………226
第144図	石器(5)……………191	第180図	石器(41)……………227
第145図	石器(6)……………192	第181図	石器(42)……………228
第146図	石器(7)……………193	第182図	石器(43)……………229
第147図	石器(8)……………194	第183図	石製品……………230
第148図	石器(9)……………195	第184図	金属製品(1)……………232
第149図	石器(10)……………196	第185図	金属製品(2)……………233
第150図	石器(11)……………197	第186図	金属製品(3)……………234
第151図	石器(12)……………198	第187図	金属製品(4)……………235
第152図	石器(13)……………199	第188図	金属製品(5)……………236
第153図	石器(14)……………200	第189図	金属製品(6)……………237
第154図	石器(15)……………201	第190図	金属製品(7)……………238
第155図	石器(16)……………202	第191図	大鳥 I 遺跡縄文時代集落概念図……………261
第156図	石器(17)……………203	第192図	土器集成図(1)……………264
第157図	石器(18)……………204	第193図	土器集成図(2)……………265
第158図	石器(19)……………205	第194図	土器集成図(3)……………266
第159図	石器(20)……………206	第195図	土器集成図(4)……………267
第160図	石器(21)……………207	第196図	土器集成図(5)……………268
第161図	石器(22)……………208	第197図	土器集成図(6)……………269
第162図	石器(23)……………209	第198図	土器集成図(7)……………270
第163図	石器(24)……………210	第199図	土器集成図(8)……………271
		第200図	土器集成図(9)……………272
		第201図	土器集成図(10)……………273
		第202図	土器集成図(11)……………274

## 〈 写真図版 〉

写真図版 卷頭カラー、大鳥 I 遺跡出土遺物	写真図版31 土器(4) ……………	331
写真図版 卷頭カラー、RD51墓壙	写真図版32 土器(5) ……………	332
写真図版 1 遺跡全景(1) ……………	写真図版33 土器(6) ……………	333
写真図版 2 遺跡全景(2) ……………	写真図版34 土器(7) ……………	334
写真図版 3 基本土層 ……………	写真図版35 土器(8) ……………	335
写真図版 4 RA01住居跡 ……………	写真図版36 土器(9) ……………	336
写真図版 5 RA02住居跡 ……………	写真図版37 土器(10) ……………	337
写真図版 6 RD01・02・03・04土坑 ……………	写真図版38 土器(11) ……………	338
写真図版 7 RD05・06・08土坑、 07陥し穴状遺構 ……………	写真図版39 土器(12) ……………	339
写真図版 8 RD09・10・11・12・13・14・ 50土坑 ……………	写真図版40 土器(13) ……………	340
写真図版 9 RD15・16・17・18土坑 ……………	写真図版41 土器(14) ……………	341
写真図版10 RD19・20・27・28・29土坑 ……………	写真図版42 土器(15) ……………	342
写真図版11 RD30・31・32・33土坑 ……………	写真図版43 土器(16) ……………	343
写真図版12 RD34・35・36・37・38・39 土坑 ……………	写真図版44 土器(17) ……………	344
写真図版13 RD40・41・42・43土坑 ……………	写真図版45 土器(18) ……………	345
写真図版14 RD44・45・47・49土坑 ……………	写真図版46 土器(19) ……………	346
写真図版15 RD52・53・54・55土坑 ……………	写真図版47 土器(20) ……………	347
写真図版16 RD53・56・57・58・59土坑 ……………	写真図版48 土器(21) ……………	348
写真図版17 RD52~60土坑、 RF01・02焼土遺構 ……………	写真図版49 土器(22) ……………	349
写真図版18 RZ01土器埋設遺構、 RG01・02溝状遺構 ……………	写真図版50 土器(23) ……………	350
写真図版19 RG03・04・05溝状遺構 ……………	写真図版51 土器(24) ……………	351
写真図版20 遺物包含層(1) ……………	写真図版52 土器(25) ……………	352
写真図版21 遺物包含層(2)、遺物出土状況 ……………	写真図版53 土器(26) ……………	353
写真図版22 RB01掘立柱建物跡 ……………	写真図版54 土器(27) ……………	354
写真図版23 RB02掘立柱建物跡 ……………	写真図版55 土器(28) ……………	355
写真図版24 RB03掘立柱建物跡 ……………	写真図版56 土器(29) ……………	356
写真図版25 RD21・22・23・24墓壙 ……………	写真図版57 土器(30) ……………	357
写真図版26 RD24・25・26・46墓壙 ……………	写真図版58 土器(31) ……………	358
写真図版27 RD48・51墓壙 ……………	写真図版59 土器(32) ……………	359
写真図版28 土器(1) ……………	写真図版60 土器(33) ……………	360
写真図版29 土器(2) ……………	写真図版61 土器(34) ……………	361
写真図版30 土器(3) ……………	写真図版62 土器(35) ……………	362
	写真図版63 土器(36) ……………	363
	写真図版64 土器(37) ……………	364
	写真図版65 土器(38) ……………	365
	写真図版66 土器(39) ……………	366
	写真図版67 土器(40) ……………	367



写真図版68	土器(41)·····	368	写真図版107	石器(2)·····	407
写真図版69	土器(42)·····	369	写真図版108	石器(3)·····	408
写真図版70	土器(43)·····	370	写真図版109	石器(4)·····	419
写真図版71	土器(44)·····	371	写真図版110	石器(5)·····	410
写真図版72	土器(45)·····	372	写真図版111	石器(6)·····	411
写真図版73	土器(46)·····	373	写真図版112	石器(7)·····	412
写真図版74	土器(47)·····	374	写真図版113	石器(8)·····	413
写真図版75	土器(48)·····	375	写真図版114	石器(9)·····	414
写真図版76	土器(49)·····	376	写真図版115	石器(10)·····	415
写真図版77	土器(50)·····	377	写真図版116	石器(11)·····	416
写真図版78	土器(51)·····	378	写真図版117	石器(12)·····	417
写真図版79	土器(52)·····	379	写真図版118	石器(13)·····	418
写真図版80	土器(53)·····	380	写真図版119	石器(14)·····	419
写真図版81	土器(54)·····	381	写真図版120	石器(15)·····	420
写真図版82	土器(55)·····	382	写真図版121	石器(16)·····	421
写真図版83	土器(56)·····	383	写真図版122	石器(17)·····	422
写真図版84	土器(57)·····	384	写真図版123	石器(18)·····	423
写真図版85	土器(58)·····	385	写真図版124	石器(19)·····	424
写真図版86	土器(59)·····	386	写真図版125	石器(20)·····	425
写真図版87	土器(60)·····	387	写真図版126	石器(21)·····	426
写真図版88	土器(61)·····	388	写真図版127	石器(22)·····	427
写真図版89	土器(62)·····	389	写真図版128	石器(23)·····	428
写真図版90	土器(63)·····	390	写真図版129	石器(24)·····	429
写真図版91	土器(64)·····	391	写真図版130	石器(25)·····	430
写真図版92	土器(65)·····	392	写真図版131	石器(26)·····	431
写真図版93	土器(66)·····	393	写真図版132	石器(27)·····	432
写真図版94	土器(67)·····	394	写真図版133	石器(28)·····	433
写真図版95	土器(68)·····	395	写真図版134	石器(29)·····	434
写真図版96	土器(69)·····	396	写真図版135	石器(30)·····	435
写真図版97	土器(70)·····	397	写真図版136	石器(31)·····	436
写真図版98	土器(71)·····	398	写真図版137	石器(32)·····	437
写真図版99	土器(72)·····	399	写真図版138	石製品·····	438
写真図版100	土器(73)·····	400	写真図版139	金属製品(1)·····	439
写真図版101	土器(74)·····	401	写真図版140	金属製品(2)·····	440
写真図版102	土器(75)·····	402	写真図版141	金属製品(3)·····	441
写真図版103	土器(76)·····	403	写真図版142	金属製品(4)·····	442
写真図版104	土器(77)·····	404	写真図版143	金属製品(5)·····	443
写真図版105	土師器・須恵器・土製品·····	405			
写真図版106	石器(1)·····	406			

## I. 調査に至る経過

大鳥Ⅰ遺跡は、「八戸平原開拓建設事業」に関連して、農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所と岩手県の委託を受けて緊急発掘調査が実施された。この事業は、豊かな農村社会の建設と地域農業の発展および生産性の高い経営を図ることを目的として昭和51年に事業化されたものである。

この事業に関連する遺跡群は、岩手県と青森県にわたって分布しており、岩手県に所在する遺跡の取扱いについては、八戸平原開拓建設事業所と岩手県教育委員会事務局文化課との間で協議がなされた。調査に至るまでの経過は次のとおりである。

平成7年2月6日付「7八戸第68号」により、八戸平原開拓建設事業所長から東北農政局長にあてて、文化庁長官に事業にともなう水没地の埋蔵文化財発掘について、発掘調査の通知を依頼した。

平成7年2月22日付「7北建第103号(開)」により、東北農政局長から、岩手県教育委員会を經由して文化庁長官に発掘の通知をした。また、岩手県教育委員会では、教育長名で東北農政局長あてに、工事着手前における発掘調査の実施を通知した。

平成7年2月28日付「教文第1053号」により、岩手県教育委員会教育長から八戸平原開拓建設事業所長にあてて、平成7年度の財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査事業として、大鳥Ⅰ遺跡の5,812㎡に対して発掘調査する旨を通知した。

以上の経過を経て平成7年5月31日付で、東北農政局八戸平原開拓建設事業所長、さらに平成7年6月1日付で岩手県知事と財団法人岩手県文化振興事業団理事長との間で、発掘調査について委託契約を締結し、調査は、平成7年6月16日から着手し、平成7年11月16日まで実施した。

報告書作成に係わる室内整理は、現地調査が終了後に、平成7年11月1日～平成8年3月末まで実施したが、大量に出土した遺物の整理が終了できなかったことから、平成9年4月1日～平成10年3月31日まで室内整理を継続して進めた。報告書は、平成10年度に刊行した。

## II. 遺跡の位置と立地

### 1. 遺跡の位置および地理的環境（第1・2図）

大鳥Ⅰ遺跡が所在する軽米町は、岩手県の最北端に位置し、東は岩手県種市町と大野村、南は山形村と九戸村、西は二戸市と接し、北は青森県名川町、南郷村、階上町と接する県境の町である。

面積約242.6km<sup>2</sup>、人口約1万3千人である。年平均気温は9度前後で、年間降水量は1,000mm未満と少なく、気象は不安定で、干魃の被害を受けやすい環境であることが指摘されている。

軽米町の成立について簡単に触れると、近世以降に九戸街道の宿駅として栄えた街で、昭和30年(1955)に軽米町、小軽米村、晴山村が合併して現在の軽米町が成立した。町名の「軽米」は合併に際して中核となった旧軽米町を継承したものである。

『軽米町誌』によれば、昭和50年の時点で、軽米町内には、大字は10、小字は236が数えられるが、大鳥の地名は、現在、小字名として、大字軽米第17地割内に遺されている。旧大鳥集落は、世増ダム建設に関わって、平成2年に、軽米町の中心街から北側の国道340号線沿いに「新大鳥」として移転している。

大鳥Ⅰ遺跡は、九戸郡軽米町大字軽米第17地割字大鳥163-1ほかに所在し、八戸自動車道軽米インターチェンジのほぼ北側約3.5km付近に位置する。同地点は、国土地理院発行の5万分の1地形図「三戸」(NK-54-18-16) および2万5千分の1地形図「市野沢」(NK-54-18-16-3)の図幅に含まれ、北緯40度7分17秒、東経141度2分35秒付近に位置する。

### 2. 遺跡の立地および周辺の地形・地質（第3・4・5図）

#### (1) 遺跡の立地および周辺の地形

軽米町は、北上山地の北部の中央に位置しており、町域の北東端に階上山(740m)、久慈平岳(706m)、南端に霧岳(567m)、西端に折爪岳(852m)などの500m～800m級の山々があるほかに特に高い山はなく、全域が200m～400mの準平原的丘陵地帯となっており、面積の約8割が山林である。平地は、河川に沿って細長く発達した沖積地が僅かにみられる程度で、集落や耕地も同所に開けている。

町の西側を南北に流れる瀬月内川と町の東側からほぼ中央を北西に流れる雪谷川は、それぞれ九戸村・山形村から軽米町に入って北流し、狭い沖積地を形成しながら町の北部(大鳥付近)で合流し、新井田川となって八戸方面に北流して、太平洋に注いでいる。

大鳥Ⅰ遺跡は、軽米町の北部を流れる雪谷川によって開析された河岸段丘上に立地する。標高は、109m～120mを示し、東側を北流する雪谷川に向かって、北東から南西方向に緩く傾斜する盆地状の地形を呈している。遺跡の北側と南側で、2本の沢が西側から雪谷川に向かって注いでおり、沢に挟まれた中央付近に平坦面がある。雪谷川の現河床面との比高差は約10mである。遺跡の現況は畑地・山林である(註1)。

遺跡の範囲は、南北に最大約470m、東西に最大約260mの範囲で、面積約90,000m<sup>2</sup>を測る。今回の調査区は4箇所に分かれ、等高線に沿うかたちで弧状に1箇所：付替道路路線部分(A区)、雪谷川沿いの段丘縁および斜面にあたる部分3箇所：水没域(C～D区)を調査している。

#### (2) 周辺の地質

軽米町の地質は、粘板岩・硬砂岩・輝緑凝灰岩・チャートなどから構成される古生層が基盤となり、また西側の折爪岳を境界とする二戸方面は、新世代第三紀層に属し、日本でも最古の地形に属するものとされている。表層は十和田火山を供給源とする火山砕屑物によって覆われている。それらは、古いものから、天狗



岱火山灰層・高館火山灰層・八戸火山灰層（更新世）・二ノ倉火山灰層・南部浮石層・中振浮石層・十和田b降下火山灰層・十和田a降下火山灰層（完新世）である。本遺跡も、これらの火山砕屑物に覆われている。

### 3. 基本土層（第6図）

本遺跡は十和田系の火山砕屑物により覆われている。調査時に確認できたものは、八戸火山灰層・南部浮石層・中振浮石層である。また遺構埋土で十和田a降下火山灰が、同様に白頭山火山灰も確認されている。

調査に当たっては、調査区が広範囲であることから各地点において基本土層の確認を行った。地点によっては後世の改変を受けているところがあり、堆積状況に若干の差がみられるが、基盤は灰白色土層（八戸浮石流凝灰岩）であることは共通している。以下に各層の概略を述べる。

I層 7.5YR2/2 黒色 層厚20～40cm。締まり疎。現表土で耕作土である。

II層 7.5YR1.7/1 黒色 層厚10～20cm。締まり中。

III層 2.5Y5/6 黄褐色 層厚30～40cm。締まり疎。中振浮石相当層。C6区より以北で確認された。平安・近世以降の遺構検出面である。中振浮石の包含率により2層に細分される。

IV層 10YR3/1 黒褐色 層厚20～60cm。締まり中。南部浮石を若干包含する。

V層 7.5YR5/8 明褐色 層厚20～65cm。締まり中。南部浮石層。F7区を除く、全域で確認された。

VI層 10YR2/2 黒褐色 層厚0～10cm。締まりやや密。南部浮石直下の八戸火山灰層である。

VII層 10YR4/6 褐色 層厚30～40cm。締まりやや密。八戸火山灰層である。

VIII層 10YR7/1 灰白色 層厚30～60cm。締まり密。八戸浮石流凝灰岩の上位。

IX層 10YR5/2 灰黄色 層厚0～5cm。締まり密。

X層 10YR6/1 褐灰色 層厚60cm以上。締まり密。八戸浮石流凝灰岩の下位。

遺跡の現況は、畑地・山林であるが、調査区はおもに畑地である。遺構検出面は、縄文時代の遺構はV層、平安・近世以降の遺構はIII層で検出されている。遺物を包含する層はII層である。

以下に各区域の土層堆積の状態を記す。

A区：基本的にはI～VIII層まで堆積する。ただし、A区南端は削平を受けており、II～V層、場所に拠ってはVII層まで消失している。

B区：I層まで確認、下位は湧水が激しく、調査ができず、確認できていない。

C区：南北両端では、II～VII・VIII層の上位まで消失している。後世に改変された可能性が高いが、人為的作用、自然作用のいずれに拠るものかは定かでない。調査区中央部分では、II層が認められるが、III層以下VII層まで消失している。

D区：I層とVIII層を確認、中間層は流失か？下位は湧水が激しく、調査ができず、確認できていない。

### 4. 周辺の遺跡（第7・8図）

平成9年4月の時点で、軽米町では、約450遺跡が確認されている（註2）。町内での考古学的調査は、昭和30年代に鈴木孝志氏によって行われているが、以後しばらく本格的な調査は行われておらず、昭和50年代以降、八戸平原開拓建設事業、東北縦貫自動車道八戸線建設や国道・県道の改良工事などに関連する緊急発掘調査が岩手県埋蔵文化財センターに拠って行われている。また昭和60年から平成3年にかけて岩手県立博物館によって調査が行われた玉川鉄山は、平成4年に県指定史跡になっている。

軽米町で過去に調査が行われた遺跡は25遺跡あるが、その概要については、岩埋文第219集（水吉VI遺跡）、

岩埋文第225集（大日向Ⅱ遺跡）に詳しいので参照していただきたい。また、町内の遺跡の分布・立地については、丘陵地帯が大部分を占める地形のなかで、瀬月内川・雪谷川に沿ったかたちで分布（沖積地に立地）しており、地形的な制約を受けていることが指摘されている（註3）。

ここでは、大鳥Ⅰ遺跡に関わって、(1)大鳥遺跡群、(2)世増ダム建設事業（八戸平原開拓建設事業）に関連する調査遺跡、(3)軽米町内における縄文時代前期の遺跡、のそれぞれについて、大鳥Ⅰ遺跡の周辺の遺跡を概観し、本報告の参考としたい。

#### （1）大鳥遺跡群（第7図）

松浦宥一郎氏は、『考古学雑誌』76-4で、軽米町出土の香炉形土器2点を優品として資料紹介された。いずれも完形品で、1点は現在、東京国立博物館に所蔵され、もう1点は個人蔵で同博物館に寄託されているものである。このうち後者は、出土状況など詳細は不明ながら、大鳥から出土したものとされている。以来、大鳥遺跡は、晩期の香炉形土器（B～BC式）の優品が出土した遺跡として、周知の遺跡である。

大鳥地区内の遺跡は、平成元年の時点ではⅠ～Ⅸ区まで分けられていたが、その後、遺跡名の変更・整理が行われ、平成9年度現在、同地区内で大鳥Ⅰ～Ⅴ遺跡が登録されている（註4）。

今回の調査で、大鳥Ⅰ遺跡からは晩期の遺構・遺物は確認されていない。また調査した所見からも同遺跡の調査区域外に該期の遺構・遺物が存在する可能性は極めて低いものと考えられる。平成8年度に調査された大鳥Ⅱ遺跡では、縄文時代早期～晩期（B・BC式含）・弥生時代の遺物が出土しているなかで、晩期の遺物が比較的多く、該期の竪穴状遺構や土坑類もまとまりをもって検出されている（註5）。

以上のことから、大鳥地区内において晩期の遺構・遺物を伴う遺跡は、大鳥Ⅰ遺跡を除く地点（大鳥Ⅱ～Ⅴ）である可能性が高いと思われる。詳細については、今後の分布調査や発掘調査に期待したい（註6）。

#### （2）世増ダム建設事業（八戸平原開拓建設事業）関連の調査遺跡（第8図）

世増ダムの建設区域内において岩手県内では、平成2年に軽米町で、17遺跡（大鳥Ⅰ～Ⅴ、水吉Ⅰ～Ⅵ、長倉Ⅳ～Ⅷ、下尾田Ⅱ遺跡）が分布調査で確認されている（註7）。そのうち本調査が行われた遺跡は、水吉Ⅵ遺跡（平成3～5年度）、長倉Ⅳ・Ⅴ遺跡（平成6年度）、大鳥Ⅰ遺跡・長倉Ⅶ遺跡（平成7年度）、大鳥Ⅱ遺跡（平成8年度）の6遺跡である。

青森県側の八戸平原開拓建設事業関連では、南郷村の前平(2)遺跡、外長根(1)・(2)・(3)遺跡（昭和54年度）、階上町の志民(2)遺跡、田ノ上遺跡（昭和54年度）、筋久辺遺跡（平成3年度）、畑内遺跡（平成4年度～）の調査が行われている。畑内遺跡の調査では、縄文時代前期（円筒下層式期）の竪穴住居跡・フラスコ状土坑・墓壇・捨て場などの多くの遺構と大量の遺物が検出されており、貴重な資料が得られている（註8）。

#### （3）軽米町内における縄文時代前期の遺跡

軽米町内で過去に当センターで調査された遺跡は24遺跡あるが、既に報告されている22遺跡についてみると、縄文時代前期の遺物が出土している遺跡は15遺跡あり、うち円筒下層式土器が出土している遺跡は7遺跡である。ただし円筒下層式土器の全般に亘って出土した事例は少なく、比較的まとまった資料としては、大日向Ⅱ遺跡、叭屋敷Ⅰb遺跡など数遺跡が挙げられるに留まる。

検出された遺構について、竪穴住居跡についてみると、早期では、赤御堂式の竪穴住居跡が靴口Ⅰ遺跡から、前期では、深郷田式並行期の住居跡が叭屋敷Ⅰb遺跡で検出されており、円筒下層式前半期の住居跡は大日向Ⅱ遺跡（1次調査）で3棟、同遺跡（2～5次調査）で前期前半の住居跡5棟、前期の住居跡4棟が検出されている。ただし、今回の大鳥Ⅰ遺跡の調査では、竪穴住居跡は検出されていないため、これらの資料と比較検討することは叶わないので、ここで詳細については触れない。周辺地域における前期円筒下層式

期の遺構の様相の把握は今後の課題としたい。

出土した遺物としては、上記のほか大日向Ⅱ遺跡（2～5次調査）で、下層 a・b 式に比定される土器群が包含層からまとまって出土しており、その特徴についても地域的なものとの指摘がなされている（註9）。

今回の調査で、大鳥Ⅰ遺跡から出土した円筒下層式土器の特徴は、従来から指摘されている円筒下層式土器の各型式が質量ともにまとまっていること、が挙げられる。今後、大鳥Ⅰ遺跡出土の円筒下層式土器と先行する調査遺跡から出土した円筒下層式土器とを比較検討することにより、一地域（軽米地区）における円筒下層式土器の概観をより明確に把握することができるものと考えられる。

## 註

- (1) 遺跡は、旧大鳥集落の範囲そのものである。そのため遺跡の範囲には、畑地・山林のほか宅地跡や墓所も含まれているが、今回の調査区には含まれていない。
- (2) 軽米町教育委員会 1997『軽米町内遺跡分布調査報告書Ⅰ（大字小軽米地区）』。
- (3) (財) 岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。
- (4) 岩手県教育委員会 1997『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』。遺跡名が字名を基本として付されることからすれば、今後、新規登録を別にすれば、遺跡名の変更はないものと思われる。
- (5) (財) 岩埋文 1998『大鳥Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第270集。
- (6) 軽米町では、平成8年度から平成12年度までの5年次計画で遺跡の詳細分布調査が行われている。軽米町教育委員会 1997。
- (7) 岩手県教育委員会 1990『岩手県内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』岩手県文化財調査報告第86集。
- (8) 他に世増ダム建設事業に関連して、青森県側では、四ツ役遺跡・砂子遺跡・槻ノ木沢遺跡・水吉遺跡の調査が行われている。
- (9) (財) 岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。

## 参考文献

- 青森県教育委員会 1980『国営八戸平原開拓建設事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』  
「前平(1)遺跡、外長根(1)・(4)・(5)遺跡」青森県埋蔵文化財調査報告書第64集。
- 青森県教育委員会 1981『国営八戸平原開拓建設事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』  
「志民(2)遺跡、田ノ上遺跡」青森県埋蔵文化財調査報告書第65集。
- 青森県教育委員会 1989『青森県遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第131集。
- 青森県教育委員会 1993『筋久辺遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第151集。
- 青森県教育委員会 1994『畑内遺跡Ⅰ』青森県埋蔵文化財調査報告書第161集。
- 青森県教育委員会 1995『畑内遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第178集。
- 青森県教育委員会 1995『青森県遺跡詳細分布調査報告書Ⅶ』青森県埋蔵文化財調査報告書第182集。
- 青森県教育委員会 1996『畑内遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第187集。
- 青森県教育委員会 1996『四ツ役遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第188集。
- 青森県教育委員会 1997『畑内遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第211集。
- 岩手県教育委員会 1990『岩手県内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』岩手県文化財調査報告第86集。
- 岩手県教育委員会 1997『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』。  
『角川日本地名大辞典』3 岩手県、1985。
- 軽米町史編纂委員会 1975『軽米町誌』軽米町。
- 軽米町史編纂委員会 1987『軽米町史（上巻）』軽米町。
- 軽米町教育委員会 1997『軽米町内遺跡分布調査報告書Ⅰ（大字小軽米地区）』。
- (財) 岩埋文 1983『吠屋敷Ⅰb遺跡発掘調査報告書』岩埋文第63集。
- (財) 岩埋文 1986『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第100集。
- (財) 岩埋文 1992『糞口Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第175集。
- (財) 岩埋文 1995『水吉Ⅵ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第219集。

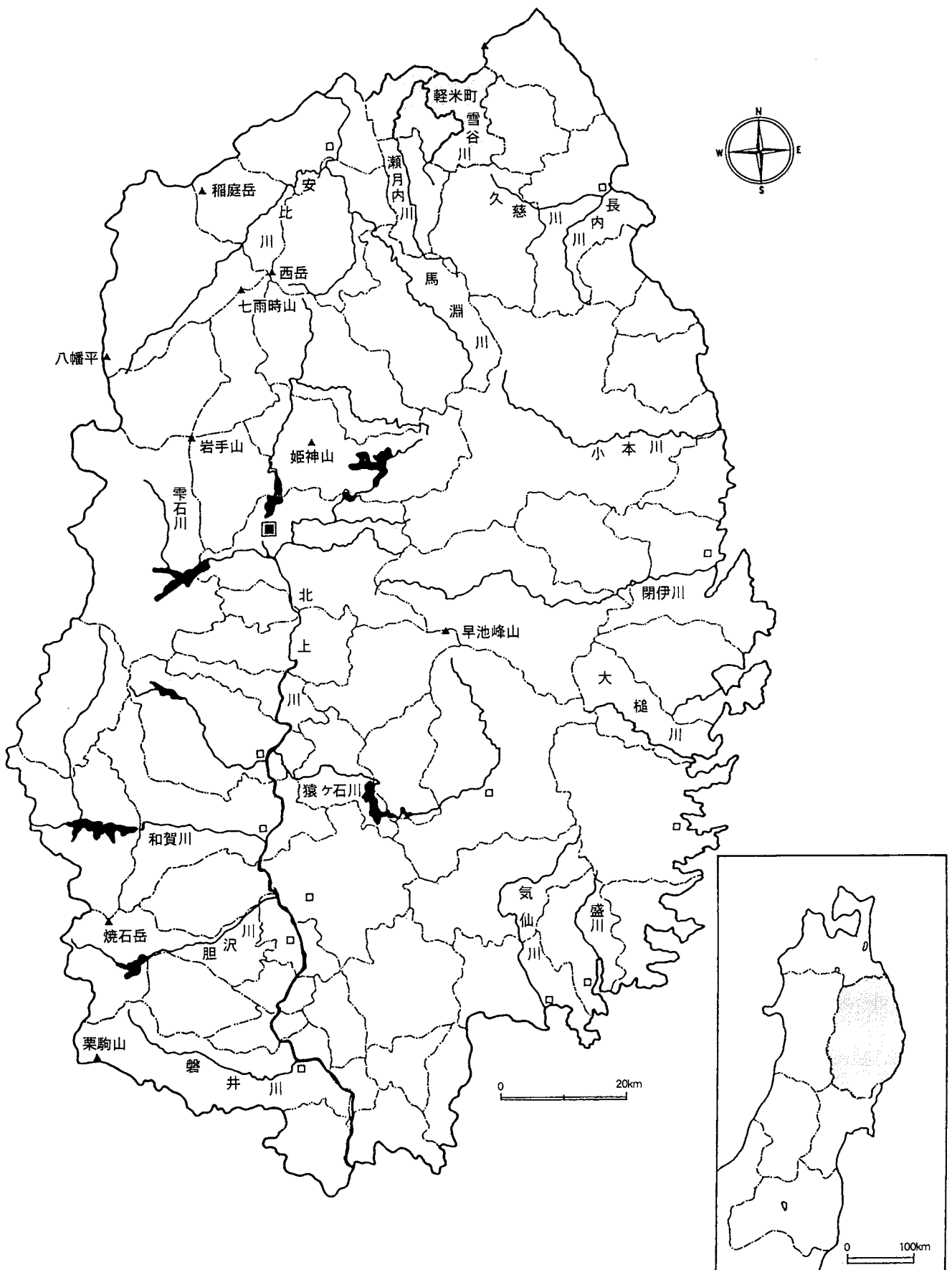


- (財) 岩埋文 1995 『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。  
 (財) 岩埋文 1996 『長倉Ⅳ遺跡・長倉Ⅴ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第231集。  
 (財) 岩埋文 1996 『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度分)』岩埋文第246集。  
 (財) 岩埋文 1998 『大鳥Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第270集。  
 松浦有一郎 1991 「岩手県軽米町出土の香炉形土器二例」『考古学雑誌』76巻4号。

表1 周辺の遺跡：世増ダム建設事業（八戸平原開拓建設事業）関連遺跡

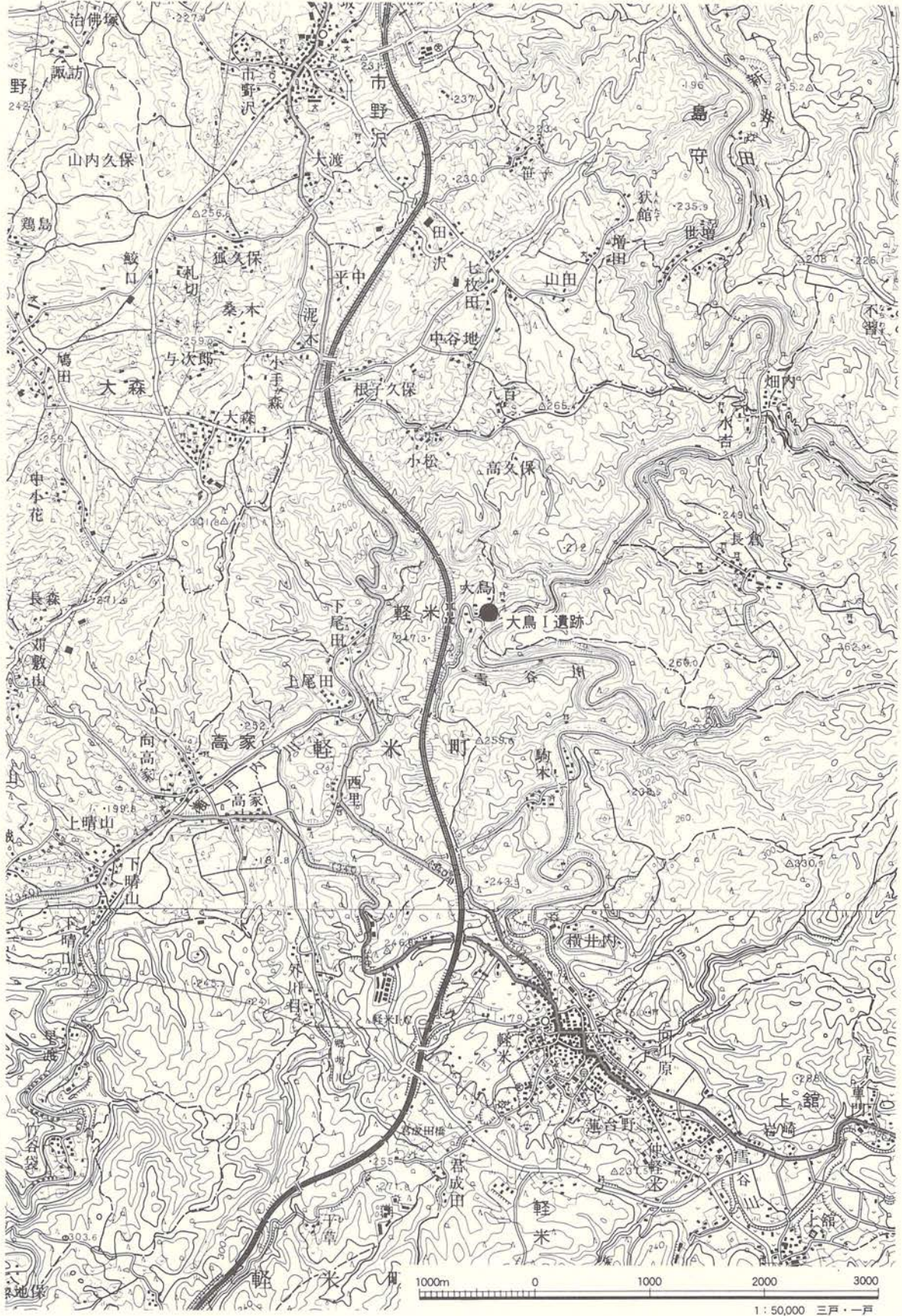
No.	遺跡名	種別	時代	所在地	備考
1	大鳥Ⅰ	集落跡	縄文(前期)・古代・中世・近世	軽米町大字軽米字大鳥	岩埋文290集
2	大鳥Ⅱ	散布地	縄文(晩期)・弥生	軽米町大字軽米字大鳥	岩埋文270集
3	大鳥Ⅲ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字大鳥	
4	大鳥Ⅳ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字大鳥	
5	大鳥Ⅴ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字大鳥	
6	水吉Ⅰ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字水吉	
7	水吉Ⅱ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字水吉	
8	水吉Ⅲ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字水吉	
9	水吉Ⅳ	集落跡	縄文・古代	軽米町大字軽米字水吉	岩埋文219集
10	水吉Ⅴ	城館跡	中世	軽米町大字軽米字水吉	
11	水吉Ⅵ	散布地	弥生	軽米町大字軽米字水吉	
12	長倉Ⅳ	散布地	縄文・弥生	軽米町大字軽米字長倉	岩埋文231集
13	長倉Ⅴ	集落跡	縄文(後・晩期)	軽米町大字軽米字長倉	岩埋文231集
14	長倉Ⅵ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字長倉	
15	長倉Ⅶ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字長倉	岩埋文246集
16	長倉Ⅷ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字長倉	
17	下尾田Ⅱ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字下尾田	
18	畑内	集落跡	縄文(前・晩期)・平安	南郷村大字島守字畑内	青埋文187集他
19	筋久辺	散布地	縄文(前・晩期)・古代	南郷村大字島守字筋久辺	青埋文151集
20	砂子	散布地	縄文・古代	南郷村大字島守字砂子	
21	槻ノ木	散布地	縄文・古代	南郷村大字島守字槻ノ木	
22	水吉	散布地	縄文	南郷村大字島守字水吉	青埋文182集
23	四ツ役	集落跡	縄文	南郷村大字島守字四ツ役	青埋文188集





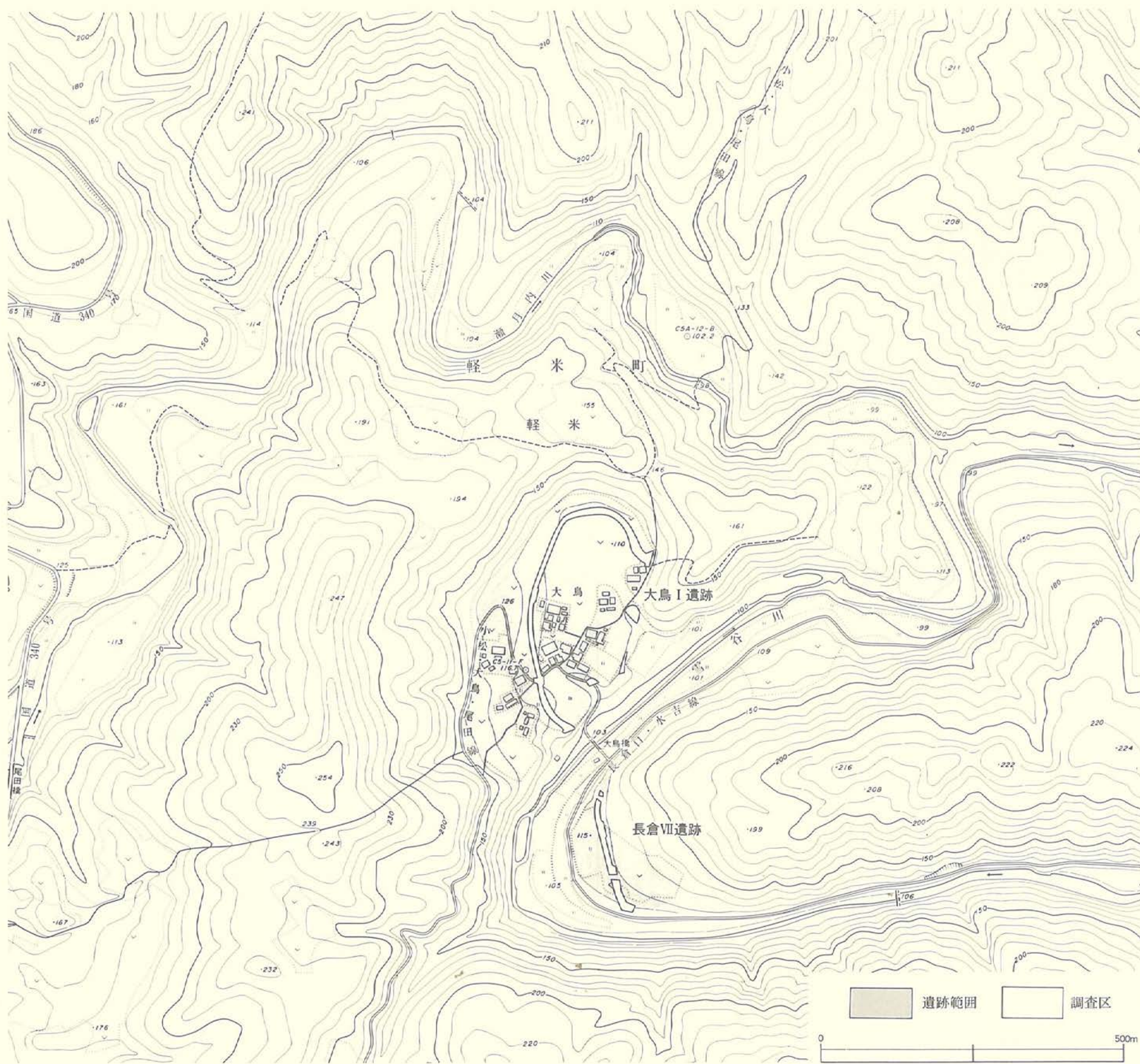
第1図 岩手県全図





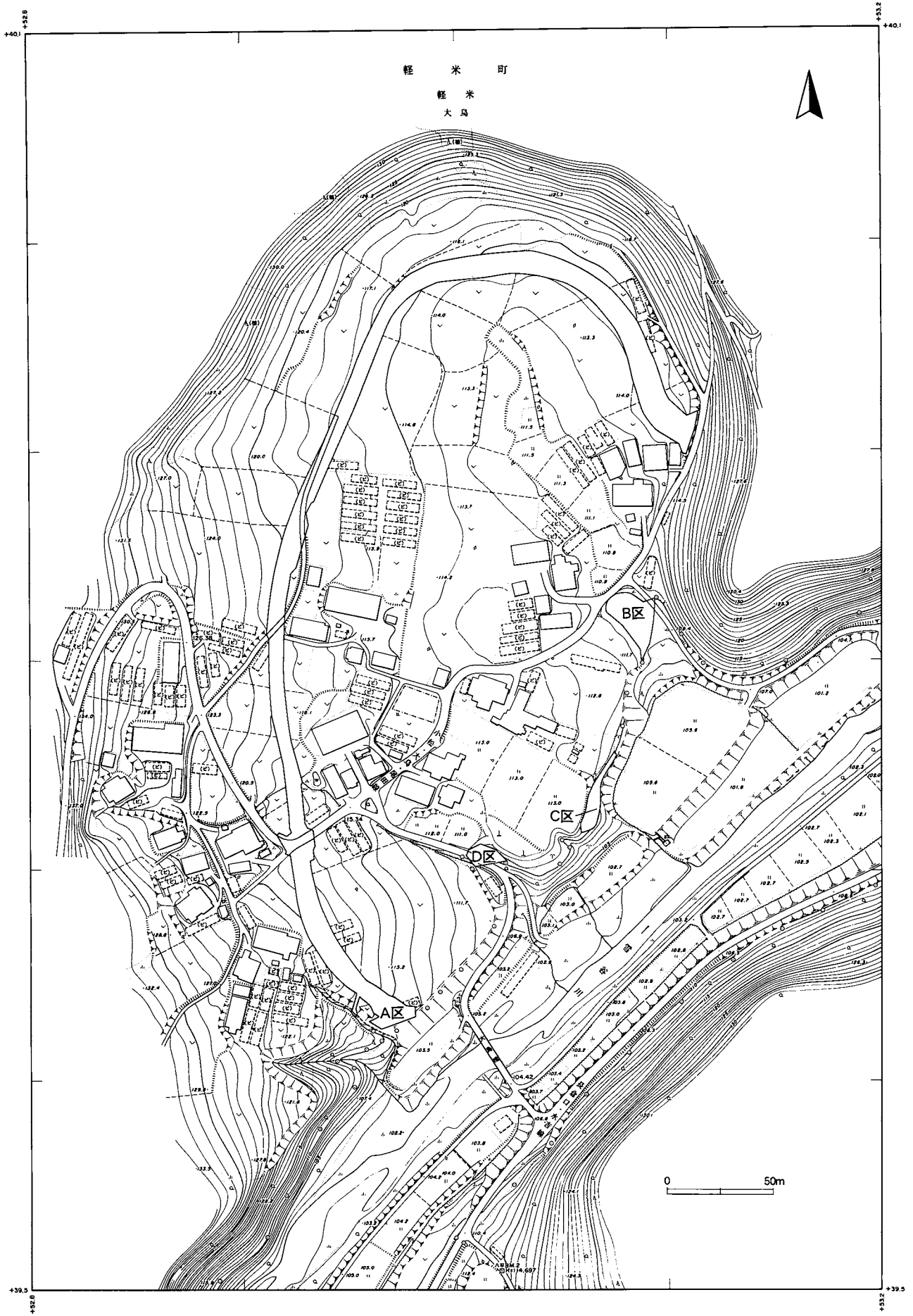
第2図 遺跡位置図





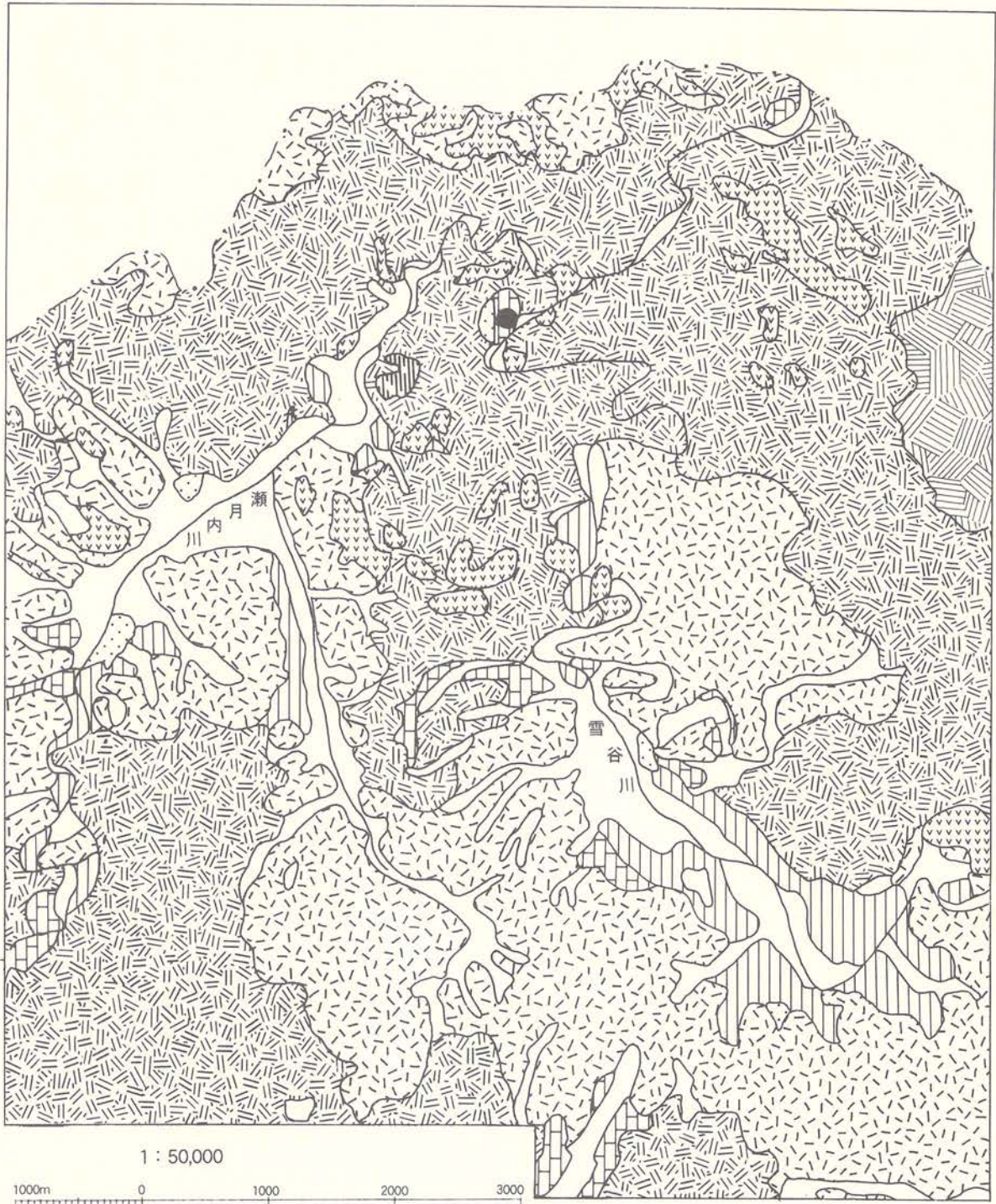
第3図 遺跡周辺の地形図





第4図 遺跡の地形図・調査区位置図





小起伏山地

丘陵地 I

丘陵地 II

山麓地緩斜面

砂礫段丘 I

砂礫段丘 II

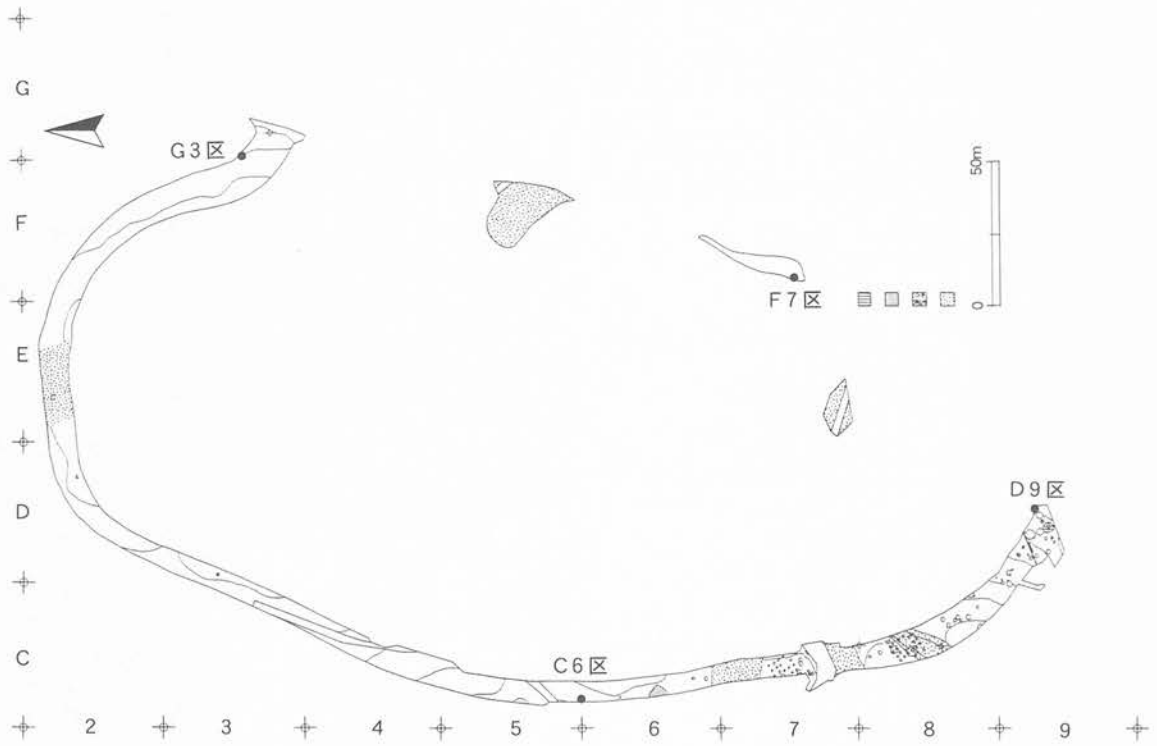
砂礫段丘 III

扇状地

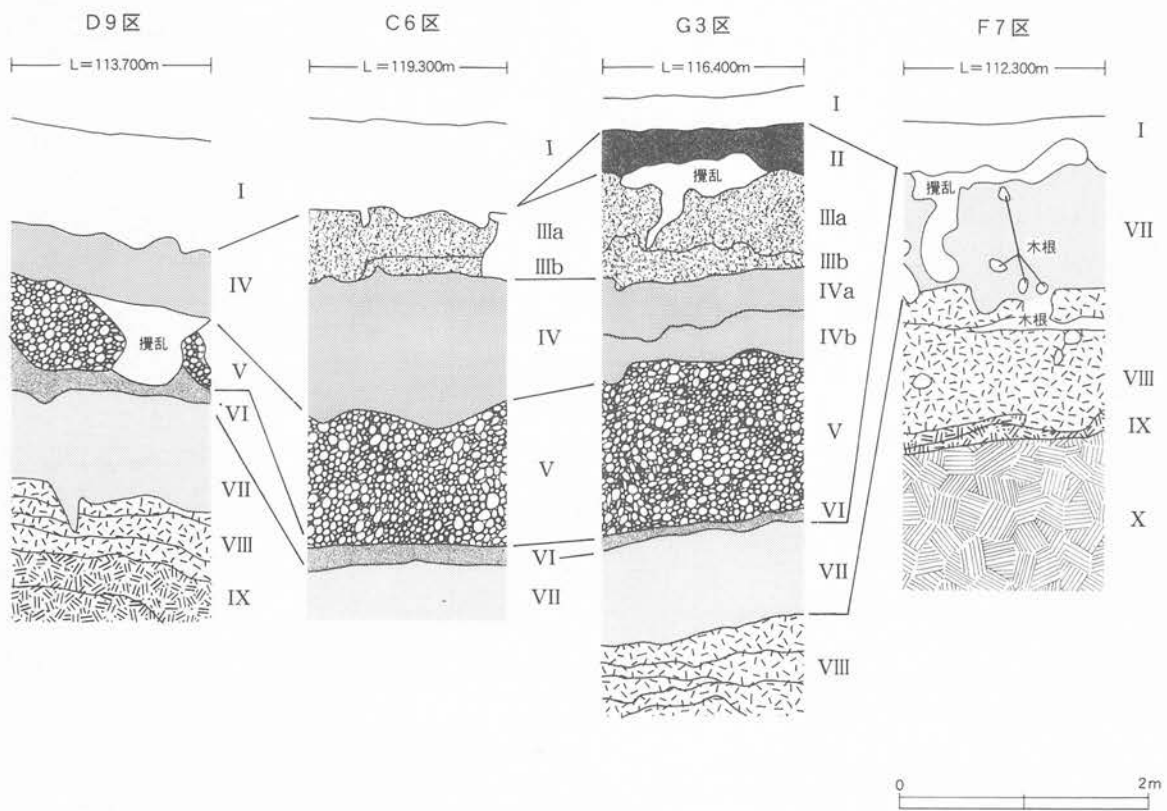
谷底平野

● 大鳥 I 遺跡

第 5 図 地形分類図



基本土層觀察地点

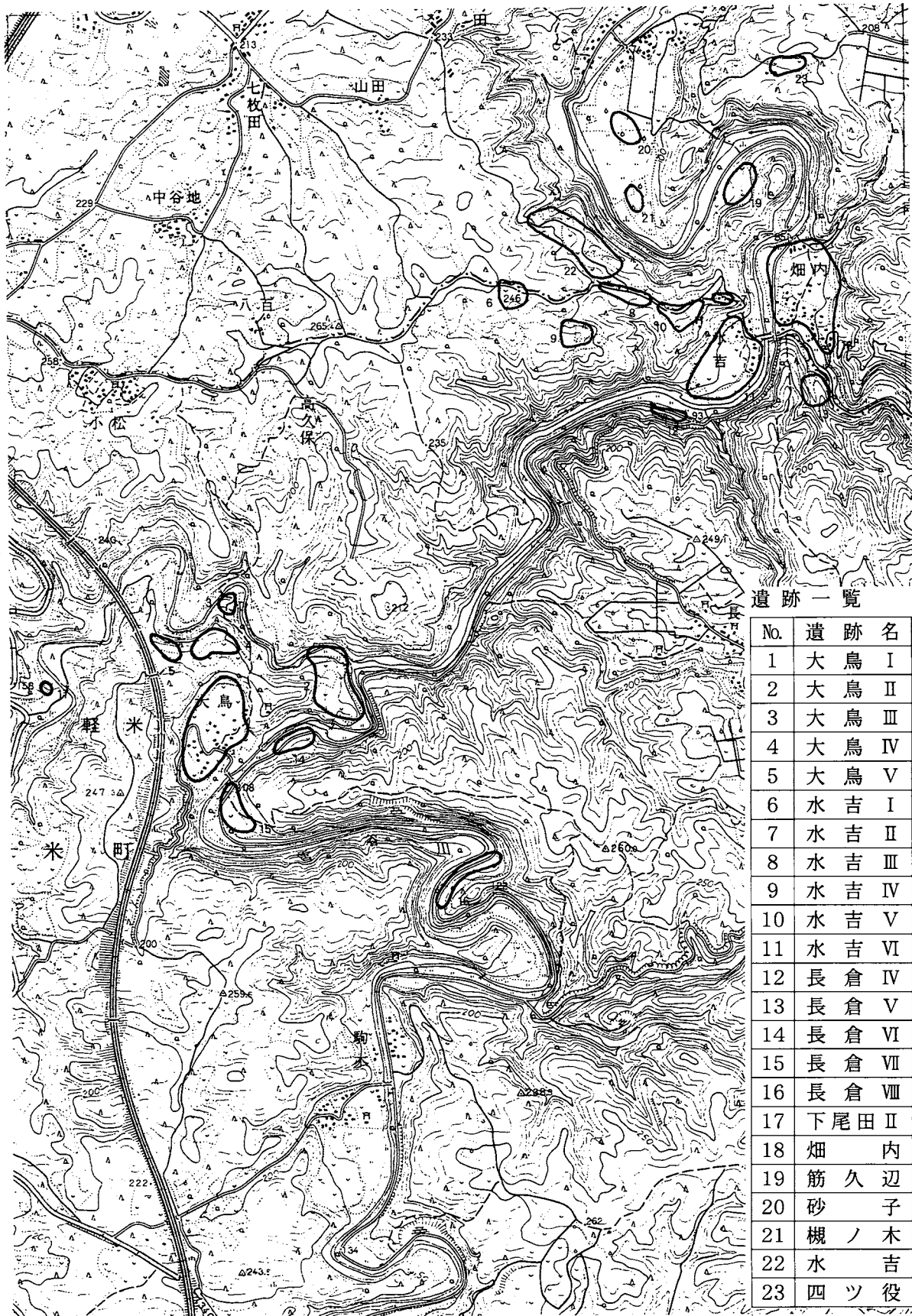


第6図 基本土層模式図





第7図 周辺の遺跡：大鳥遺跡群



第8図 周辺の遺跡：世増ダム建設事業関連遺跡



### Ⅲ. 調査・整理の方法

#### 1. 野外調査

##### (1) 調査区の設定と遺構の命名

調査区の地区割りにあたっては、平面直角座標（第X系）を用いて、調査区の座標設定とグリッドの設定を行うことにした。設定した座標の基準点は以下のとおりである。

基準点1：X＝＋39,910.000m、Y＝＋53,108.000m、H＝116.840m.

基準点2：X＝＋39,700.000m、Y＝＋52,930.000m、H＝117.546m.

基準点3：X＝＋39,670.000m、Y＝＋52,930.000m、H＝120.259m.

この3点を基準として実際のグリッド設定を行った。設定に際しては遺跡全体をカバーするように配慮し、遺跡をカバーするグリッドは、原点（X＝＋40,050.000m、Y＝＋52,800.000m）を北西隅にして50m四方の大グリッドを組み、その中を2m四方の小グリッドに分割した。大グリッドは西から東へむかって、A・B・C（アルファベット大文字）……、北から南にむかって1・2・3（算用数字）……という区画名を与え、A1・A2区などの大グリッド名を付した。また大グリッドはさらに2m間隔で25等分し、それぞれ西から東にむかってA～Y（アルファベット大文字）、北から南にむかって01～25（算用数字）という区画名を与え、それぞれの組み合わせで、A01・A02グリッドなどの小グリッド名を付した。

区画左上（北西隅）の杭をもって、その区画のグリッドの名称を表わし、遺構の位置や遺物採取においては、大小のグリッド名を組み合わせでA1A01グリッドなどと表わした。

##### (2) 遺構の名称

検出された遺構の名称は以下の記号を用いて、検出順に命名を行った。時代による別は考慮していない。

RA…竪穴住居跡、RB…掘立柱建物跡、RD…土坑類（墓壙含）、RF…焼土遺構、

RG…溝状遺構、RZ…土器埋設遺構、

検出された遺構数は次のとおりである。

竪穴住居跡：RA01～02(2)、掘立柱建物跡：RB01～03(3)、土坑類（墓壙含）：RD01～60(60)、

焼土遺構：RF02(2)、溝状遺構：RG01～05(5)、土器埋設遺構：RZ01(1)、

##### (3) 調査区の面積と名称

遺跡の発掘調査面積は5,812㎡である。調査区は付替道路路線部分と水没域3箇所に分かれるため、付替道路路線部分：A区、水没域：北側よりB・C・D区と区域名を仮称した。

##### (4) 調査の経過

調査は、対岸の長倉Ⅶ遺跡と並行して行われた。当初の調査予定期間は6月～10月の5ヶ月間である。作業員の登録員数は当初32名で、7月に1名欠員があり、9月には2名増員となり、以降33名である。一日平均の稼働人数は28人ほどであった。以下に、大鳥Ⅰ遺跡および並行して行われた長倉Ⅶ遺跡の調査経過を簡単に記す。

なお調査区は、調査終了後に全面的埋め戻しを行い、現況に復旧している。

6月1日（木）資材を搬入。長倉Ⅶ遺跡の調査を開始。調査員1名体制（沼田）。

6月13日（火）基準点測量。

6月16日（金）大鳥Ⅰ遺跡の調査開始。調査員2名体制（阿部・沼田）となる。

8月11日（水）長倉Ⅶ遺跡の調査終了。

8月24日(木) 長倉Ⅶ遺跡の終了確認。

10月6日(金) 大鳥Ⅰ遺跡の部分(付替道路路線部分5,000㎡: A区) 終了確認。

10月19日(木) 大鳥Ⅰ遺跡の航空写真撮影を行う。

11月14日(火) 大鳥Ⅰ遺跡(水没域812㎡: B・C・D区) の終了確認。

11月16日(木) 調査を終了し、撤収。

#### (5) 粗掘と遺構検出・遺構の精査と遺物の取り上げ

当初、2m幅のトレンチを地形に応じて任意の場所に入れ、遺跡の状況把握につとめた。その結果、A区南端はⅦ層(八戸火山灰層)まで削られていること、他の区域では削平はされていないが、表土が厚く、包含する遺物量は極めて少量であることを確認した。実際の作業は、遺物量が少なく、表土の厚いところの掘削は、重機を多用し、表土の薄いところでは人力で行った。

遺構検出は各層位で試みているが、基本的にはA区の南側ではⅤ層(南部浮石層)が遺構の時期差にかかわらず遺構検出面である。他の区域ではⅢ層(中振浮石層)で平安時代の遺構や近世以降の遺構が検出されており、Ⅴ層(南部浮石層)で縄文時代の遺構が検出されている。

検出された遺構は、原則として住居跡の場合は4分法、土坑類は2分法で行ったが、必要に応じてその他の方法も併用した。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適時行っている。

遺構内出土の遺物は、埋土では分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。その他にも適時写真撮影・図面作成をして取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則として小グリッドごとに出土した層位を記して取り上げ、適時写真撮影・図面作成をしている。

#### (6) 実測・写真撮影

平面実測は、グリッドに合わせた1mメッシュを基本とした。住居跡・土坑類は平面図・断面図とも1/20の縮尺を基本とした。遺構の埋土が単層である場合は、その状態をField Cardに記し、土層断面図の作成は省略した。レベルは、基準点をもとに絶対高で測った。

人骨が出土した墓壇の一部(RD21・22・25墓壇)は写真測量を行い、図化した。

写真撮影は35mmモノクロームとカラースライド各1台、モノクローム6×9判1台を使用した。撮影にあたっては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを利用した。実際の撮影は、各種の埋土堆積状況や遺物の出土状況、完掘状況、全景などについて行い、調査の終了段階でセスナによる空中写真撮影を行っている。

## 2. 室内整理

室内整理の期間は、平成7年11月～平成8年3月(5ヶ月間: 室内整理員8名)、平成9年4月～平成10年3月(12ヶ月間)である。平成7年度整理においては、遺構図面の点検・合成、遺物の水洗・注記、仕分け・登録、接合作業などを行った。平成9年度整理では、4～10月(7ヶ月間: 室内整理員12名)に、土器の接合・復元、実測、拓影、石器の実測、遺構トレース、遺物写真撮影を行い、11～同10年3月(5ヶ月間: 室内整理員5名)は、遺物トレースと図版作成を行った。調査員は、全体計画の進行管理、各作業の指示・点検と原稿執筆を行った。

野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は、室内整理の段階で次のように処理し、整理を行い、報告書作成とともに資料化を図った。

#### (1) 遺構に関わる記録

各実測図面ごとに分類し、図面は点検のうえ、必要なものについては第二原図を作成し、トレースを行っ



た。撮影されたフィルムは、ネガアルバムに密着写真と一組にして収納した。カラースライドフィルムはスライドファイルに撮影順に収納した。

## (2) 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、細片は別として、遺跡略号・出土地点・層位等を全破片について注記した。その後、出土地点・層位ごとに仕分けを行い、遺構ごと、遺物包含層についてはグリッドごとに接合・復元作業を実施した。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮尺して図化した。炭化物・金属製品・石材の分析は、外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影は、センター内の専門技師2名が撮影を行った。

遺物の整理・報告に当たっての作業・記録作成は以下の方針を進めた。

## (3) 遺物の選別・図化の基準

報告書に掲載された遺物は出土した遺物の全てではなく、整理のなかで設定した基準をもとに選別した一部の資料である。ここでは、掲載資料の選別基準を明示することで、掲載資料のもつ意味が相対的に高まるものと考え、以下に資料の選別基準を明示する。また、資料化は、図化・写真がすべてではない。不掲載資料であっても可能なかぎり数的処理を行い、出土資料全体の傾向を把握するためのデータとした。

### a. 土器

土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合された土器については、原則として計測値（器高・口径・底径）2点以上計測可能なもの（器形が把握できるもの）を立体土器として登録し、図化を進めた。図化しないものについては、計測値・型式・残存率などを記録するに留めた。

破片資料については、口縁部破片は、原則として、径5cm以上の大きさをもつ破片、頸部および胴部文様の組み合わせが把握できる破片とした。その他の口縁部破片については、該当すると思われる土器の型式名を記録し数的処理を行った。

胴部破片は原則として不掲載としたが、輪積痕・補修孔や特異な文様施文など、実見に際して必要と思われる破片について選別し、図化した。

底部破片については、全破片について、4分の1未満・4分の1以上～2分の1未満・2分の1以上・完形品の基準を設定して残存率の数的処理を行った。そのうち、完形品、破片でも底部圧痕・施文などが認められる破片や、特異な形状をしている破片は、選別し、図化した。

### b. 石器

石器については、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、さらに一部資料について図化を行った。図化の基準は、以下に示すように器種によって若干異なる。

剥片石器については、原則として全点図化することにした。礫石器については、器種別に個々の分類の代表的な石器を掲載し、完形品を基本として全点の5割を一応の目安にした。ただし敲磨器B類（特殊磨石・半月状偏平打製石器）については、原則として欠損品については計測・分類のみとし、完形品のなかで各分類の代表となる石器について図化した。以上のように、各器種毎の分類を優先しているため、出土地点が不明瞭なものは別とするほかは、包含層出土の石器においても特に出土地点を考慮した選別は行っていない。

### c. 土製品・石製品

土製品・石製品は全点を図化し、掲載した。

### d. 金属製品

図化に耐えない鉄釘の一部を割愛した他は、全点を図化し、掲載した。

### 3. 掲載図版等について

#### (1) 掲載図版の構成

掲載図版は、遺構図版と遺物図版に分けている。遺構図版は、遺構の種類ごとに掲載した。遺物図版は、土器・土製品・石器・石製品・金属製品など遺物の種類ごとに遺構内・外含めて掲載した。各遺物図版中では、遺構毎、出土地点、層位を基準として掲載することにした。石器については、器種毎に分類したなかで、遺構毎・出土地点・層位を基準として掲載した。遺物を種類毎に分けることにより、遺跡全体の出土遺物の傾向が容易に把握できるよう意図した。一方で、各遺構の出土遺物の傾向を把握し易くするために遺構内の出土遺物については、遺構毎の出土遺物の集成図を遺構図版の後に付して利用の便を図った。

掲載遺物には観察表を付した。観察表の( )内数値は残存値である。遺物図版の掲載番号は種類毎に以下のように連番とし、写真番号も図版と同一のものとした。

縄文土器：1～、土師器・須恵器：701～、土製品：801～、石器・石製品：1001～、金属製品：1401～

#### (2) 掲載図版の縮尺

##### a. 遺構図版

各遺構の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。住居跡の平・断面図：1/60、土坑の平・断面図：1/40、炉・土器埋設遺構：1/40。

##### b. 遺物図版

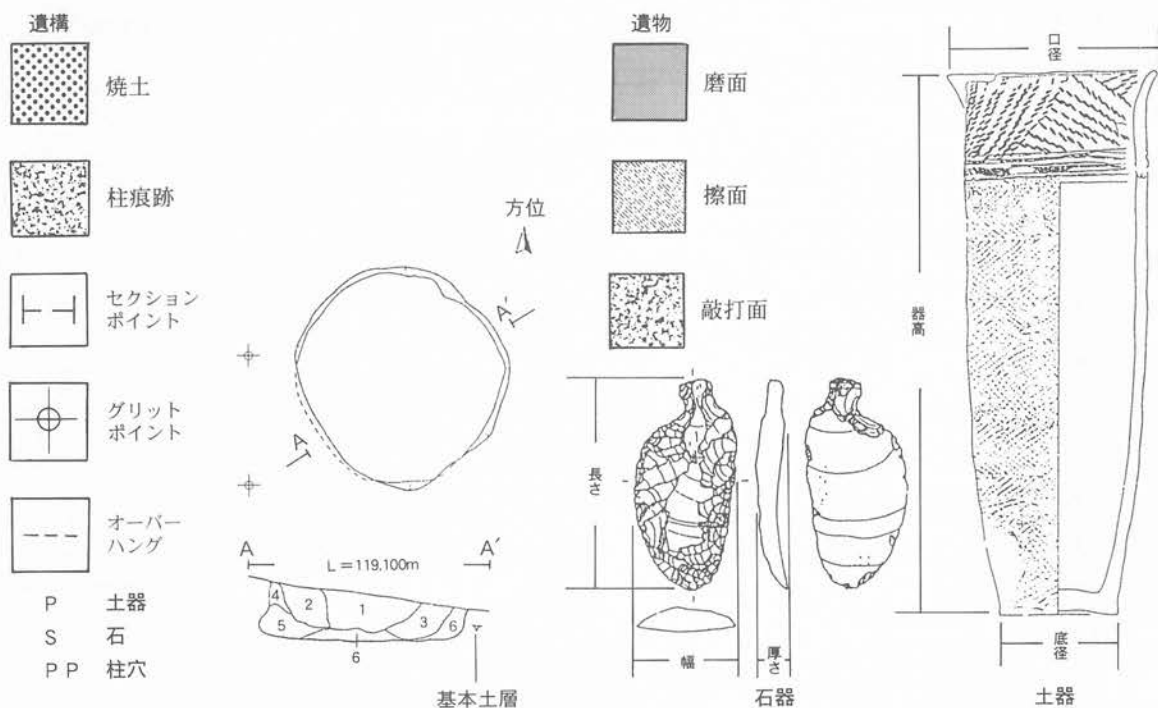
各遺物の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。立体土器：1/4、破片土器：1/3、土製品：1/2、剥片石器：1/2、礫石器：1/3、石製品：1/2、金属製品：1/3、銭貨：1/1。

##### c. 写真図版

遺構の写真図版は縮尺不定である。遺物の写真図版については、各図に縮尺を付した。

#### (3) 掲載図版の凡例

図中に使用した記号・スクリーントーンの凡例は次のとおりである。



【凡例】



## IV. 検出遺構

検出された遺構について（第9・10・11図）

今回、検出された遺構は、縄文時代の竪穴住居跡1棟・土坑39基・陥し穴状遺構1基・焼土遺構2基・土器埋設遺構1基・溝状遺構5条・遺物包含層1箇所である。時期は前期と後期と考えられる。他に、平安時代の竪穴住居跡1棟・土坑1基・近世の掘立柱建物跡3棟・墓壇9基・土坑7基、時期不明土坑3基がある。

遺構の占地をみると、遺構が検出されたのはA区とC区であり、B・D区は沢跡で遺構は検出されていない。遺構毎の配置をみると、縄文時代の遺構はA区南端（段丘の縁）に集中し、平安時代の遺構は、遺跡のほぼ中央付近に位置し、近世の建物跡や墓壇は、各区域にまとまりをもって点在している。

以下、各遺構毎に概要を述べる。出土遺物については、IV. では、出土状況と出土した遺物の種類のみ記載しており、詳細については、V. 出土遺物で述べている。

### 1. 竪穴住居跡（第12・13図、写真図版4・5）

R A01竪穴住居跡

遺構（第12図、写真図版4）

〈位置・検出状況〉D9 K09～K10グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉住居北側でRD30土坑と重複し、住居中央付近でRD33土坑・RD26墓壇と重複する。新旧関係は、RD30・33土坑→RA01住居跡→RD26墓壇である。

〈規模・平面形〉径4.6m×3.8mで、不整な楕円形を呈する。床面積は11.55㎡である。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はV層を掘り込んでいるが、この付近はV層より上位が削平されており、本来の掘り込み面は不明である。残存する壁高は北壁で35cmで、外傾して立ち上がる。床面はVI層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。本住居はRD33土坑の埋没後に構築されているが、貼床の痕跡は確認できなかった。

〈柱穴〉3基検出された。

〈炉〉中央やや東寄りに地床炉を検出した。径48cm×44cmの不整な形状を呈し、焼土の厚さは最大6cmである。

遺物（第46・106・162図、写真図版69・121）

〈出土状況〉埋土から縄文土器・石器が出土している。

〈土器〉縄文土器：破片（277）。

〈石器〉敲磨器B類（1220）。

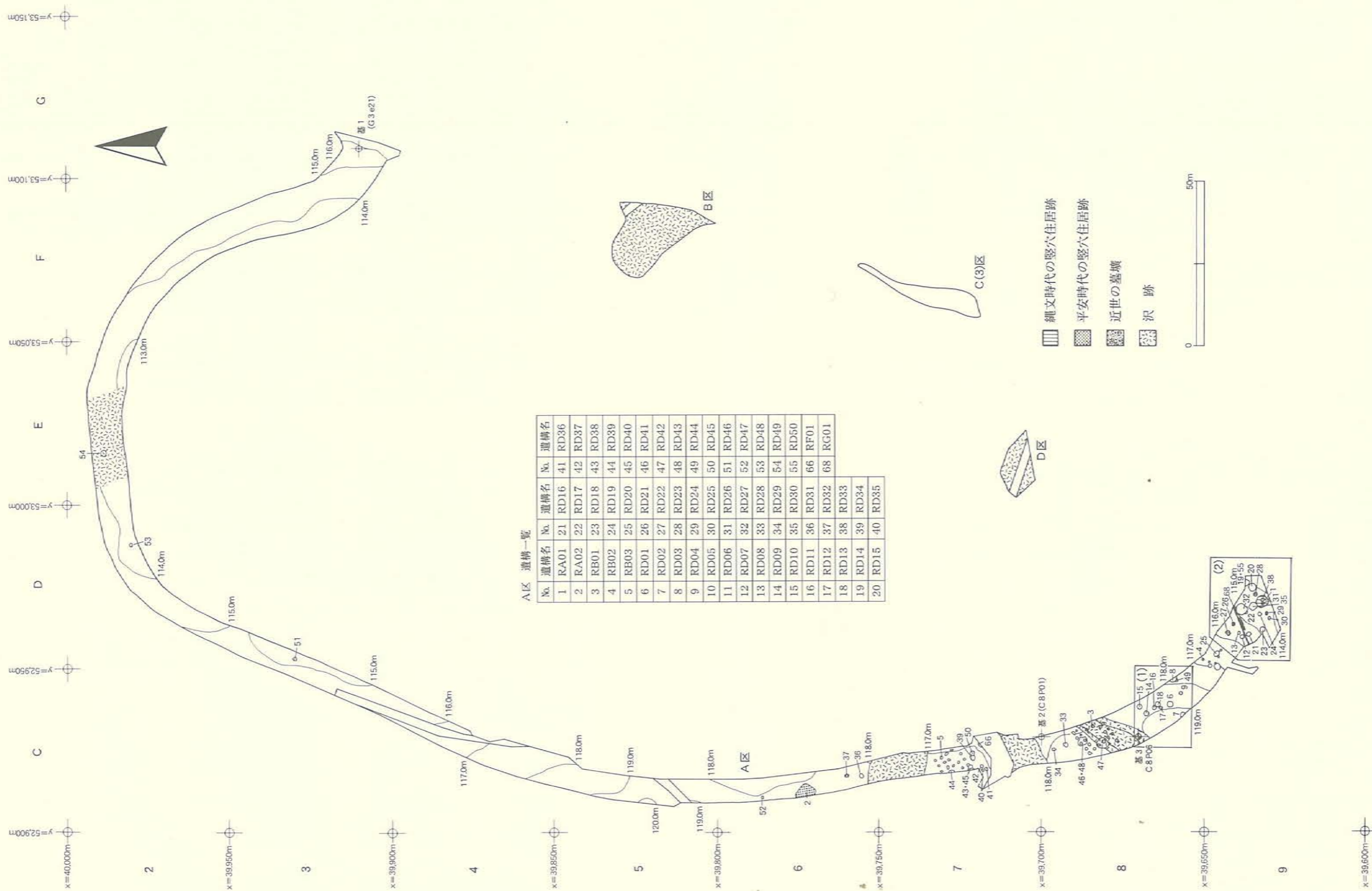
時期 縄文時代前期～中期前葉と思われる。

R A02竪穴住居跡

遺構（第13図、写真図版5）

〈位置・検出状況〉C6 G13～G16グリッドに位置する。Ⅲ～Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかり、検出したのは東側半分である。

〈重複関係〉なし。

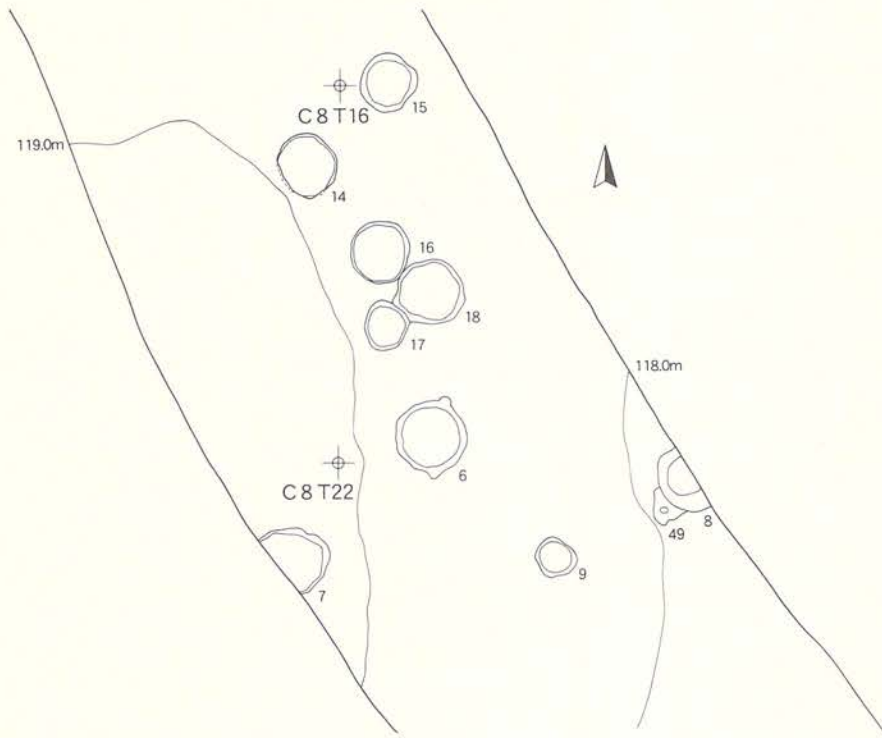


A区 遺構一覧

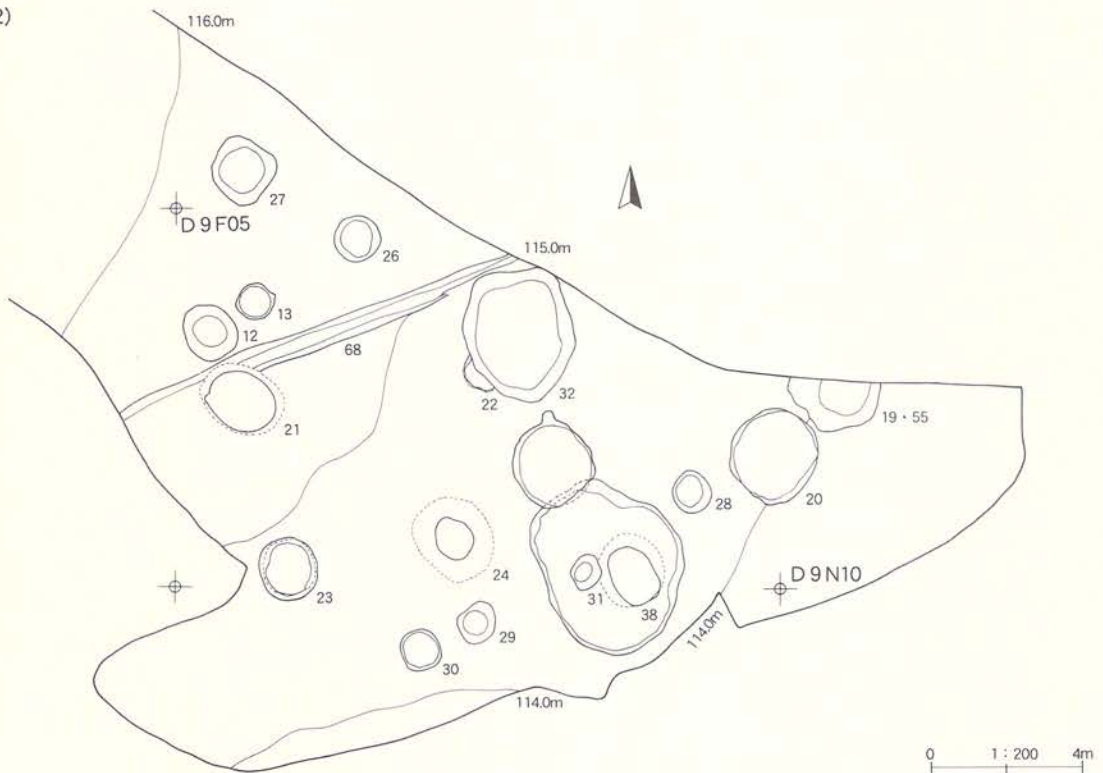
No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名
1	RA01	21	RD16	41	RD36
2	RA02	22	RD17	42	RD37
3	RB01	23	RD18	43	RD38
4	RB02	24	RD19	44	RD39
5	RB03	25	RD20	45	RD40
6	RD01	26	RD21	46	RD41
7	RD02	27	RD22	47	RD42
8	RD03	28	RD23	48	RD43
9	RD04	29	RD24	49	RD44
10	RD05	30	RD25	50	RD45
11	RD06	31	RD26	51	RD46
12	RD07	32	RD27	52	RD47
13	RD08	33	RD28	53	RD48
14	RD09	34	RD29	54	RD49
15	RD10	35	RD30	55	RD50
16	RD11	36	RD31	66	RF01
17	RD12	37	RD32	68	RG01
18	RD13	38	RD33		
19	RD14	39	RD34		
20	RD15	40	RD35		

第9図 大鳥I遺跡遺構配置全体図

(1)



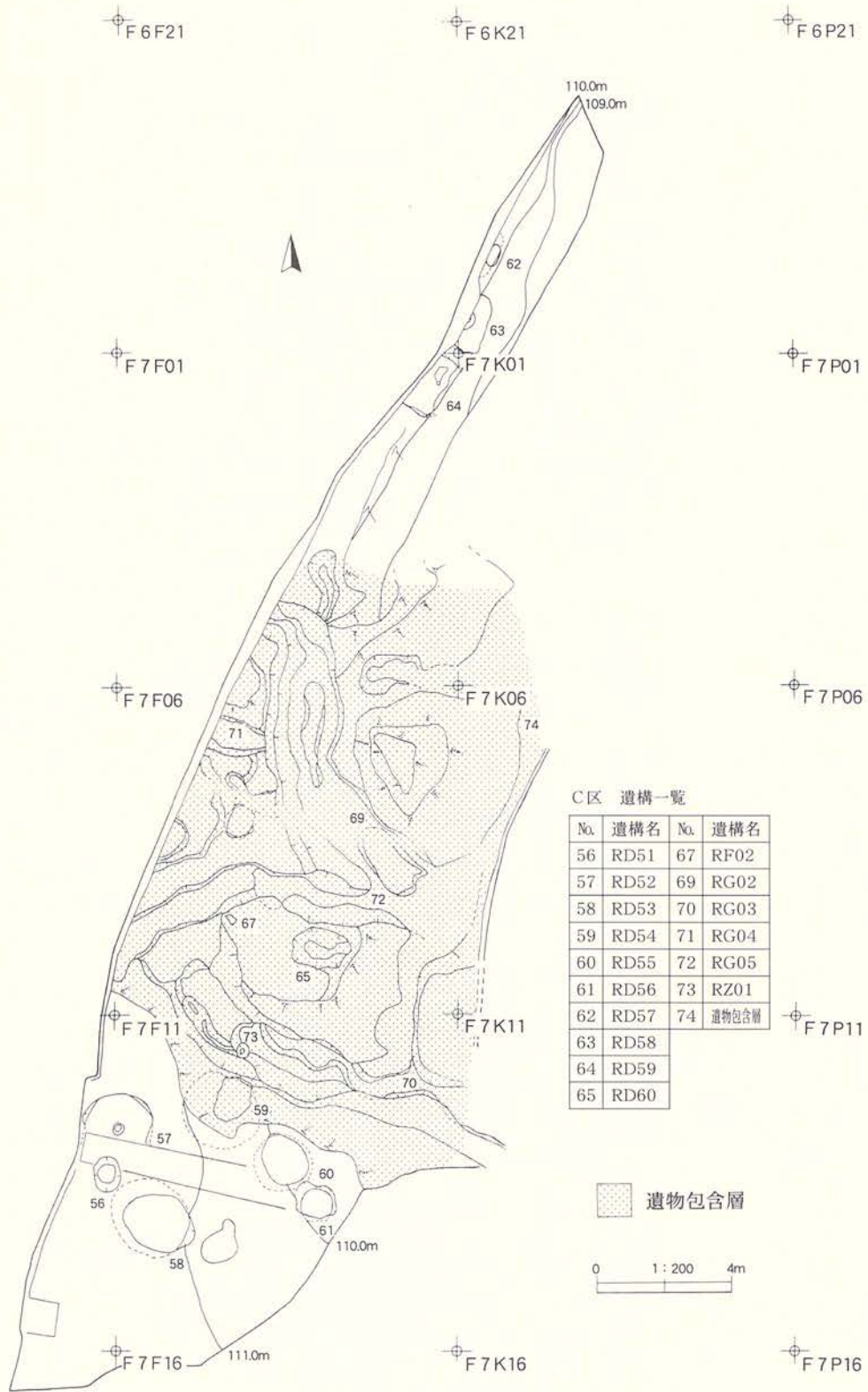
(2)



第10図 大鳥I遺跡遺構配置部分図A区(1)・(2)

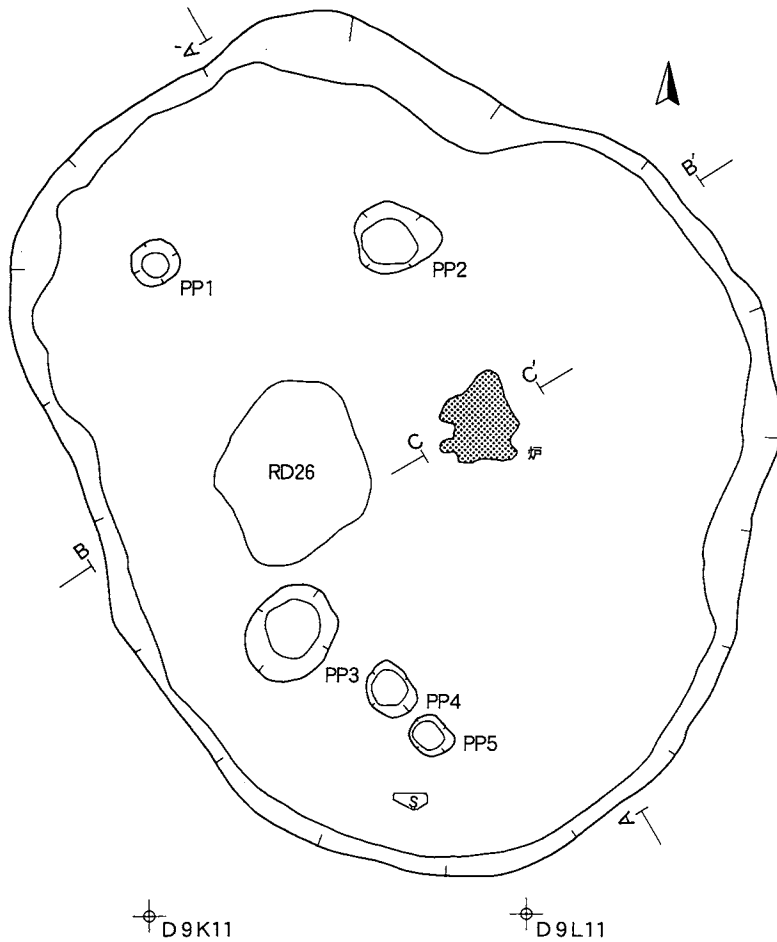


(3)



第11図 大鳥 I 遺跡遺構配置部分図C区(3)

RA01



⊕ D9M09

⊕ D9M10

RA01

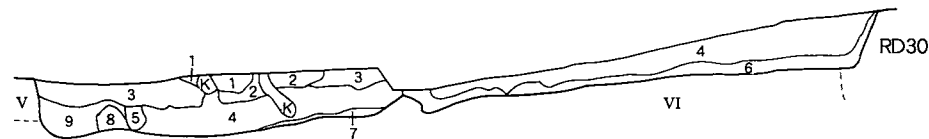
PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	25×23	17	
PP2	46×38	28	
PP3	55×44	29	
PP4	30×23	24	
PP5	25×20	20	

⊕ D9K11

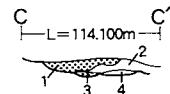
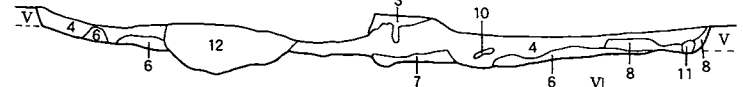
⊕ D9L11

⊕ D9M11

A  
L=114.700m



B  
L=114.400m

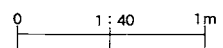


RA01・炉 C-C'

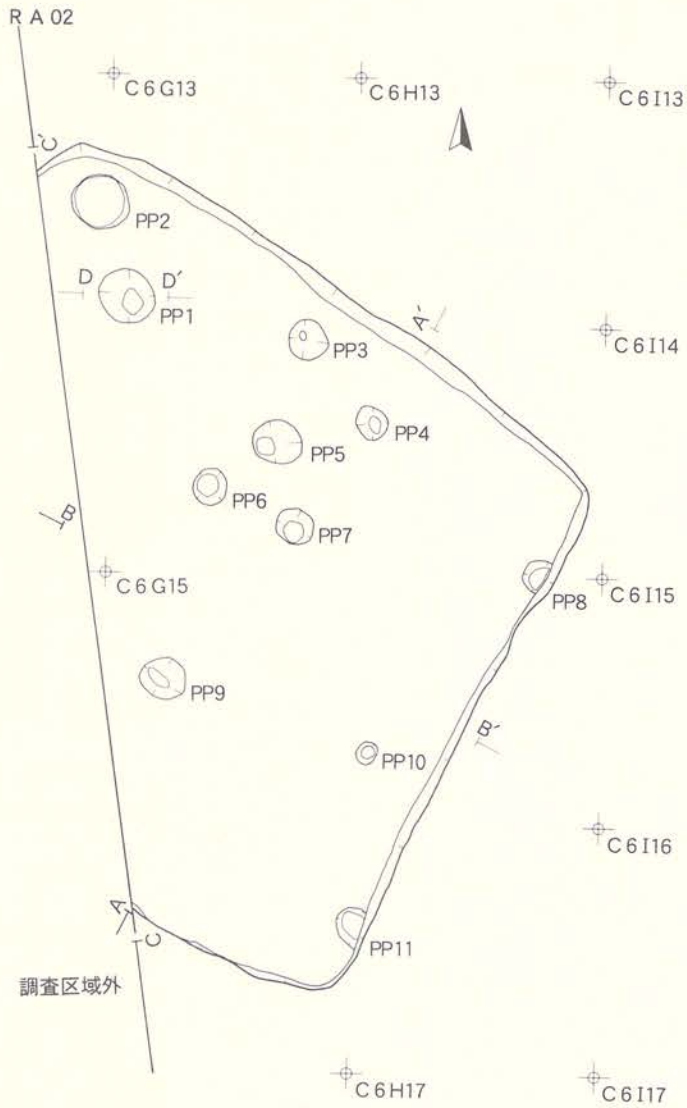
層位	色調	土性
1	7.5YR5/6 明褐色	焼土 締まり中。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中。
3	10YR3/4 黒褐色	シルト 締まり中、焼土粒混入。
4	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。

RA01 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中。
2	7.5YR8/8 黄褐色	ローム 締まり中。
3	7.5YR7/6 橙色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
4	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
5	10YR3/4 黒褐色	シルト 締まり中。
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入(細粒)。
7	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
8	10YR6/8 明黄褐色	南部浮石 締まり中。
9	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中。
10	7.5YR5/6 明褐色	シルト 締まり中。
11	7.5YR2/3 暗褐色	シルト 締まり中。
12	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト 締まり中。(RD26埋土)

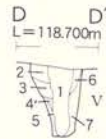


第12図 RA01住居跡



RA02

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	42×40	58	
PP2	52×44	16	
PP3	32×30	51	
PP4	27×24	15	
PP5	40×35	49	
PP6	28×27	16	
PP7	32×28	45	
PP8	27×(20)	28	
PP9	40×35	36	
PP10	18×15	11	
PP11	30×(22)	35	



RA02-PP1 D-D'

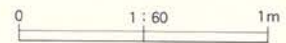
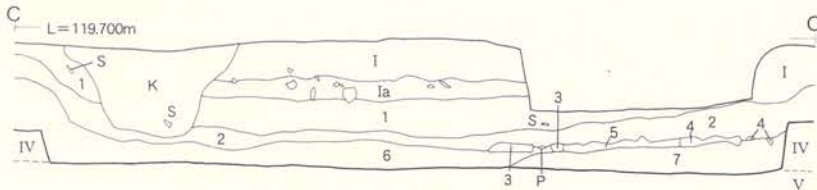
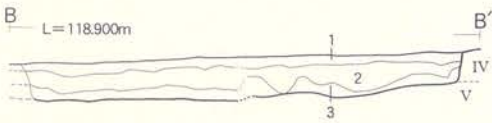
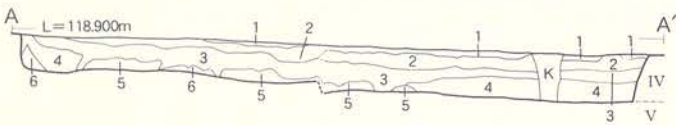
- 層位 色調 土性
- 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり疎、南部浮石1%混入。
  - 10YR2/2 黒褐色と4/6褐色の混土 シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
  - 10YR1.7/1 黒色 シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
  - 10YR5/6 黄褐色 南部浮石 締まり中。
  - 10YR3/4 暗褐色 シルト 締まり中。
  - 10YR4/2 灰黄褐色と4/6褐色の混土 シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
  - 10YR2/1 黒色と4/2灰黄褐色の混土 シルト 締まり中。

RA02 A-A'・B-B'

- 層位 色調 土性
- 10YR4/1 褐灰色 火山灰 締まり中、南部浮石1%混入。
  - 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり中。
  - 10YR2/1 黒色 シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
  - 7.5YR2/1 黒色 シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
  - 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中。
  - 7.5YR6/8 橙色 南部浮石 締まり中。

RA02 C-C'

- 層位 色調 土性
- 7.5YR2/12 黒土 シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。
  - 7.5YR1.7/1 黒色 シルト 締まり密、燧部浮石1%・火山灰1%・炭化物1%混入。
  - 5YR4/4 にぶい赤褐色 粘土?
  - 10YR4/1 褐灰色 火山灰 締まり密。
  - 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり密、火山灰混入。
  - 7.5YR2/2 黒褐色 シルト 締まり密、南部浮石10%混入。
  - 7.5YR2/1 黒色 シルト 締まり密、南部浮石10%混入。



第13図 RA02住居跡



〈規模・平面形〉5.1m×(4.5)mで、隅丸方形を呈するものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成されるが、一部、攪乱を受けている箇所がある。埋土中（4層）に火山灰が堆積しており、白頭山火山灰であるとの鑑定結果が得られている。

〈壁・床面〉壁高は北壁で40cmほどで、直立ぎみに立ち上がる。床面はV層を掘り込んでつくられており、平坦である。貼床の痕跡は確認されなかった。床面積は(18.22)m<sup>2</sup>である。

〈柱穴〉11本検出されているが、配置は不明である。PP1は主柱穴と考えられる。

〈カマド〉検出されていない。焼土ブロックの分布から調査区域外で西カマドの可能性はある。

遺物（第46・106・138・160図、写真図版79・105・120）

〈出土状況〉埋土から縄文土器・土師器・須恵器・石器が出土している。

〈土器〉縄文土器：破片（278・279）、土師器：立体（701・702）：破片（703・704・705・706）、須恵器：破片（707・708）。

〈石器〉敲磨器A類（1212）。

時期 出土した遺物から、平安時代（10世紀ごろ）と思われる。

## 2. 土坑（第14～28図、写真図版6～17）

### R D01土坑

遺構（第14図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉C 8 T20～U20グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉新しい柱穴状土坑2基と重複し、切られている。

〈規模・形態〉開口部径188cm×180cm、底部径160cm、深さ46cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土と黒褐色土で構成される。自然堆積である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

### R D02土坑

遺構（第14図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉C 8 S21～S22グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。南西側半分は調査区域外にかかる。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径180cm×(140)cm、底部径(175)cm×120cm、深さ20cmで、平面形は不整な円形を呈するものと推定される。底面はV層を掘り込み、南から北へ傾斜する。壁は底部付近の立ち上がりが確認できるのみである。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D03土坑

##### 遺構（第14図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉C 8 X20～X21グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側半分は調査区域外にかかり、西側半分の検出である。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm×(100)cm、底部径100cm×(44)cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。深さ44cmである。底面はV層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は緩く湾曲する。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D04土坑

##### 遺構（第14図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉C 8 V22～W22グリッドに位置する。V層で黒色土・黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径104cm×98cm、底部径86cm×80cm、深さ30cmである。平面形は不整形円形を呈する。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D05土坑

##### 遺構（第15図、写真図版7）

〈位置・検出状況〉D 9 A01～B01グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径128cm、底部径110cm×106cm、深さ60cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、やや湾曲する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D06土坑

##### 遺構（第15図、写真図版7）

〈位置・検出状況〉D 9 A02～A03グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径190cm×184cm、底部径150cm×148cm、深さ55cmである。平面形は円形を呈する。底面はほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物（第46・162図、写真図版121）

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈石器〉敲磨器B類(1221)。

〈その他〉炭化材が出土しており、樹種はケヤキであるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 出土遺物から縄文時代と推定されるが、詳細は不明である。

#### R D08土坑

**遺構**(第15図、写真図版7)

〈位置・検出状況〉D9F06～G06グリッドに位置する。VI層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径100cm×96cm、底部径87cm×86cm、深さ8cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、やや凹凸をもつ。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D09土坑

**遺構**(第15図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉C8S16～S17グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径164cm×154cm、底部径156cm×140cm、深さ50cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物**(第46・106図、写真図版79)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片(280・281)。

**時期** 出土遺物から縄文時代後期と思われる。

#### R D10土坑

**遺構**(第16図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉C8T15～T16グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径150cm×140cm、底部径120cm、深さ26cmである。平面形は不整な円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D11土坑



**遺構**（第16図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉C8 T17～T18グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径164cm×158cm、底部径150cm×140cm、深さ26cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲し、副穴を1基もつ。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

**R D 12土坑**

**遺構**（第16図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉C8 T18～T19グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。北東側にR D 13土坑が隣接する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径130cm×120cm、底部径108×100cm、深さ42cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦で、副穴を1基もつ。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉炭化材が出土しており、樹種はケヤキであるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 時期を決定できる遺物はないが、縄文時代後期の可能性がある。

**R D 13土坑**

**遺構**（第16図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉C8 T18～U18グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。南西側にR D 12土坑が隣接する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径190cm×170cm、底部径150cm、深さ38cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は底部付近の立ち上がりが僅かに確認できるのみである。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

**R D 14土坑**

**遺構**（第17図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉D9 N07～O07グリッドに位置する。北側は調査区域外にかかる。

〈重複関係〉R D 14土坑→R D 50土坑の関係がある。

〈規模・形態〉開口部径243cm×(146)cm、底部径210cm×(138)cm、深さ70cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はVII層を掘り込んでつくられ、西から東へ傾斜する。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第46・106図、写真図版79)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (282)。

**時期** 出土遺物から縄文時代と推定されるが詳細は不明である。

#### R D 15土坑

**遺構** (第17図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 M08～N08グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径235cm×230cm、底部径230cm×200cm、深さ74cmである。平面形は不整な円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁際に幅5cm、深さ2cmの周溝が廻り、ほぼ全周する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・暗褐色土・褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第46・58・106・140・150・162図、写真図版79・106・112・121)

〈出土状況〉埋土からの出土である。

〈土器〉縄文土器：立体 (1)、破片 (283・284・285)。

〈石器〉石鏃 (1001)、石筥 (1139)、敲磨器B類 (1222・1223)。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

#### R D 16土坑

**遺構** (第18図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 G09～G10グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm×154cm、底部径150cm×140cm、深さ90cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲する。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D 17土坑

**遺構** (第18図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 I 07～J 07グリッドに位置する。Ⅵ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉東側でR D 27土坑と重複し、新旧関係はR D 27土坑→R D 17土坑である。

〈規模・形態〉開口部径121cm×120cm、底部径108cm×107cmほどで、平面形は円形を呈する。深さは22cmである。底部はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに外傾する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D 18土坑

##### 遺構 (第18図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 F 07～G 07グリッドに位置する。Ⅶ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉北西端で、新しい柱穴状土坑と、北側でR G 01溝状遺構と重複し、切られている。

〈規模・形態〉開口部径180cm×150cm、底部径223cm×171cm、深さ58cmである。平面形は楕円形を呈する。底部はⅦ層を掘り込んでつくられ、やや凹凸がある。壁は内湾し、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D 19土坑

##### 遺構 (第18図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉D 9 I 09グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径140cm×124cm、底部径230cm×190cm、深さ90cmである。平面形は楕円形を呈する。底部はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾し、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黄褐色土・暗褐色土で、上位と下位に黒色土が入る。人為堆積である。

##### 遺物 (第46・58図、写真図版28)

〈出土状況〉胴部下半の土器が、埋土上位、土坑の中央付近から正立で出土している。

〈土器〉縄文土器：立体 (2)。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。墓壙の可能性はある。

#### R D 20土坑

##### 遺構 (第19図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉D 9 C 02グリッドに位置する。Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径210cm×150cm、底部径135cm×120cm、深さ59cmである。平面形は不整形を呈する。底部はⅧ層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D 27土坑

##### 遺構 (第19図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉D 9 J 06～J 07グリッドに位置する。Ⅴ層で黄褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R D 17土坑と重複し、新旧関係は、R D 27土坑→R D 17土坑である。また、新しい柱穴状土坑が埋土を切ってつくられていた。底部にのみ痕跡を遺している。

〈規模・形態〉開口部径351cm×287cm、底部径283cm×222cm、深さ104cmである。平面形は不整な楕円形



を呈する。底面はⅣ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黄褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D 28土坑

遺構（第20図、写真図版10）

〈位置・検出状況〉C 8 N04～N05グリッドに位置する。Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径180cm×155cm、底部径160cm×132cm、深さ56cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・暗褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と思われる。

#### R D 29土坑

遺構（第20図、写真図版10）

〈位置・検出状況〉C 8 N02～N03グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径123cm×90cm、底部径95cm×68cm、深さ24cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅤ層を掘り込んでつくられており、西から東に緩く傾斜する。

〈埋土・堆積状況〉黒色土の単層である。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D 30土坑

遺構（第20図、写真図版11）

〈位置・検出状況〉D 9 J 08～K08グリッドに位置する。Ⅴ～Ⅵ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R A 01住居跡と重複する。新旧関係はR D 30土坑→R A 01住居跡である。北端で新しい柱穴状土坑に切られている。

〈規模・形態〉開口部径210cm、底部は径210cm×196cm、深さ106cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物（第46・106・154・162図、写真図版79・116・121）

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片（287）。

〈石器〉敲磨器A類（1164）・敲磨器B類（1224・1225）。

時期 出土遺物と遺構の重複関係から縄文時代前期と推定される。

### R D31土坑

遺構 (第21図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 C 6 I 23～J 23グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径140cm×130cm、底部径110cm×90cm、深さ62cm。平面形は不整な円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

### R D32土坑

遺構 (第21図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 C 6 I 21～J 21グリッドに位置する。IV層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径140cm×118cm、底部径125cm×100cm、深さ32cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒色土・黒褐色土で構成される。埋土2層に灰白色の火山灰が入り、十和田a降下火山灰であるとの鑑定結果を得ている。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、平安時代と推定される。

### R D33土坑

遺構 (第21図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 D 9 K 09～L 09グリッドに位置する。VII層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 R A 01住居跡と重複する。新旧関係はR D 33土坑→R A 01住居跡である。

〈規模・形態〉 開口部径160cm×110cm、底部径192cm×175cm、深さ80cmである。平面形は円形を呈する。底面はVIII層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黄褐色土・褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、遺構の重複関係から縄文時代前期と推定される。

### R D34土坑

遺構 (第21図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉 C 7 L 15～M 15グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径147cm×120cm、底部は径82cm×58cm、深さ64cmである。平面形は不整な円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

#### R D 35土坑

**遺構** (第22図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉C 7 J 16~K17グリッドに位置する。Ⅶ層でにぶい黄褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径91cm×82cm、底部径79cm×67cm、深さ30cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉にぶい黄褐色土・褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

#### R D 36土坑

**遺構** (第22図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉C 7 K17グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径140cm×103cm、底部径115cm×81cm、深さ50cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅥ層を掘り込んでつくられ、傾斜する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

#### R D 37土坑

**遺構** (第22図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉C 7 K16~K17グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径136cm×112cm、底部径100cm×80cm、深さ15cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅥ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は底部付近の立ち上がりが僅かに確認できる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

#### R D 38土坑

**遺構** (第22図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉C 7 K15グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかる。

〈重複関係〉R D 40土坑と重複する。新旧関係は不明である。



〈規模・形態〉開口部径172cm×(100)cm、底部径164cm×(90)cm、深さ44cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ゆるく湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

#### R D 39土坑

**遺構** (第22図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉C 7 J 12グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径124cm×(54)cm、底部径110cm×(47)cm、深さ20cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

**遺物** (第46・140図、写真図版106)

〈石器〉石鏃 (1002)。

**時期** 縄文時代の遺物が出土しているが、遺構の状況から近世以降と思われる。

#### R D 40土坑

**遺構** (第22図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉C 7 K 15グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R D 38土坑と重複する。新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉開口部径122cm×(92)cm、底部径120cm×(86)cm、深さ21cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、西から東で傾斜する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

**遺物** (第56・186図、写真図版140)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈金属製品〉鉄釘 (1406・1407・1408)。

〈その他〉炭化材が出土しており、樹種はナラであるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 近世以降と思われる。墓塚の可能性もある。

#### R D 41土坑

**遺構** (第23図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉C 8 O 07グリッドに位置する。Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R B 01掘立柱建物跡-PP3・6と重複し、切られる。R D 43との新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉開口部径200cm×(200)cm、底部は径90cm×(90)cm、深さ90cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、東から西へ傾斜する。壁は外傾する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・にぶい褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D42土坑

**遺構** (第23図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉 C 8 N09～O11グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。  
〈重複関係〉 R B01-PP12・PP13と重複する。新旧関係はR D42土坑→R B01建物跡-PP12・PP13である。  
〈規模・形態〉 開口部径370cm×300cm、底部は径325cm×242cm、深さ66cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、西から東に傾斜する。壁は外傾する。  
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黒色土・明黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。  
〈出土遺物〉 なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D43土坑

**遺構** (第23図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉 C 8 N07～O07グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。  
〈重複関係〉 R B01掘立柱建物跡-PP3・6と重複し、切られる。R D41との新旧関係は不明である。  
〈規模・形態〉 開口部径230cm×(130)cm、底部は径170cm×(80)cm、深さ66cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾する。  
〈埋土・堆積状況〉 おもに褐色土・明褐色土で構成される。人為堆積と思われる。  
〈出土遺物〉 なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

#### R D44土坑

**遺構** (第24図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉 C 8 X21グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。  
〈重複関係〉 R D03土坑と重複する。新旧関係は、R D44土坑→R D03土坑である。  
〈規模・形態〉 開口部径70cm×(60)cm、底部は径18cm、深さ30cmである。平面形は不整形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、緩く傾斜する。壁は外傾して立ち上がる。  
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒色土で構成される。自然堆積と思われる。  
〈出土遺物〉 なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明である。

#### R D45土坑

**遺構** (第24図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉 C 8 M15グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。  
〈重複関係〉 なし。  
〈規模・形態〉 開口部径120cm×98cm、底部は径70cm×34cm、深さ40cmである。平面形は不整な楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明である。

#### R D 47土坑

**遺構** (第24図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉C 6 F 08グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径92cm×84cm、底部は径62cm×36cm、深さ34cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明である。

#### R D 49土坑

**遺構** (第24図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉E 2 H 06～I 07グリッドに位置する。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径176cm×144cm、底部は径192cm×162cm、深さ96cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅥ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第56・106・160図、写真図版79・120)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (288)。

〈石器〉敲磨器A類 (1210)。

**時期** 縄文時代の遺物が出土しているが、詳細は不明で、近世以降の可能性もある。

#### R D 50土坑

**遺構** (第17図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉D 9 N 07～O 07グリッドに位置する。北側半分は調査区域外にかかり、南側半分の検出である。R D 14土坑の精査の後、断面・平面の観察から重複遺構として認識したものである。

〈重複関係〉R D 14土坑→R D 50土坑 の関係がある。

〈規模・形態〉開口部径160cm、底部径130cm×(100)cm、深さ92cmである。平面形は円形を呈するものと推定され、底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾し、断面形はフラスコ状である。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 重複関係と出土遺物から、縄文時代と推定される。



### R D52土坑

**遺構** (第25図、写真図版15・17)

〈位置・検出状況〉 F 7 E12～F12グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。南側は、試掘溝により掘られている。

〈重複関係〉 南側でR D51墓壙と重複し、新旧関係はR D52土坑→R D51墓壙である。

〈規模・形態〉 開口部径190cm×116cm、底部径190cm×(112)cm、深さ86cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土・褐色土・にぶい灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第46・106図、写真図版79)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：破片 (289・290)。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と推定される。

### R D53土坑

**遺構** (第25図、写真図版15・16・17)

〈位置・検出状況〉 F 7 F13～F14グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径216cm×174cm、底部径240cm×210cm、深さ106cmで、平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土・黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第47・58・59・106・107・142・147・157・163図、写真図版28・29・79・80・107・110・118・122)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体 (3～10)、破片 (291～300)。

〈石器〉 石匙 (1043)、不定形石器 (1100・1101・1102)、敲磨器A類 (1185)、敲磨器B類 (1226・1227・1228・1229・1230・1231)。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

### R D54土坑

**遺構** (第26図、写真図版15・17)

〈位置・検出状況〉 F 7 G12グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径184cm×110cm、底部径230cm×216cm、深さ174cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦であるが、中央付近に径42cm×32cmの副穴をもち、周囲に幅約10cm、深さ2cmほどの溝状の施設を3方向に伴う。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・にぶい黄橙色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第48・59・60・107・108・147・164図、写真図版29・30・80・110・122・123)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：立体（11～18）、破片（301～312）。

〈石器〉不定形石器（1103）、敲磨器B類（1232・1233・1234）。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

#### R D55土坑

**遺構**（第27図、写真図版15・17）

〈位置・検出状況〉F 7 H12～H13グリッドに位置する。Ⅷ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側にR D56土坑が隣接する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径164cm×130cm、底部は径170cm×160cm、深さ94cm。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・にぶい黄橙色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物**（第48・60・108・140・142・147・164図、写真図版30・80・81・106・107・110・123）

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：立体（19・20）、破片（313～321）。

〈石器〉石鏃（1003）、石匙（1044）、不定形石器（1104）・敲磨器B類（1235・1236）。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

#### R D56土坑

**遺構**（第27図、写真図版16・17）

〈位置・検出状況〉F 7 H13～I 13グリッドに位置する。Ⅷ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側にR D55土坑が隣接する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径116cm×100cm、底部は径98cm×96cm、深さ38cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・暗褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物**（第49・61・109図、写真図版31・81）

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：立体（21）、破片（322～325）。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と推定される。

#### R D57土坑

**遺構**（第27図、写真図版16・17）

〈位置・検出状況〉F 6 K24グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかり、東側の大部分は削平を受けている。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径72cm×(28)cm、底部は径138cm×(24)cm、深さ118cmで、平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土・灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第49・109図、写真図版81)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (326・327)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

#### R D 58土坑

遺構 (第28図、写真図版16・17)

〈位置・検出状況〉F 6 K 25グリッドに位置する。Ⅷ層で黒色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかり、東側の大部分は削平を受けている。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径80cm、底部は径180cm×(60)cm、深さ103cmで、平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、中央付近に径55×19cm、深さ8cmの副穴を伴う。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黄褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第49・109図、写真図版81)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (328・329)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

#### R D 59土坑

遺構 (第28図、写真図版16・17)

〈位置・検出状況〉F 7 J 01グリッドに位置する。Ⅷ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかり、東側の大部分は削平を受けている。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm、底部は径187cm×(62)cm、深さ98cmで、平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、中央付近が僅かに窪む。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土・にぶい黄褐色土・灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はないが、縄文時代前期と推定される。

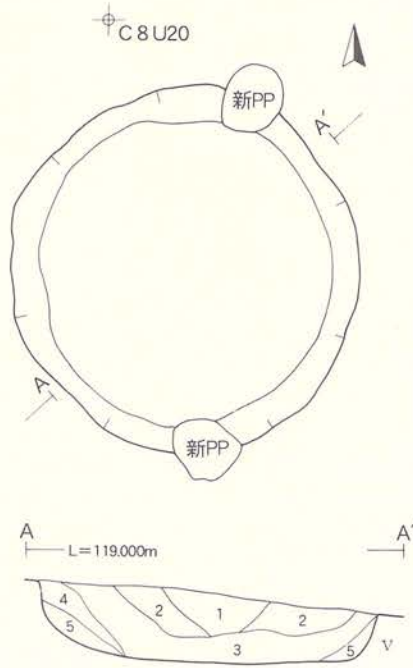
#### R D 60土坑

遺構 (第28図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉F 7 H 09グリッドに位置する。Ⅷ層で黒色土の広がりとして検出された。



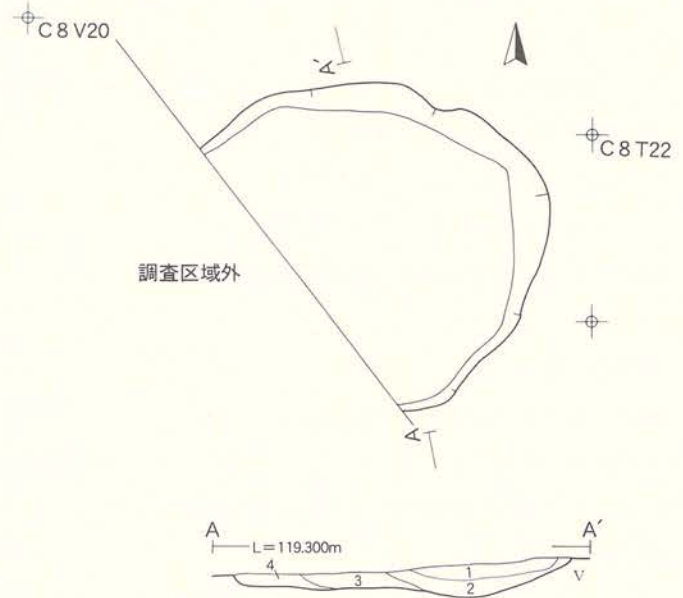
R D 01



RD01 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
3	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石5%混入。
4	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石30%混入。
5	7.5YR4/4 褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。

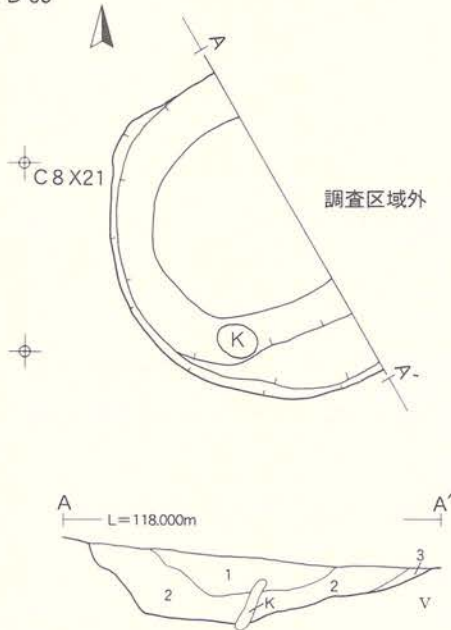
R D 02



RD02 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石5%混入。
3	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
4	7.5YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石50%混入。

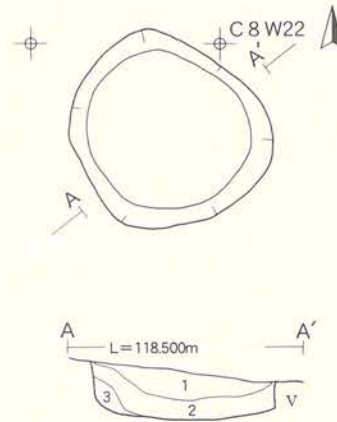
R D 03



RD03 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
2	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中。

R D 04



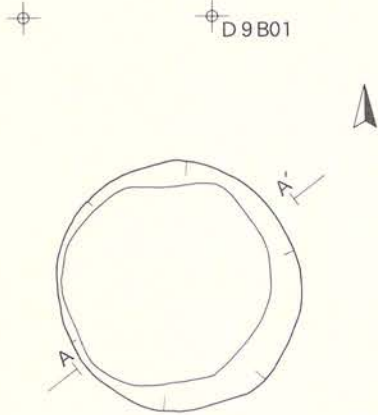
RD04 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	7.5YR4/4 褐色	シルト 南部浮石 締まり中、黒色土混入 (崩落土)。

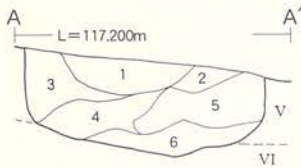


第14図 RD01・02・03・04土坑

R D 05



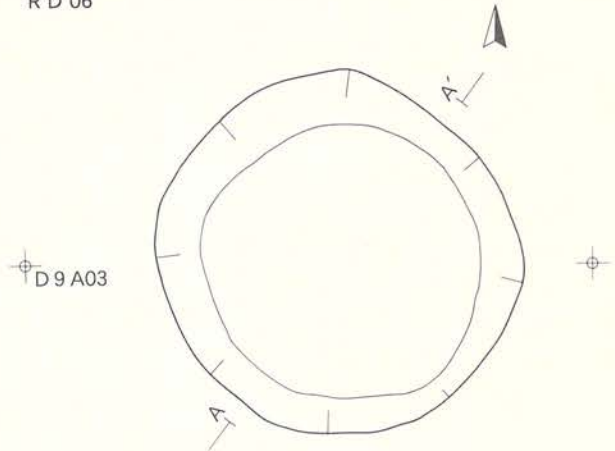
D 9 B 01



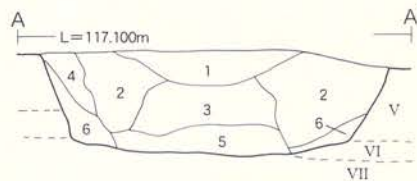
RD05 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石5%混入。
2	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石5%混入。
3	10YR2/1 黒色	シルト 締まり疎, 南部浮石5%混入。
4	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石20%混入。
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり疎, 南部浮石10%混入。

R D 06



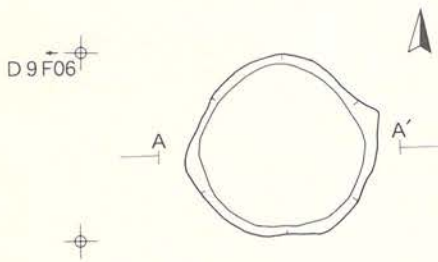
D 9 A 03



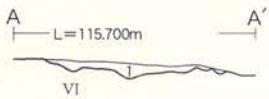
RD06 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。
2	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
3	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。
4	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石30%混入。
5	7.5YR2/3 極暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石5%混入。
6	7.5YR4/4 褐色	南部浮石 締まり疎 (崩落土)。

R D 08



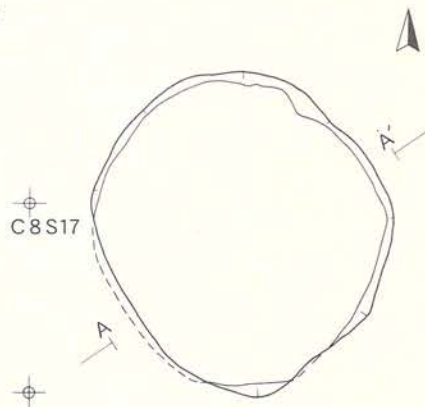
D 9 F 06



RD08 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。

R D 09

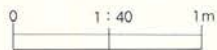


C 8 S 17



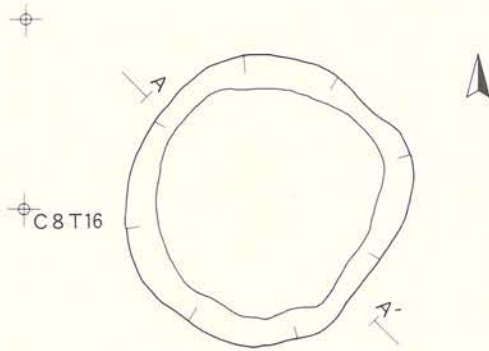
RD09 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり疎, 南部浮石10%混入。
2	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中, 中撻火山灰?混入。
4	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
5	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
6	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり疎, 南部浮石1%混入。

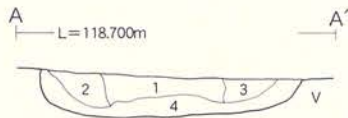


第15図 RD05・06・08・09土坑

RD 10



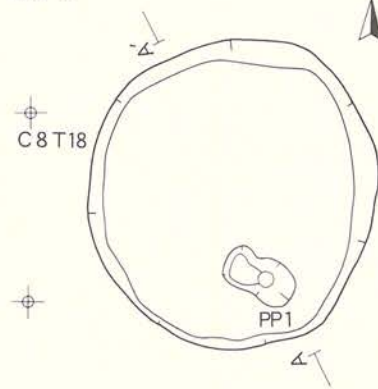
C 8 T 16



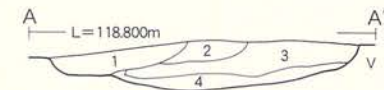
RD10 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中。
2	2.5YR3/3 暗オリーブ褐色	シルト 締まり中、中撈火山灰?混入。
3	2.5YR4/3 オリーブ褐色	シルト 締まり中、中撈火山灰?混入。
4	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中。

RD 11



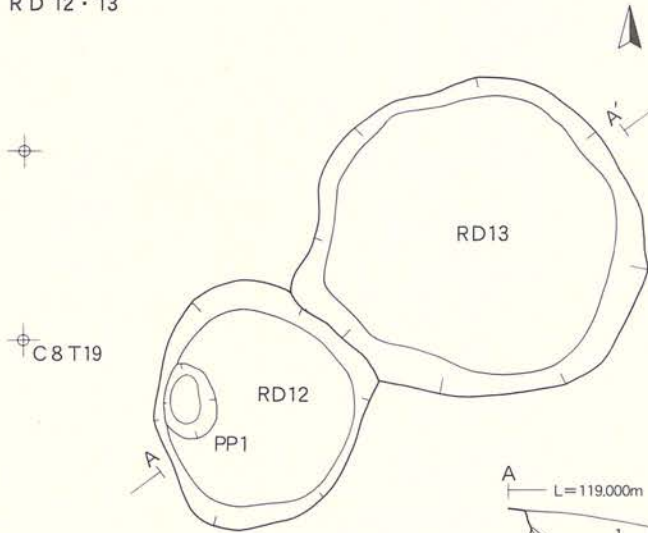
C 8 T 18



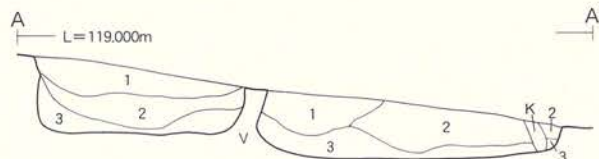
RD11 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石5%混入。
2	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石5%混入。
4	7.5YR3/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。

RD 12・13



C 8 T 19

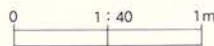


RD12 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
2	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
3	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石3%混入。

RD13 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR1.7/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
2	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
3	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。



RD11

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	25×23	28	

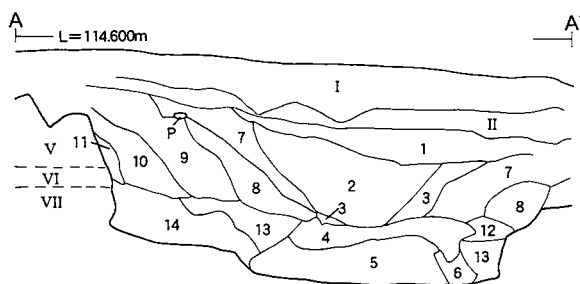
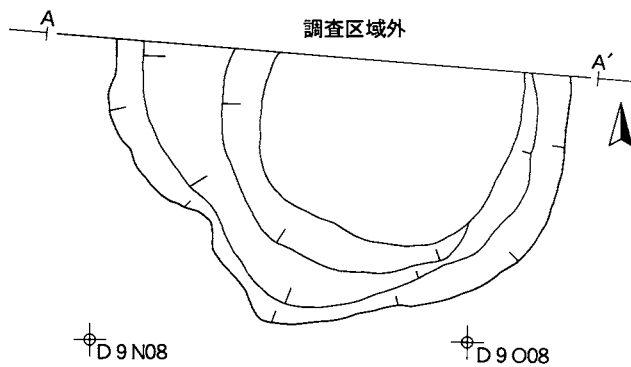
RD12

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	41×39	15	

第16図 RD10・11・12・13土坑



RD 14・50

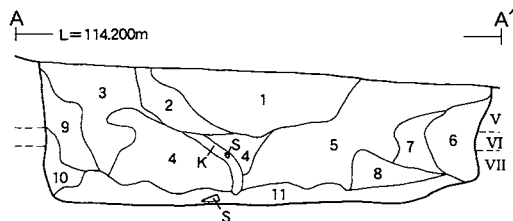
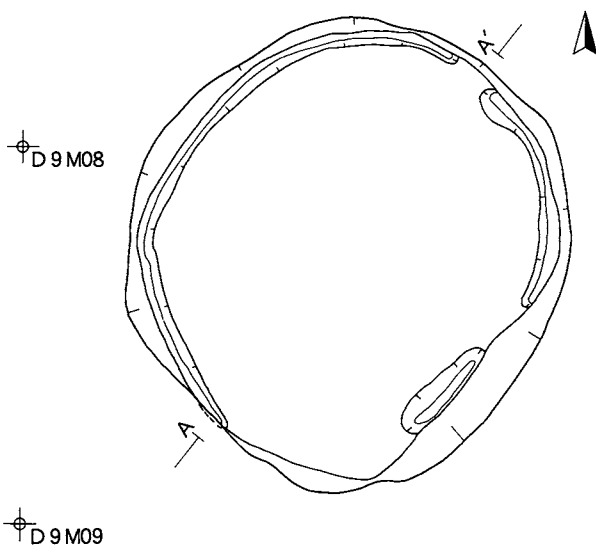


RD14・50 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
2	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
3	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
4	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中。
5	7.5YR4/6 褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
6	10YR4/6 褐色	南部浮石 締まり中、黒褐色土混入。
7	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中。
8	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
9	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中。
10	7.5YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
11	7.5YR4/6 褐色	粘土質シルト 締まり中。
12	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
13	10YR4/3 明黄褐色	ローム 締まり中(VI層崩落土)。
14	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中(VII層崩落土)。

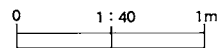
層位1~5層: RD14 層位7~14: RD50

RD 15



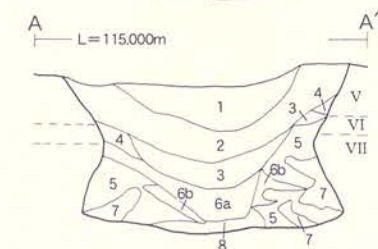
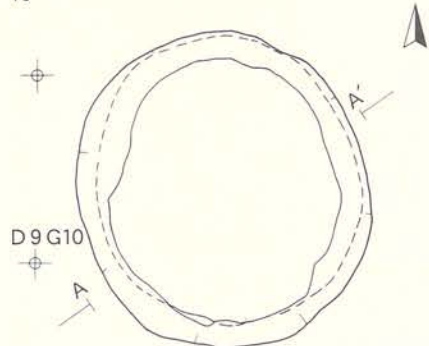
RD15 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石2%混入。
2	2.5YR3/3 黒色	シルト 締まり中、南部浮石2%混入。
3	2.5YR3/2 暗オリーブ褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
4	2.5YR4/3 オリーブ褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
5	10YR2/3 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
6	7.5YR4/6 褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
7	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
8	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
9	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
10	10YR4/3 にがい黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
11	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中。



第17図 RD14・15・50土坑

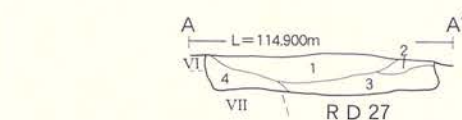
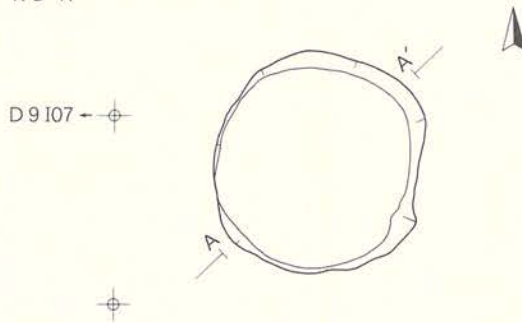
RD 16



RD16 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石5%混入。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。
3	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。
4	7.5YR5/8 明褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
5	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
6a	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり疎, 南部浮石5%混入。
6b	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり疎。
7	10YR4/3 にぶい黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
8	5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎。

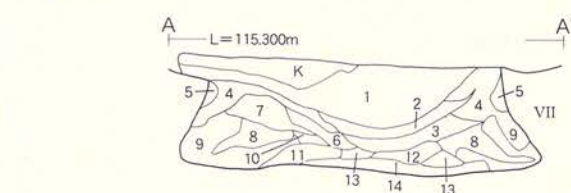
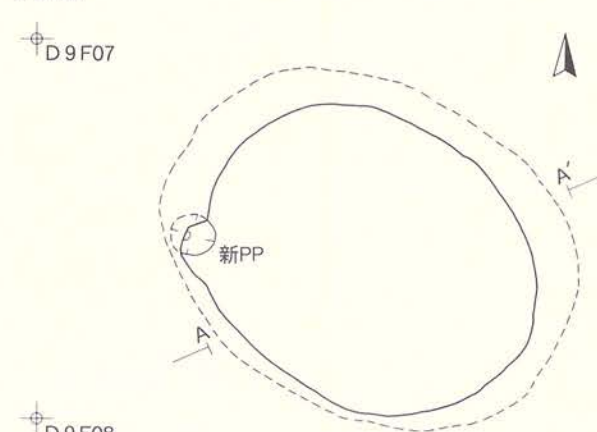
RD 17



RD17 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石20%混入。
2	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中, 南部浮石5%混入, VII層起源。
3	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。
4	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中, 南部浮石1%混入, VII層起源。

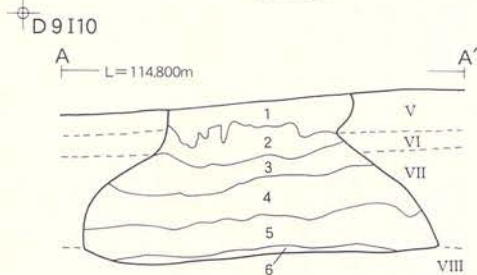
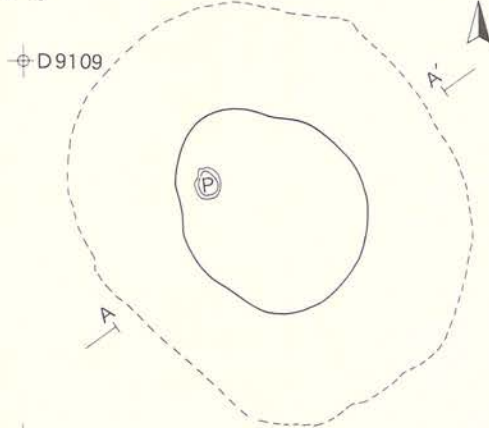
RD 18



RD18 A-A'

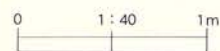
層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
2	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中。
3	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中。
4	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
5	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中。
6	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
7	7.5YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
8	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
9	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
10	10YR3/4 暗褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
11	7.5YR4/4 褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
12	10YR3/3 暗褐色	ローム 締まり中。
13	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中。
14	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中。

RD 19



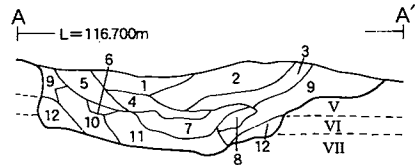
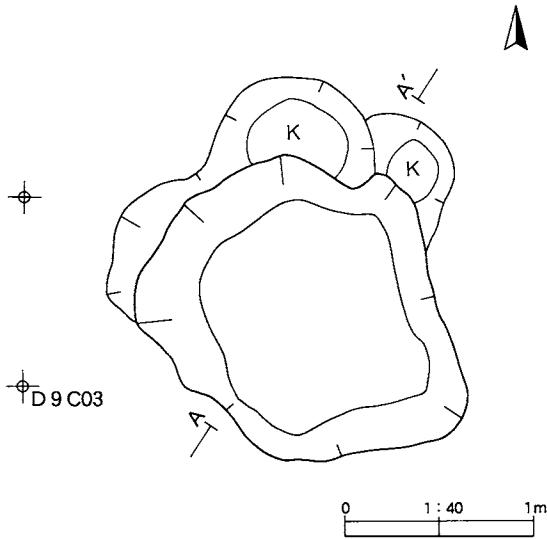
RD19 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密, 南部浮石1%混入。
3	10YR4/6 褐色	ローム 締まり密。
4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト 締まり密, 南部浮石1%混入。
5	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり密, 南部浮石1%混入。
6	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり疎, 南部浮石微量。



第18図 RD16・17・18・19土坑

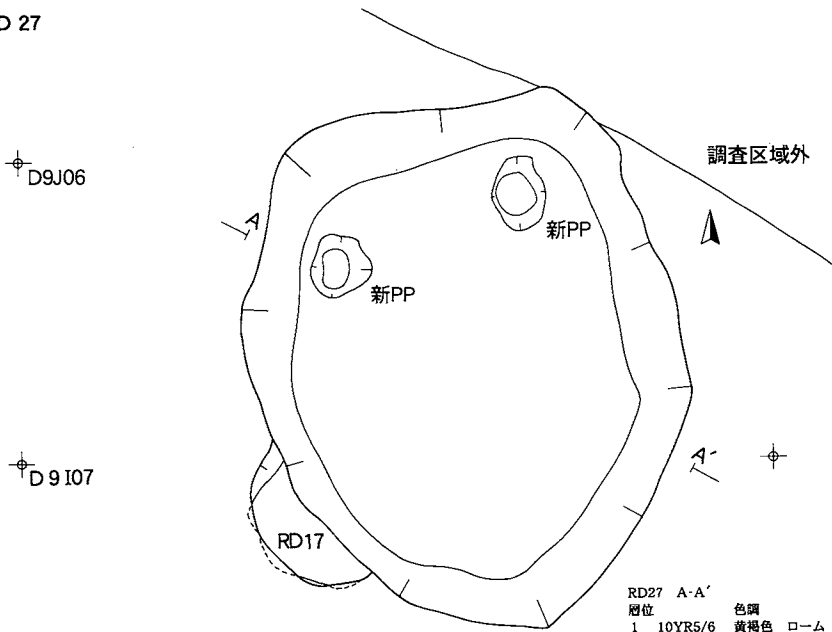
RD 20



RD20 A-A'

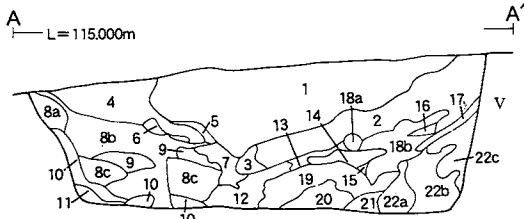
層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒色	シルト 締まり中。
2	7.5YR5/6 明褐色	南部浮石 締まり中。
3	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、褐色土混入。
4	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中。
5	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
6	7.5YR5/8 明褐色	南部浮石 締まり中。
7	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中。
8	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
9	7.5YR7/8 橙褐色	南部浮石 締まり中。
10	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中。
11	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中。
12	10YR3/1 黒褐色	ローム 締まり中。

RD 27



RD27 A-A'

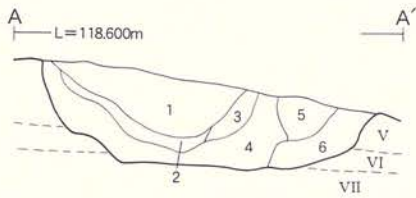
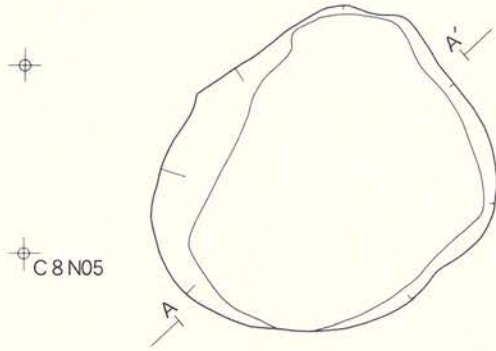
層位	色調	土性
1	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密。
2	10YR6/8 明黄褐色	南部浮石 締まり中。
3	10YR4/6 褐色	シルト 締まり中。
4	2.5YR6/3 黄褐色	南部浮石 締まり中。
5	7.5YR4/4 褐色	シルト 締まり疎。
6	7.5YR4/6 褐色	シルト 締まり疎。
7	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり密。
8a	10YR4/6 褐色	南部浮石 締まり中。
8b	10YR6/4 にぶい黄褐色	南部浮石 締まり中。
8c	2.5YR5/4 黄褐色	南部浮石 締まり中。
9	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
10	2.5YR4/2 暗灰黄色	ローム 締まり中。
11	2.5YR4/3 オリーブ褐色	ローム 締まり中。
12	10YR4/2 灰褐色	ローム 締まり中。
13	7.5YR5/6 明褐色	シルト 締まり中。
14	2.5YR4/4 オリーブ褐色	砂質 締まり中。
15	2.5YR4/3 オリーブ褐色~2.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
16	10YR2/3 黒色	シルト 締まり疎。
17	7.5YR4/3 褐色	シルト 締まり中。
18a	10YR4/6 褐色	ローム 締まり密。
18b	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり中。
19	2.5YR5/3 黄褐色	砂質 締まりやや密。
20	10YR5/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり密。
21	2.5YR4/3 オリーブ褐色~2.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
22a	10YR5/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり密。
22b	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まり密。
22c	7.5YR4/4 褐色	シルト 締まりやや密。



第19図 RD20・27土坑



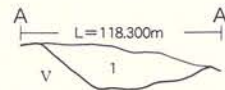
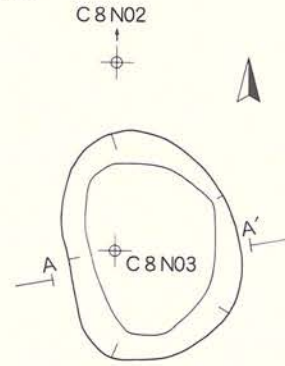
R D 28



RD28 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
2	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	7.5YR2/3 極暗褐色	シルト 締まり中。
4	7.5YR4/6 褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
5	10YR3/3 暗褐色	南浮石 締まり中(崩落土)。
6	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。

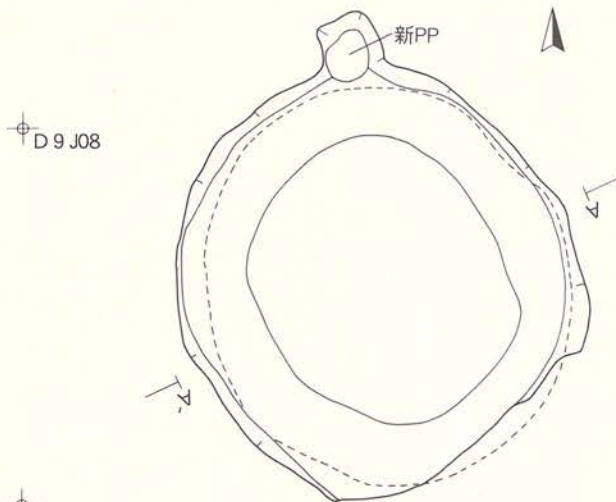
R D 29



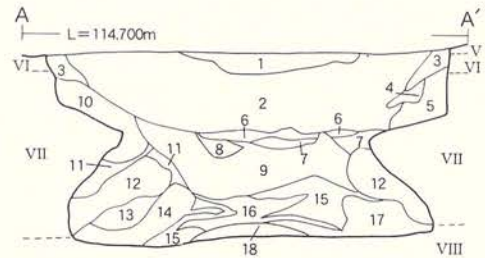
RD29 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。

R D 30

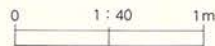


D 9 J 09



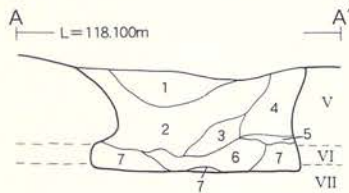
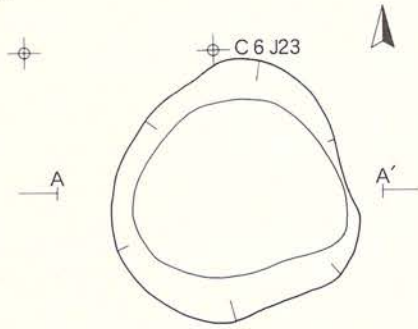
RD30 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
4	10YR5/8 黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
5	7.5YR4/6 褐色	ローム 締まり中、南部浮石50%混入。
6	2.5YR4/6 オリーブ褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
7	10YR3/3 暗褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
8	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石50%混入。
9	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
10	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
11	10YR6/8 明黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
12	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり密、南部浮石1%混入。
13	10YR6/8 明黄褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
14	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり密、南部浮石1%混入。
15	7.5YR5/8 明褐色	南部浮石 締まり中(崩落土)。
16	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
17	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり密、南部浮石1%混入。
18	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中。



第20図 RD28・29・30土坑

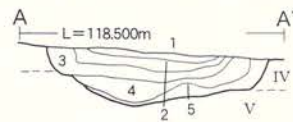
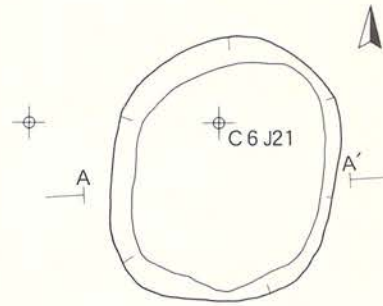
RD 31



RD31 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	10YR3/2 黒褐色~10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質 締まり中、南部浮石1%混入。
4	10YR5/8 黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
5	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
6	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
7	10YR3/3 暗褐色~10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり疎。

RD 32

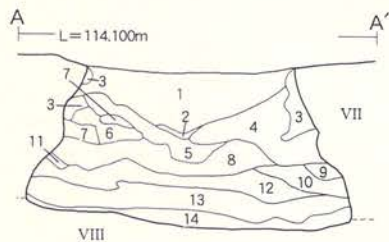
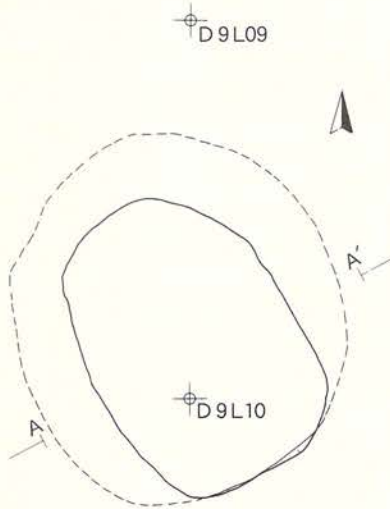


RD32 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石20%混入。
2	10YR1.7/1 灰白色	火山灰 締まり密。
3	7.5YR2/3 黒色	シルト 締まり中、南部浮石5%混入。
4	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
5	10YR5/8 黄褐色	南部浮石 締まり疎 (崩落土)。

RD 34

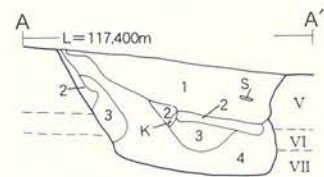
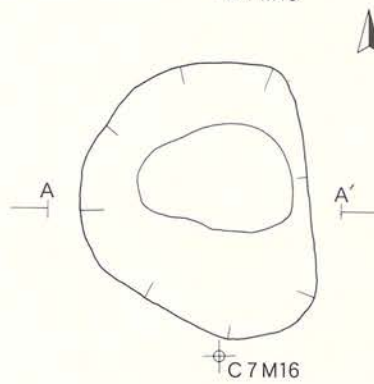
RD 33



RD33 A-A'

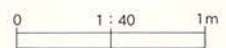
層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色~10YR5/6 黄褐色	シルト 締まり疎、南部浮石10%混入。
2	10YR5/8 黄褐色	南部浮石 締まり密 (崩落土)。
3	10YR4/6 褐色	ローム 締まり密。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
6	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中、黒褐色土混入。
7	10YR5/8 黄褐色	南部浮石 締まり密 (崩落土)。
8	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
9	10YR6/8 明黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
10	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
11	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 締まり密。
12	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
13	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中。
14	10YR3/2 黒褐色~10YR4/6 褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。

C 7 M15

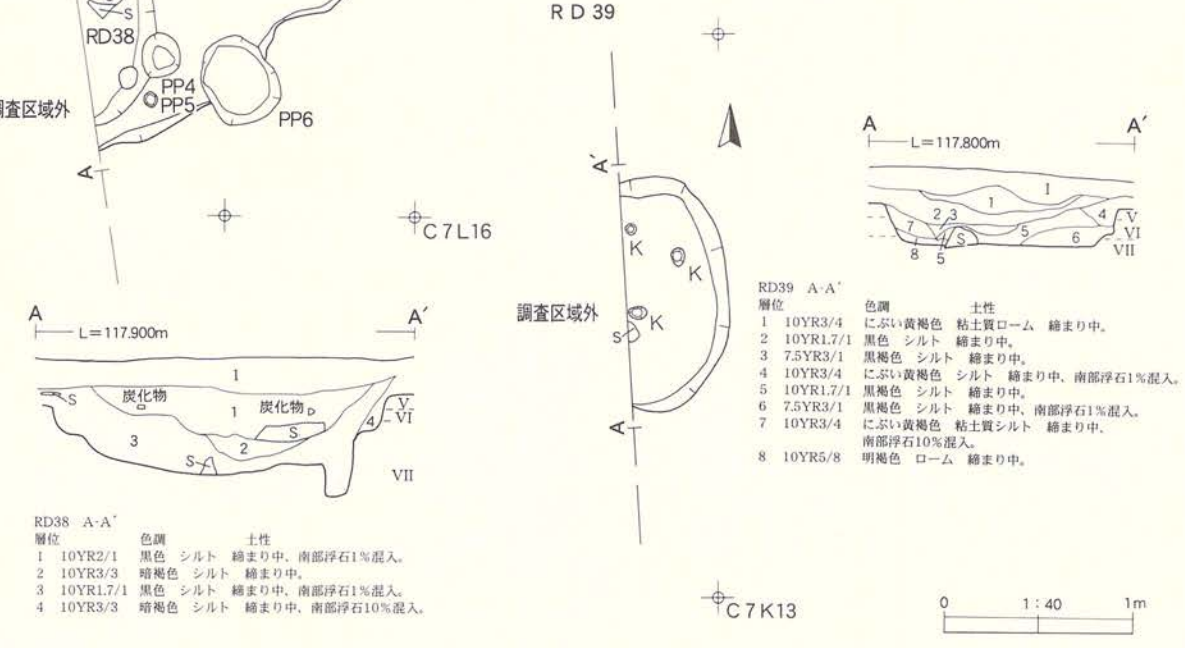
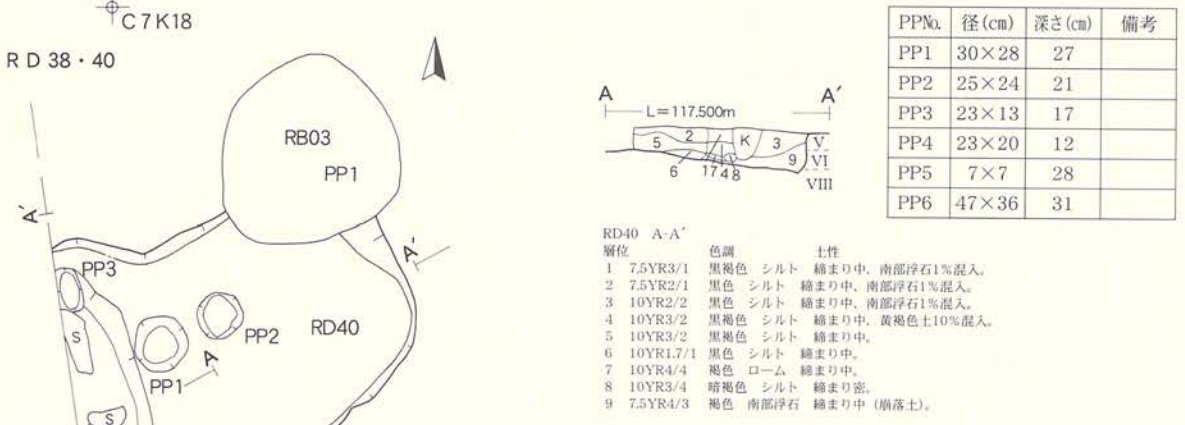
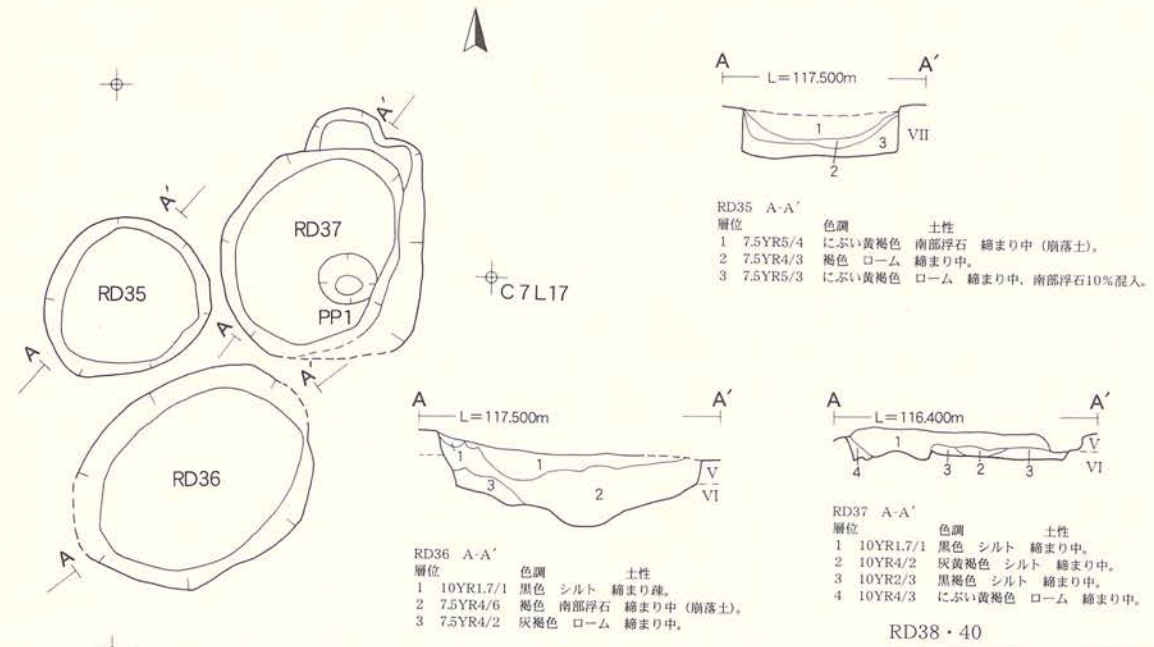


RD34 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入、炭化物1%混入。
2	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石50%混入。
3	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
4	10YR3/4 黒褐色	粘土質シルト 締まり中。



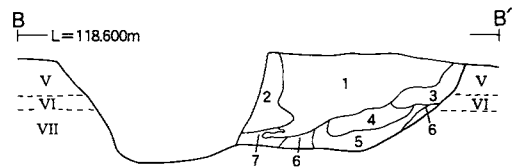
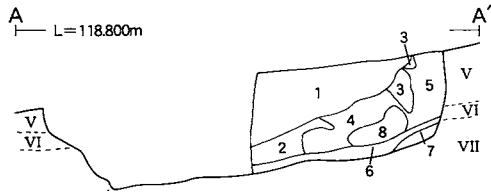
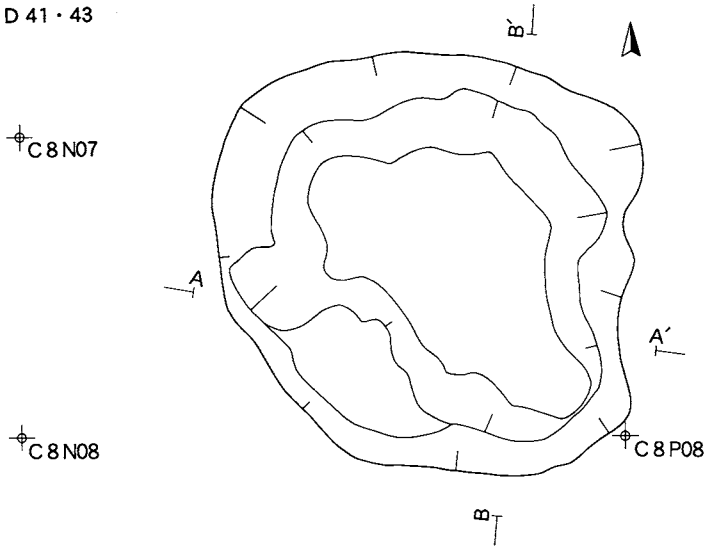
第21図 RD31・32・33・34土坑



第22図 RD35・36・37・38・39・40土坑



RD 41・43



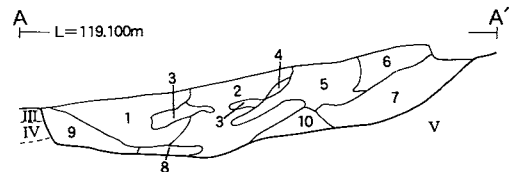
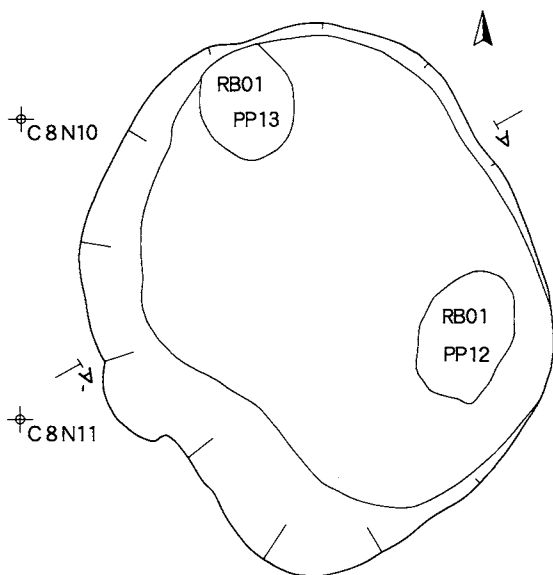
RD41・43 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
2	7.5YR4/3 褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
3	7.5YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
4	7.5YR5/6 明褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
5	7.5YR6/8 褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
6	7.5YR6/6 褐色	ローム 締まり疎。
7	7.5YR5/4 にぶい褐色	ローム 締まりやや疎。
8	7.5YR5/3 にぶい褐色~7.5YR4/3 褐色	ローム 締まり疎、南部浮石1%混入。

RD41・43 B-B'

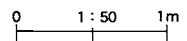
層位	色調	土性
1	7.5YR4/3 褐色	粘土質シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	7.5YR6/6 褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質ローム 締まり中、南部浮石10%混入。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
5	7.5YR4/4 褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
6	7.5YR5/8 明褐色	締まりやや疎。
7	7.5YR7/6 褐色	ローム 締まり疎。

RD 42

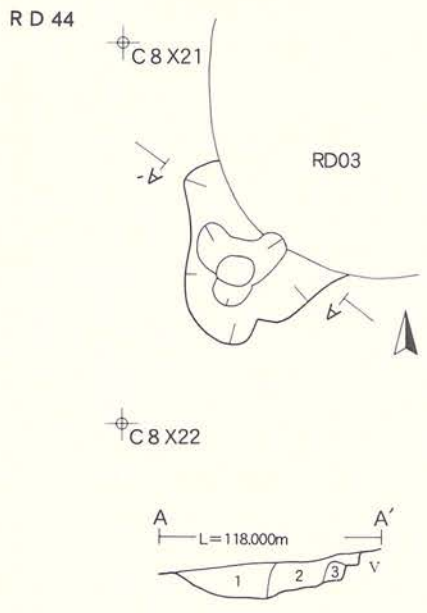


RD42 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入、中礫火山灰?混入。
2	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎、南部浮石10%混入。
4	10YR6/6 明黄褐色	シルト 締まり中、黄褐色土10%混入。
5	10YR5/6 黄褐色	南部浮石 締まり中 (崩落土)。
6	10YR4/4 褐色	南部浮石 締まり中。
7	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中。
8	10YR6/6 明黄褐色	南部浮石 締まり密 (崩落土)。
9	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	南部浮石 締まり密 (崩落土)、黒色土混入。
10	10YR6/6 明黄褐色	南部浮石 締まり密 (崩落土)。

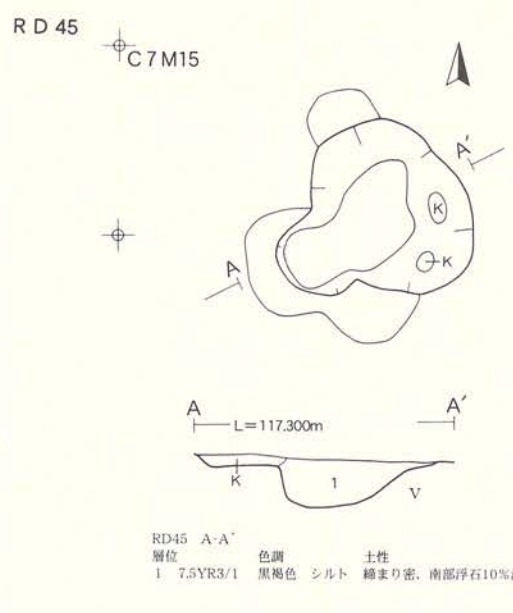


第23図 RD41・42・43土坑



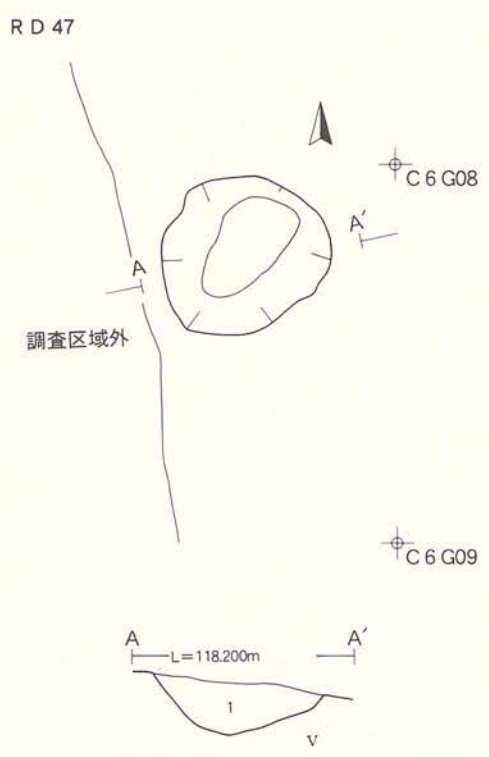
RD44 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり密、南部浮石1%混入。
2	10YR2/1 黒色	シルト 締まり疎、南部浮石10%混入。
3	7.5YR5/6 明黄褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。



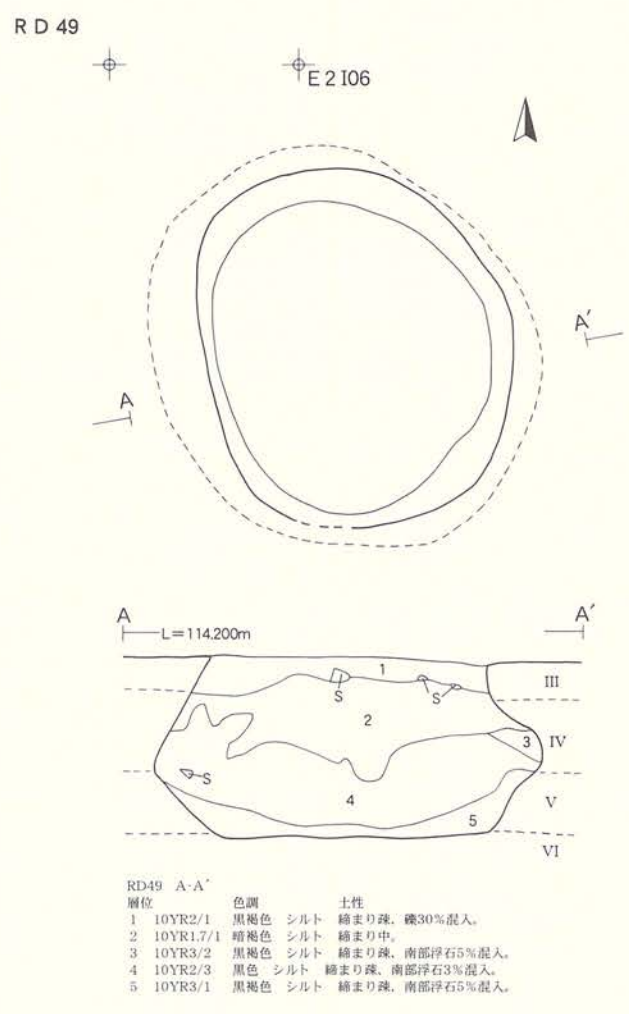
RD45 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり密、南部浮石10%混入。



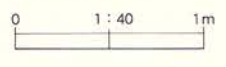
RD47 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり密、南部浮石10%混入。



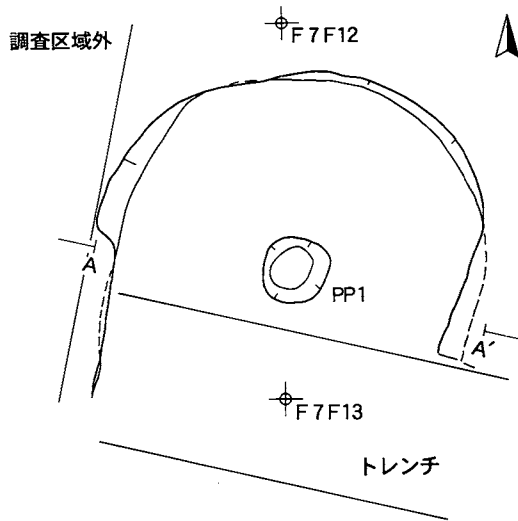
RD49 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒褐色	シルト 締まり疎、礫30%混入。
2	10YR1.7/1 暗褐色	シルト 締まり中。
3	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり疎、南部浮石5%混入。
4	10YR2/3 黒色	シルト 締まり疎、南部浮石3%混入。
5	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎、南部浮石5%混入。



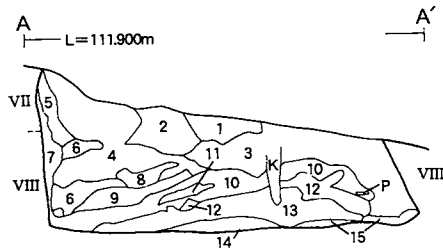
第24図 RD44・45・47・49土坑

RD52



RD52

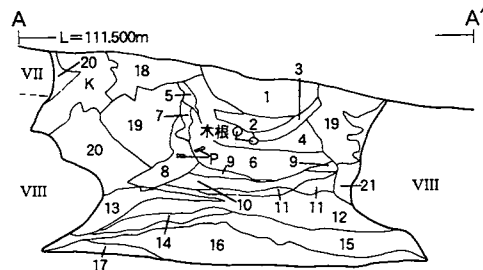
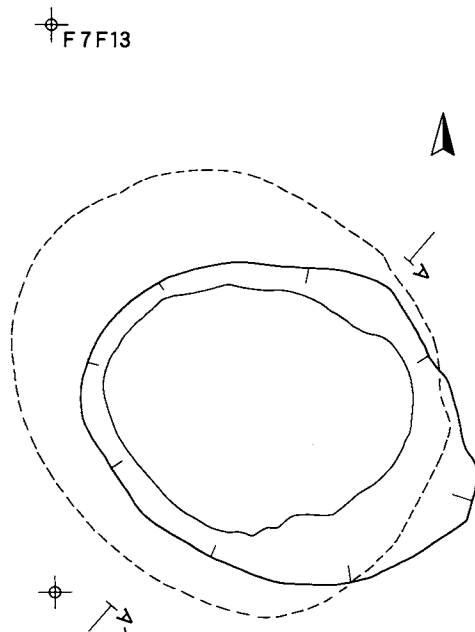
PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	35×33	14	



RD52 A-A'

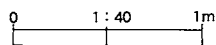
層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
3	10YR4/2 灰黄褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
4	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中。
5	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
6	10YR6/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
7	10YR6/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
8	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中。
9	10YR3/4 暗褐色	ローム 締まり中。
10	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中、南部浮石1%混入。
11	10YR5/2 灰黄褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
12	10YR4/3 褐色	ローム 締まり中、南部浮石1%混入。
13	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
14	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
15	10YR4/2 灰黄褐色	シルト 締まり中。

RD53



RD53 A-A'

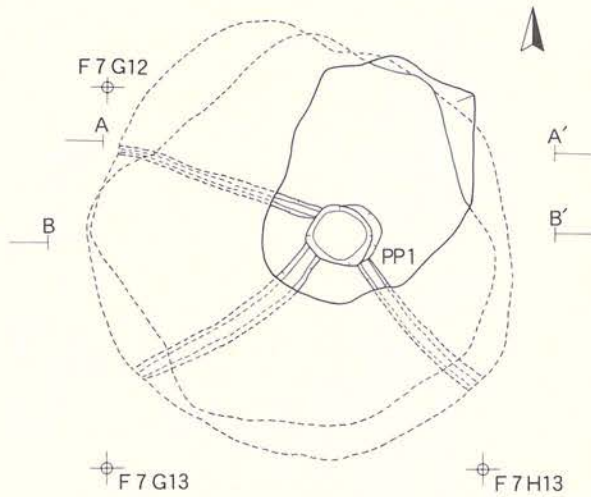
層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。
2	7.5YR2/3 極暗褐色	シルト 締まり中、炭化物1%混入。
3	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。
4	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%・炭化物10%混入。
5	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
6	10YR4/2 にぶい黄褐色	ローム 締まり中、南部浮石10%・炭化物10%混入。
7	10YR6/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
8	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
9	7.5YR4/4 褐色	締まり中、炭化物5%混入。
10	10YR2/3 黒褐色	締まり中、炭化物20%混入。
11	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中。
12	10YR2/3 黒褐色	締まり中、炭化物20%混入。
13	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
14	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
15	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中、炭化物1%混入。
16	10YR5/2 灰黄褐色	砂質シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
17	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
18	10YR5/3 にぶい黄褐色	締まり中、炭化物1%混入。
19	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中。
20	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中。
21	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。



第25図 RD52・53土坑

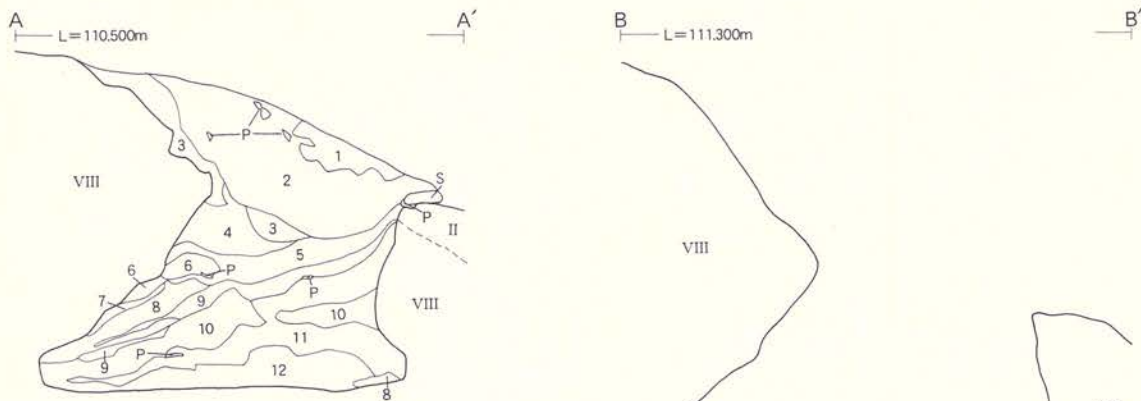


RD 54



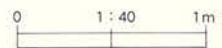
RD54

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	42×32	22	



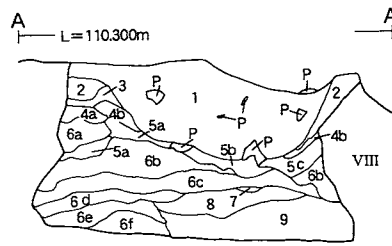
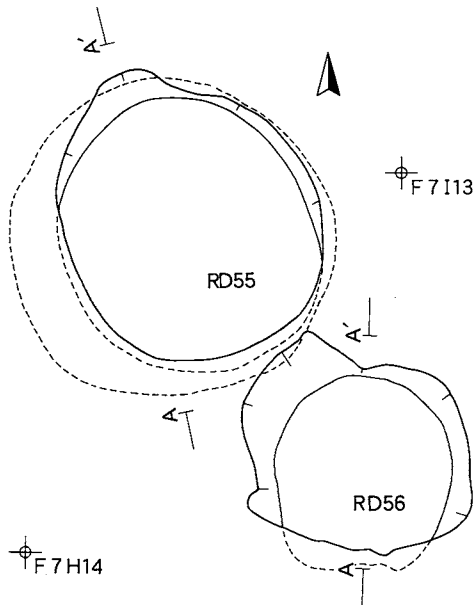
RD54 A-A'

- | 層位 | 色調             | 土性                        |
|----|----------------|---------------------------|
| 1  | 10YR6/4 にぶい黄橙色 | ローム 締まり中、南部浮石1%混入。        |
| 2  | 10YR2/2 黒褐色    | シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物10%混入。 |
| 3  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | ローム 締まり中、炭化物1%混入。         |
| 4  | 10YR3/3 暗褐色    | ローム 締まり中、炭化物1%混入。         |
| 5  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | ローム 締まり中、炭化物1%混入。         |
| 6  | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり密。                  |
| 7  | 10YR2/2 黒褐色    | シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。  |
| 8  | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり密。                  |
| 9  | 10YR2/2 黒褐色    | シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。  |
| 10 | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり密。                  |
| 11 | 10YR5/1 褐灰色    | 粘土質シルト 締まり密、炭化物1%混入。      |
| 12 | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり密。                  |

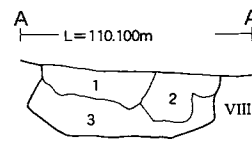


第26図 RD54土坑

R D 55・56

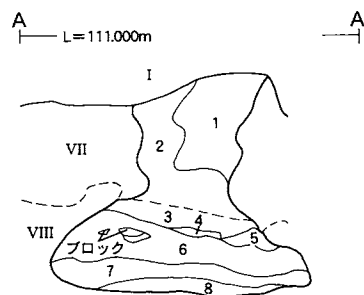
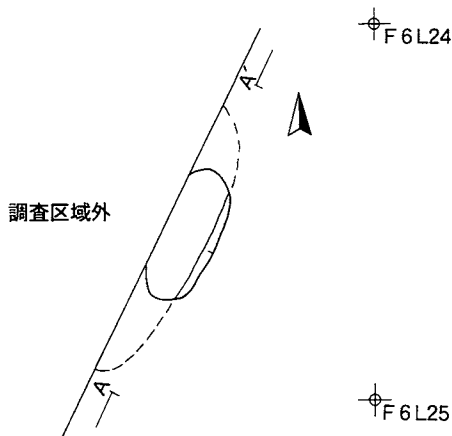


- RD55 A-A'
- | 層位 | 色調             | 土性                                    |
|----|----------------|---------------------------------------|
| 1  | 10YR3/2 黒褐色    | シルト 締まり疎、南部浮石10%混入。                   |
| 2  | 10YR7/3 にぶい黄褐色 | シルト 締まり中、南部浮石1%混入。                    |
| 3  | 10YR3/3 暗褐色    | シルト 締まり中、炭化物1%混入。                     |
| 4  | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | シルト 締まり中、南部浮石1%混入、黒褐色土混入。             |
| 5  | 10YR4/2 灰黄褐色   | 締まり中、南部浮石1%混入。                        |
| 6  | 10YR7/2 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中、南部浮石1%混入 (暗褐色土が塊状に入り、a~fに細分)。 |
| 7  | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中。                              |
| 8  | 10YR6/2 灰黄褐色   | 砂質 締まり中。                              |
| 9  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中、炭化物1%混入。                      |

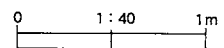


- RD56 A-A'
- | 層位 | 色調             | 土性                 |
|----|----------------|--------------------|
| 1  | 10YR2/2 黒褐色    | シルト 締まり中、南部浮石1%混入。 |
| 2  | 10YR3/1 極暗褐色   | シルト 締まり中、炭化物5%混入。  |
| 3  | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中。           |

R D 57

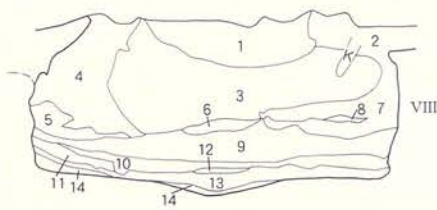
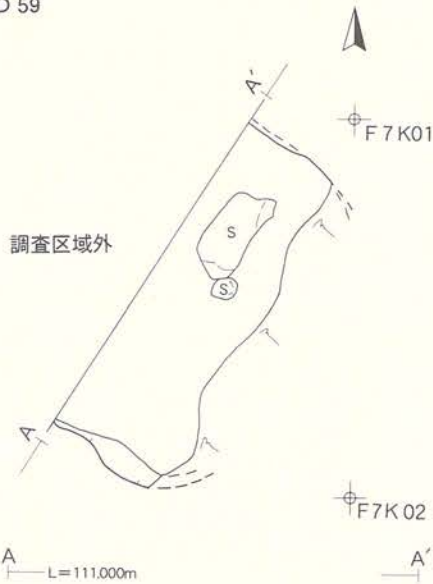


- RD57 A-A'
- | 層位 | 色調                         | 土性                            |
|----|----------------------------|-------------------------------|
| 1  | 10YR6/4 にぶい黄褐色~10YR3/4 暗褐色 | シルト 締まり中。                     |
| 2  | 10YR3/4 暗褐色                | シルト 締まり中。                     |
| 3  | 10YR6/4 にぶい黄褐色             | 砂質 締まりやや密。                    |
| 4  | 10YR5/2 灰黄褐色               | シルト 締まりやや密。                   |
| 5  | 10YR5/2 灰黄褐色               | シルト 締まり中。                     |
| 6  | 10YR3/4 暗褐色                | シルト 締まり中、南部浮石3%・にぶい黄褐色ブロック混入。 |
| 7  | 10YR5/2 灰黄褐色               | 砂質 締まりやや密。                    |
| 8  | 10YR4/2 灰黄褐色               | シルト 締まり中。                     |



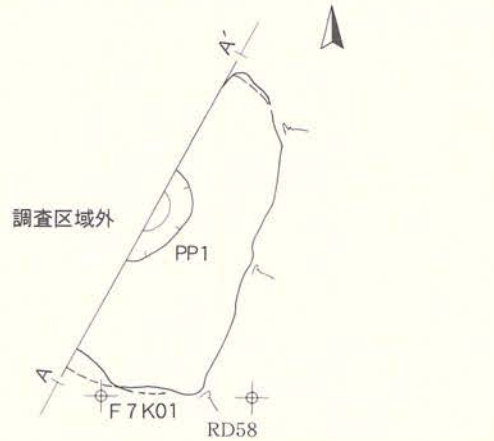
第27図 RD55・56・57土坑

RD 59

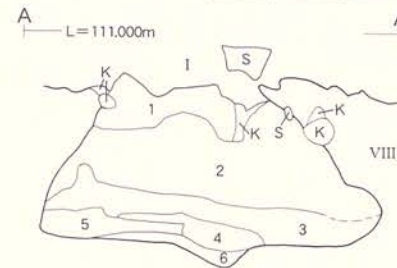


- RD59 A-A'
- | 層位 | 色調              | 土性                  |
|----|-----------------|---------------------|
| 1  | 10YR4/4 褐色      | シルト 締まり中, 南部浮石3%混入。 |
| 2  | 10YR5/6 黄褐色     | シルト 締まり密。           |
| 3  | 10YR3/4 暗褐色     | シルト 締まり中。           |
| 4  | 10YR4/4 褐色      | シルト 締まり中, 南部浮石3%混入。 |
| 5  | 10YR6/3 にぶい黄橙色  | 砂質 締まりやや密。          |
| 6  | 10YR5/6 黄褐色     | ローム 締まりやや密。         |
| 7  | 10YR6/4 にぶい黄褐色  | 砂質 締まりやや密。          |
| 8  | 10YR5/4 にぶい黄褐色  | 砂質シルト 締まりやや密。       |
| 9  | 10YR4/3 にぶい黄褐色  | 砂質シルト 締まりやや密。       |
| 10 | 10YR7/4 にぶい黄褐色  | 砂質 締まり密。            |
| 11 | 10YR5/2 灰黄褐色    | 砂質 締まり密。            |
| 12 | 10YR5/6 黄褐色     | 砂質 締まり密, 炭化物1%混入。   |
| 13 | 2.5YR6/4 にぶい黄橙色 | 砂質 締まり密。            |
| 14 | 2.5YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質 締まり密。            |

RD 58

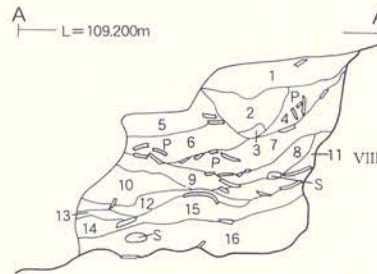
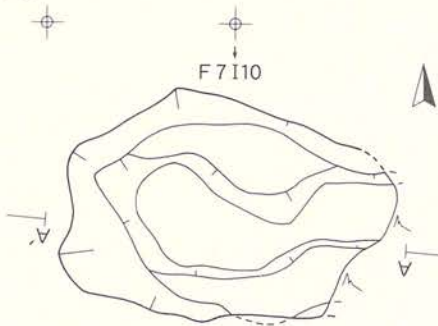


PPNo.	径(cm)	深さ(cm)	備考
PP1	54X(19)	9	



- RD58 A-A'
- | 層位 | 色調             | 土性                          |
|----|----------------|-----------------------------|
| 1  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粘土質シルト 締まりやや密。              |
| 2  | 10YR3/3 黄褐色    | シルト 締まりやや密。                 |
| 3  | 10YR5/6 にぶい黄褐色 | ローム 締まりやや密。                 |
| 4  | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | シルト 締まりやや密, 南部浮石5%混入。       |
| 5  | 10YR7/4 褐色     | 砂質 締まり密。                    |
| 6  | 2.5Y3/2 褐色     | 砂質シルト 締まり疎, 南部浮石3%・炭化物1%混入。 |

RD 60



- RD60 A-A'
- | 層位 | 色調             | 土性                        |
|----|----------------|---------------------------|
| 1  | 10YR2/1 黒色     | シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。       |
| 2  | 10YR2/2 黒褐色    | シルト 締まりやや疎, 南部浮石7%混入。     |
| 3  | 10YR2/2 黒褐色    | シルト 締まり中, 南部浮石3%・炭化物1%混入。 |
| 4  | 10YR2/3 黒褐色    | シルト 締まり中, 南部浮石3%混入。       |
| 5  | 10YR2/3 黒褐色    | シルト 締まり中, 南部浮石3%・炭化物1%混入。 |
| 6  | 10YR3/3 暗褐色    | シルト 締まり中, 南部浮石5%混入。       |
| 7  | 2.5Y4/2 暗灰黄色   | シルト 締まり中。                 |
| 8  | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 粘土質シルト 締まり中。              |
| 9  | 10YR3/2 黒褐色    | 粘土質シルト 締まり中, 南部浮石3%混入。    |
| 10 | 10YR3/1 黒褐色    | シルト 締まり中, 炭化物1%・南部浮石3%混入。 |
| 11 | 2.5Y4/2 暗灰黄色   | シルト 締まりやや密, 炭化物1%混入。      |
| 12 | 2.5Y6/2 灰黄色    | 砂質 締まり中。                  |
| 13 | 2.5Y4/2 暗灰黄色   | シルト 締まりやや密。               |
| 14 | 2.5Y6/2 灰黄色    | 砂質 締まり中。                  |
| 15 | 10YR4/2 灰黄褐色   | シルト 締まりやや密。               |
| 16 | 10YR3/2 黒色     | シルト 締まりやや密。               |



第28図 RD58・59・60土坑



〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm×120cm、底部は径137cm×50cm、深さ110cmである。平面形は楕円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、凹凸がある。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土・灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

**遺物** (第49・50・61～65・109・110・142・157・160・164・165図、写真図版31～35・81・82・113・118・120・123)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：立体(22～44)、破片(330～342)。

〈石器〉石匙(1045)、敲磨器A類(1186)、敲磨器B類(1213・1237・1238・1239)。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

### 3. 陥し穴状遺構(第29図、写真図版7)

#### R D07陥し穴状遺構

**遺構** (第29図、写真図版7)

〈位置・検出状況〉D9F06グリッドに位置する。Ⅵ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径135cm×110cm、底部径90cm×84cm、深さ82cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。底面に5本の副穴を伴う。逆茂木の痕跡と思われる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

### 4. 土器埋設遺構(第29図、写真図版18)

#### R Z01土器埋設遺構

**遺構** (第29図、写真図版18)

〈位置・検出状況〉F7G11グリッドに位置する。包含層の精査中に検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉掘り方の規模は、径50cm×38cmの楕円形を呈する。

〈埋土・堆積状況〉掘り方の埋土は黒褐色土とにぶい黄褐色土である。

**遺物** (第50・65図、写真図版35)

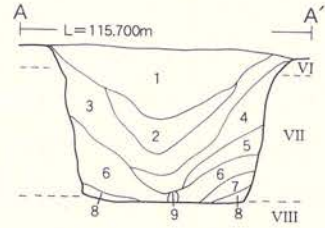
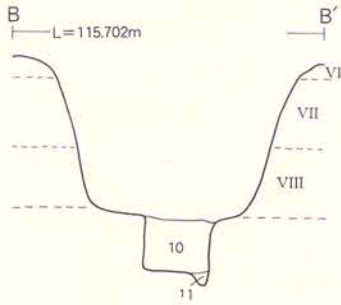
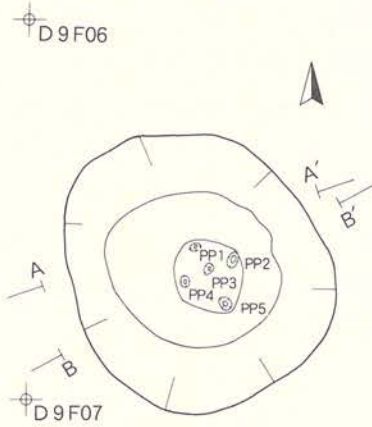
〈出土状況〉底部付近の土器が正立の状態で見出されていた。

〈土器〉縄文土器：立体(45)。

**時期** 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

### 5. 焼土遺構(第30図、写真図版17)

RD 07

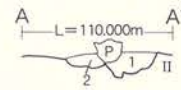
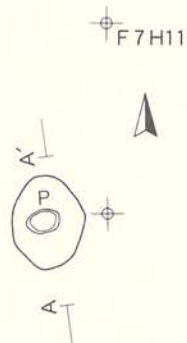


- RD07 A-A'・B-B'
- | 層位 | 色調             | 土性                  |
|----|----------------|---------------------|
| 1  | 7.5YR2/1 黒色    | シルト 締まり中、南部浮石10%混入。 |
| 2  | 7.5YR5/6 明黄褐色  | 南部浮石 締まり中。          |
| 3  | 7.5YR3/1 黒褐色   | シルト 締まり中、南部浮石混入。    |
| 4  | 7.5YR5/8 明褐色   | 南部浮石 締まり中 (崩落土)。    |
| 5  | 10YR3/1 黒褐色    | シルト 締まり中。           |
| 6  | 10YR5/8 黄褐色    | 南部浮石 締まり中 (崩落土)。    |
| 7  | 10YR4/6 褐色     | ローム 締まり中 (崩落土)。     |
| 8  | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 締まり中。               |
| 9  | 10YR6/6 明黄褐色   | ローム 締まり中。           |
| 10 | 10YR6/6 明黄褐色   | ローム 締まり密。           |
| 11 | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | ローム 締まり密。           |

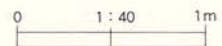
RD07

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	7×4	14	
PP2	11×6	20	
PP3	7×5	11	
PP4	7×5	12	
PP5	9×7	25	

RZ 01

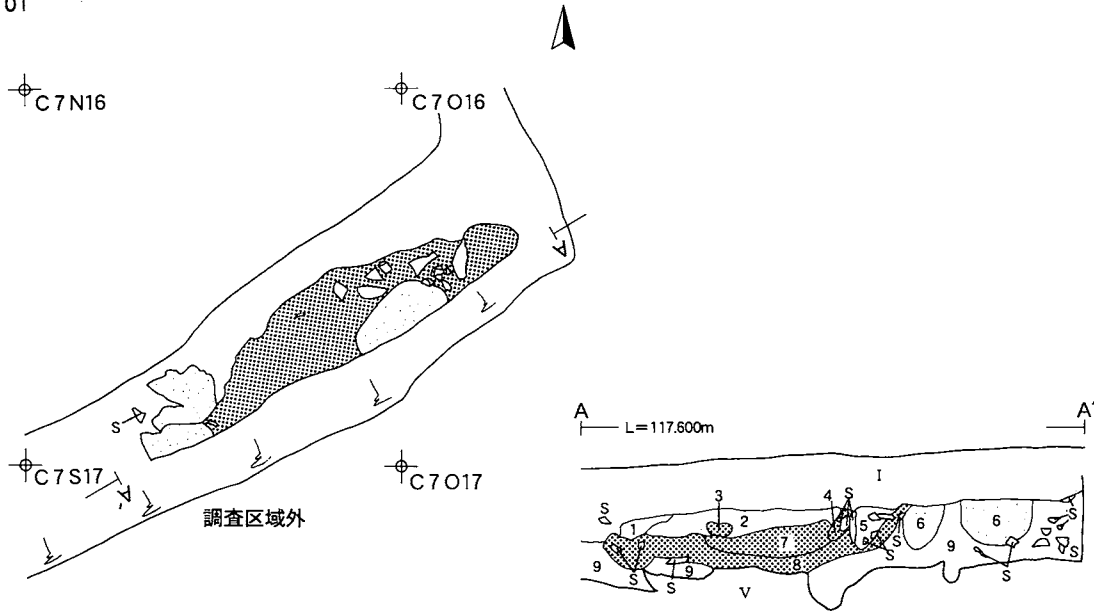


- RZ01 A-A'
- | 層位 | 色調             | 土性                       |
|----|----------------|--------------------------|
| 1  | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | ローム 締まり中、南部浮石1%混入。       |
| 2  | 10YR3/2 黒褐色    | シルト、締まり中、南部浮石1%・褐色土1%混入。 |



第29図 RD07陥し穴状遺構、RZ01土器埋設遺構

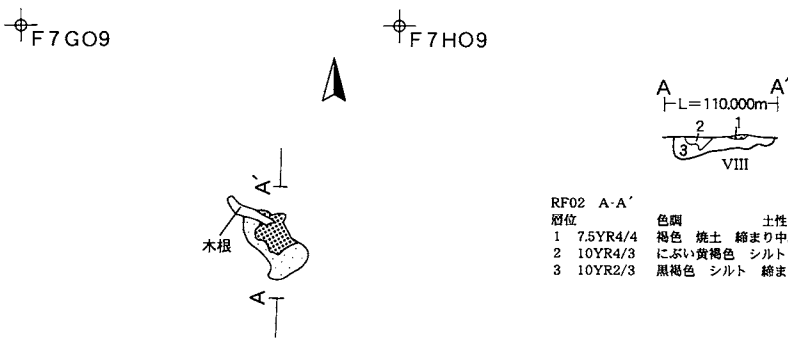
RF 01



RF01 A-A'

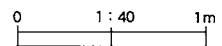
層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり疎、焼土粒10%混入。
2	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト 締まり中、焼土粒10%・炭化材1%混入。
3	5YR4/8 赤褐色	焼土 締まり中。
4	5YR4/3 にぶい赤褐色	焼土 締まり中。
5	5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中、焼土粒10%混入。
6	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎、焼土粒混入10%・小礫混入。
7	7.5YR6/6 橙色	焼土 締まり密。
8	2.5YR4/6 赤褐色	焼土 締まり密。
9	7.5YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。

RF 02



RF02 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR4/4 褐色	焼土 締まり中。
2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中、ゴロタ1%混入。
3	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%・炭化物1%混入。



第30図 RF01・02焼土遺構

#### R F 01焼土遺構

遺構 (第30図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉 C 7 N16～O16グリッドに位置する。南側は調査区域外にかかる。V層で赤褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 検出した範囲は、径230cm×(45)cmほどの広がりを持ち、不整な楕円形を呈するものと推定される。焼土の厚さは最大35cmで赤褐色を呈する。

〈出土遺物〉 炭化材が出土しており、樹種はナラであるとの鑑定結果を得ている。

時期 時期を決定できる出土遺物はないが、近世以降の可能性が高い。北側に隣接するR B 03掘立柱建物跡に伴う可能性もある。

#### R F 02焼土遺構

遺構 (第30図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉 F 7 G09グリッドに位置する。包含層の精査中にII～VIII層で検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 径40cm×25cmの不整な広がりである。焼土の厚さは最大3cmで褐色を呈する。

〈出土遺物〉 なし。

時期 時期の詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

### 6. 溝状遺構 (第31・32図、写真図版18・19)

C区で4条検出した。いずれも自然作用により形成された雨裂溝(註1)と考えられるが、埋土に大量の遺物が含まれていたことから、他の遺構と同様に登録・精査を行った。A区南端で検出されたR G 01溝状遺構は、ビニールなどの出土遺物から、現代のものと考えられるため、個別の記載を省略する。

#### R G 02溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版18・19)

〈位置・検出状況〉 F 7 H04～J09グリッドに位置する。VIII層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 R G 04・R G 05溝状遺構と重複しているが新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉 全長11m、上幅250cm～150cm、下幅170cm～20cm、深さ160～125cmである。底面はX層を掘り込んでつくられており、北西～南東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形はV字状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。

遺物 (第47・66・110・111・140・142・147・153・154・157・165・183図、写真図版36・37・82・83・106・107・110・115・116・118・123・124・138)

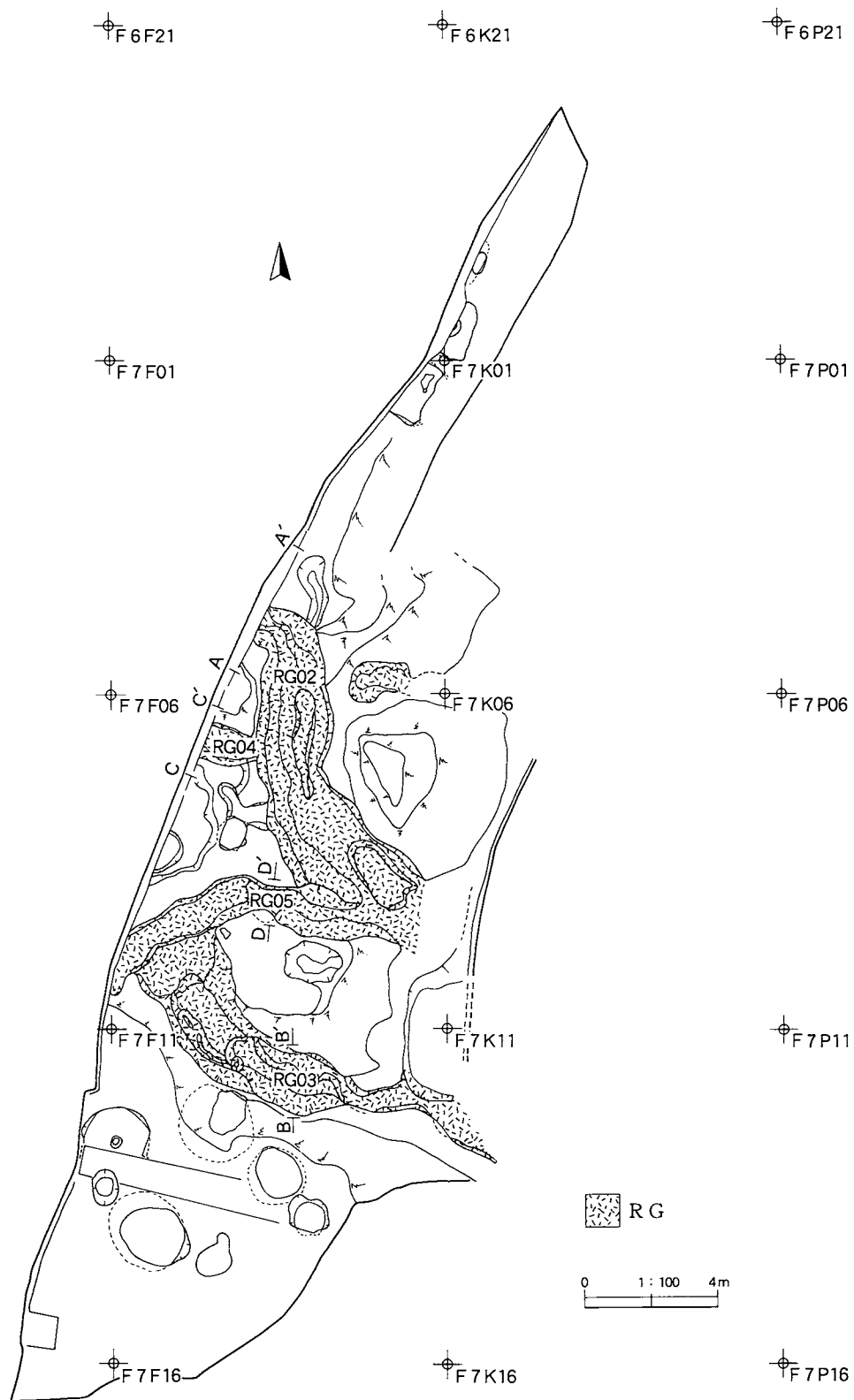
〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体(46～51)、破片(343～352)。

〈石器〉 石鏃(1004)、石匙(1046)、不定形石器(1105)、磨製石斧(1151・1152)、敲磨器A類(1165・1188)、敲磨器B類(1240・1241・1242・1243)、石剣(1350)。

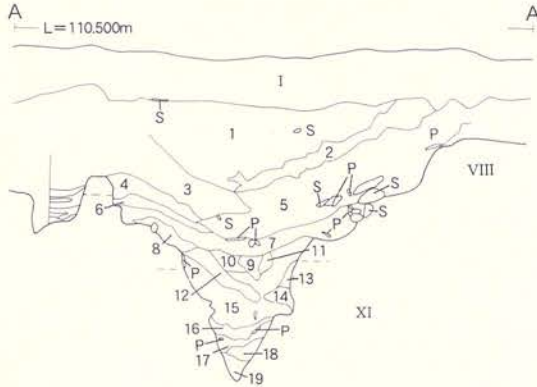
時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。





第31図 RG02・03・04・05溝状遺構(1)

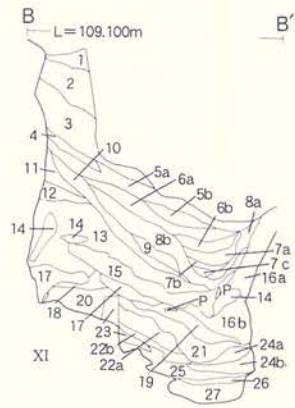
R G 02



RG02 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
2	10YR5/6 黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
3	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%・小礫混入。
4	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
5	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%・炭化物1%・土器片・礫混入。
6	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
7	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
8	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・土器片混入 粗砂と混入。
9	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
10	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・灰白色土ブロック混入。
11	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
12	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・灰白色土ブロック混入。
13	10YR4/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
14	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・灰白色土ブロック混入。
15	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%・土器片混入。
16	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
17	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 炭化物1%混入。
18	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 炭化物1%混入。
19	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 炭化物1%混入。

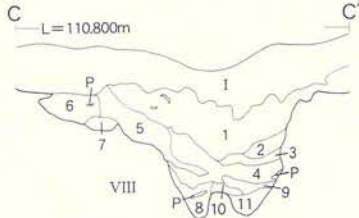
R G 03



RG03 B-B'

層位	色調	土性
1	10YR7/2 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
2	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
3	10YR6/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 炭化物1%混入。
4	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
5a	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%混入。
5b	10YR6/1 褐灰色	砂質 締まり中。
6a	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・細礫混入。
6b	10YR6/1 褐灰色	砂質 締まり中, 炭化物1%・南部浮石1%混入。
7a	10YR6/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中。
7b	10YR7/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%混入。
7c	10YR6/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中。
8a	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・細礫混入。
8b	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%混入。
9	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・細礫混入。
10	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%混入。
11	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%混入。
12	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・細礫混入。
13	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
14	10YR6/1 褐灰色	砂質 締まり中。
15	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
16a	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
16b	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
17	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物5%・砂30%混入。
18	10YR6/1 褐灰色	砂質 締まり中, 炭化物1%混入。
19	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・土器片混入。
20	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・土器片・灰白色土ブロック混入。
21	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・土器片・灰白色土ブロック混入。
22a	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, シラス。
22b	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
23	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
24a	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
24b	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
25	10YR3/2 黒褐色	砂質 締まり中, 炭化物3%混入。
26	10YR6/1 褐灰色	砂質 締まり中。
27	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 土器片混入。

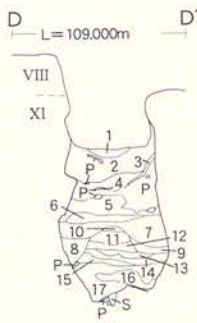
R G 04



RG04 C-C'

層位	色調	土性
1	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%・炭化物1%混入。
2	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト 南部浮石1%・灰白色土ブロック混入。
3	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・粗砂10%混入。
4	10YR5/6 黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%・炭化物1%・灰白色土10%混入。
5	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入, 植痕あり。
7	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
8	10YR4/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%・灰白色土ブロック混入。
9	10YR4/6 褐色	シルト 締まり中, 小礫混入。
10	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%混入。
11	10YR5/8 黄褐色	シルト 締まり中。

R G 05



RG05 D-D'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・南部浮石1%混入。
2	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・南部浮石1%・土器片混入。
3	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%・シラスをブロックで混入。
4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石20%混入。
5	10YR4/6 褐色	粘土質シルト 締まり中, 南部浮石1%・灰白色土ブロック5%混入。
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%混入。
7	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
8	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 土器片混入。
9	10YR4/2 灰黄褐色	シルト 締まり中, 小礫混入。
10	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
11	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中, ローム10%混入。
12	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
13	10YR7/2 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
14	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
15	10YR7/2 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
16	10YR5/3 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
17	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。



第32図 RG02・03・04・05溝状遺構(2)

### R G03溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 F 7 G11～J 12グリッドに位置する。X層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 全長7m、上幅180cm～100cm、下幅70cm～35cm、深さ250cm～200cmである。底面はX層を掘り込んでつくられており、西～東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形は箱形を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 にぶい黄橙色・褐灰色土が主体の上位と、黒褐色・褐灰色土が主体の下位に大別される。

遺物 (第52～54・67～73・111～114・140・142・146・147・153・157・166図、写真図版37～43・83～85・106・107・110・115・118・124)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体 (52～90)、破片 (353～384)。

〈石器〉 石鏃 (1005)、石匙 (1047・1048・1049・1050・1051)、両極石器 (1088)、不定形石器 (1106)、磨製石斧 (1153)、敲磨器A類 (1187)、敲磨器B類 (1244・1245)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

### R G04溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 F 7 G06～H06グリッドに位置する。Ⅷ層で褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 R G02溝状遺構と重複するが、新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉 全長1.8m、上幅110cm～60cm、下幅90cm～40cm、深さ100cm～80cmである。底面はⅧ層を掘り込んでつくられており、西～東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形はW字状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 にぶい黄褐色土・黄褐色土・褐色土を主体とする。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はないが、縄文時代前期と推定される。

### R G05溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 F 7 H08～I 09グリッドに位置する。Ⅷ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 F 7 J 09グリッドで、R G05と重複しているが新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉 全長4.0m、上幅150cm～75cm、下幅110cm～30cm、深さ200cm～180cmである。底面はX層を掘り込んでつくられており、西～東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形は袋状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土を主体とする上位と、にぶい黄橙色土を主体とする下位に大別される。

遺物 (第55・74・75・114・147・166・183図、写真図版44・45・85・110・124・125・138)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体 (91～96)、破片 (385～391)。

〈石器〉 不定形石器 (1107)、敲磨器B類 (1246・1247・1248・1249)、石製品 (1351)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

### 註

(1)『地形学辞典』二宮書店 1981には、「雨裂 Gully 軟弱な表層から強雨にもとづく表面流の侵食によって形成された小谷」とある。

## 7. 遺物包含層（第33～36図、写真図版20・21）

### 遺構（第33～36図、写真図版20・21）

〈位置・検出状況〉F7区に位置する。F7区は、東側から西側に向かって斜面になっていた。調査区の西側は平坦面であり、東側には雪谷川が北流している。雪谷川左岸に形成された段丘縁の東斜面に当たる部分である。範囲は、F7H04グリッド～F7J12グリッドに亘り、黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉調査範囲に制約されるが、南北約18m 東西9m、面積は約150㎡である。包含層の厚さは最大で150cmほどある。

〈埋土〉おもに黒色土・暗褐色土・灰白色土・黒色土の4層（Ⅱa～d層）に大別された。各地点で堆積状態は若干異なり、場所によっては、Ⅱe・Ⅱfまで分層して取り上げている。この違いは、廃棄の単位を示すものと考えられるが、調査時に単位を面的に把握することができなかった。そのため調査は、土層観察用のベルトを地形に沿うかたちで設定し、土層観察を行いながら、掘り下げる方法をとっている。

### 遺物（第75～105・115～137・140～150、151～183図、写真図版44～73・106～138）

〈出土状況〉包含層中から、土器が大コンテナ（42×32×30cm）で150箱、石器294点が出土している。

遺物の出土状況については、時期による土器の片寄りや特殊遺物の片寄りなど、特にまとまった廃棄の単位を把握することはできなかったが、量的な観点では、溝状遺構と重複する地点の出土量が多い傾向がある。精査時に包含層と溝状遺構を厳密に区別しえたか否かの精査の精度問題もあるが、同地点は溝状遺構の埋没後も周囲より落ち込んでいた可能性があり、遺物が集積し易い状況であったことが推測される。出土した土器の観点では、新しい土器が北側にまとまって出土し、古い時期の土器が南側で多く出土している傾向がある。例えば、F7H04～I06グリッドのⅡc～Ⅱd層出土遺物（No.97～125）、F7G11グリッド付近のⅡd層（6層）出土遺物（No.233～244）、F7G12～I12グリッドのⅡd層出土遺物（No.647～666）の事例である。個々の土器については、個体として把握できる状態で棄てられたものが多く原形を保った状態のものもあった。この包含層が何回かに亘る廃棄・流れ込みなどの積み重ねによる結果、形成されたものであることが推測できる。整理を行い、図化し掲載した資料は、以下のとおりである。各グリッド毎の出土遺物は、表に示した。

〈土器〉立体178点、破片276点。縄文時代早期・前期・中期の土器がある。

〈石器〉剥片石器118点：石鏃27点・尖頭器4点・石錐5点・石匙36点・両極石器11点・不定形石器31点・石篋4点・打製石斧3点・磨製石斧10点・礫石器159点：敲磨器A類51点：擦石・敲打石19点・凹石19点・凹石兼敲打石6点・凹石兼擦石7点（半円状偏平打製石器の転用3点含）、敲磨器B類104点：特殊磨石12点・半円状偏平打製石器92点、石錘3点、台石1点。

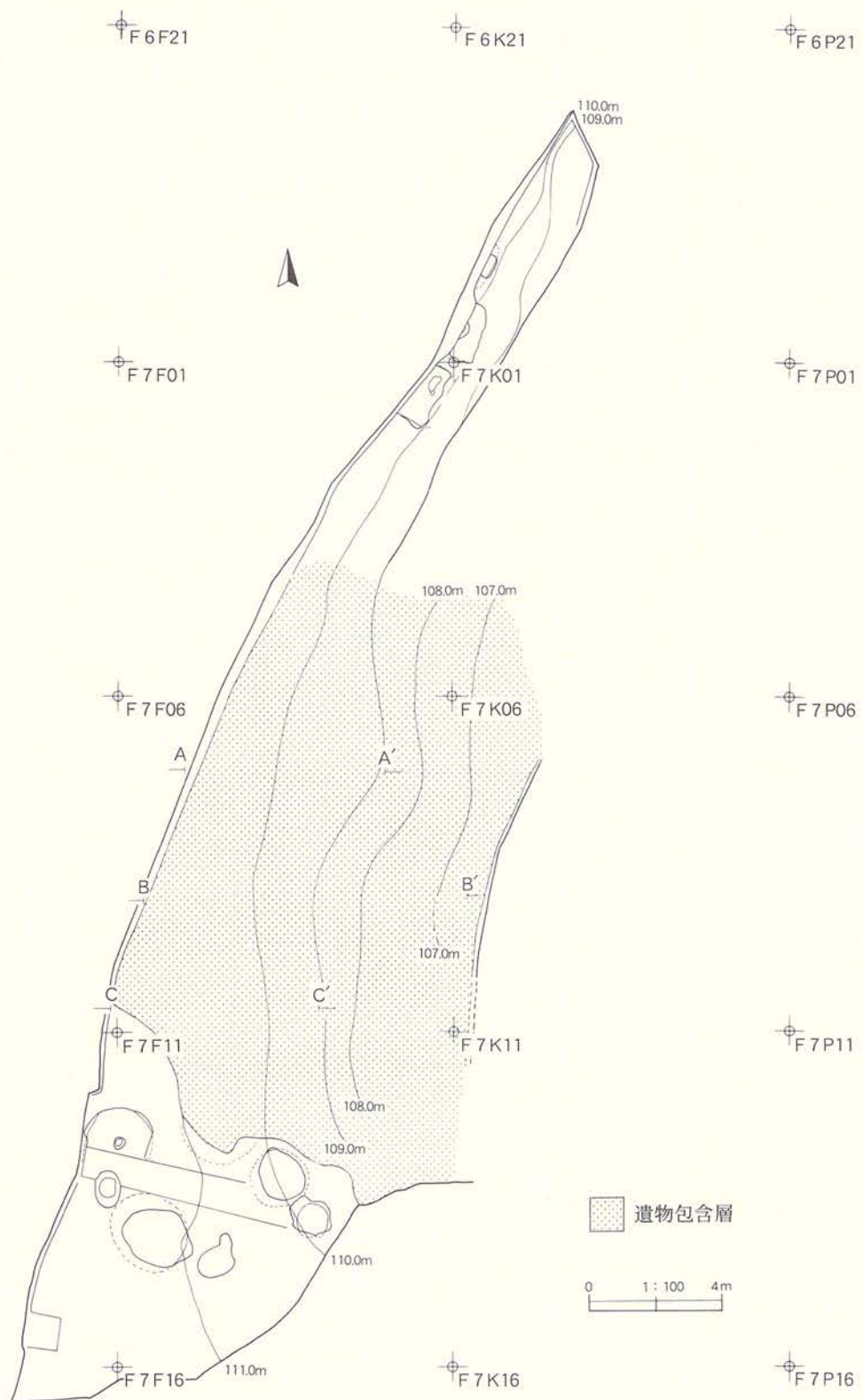
〈その他〉円盤状土製品10点・石棒3点・石剣1点、石製品1点。

時期 出土遺物から縄文時代前期と推定される。

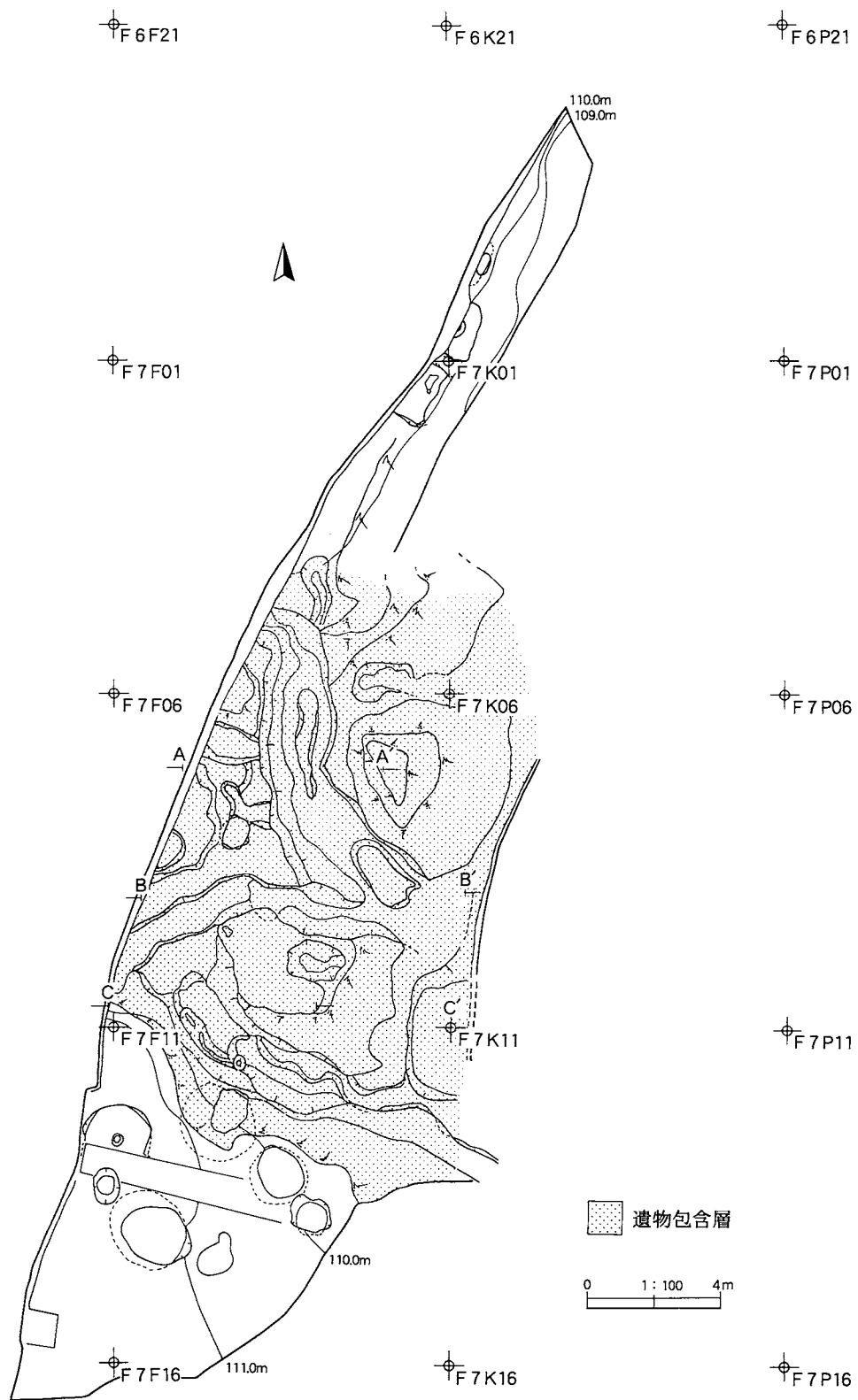


グリッド別出土遺物一覧 (掲載No.)

グリッド	土器		石鏃	尖頭器	石錐	石匙	両極石器	不定形	石籠	石斧		敵磨器				石鏃	台石	石製品
	立体	破片								打製	磨製	A a	A b	A c	B			
F7H03															1329			
F7H04	97	392																
F7G05					1038			1108										
F7H05	98~108	393~407					1089	1109				1166			1250・1251・1264 1265・1330			
F7I05	109~112	408~410							1145			1167 1168			1287			
F7G06		411・412											1214					
F7H06	113~123	413~429				1052 1053		1110				1168 1169	1190 1215	1275・1276 1288~1290・1331		1344		
F7I06	124・125	430~437							1146			1170	1216 1217					
F7F07		438・439																
F7G07	126~130	440~453				1073 1074						1171		1298・1308				
F7H07	131~140	454~470	1024			1075	1090	1120		1154 1155	1172	1192 1193	1291・1299・1332			1345		
F7I07	141~145	471~485										1173	1191 1218 1219	1300				
F7F08																		
F7G08	146	486~495	1026					1138		1158		1174		1279・1280・1301 1309・1333			1346	
F7H08	147~150	496~503					1092	1123 1124 1131						1292				
F7I08	151~163	504~531	1008		1039	1054 1055 1076 1077		1111 1112 1132		1157 1159	1175 1179	1194 1197	1253~1256・1266 1267・1281~1283 1310~1312・1334		1343		1354	
F7J08	164・165	532~541					1091					1180	1211					
F7F09	166~172	542・543	1027					1133		1147			1201	1296・1335				
F7G09	173~188	544~552	1009				1093	1113 1125 1126	1143			1181 1184		1278・1284・1313 1336・1337			1347	
F7H09	189・194	553~562	1017			1056								1277・1285				
F7I09	190~193 195~198	563~577	1018 1025 1028	1036		1057		1134		1156				1286・1307				
F7J09	199~202	578~599	1010 1019			1058 1059		1128					1198 1200 1209				1349	
F7F10	203~212	600~607	1011 1020 1023	1037		1061 1062	1094	1135 1137	1141 1142	1160		1263	1203	1268・1270・1293 1302・1314・1338				
F7G10	213~231	608~612	1012 1021			1063		1114 1115				1182	1205	1257・1269・1294 1304・1317・1339 1340				
F7H10	232 248~251					1060 1078 1079	1096							1316・1318~1321				
F7I10		613~615					1095											
F7J10		616・617				1064								1271				
F7F11	233																	
F7G11	234~247	618~634	1022 1029		1040	1080 1081		1127 1130						1258・1259・1272 1295・1322・1323				
F7H11	252~260	635~641			1041	1065 1066 1081	1097 1098	1117 1121 1129 1136		1161		1183	1202	1273・1315・1324 1341				
F7I11	261					1067												
F7J11	262・263	642																
F7F12		643																
F7G12	264~269	644~645 647~666	1035			1068 1082 1084 1085	1099	1118					1204	1260・1261			1348	
F7H12		646						1119						1274・1325~1327				
F7I12	270																	

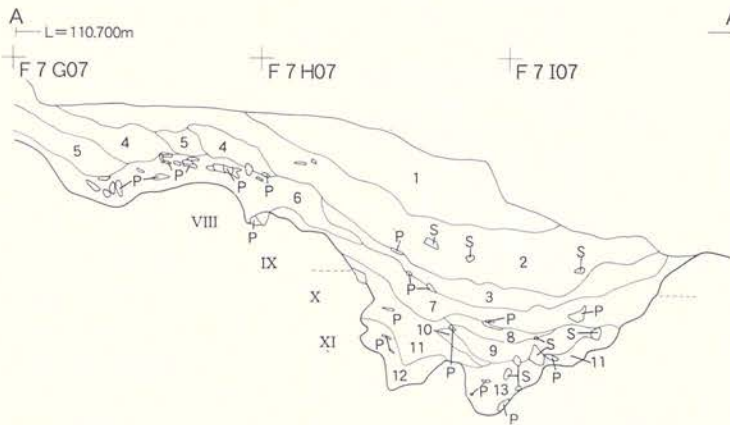


第33図 遺物包含層(1)



第34図 遺物包含層(2)

F7G07～I07ライン

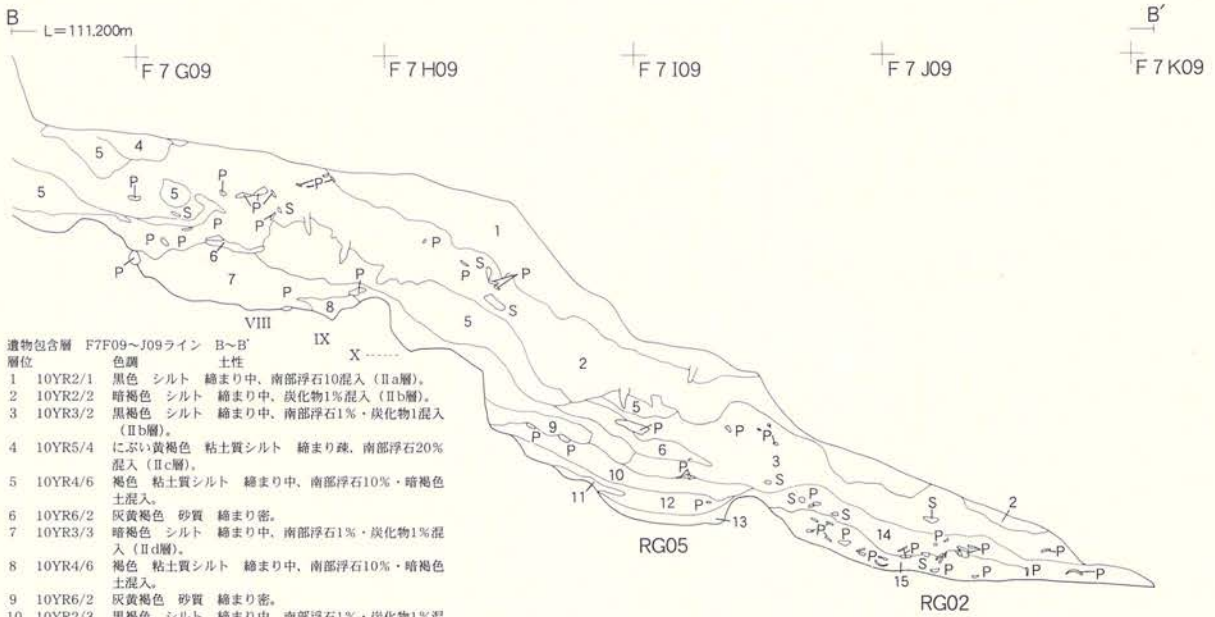


遺物包含層 F7G07～I07ライン A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入 (IIa層)。
2	10YR1.7/1 暗褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%混入 (IIa層)。
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入 (IIb層)。
4	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入 (IIb層)。
5	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入。
7	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入 (IIc層)。
8	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中。
9	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%混入。
10	10YR4/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。
11	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
12	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まり中。
13	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり中。

※1～7層：包含層, 8～13層：RG02

F7F09～J09ライン

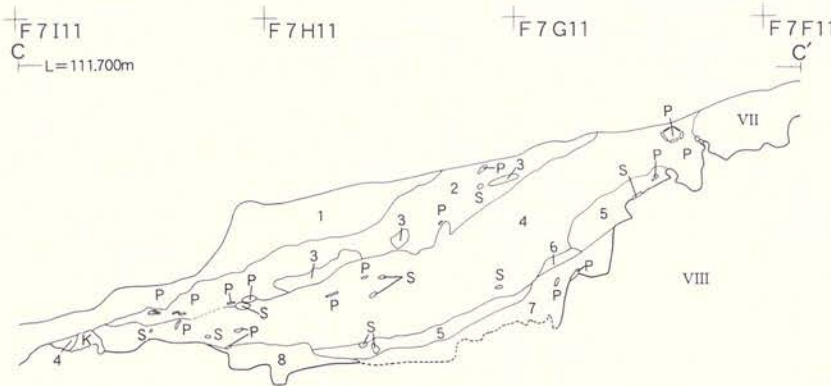


遺物包含層 F7F09～J09ライン B-B'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石10%混入 (IIa層)。
2	10YR2/2 暗褐色	シルト 締まり中, 炭化物1%混入 (IIb層)。
3	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入 (IIb層)。
4	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘土質シルト 締まり疎, 南部浮石20%混入 (IIc層)。
5	10YR4/6 褐色	粘土質シルト 締まり中, 南部浮石10%・暗褐色土混入。
6	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり密。
7	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入 (IId層)。
8	10YR4/6 褐色	粘土質シルト 締まり中, 南部浮石10%・暗褐色土混入。
9	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり密。
10	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
11	10YR7/1 灰白色	砂質 締まり密。
12	10YR3/2 黒褐色	砂質 締まり密。
13	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中。
14	10YR5/2 灰黄褐色	砂質 締まり中, 褐色土ブロック10%混入。
15	10YR6/2 灰黄褐色	砂質 締まり密, 土器片・炭化物混入。

※1～10層：包含層, 11～12層：RG02

F7F11～H11ライン



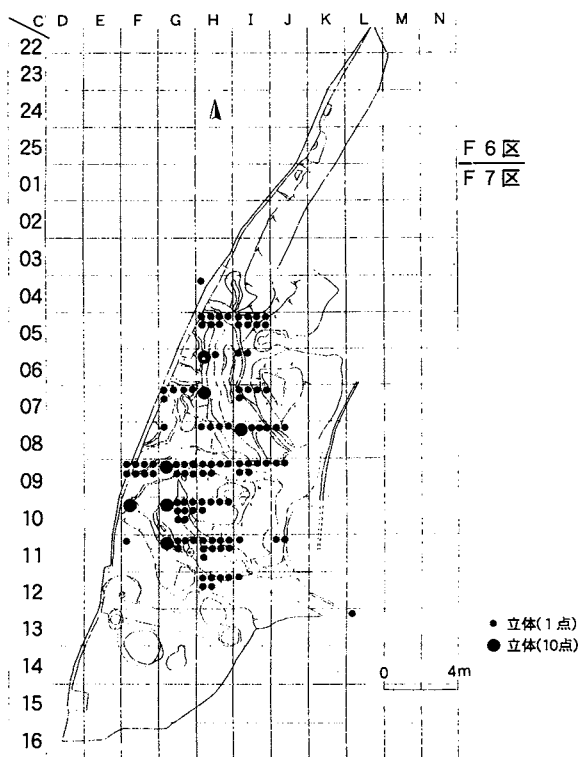
遺物包含層 F7F11～H11ライン C-C'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入 (IIa層)。
2	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中, 南部浮石10%・炭化物1%混入 (IIb層)。
3	10YR4/4 褐色	砂質シルト 締まり中, 南部浮石1%混入 (IIc層)。
4	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中, 南部浮石10%・炭化物1%混入 (IId層)。
5	10YR42/3 黒褐色	シルト 締まり疎, 南部浮石20%・炭化物5%混入。
6	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%混入。
7	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中, 南部浮石1%・炭化物1%混入。
8	10YR6/2 灰黄褐色	と10YR3/3 暗褐色の混土シルト 締まり密, 炭化物1%混入。

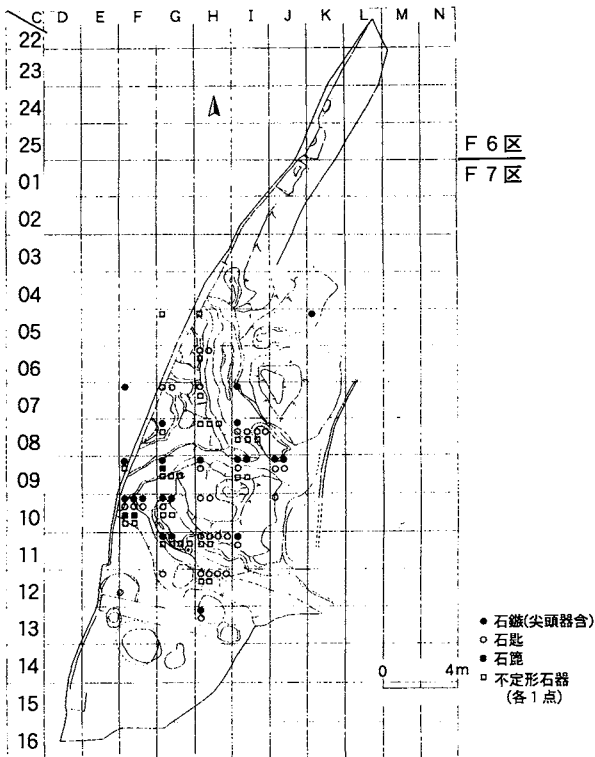


第35図 遺物包含層(3)

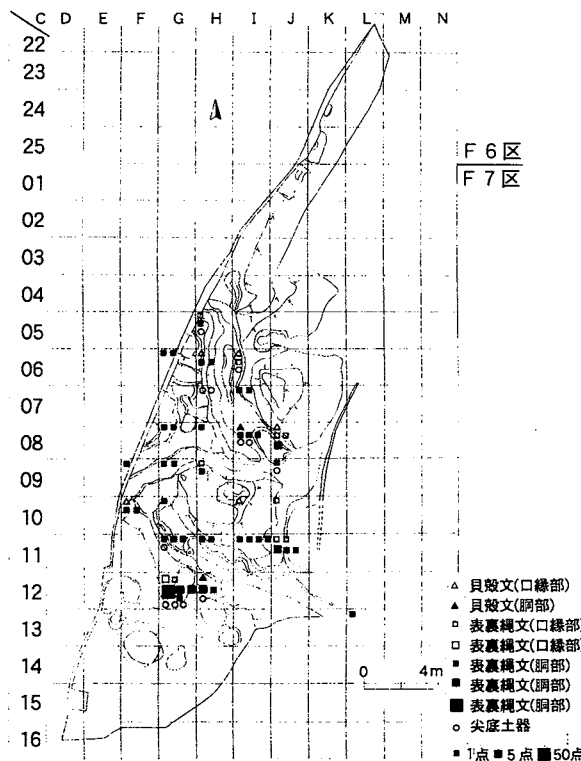




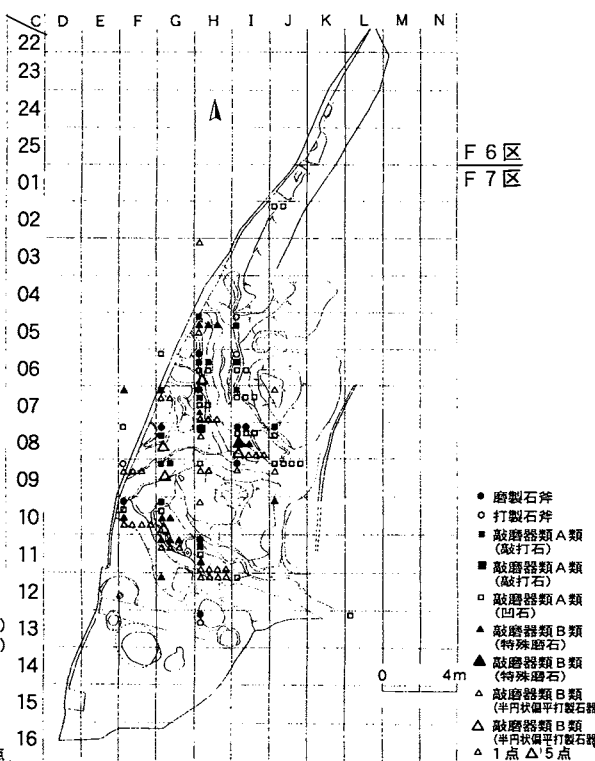
グリッド別土器出土数 (前期)



グリッド別石器出土数 (1)



グリッド別土器出土数 (早期)



グリッド別石器出土数 (2)

第36図 遺物包含層(4)

## 8. 掘立柱建物跡 (第37～41図、写真図版22～23)

建物跡として登録した遺構は3棟である。これらは検出および精査時に柱配置が確認できたものである。時期は、近世以降と考えられる。建物の規模・柱間寸法の距離は、両端柱穴の柱痕中心点、柱痕が不明なものについては掘り方底部中央をもって計測した。個々の柱穴の径・深さは表に記した。計測値の単位はcm、1尺は30.3cmとして計算した。

### R B 01建物跡

**遺構** (第37・38図、写真図版22)

〈位置・検出状況〉C 8 M 06～C 8 P 12グリッドに位置する。検出面はV層である。南側は沢跡の埋没後でⅢ層面である。北西側が調査区域外にかかる。

〈重複関係〉R D 42土坑→R B 01建物跡-PP12・PP13とR D 41・43土坑→R B 01建物跡-PP3・6がある。

〈平面形式・規模〉掘立柱建物跡である。3×4間以上で2面庇の建物跡と思われる。桁行840cm、梁間570cmである。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-45° - Eである。

〈柱間寸法〉柱の掘り方は径65～135cmの円形を呈し、深さ88～27cmと差があるが、底面のレベル(柱の設置面)の高低差は、20cmほどである。6尺3寸(約190cm)を基準としている。

〈付属施設〉なし。

〈建物の性格〉不明。

**遺物** (第56・140・186・187図、写真図版106・140・141)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈石器〉石鎌(1006)。

〈金属製品〉鉄釘(1403)、銭貨：寛永通寶(新寛永)1枚(1420)。

**時期** 出土遺物から近世と考えられる。

### R B 02建物跡

**遺構** (第39図、写真図版23)

〈位置・検出状況〉D 8 B 25～D 9 D 03グリッドに位置する。検出面はV層である。

〈重複関係〉R D 06土坑→R B 02掘立柱建物跡-PP3がある。

〈平面形式・規模〉掘立柱建物跡、2×2間以上で、桁行4.2m以上、梁間4.75m。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-20° - Eである。

〈柱間寸法〉掘り方の規模は径68～72cmの円形を呈し、深さは35～70cmと差があるが、柱穴底面のレベル(柱の設置面)はほぼ同じである。柱間の寸法は、7尺3寸(220cm)を基準としている。

〈付属施設〉なし。

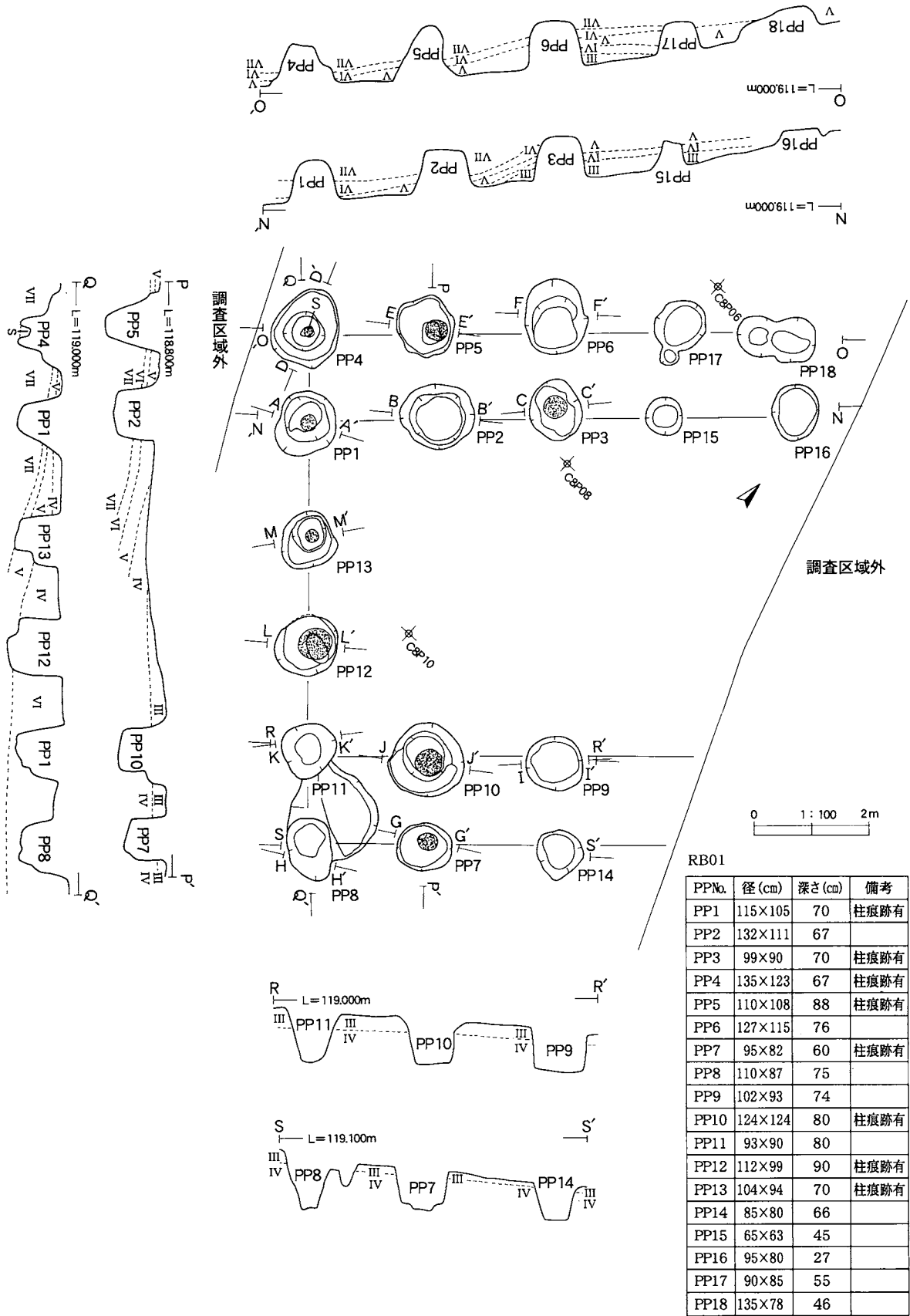
〈建物の性格〉不明。

**遺物** (第56・187図、写真図版141)

〈出土状況〉埋土から出土している。

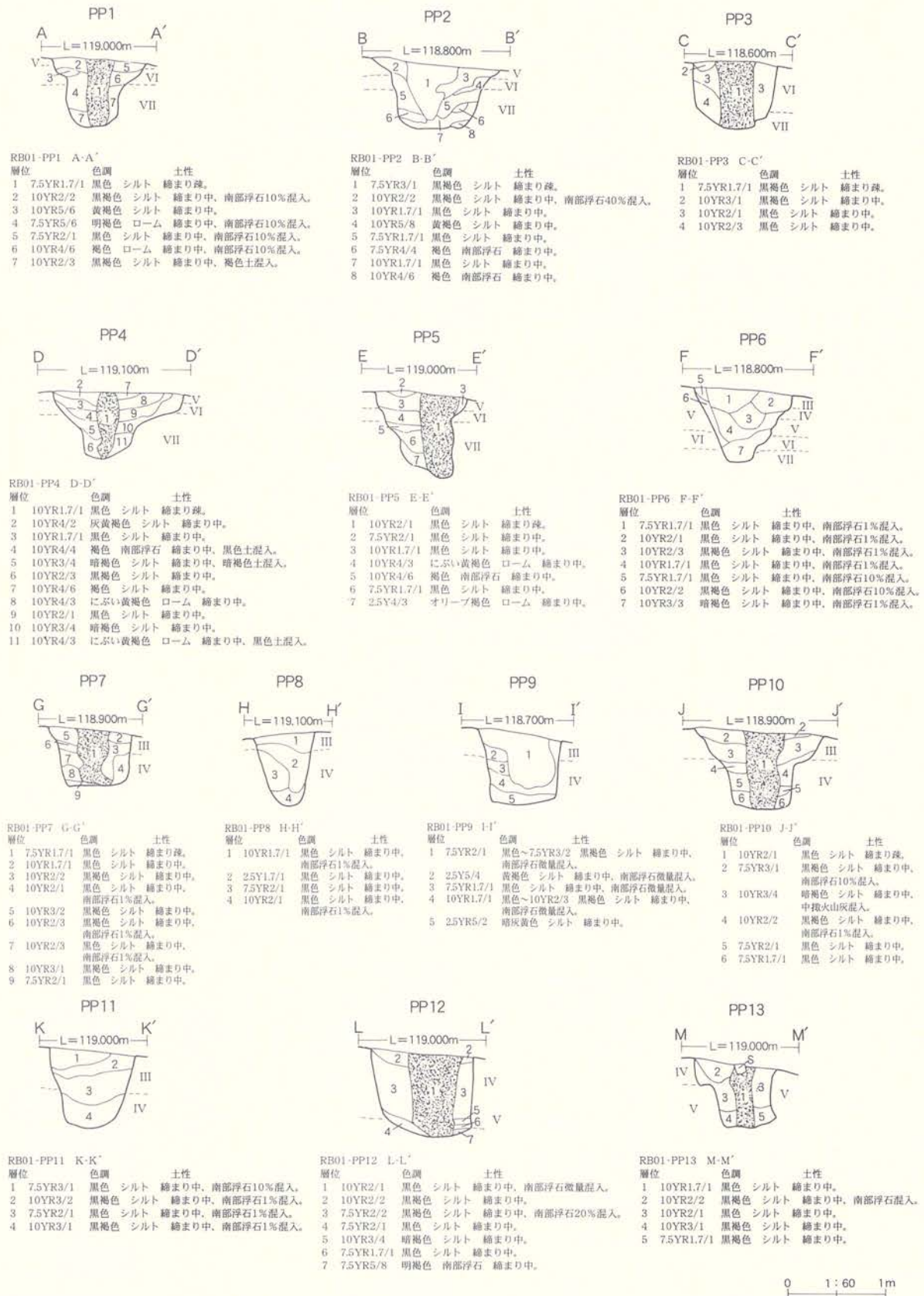
〈金属製品〉銭貨：寛永通寶(新寛永)1枚(1421)。

**時期** 出土遺物から近世と考えられる。



第37図 RB01掘立柱建物跡(1)

RB 01

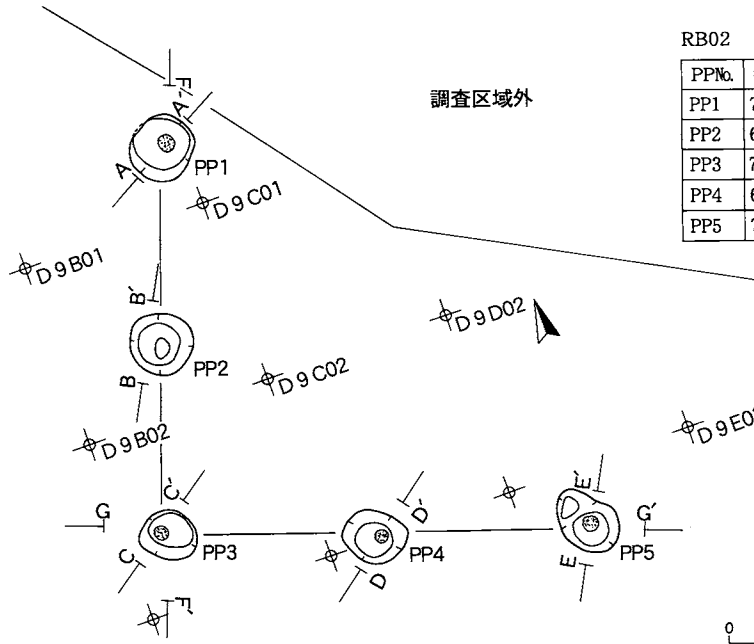
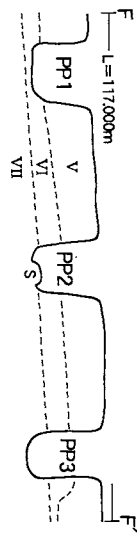


第38図 RB01掘立柱建物跡(2)

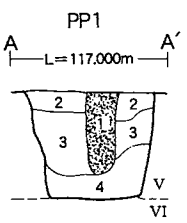
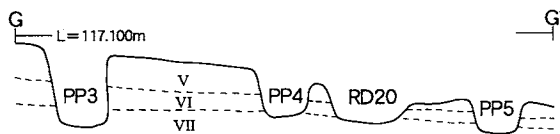


R B 02

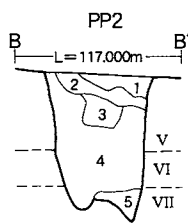
RB02



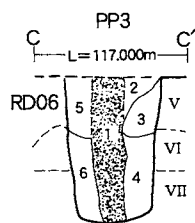
PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	72×62	64	柱痕跡有
PP2	68×68	70	
PP3	71×(60)	76	柱痕跡有
PP4	69×59	35	柱痕跡有
PP5	79×57	44	柱痕跡有



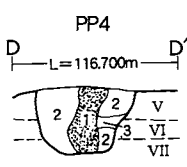
- RB02-PP1 A-A'
- | 層位 | 色調              | 土性                    |
|----|-----------------|-----------------------|
| 1  | 10YR3/3 暗褐色 シルト | 締まり疎。                 |
| 2  | 10YR2/1 黒色 シルト  | 締まり中。                 |
| 3  | 10YR2/2 黒褐色 シルト | 締まり中、南部浮石10%混入。       |
| 4  | 7.5YR2/1 黒色 シルト | 締まり中、褐色土混入、南部浮石50%混入。 |



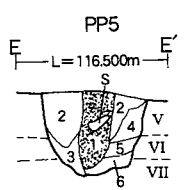
- RB02-PP2 B-B'
- | 層位 | 色調               | 土性              |
|----|------------------|-----------------|
| 1  | 10YR3/1 黒褐色 シルト  | 締まり中、南部浮石10%混入。 |
| 2  | 10YR3/2 黒色 シルト   | 締まり中、南部浮石10%混入。 |
| 3  | 10YR1.7/1 黒色 シルト | 締まり疎。           |
| 4  | 10YR1.7/1 黒色 シルト | 締まり中、南部浮石微量混入。  |
| 5  | 10YR2/2 黒色 シルト   | 締まり中。           |



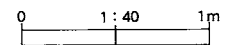
- RB02-PP3 C-C'
- | 層位 | 色調               | 土性                |
|----|------------------|-------------------|
| 1  | 10YR1.7/1 黒色 シルト | 締まり疎。             |
| 2  | 10YR2/3 黒褐色 シルト  | 締まり中、南部浮石10%混入。   |
| 3  | 10YR3/4 暗褐色 シルト  | 締まり中。             |
| 4  | 10YR4/3 にぶい黄褐色   | ローム 締まりやや疎、黒色土混入。 |
| 5  | 10YR2/2 黒褐色 シルト  | 締まり中、南部浮石30%混入。   |
| 6  | 7.5YR3/1 黒褐色 シルト | 締まりやや疎、南部浮石1%混入。  |



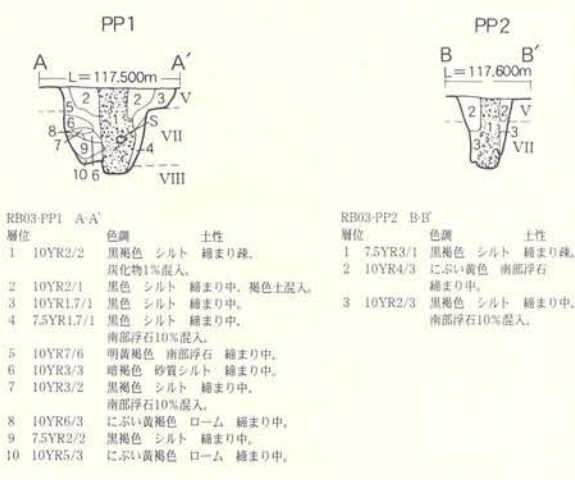
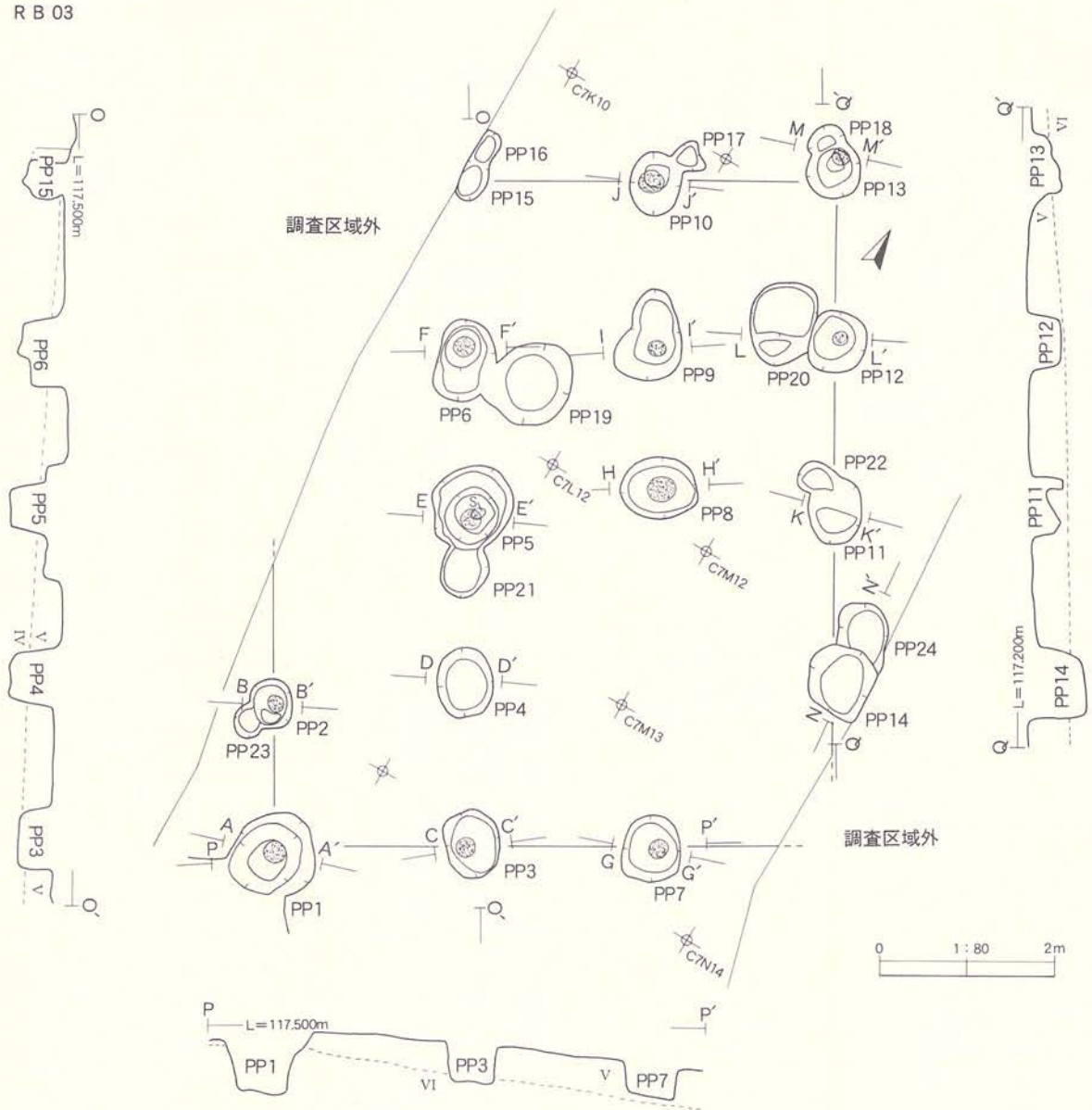
- RB02-PP4 D-D'
- | 層位 | 色調              | 土性             |
|----|-----------------|----------------|
| 1  | 10YR2/2 黒褐色 シルト | 締まり疎。          |
| 2  | 10YR2/1 黒色 シルト  | 締まり中、南部浮石1%混入。 |
| 3  | 10YR6/8 明黄褐色    | 南部浮石 締まり中。     |



- RB02-PP5 E-E'
- | 層位 | 色調               | 土性              |
|----|------------------|-----------------|
| 1  | 10YR2/3 黒褐色 シルト  | 締まり疎。           |
| 2  | 10YR2/2 黒褐色 シルト  | 締まり中、南部浮石10%混入。 |
| 3  | 10YR3/1 黒褐色 シルト  | 締まり中、南部浮石20%混入。 |
| 4  | 10YR1.7/1 黒色 シルト | 締まり中、黄褐色土混入。    |
| 5  | 10YR3/2 黒褐色 シルト  | 締まり中。           |
| 6  | 10YR3/3 暗褐色 シルト  | 締まり中。           |



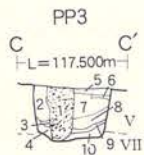
第39図 RB02掘立柱建物跡



RB03				RB03			
PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考	PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	100×90	69	柱痕跡有	PP14	93×70	49	
PP2	77×56	58	柱痕跡有	PP15	50×(30)	45	
PP3	73×67	45	柱痕跡有	PP16	45×(20)	31	
PP4	77×73	52		PP17	30×(35)	10	
PP5	100×91	62	柱痕跡有	PP18	45×(25)	23	
PP6	94×65	45	柱痕跡有	PP19	100×90	39	
PP7	82×75	32	柱痕跡有	PP20	95×70	11	
PP8	89×68	38	柱痕跡有	PP21	60×(55)	27	
PP9	102×70	58	柱痕跡有	PP22	30×(35)	22	
PP10	71×61	50	柱痕跡有	PP23	35×(30)	23	
PP11	75×63	22		PP24	70×55	24	
PP12	73×70	32	柱痕跡有				
PP13	67×61	30	柱痕跡有				

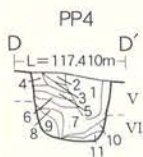
第40図 RB03掘立柱建物跡(1)

R B 03



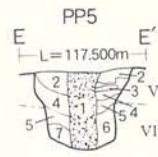
RB03-PP3 C-C'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まり密、南部浮石1%混入。
2	7.5YR2/1 黒色シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
3	10YR5/6 明褐色 南部浮石	締まり中。
4	7.5YR3/3 暗褐色 シルト	締まり中。
5	10YR1.7/1 黒色 シルト	締まり疎。
6	7.5YR5/8 明褐色 南部浮石	締まり中。
7	7.5YR1.7/1 黒色 シルト	締まり中。
8	7.5YR5/6 明褐色 南部浮石	締まり中。
9	10YR2/1 黒色 シルト	締まり中。
10	7.5YR4/3 褐色 南部浮石	締まり中。



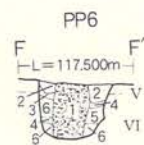
RB03-PP4 D-D'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1 黒色 シルト	締まり疎、南部浮石10%混入。
2	7.5YR4/4 褐色 ローム	締まり中、南部浮石1%混入。
3	7.5YR2/2 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
4	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中。
5	7.5YR2/1 黒色 シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
6	10YR2/2 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
7	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石20%混入。
8	7.5YR4/4 褐色 ローム	締まり中。
9	7.5YR4/6 褐色 ローム	締まり中。
10	7.5YR1.7/1 黒色 シルト	締まり中。
11	7.5YR4/3 褐色 ローム	締まり中。



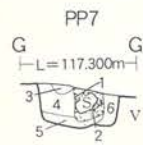
RB03-PP5 E-E'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/2 黒褐色 シルト	締まり疎、南部浮石5%混入。
2	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
3	7.5YR2/1 黒色 シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
4	7.5YR5/6 明褐色 ローム	締まり中、南部浮石10%混入。
5	2.5YR2/3 極暗赤褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
6	7.5YR3/3 暗褐色 シルト	締まり中。
7	5YR1.7/1 黒色 シルト	締まり中。



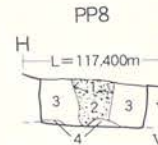
RB03-PP6 F-F'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり疎、南部浮石1%混入。
2	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中、黄褐色土1%混入。
3	7.5YR4/2 灰褐色 シルト	締まり中。
4	7.5YR5/4 にぶい褐色 ローム	締まり中。
5	7.5YR4/1 褐灰色 シルト	締まり中、黒色土混入。
6	7.5YR5/3 にぶい褐色 ローム	締まり中、南部浮石1%混入。



RB03-PP7 G-G'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まり疎、南部浮石1%混入。
2	10YR2/2 黒褐色 シルト	締まり中、褐色土混入。
3	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
4	10YR2/2 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
5	10YR3/3 暗褐色 シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
6	10YR3/2 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石30%混入。



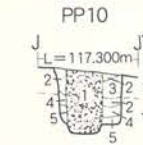
RB03-PP8 H-H'

層位	色調	土性
1	10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト	締まり密、炭化物1%混入。
2	10YR5/4 にぶい黄褐色 南部浮石	締まり中。
3	7.5YR5/3 にぶい褐色 南部浮石	締まり中。
4	10YR5/3 にぶい黄褐色 ローム	締まり中。



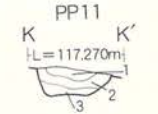
RB03-PP9 I-I'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり密、炭化物1%混入。
2	10YR3/2 黒褐色 シルト	締まり密、南部浮石1%混入。
3	10YR4/3 にぶい黄褐色 南部浮石	締まり中。
4	10YR1.7/1 黒色~10YR3/3 暗褐色 シルト	締まり中。
5	7.5YR4/3 褐色 南部浮石	締まり中。
6	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中。
7	10YR4/4 褐色 ローム	締まり中。



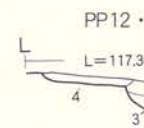
RB03-PP10 J-J'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒色 シルト	締まり疎。
2	7.5YR2/1 黒褐色 シルト	締まり中。
3	10YR3/2 黒褐色 シルト	締まり中。
4	7.5YR3/2 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石20%混入。
5	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中。



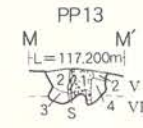
RB03-PP11 K-K'

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒色 シルト	締まり中。
2	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中。
3	10YR2/1 黒色 シルト	締まり中。



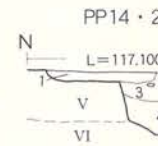
RB03-PP12・20 L-L'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒色 シルト	締まり疎、南部浮石1%混入。
2	10YR3/2 黒褐色 シルト	締まり密。
3	10YR2/3 黒褐色 シルト	締まり密、南部浮石1%混入。
4	10YR3/3 暗褐色 シルト	締まり中、南部浮石20%混入。



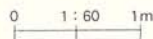
RB03-PP13 M-M'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色 シルト	締まり中、南部浮石1%混入。
2	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
3	10YR2/2 黒色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
4	10YR2/3 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。



RB03-PP14・24 N-N'

層位	色調	土性
1	7.5YR3/1 黒褐色 シルト	締まりやや密、南部浮石1%混入。
2	10YR3/1 黒褐色 シルト	締まり中、南部浮石10%混入。
3	10YR4/2 灰黄褐色 シルト	締まり疎、南部浮石10%混入。
4	10YR3/2 黒褐色 シルト	締まり密、南部浮石10%混入。



第41図 RB03掘立柱建物跡(2)



### R B 03建物跡

遺構（第40・41図、写真図版24）

〈位置・検出状況〉 C 7 L 09～C 7 K 14グリッドに位置し、両端が調査区域外にかかる。検出面はV層である。

〈重複関係〉 2回以上の建て替えの可能性がある。

〈平面形式・規模〉 掘立柱建物跡である。検出した範囲で、3間×4間で、桁行800cm、梁間660cm。

〈建物方位〉 桁行の軸方向はN-30° - Eである。

〈柱間寸法〉 掘り方の規模は径130～80cmの円形を呈する。深さは69～11cmと差があるが、柱穴底面のレベル（柱の設置面）の高低差は20cmほどである。柱間の寸法は、7尺3寸（220cm）を基準としている。

〈付属施設〉 なし。

〈建物の性格〉 不明である。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はないが、規模・形状や埋土の状況から近世以降の可能性が高い。

### 9. 墓壇（第42～45図、写真図版25～27）

墓壇は9基検出された。うち人骨が出土した墓壇は6基ある。他に人骨は出土していないが副葬品が出土した墓壇は1基あり、出土遺物はないが、規模・形状・埋土から墓壇と判断したものが2基ある。このうち時期が近世以降と思われる墓壇は8基あり、分布は調査区南端に6基がまとまり、A区北側に2基がそれぞれ単独で検出されている。C区で単独で検出されたRD51墓壇は、内耳鉄鍋が伏せられた状態で埋葬された墓壇で、時期は中世以前の可能性が高い。

### R D 21墓壇

遺構（第42・43図、写真図版25）

〈位置・検出状況〉 D 9 H 05グリッドに位置する。V層で黒褐色土と褐色土の混土の広がりとして検出された。北西2.1mにはRD22墓壇が位置する。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径120cm、底部径100cm×90cm、深さ32cmである。平面形は円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土の混土である。人為堆積である。

遺物（第56・183・186図、写真図版138・140）

〈出土状況〉 人骨・石製品・鉄釘が出土している。人骨は墓壇の底面直上から検出され、頭位を北側にして膝を折り曲げた状態で検出された。

〈石器〉 石製品2点（1352・1353）。

〈金属製品〉 鉄釘（1404）。

〈その他〉 人骨。性別は女性で、推定年齢40～45歳であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から、近世の墓壇と考えられる。

### R D 22墓壇



#### 遺構（第42・43図、写真図版25）

〈位置・検出状況〉D 9 F 04～G 04グリッドに位置する。V層で黒色土と暗褐色土の混土の広がりとして検出された。南東2.1mにはRD21墓壙が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径155cm、底部径118cm×114cm、深さ75cmである。平面形は開口部は隅丸方形を呈し、底部は円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・暗褐色土・にぶい黄褐色土からなる混土である。人為堆積である。

#### 遺物（第56・106・187図、写真図版79・141）

〈出土状況〉人骨・銭貨・繊維質の遺物が出土している。人骨は、墓壙の底面直上から、頭を北側にして膝を折り曲げた状態で検出された。墓壙の底面西側から繊維質の遺物が敷かれた状態で出土しており、古銭が人骨の腰骨の西側付近から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片（286）。

〈金属製品〉銭貨：寛永通寶（古寛永）5枚（1422）。

〈その他〉人骨、繊維質の遺物。人骨は性別男性、推定年齢50歳であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から近世の墓壙と考えられる。

#### RD23墓壙

##### 遺構（第42図、写真図版25）

〈位置・検出状況〉D 9 L 03グリッドに位置する。V層で暗褐色土と黒褐色土の広がりとして検出された。西側2.6mには、RD26墓壙が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径104cm×102cm、底部径78cm×74cm、深さ100cmである。平面形は円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉暗褐色土・にぶい黄褐色土・黒褐色土の混土からなる。人為堆積である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はないが、規模・形状・埋土から墓壙の可能性が高く、時期は近世と思われる。

#### RD24墓壙

##### 遺構（第38図、写真図版25・26）

〈位置・検出状況〉D 9 I 10～J 10グリッドに位置する。V層で黒褐色土と褐色土の混土の広がりとして検出された。西側60cmにRD25墓壙が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径110cm×96cm、底部径68cm、深さ84cmである。平面形は不整な楕円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土・褐色土の混土からなる。人為堆積である。

##### 遺物（第56・187図、写真図版141）

〈出土状況〉底面から銭貨が出土している。銭の下位に繊維状の編み物片がみられた。

〈金属製品〉銭貨：元豊通寶1枚（1423）・寛永通寶（新寛永）7枚（1424・1425・1426）。

〈その他〉なし。

**時期** 出土遺物から近世以降の墓壙と考えられる。

#### R D 25墓壙

**遺構** (第42・43図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉D 9 I 10～I 11グリッドに位置する。V層で黒褐色土と明黄褐色土の混土の広がりとして検出された。東側60cmにR D 24墓壙が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径106cm×96cm、底部径86cm、深さ25cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土・褐色土の混土からなる。人為堆積である。

**遺物** (第56・186・187・188図、写真図版140・141)

〈出土状況〉底面から寛永通寶・人骨が出土している。人骨は、頭を北側にして膝を折り曲げた状態である。

〈金属製品〉鉄釘 (1405)、銭貨：寛永通寶 (古寛永・新寛永) 4枚 (1427・1428・1429・1430)。

〈その他〉人骨。性別女性、推定年齢55歳位であるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 出土遺物から、近世の墓壙と考えられる。

#### R D 26墓壙

**遺構** (第44図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉D 9 K 09グリッドに位置する。VI層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R A 01住居跡と重複する。新旧関係はR A 01住居跡→R D 26墓壙である。

〈規模・形態〉開口部径84cm×80cm、底部径60cm×42cm、深さ42cmである。平面形は不整な方形を呈する。底部はVII層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土の混土からなる。人為堆積である。

〈出土遺物〉なし。

**時期** 出土遺物はないが、規模・形状・埋土の状態から近世の墓壙と思われる。

#### R D 46墓壙

**遺構** (第44図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉D 3 B 11グリッドに位置する。III層で黒褐色土とにぶい黄橙色の混土の広がりとして検出された。墓壙の西側に径66cm×52cmの粘板岩質の板状の礫が置かれていた。墓石と思われる。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径128cm、底部径88cm×76cm、深さ125cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土・にぶい黄橙色土の混土からなる。人為堆積である。

**遺物** (第56・186図、写真図版140)

〈出土状況〉埋土下位、底面中央付近から人骨、人骨の下位から棺の一部と思われる木質部破片が出土している。頭骨は墓壙のほぼ中央から出土しているが、人骨の埋葬の状態は不明である。

〈金属製品〉鉄釘（1409～1419）。

〈その他〉人骨・漆の皮膜。人骨は性別女性、推定年齢40～50歳であるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 出土遺物から近世の墓壙と考えられる。

#### R D 48墓壙

**遺構**（第45図、写真図版27）

〈位置・検出状況〉D 2 T 10グリッドに位置する。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径114cm×106cm、底部径90cm×70cm、深さ58cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅤ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土の混土からなる。人為堆積である。

#### 遺物

〈出土状況〉埋土下位から人骨が出土している。人骨は、頭を北側にして、膝を折り曲げた状態で出土した。

〈その他〉人骨。性別女性、推定年齢30歳代であるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 時期を決定できる遺物はないが、人骨が出土していることから、近世の墓壙と考えられる。

#### R D 51墓壙

**遺構**（第45図、写真図版27）

〈位置・検出状況〉F 7 E 13グリッドに位置する。Ⅶ層で褐色土の広がりとして検出された。北側は試掘溝により掘り下げている。

〈重複関係〉北側でR D 52土坑と重複する。新旧関係はR D 52土坑→R D 51墓壙である。

〈規模・形態〉開口部径120cm×80cm、底部径65cm×49cm、深さ115cmである。平面形は小判形を呈する。底面はⅩ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉褐色土・灰黄褐色土・にぶい黄橙色土の混土からなる。人為堆積である。

**遺物**（第57・184・185・188～190図、写真図版139・141・142・143）

〈出土状況〉人骨は墓壙の底面上で北側に頭骨、その南側に脚骨が南北方向に向いた状態で出土している。遺存状態は不良であった。頭を北にして膝を折り曲げた状態で埋葬されたものと考えられる。

内耳鉄鍋は1点出土しており、墓壙の北側から頭骨に接して伏せられた状態で出土している。鉄鍋の内部は空洞であった。

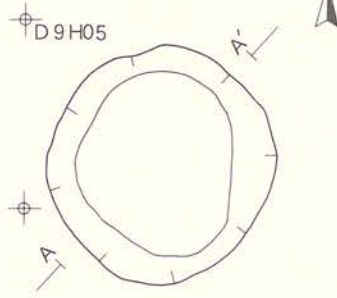
副葬品としては、他に鉄製の鎌1、椀と推定される漆器1（皮膜のみ）、緡銭1が埋土下位から底面の間で出土している。鉄製鎌は、刃部を上にした状態で、墓壙の南側から出土している。墓壙の中央付近から漆の皮膜が出土している。木質部は遺っていない。出土した時点で、椀と推定される形状を遺していたが、復元は叶わなかった。緡銭は、漆製品の北側に接して出土しており、出土時点では、緡の状態であったものの取り上げる時に剥離している。

〈金属製品〉内耳鉄鍋1点（1401）、鉄製鎌1点（1402）、銭貨：緡銭1（洪武通寶・無文銭93枚）（1431～1468）。

〈その他〉人骨・漆の皮膜。人骨の性別・年齢・死因は不明であるとの鑑定結果を得ている。

**時期** 出土遺物から、中世後期～近世初頭の墓壙と思われる。

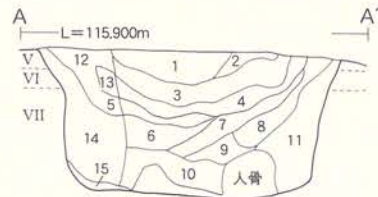
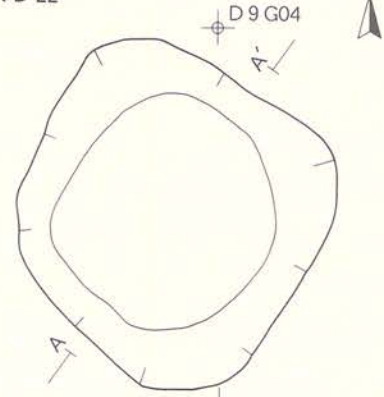
RD 21



RD21 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
2	10YR5/3 にぶい黄褐色	ローム 縮まり疎。
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
4	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 縮まり疎。
5	10YR4/6 褐色	ローム 縮まり疎。
6	10YR4/4 褐色	ローム 縮まり疎。
7	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 縮まり疎。
8	10YR3/4 黒色	ローム 縮まり疎。
9	10YR2/3 暗褐色	シルト 縮まり疎。

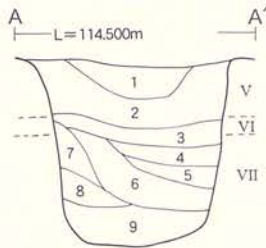
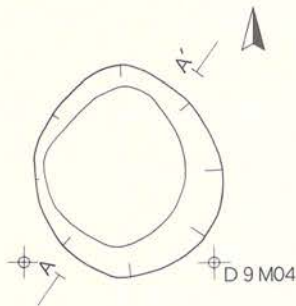
RD 22



RD22 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1 黒色	シルト 縮まり疎。南部浮石1%混入。
2	10YR3/3 暗褐色	シルト 縮まり疎。南部浮石1%混入。
3	10YR2/1 黒色	シルト 縮まり疎。南部浮石1%混入。
4	10YR3/3 暗褐色	シルト 縮まり疎。
5	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 縮まり疎。
6	10YR1.7/1 黒色	シルト 縮まり疎。
7	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
8	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 縮まり疎。
9	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
10	10YR2/3 黒褐色	シルト 縮まり疎。
11	10YR4/4 褐色	粘土質シルト 縮まり疎。
12	10YR3/2 黒褐色	シルト 縮まり疎。
13	10YR4/4 褐色	ローム 縮まり疎。
14	10YR3/4 暗褐色	シルト 縮まり疎。黒色土混入。
15	7.5YR2/1 黒色	シルト 縮まり疎。

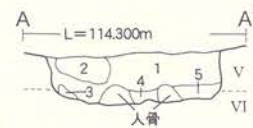
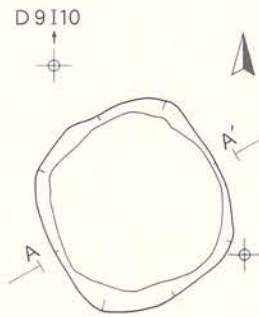
RD 23



RD23 A-A'

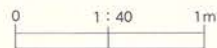
層位	色調	土性
1	10YR2/2 暗褐色	シルト 縮まり疎。
2	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 縮まり疎。
3	7.5YR2/1 にぶい黄褐色	ローム 縮まり疎。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
5	10YR2/3 にぶい黄褐色	ローム 縮まり疎。
6	10YR2/2 にぶい黄褐色	粘土質シルト 縮まり疎。
7	7.5YR2/2 黒褐色	シルト 縮まり疎。
8	7.5YR2/1 黒褐色	粘土質シルト 縮まり疎。黄褐色土混入。
9	10YR2/3 暗褐色	粘土質シルト 縮まり疎。

RD 25



RD25 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
2	7.5YR5/8 明黄褐色	南部浮石 縮まり疎。
3	7.5YR4/4 褐色	ローム 縮まり疎。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 縮まり疎。
5	10YR3/4 暗褐色	ローム 縮まり疎。南部浮石混入。

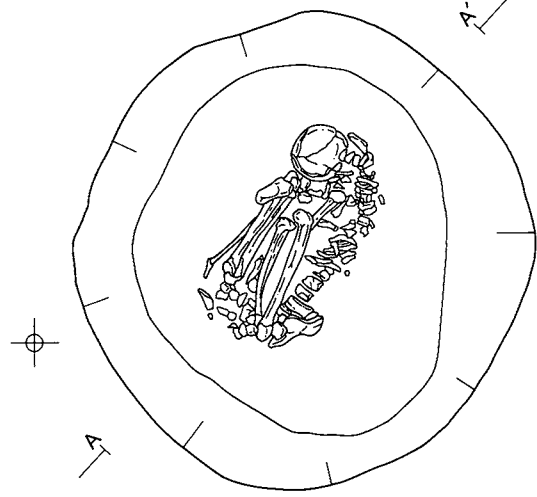


第42図 RD21・22・23・25墓墳



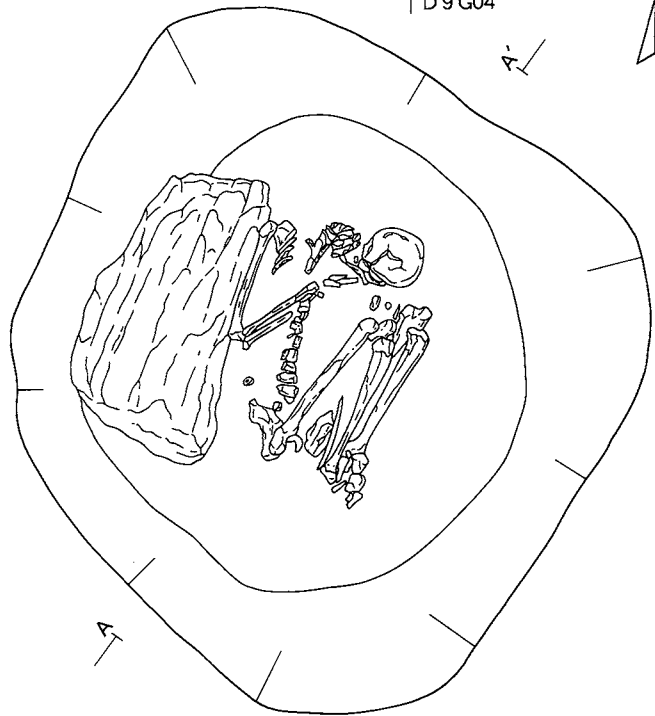
RD 21

D 9 H 05



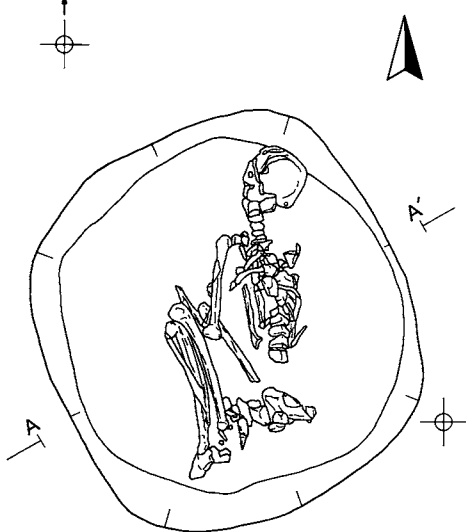
RD 22

D 9 G 04

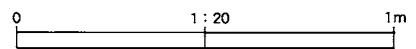


RD 25

D 9 I 10

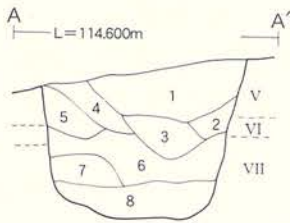
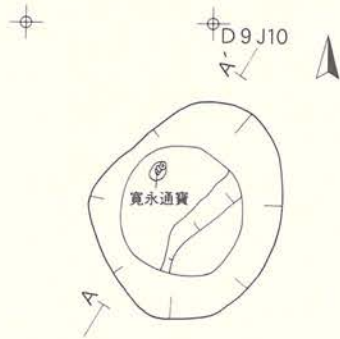


D 9 G 05



第43图 RD21・22・25墓墳

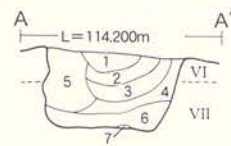
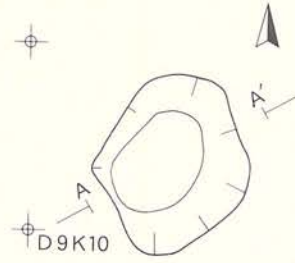
RD 24



RD24 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり疎。
2	10YR4/6 褐色	南部浮石 締まり疎。
3	7.5YR5/6 明褐色	粘土質シルト 締まり疎。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎。
5	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト 締まり疎。
6	7.5YR2/3 黒褐色	粘土質シルト 締まり疎。
7	10YR4/3 にぶい黄褐色	南部浮石 締まり疎。
8	7.5YR4/6 褐色	シルト 締まり疎。

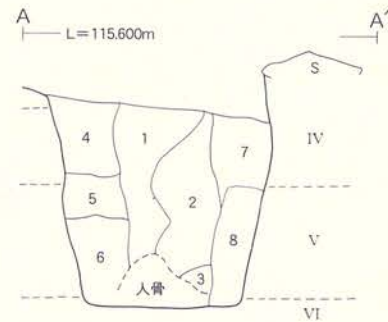
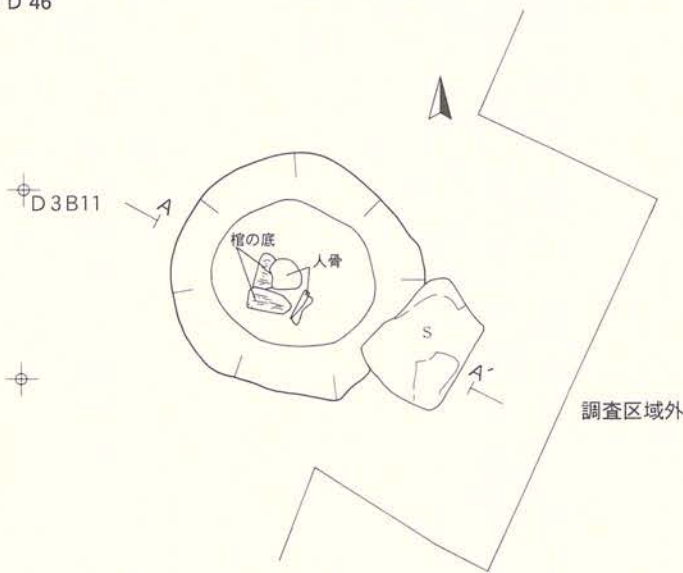
RD 26



RD26 A-A'

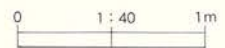
層位	色調	土性
1	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり疎、南部浮石50%混入。
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり疎、南部浮石1%混入。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり疎、黄褐色土10%混入。
5	10YR3/4 黒褐色	シルト 締まり疎。
6	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり疎。
7	10YR3/4 黒褐色	シルト 締まり疎。

RD 46



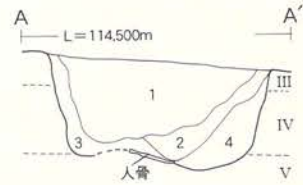
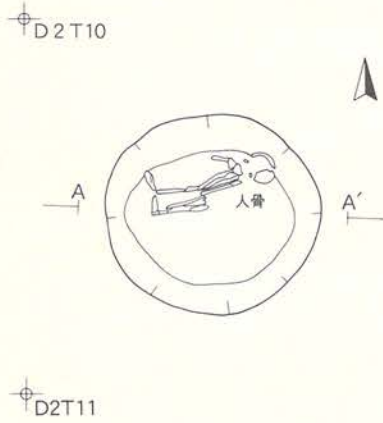
RD46 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石10%混入。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石30%混入。
3	7.5YR2/1 黒色	シルト 締まり疎。
4	10YR2/2 黒色	シルト 締まり疎、南部浮石5%混入。
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石25%混入。
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石25%混入。
7	10YR7/4 にぶい黄褐色	南部浮石 締まり中。
8	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まりやや密、南部浮石25%混入。



第44図 RD24・26・46墓墳

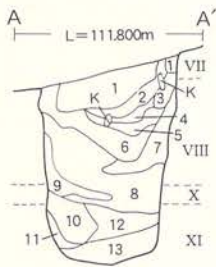
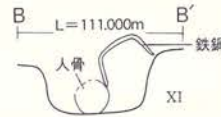
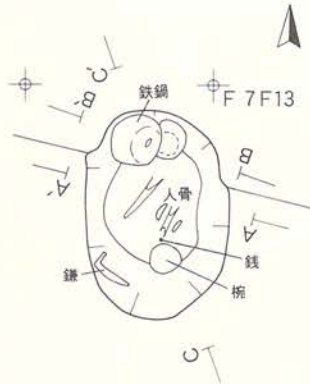
RD 48



RD48 A-A'

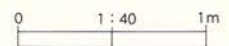
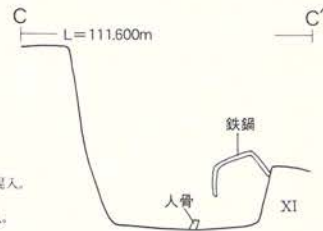
層位	色調	土性
1	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
2	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中。
3	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。
4	10YR3/1 黒色	シルト 締まり中、南部浮石1%混入。

RD 51

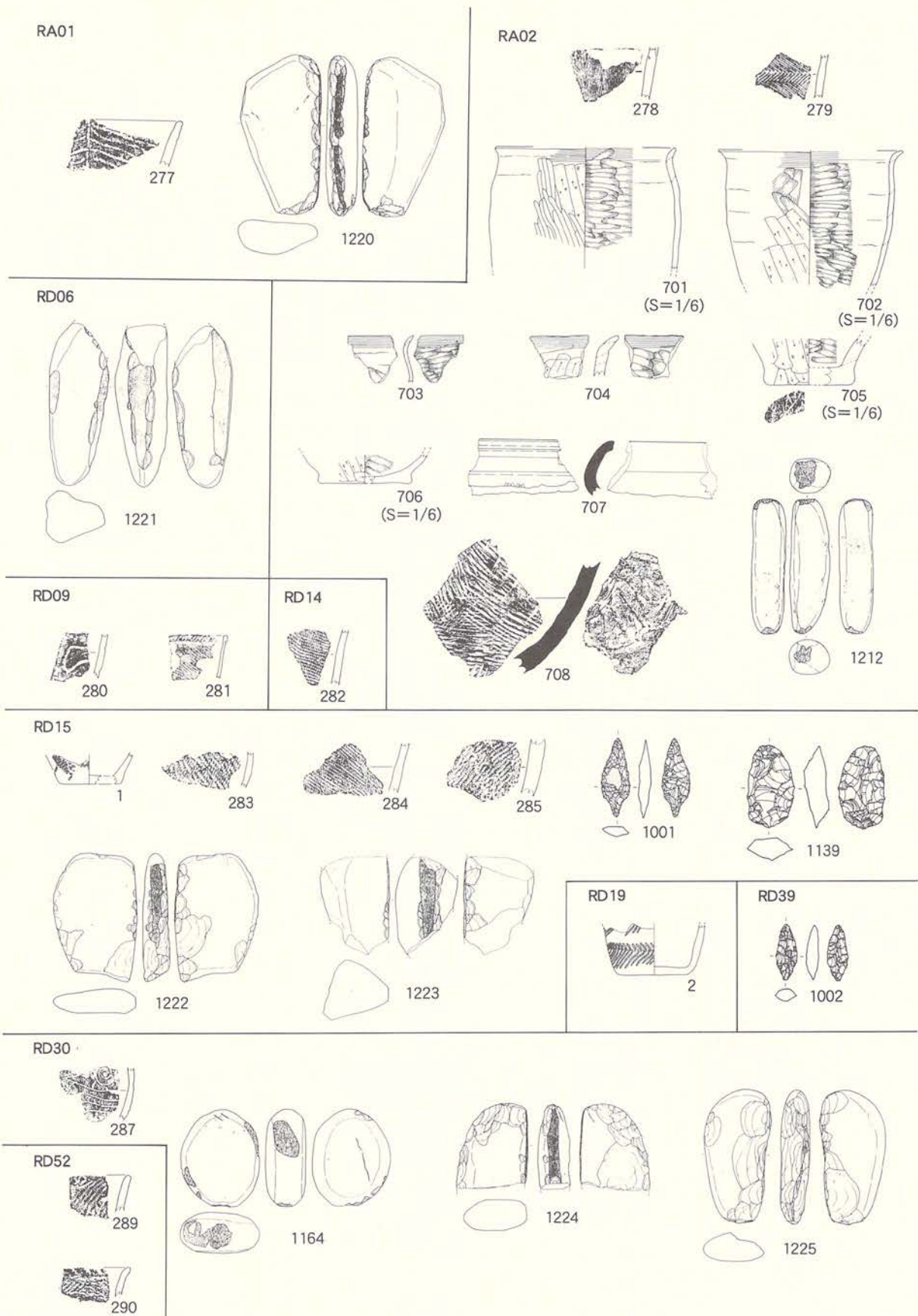


RD51 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR4/6 褐色	シルト 締まり疎、南部浮石1%混入。
2	10YR6/4 にぶい褐橙色	砂質 締まり中、南部浮石30%混入。
3	7.5YR3/4 暗褐色	ローム 締まり疎。
4	10YR5/2 灰黄褐色	シルト 締まり疎、南部浮石5%混入。
5	7.5YR5/4 にぶい褐色	砂質 締まり中。
6	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質ローム 締まり中。
7	10YR4/2 灰黄褐色	砂質ローム 締まり中。
8	10YR5/4 にぶい褐色	砂質 締まり中。
9	7.5YR5/4 にぶい褐色	シルト 締まり中。
10	7.5YR7/2 明褐灰色	砂質 締まり中。
11	10YR7/2 にぶい黄褐色	砂質 締まり中。
12	7.5YR6/3 にぶい褐色	シルト 締まり中。
13	7.5YR6/4 にぶい褐橙色	シルト 締まり疎。



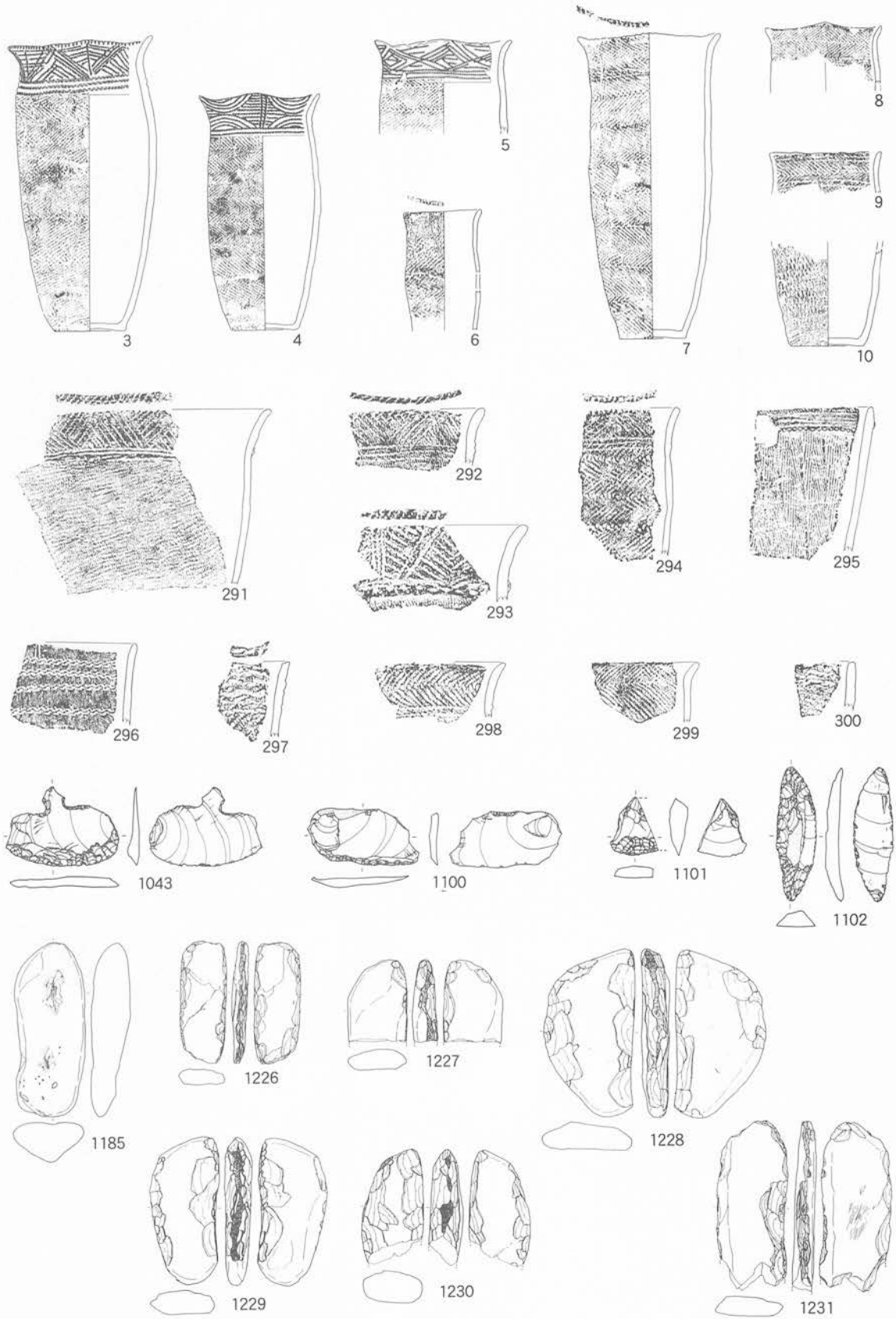
第45図 RD48・51墓塚



第46図 RA01・02、RD06・09・14・15・19・30・39・52出土遺物  
 (土器立体1/8・破片1/6、剥片1/3・礫1/6)

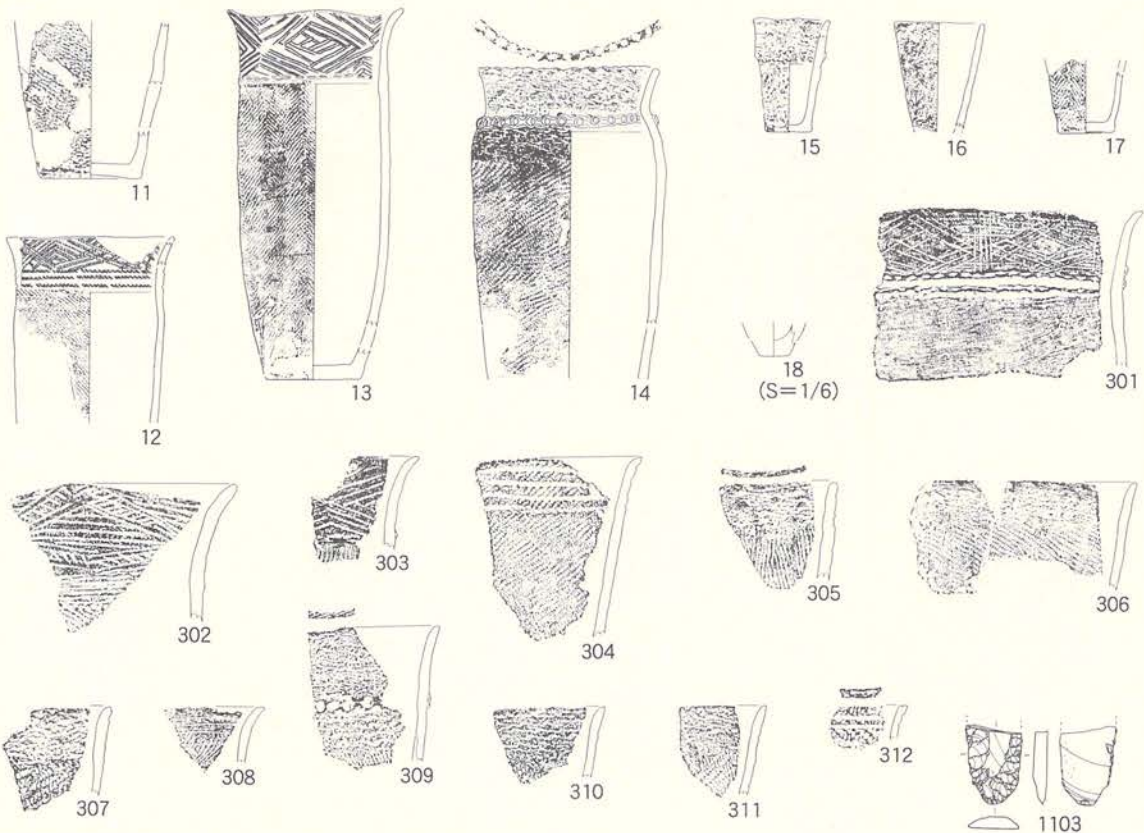


RD53

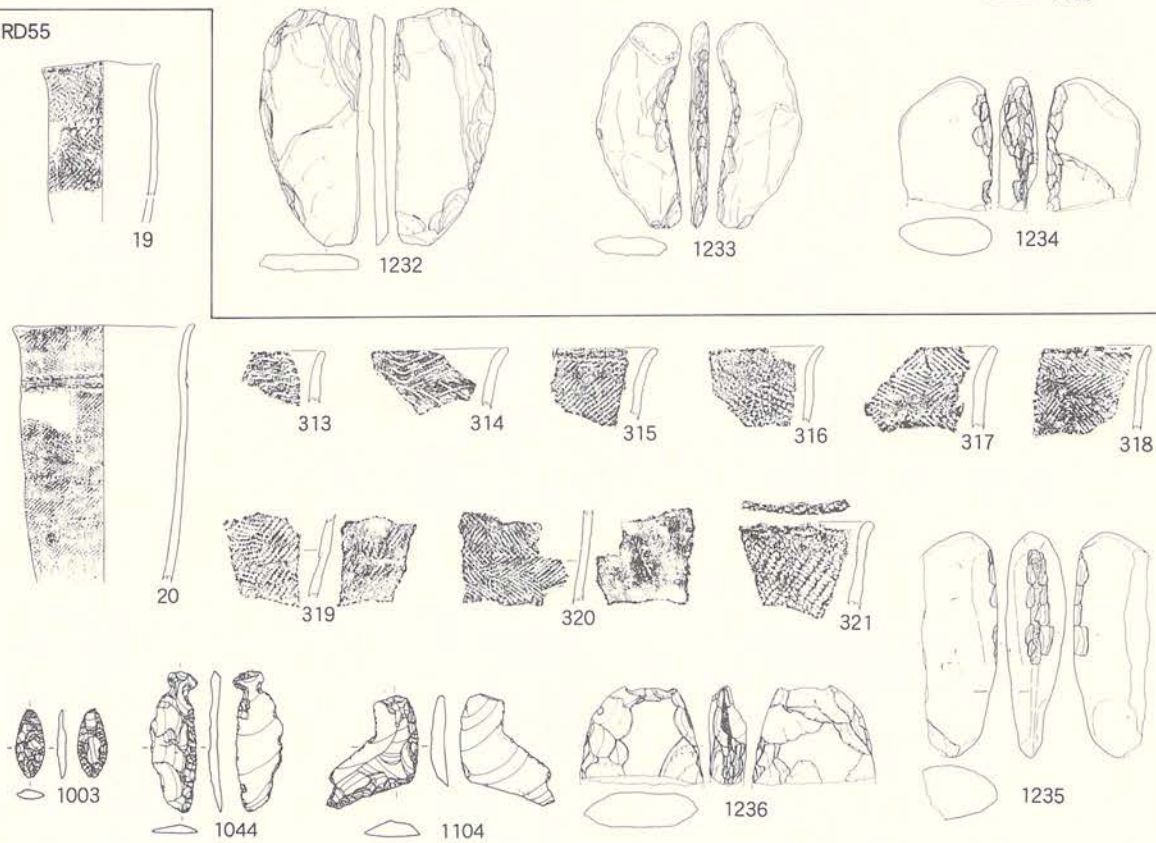


第47図 RD53出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6)

RD54



RD55



第48図 RD54・55出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6)

RD56



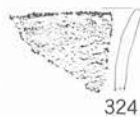
21



322



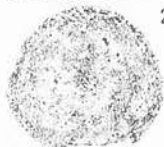
323



324



325



RD57

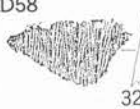


326



327

RD58

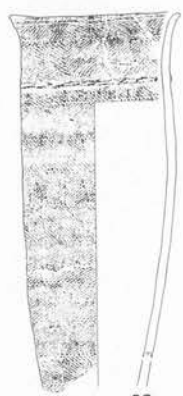


328

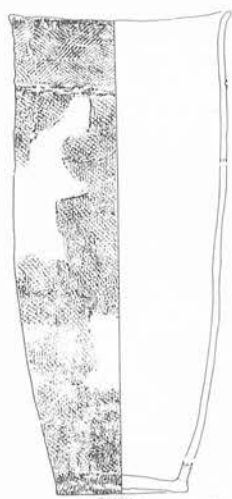


329

RD60(1)



22



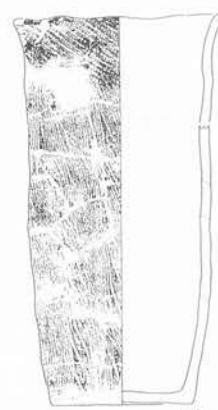
23(S=1/10)



24



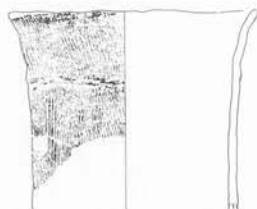
25



26



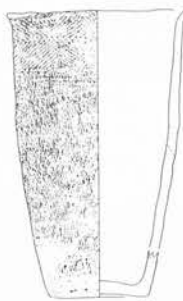
27



30



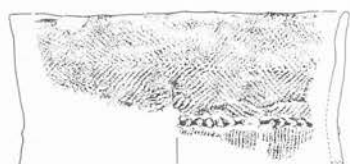
31



28



29



32



33



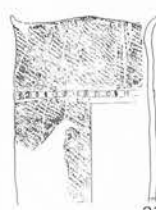
34



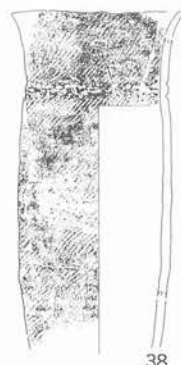
35



36



37

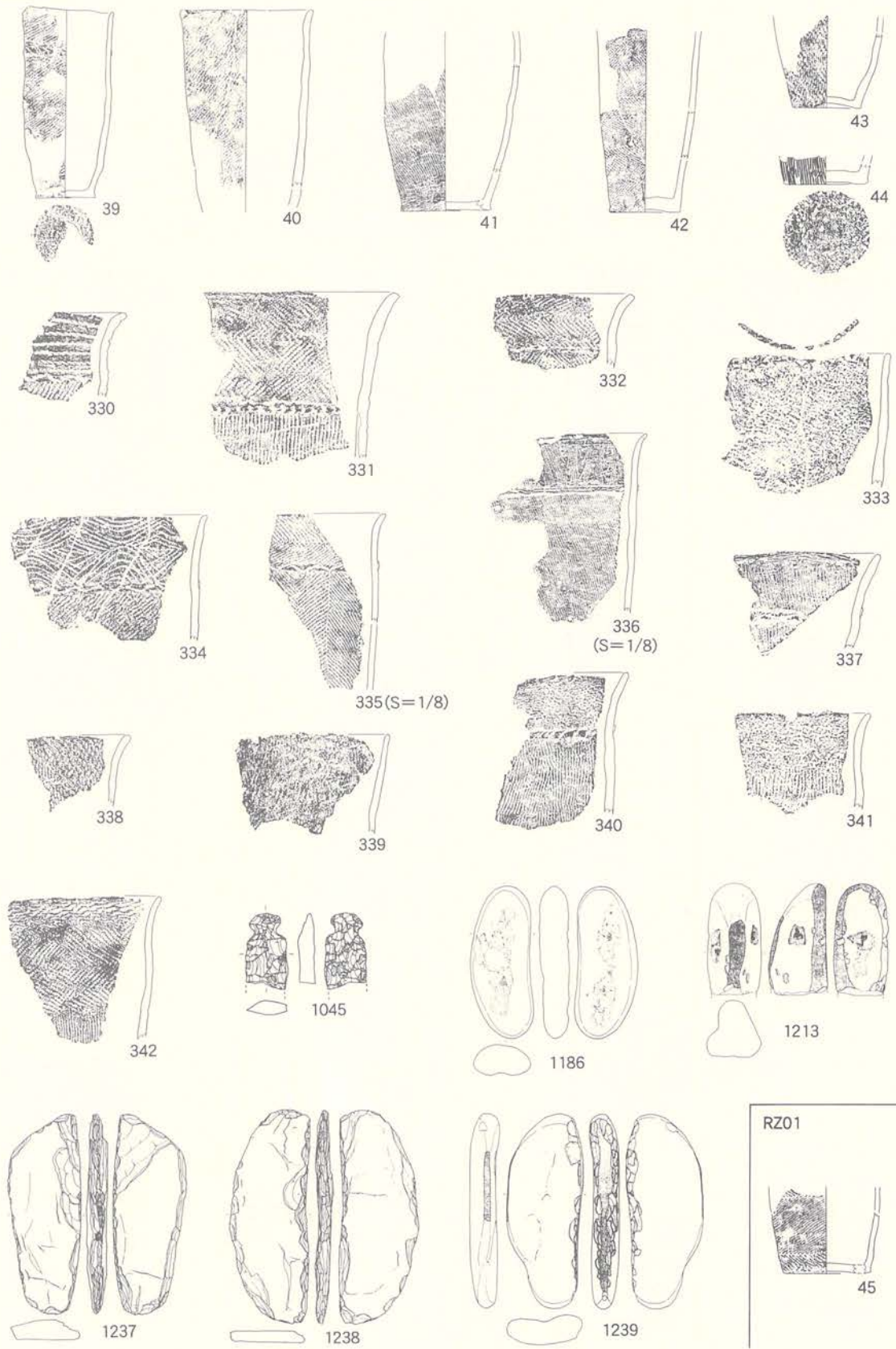


38

第49図 RD56・57・58・60(1) 出土遺物(土器立体1/8・破片1/6)



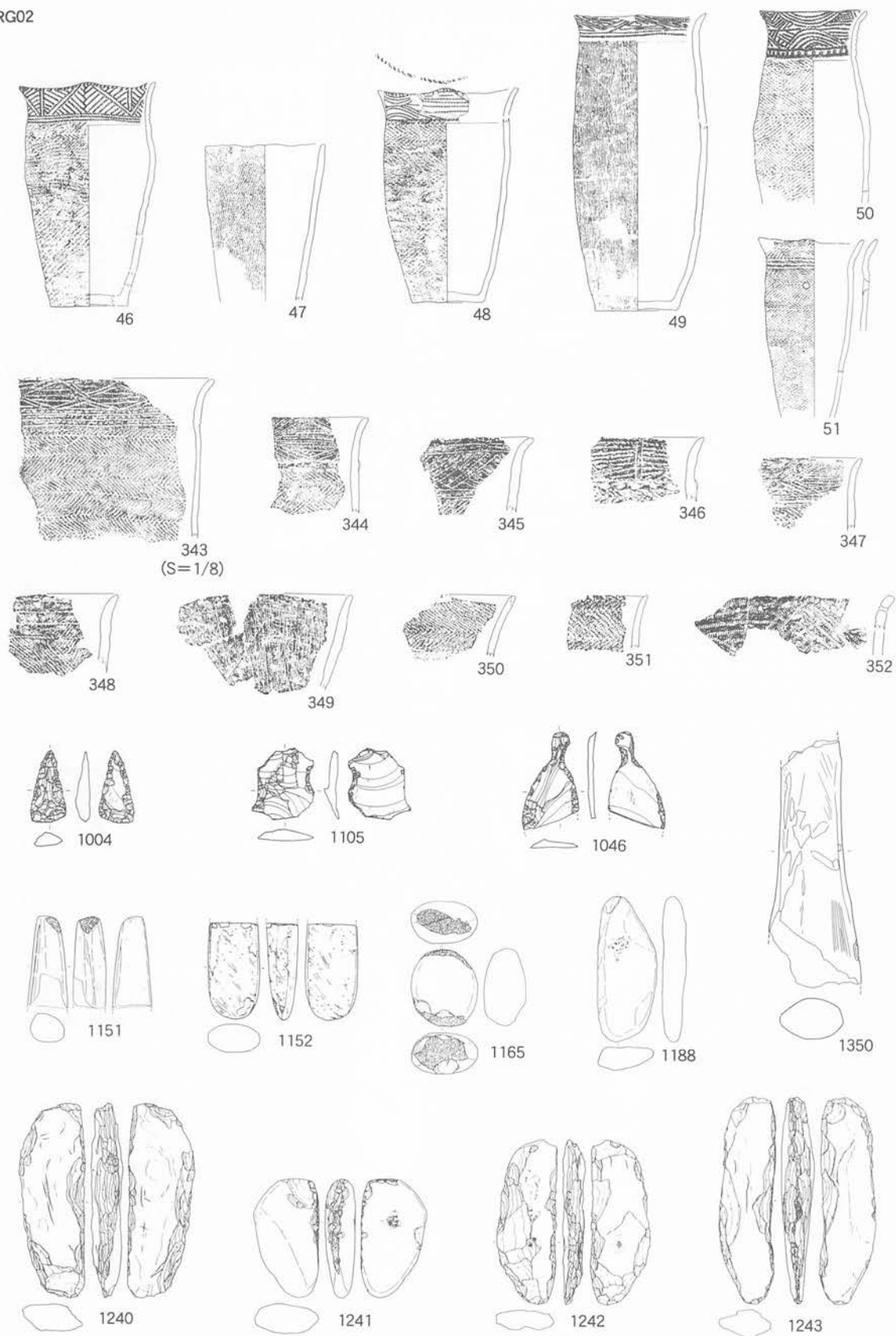
RD60(2)



第50図 RD60 (2)、RZ01出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6)



RG02



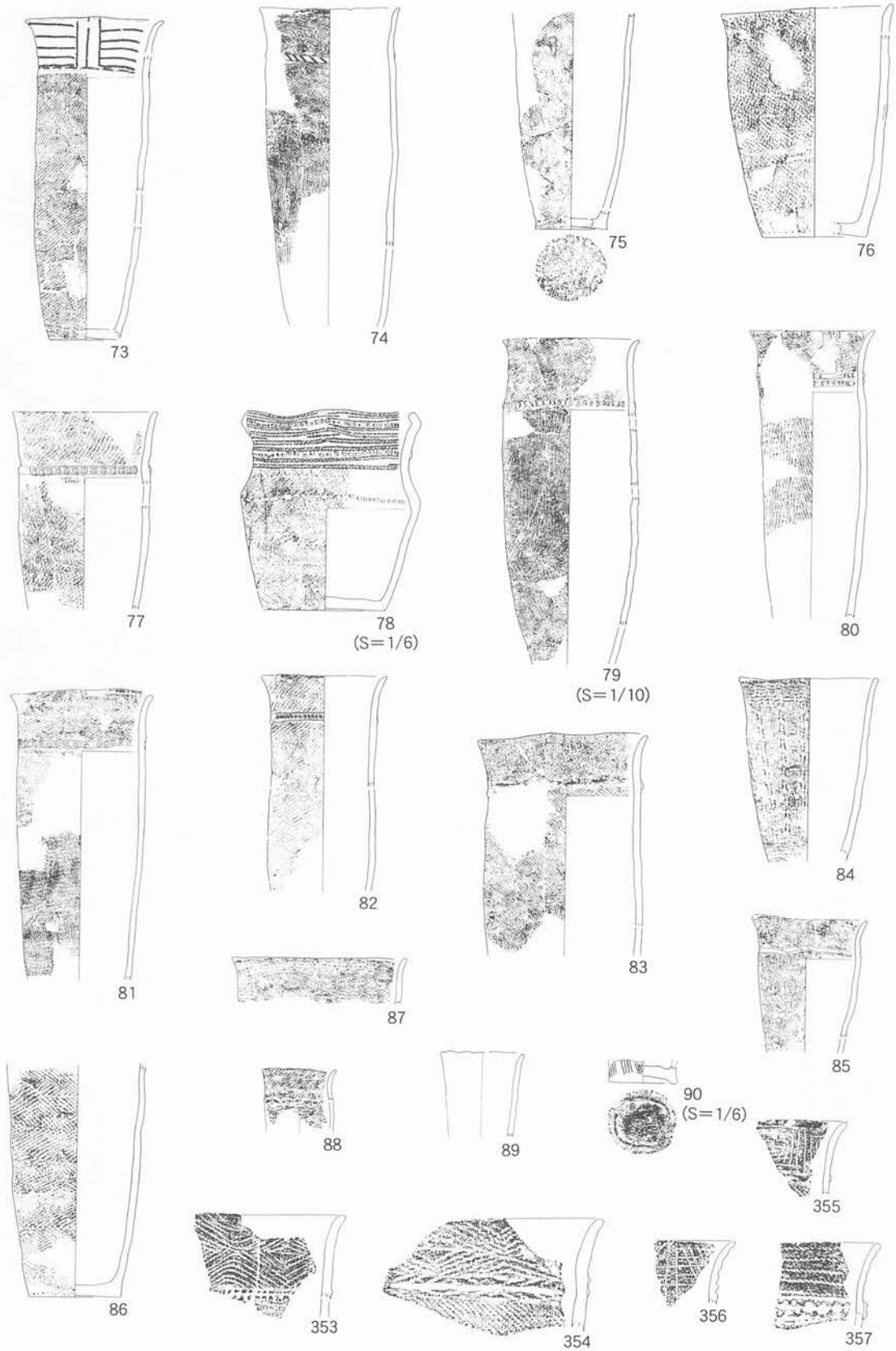
第51図 RG02出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6・石製品1/3)

RG03(1)



第52図 RG03 (1) 出土遺物 (土器立体1/8)

RG03(2)



第53図 RG03 (2) 出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6)



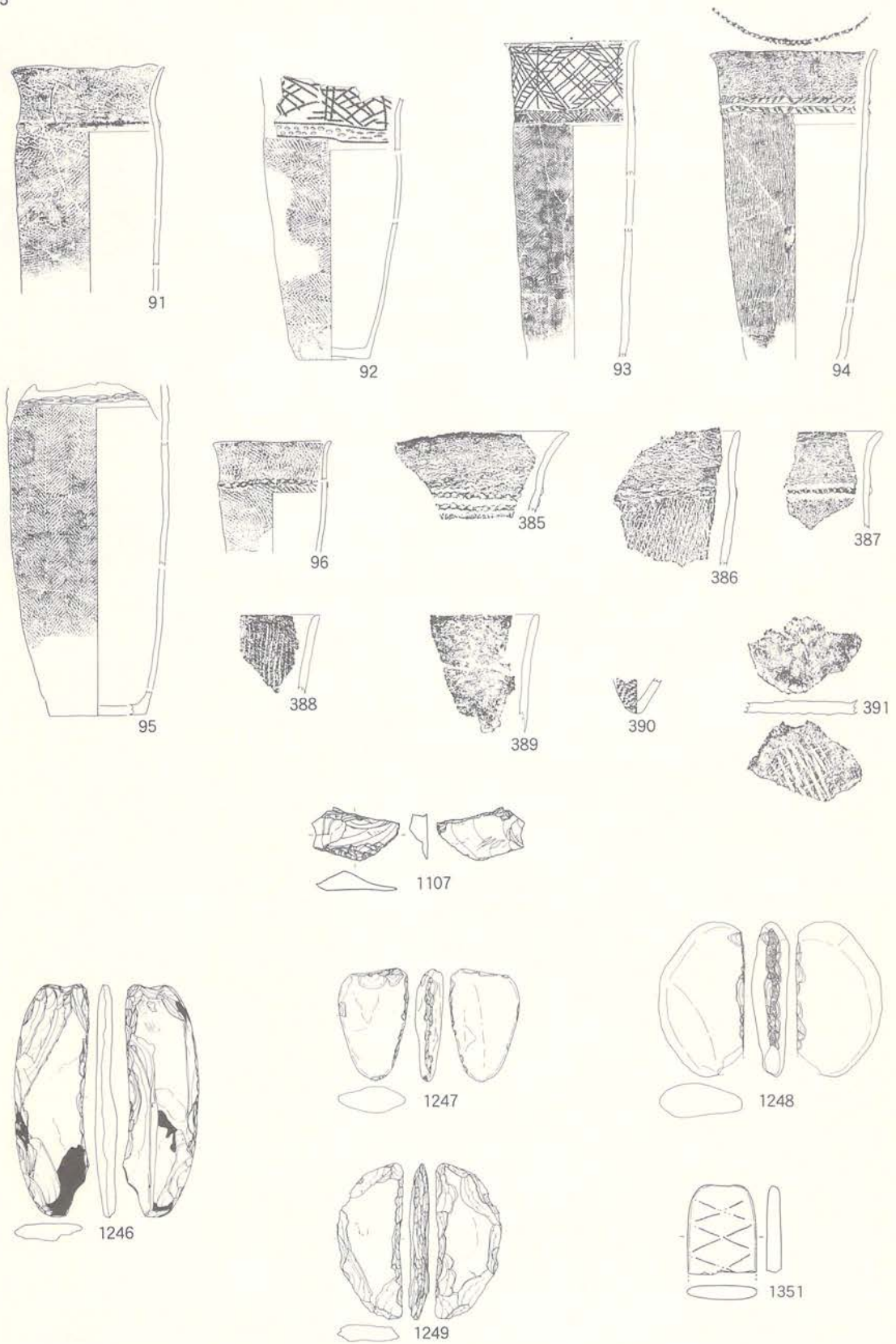
RG03(3)



第54図 RG03 (3) 出土遺物 (土器破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6)

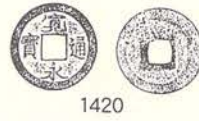
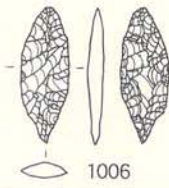


RG05

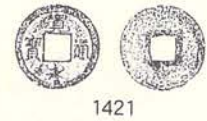


第55圖 RG05出土遺物（土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6・石製品1/3）

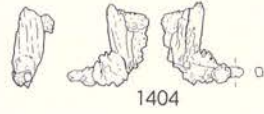
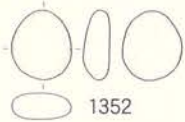
RB01



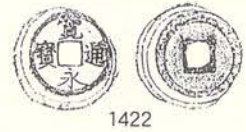
RB02



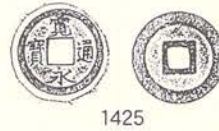
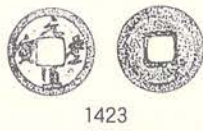
RD21



RD22



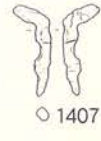
RD24



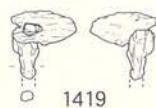
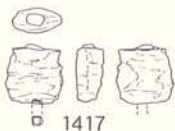
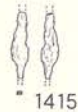
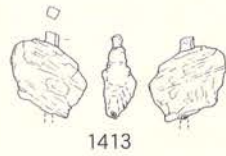
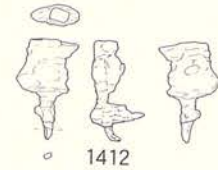
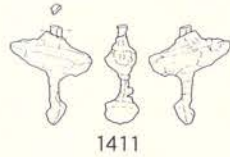
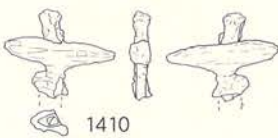
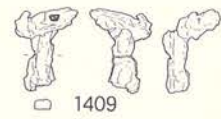
RD25



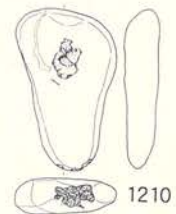
RD40



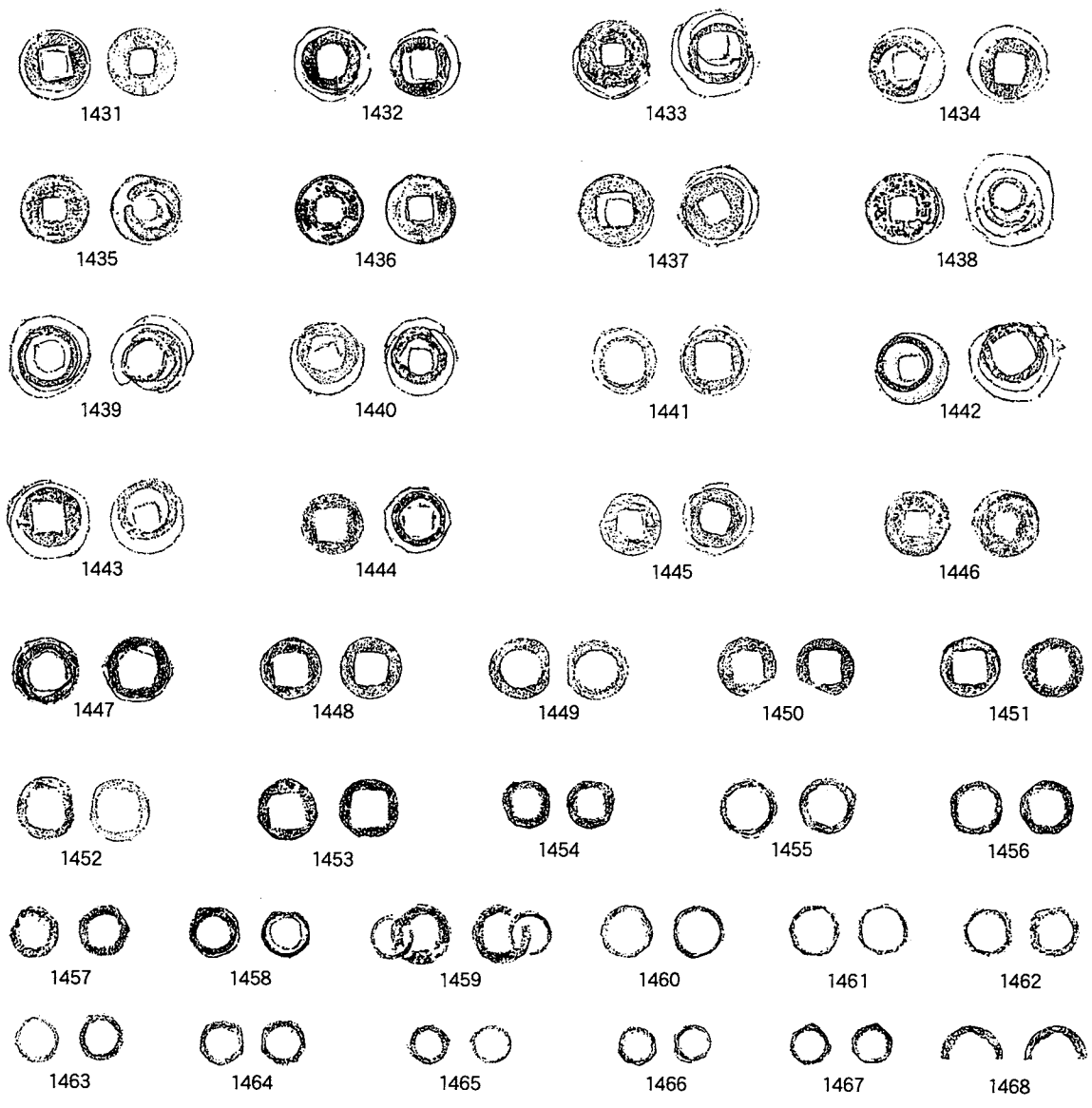
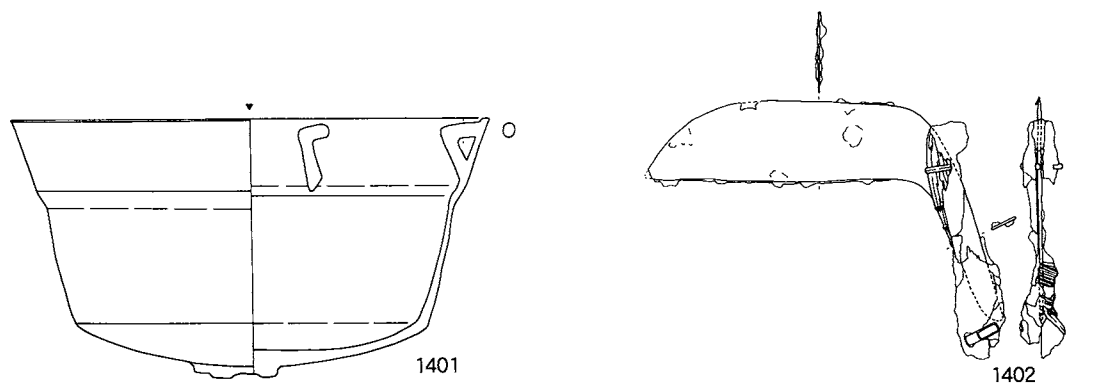
RD46



RD49



第56圖 RB01・02、RD21・24・25・40・46・49出土遺物  
(金屬製品：錢貨1/2・釘1/4、土器破片1/6、石器礫1/6・石製品1/3)



第57図 RD51出土遺物 (金属製品：鍋・鎌1/4・銭貨1/2)



## V. 出土遺物

大鳥 I 遺跡から出土した遺物は、縄文土器が大コンテナ（42×32×30cm）150箱・土師器・須恵器が中コンテナ（42×32×20cm）1箱・土製品11点・石器696点・石製品10点・金属製品70点である。

### 1. 縄文土器（第58～137図、写真図版28～104：1～677）

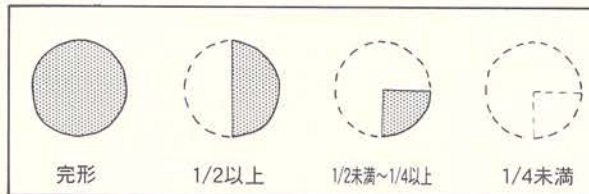
はじめに、掲載基準と観察項目を記載し、次に出土土器全体の概要と遺構の種類ごと（掲載順）に主だった出土土器の概要を述べる。個々の土器の特徴については、観察表を参照されたい。

#### （1）掲載基準について

一部、Ⅲ、2の、室内整理の記載と重複するが、以下に出土遺物の掲載基準を記す。接合を行った結果、口径・器高・底径の計測値のうち、2箇所以上実数で把握可能なものを立体土器として登録・図化し、掲載した。接合資料でも上記の基準を満たさなかったものについては、観察項目を記録するに留めた。

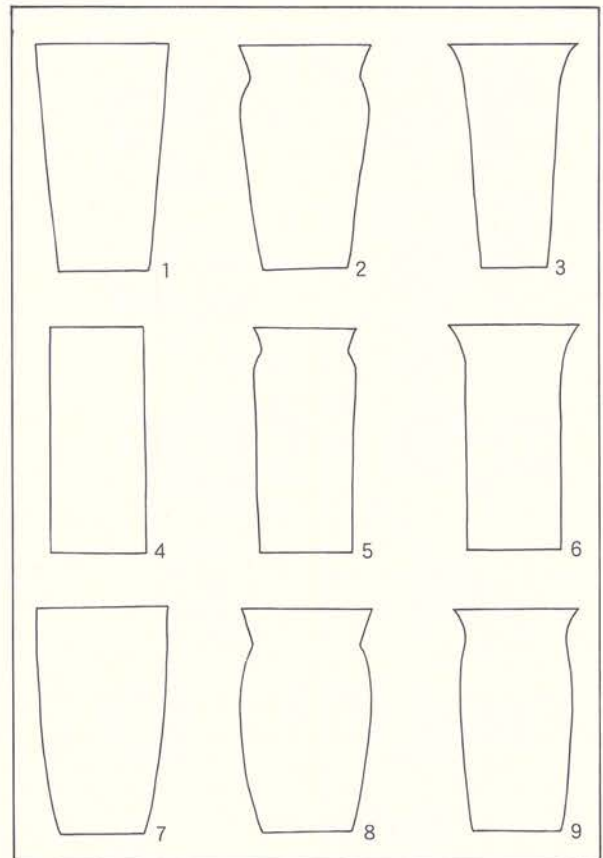
破片資料は、すべて実見し、以下の基準で選別した。掲載資料は、原則として口縁部破片とし、径5cm×5cm以上で、口縁部・胴部の文様が両方とも把握が可能なものとした。胴部破片については、文様・成形痕・特異な文様が施されているものに限定した。底部破片は、残存状況について以下に示した基準を設けて統計処理を行い、掲載遺物については、底部圧痕や器形が特異なものに限定した。これらの基準を設定した理由のひとつは、出土土器の大部分が前期の円筒下層式土器であることによる。そのため該期以外の土器（早期・中期・後期）については、上記の基準を満たさないものでも、必要に際して図化して掲載している。

#### （2）観察項目：以下の項目について、観察を行った。



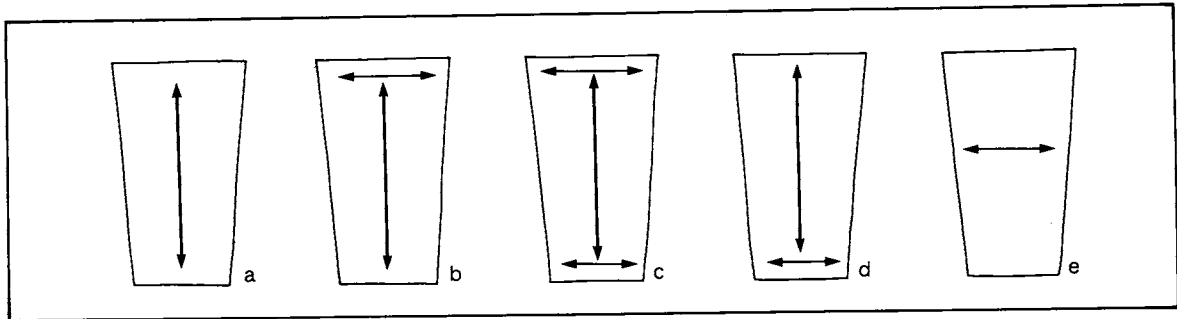
土器底部の残存状況の模式図

- 計測値（器高・口径・底径）※立体土器のみ。
- 器形：口縁部と胴部に留意して、以下のような基準をもうけた。
  - 口縁部：直立ぎみに立ち上がる。  
屈曲して外反する。  
外反する。
  - 胴部：やや反って直線的に立ち上がる。  
直立ぎみに立ち上がる。  
曲線的に立ち上がる（丸みがある）。
  - 底部：平底・上底
- 文様：各部位の縄文原体と施文方法。
- 色調：土色帳に照合する。
- 胎土：繊維・礫などの混入の有無。
- 内面調整：調整（ミガキ・ナデ）の有無と方向。



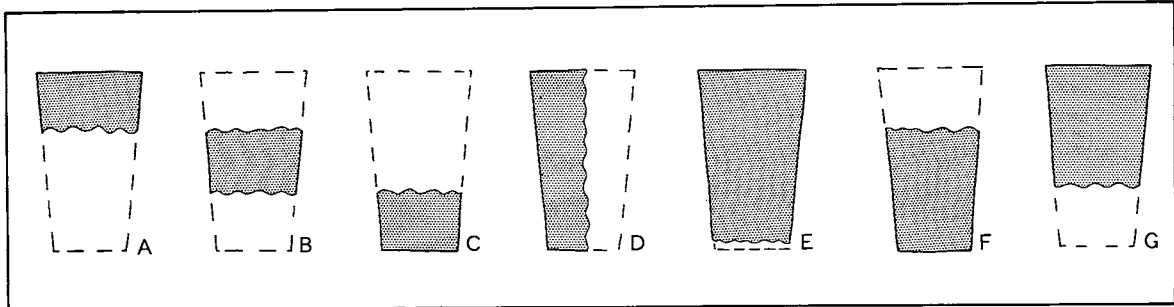
土器の器形の模式図





土器内面の調整方向の模式図

●土器の残存状況



土器の残存状況の模式図

●時期：次の時期を便宜的に以下のように分類し、さらに土器型式に対応するよるに細分した。

早期：Ⅰ群、前期：Ⅱ群、中期：Ⅲ群、後期：Ⅳ群。

●その他：成形の痕跡（輪積痕）、使用の痕跡（補修孔・煮炊の痕跡）など。

(3) 出土遺物について

総量：大コンテナ（T40：42×32×30cm）で150箱出土している。掲載した遺物は、立体土器276点、破片資料401点である。また本来の個体数を類推する手掛かりとして、底部破片の残存状況について統計処理を行った。その結果、完形：96、1/2以上：179、1/2～1/4：97、1/4未満：980で、不掲載資料で1/2以上残存する底部資料は275点ある。掲載資料で底部を有する資料は49点で、併せると、個体数は最低324個体はあったものと推定される。

出土状況：150箱中149箱が、F7区（土坑・溝状遺構・包含層）からの出土であり、調査区域5,812㎡のなかにおいて著しい片寄りがある。個々の土器の出土状況については、原型を保って出土した例は稀であるものの、個体単位で出土している例が多い。個々の土器の残存状況をみると、胴部下半～底部のみの事例Cが36例、胴部下半を欠く事例Gが72例と多く、底部のみを欠く事例Eは13例ある。

接合状況：接合が叶わなかった資料については、調査精度の問題もあり、一概にいうことはできないが、多くは出土した地点もしくは隣接地点（グリッド）で接合は完了している。地点が離れて接合した例には、No.20（RD55とF7G10）とNo.276（F7区とF5区）がある。

竪穴住居跡出土の土器（第46・106図、写真図版77～79：272～279）

RA01住居跡：227は、中期初頭、RA02住居跡：278・279は、前期末葉の土器片である。

土坑出土の土器（第58～65・106～110図、写真図版28～35・79～82：1～44・280～342）

大別、縄文時代前期と後期の土器片が出土している。RD09土坑:280・281、RD14土坑:282は、後期の土器片。RD15土坑:1・284・285は、前期の土器片である。RD19土坑:2は、底部で時期は前期である。RD22墓壙:286は、後期の土器片。RD30土坑:287、RD49土坑:288は、後期の土器片である。

RD52土坑:289・290は、前期の土器片である。RD53土坑:3~10・291~300は、前期の土器である。3~9は、地文に結束第1種RL・LRによる横位の羽状縄文が施されており、3・4・5の口縁部には、原体側面の圧痕による幾何学状の文様が施され、7・8・9は、頸部に原体の側面圧痕による横位の区画が施されている。3は、口唇部にも口縁部と同様の2段RLとLR原体の側面圧痕が施されている。

RD54土坑:11~18・301~312は、前期の土器である。11は、器壁の剥落が著しい。13は、頸部に太い隆帯を貼り付け、その上に圧痕を加えており、口唇部にも同様に圧痕を加えている。15・16・17は小型の土器である。18は底部破片で、無文のミニチュア土器のようである。胎土は良く、色調が灰色で260と酷似する。

RD55土坑:19・20・313・325は、早期・前期の土器である。19・20は、地文に結束第1種RL・LRによる羽状縄文が横位に施文され、19は頸部に圧痕、20は、細い隆帯を貼付けたのち、圧痕を施している。319は、表裏縄文で、輪積痕がある。320は、外面に羽状縄文、内面に原体の側面圧痕がみられる。RD56土坑:21・322~325は、前期・早期の土器片である。21は、底部片で、圧痕?がある。325は、表裏縄文で、破片上位の欠損部は輪積み部分から欠損したようである。RD57土坑:326・327、RD58土坑:328・329、RD60土坑:22~43・330~342は前期の土器である。22は、頸部に細い隆帯を貼り付け、横位の刻みを施している。また隆帯の下位に長さ1cmほどの縦位の刻みが9本入っている箇所がある。23は、底部に撚糸文を施す。24・25は、頸部に隆帯を貼り付けた後に縄文を施文している。29の口縁部文様帯は、結束第1種RL・LRによる羽状縄文を横位に施文した後、原体側面圧痕により幾何学状の文様を施文している。30は、単軸絡条体第1類を縦回転した撚糸文が施文され、口唇部には横回転による撚糸文が施文されている。

#### 土器埋設遺構出土の土器 (第65図、写真図版35:45)

RZ01埋設土器:45は、土器の胴部下半で、羽状縄文が横位に施文される前期の土器である。

#### 溝状遺構出土の土器 (第66~75・110~114図、写真図版36~45・82~85:46~96、343~391)

前期の遺物が主体で、早期の土器が少量ある。RG02溝状遺構:46~51・343~352は、前期の土器である。51は、口縁部の下に径0.8cmの孔が穿たれている。外側からの穿孔である。349は、沈線により縦・横・斜に施文された土器。352は、絡条体圧痕文で、1対の補修孔がある。ふたつの孔の間は2.4cm、孔径は0.3cmである。RG03溝状遺構:52~90・353~384は、前期・早期の土器である。58の口縁部文様帯は4単位であるが、1箇所だけ他と文様構成が異なっている。61は、頸部に貼り付けられた隆帯に沿って2段LR原体の側面圧痕が施されている。68の口縁部は、斜縄文施文の後に原体側面の圧痕による文様が施されている。69の口縁部は、3単位の波状口縁である。72の口縁部文様は、原体の側面圧痕により3単位の菱形文様が施文されているが、うち一つが菱形内部を縦位の3本線で仕切り、他のふたつの菱形内部はX字状の文様である。79は、口縁部文様帯の羽状縄文は、他の土器のように規則的でなく、捻れるように施文されている。残存部に径0.5cmの補修孔がひとつあり、欠損部位より1.5cm横、口唇部より4cm下位で、口唇部から入る亀裂(9.5cm)のほぼ中央付近の位置にある。86は、内面の底部付近に煤状の付着物がある。90は、巾をもった縁をもつ上げ底の土器である。366は、径0.5cmの補修孔をもつ。375~380は表裏縄文で、375と377、379と380はそれぞれ同一個体であり、381・382は尖底土器である。これらの土器の色調は、にぶ

い橙色を呈し、器厚は0.6～0.7cmと薄いが、焼成はよく、胎土は良好である。

R G05溝状遺構：91～96・385～391は、前期の土器である。93の口縁部文様帯は5単位か。頸部には、口縁部と類似の文様構成で、6本単位の刻みが斜位に交互に入り、上下に刺突列を施している。

#### 包含層出土の土器（第75～105・115～137図、写真図版45～77・85～104：97～274・392～666）

前期の土器が主体で、早期・中期の土器が少量ある。102は、ミニチュア土器の底部片である。108は、緩い4波状を呈する。112は、口唇部にも、口縁部と同じ1段R原体の圧痕が施されている。116は、口縁下4.5cmに位置に一对の補修孔をもつ。亀裂を挟んでふたつの孔の間は3cmあり、孔径は0.6cmである。119は、口縁部下に横位楕円の貫通孔をもっている。126は、胴部上半のみの残存であるが、口径50cmと推定される。復元された土器では最大のものである。127は、土器底部の縁に縦位の刻目をもつ。131は、胴部に結束第1種RL・LR原体による羽状縄文が横位に施文されているが、胴部下半になると、施文方向が捻れてくる。また、胴部下位に指紋と思われる痕跡がある。147は、胴部の縄文→頸部沈線→口縁部の原体側面痕の順に施文されている。167は、4単位の波状口縁で、頂部に圧痕が施され、底部の縁には刻目が施されている。168は、口唇下1.5cmの位置に、径0.3cmの一对の補修孔がある。ふたつの補修孔の間は2.2cmある。175には孔径0.4cmの補修孔がひとつある。182の口縁部の文様帯は3単位である。199は、底部内面の中央に貼り瘤状の出っ張りを有している。203の口縁部の文様は、原体側面の圧痕によるが、原体の末端を処理した結節部の圧痕がみられる。206の底部の縁には縦位の刻目が入る。209・210・211は、ミニチュア土器の底部片である。219は、内面・外面に部分的ではあるが、土器の成形時の輪積痕が遺る。粘土紐の巾は3cm前後か。226の土器の上面観は楕円形である。230の頸部は、隆帯貼り付け後、単軸絡条体第1類の圧痕が施されている。胴部文様の燃糸文を施文した原体と同一原体と思われる。胴部下位には斜縄文が施されている。施文順は、燃糸文→斜縄文である。240は、胴部に櫛引状の細い沈線が縦走する。245は、口縁部に断面V字状の太い沈線が引き継がれている。口縁部と胴部の間は、隆帯で区画し、胴部は、単軸絡条体第1類の縦回転による燃糸文が施されている。247は、口縁下1.5cmの位置に一对の補修孔をもつ。ふたつの孔の間は2.9cm、孔径0.2cmである。249の底部には、胴部と同じ燃糸文が施文されている。251は、口唇下2.3cmに一对の補修孔をもつ。ふたつの孔の間は3cm、孔径0.4cmである。256の口縁部文様帯は、原体の側面圧痕によるが、縦の区画は7つ、文様は4単位である。257は、胎土に石英を多く含んでいる。260は4波状口縁の無文のミニチュアで、胎土・色調は18と酷似する（註3）。

400～405は、前期の末葉の土器片で口縁部に区画としての隆帯が貼り付けられ、口縁部は強く屈曲する。454・455は、中期後葉の土器片である。515は、輪積の箇所では剥落した土器片で、内外面に輪積痕がみられる。528は、土器の内面の仕切りの可能性がある土器片である（註1）。530は、胴部と頸部に隆帯を貼り付け、その上に刺突を施している。胴部に隆帯が貼り付けられる土器はこの1点のみである。397と同一個体か。617は、口縁部破片で、口縁下1.5cmに孔径0.9cmの補修孔をもつ。623は、底部破片で、199と同様に内面に貼り瘤状の出っ張りを有する（註2）。

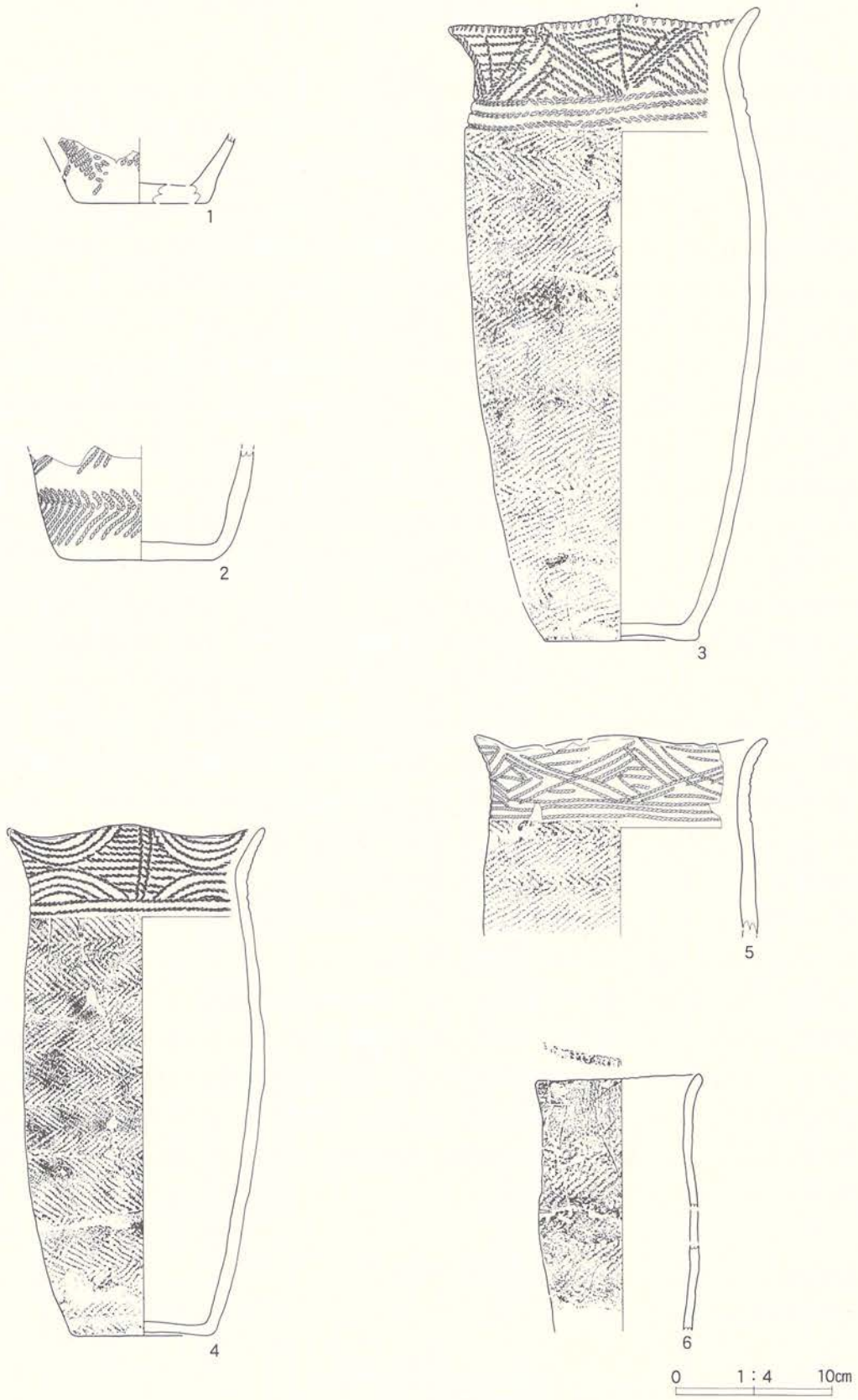
#### 遺構外出土の土器（第105図、写真図版78：275・276）

275・276は、前期の土器である。

#### 註

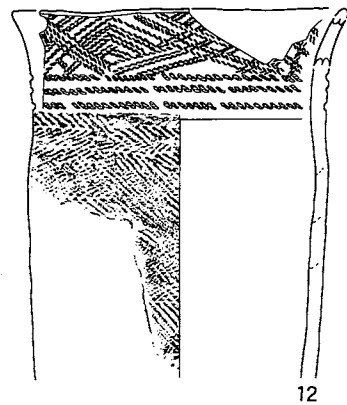
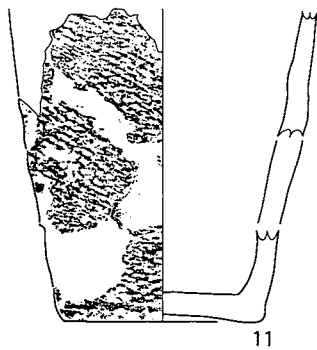
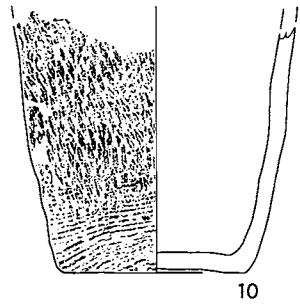
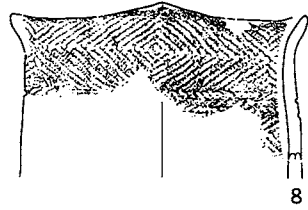
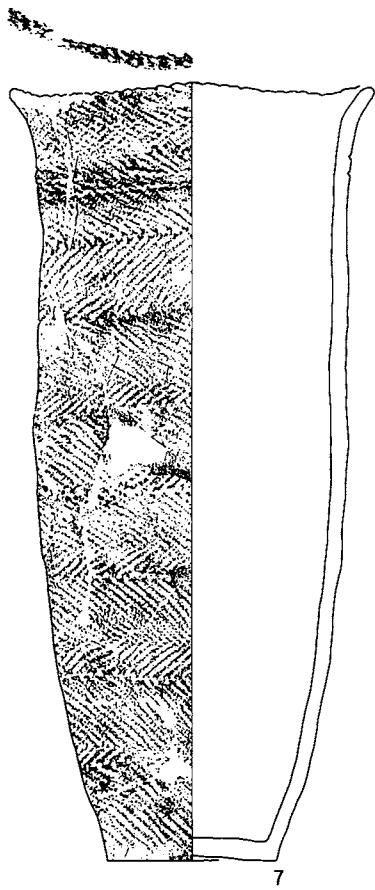
- (1) 尾上山(3)遺跡（青森県埋蔵文化財調査報告書第135集：1991）に類例がある。
- (2) はりま館遺跡（秋田県文化財調査報告書第192集：1990）に類例がある。
- (3) 板留(2)遺跡（青森県埋蔵文化財調査報告書第59集）に類例がある。





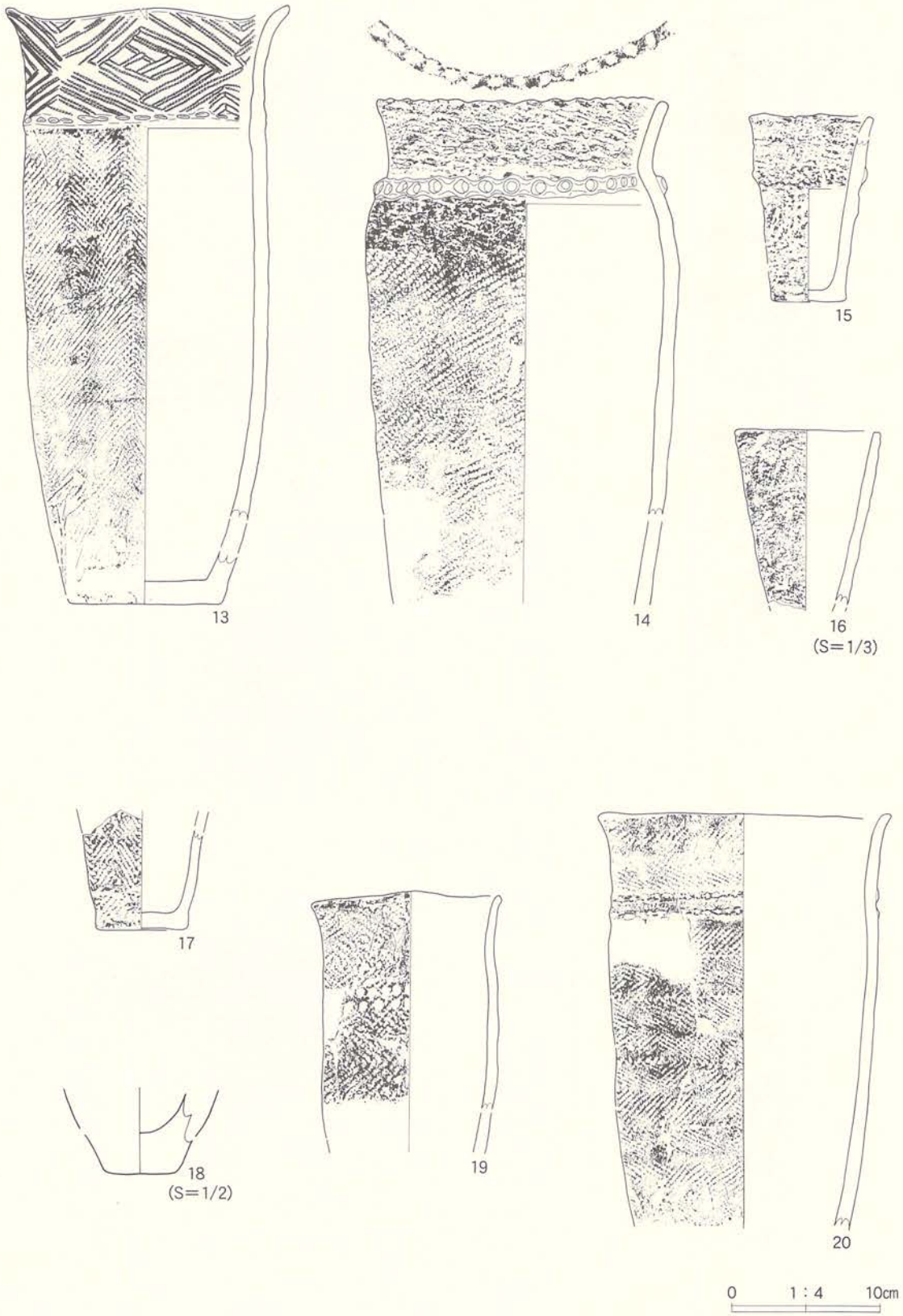
第58図 土器(1) : RD15・19・53(1)



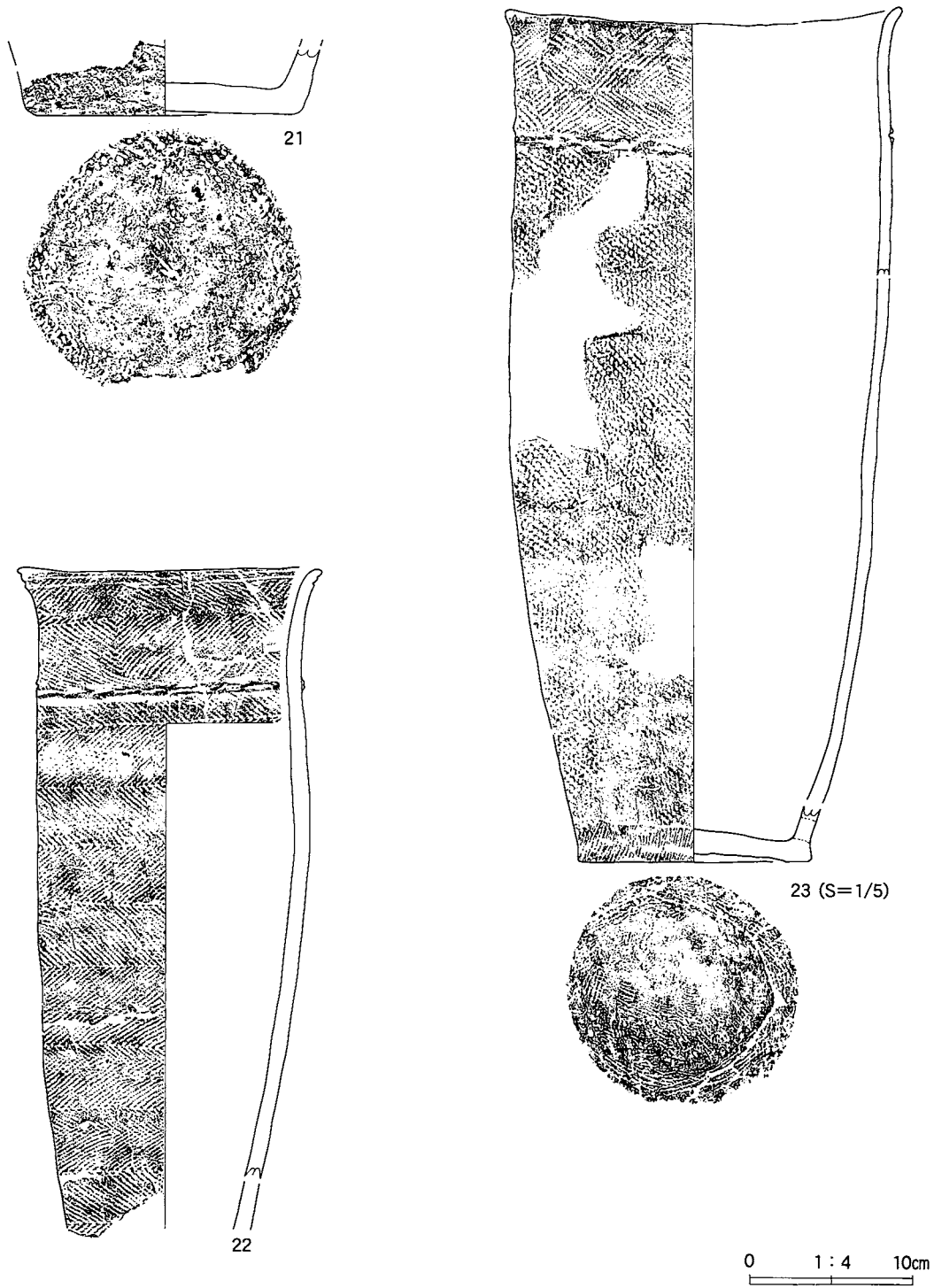


0 1 : 4 10cm

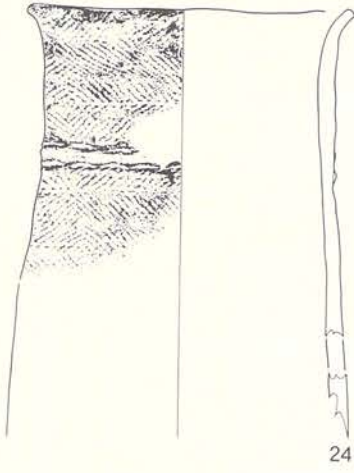
第59図 土器(2) : RD53(2)・54(1)



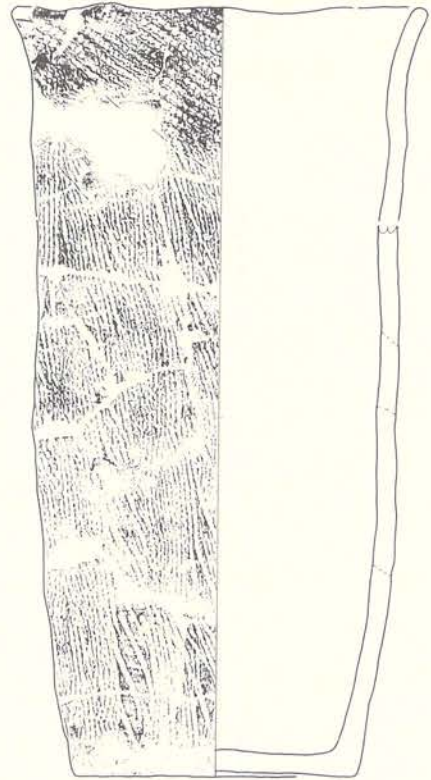
第60図 土器(3) : RD54(2)・55



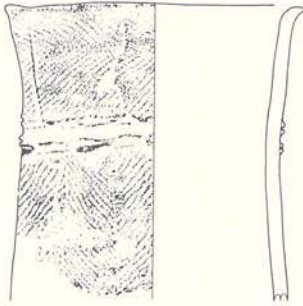
第61図 土器(4) : RD56・60(1)



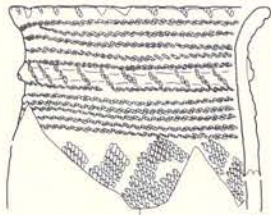
24



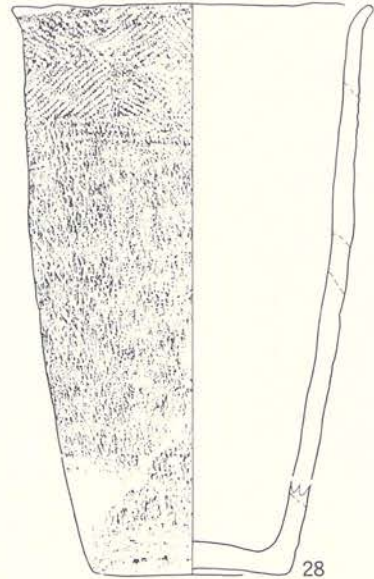
26



25



27

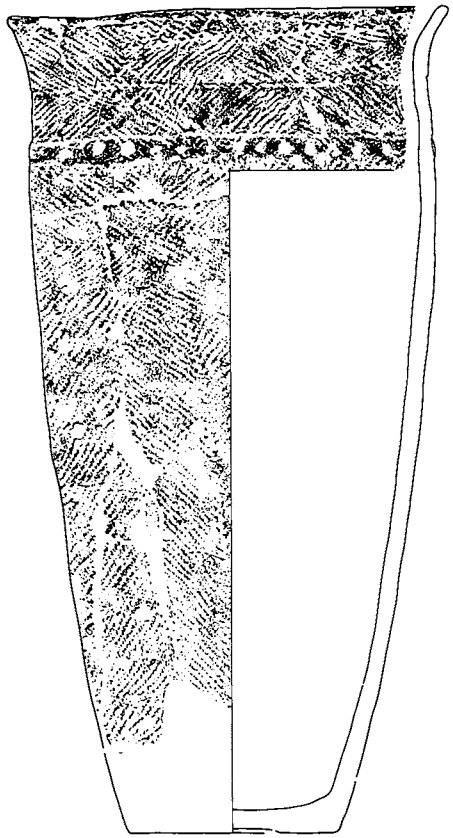


28

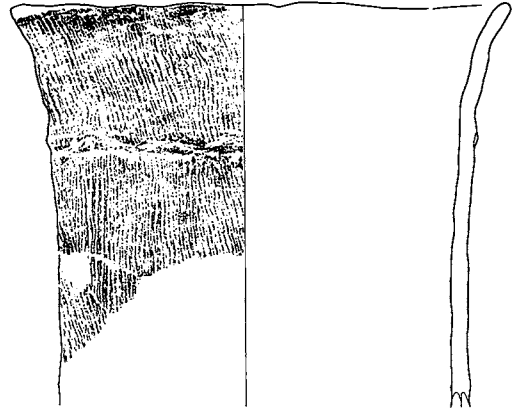
0 1 : 4 10cm

第62図 土器(5) : RD60(2)

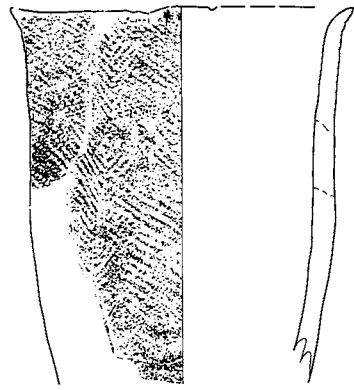




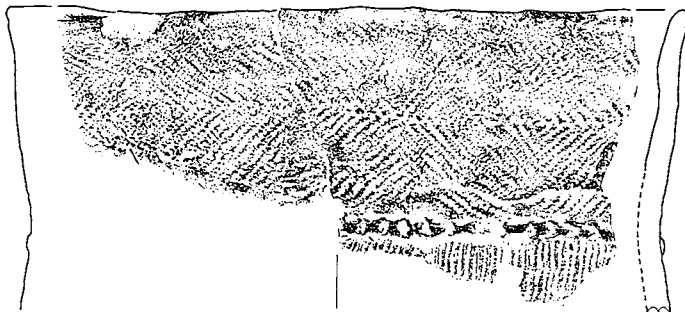
29



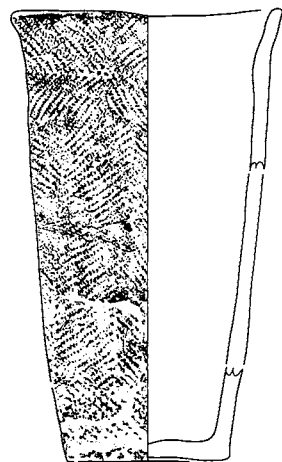
30



31



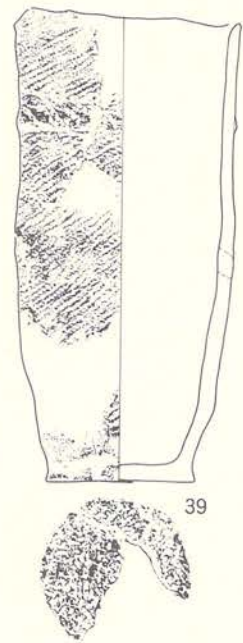
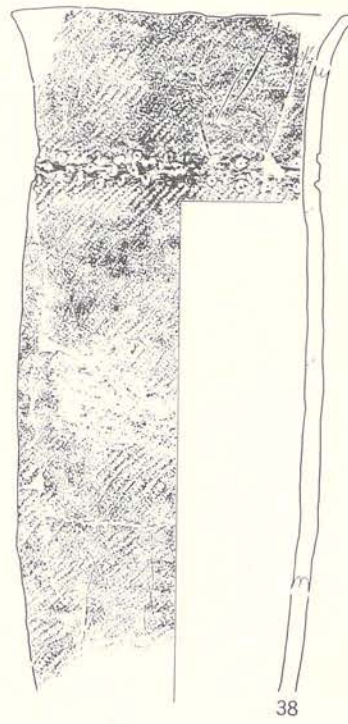
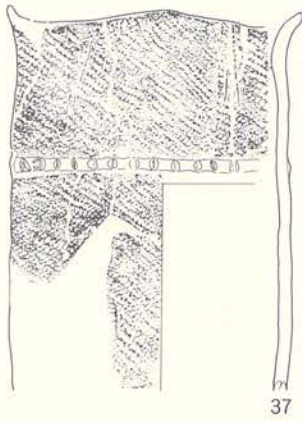
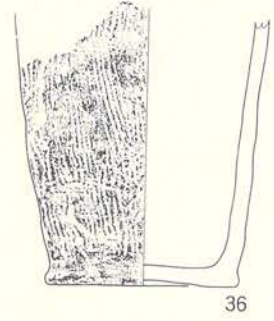
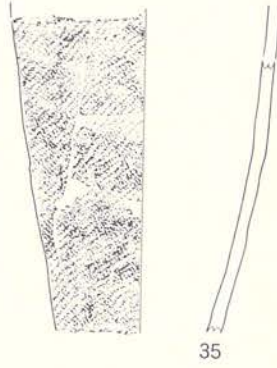
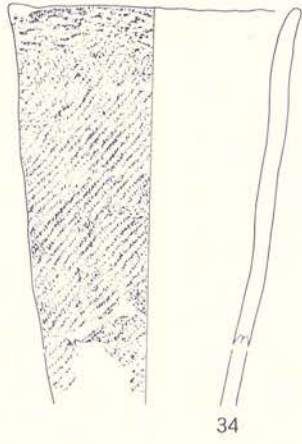
32



33

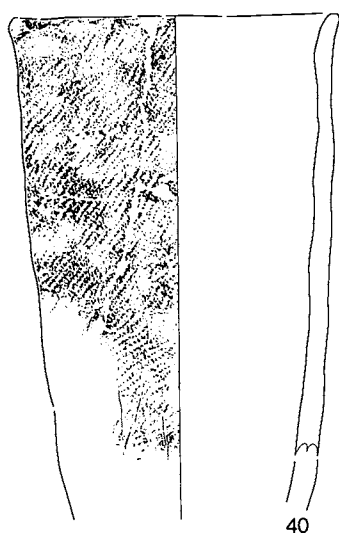
0 1 : 4 10cm

第63圖 土器(6) : RD60(3)

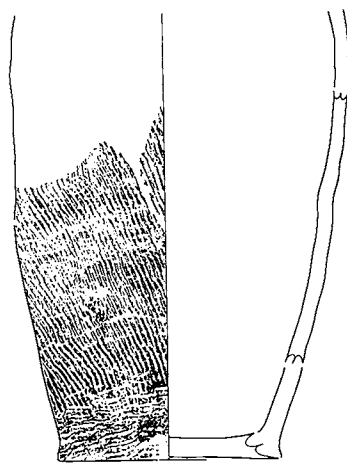


0 1 : 4 10cm

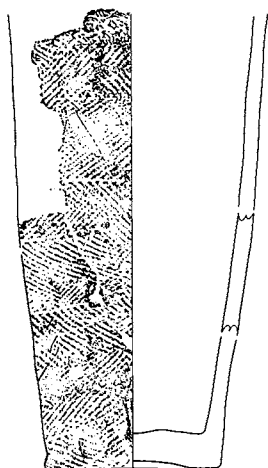
第64図 土器(7) : RD60(4)



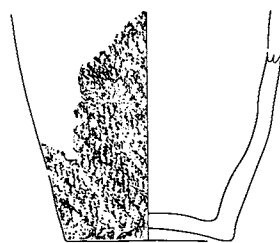
40



41



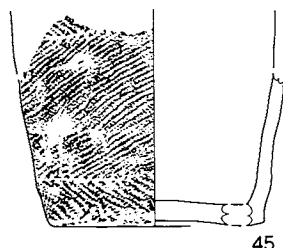
42



43



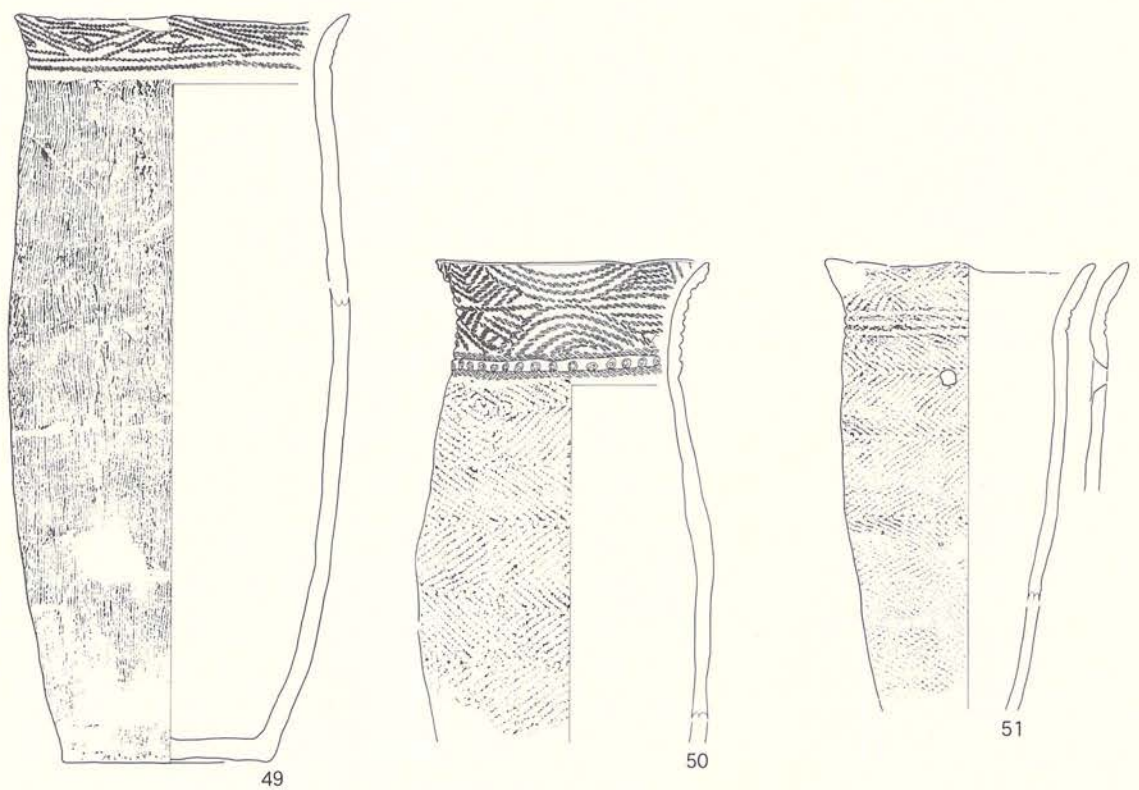
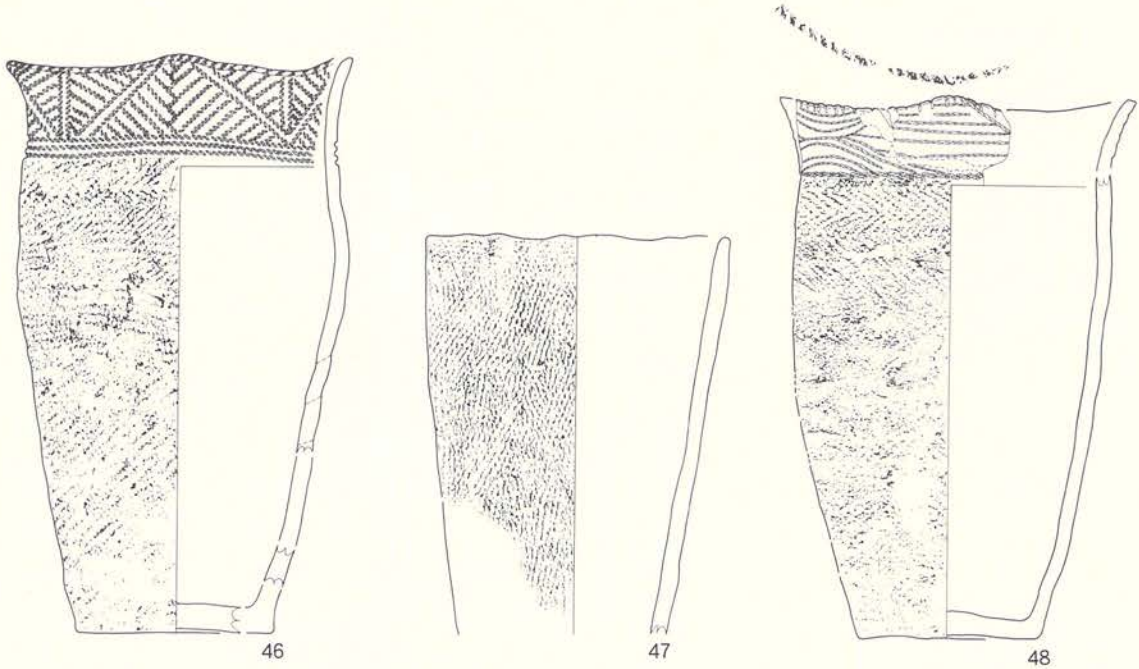
44



45

0 1 : 4 10cm

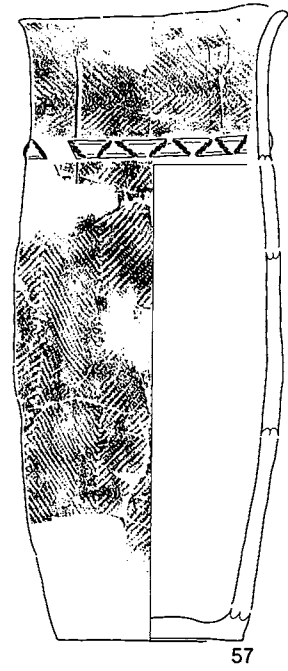
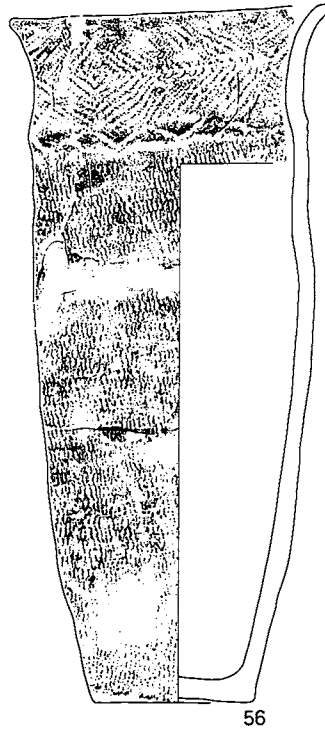
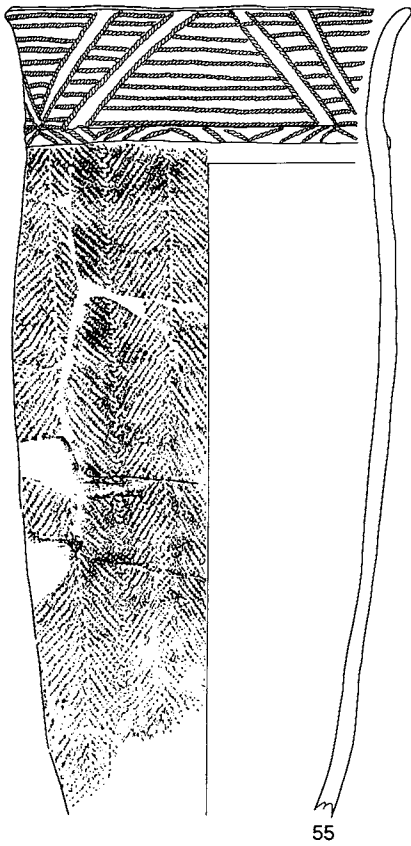
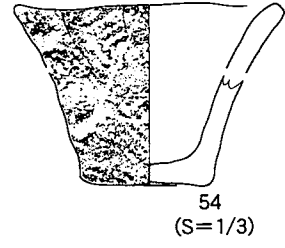
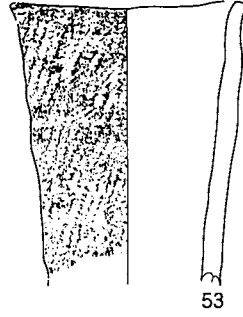
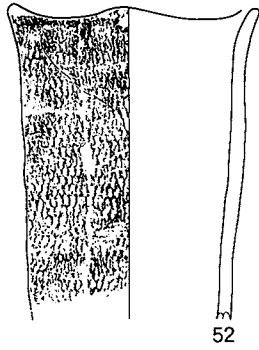
第65圖 土器(8) : RD60(5)、RZ 01



0 1 : 4 10cm

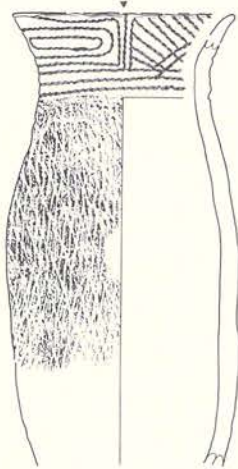
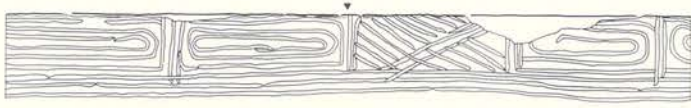
第66図 土器(9) : RG02



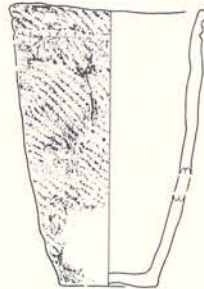


0 1 : 4 10cm

第67図 土器(10) : RG03(1)



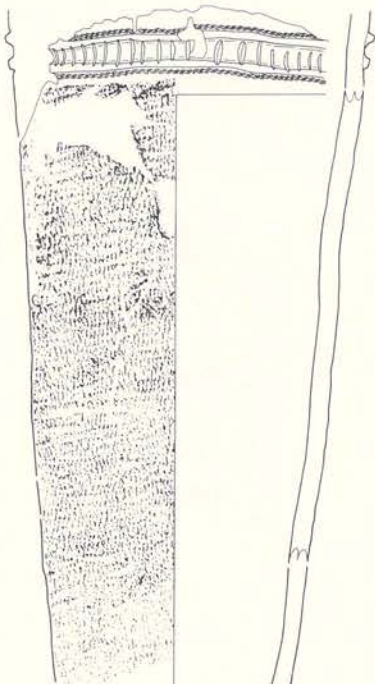
58



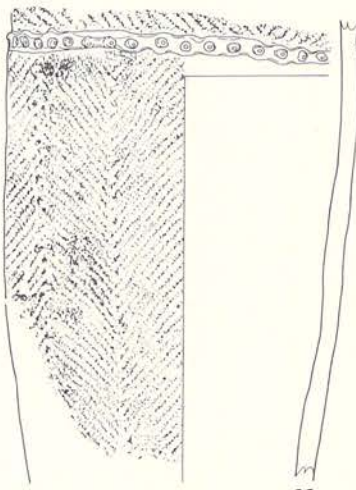
59



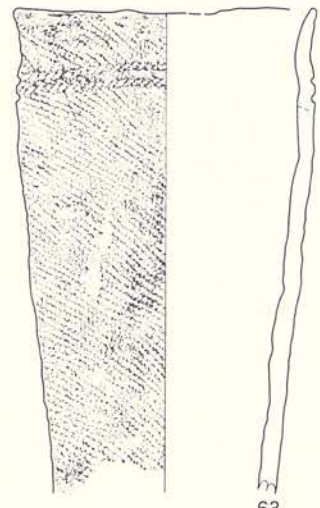
60



61



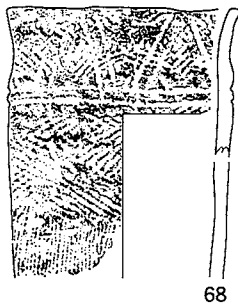
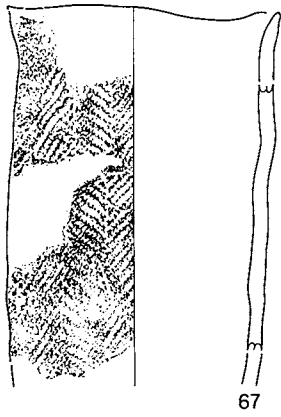
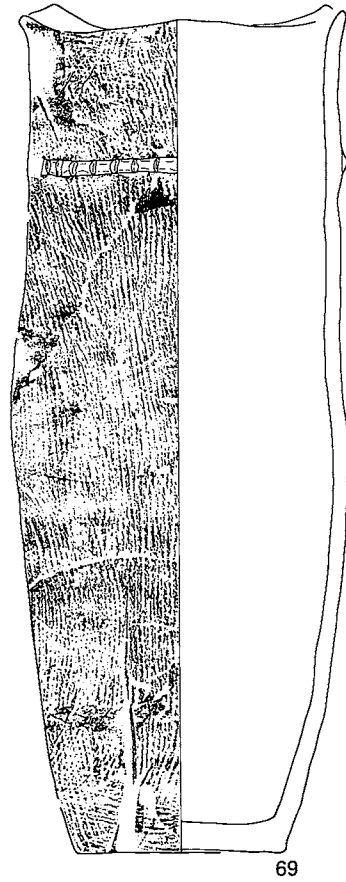
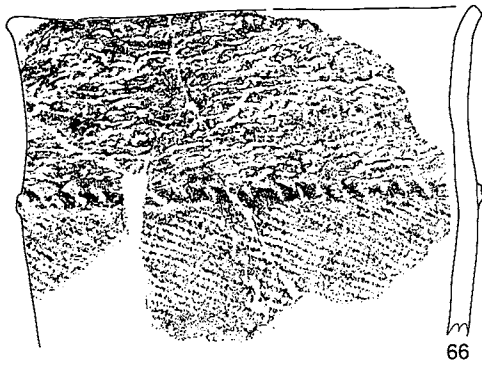
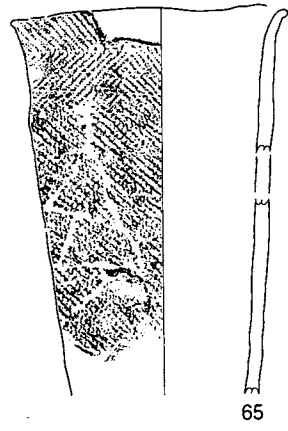
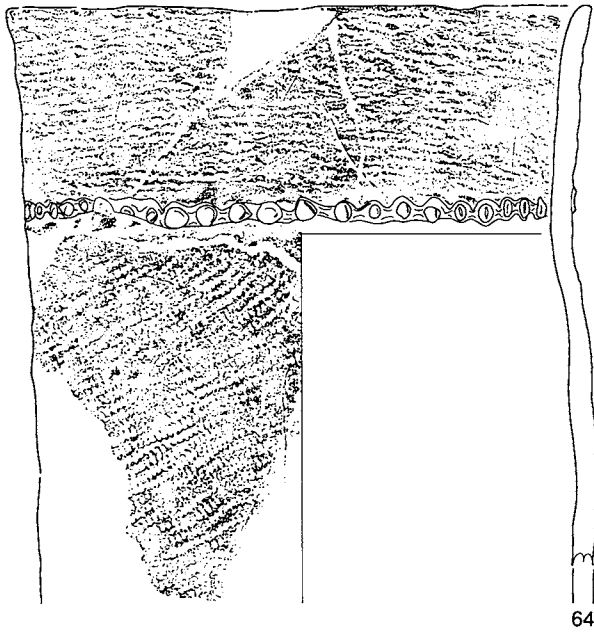
62



63

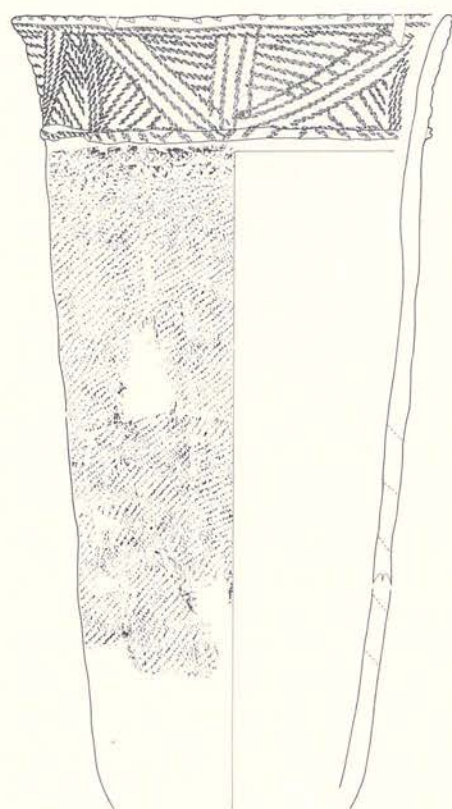
0 1 : 4 10cm

第68図 土器(11) : RG03(2)

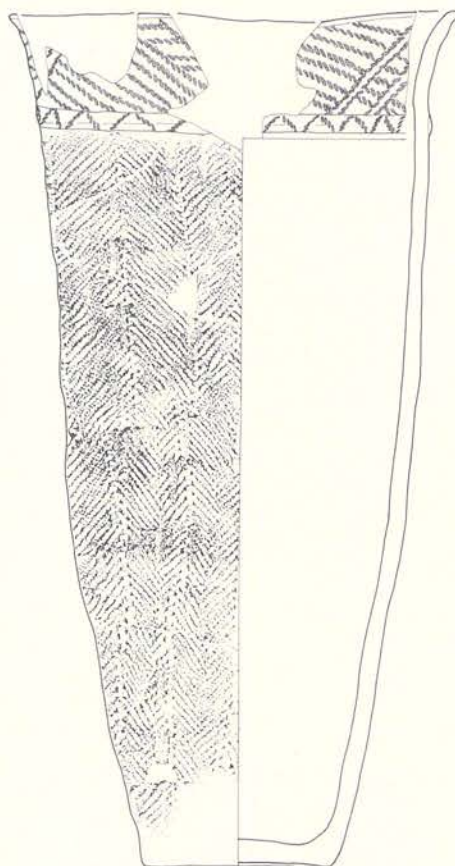


0 1:4 10cm

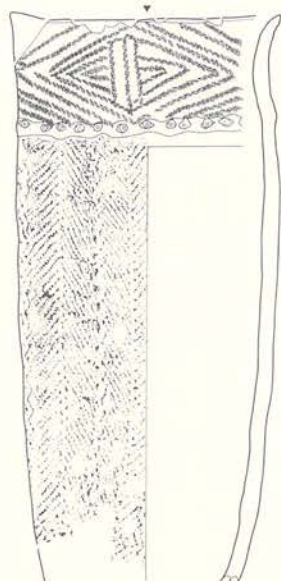
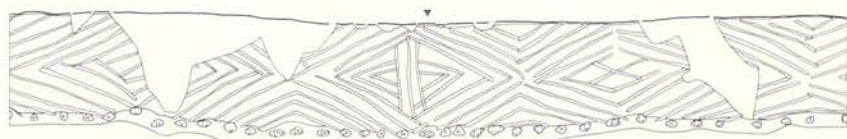
第69図 土器(12): RG03(3)



70



71

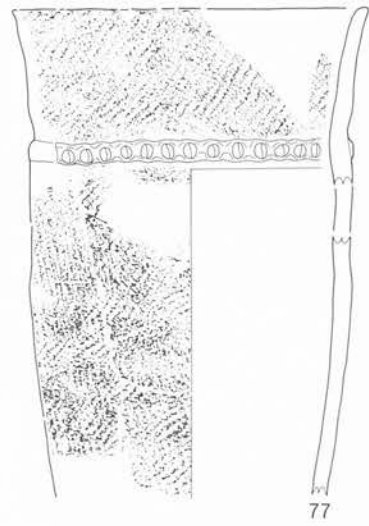
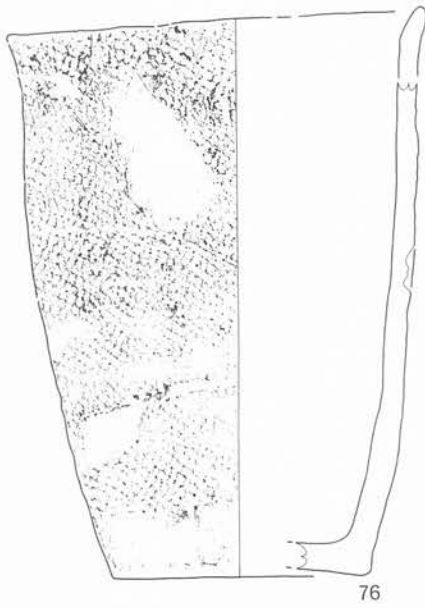
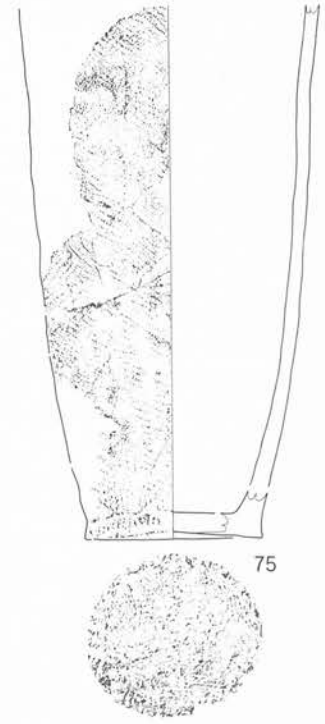
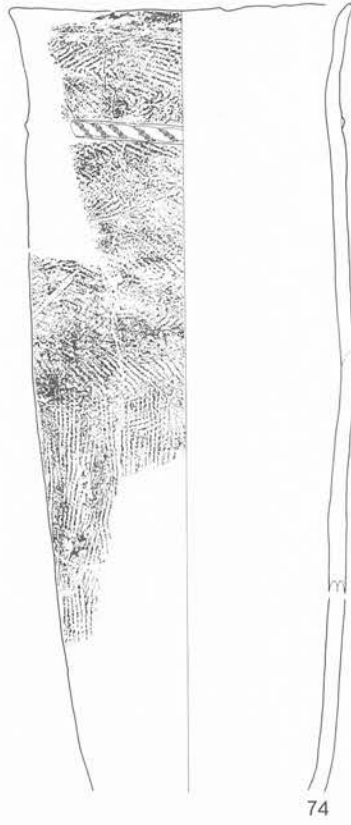
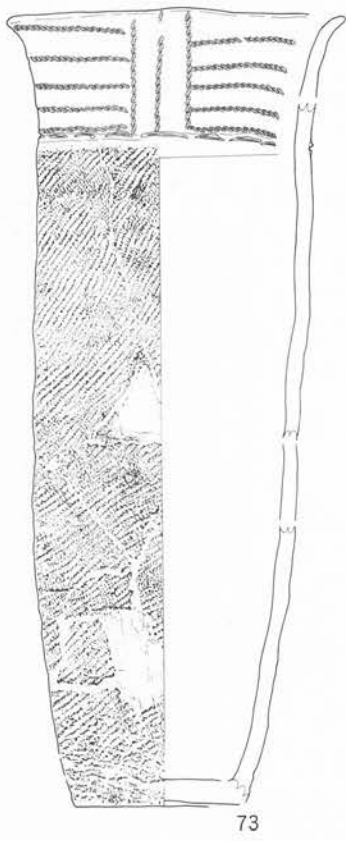


72

0 1 : 4 10cm

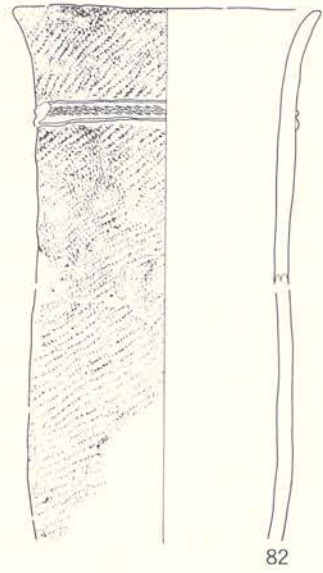
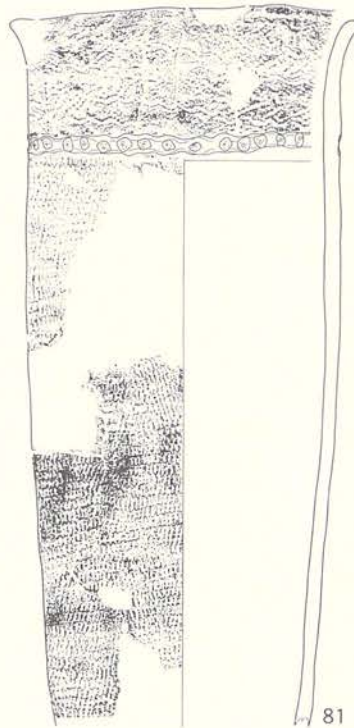
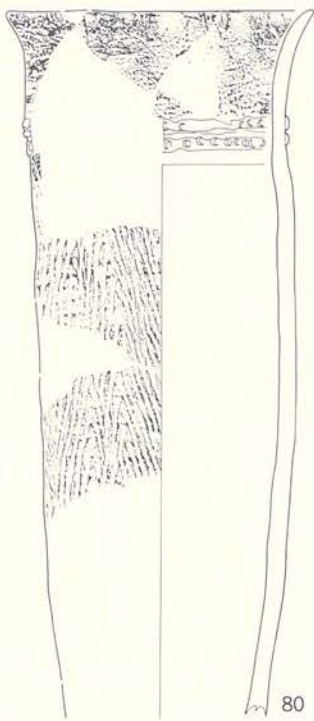
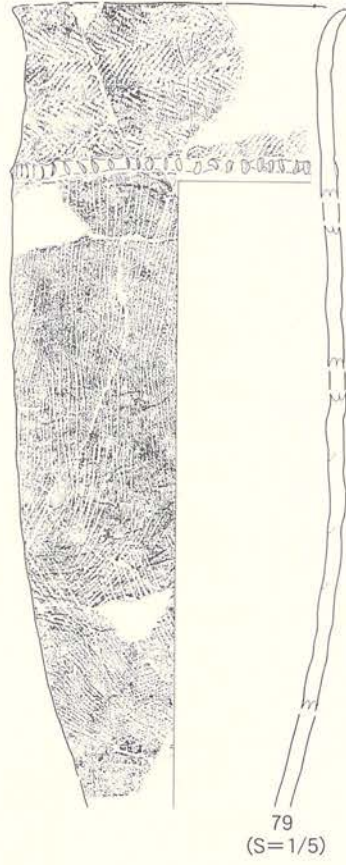
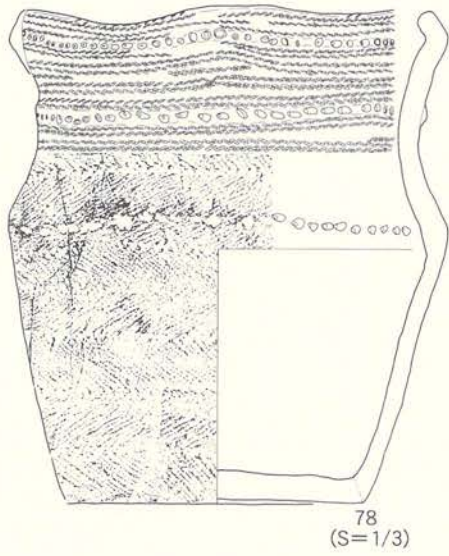
第70図 土器(13) : RG03(4)





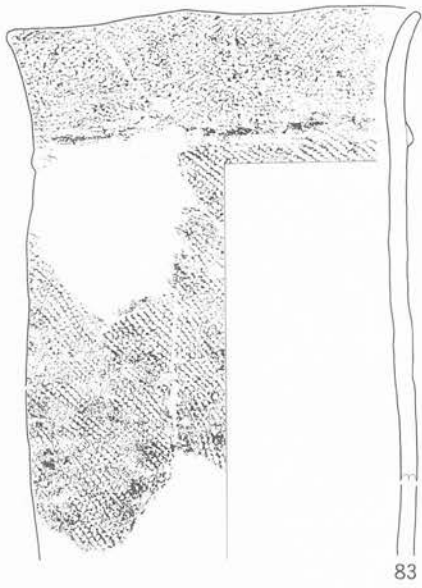
0 1 : 4 10cm

第71図 土器(14) : RG03(5)

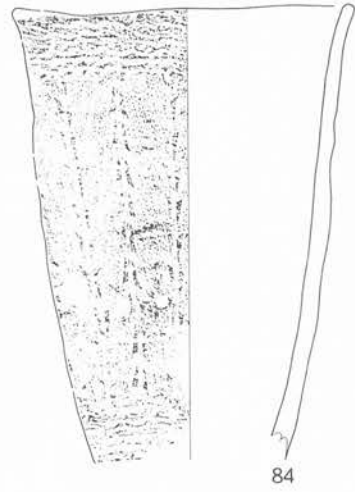


0 1:4 10cm

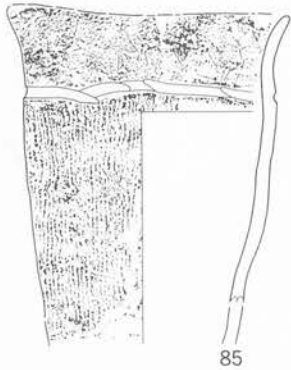
第72図 土器(15):RG03(6)



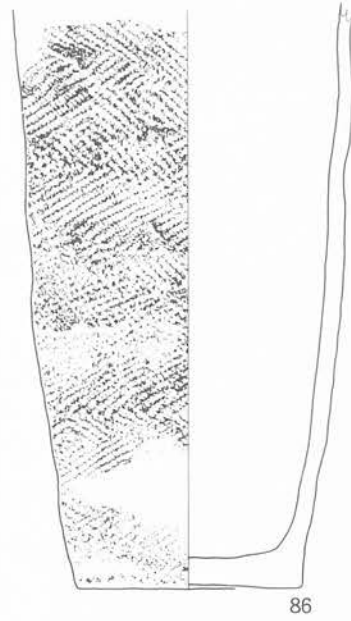
83



84



85



86



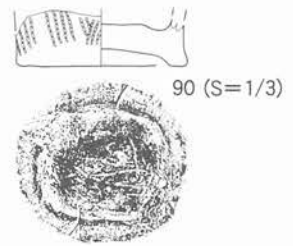
87



88



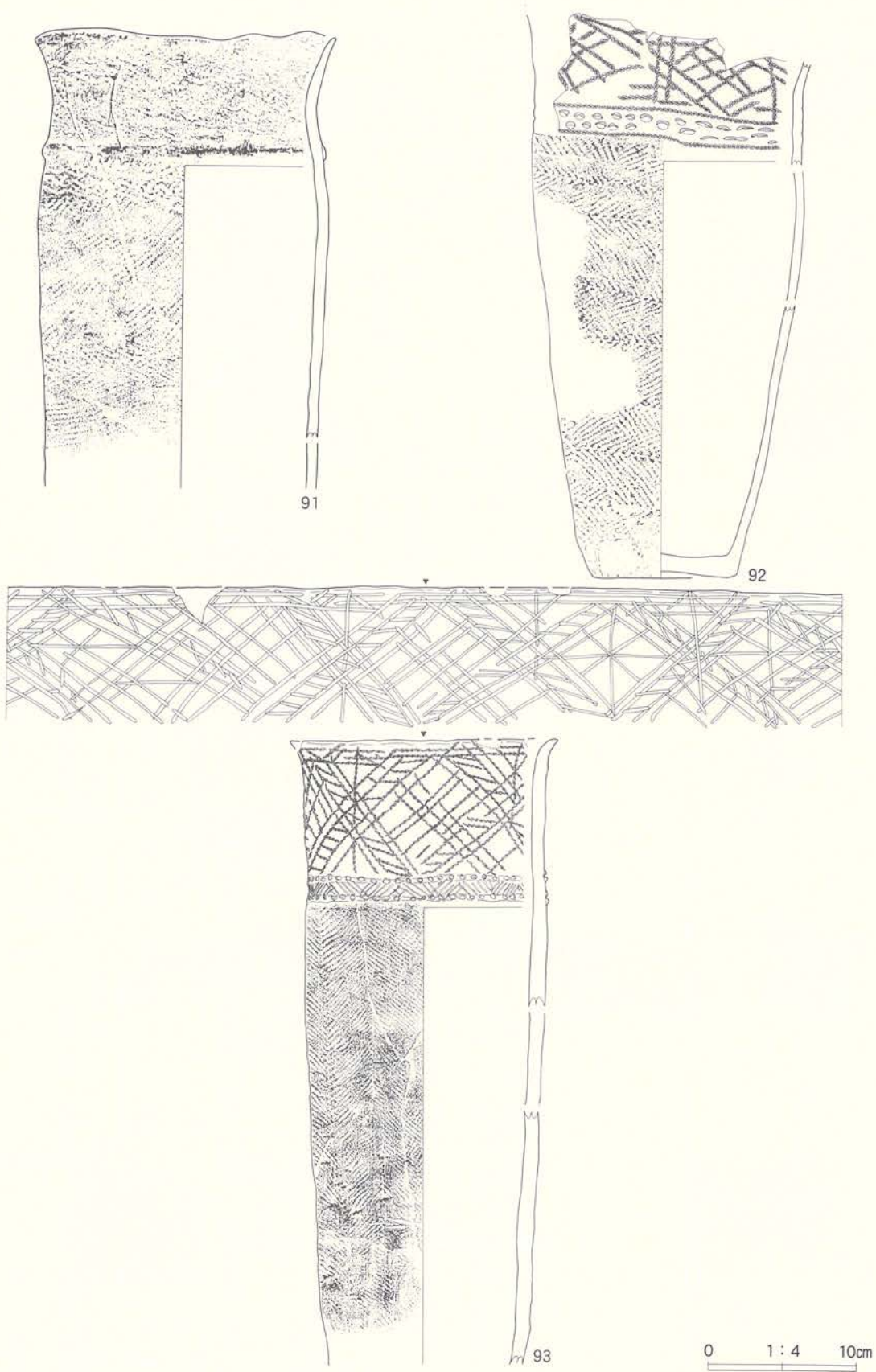
89



90 (S=1/3)

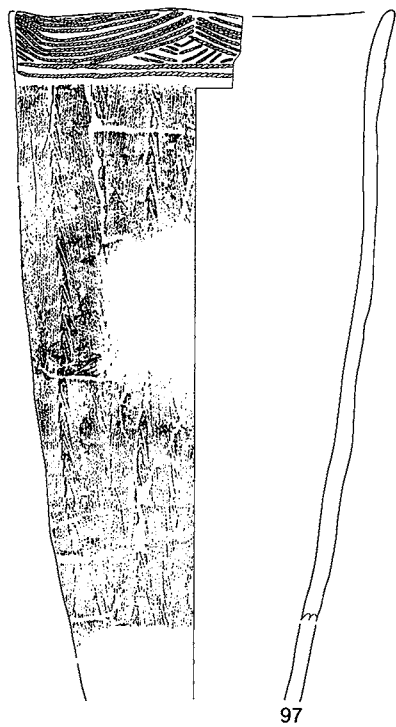
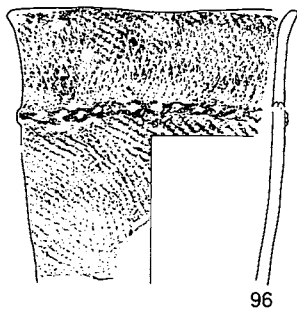
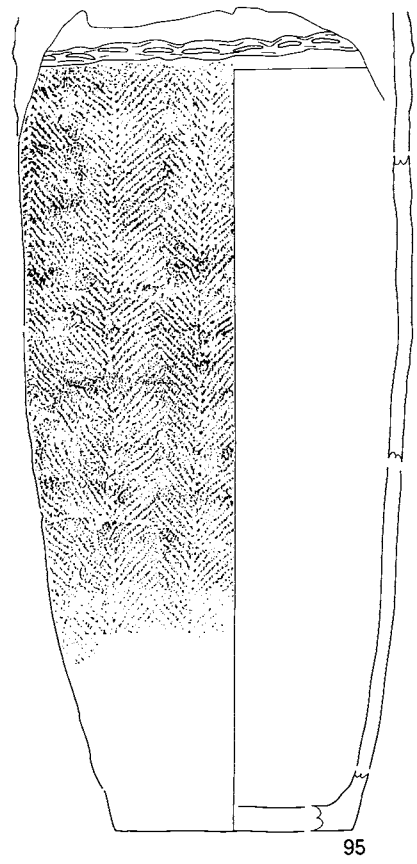
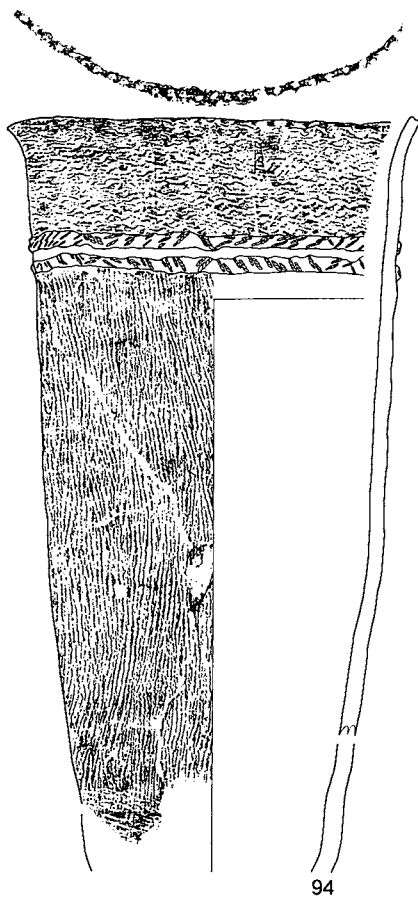
0 1 : 4 10cm

第73図 土器(16) : RG03(7)



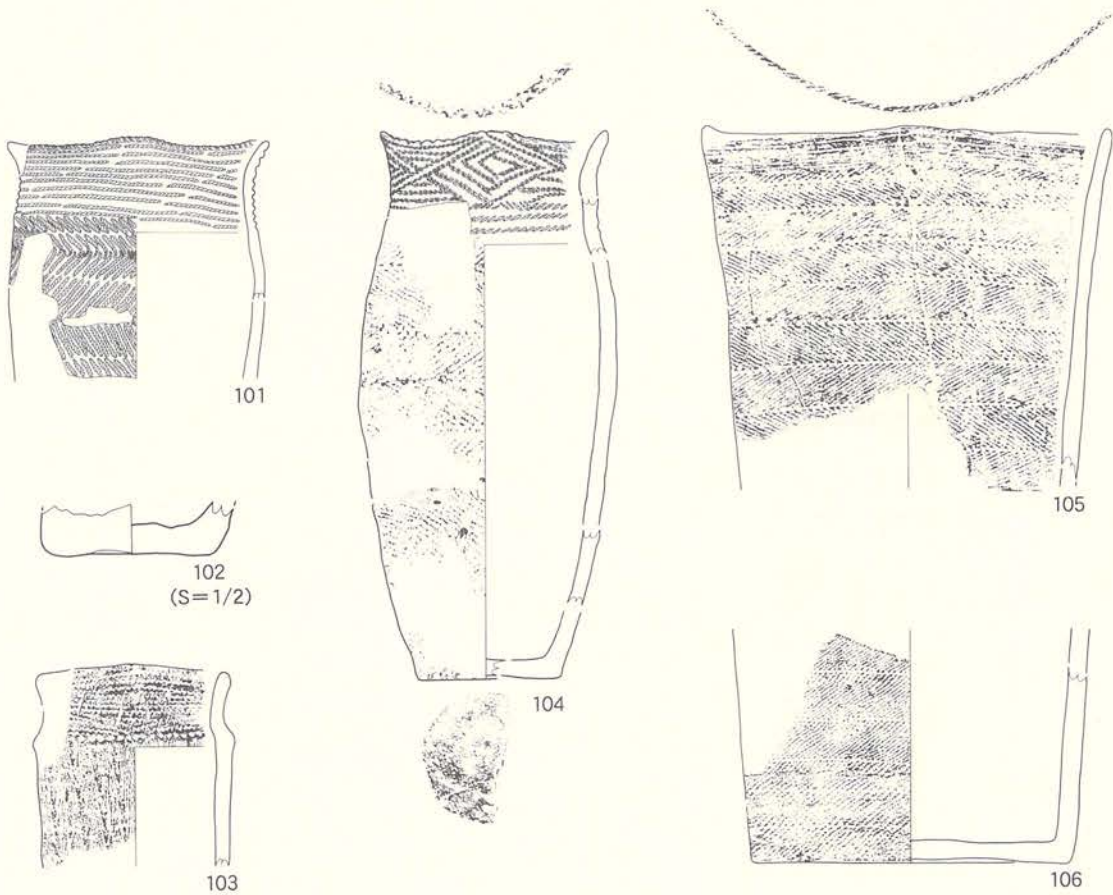
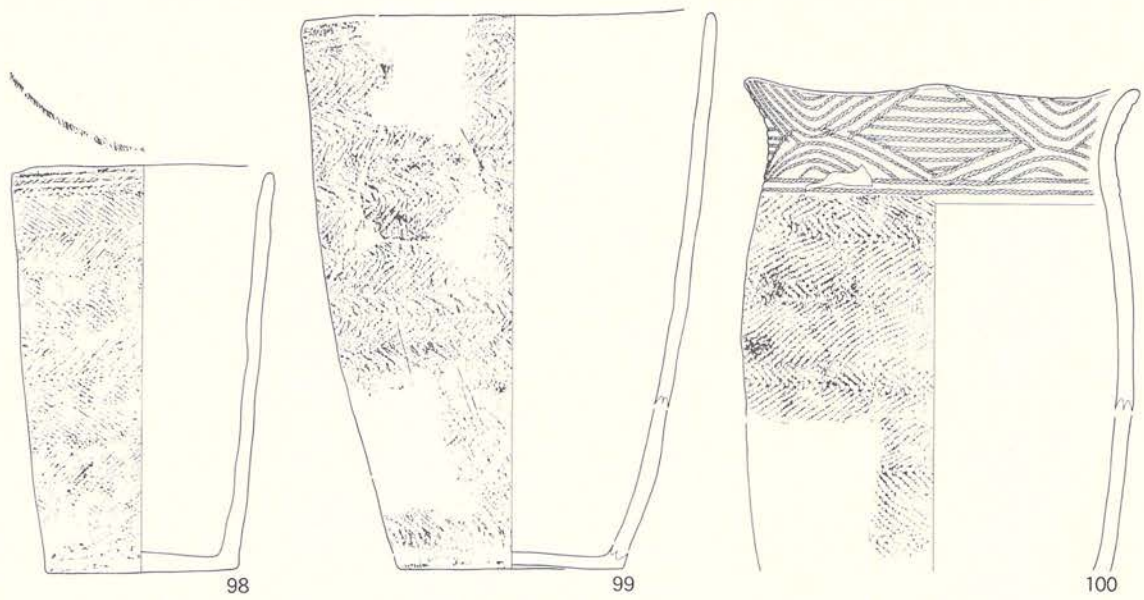
第74図 土器(17) : RG05(1)





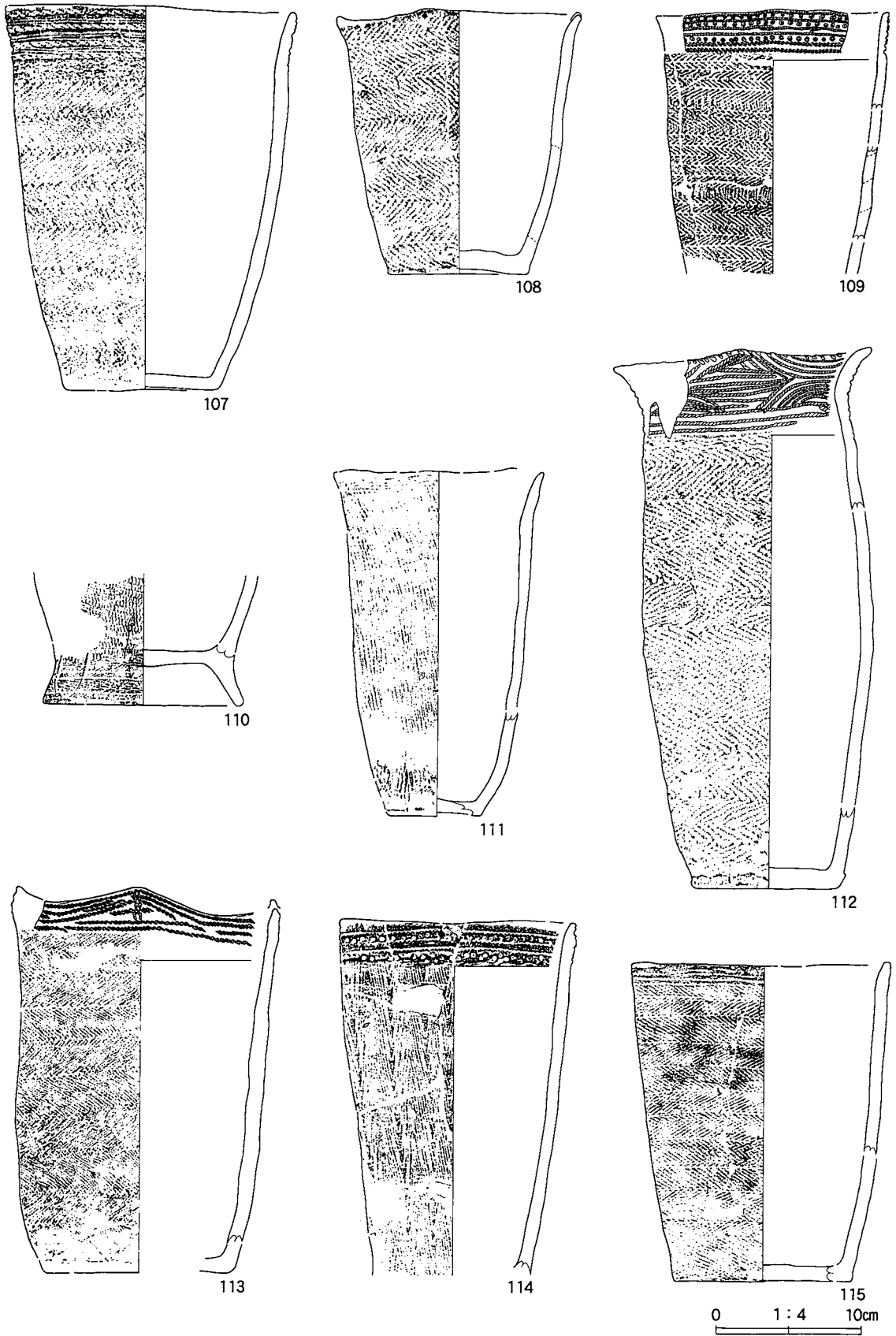
0 1 : 4 10cm

第75图 土器(18) : RG05(2)、F7H04(1)

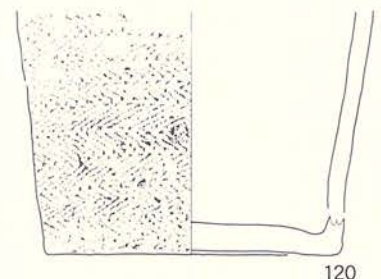
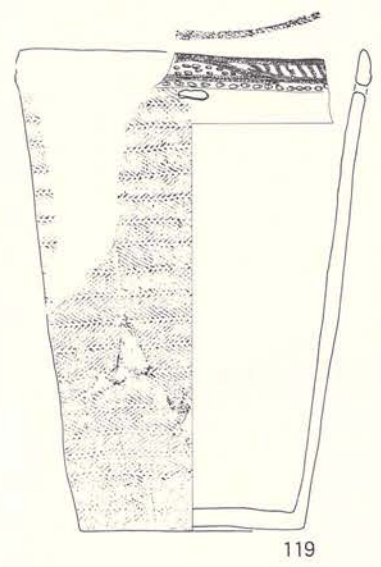
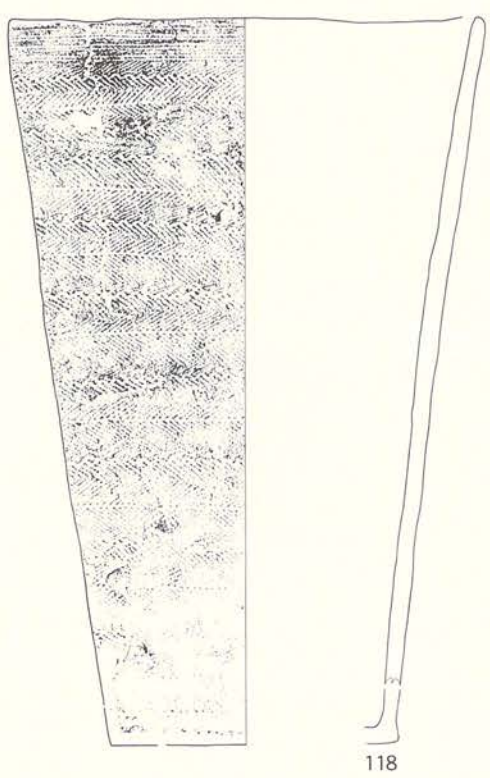
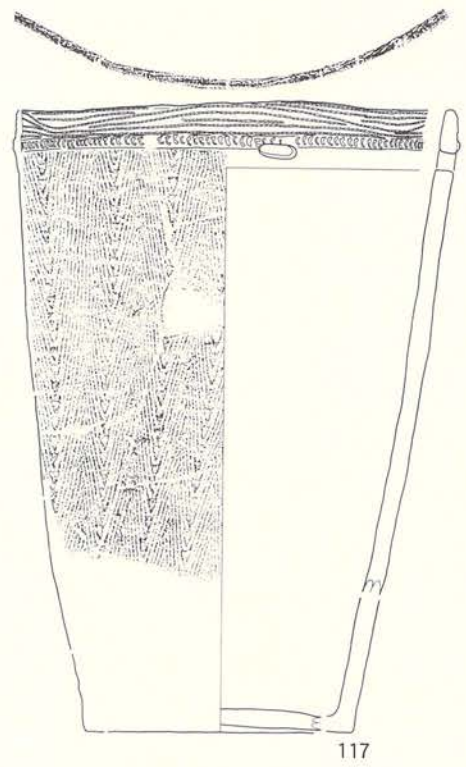
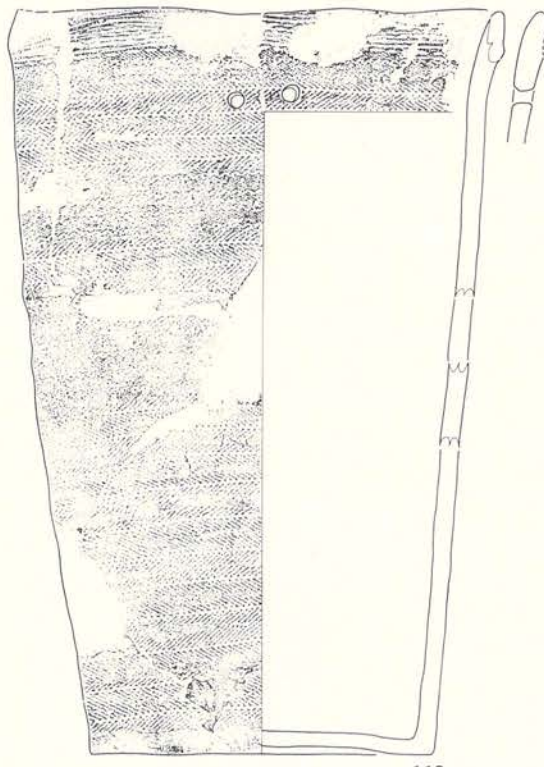


0 1 : 4 10cm

第76図 土器(19) : F7H04(2) · H05(1)



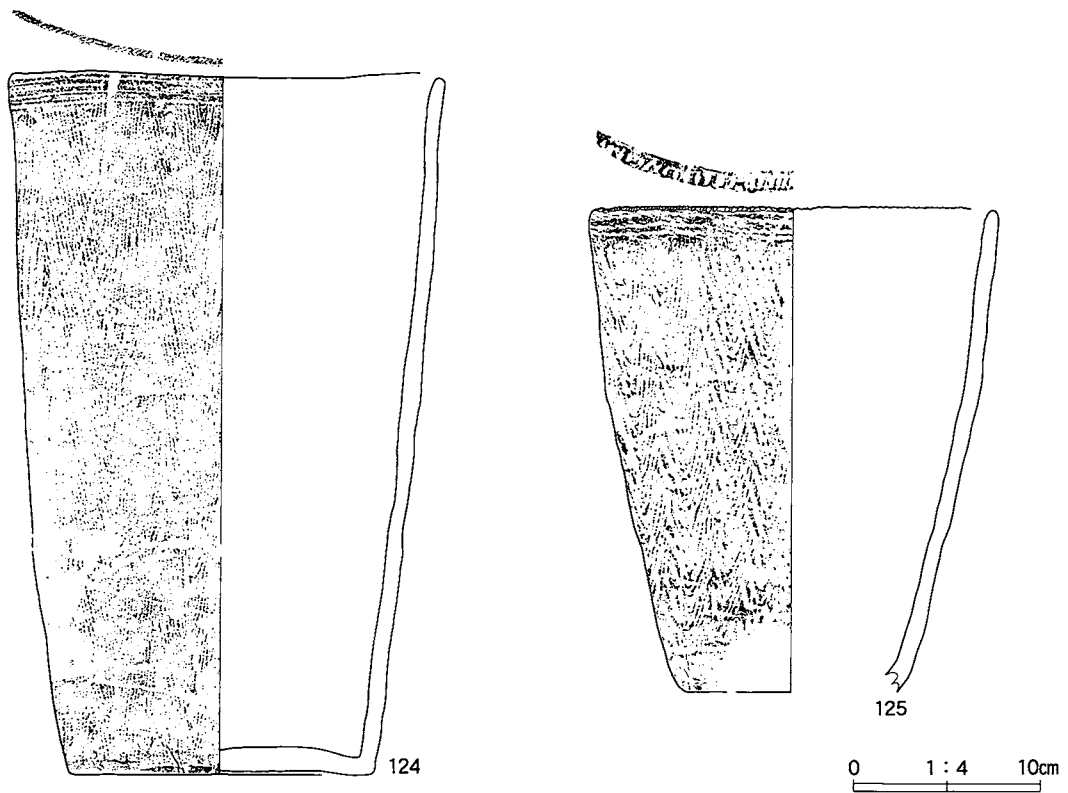
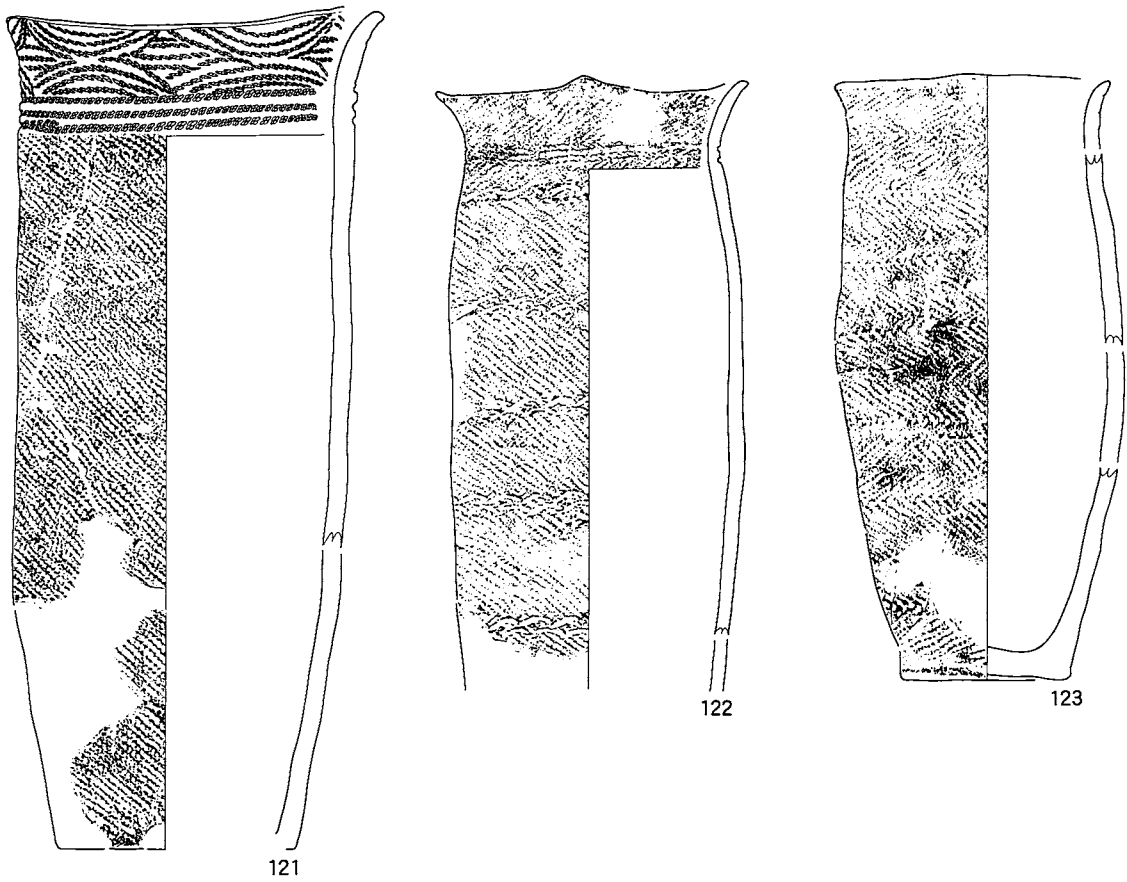
第77图 土器(20) : F7H05(2)、I05、H06(1)



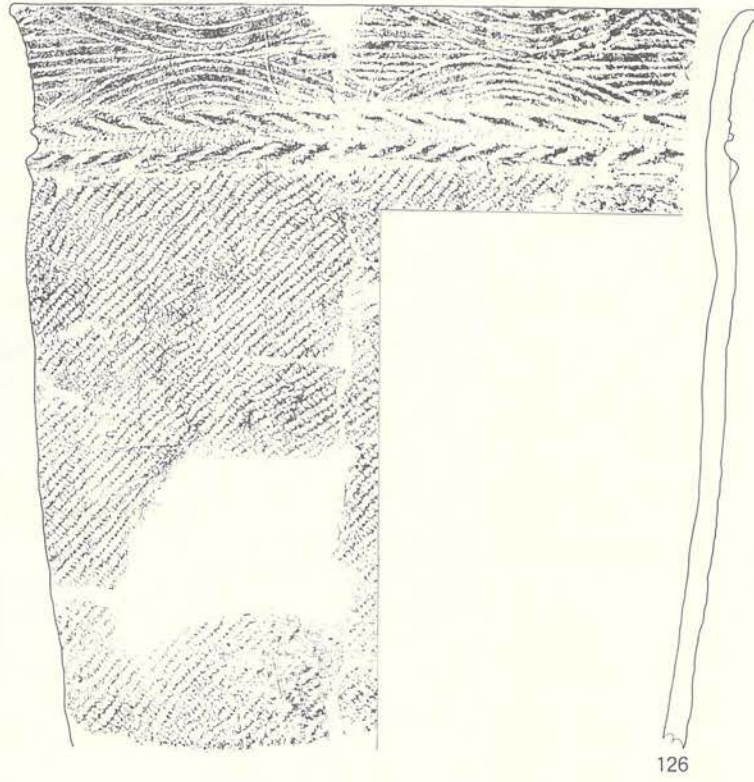
0 1 : 4 10cm

第78図 土器(21) : F7H06(2)

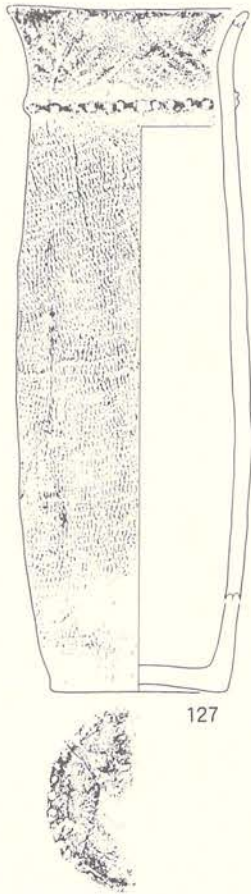




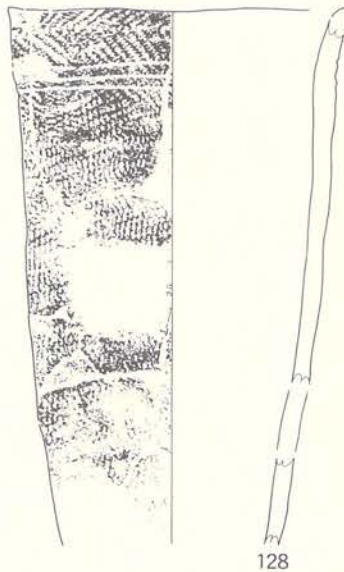
第79図 土器(22) : F7H06(3)、I06



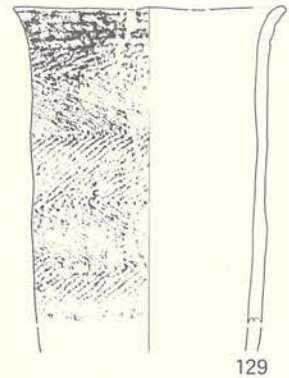
126



127



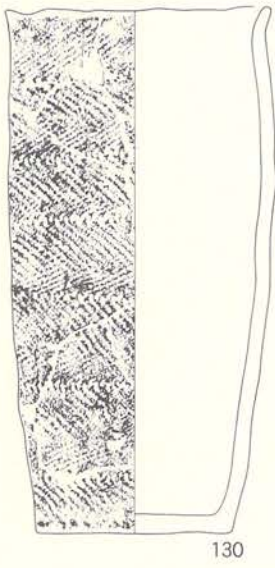
128



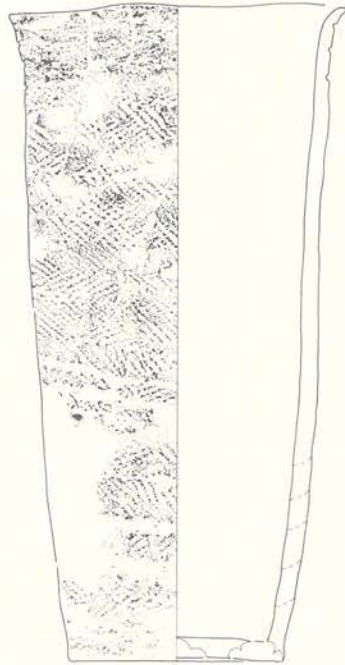
129

0 1 : 4 10cm

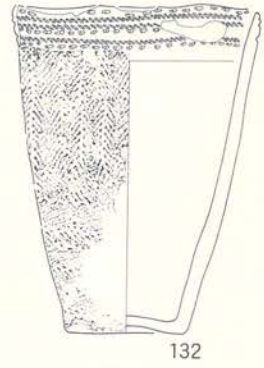
第80図 土器(23) : F7G07(1)



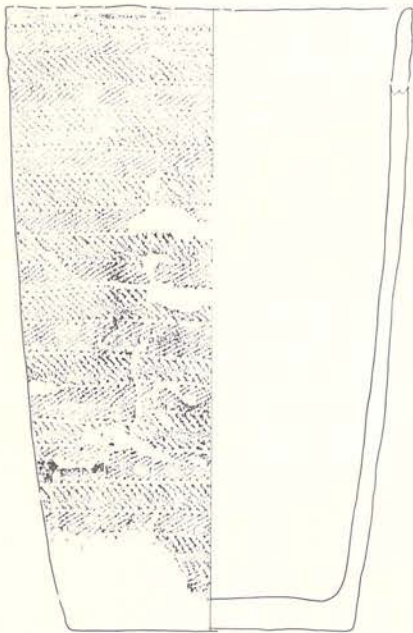
130



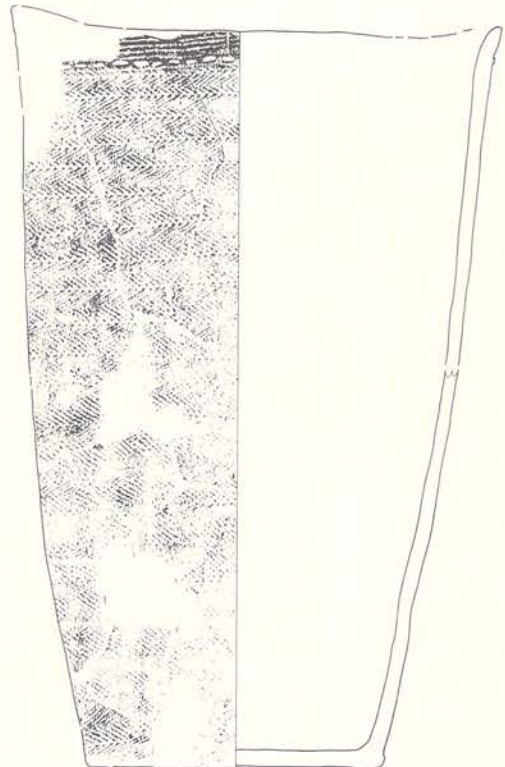
131



132



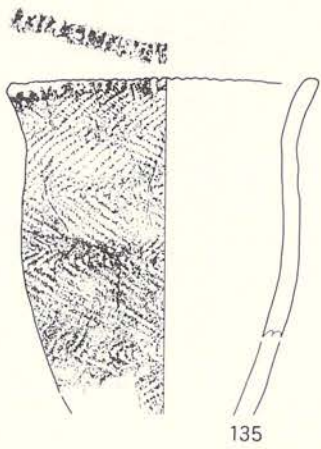
133



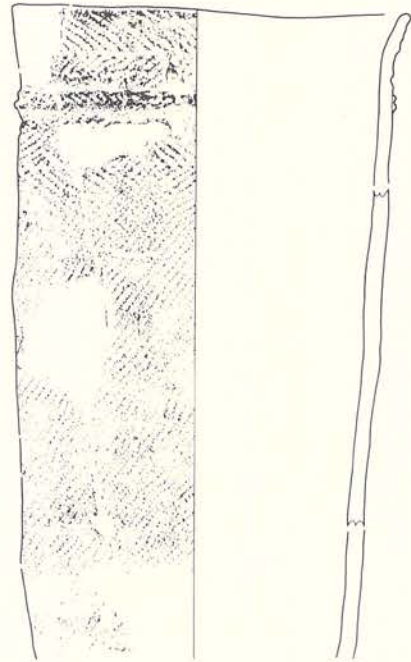
134

0 1 : 4 10cm

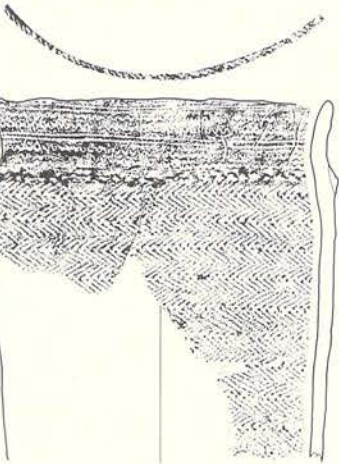
第81図 土器(24) : F7G07(2) 、 H07(1)



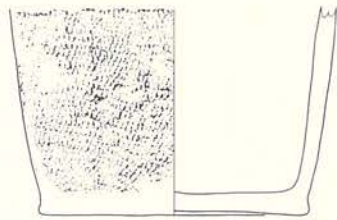
135



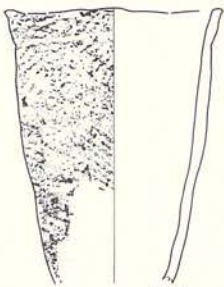
136



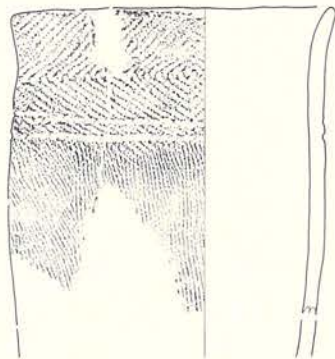
137



138



139

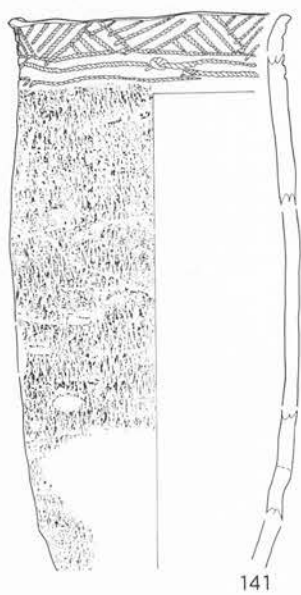


140

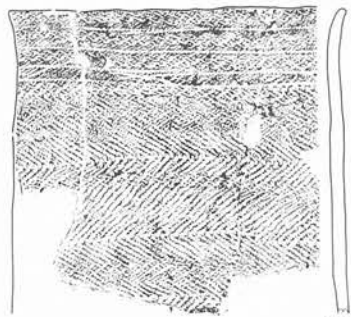
0 1 : 4 10cm

第82図 土器(25) : F7H07(2)

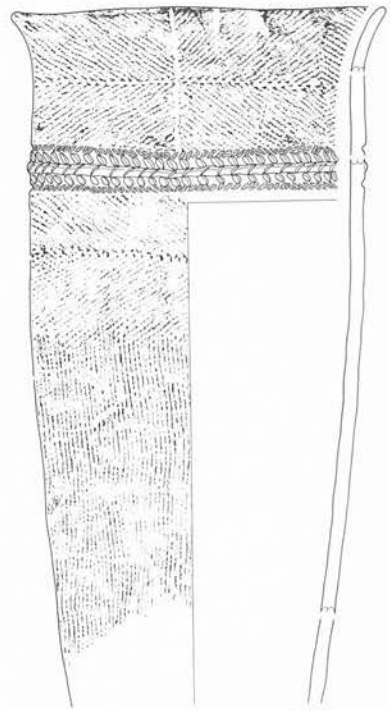




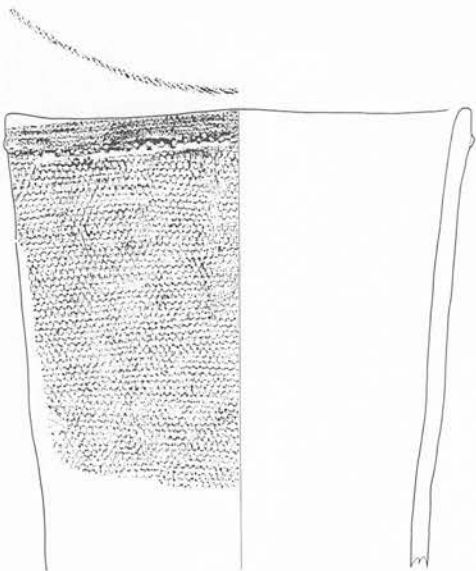
141



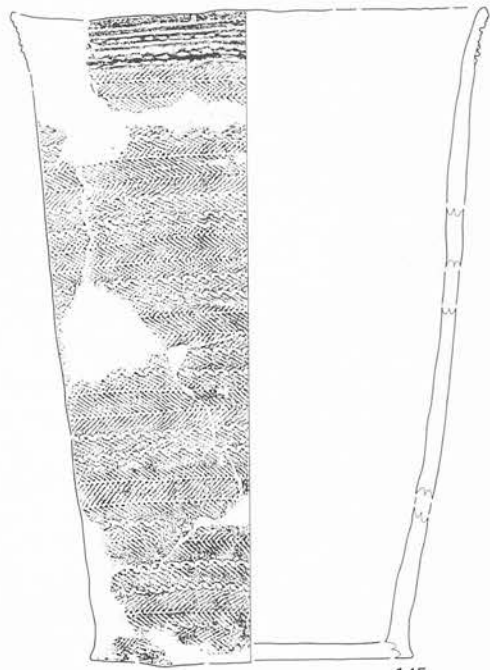
142



143



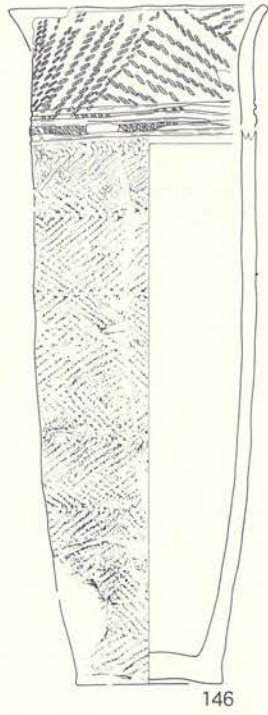
144



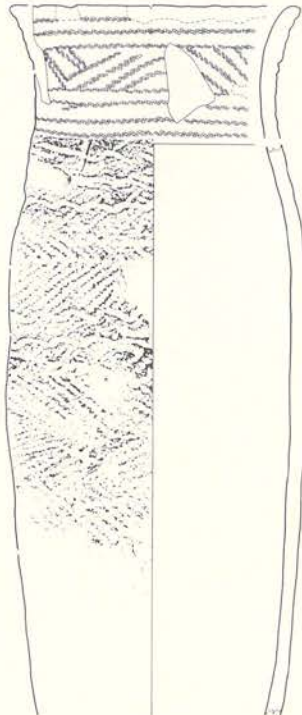
145

0 1 : 4 10cm

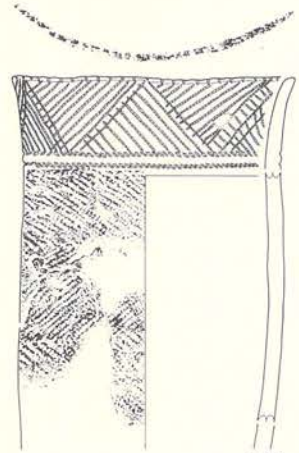
第83図 土器(26) : F7I07



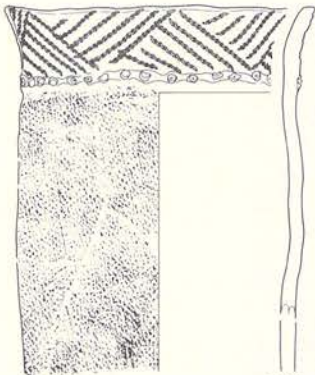
146



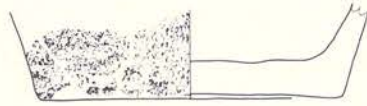
147



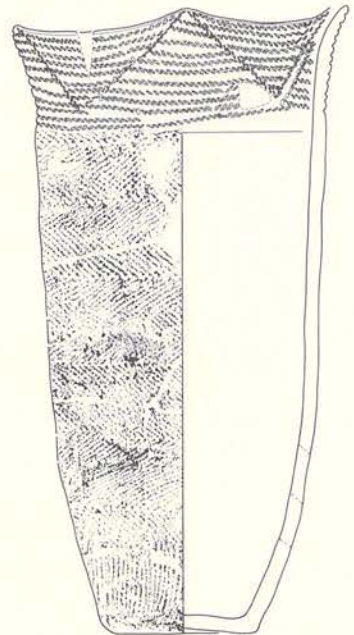
148



149



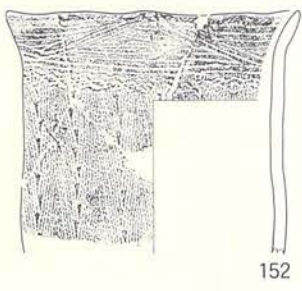
150



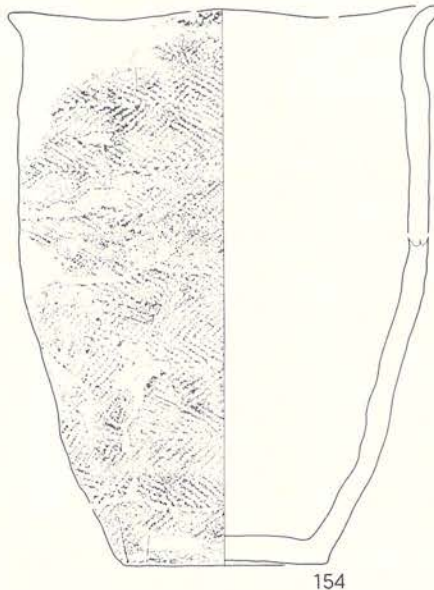
151

0 1:4 10cm

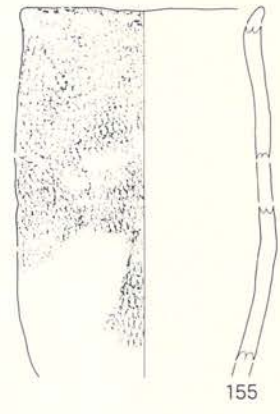
第84図 土器(27) : F7G08、H08、I08(1)



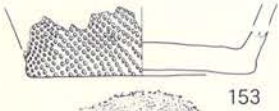
152



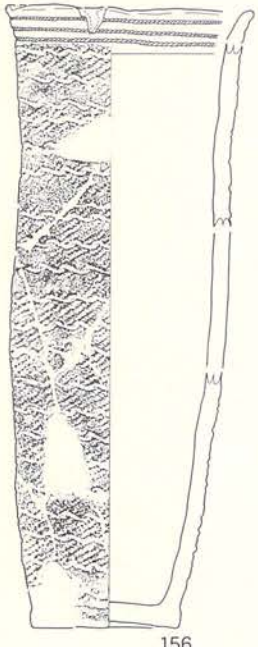
154



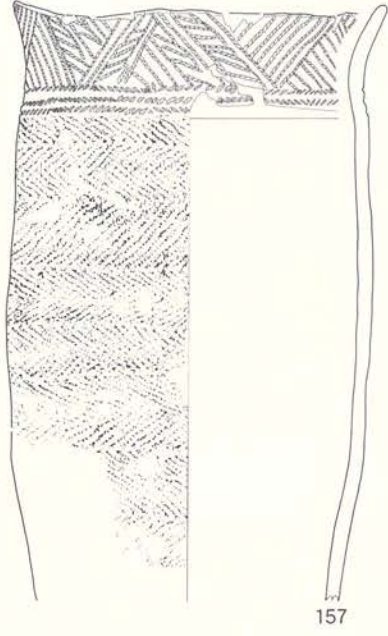
155



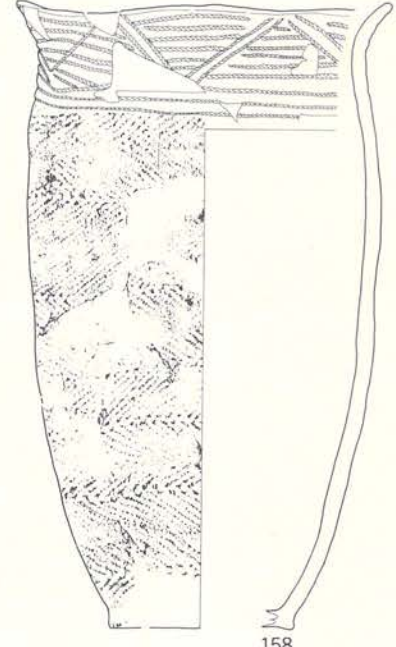
153



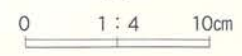
156



157

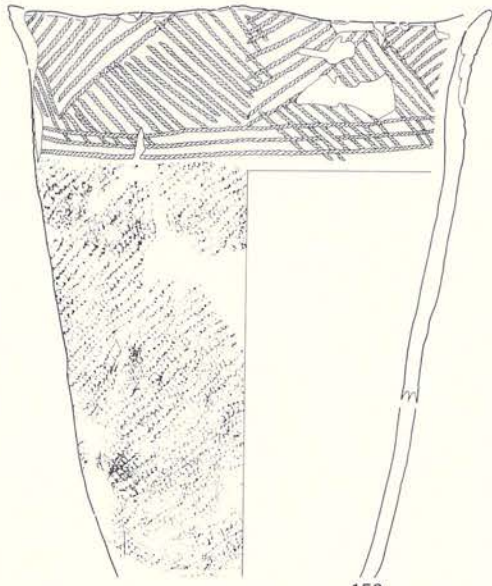


158

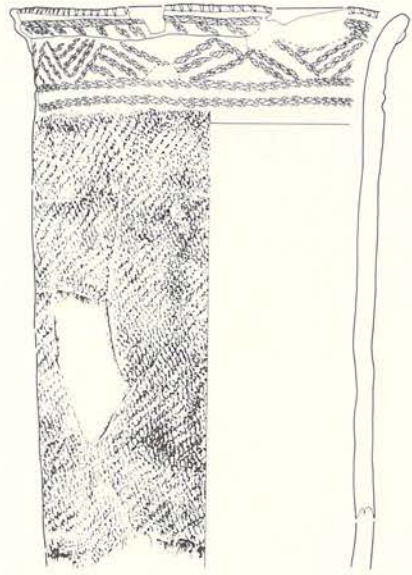


第85図 土器(28) : F7I08(2)

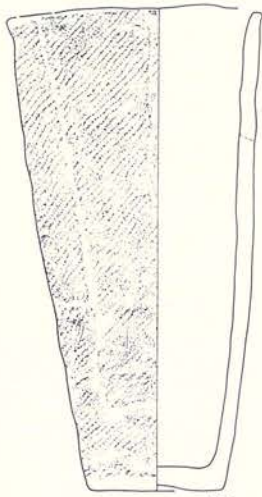




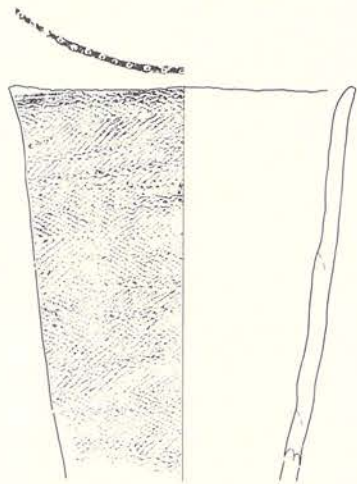
159



160



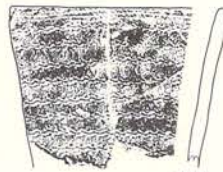
161



162



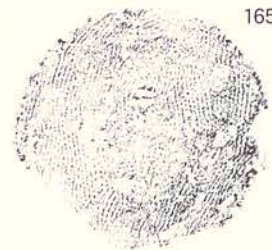
163



164



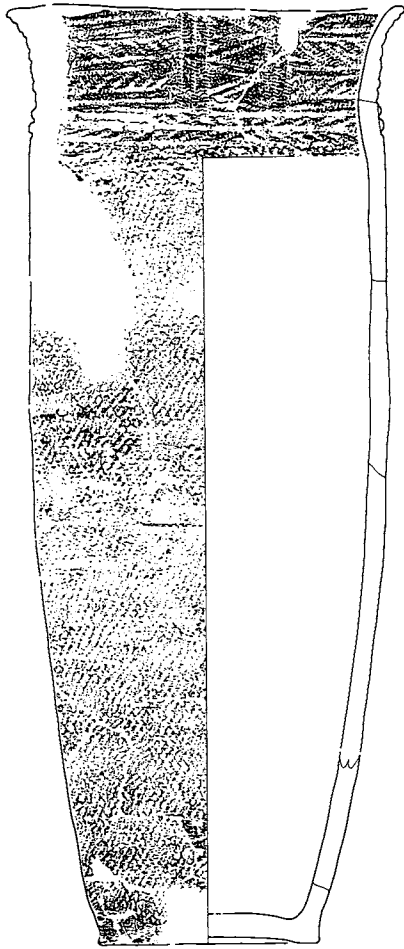
165



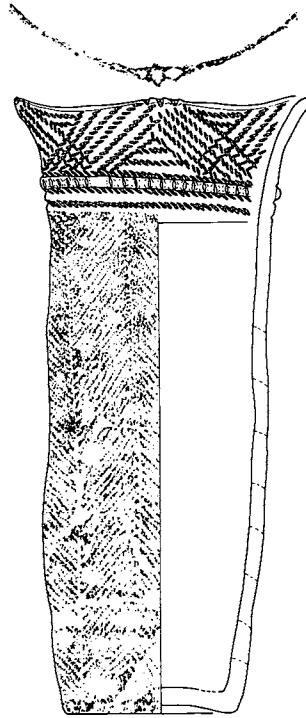
0 1 : 4 10cm

第86図 土器(29) : F7I08(3)、J08

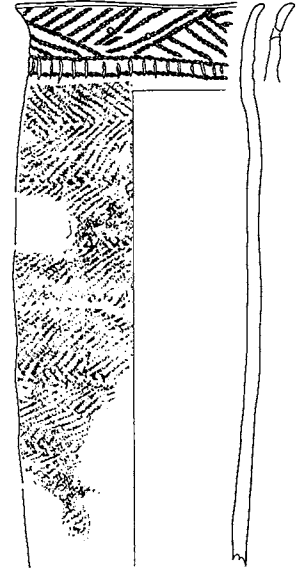




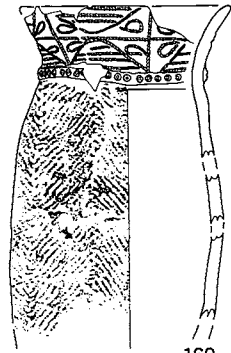
166  
(S=1/5)



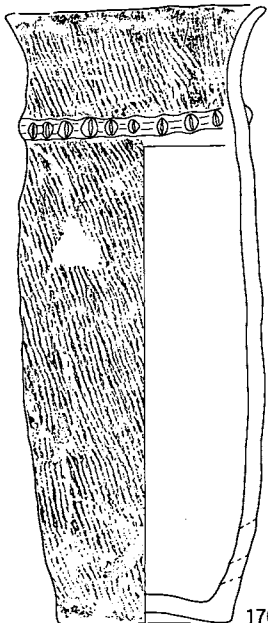
167



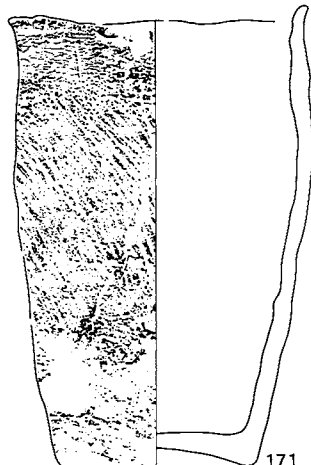
168



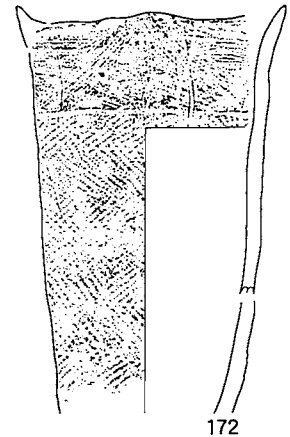
169



170



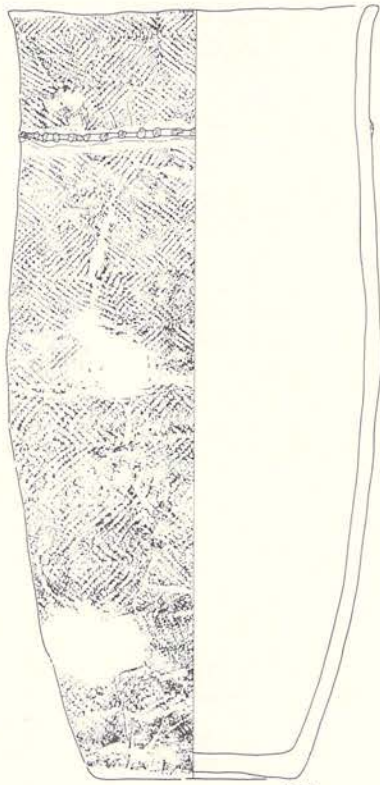
171



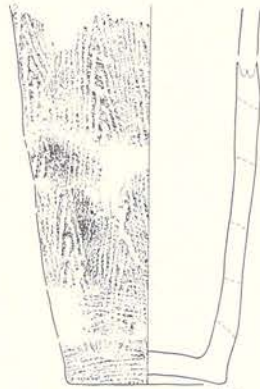
172

0 1 : 4 10cm

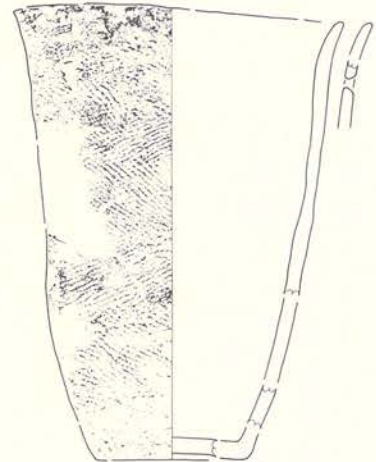
第87図 土器(30) : F7F09



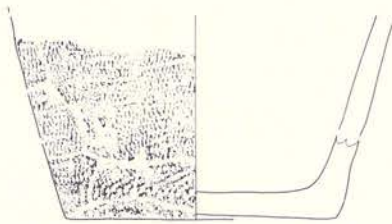
173  
(S=1/5)



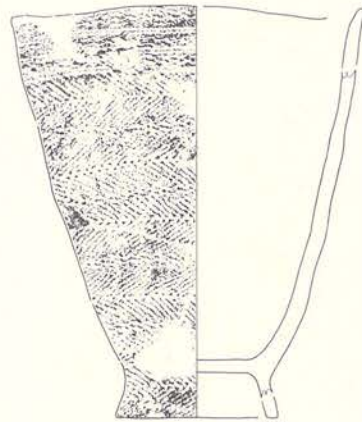
174



175



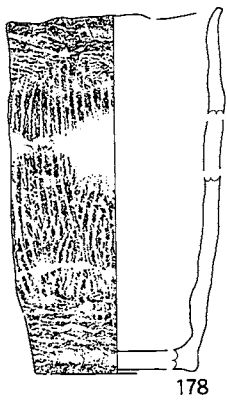
176



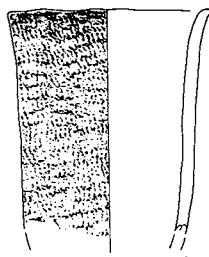
177

0 1 : 4 10cm

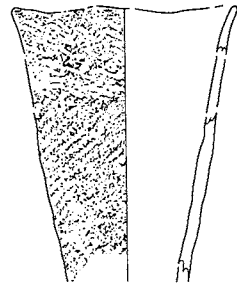
第88図 土器(31) : F7G09(1)



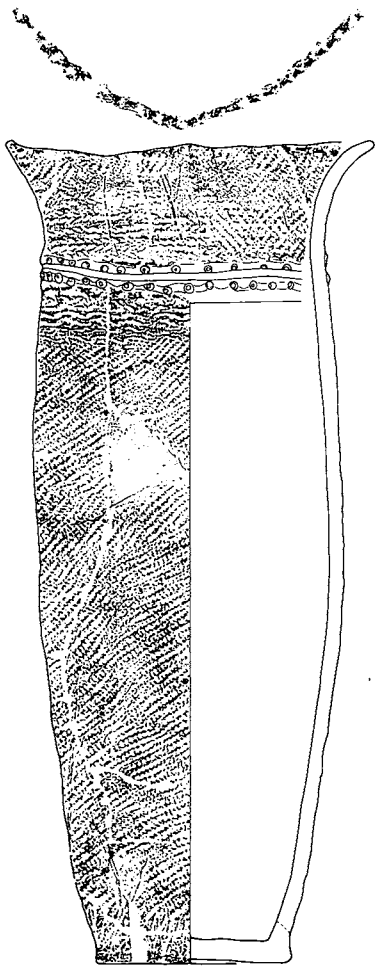
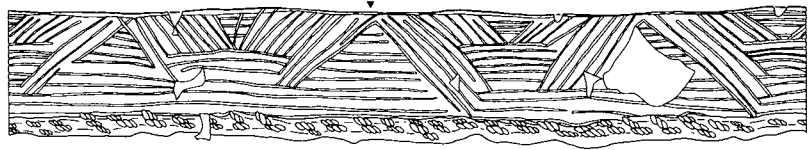
178



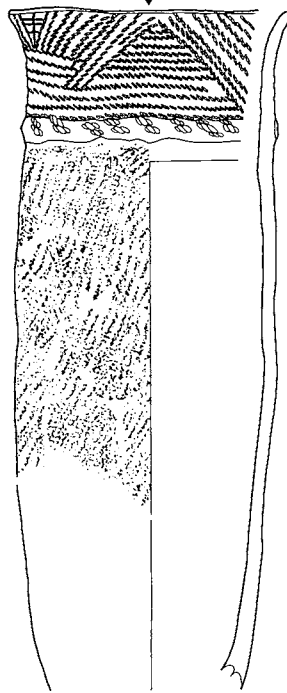
179



180



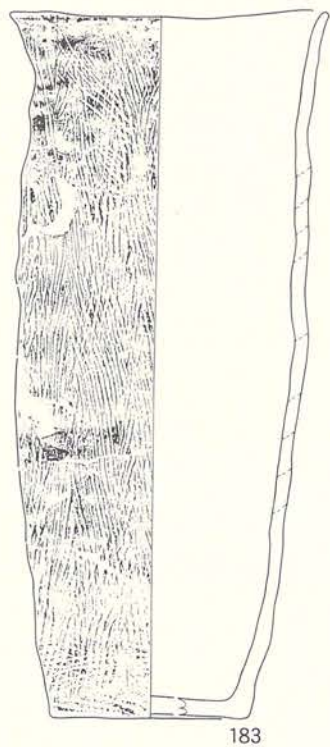
181



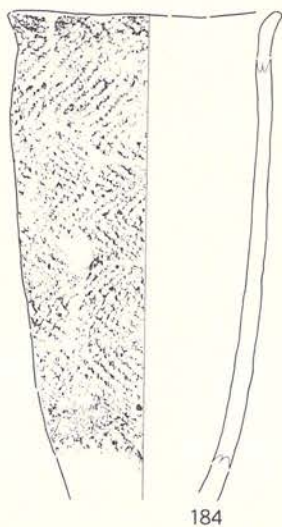
182

0 1 : 4 10cm

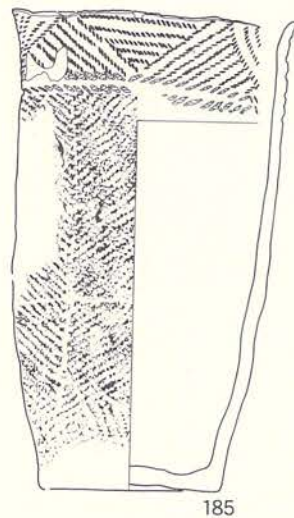
第89図 土器(32) : F7G09(2)



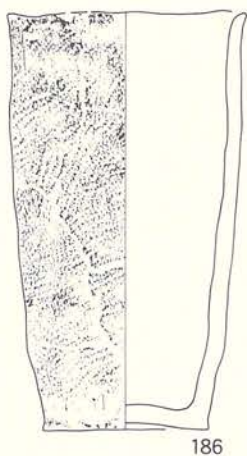
183



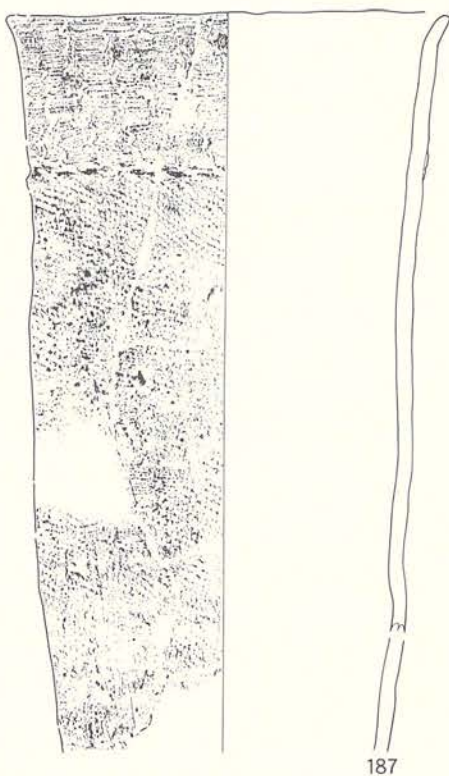
184



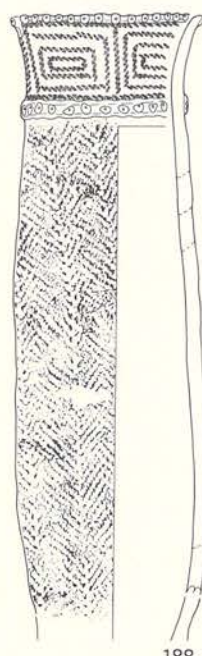
185



186



187

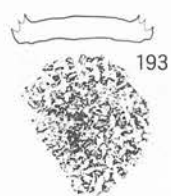
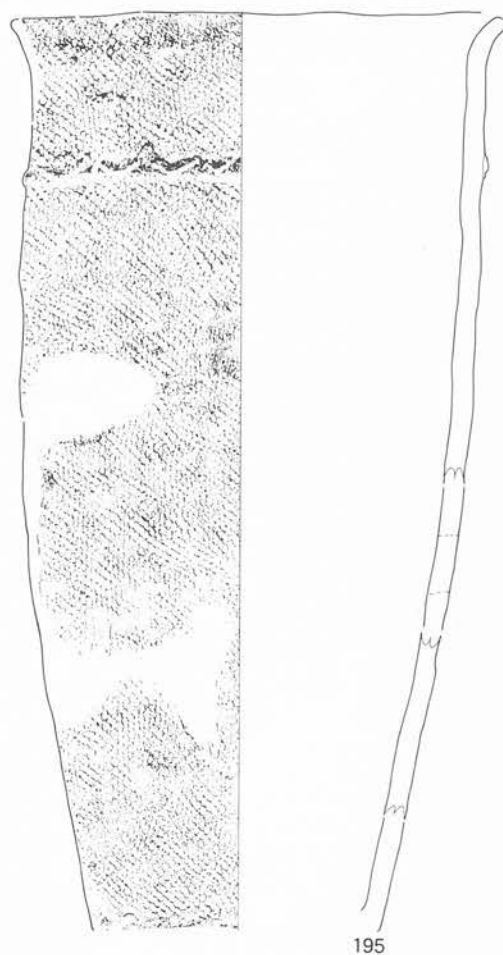
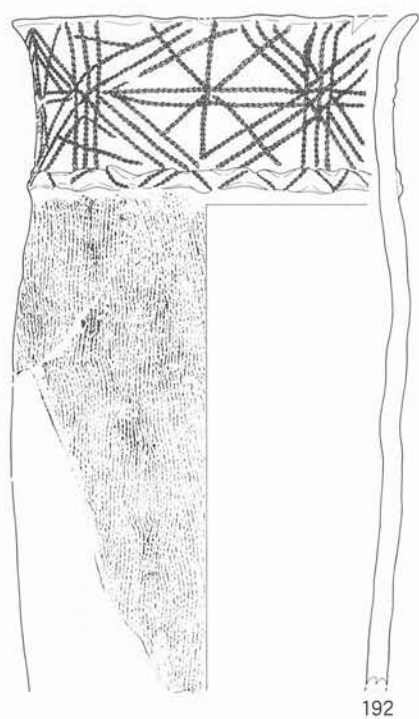
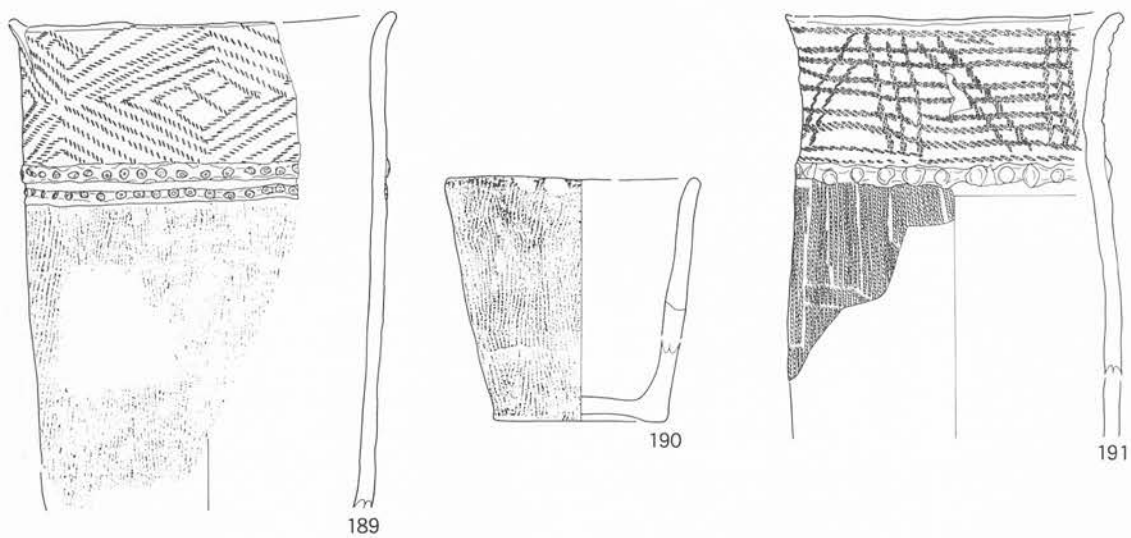


188

0 1 : 4 10cm

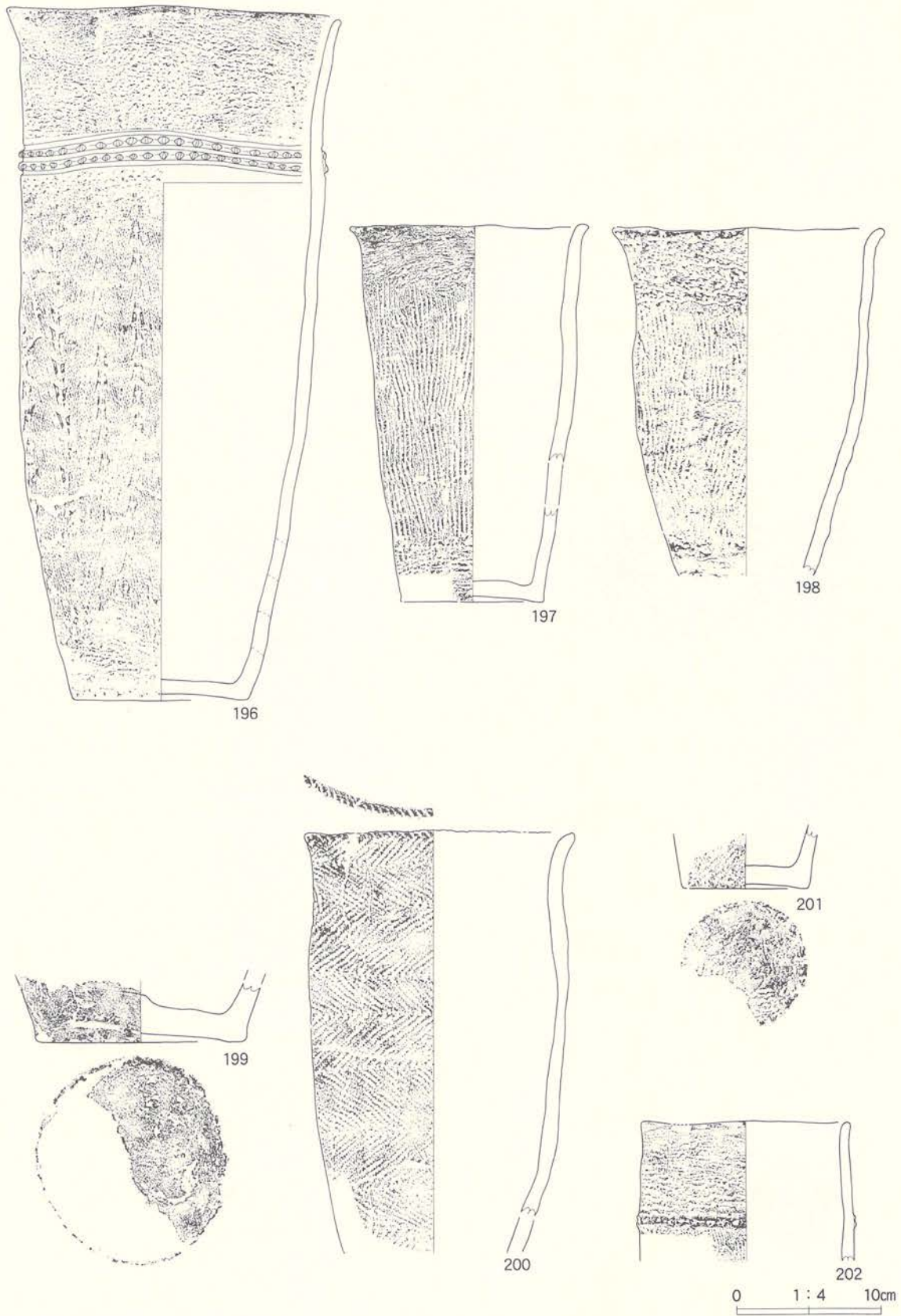
第90図 土器(33) : F7G09(3)



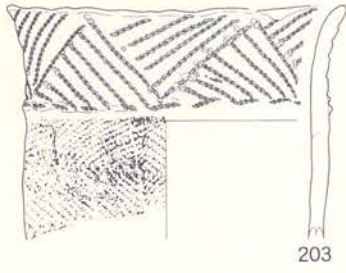


0 1 : 4 10cm

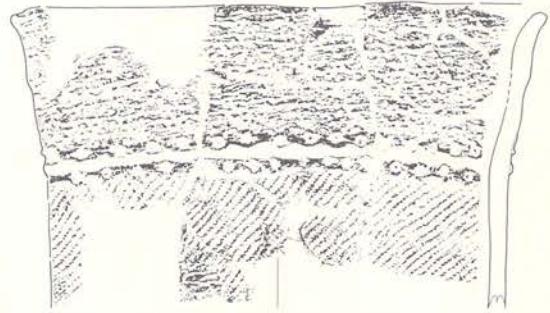
第91图 土器(34) : F7H09、I09(1)



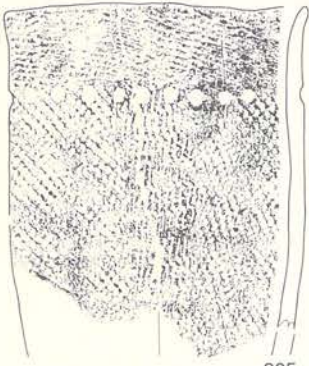
第92図 土器(35) : F7I09(2)、J09



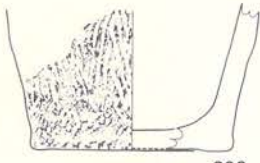
203



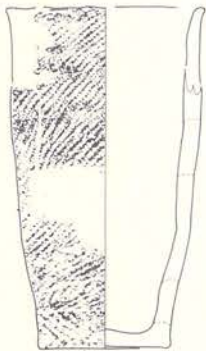
204



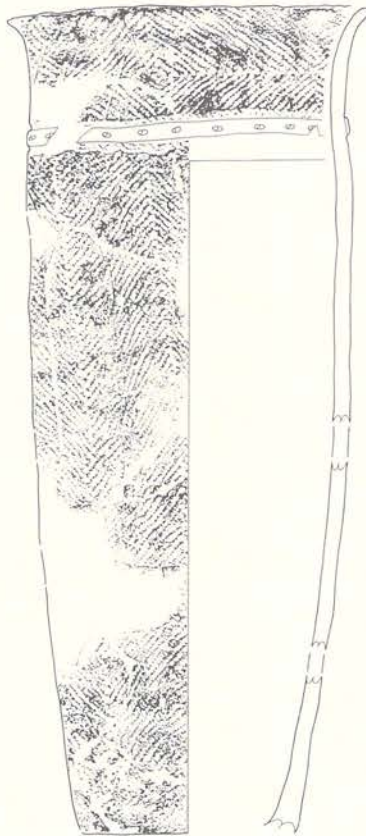
205



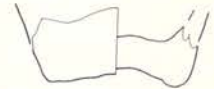
206



207



208



209  
(S=1/2)



210  
(S=1/2)

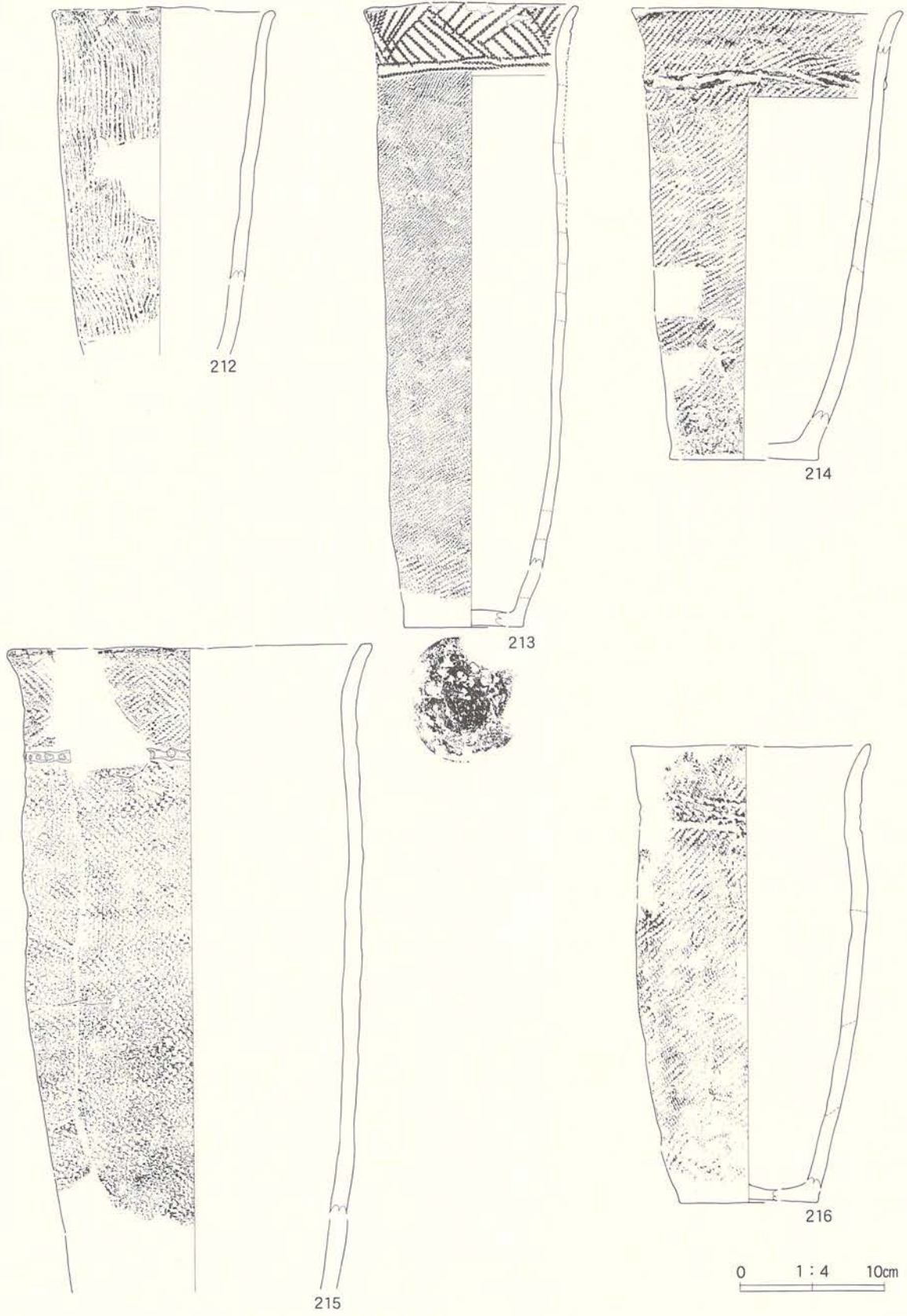


211  
(S=1/2)

0 1 : 4 10cm

第93図 土器(36) : F7F10(1)



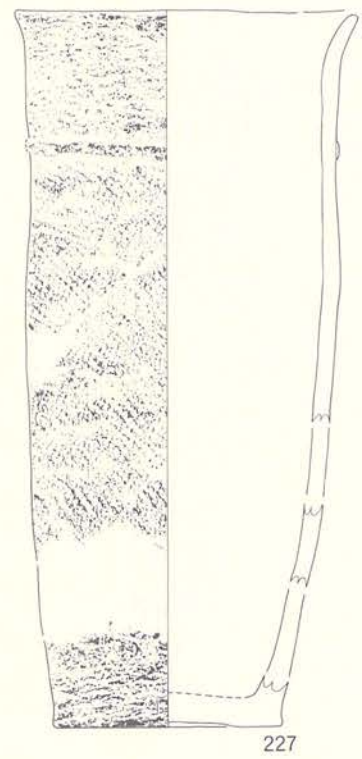
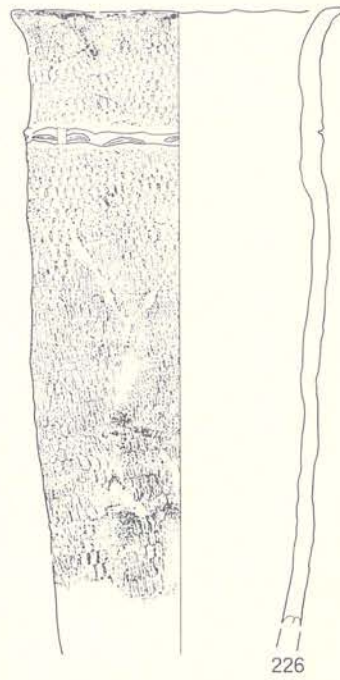
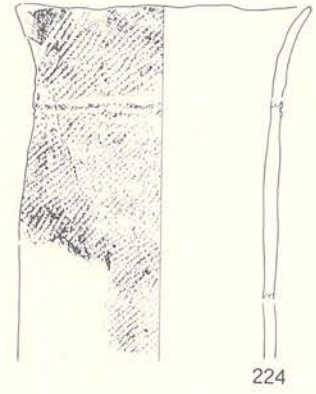
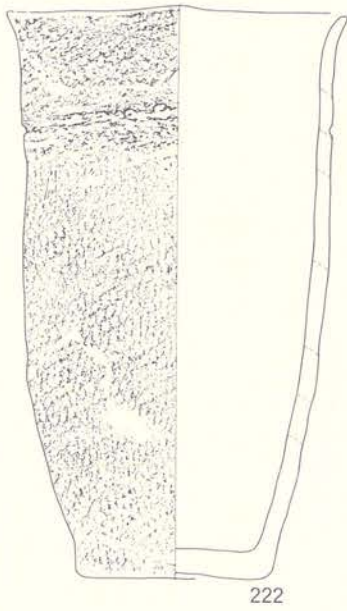


第94図 土器(37) : F7F10(2)、G10(1)



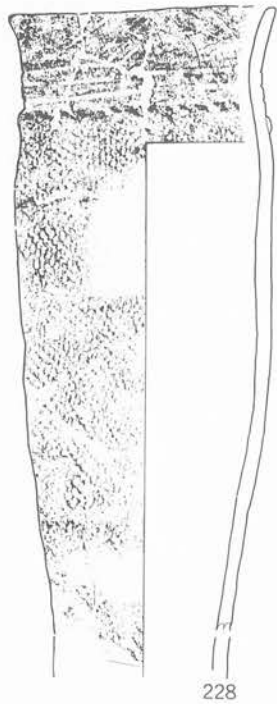


第95図 土器(38) : F7G10(2)

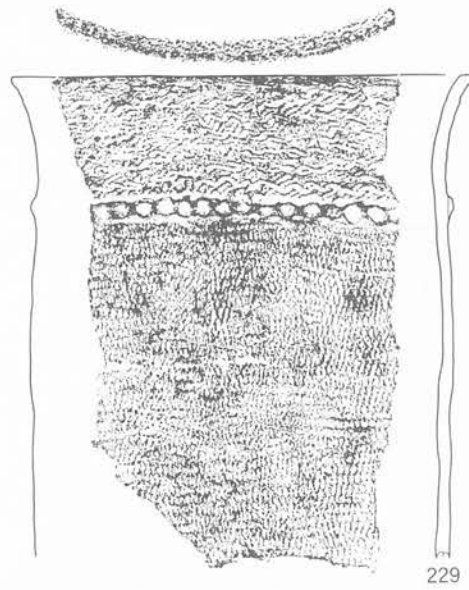


0 1 : 4 10cm

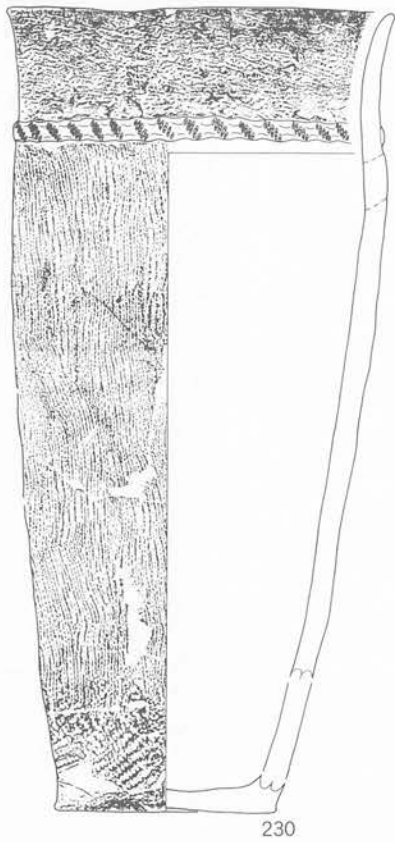
第96図 土器(39) : F7G10(3)



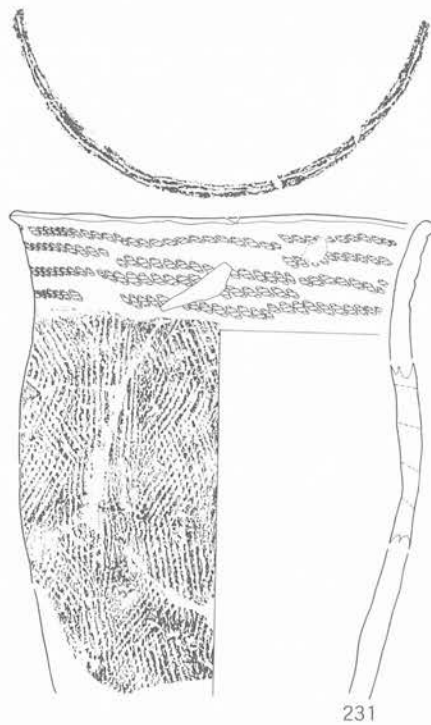
228



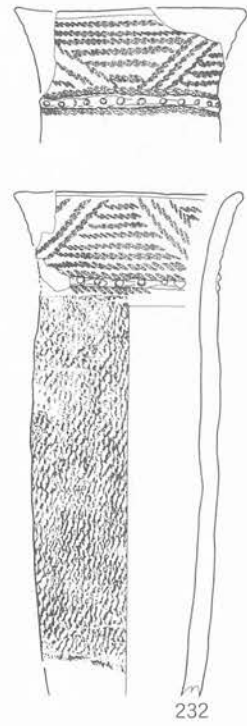
229



230



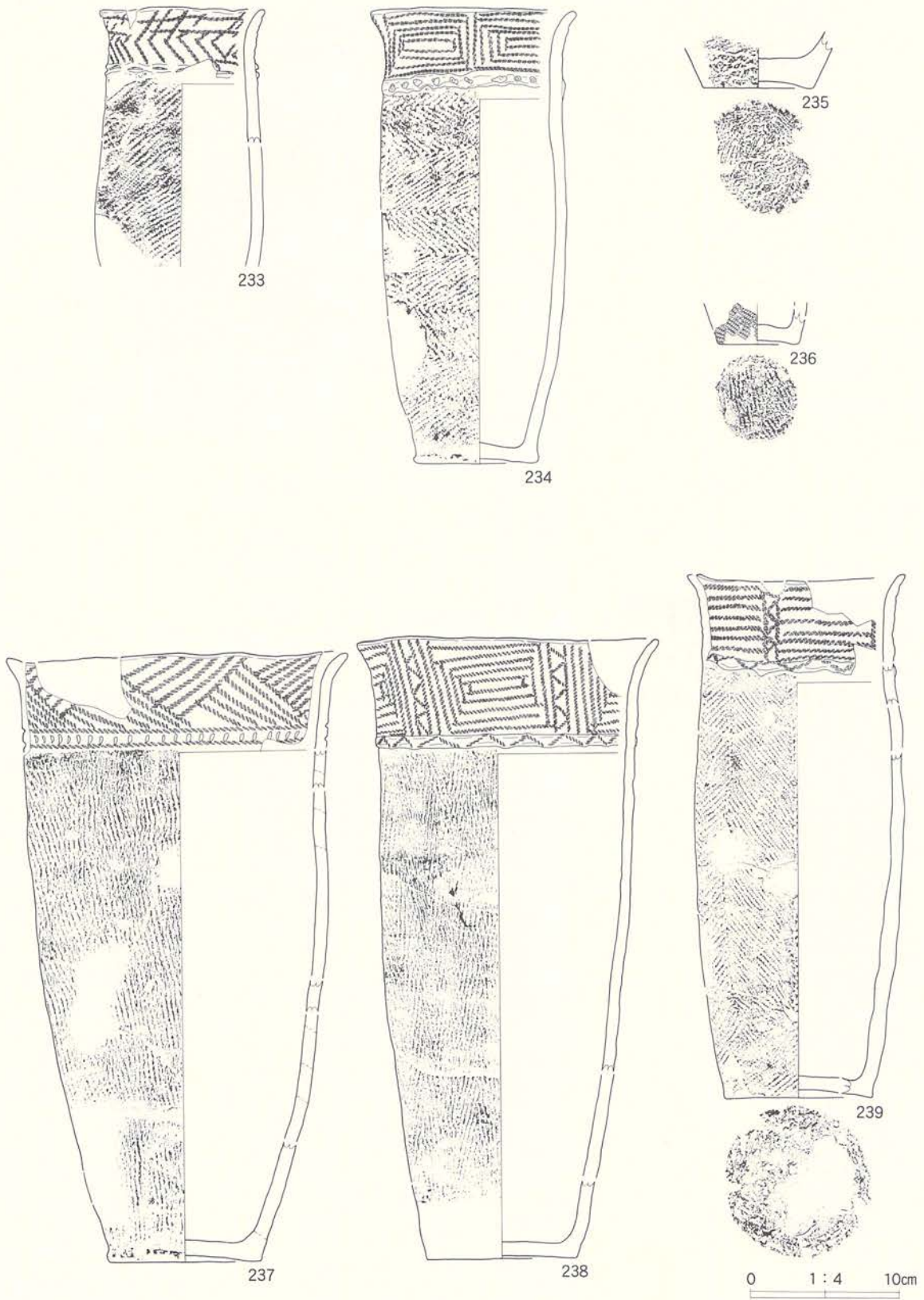
231



232

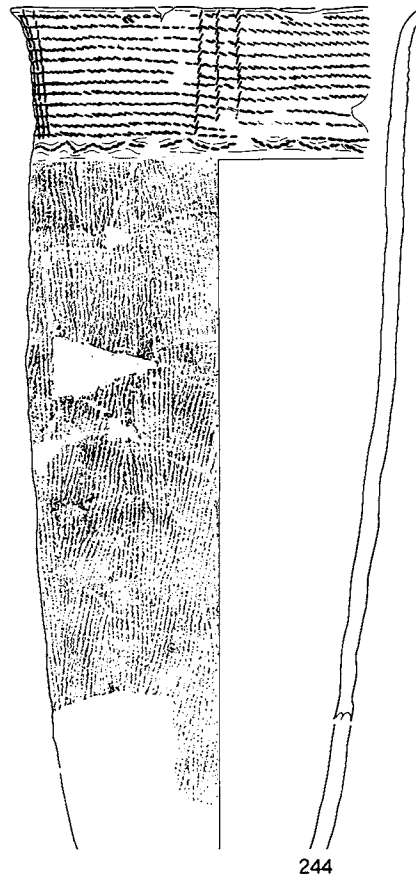
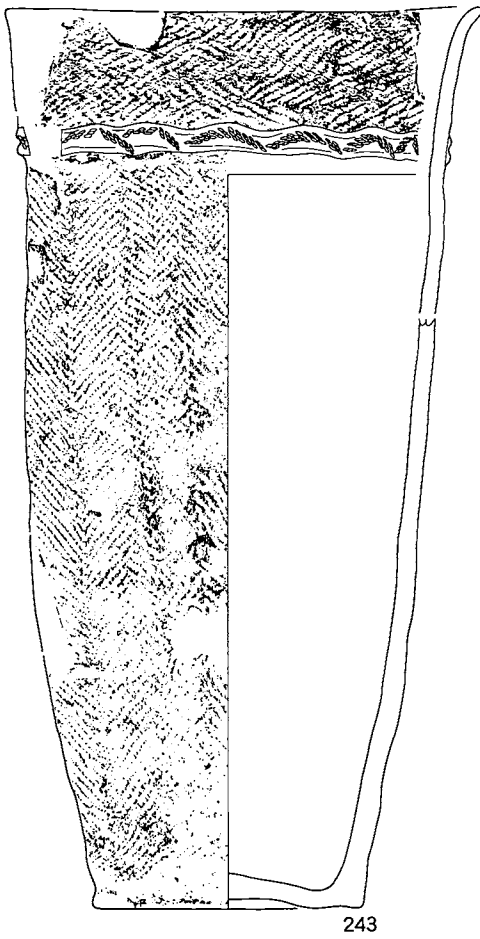
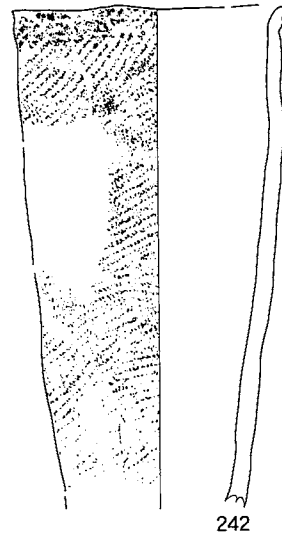
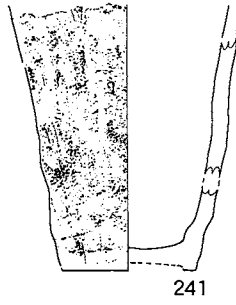
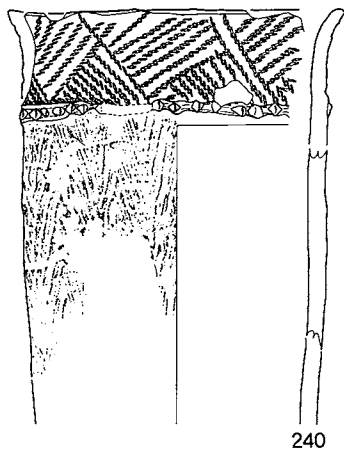
0 1 : 4 10cm

第97図 土器(40) : F7G10(4) · H10



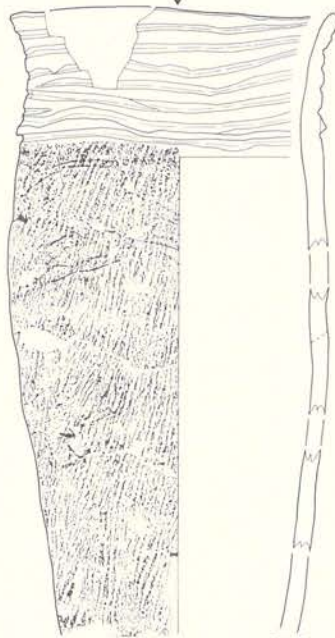
第98図 土器(41) : F7F11、G11(1)



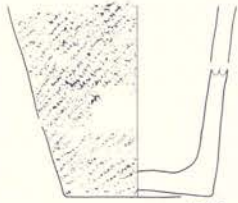


0 1 : 4 10cm

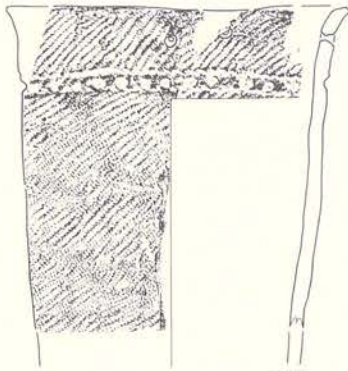
第99図 土器(42) : F7G11(2)



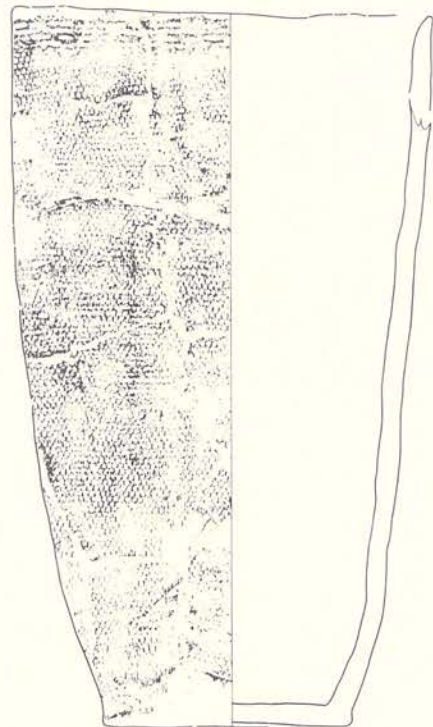
245



246



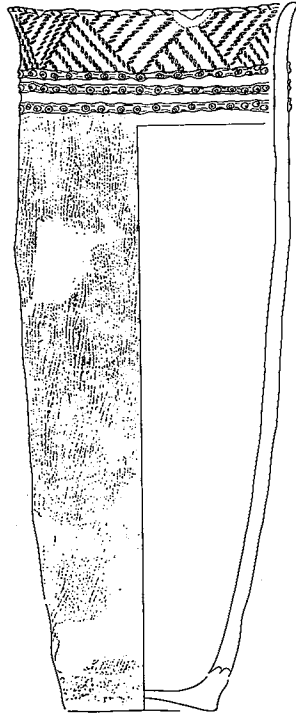
247



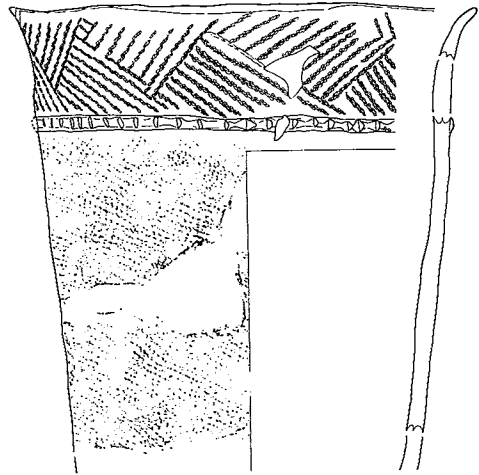
248

0 1 : 4 10cm

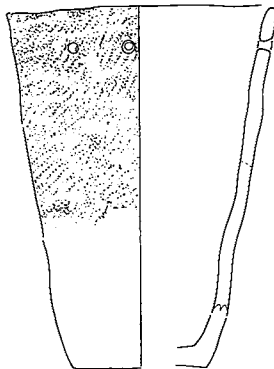
第100図 土器(43) : F7G11(3)、H11(1)



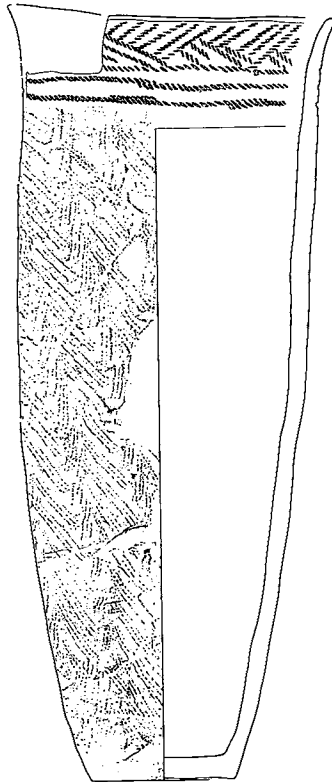
249



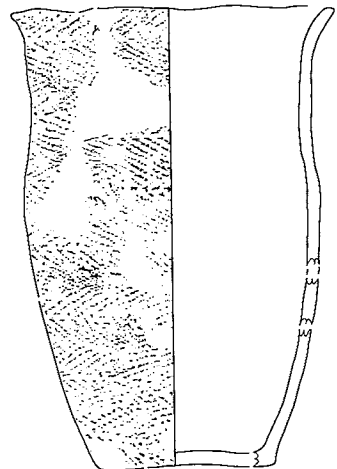
250



251



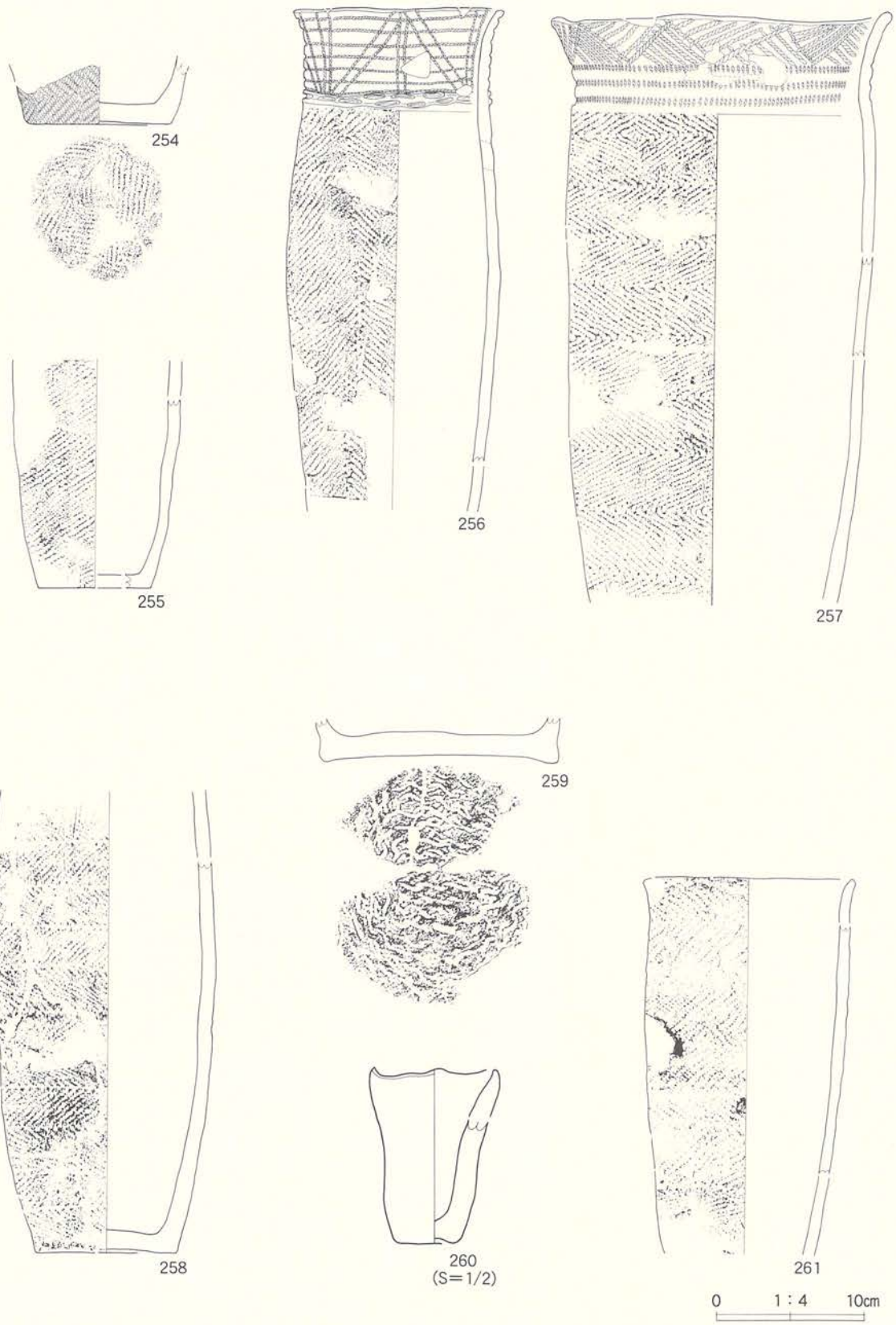
252



253

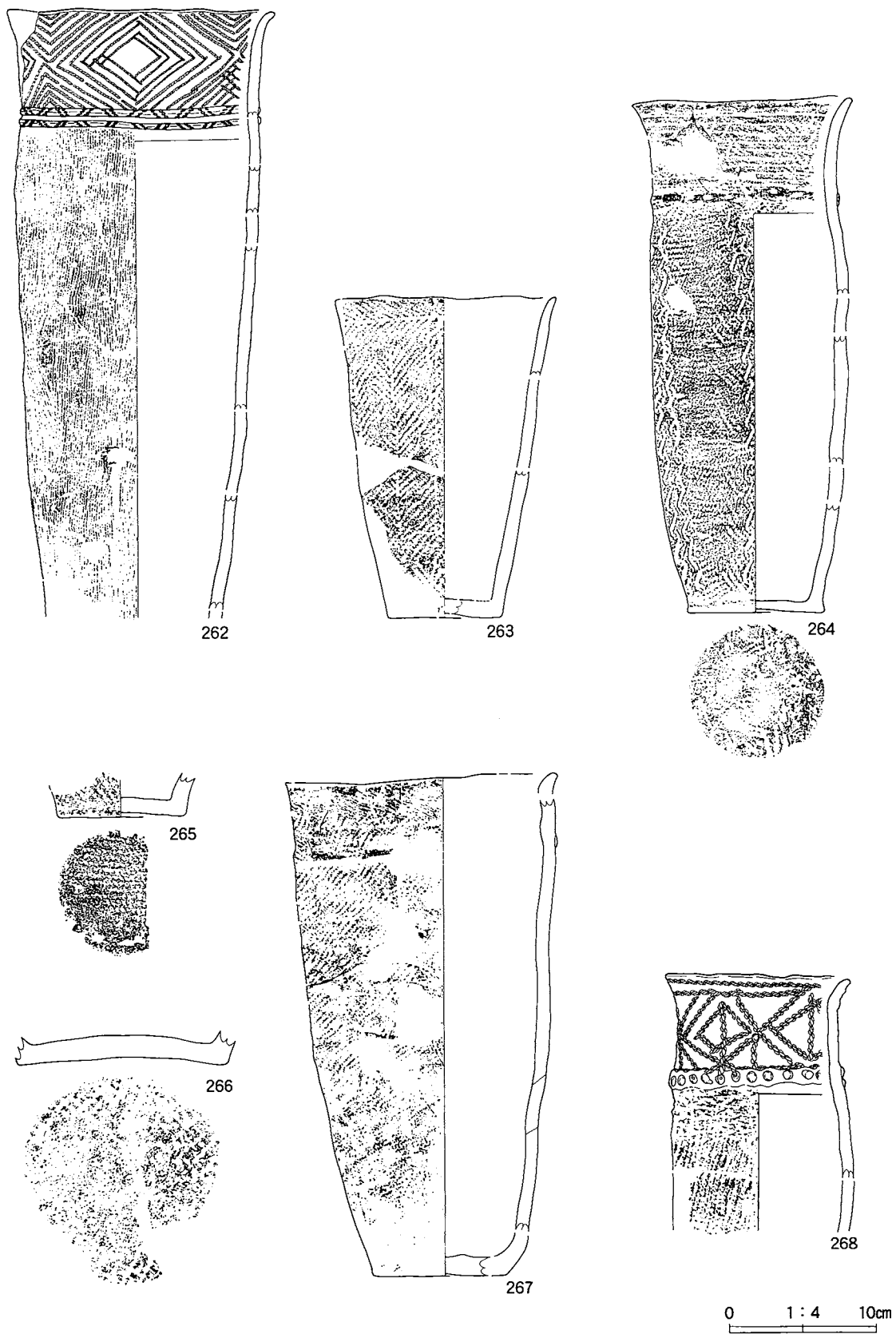
0 1 : 4 10cm

第101图 土器(44) : F7H11(2)

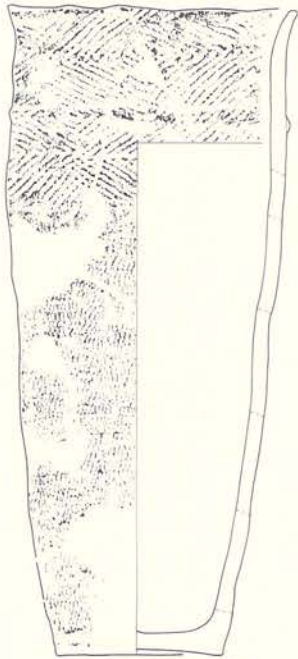


第102図 土器(45): F7H11(3)、I11

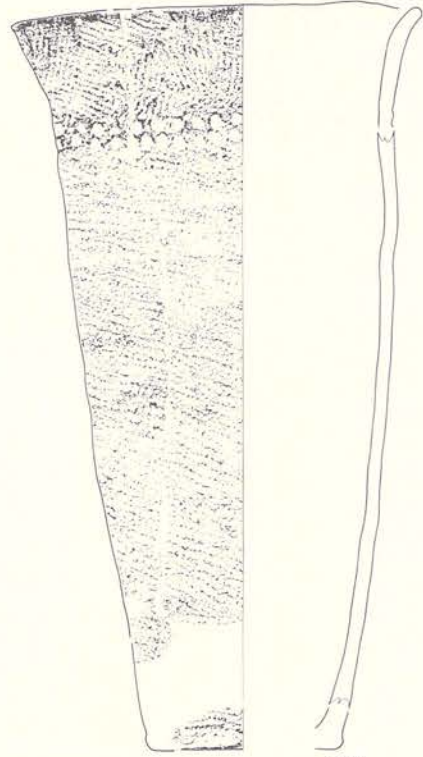




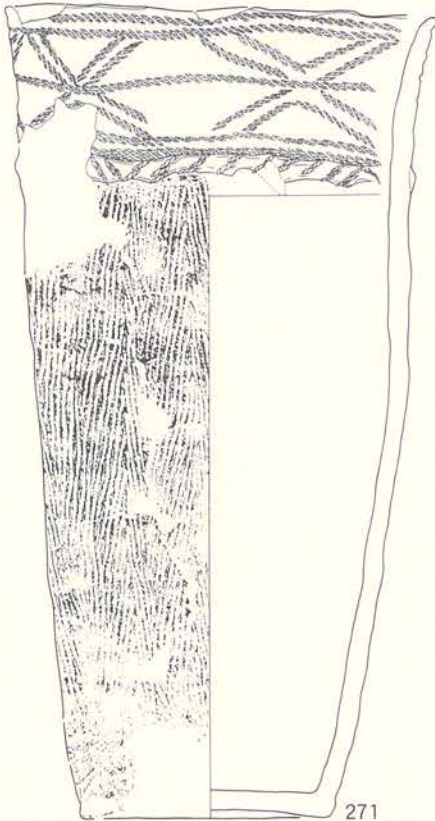
第103図 土器(46) : F7J11、G12(1)



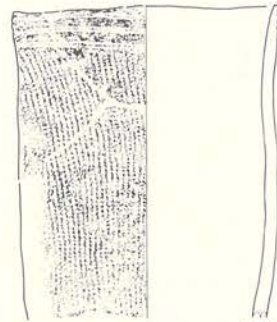
269



270  
(S=1/5)



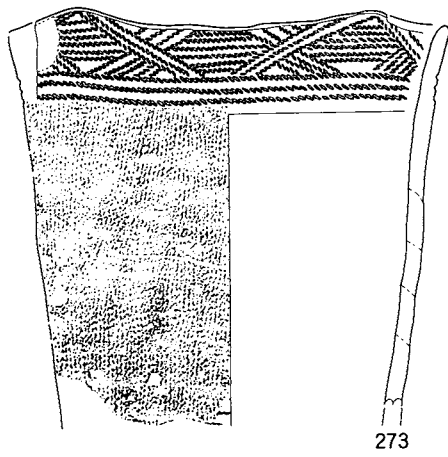
271



272

0 1 : 4 10cm

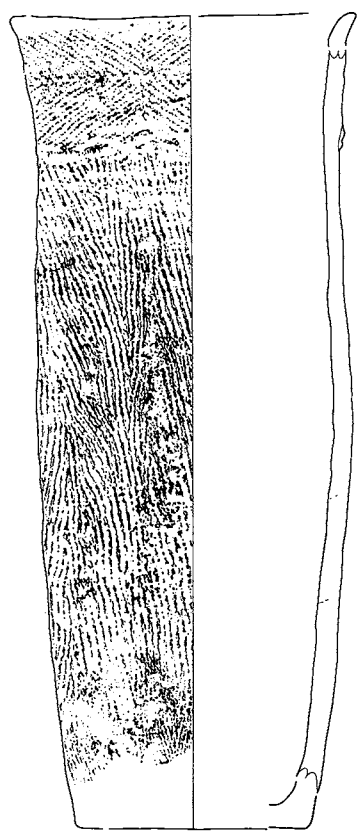
第104図 土器(47) : F7G12(2)、I12、L13、L24(1)



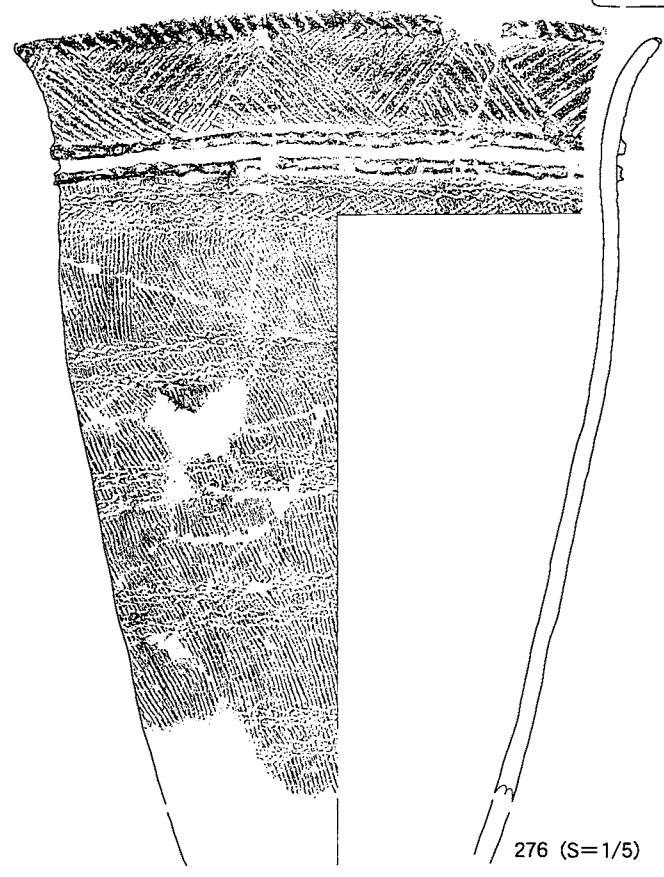
273



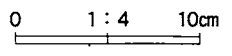
274



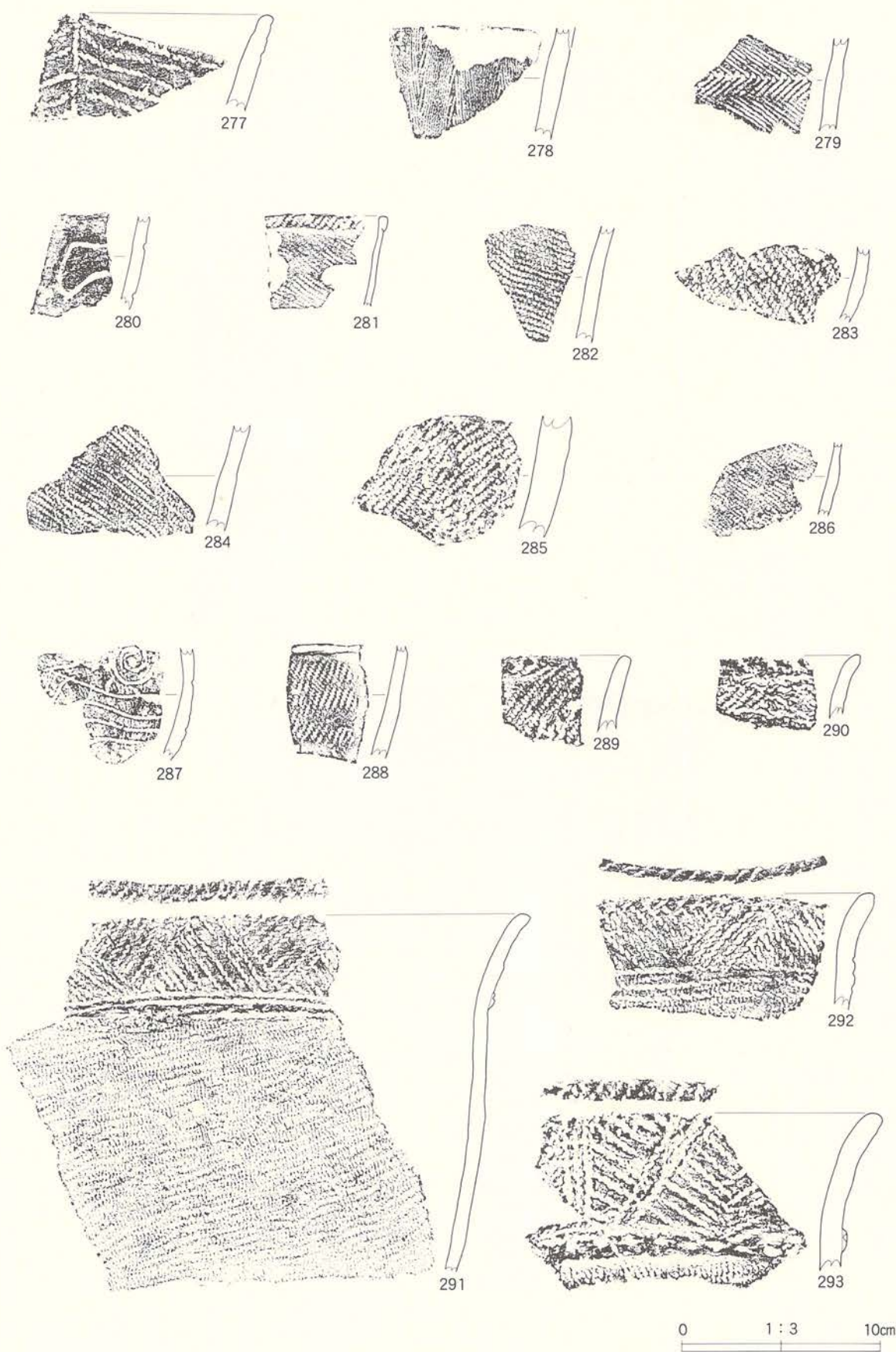
275



276 (S=1/5)



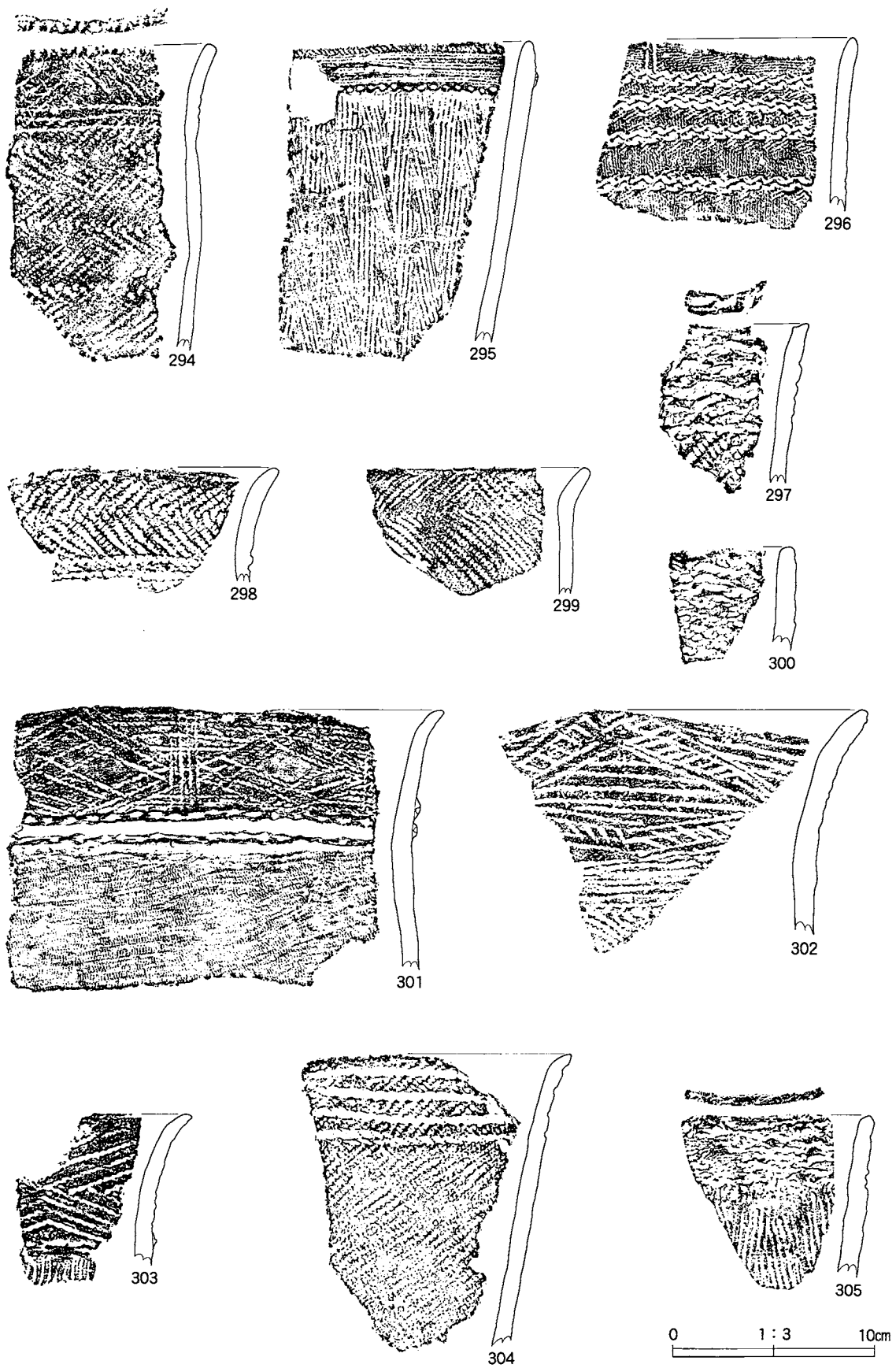
第105图 土器(48)：F7L24(2)、F7区、F5区



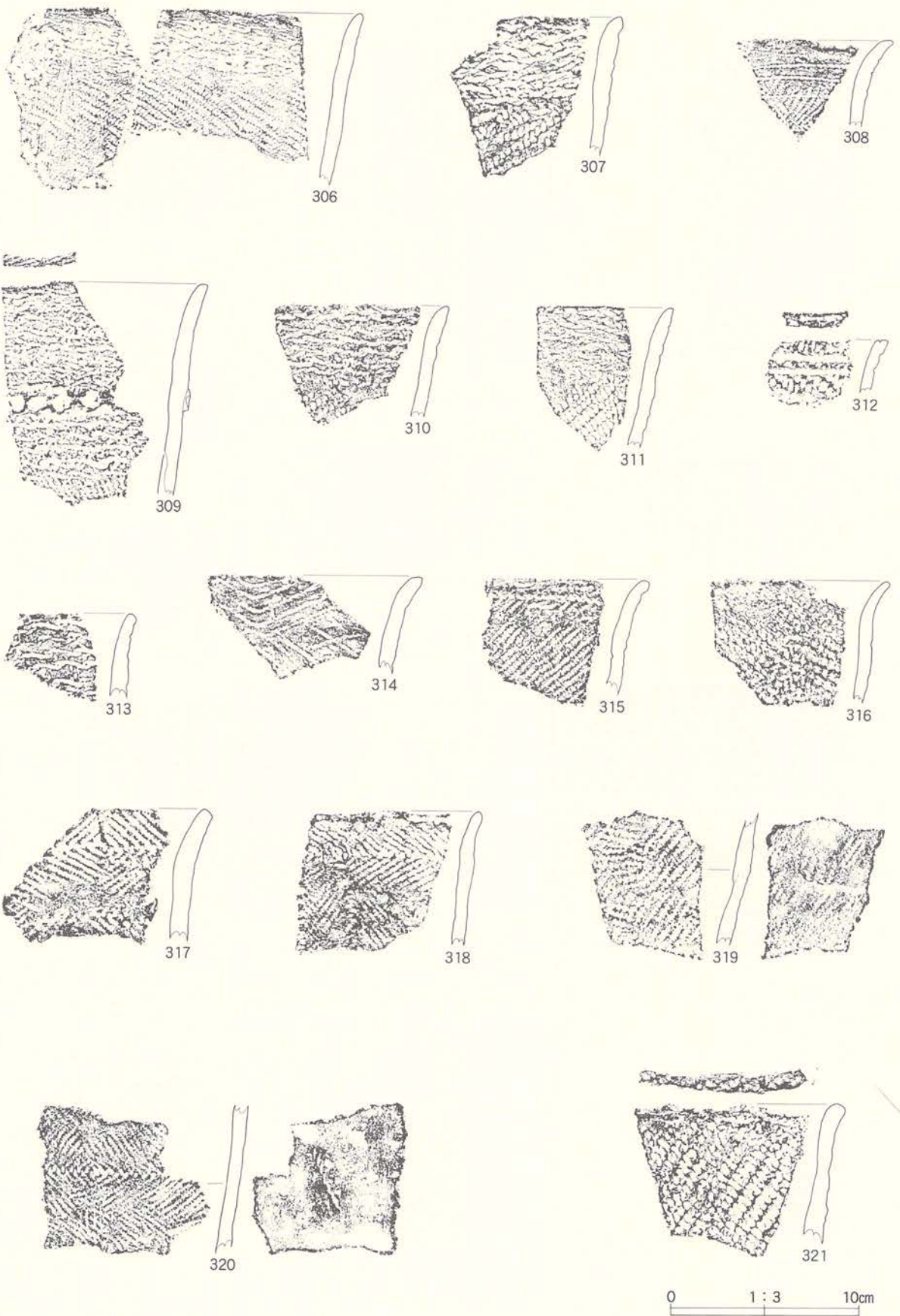
0 1 : 3 10cm

第106図 土器(49) : RA01・02、RD09・14・15・22・30・49・52・53(1)

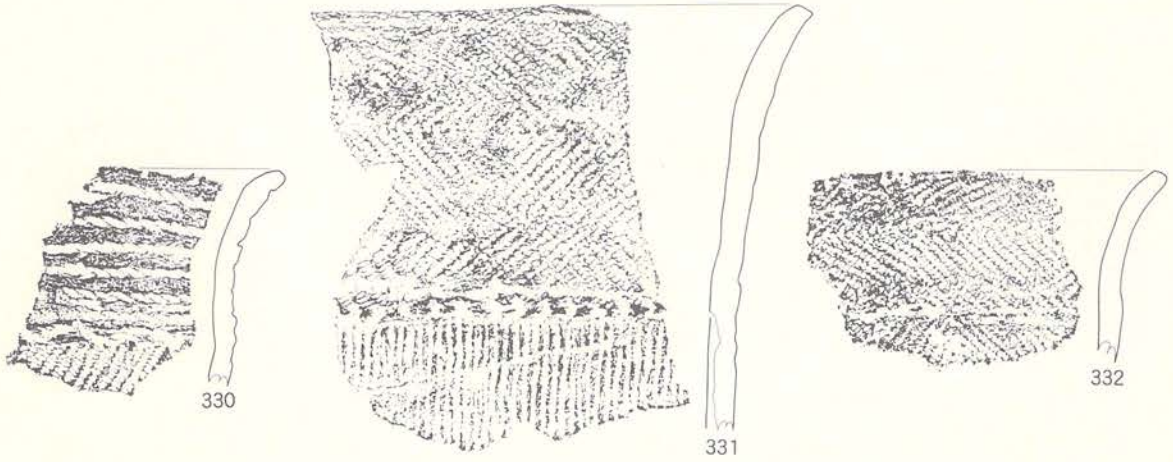
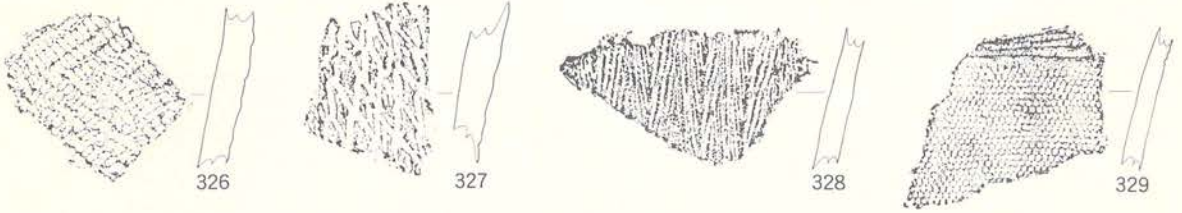
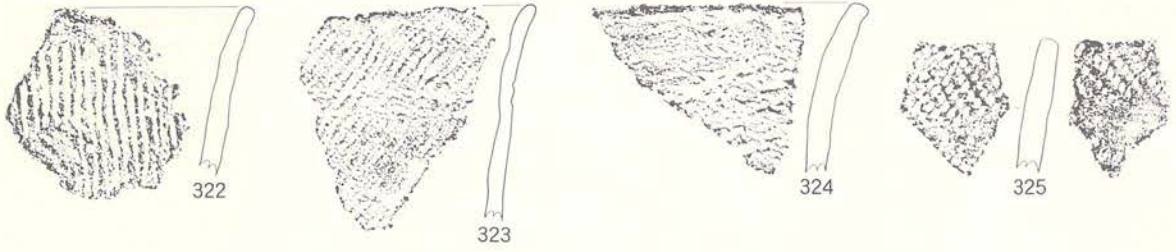




第107図 土器(50) : RD53(2)・54(1)

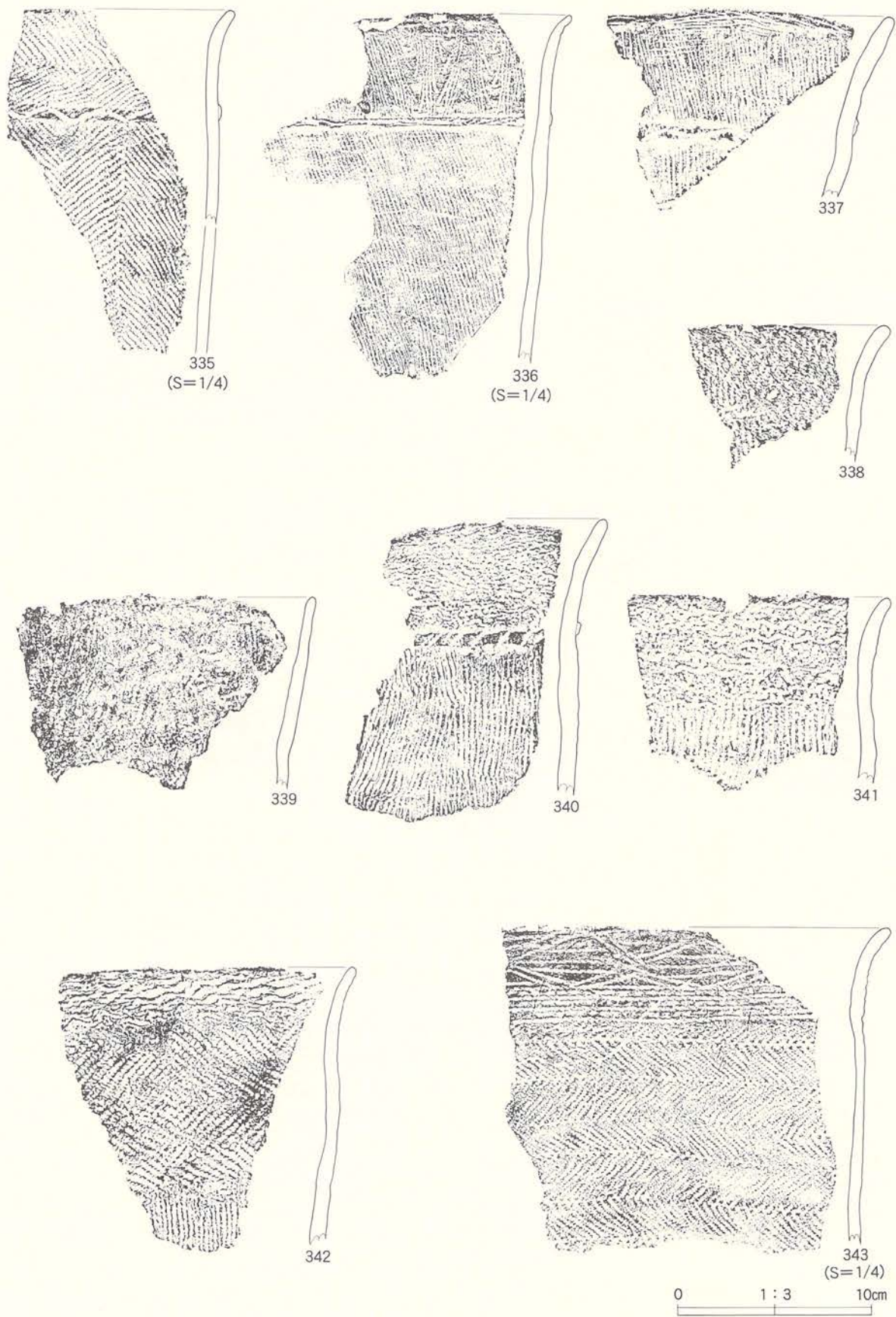


第108図 土器(51) : RD54(2)・55



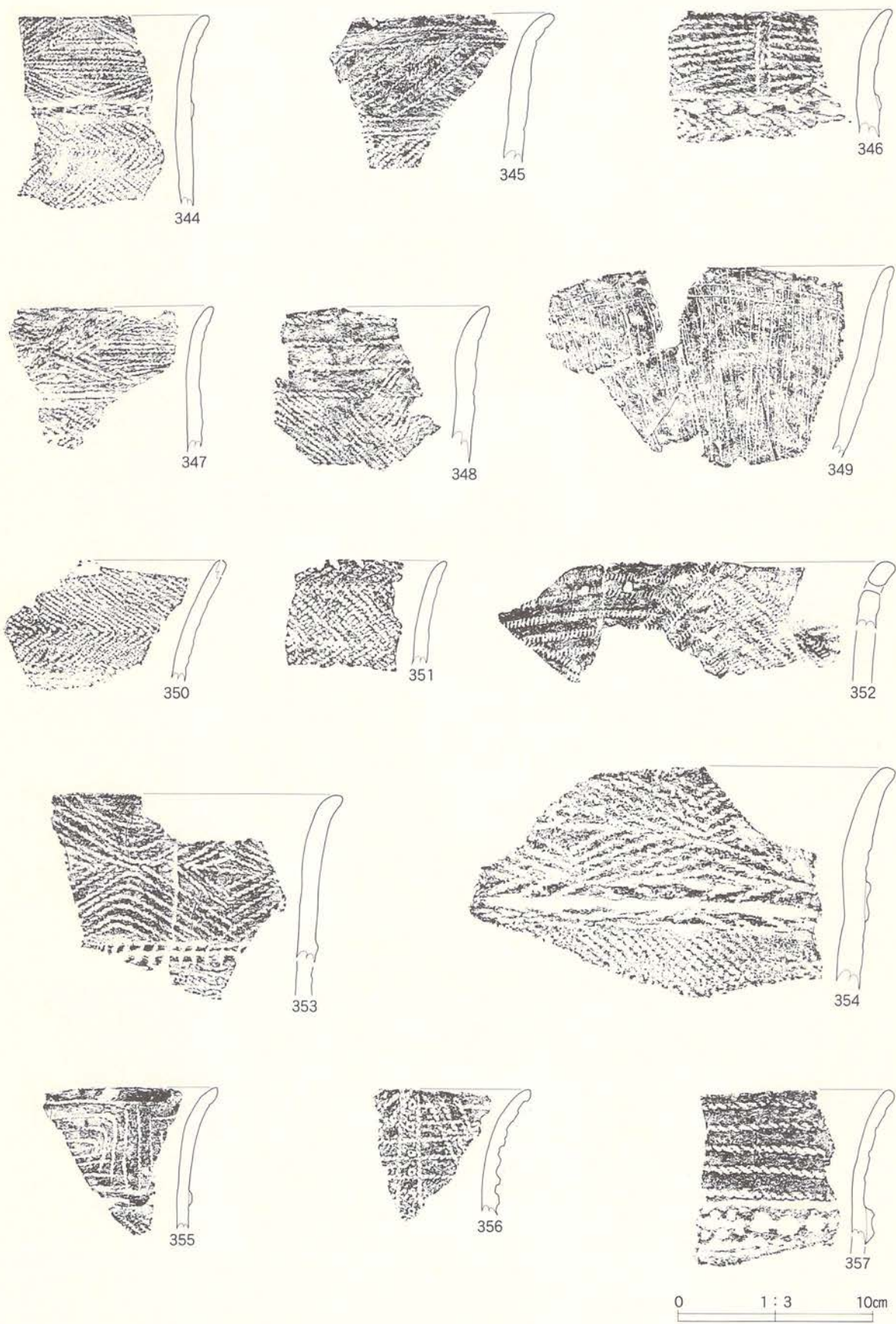
第109図 土器(52) : RD56・57・58・60(1)



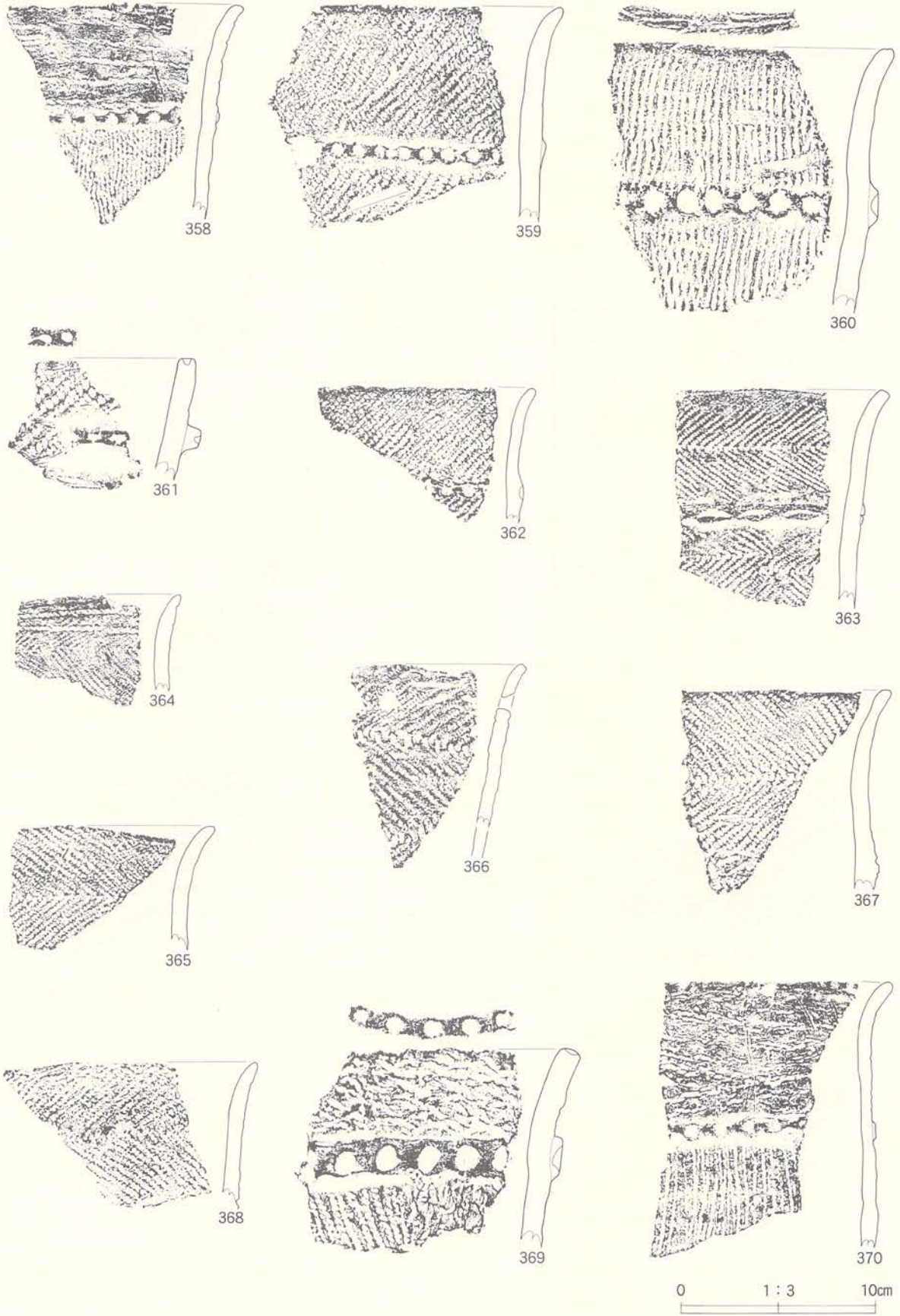


第110図 土器(53) : RD60(2)、RG02(1)

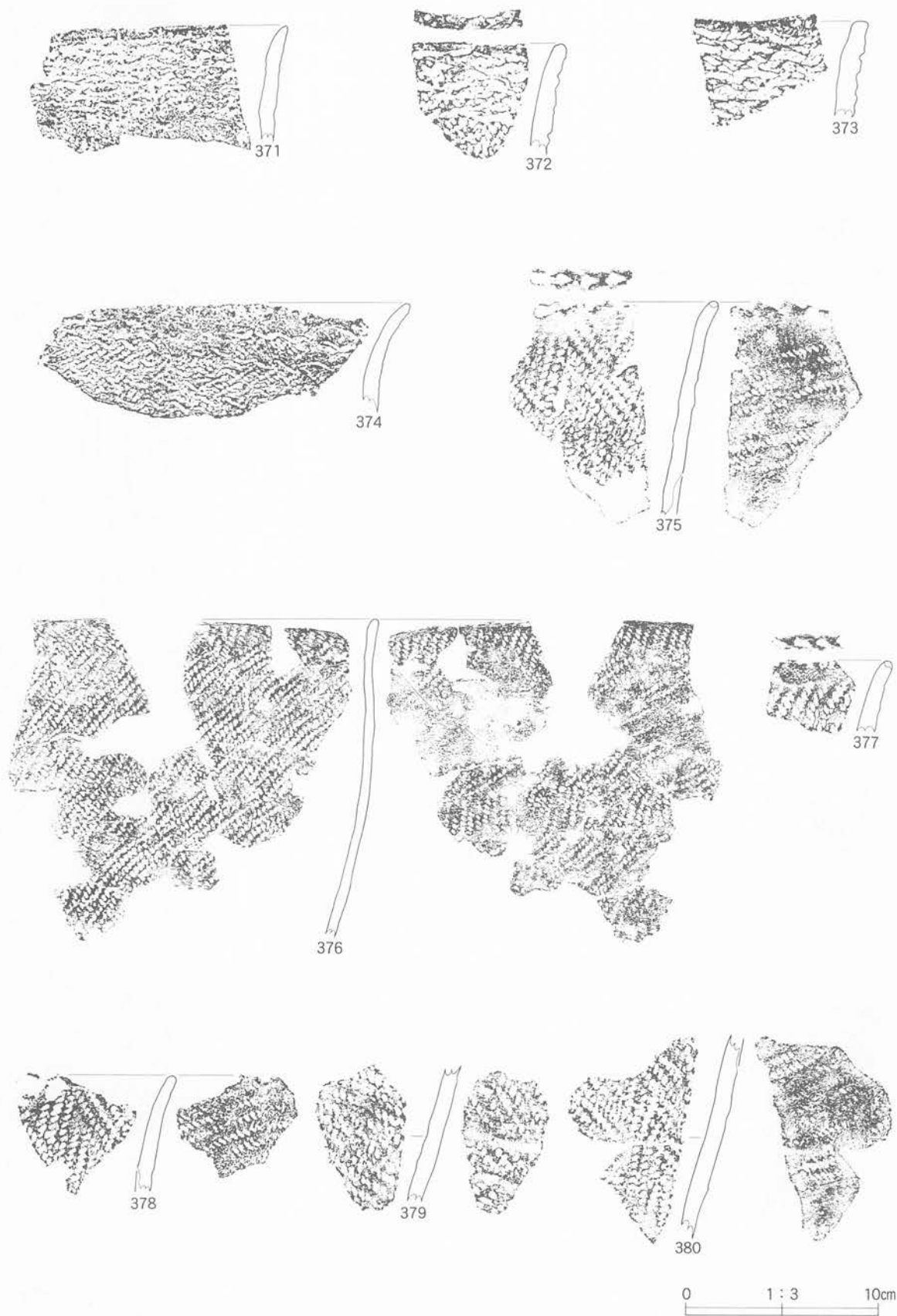




第111圖 土器(54) : RG02(2) · 03(1)

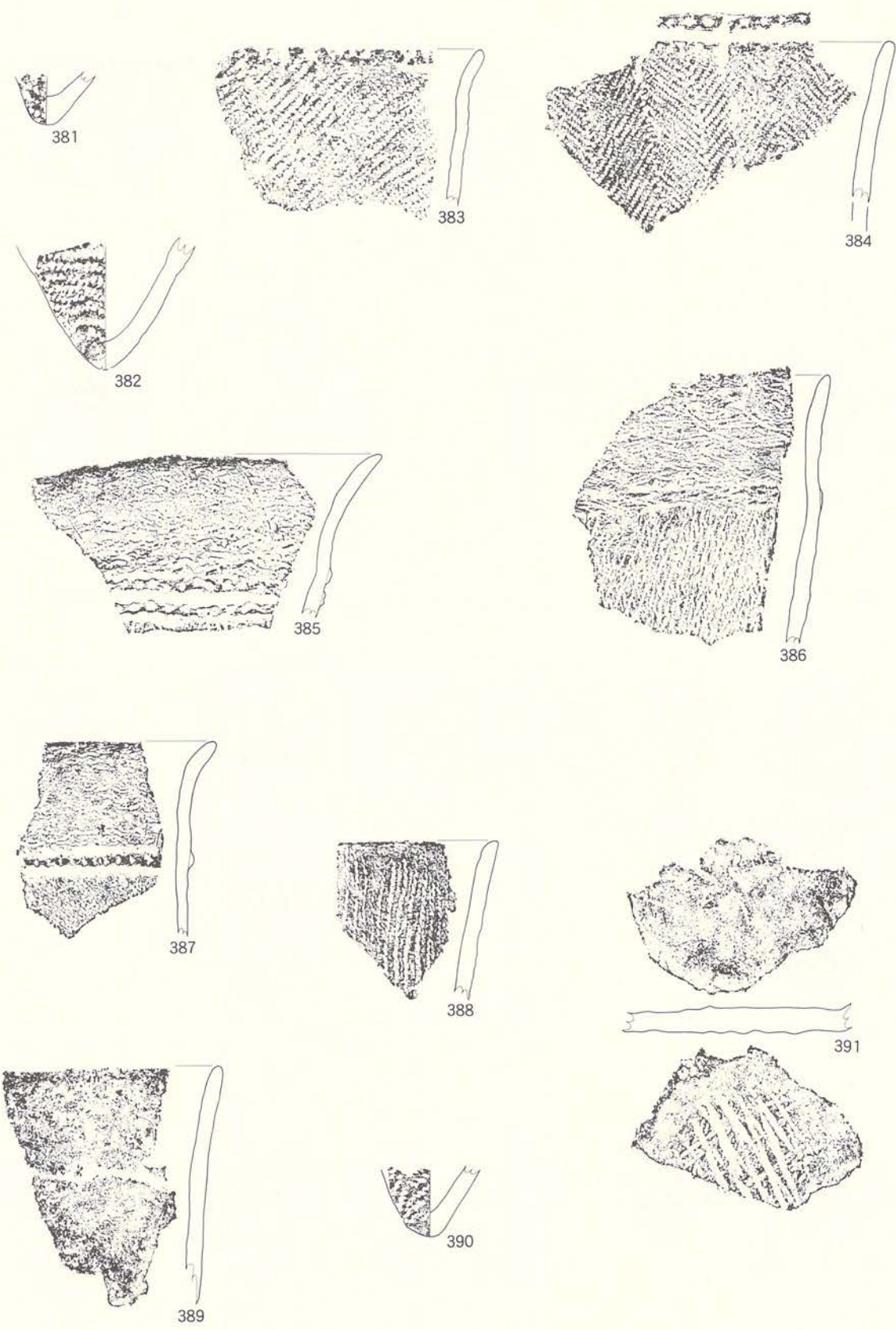


第112図 土器(55) : RG03(2)



第113図 土器(56) : RG03(3)

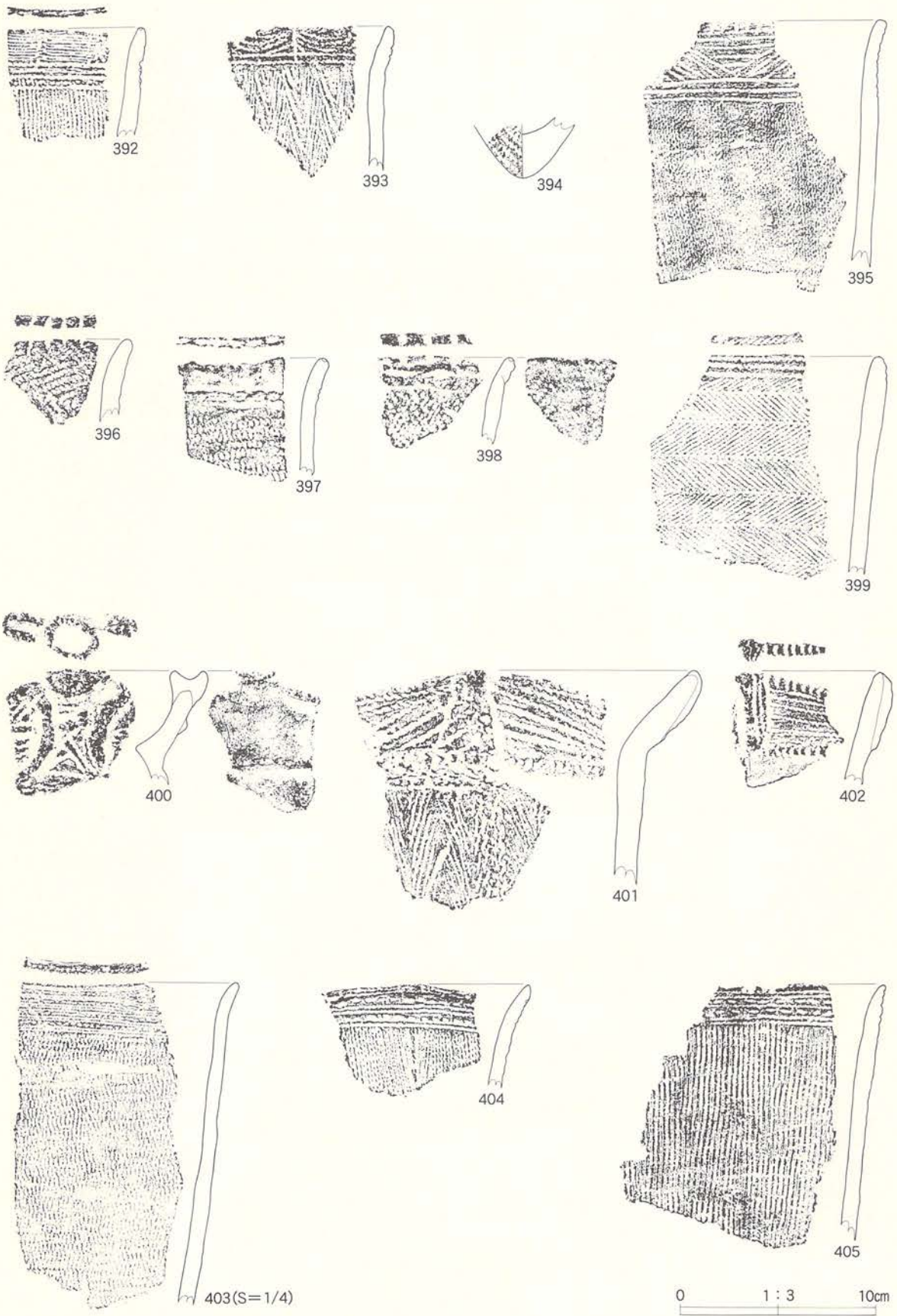




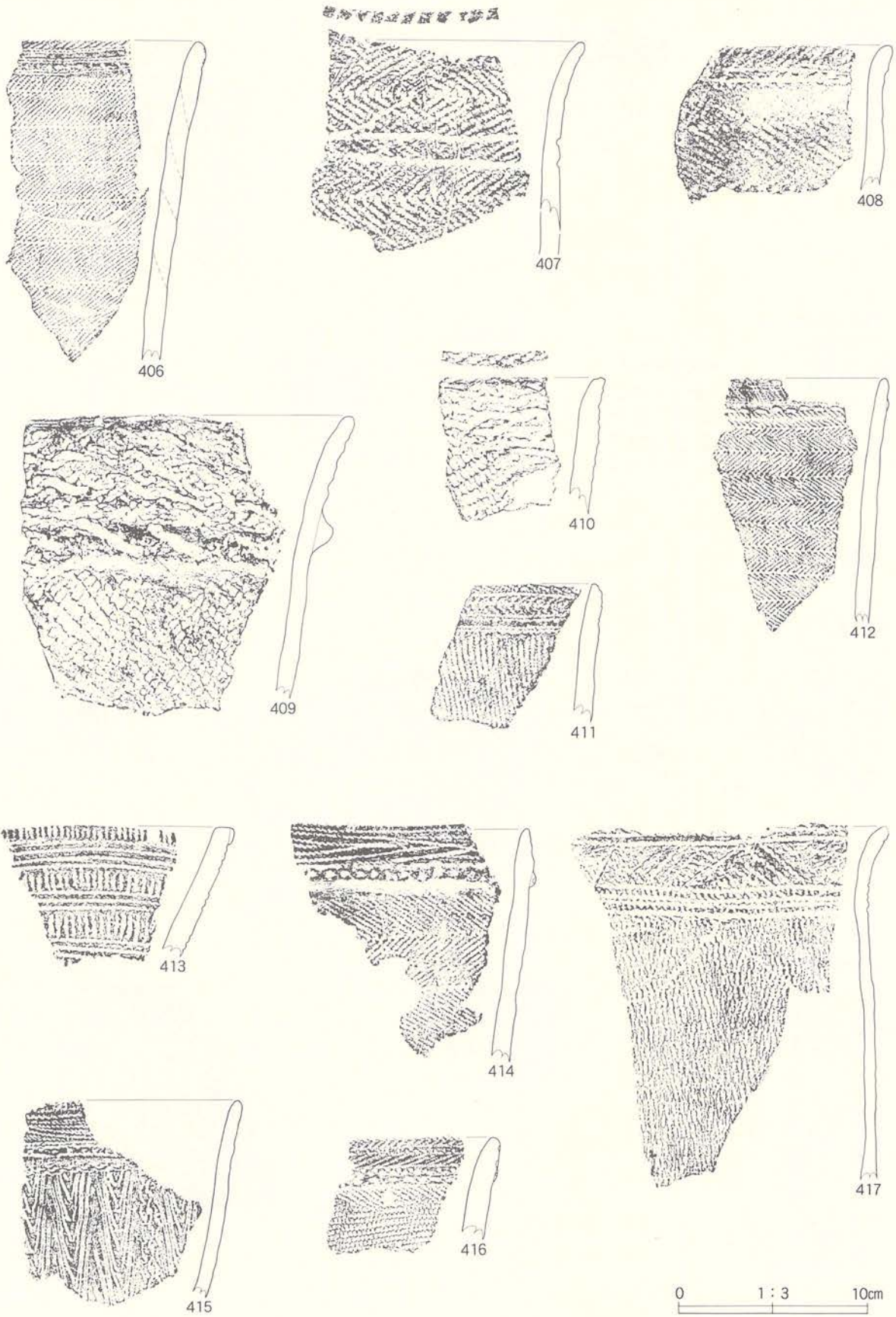
0 1 : 3 10cm

第114図 土器(57) : RG03(4)・05

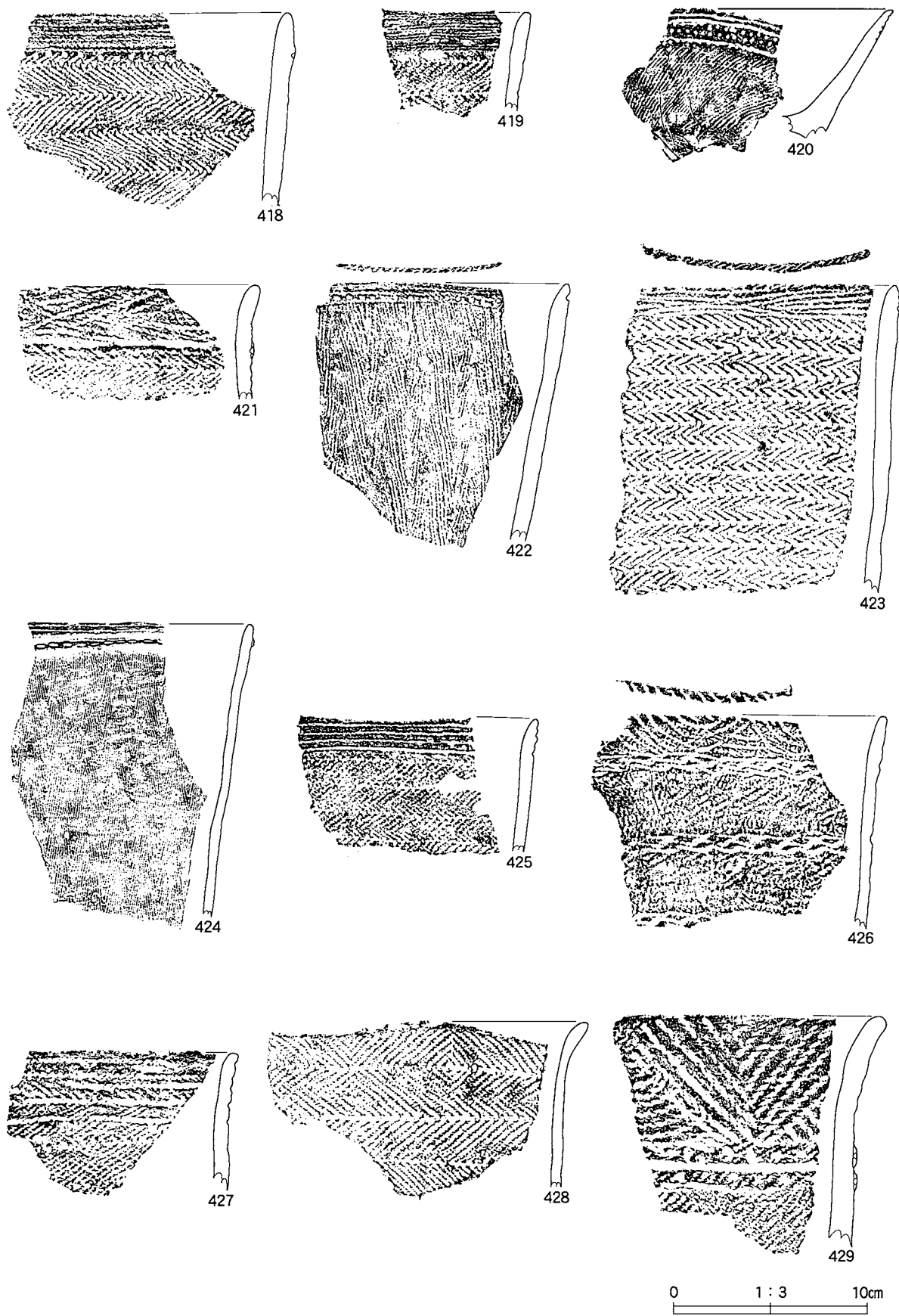




第115図 土器(58) : F7H04、H05(1)

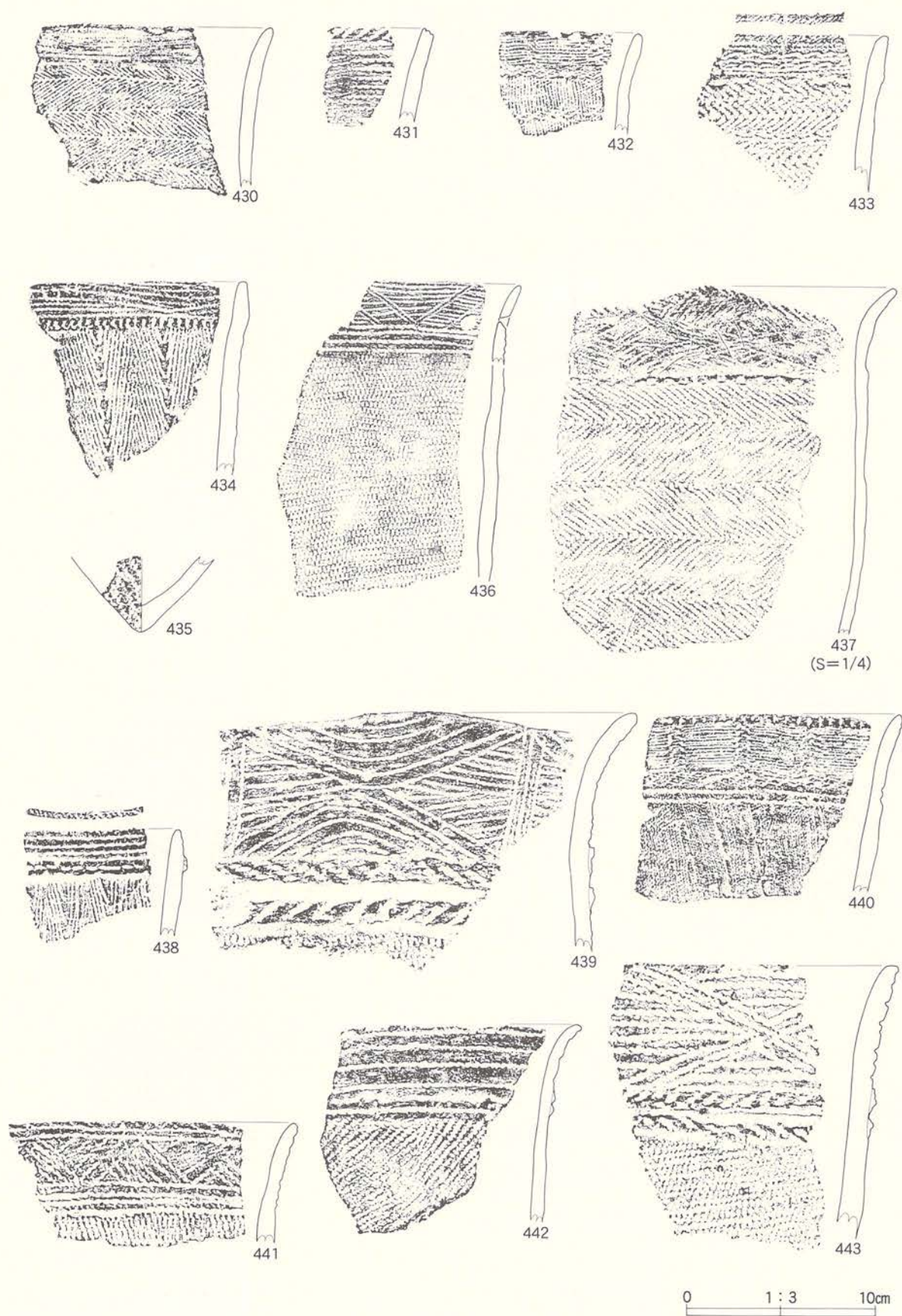


第116図 土器(59) : F7H05(2)、I05、G06、H06(1)



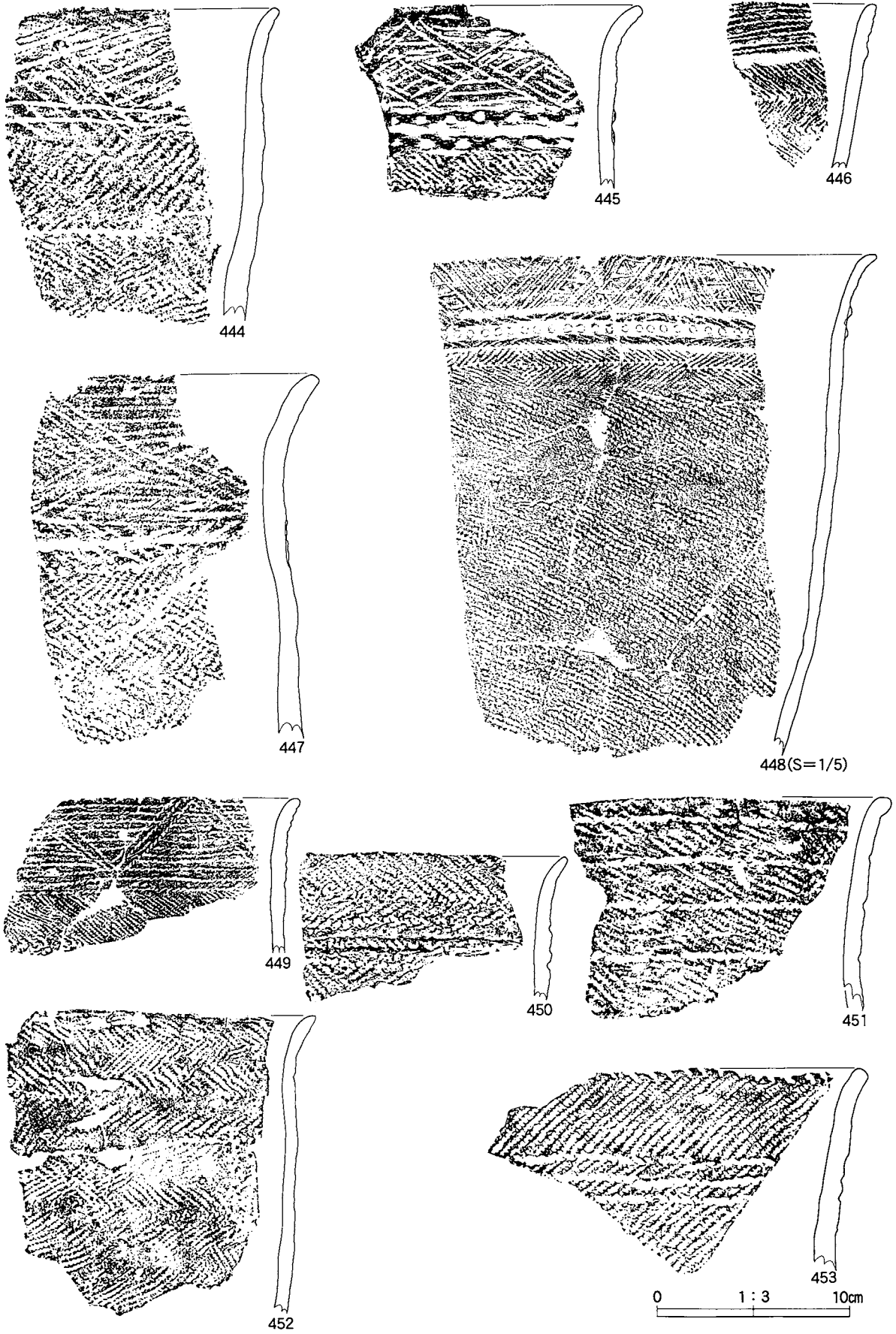
第117図 土器(60) : F7H06(2)



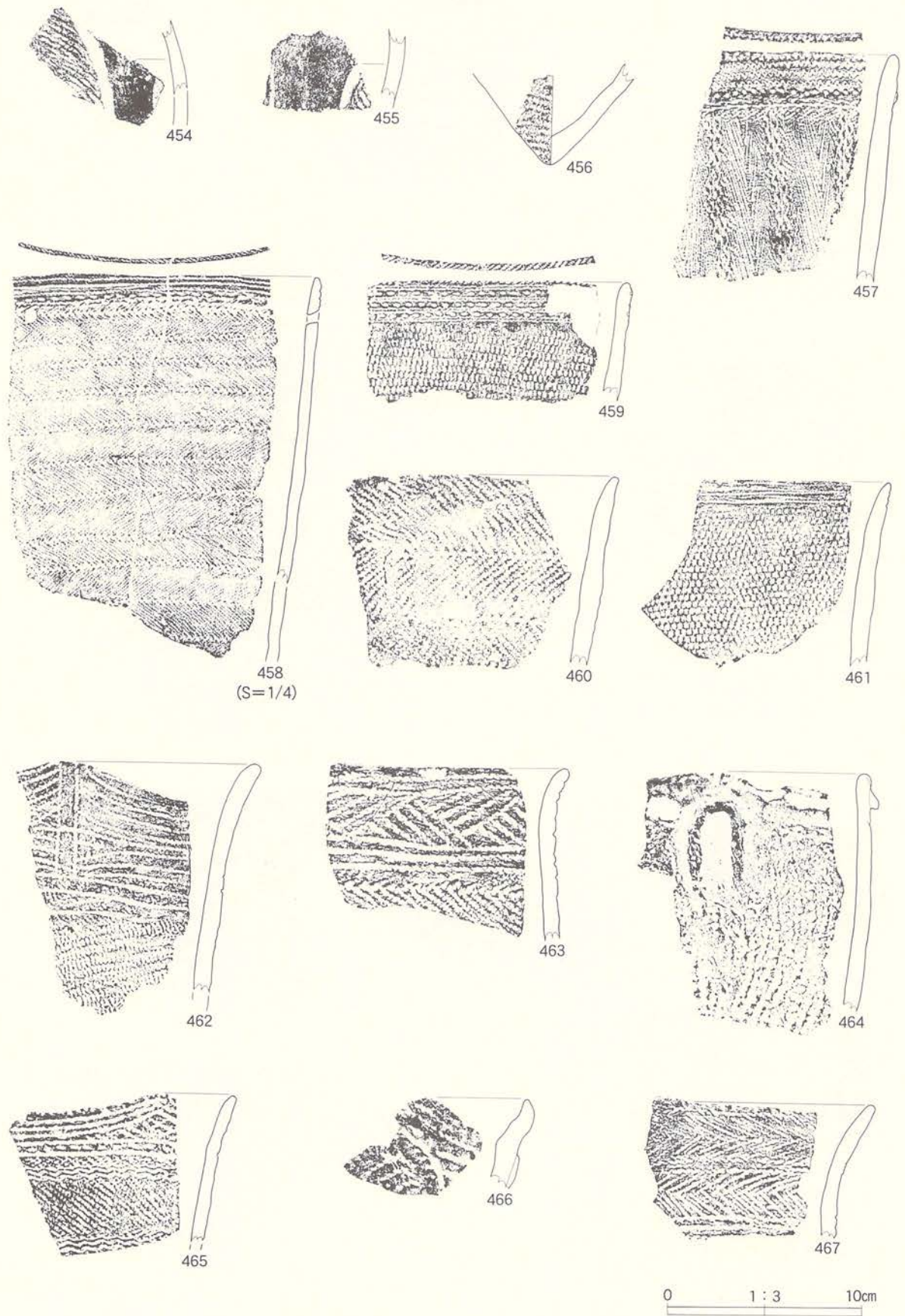


第118図 土器(61): F7I06、F07、G07(1)



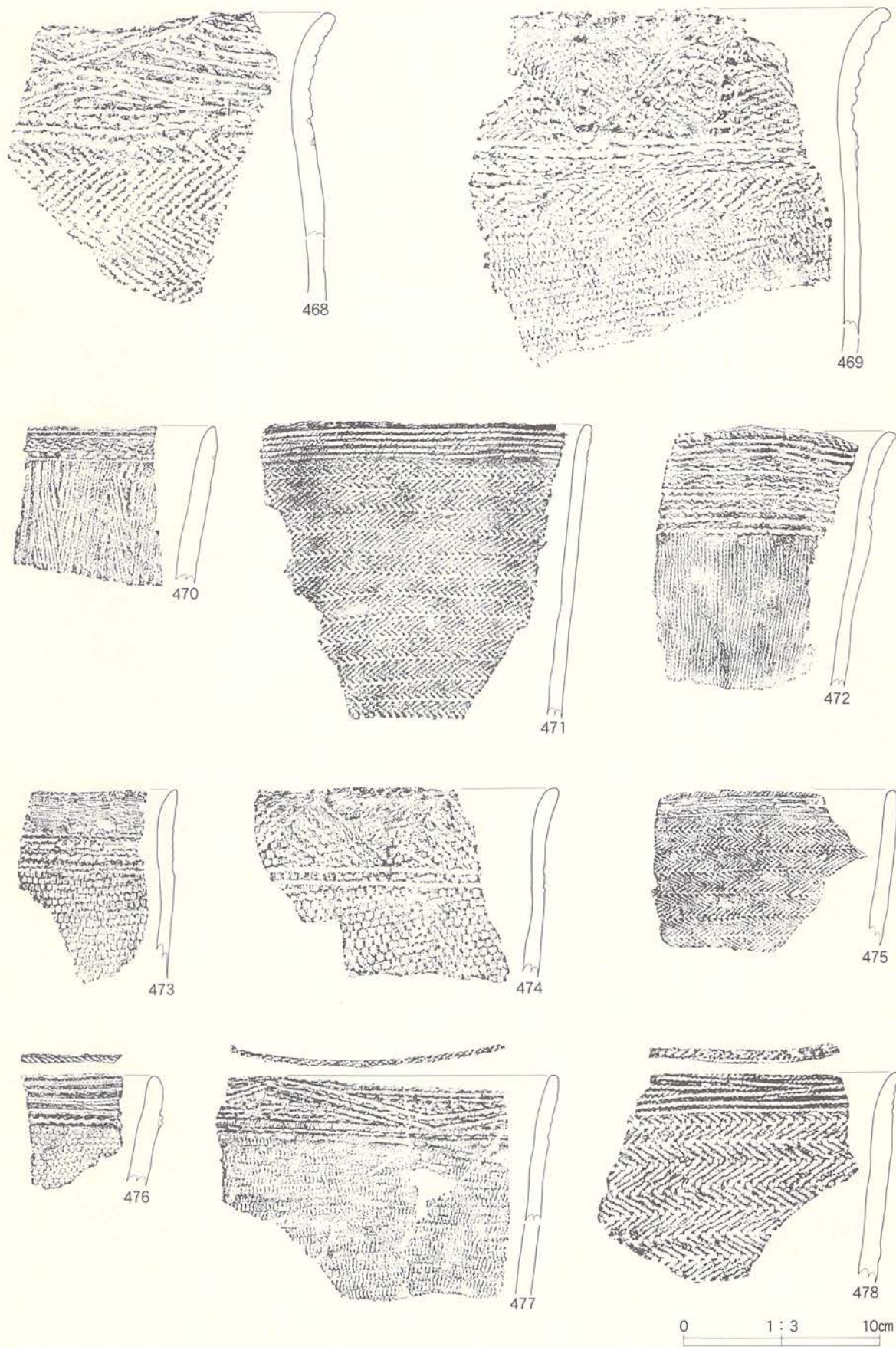


第119図 土器(62) : F7G07(2)



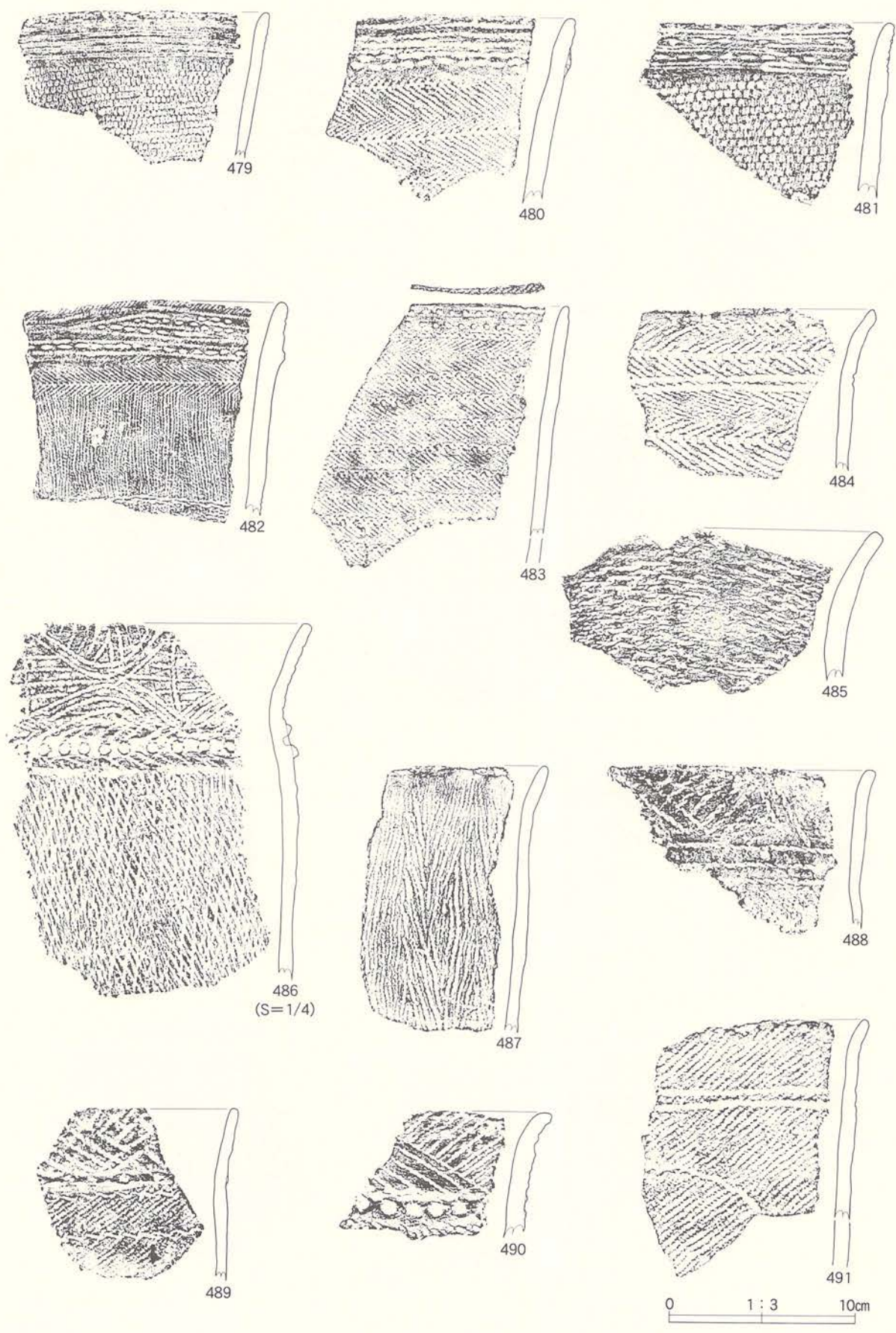
第120図 土器(63): F7H07(1)





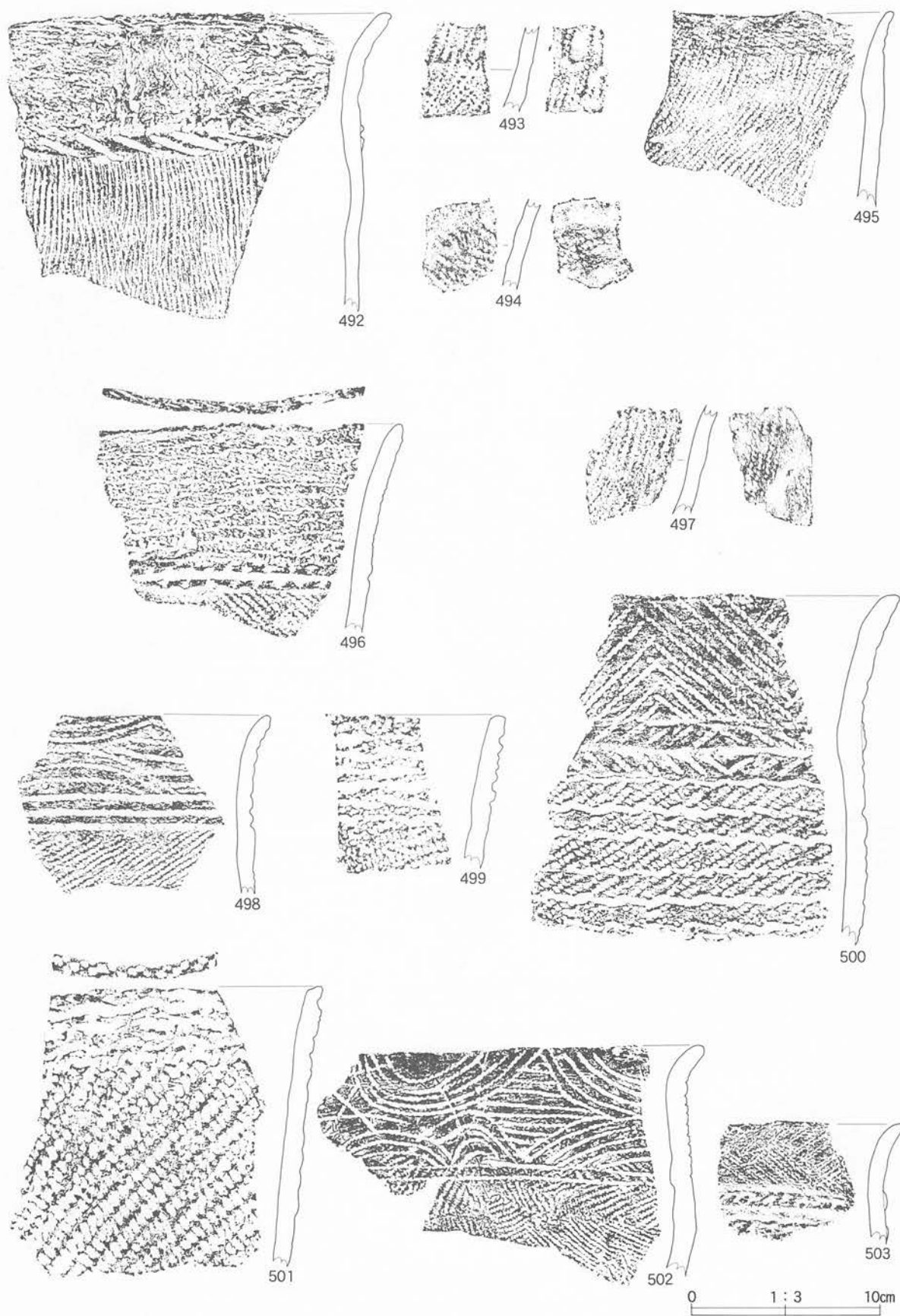
第121図 土器(64) : F7H07(2)、I07(1)



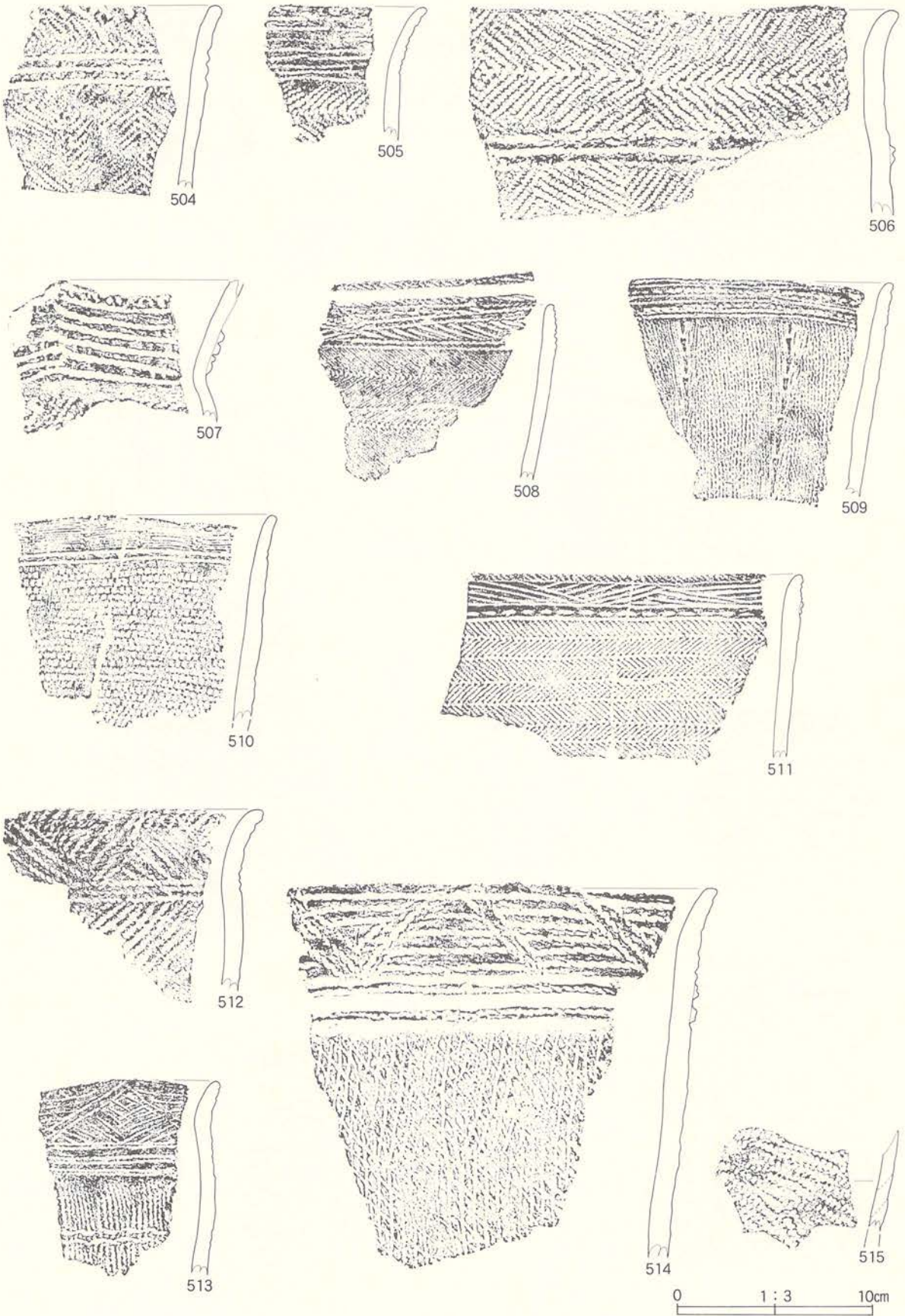


第122圖 土器(65) : F7I07(2)、G08(1)





第123図 土器(66) : F7G08(2)、H08

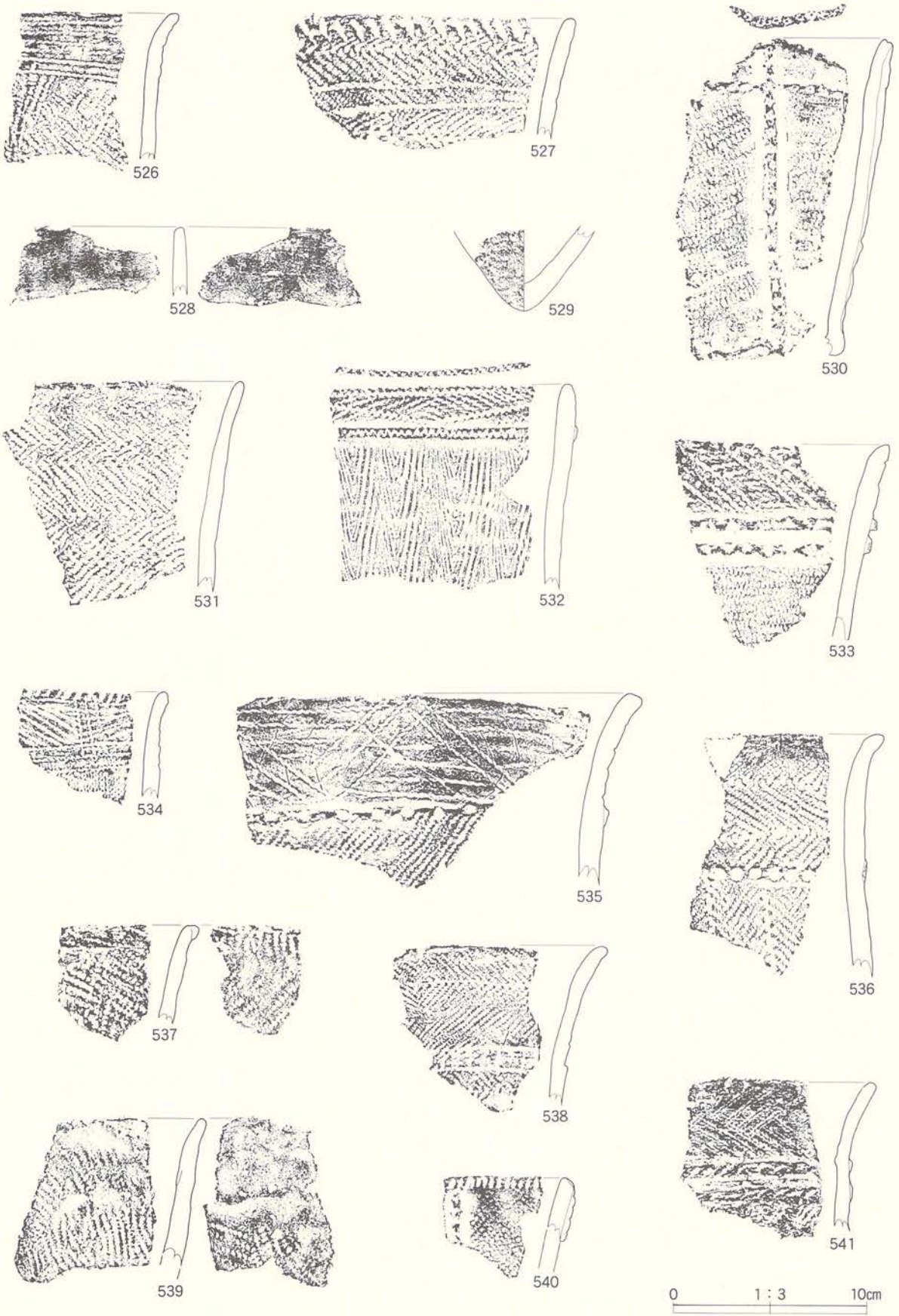


第124図 土器(67): F7I08(1)



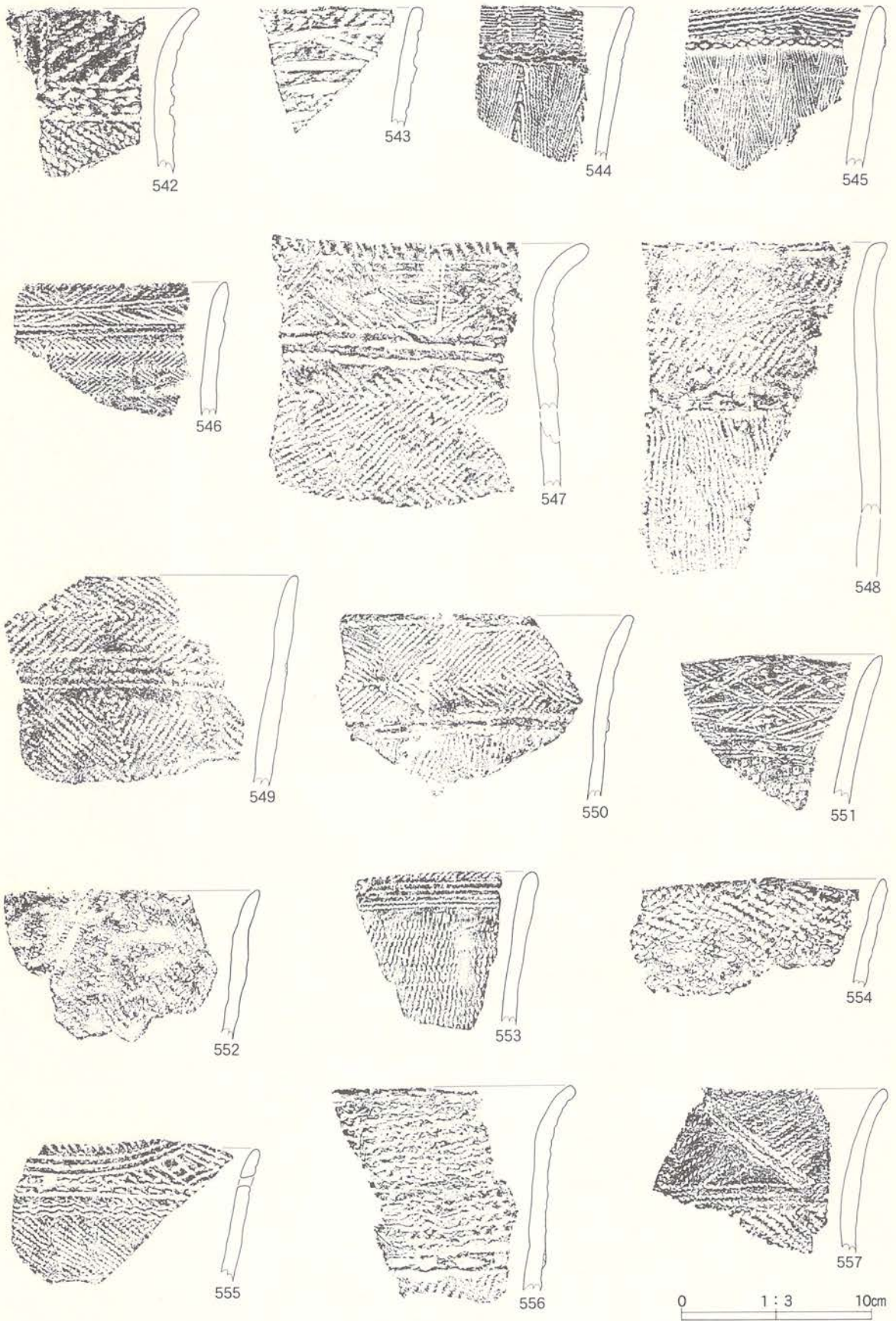
第125図 土器(68) : F7I08(2)





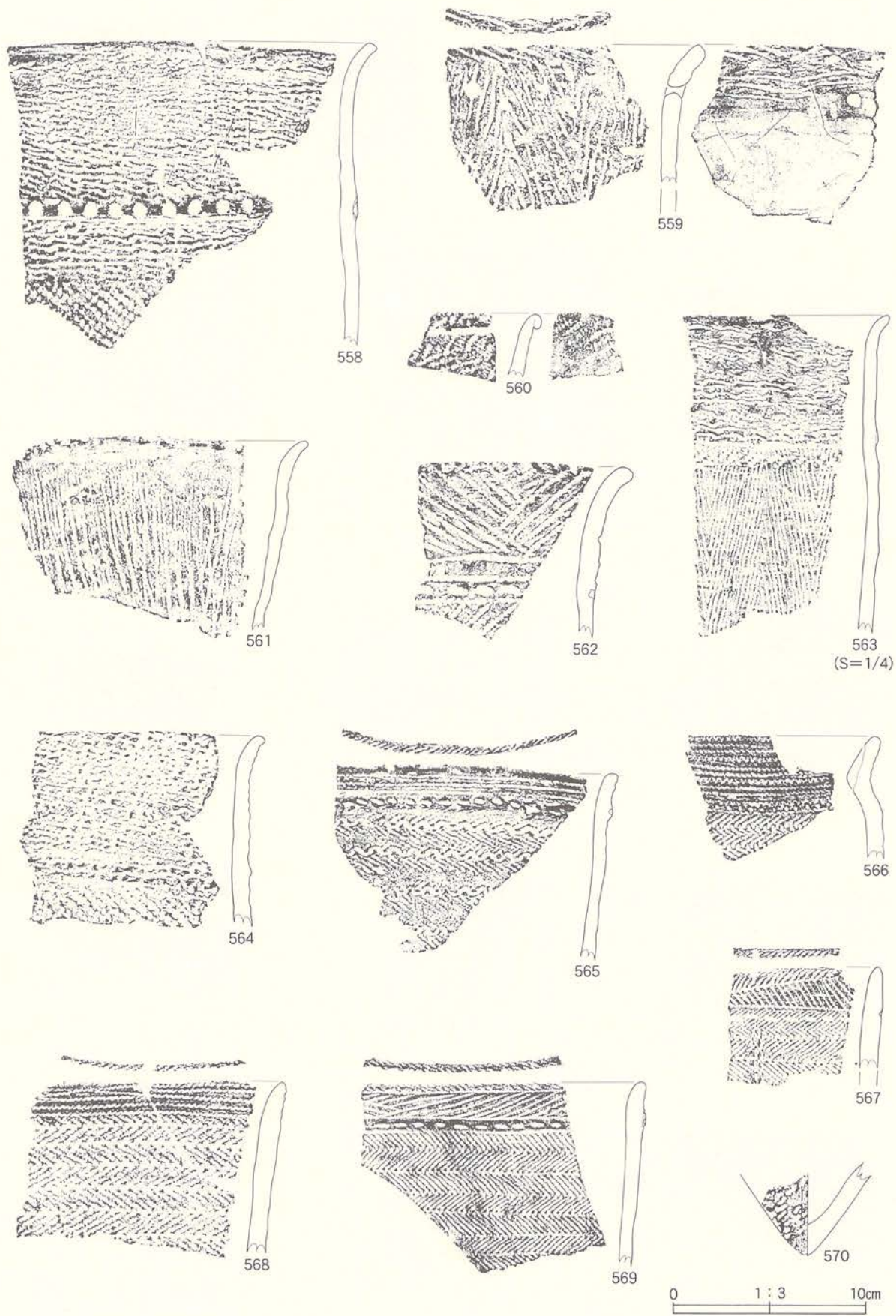
第126图 土器(69): F7I08(3)、J08



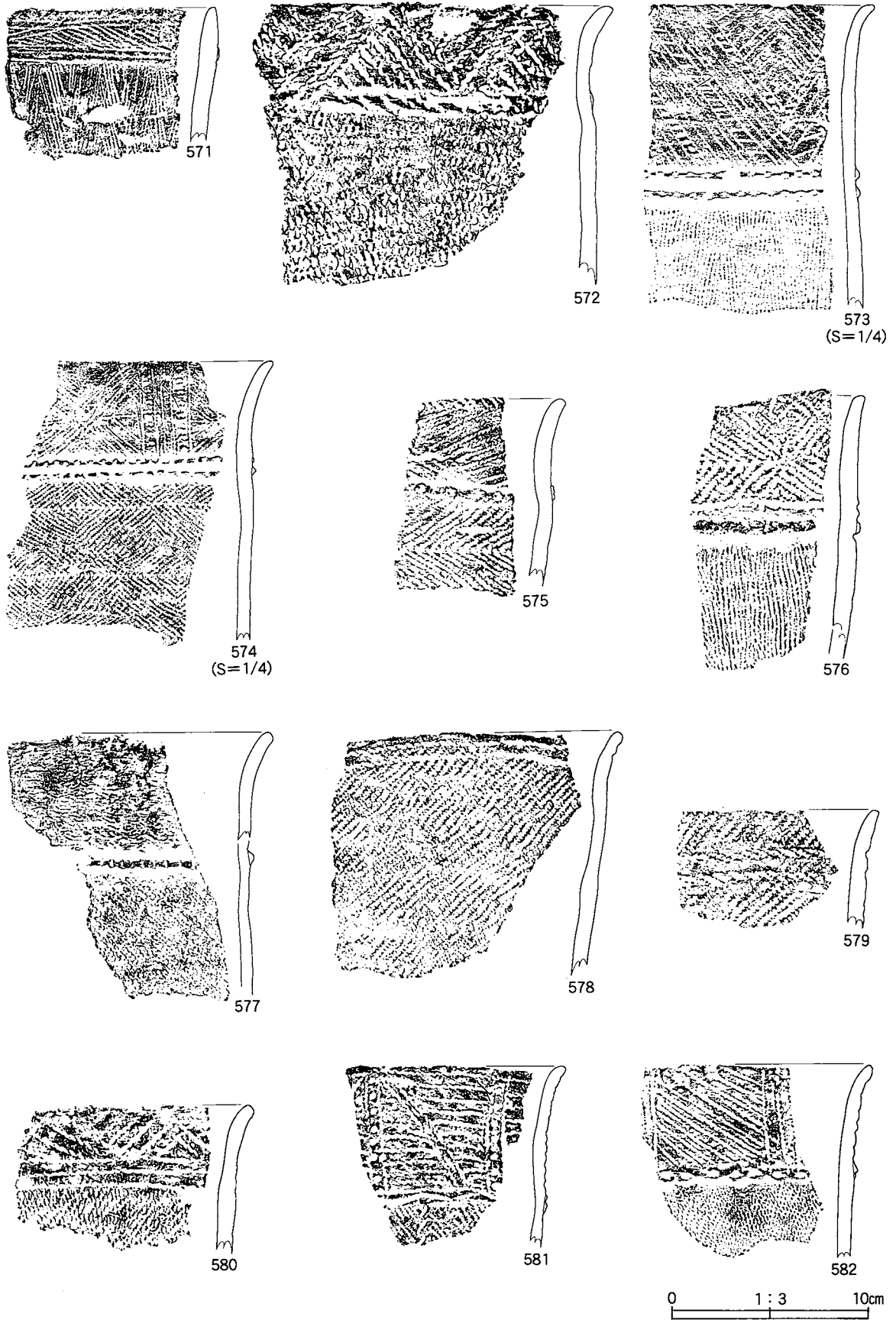


第127図 土器(70) : F7F09、G09、H09(1)



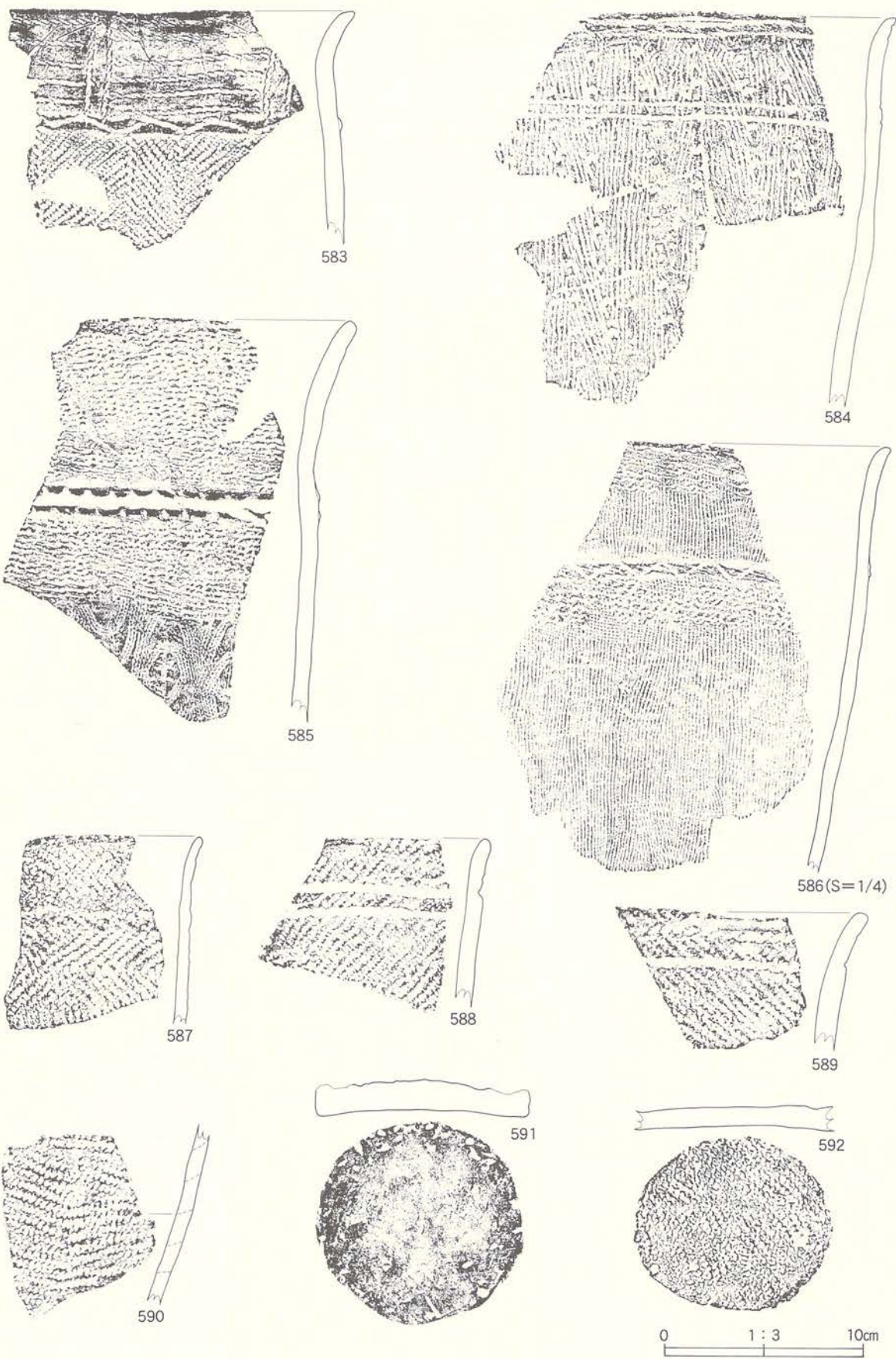


第128図 土器(71) : F7H09(2)、I09(1)



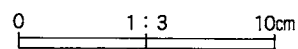
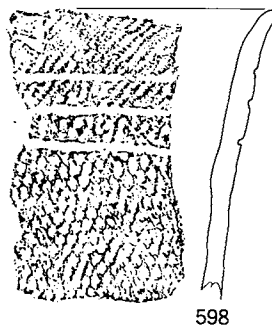
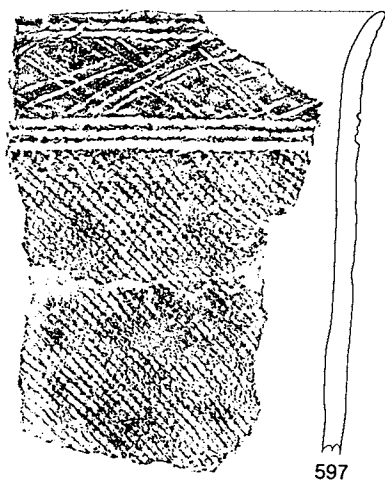
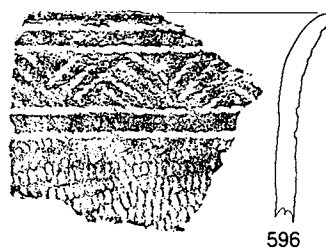
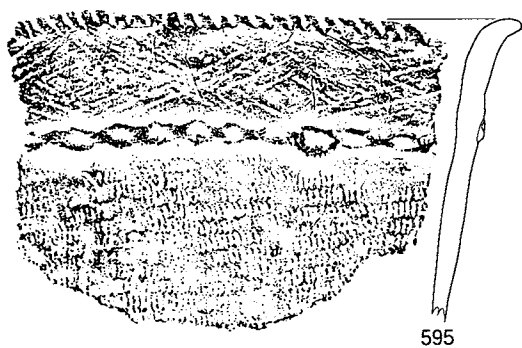
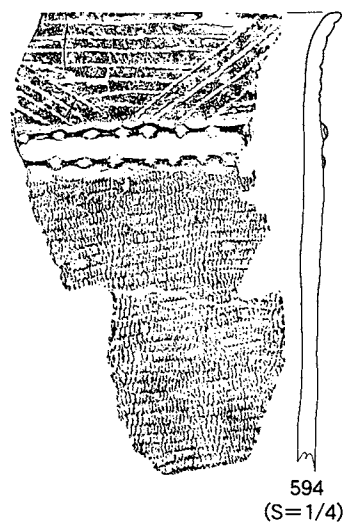
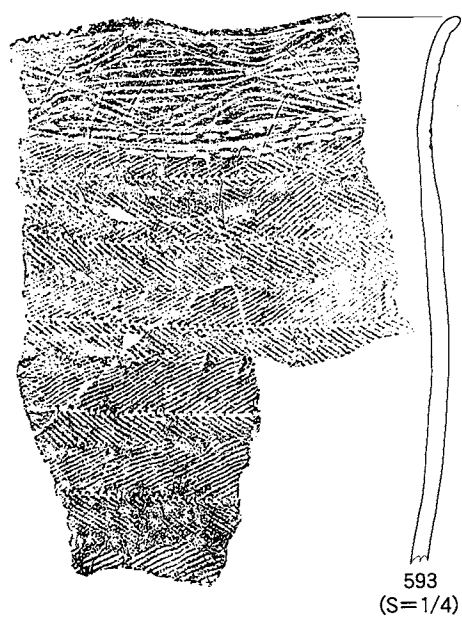
第129図 土器(72) : F7I09(2)、J09(1)



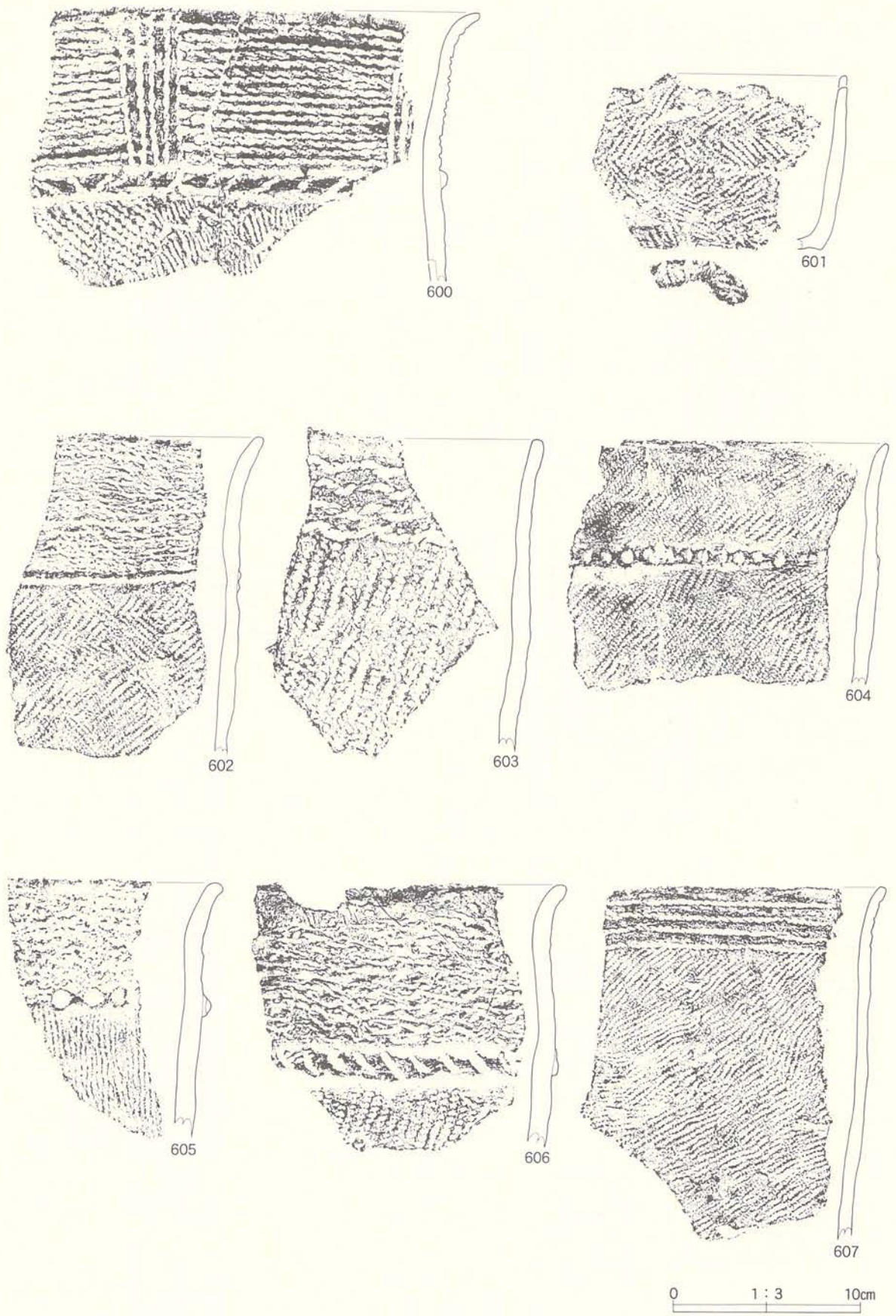


第130図 土器(73) : F7J09(2)

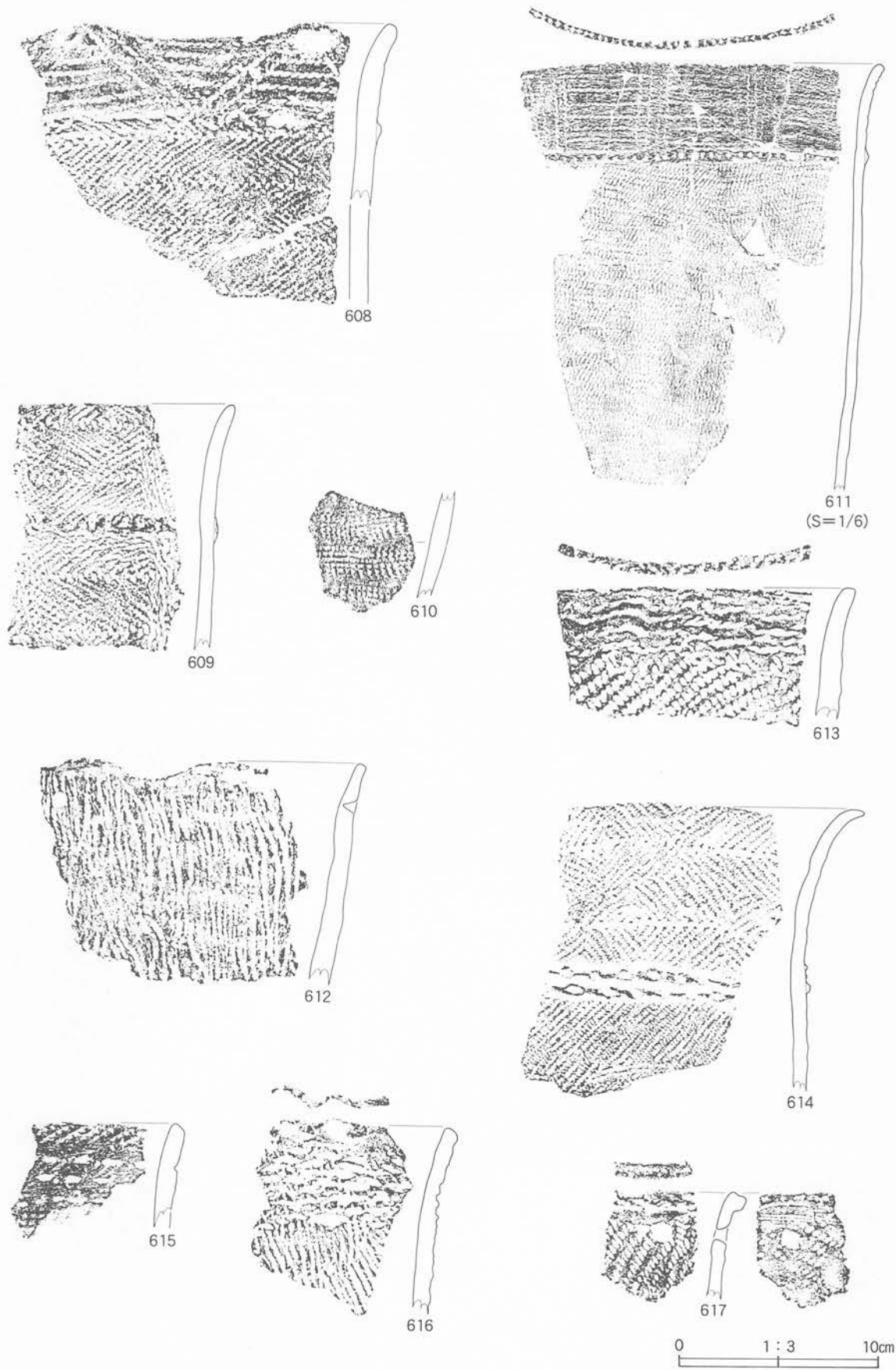




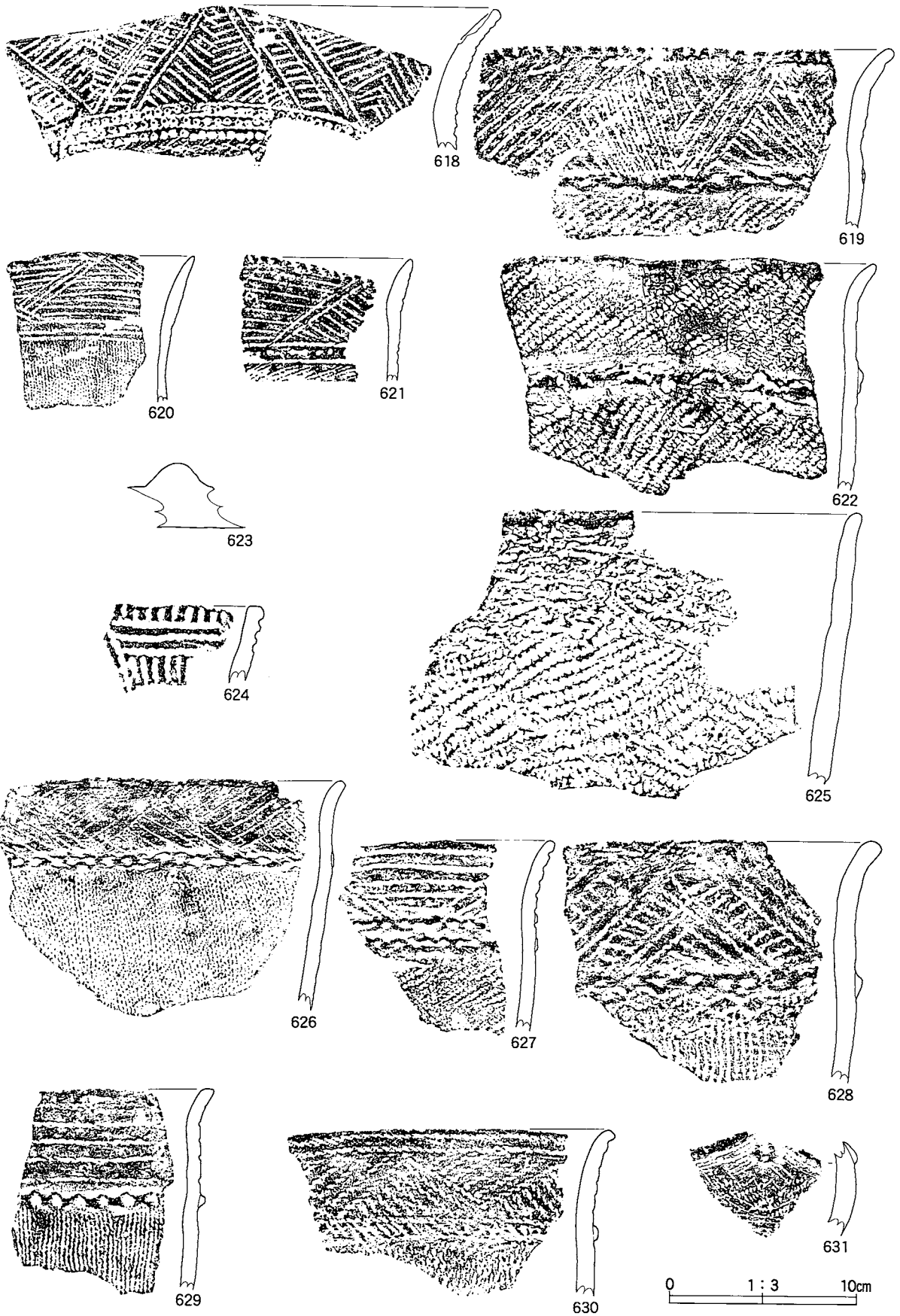
第131圖 土器(74) : F7J09(3)



第132図 土器(75) : F7F10

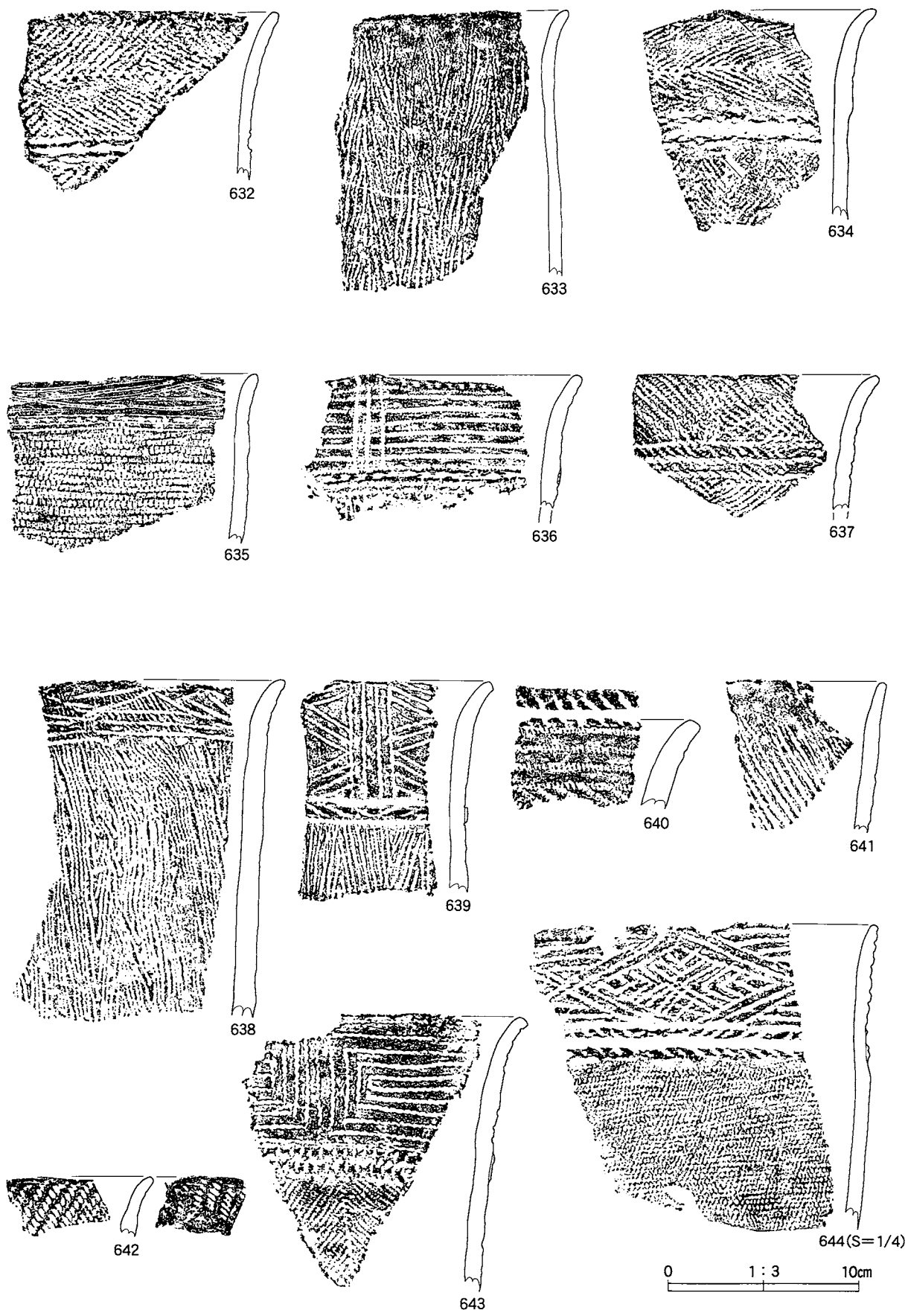


第133图 土器(76): F7F10、I10、J10

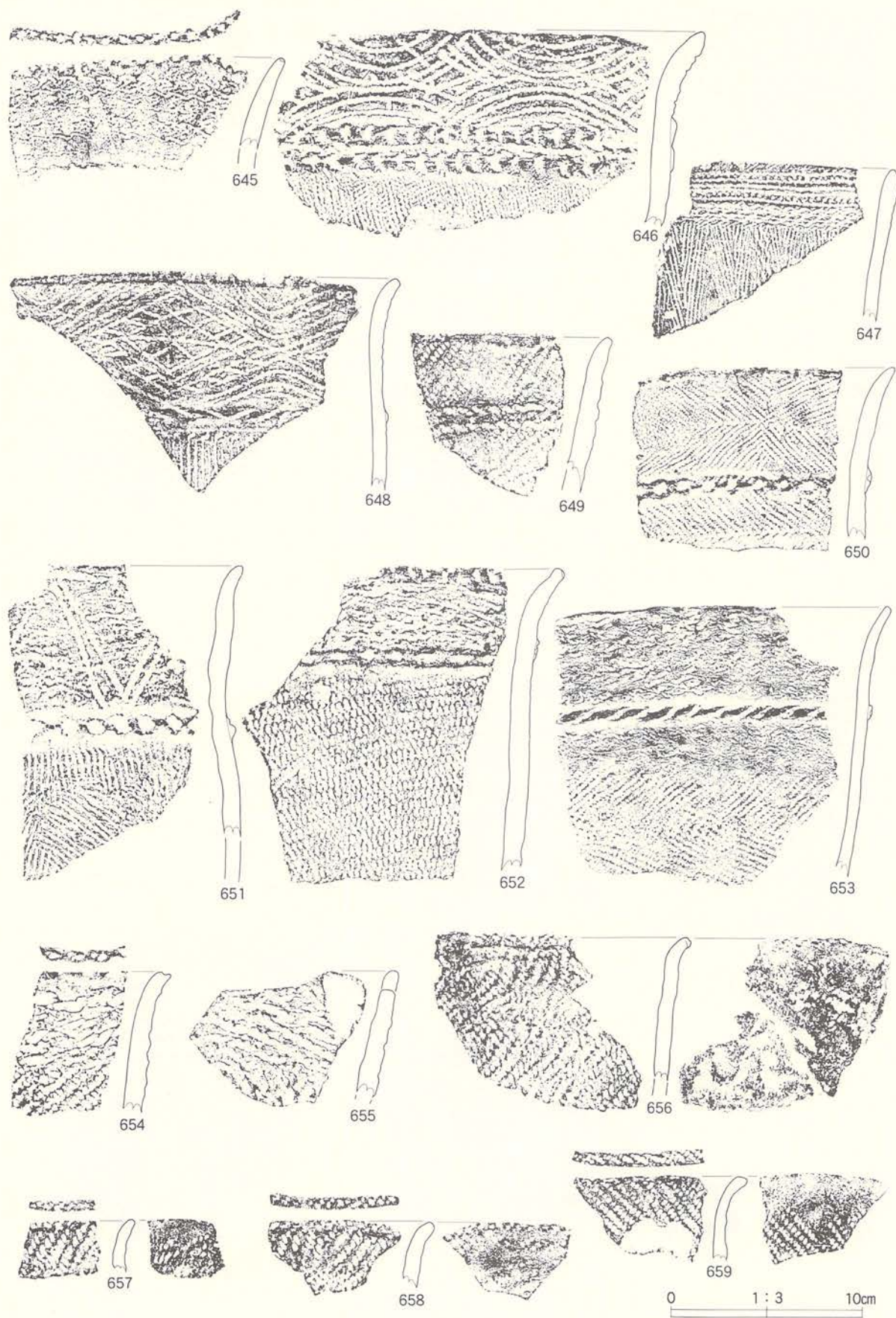


第134圖 土器(77) : F7G11(1)

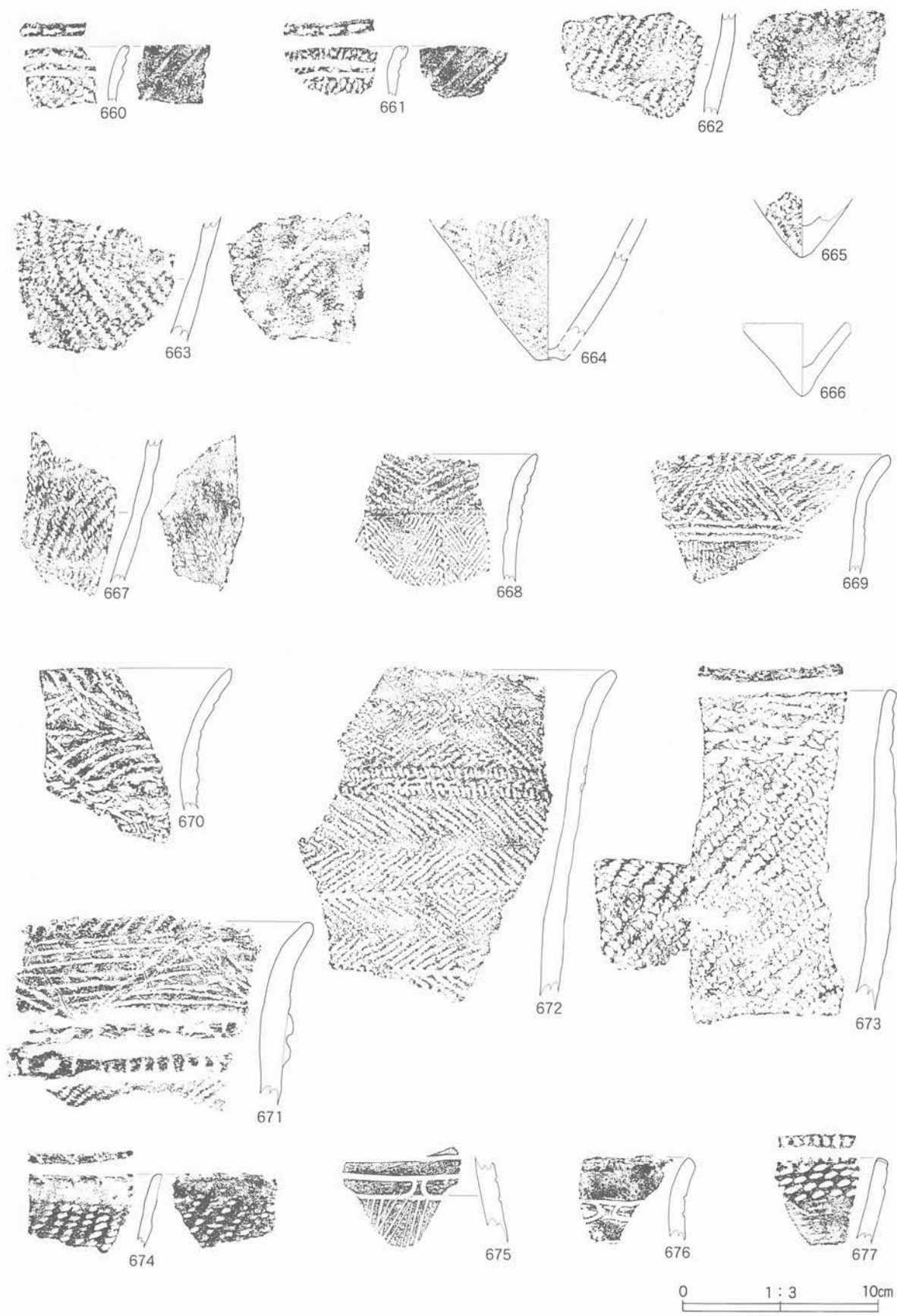




第135図 土器(78) : F7G11(2)、H11、J11、F12、G12(1)



第136圖 土器(79) : F7G12(2)、H12、G12~I12(1)



第137图 土器(80): F7G12~I12(2)、L13、F5区、F7区、F8区

## 2. 土師器・須恵器（第138図、写真図版105：701～708）

土師器・須恵器は、RA02竪穴住居跡から出土している。同一個体と考えられるものや、胴部破片などを除く、土師器片6点、須恵器片2点、計8点を掲載した。器種は甕で、坏と思われる破片は無かった。

701・702の甕は、口縁部が小さく外反する。707は、須恵器の口縁部破片で、内面に自然釉がかかっている。708は、焼成が甘く、胎土が橙色を呈している。

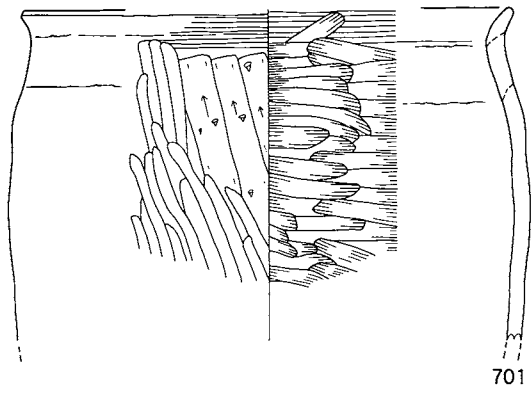
時期は、平安時代（10世紀後半）と推定される。

表2 土器観察表（1）：土師器・須恵器

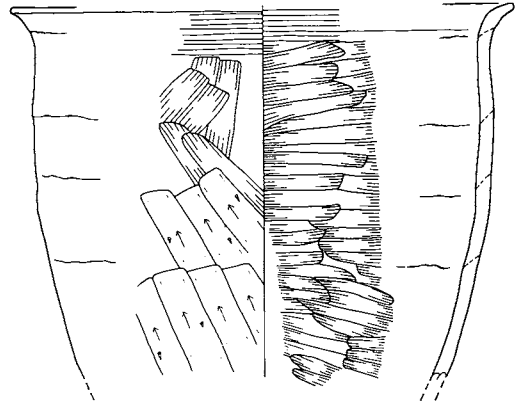
図版 No.	No.	種類	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			外 面	内 面	色 調	備 考
						器高	口径	底径				
138	701	土師器	RA02	埋土	甕	(13.0)	(19.0)	—	ヨコナデ→ヘラケズリ→ヘラミガキ	ヨコナデ→ヘラナデ	暗褐色	
138	702	土師器	RA02	埋土	甕	(14.5)	(19.5)	—	ヨコナデ・ヘラナデ→ケズリ	ヨコナデ→ヘラナデ	にぶい黄橙色	
138	703	土師器	RA02	埋土	甕	(5.0)	(4.6)	—	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ→ヘラナデ	にぶい橙色	輪積痕
138	704	土師器	RA02	埋土	甕	(4.7)	(6.2)	—	ヨコナデ→ケズリ	ヨコナデ→ヘラナデ	にぶい褐色	
138	705	土師器	RA02	埋土	甕	(5.0)	—	(2.8)	ヘラケズリ	ヘラナデ	にぶい黄橙色	底部木葉痕
138	706	土師器	RA02	埋土	甕	(3.0)	—	(4.3)	ヘラケズリ	ヘラナデ	灰黄色	
138	707	須恵器	RA02	埋土	甕	(5.0)	(8.2)	—	タタキ→ロクロ		灰色	内面自然釉
138	708	須恵器	RA02	埋土上位	甕	(11.9)	—	—	タタキ	ナデ?	橙色	

※旧→新の関係（順）を示す。

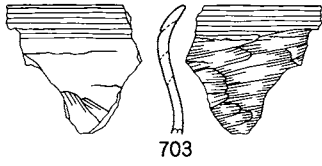




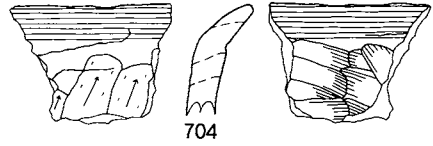
701



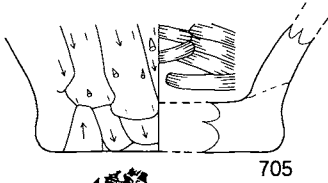
702



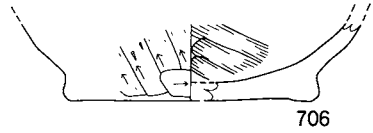
703



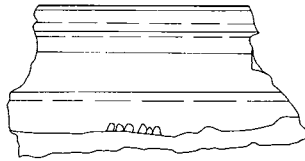
704



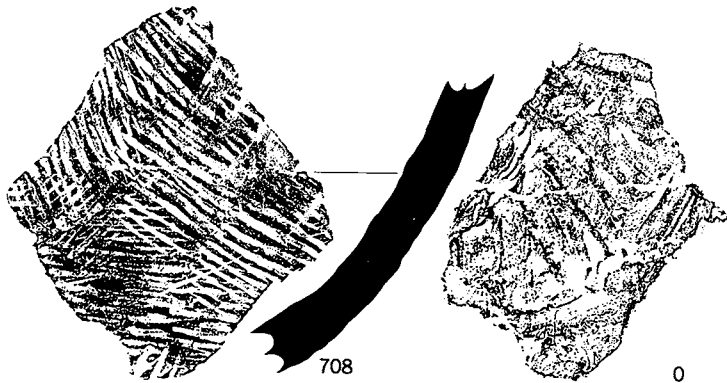
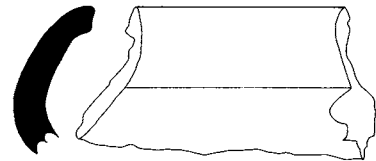
705



706



707



708

0 1:3 10cm

第138図 土師器・須恵器：RA02

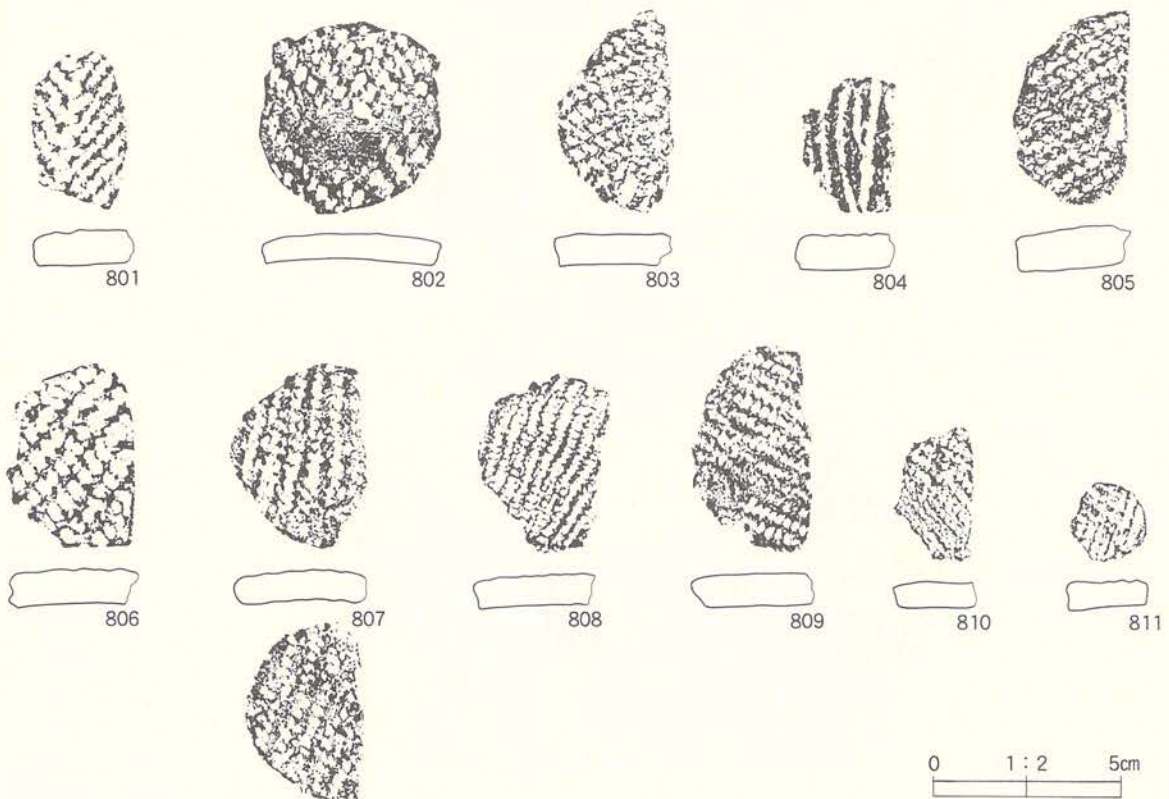
### 3. 土製品 (第139図、写真図版105：801～811)

土器片を円盤状に再加工した土製品で、11点出土している。完形品2点、欠損品9点である。出土地点に特に片寄りは見られない。いずれも胴部片を利用しており、周縁の加工は、摩滅していて不明瞭なものもあるが、いずれも打ち欠いただけのもので、周縁を研磨しているものはない。穿孔されたものもない。

大きさは、最小2.2×2.2cm、最大5.3×4.8cm。平均すると、径5cm前後のものが多い。重量は、最小3.4g、最大23.4gである。施された文様（縄文）から、縄文時代前期の土器片を再加工したものと考えられる。

表3 土製品観察表

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)		重量(g)	欠損状況		備考
					径：×	厚さ		完形	一部	
139	801	F5区	排土	土製円盤	(4.2)×(2.7)	0.9	12.1		○	
139	802	F6C24	I層	土製円盤	5.3×4.8	0.7	23.4	○		
139	803	F7J09	I層	土製円盤	5.1×(3.2)	0.9	15.3		○	
139	804	F7G08	II b層	土製円盤	3.8×(2.6)	0.9	9.3		○	
139	805	F7H07	I層	土製円盤	5.4×(3.3)	1.2	20.1		○	
139	806	F7I08	II b層	土製円盤	5.0×(3.5)	1.1	15.6		○	
139	807	F7H11	II c層	土製円盤	5.1×(3.6)	0.9	18.2		○	表裏縄文
139	808	F7区	I層	土製円盤	5.3×(3.6)	0.8	13.9		○	
139	809	F7区	I層	土製円盤	5.5×(3.4)	0.9	17.7		○	
139	810	F7区	I層	土製円盤	3.8×(2.4)	0.7	6.8		○	
139	811	F7区	I層	土製円盤	2.2×2.2	0.7	3.4	○		



第139図 土製品

#### 4. 石器 (第140～182図、写真図版106～137:1001～1345)

石器として登録した資料は696点である。そのうち345点を掲載した。内訳は、石鏃35点・尖頭器2点・石錐5点・石匙45点・両極石器12点・不定形石器39点・石篋6点・打製石斧6点・磨製石斧13点・敲磨器類178点(擦石・敲打石・凹石・特殊磨石・半円状偏平打製石器)・石錘3点・台石1点である。個々の石器の計測値と石材については観察表を参照されたい。

##### 石鏃 (第140～141図、写真図版106:1001～1035)

矢の先に装着して用いたと考えられる石器である。形態的な特徴として、尖頭部と、巾広の基部を有し、左右対象であること、断面形は、凸レンズ状もしくは扁平である。長さは、1.8cm～6.3cm、巾は、1.0cm～1.9cm、重量は、0.6g～4.4gである。40点出土しており、35点を図示した。基部の形態から分類が可能で、凹基無茎鏃10点・平基鏃9点・尖基鏃6点・凸基有茎鏃1点・不明3点の種類がある。1005は、尖頭器状の石器とすべきかもしれない。凹基無茎鏃・平基鏃・尖基鏃が多い。各形態と時間差の有無については不明である。欠損部位は尖頭部が多い。石材は、チャート質粘板岩(10)・チャート(6)・粘板岩(15)・チャート質凝灰岩(4)が使用されている。

##### 尖頭器 (第141図、写真図版106:1036・1037)

尖頭部を持ち、刺突具として使用されたと考えられるもので、石鏃より大型のもので石槍状のものである。2点出土しており、2点を掲載した。石材は、チャート質粘板岩(1)・粘板岩(1)が使用されている。

##### 石錐 (第142図、写真図版107:1038～1042)

穿孔具として使われた可能性の高いものである。剥片の素材を残し、一端に加工を施し、錐部を作っている。錐部の断面形は、菱形や四角形である。5点出土しており、すべて図示した。石材は、凝灰質泥岩(2)・粘板岩(2)・チャート質粘板岩(1)が使用されている。

##### 石匙 (第142～145図、写真図版107～109:1043～1087)

両側ないし片側より抉りを入れて作った摘み部と刃部をもつ石器である。45点出土しており、すべて図示した。摘み部と刃部の位置関係から、摘み部が刃部と並行に作り出されている縦型と、摘み部が刃部に直交するように作りだされている横型に形態分類が可能である。内訳は、縦型24点、横型20点、不明1点である。1051は、切る用途より突き刺す用途が考えられるものである。欠損部位は、縦型・横型とも刃部の先端が多く、横型より縦型の石匙に欠損品が多い。刃部加工は、片面(表側)に施されるものが多く、1側縁、両側縁あるいは周縁に施される例がある。石材は、チャート質粘板岩(21)・粘板岩(12)・チャート(7)・チャート質凝灰岩(3)・凝灰質泥岩(2)が使用されている。

##### 両極石器 (第146図、写真図版110:1088～1099)

対向する2側縁に相対する剥離をもつ石器で、両極打法によりつくられたものである。15点出土しており、12点を掲載した。形状は、方形または台形状を呈し、大きさは、2.4～4.0cm、重さは、3.0～14.2g前後のものが多い。石材は、チャート質粘板岩(4)・粘板岩(4)・チャート(3)・赤褐色凝灰岩(1)が使用されている。

#### 不定形石器 (第147～149図、写真図版110～112 : 1100～1138)

定形化していない不定形な石器で、機能からすれば、削る掻くの用途が考えられる刃部を有する削搔器である。73点出土しており、39点を図示した。刃部の形成される状況から次の形態分類が可能である。1側縁ないし2側縁に直線的な刃部を有するもの。側縁に凸状の刃部を有するもの。側縁に凹状の刃部を有するもの(削器)。端部に凸状で急斜度の刃部を形成しているもの(搔器)。

石材は、チャート質粘板岩(21)・粘板岩(11)・チャート(6)・凝灰質泥岩(1)が使用されている。

#### 石篋 (第150図、写真図版112 : 1139～1144)

平面形は、ばち形・短冊形で、一端に刃部を作り出しているものである。6点出土しており、すべて掲載した。両面加工で、断面形は凸レンズ状である。打製石斧とは規模で分類し、長さ10cm未満のものを石篋とした。石材は、細粒凝灰岩(1)・チャート(1)・チャート質粘板岩(2)・凝灰質泥岩(1)・粘板岩(1)である。

#### 打製石斧 (第151・152図、写真図版113・114 : 1145～1150)

打ち欠きにより石斧の形状に整えたものである。6点出土しており、すべて図示した。すべて完形品で、顕著な欠損はみられない。平面形は、ばち形を呈するものが多く、断面形は、凸レンズ状や扁平である。

1149・1150は、接合資料である。素材を大きく剥離した後に、それぞれ石斧の形状に整形されたようである。それぞれの出土地点は、C8P11グリッド内である。

石材は、粘板岩(5)・凝灰質粘板岩(1)である。

#### 磨製石斧 (第153図、写真図版115 : 1151～1163)

研磨により石斧の形状に整えたものである。破片を含め24点出土しており、13点図示した。完形品は2点のみで、基部のみ、刃部のみなどの欠損品が多い。1155は、擦り切り磨製石斧である。

石材は、細粒緑色凝灰岩(6)・緑色凝灰岩(2)・花崗閃緑岩(2)・粘板岩(1)・凝灰質硬砂岩(1)・安山岩(1)である。

#### 敲磨器類 (第154～181図、写真図版116～137 : 1164～1341)

自然礫のままの形状を素材として利用し、その一部に、擦る・敲くなどの用途から、擦面・敲打痕・凹みなどの使用痕を有する石器である。使用痕は、単独のものより複合しているものが多いことから、「敲磨器類」として一括し、以下、細分して報告する。

本遺跡で出土した敲磨器類は、形態・使用痕から、大きく2つに大別が可能である。

A類：円形基調あるいは棒状を基調とした礫を素材とし、平坦面や側面を使用した石器である。従来、「擦石」「敲打石」「凹石」と呼ばれてきたものが含まれる。

B類：断面が三角形あるいは、扁平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。従来、「特殊磨石」、「半円状扁平打製石器」と呼ばれてきたものが含まれる。

#### 敲磨器A類a：擦石

円形基調の自然礫の一部や全部に擦痕を有する礫である。18点出土しており、2点を掲載した。敲打石や凹石との複合石器であることが多い(1174・1208)。



敲磨器A類b：敲打石（第154～156図、写真図版116・117：1164～1184）

円形基調の自然礫の一部や全部に敲打痕を有する礫である。32点出土しており、21点を掲載した。円形基調の礫の周縁に敲打痕を有するものと、礫の一端または両端に敲打痕を有するものがある。礫の端部に敲打に伴う剥離が観察されるものもここに含めた（1184）。石材は、凝灰質硬砂岩(6)・粘板岩(2)・デイサイト(3)・チャート(4)・変質安山岩(1)・花崗閃緑岩(1)・安山岩(3)・凝灰質粘板岩(1)である。

敲磨器A類c：凹石（第157～161図、写真図版118～121：1185～1219）

円形基調や棒状の自然礫の片面や両面あるいは複数面に敲打による凹を有する石器である。52点出土しており、35点を掲載した。凹の形状には、円錐状で単独のもの、溝状で連なるもの、敲打が浅く凹に至らないものがある。使用される礫の形状には、円形基調のものと棒状のものがある。

端部に敲打痕を有する（兼敲石）ものや半円状偏平打製石器（敲磨器B類）と複合するもの5点ある。

石材は、凝灰質硬砂岩(23)・粘板岩(4)・凝灰質粘板岩(1)・輝石安山岩(1)・緑色凝灰質硬砂岩(1)・赤褐色凝灰岩(3)・アルコース硬砂岩(1)・砂質粘板岩(1)である。

敲磨器B類（第162～181図、写真図版121～137：1220～1341）

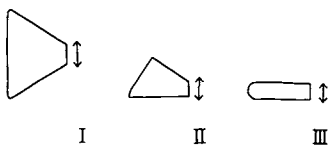
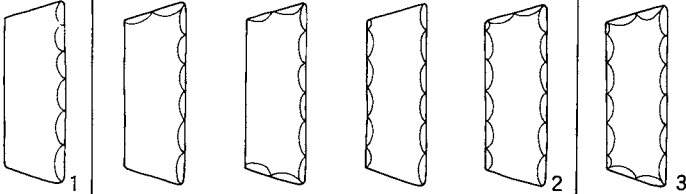
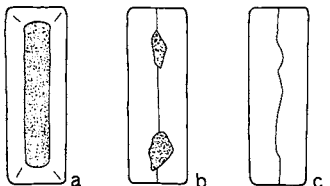
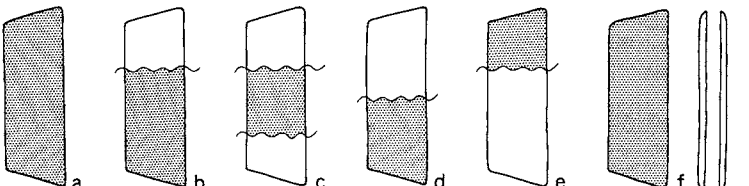
断面が三角形あるいは偏平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。388点出土しており、122点を図示した。断面形状・機能面・礫の周縁の加工状況で分類が可能である。

礫の断面形状：I. 三角形あるいは方形。II. 一方に膨らみがある。III. 偏平。

機能面：a. 一定巾の擦面をもつ。b. 不規則な擦面をもつ。c. 擦面を持たず、両面からの打ち欠きにより稜線（刃部）をもつ。

礫の周縁の加工状況：1. 素材をその使用し、加工無し。2. 一部に加工あり。3. 全体に加工を施す。

欠損状況：a. 完形品。b. 一端を欠損する。c. 両端を欠損する。d. 半分を欠損する。e. 一端のみ残存する。f. 縦方向に半分に割れ、片側を欠損する。

断面の形状	周縁の加工状況					
 <p>I                  II                  III</p>	 <p>1                                  2                                  3</p>					
機能面	欠損状況					
 <p>a                          b                          c</p>	 <p>a                          b                          c                          d                          e                          f</p>					

敲磨器B類の分類模式図

上記の分類では、断面形Ⅱ・Ⅲ類、機能面b・c類の占める割合が高く、また素材となる礫の形状と加工状況との間には、以下のような特徴的な組み合わせがみられる。

I類(46点)：機能面は、一定の中をもつ擦面をもち、素材にはほとんど加工を施されない(I a類)。

Ⅱ類(144点)：機能面は、不規則な擦り面と剥離による稜線(刃部?)を併せもつ(Ⅱ b類)。

Ⅲ類(160点)：機能面は、不規則な擦り面と剥離による稜線(刃部?)を併せもつ(Ⅲ b類)か、稜線のもの(Ⅲ c類)が多い。素材も加工されたものが多い。

擦り面の巾は、最大2.45cm(1221)、最小0.3cm(1226)で、平均1.1cmほどである。重量分布は、最大1055.6g(1250)、最小86.0g(1299)で、平均500gである。残存状況については、出土した388点のうち、184点(48%)が欠損品である。欠損状況には、大きく4つのタイプがあるが、ほぼ中央付近で欠損(半欠)するもの(d:76例)と、一端を欠損するもの(b:31例、e:43例)が多い。接合資料は7点である(1279・1283・1298・1303・1323・1331・1337)。石材は、凝灰質硬砂岩(68)・凝灰質粘板岩(12)・粘板岩(19)・砂質粘板岩(8)・緑色凝灰質粘板岩(1)・緑色凝灰岩(3)・赤褐色凝灰質粘板岩(1)・アルコース硬砂岩(3)・花崗閃緑岩(2)・安山岩(1)・輝石安山岩(2)・デイサイト(1)・白雲母片岩(1)である。

#### 石錘(第182図、写真図版137:1342~1344)

偏平な礫の長軸あるいは短軸の方向の両端に、打ち欠きにより抉りを入れた石器である。6点出土しており、3点を図示した。1342は、礫の長軸方向の両端に、1343・1344は、礫の短軸方向の両端に抉りを入れている。石材は、凝灰質硬砂岩(2)・粘板岩(1)である。

#### 台石(第182図、写真図版138:1345)

偏平な自然礫の平坦な面に敲打痕を有する石器である。1345は、明瞭な加工痕をもたないが、平坦な両面に浅い敲打痕が確認できる。石材は、凝灰質硬砂岩である。

### 5. 石製品(第183図、写真図版138:1346~1354)

#### 石棒(第183図、写真図版138:1346~1348)

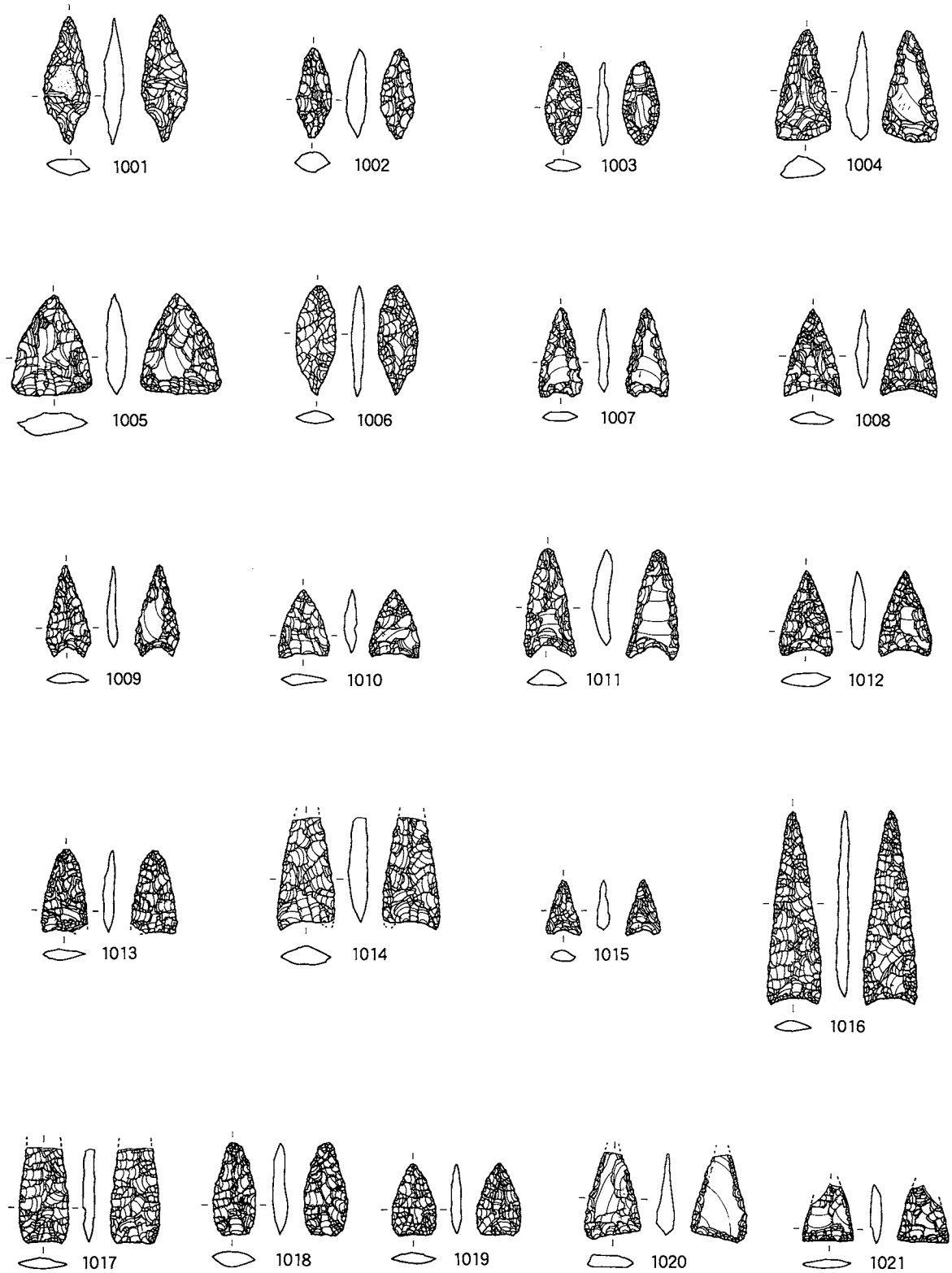
棒状の石器で、加工の有無は明瞭でない。4点出土しており、3点を図示した。1346~1348は、断面形が方形や多角形の角柱状の礫を用いたもので、形状からここに含めた。石材は、凝灰質粘板岩(3)である。

#### 石刀・石剣類(第183図、写真図版138:1349~1350)

形状は細長く、断面形は偏平で刀や剣状の形を有する石製品である。出土した2点を図化した。いずれも擦痕が明瞭であるが、欠損品であり詳細は不明である。石材は、粘板岩(1)・緑色凝灰岩(1)である。

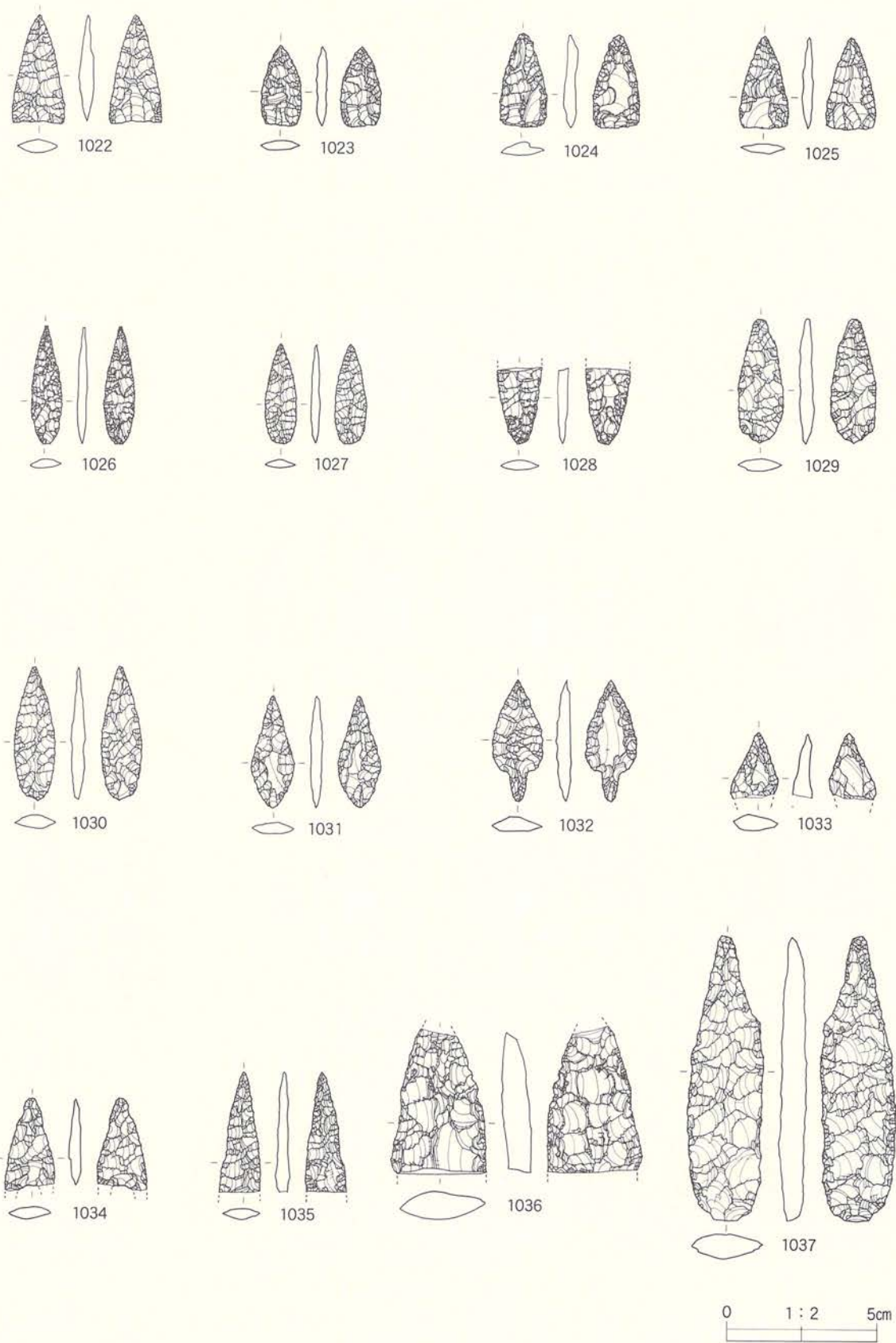
#### 石製品(第183図、写真図版138:1351~1354)

1351は、偏平な石に編み目状に線刻された石製品で、色調は、黄褐色を呈する。1354は、穿孔された石製品と思われるが、欠損品であり、詳細は不明である。所属時期はいずれも、縄文時代前期と考えられる。石材は、チャート質凝灰岩(2)である。1352・1353は、球状を呈する石である。RD21墓壙からの出土で、副葬品(お守り?)であろうか。石材は、チャート(2)である。



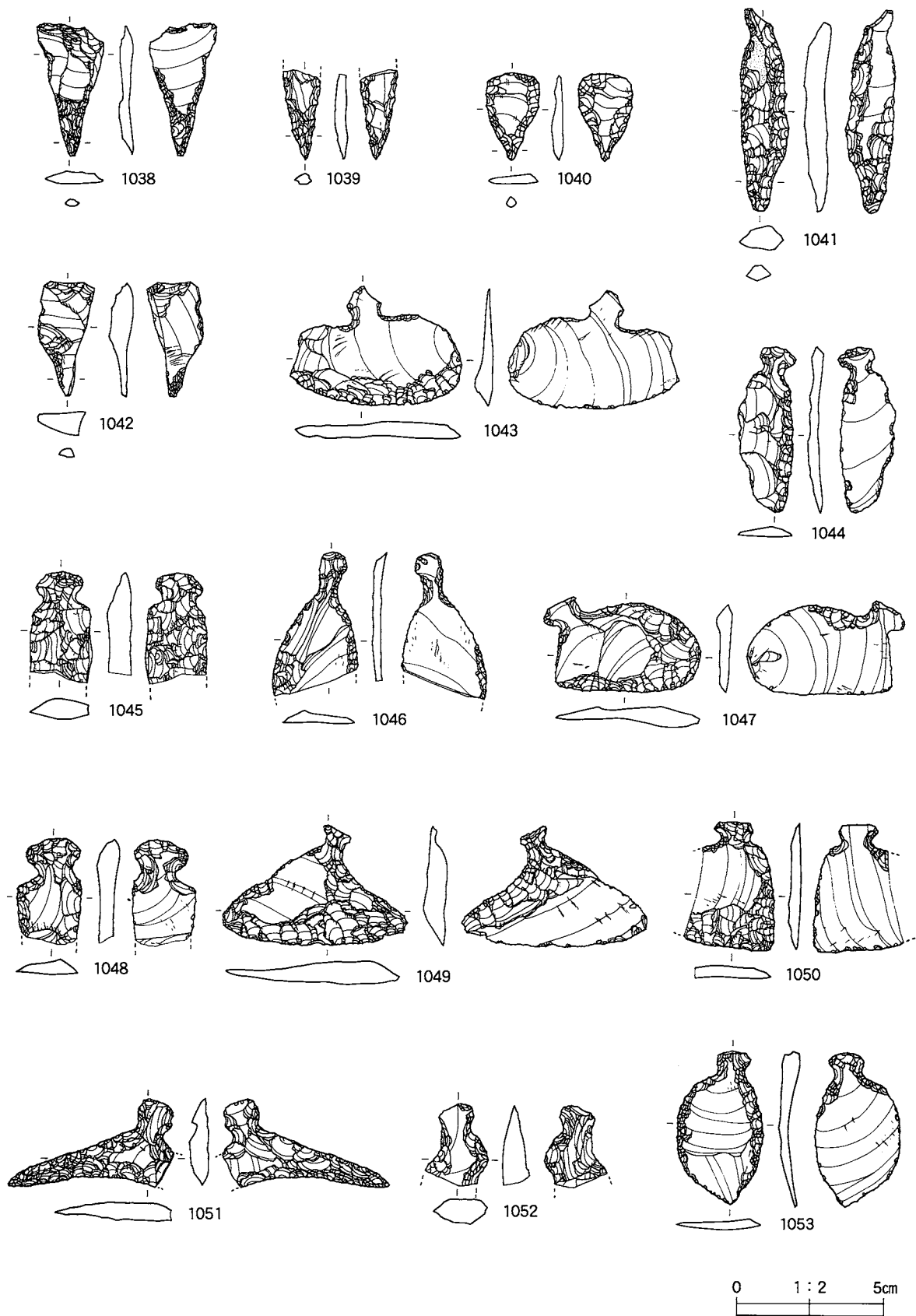
0 1:2 5cm

第140图 石器(1)



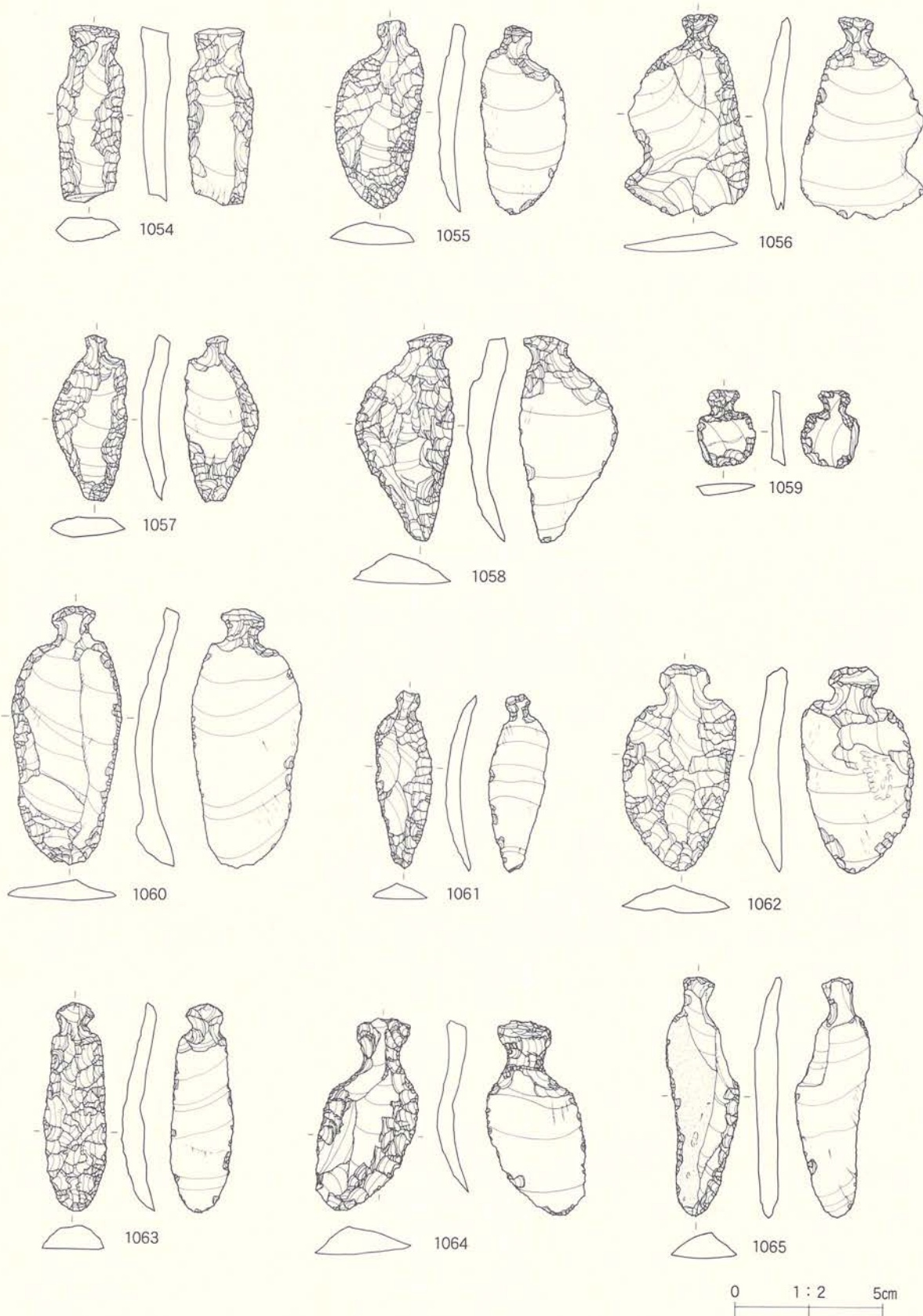
第141図 石器(2)



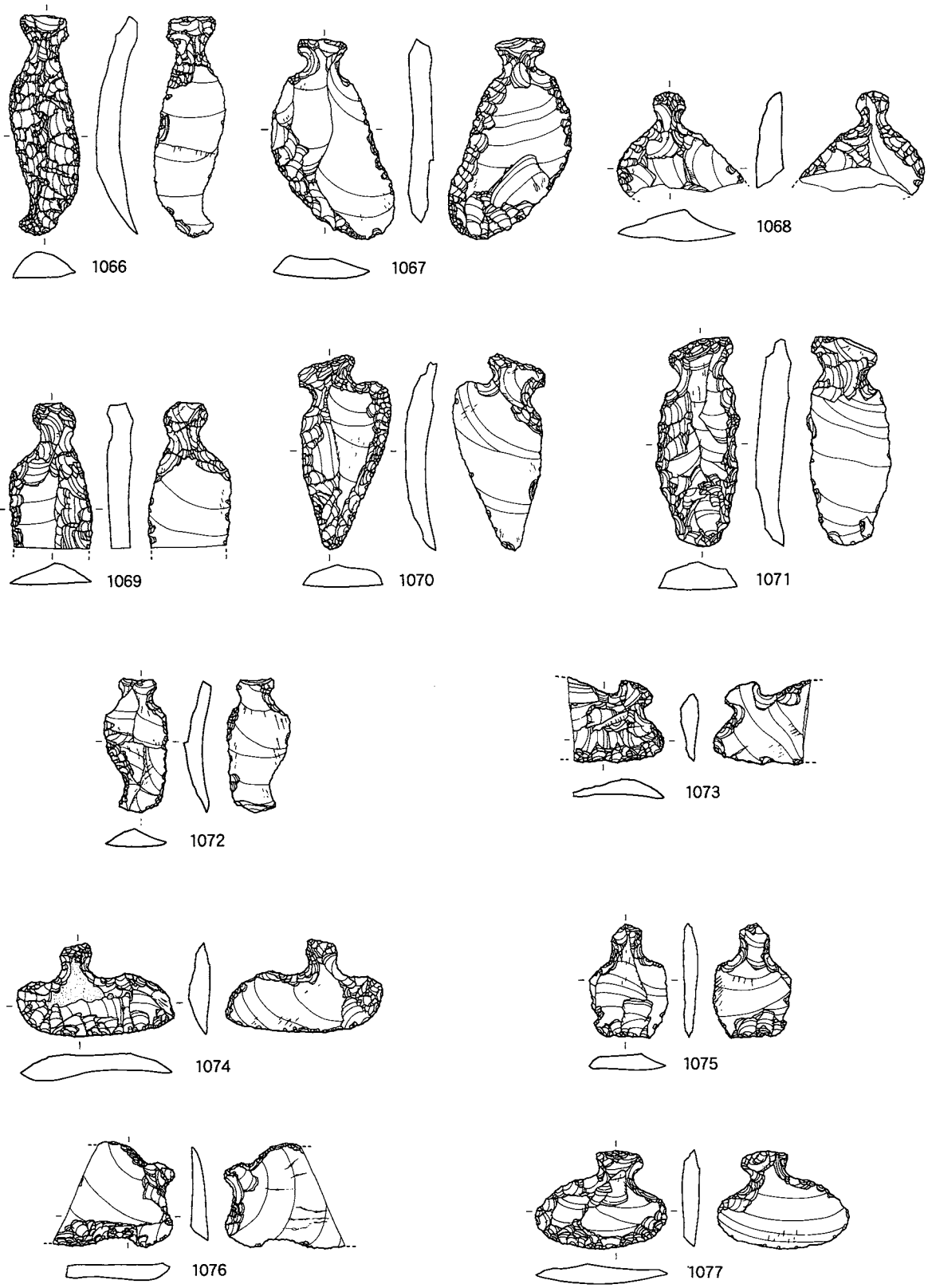


0 1:2 5cm

第142图 石器(3)

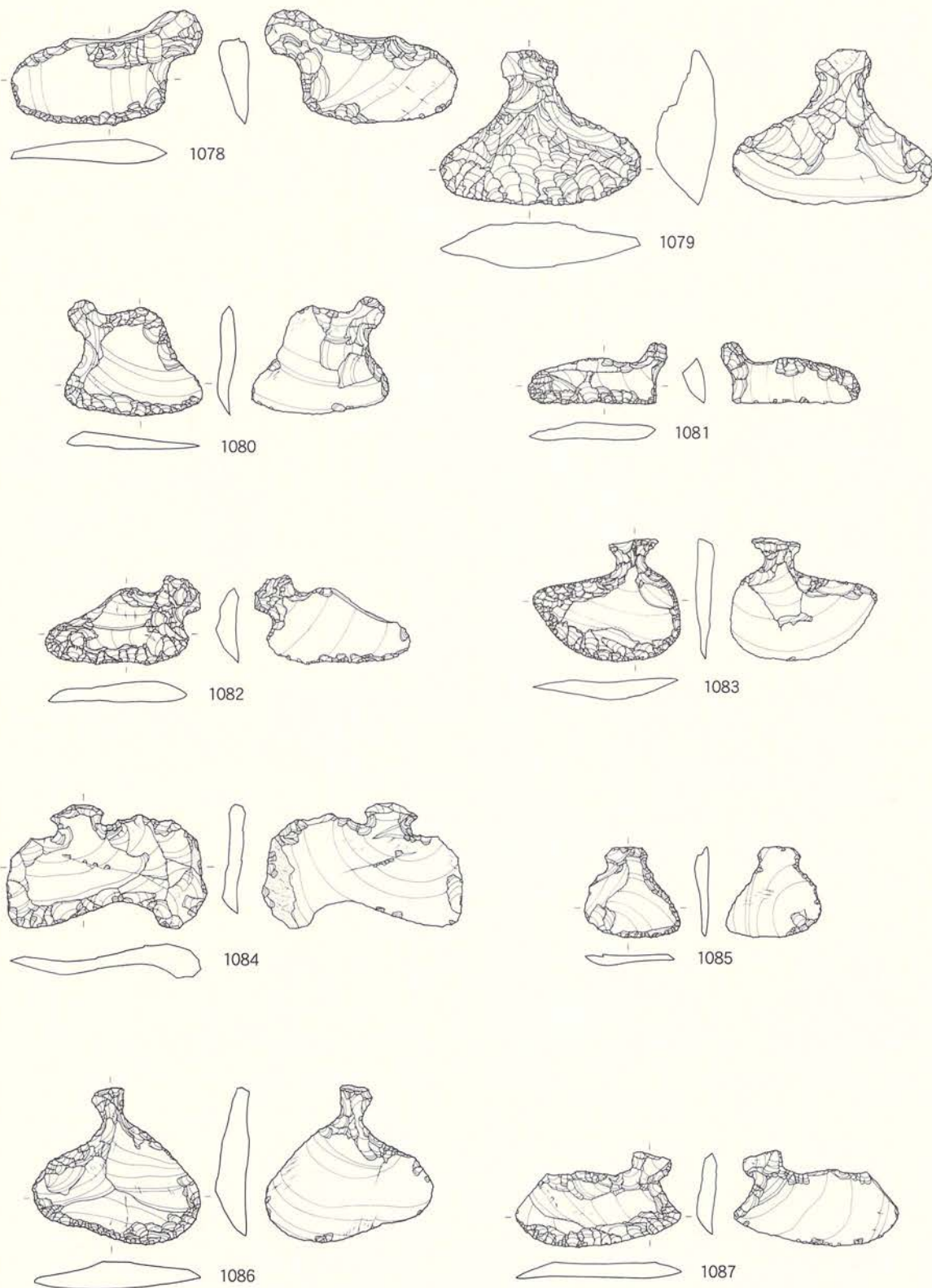


第143図 石器(4)



0 1:2 5cm

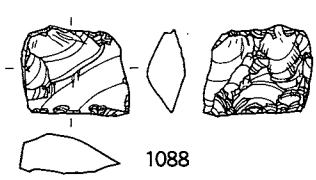
第144图 石器(5)



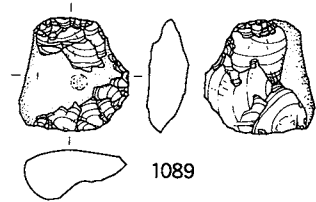
0 1 : 2 5cm

第145図 石器(6)

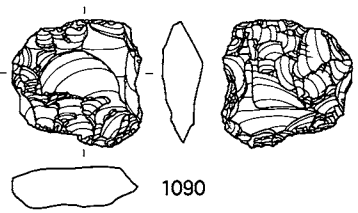




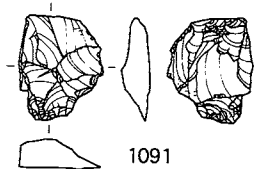
1088



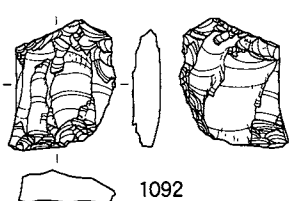
1089



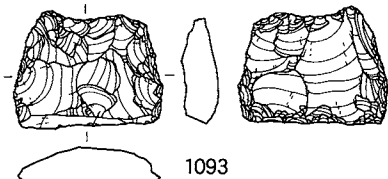
1090



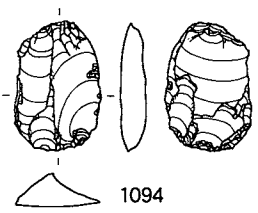
1091



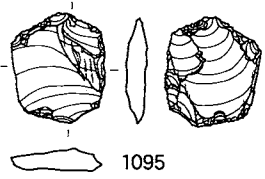
1092



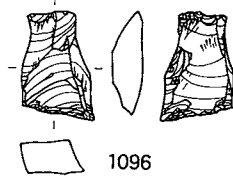
1093



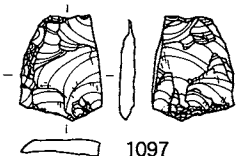
1094



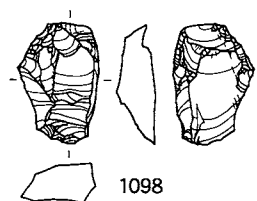
1095



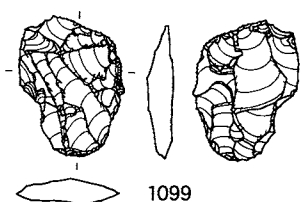
1096



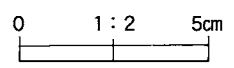
1097



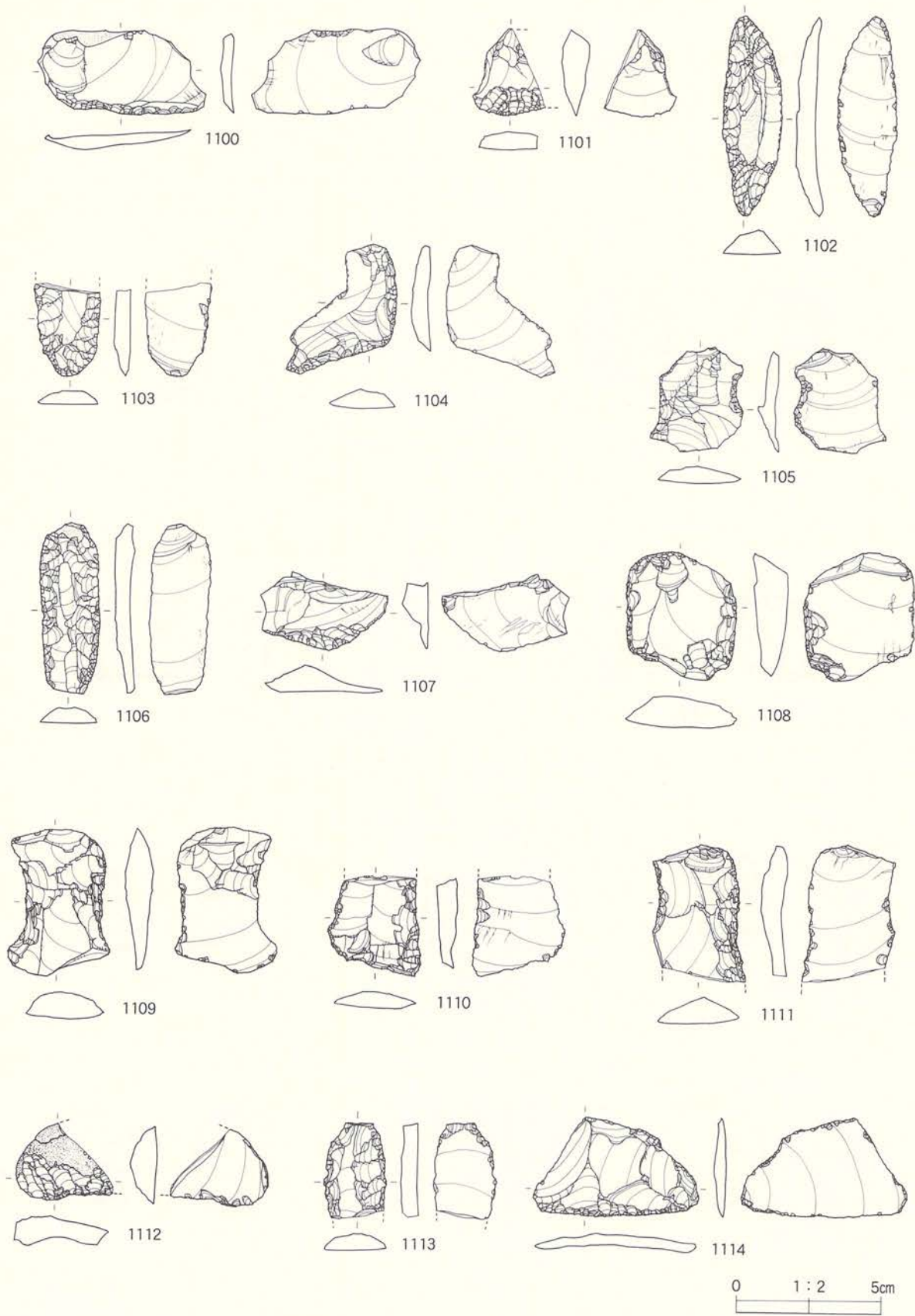
1098



1099



第146圖 石器(7)



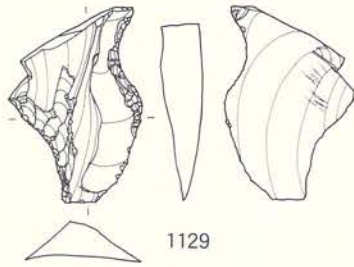
第147图 石器(8)



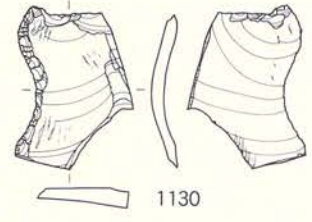
第148图 石器(9)



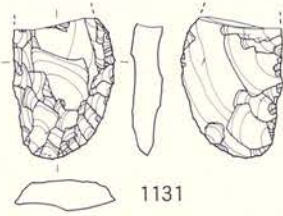
1128



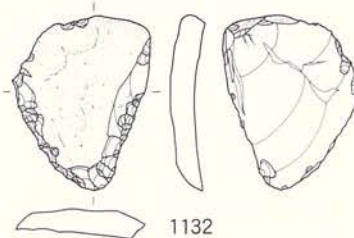
1129



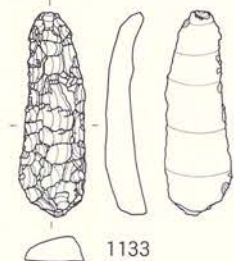
1130



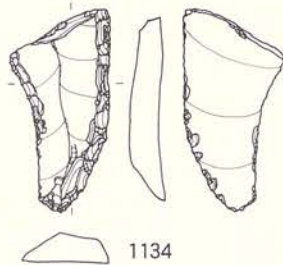
1131



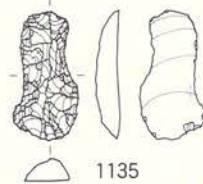
1132



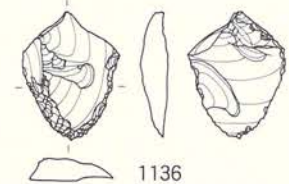
1133



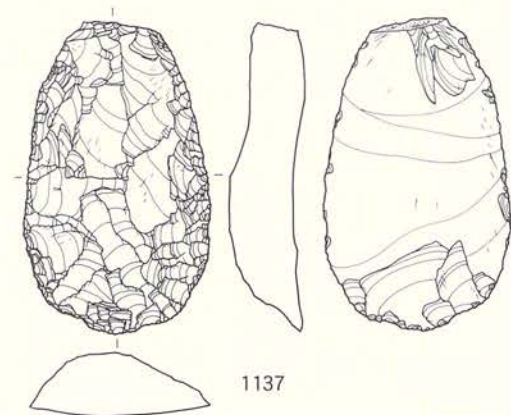
1134



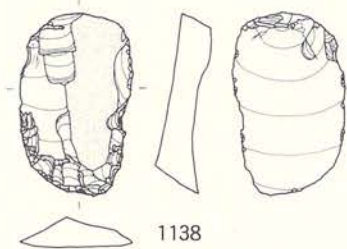
1135



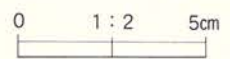
1136



1137

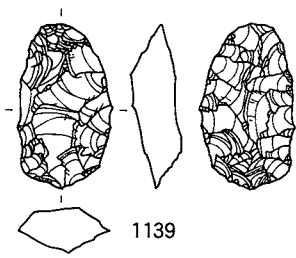


1138

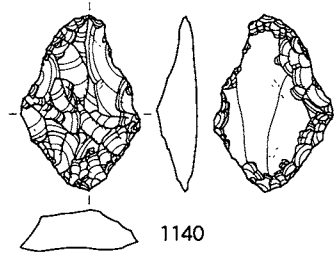


第149图 石器(10)

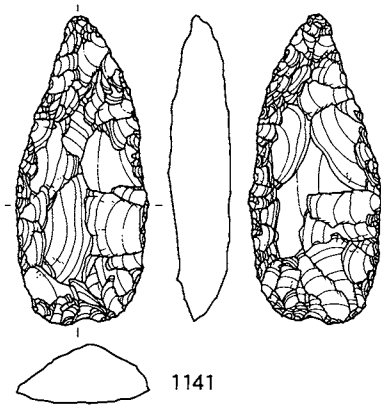




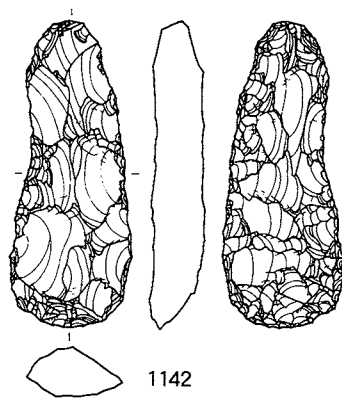
1139



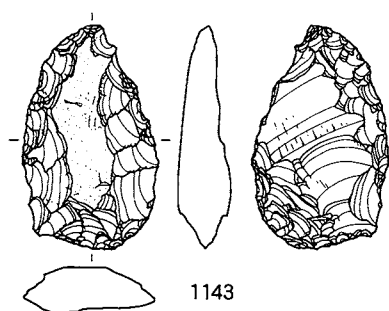
1140



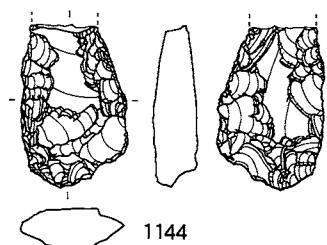
1141



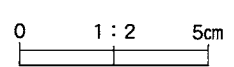
1142



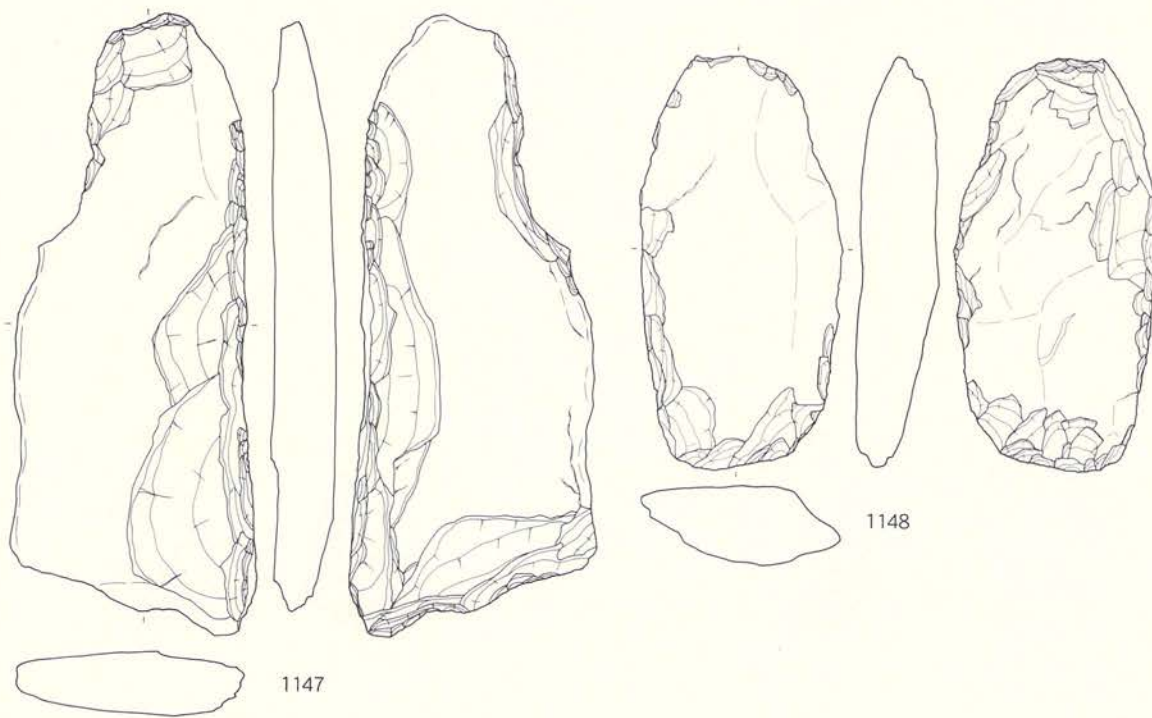
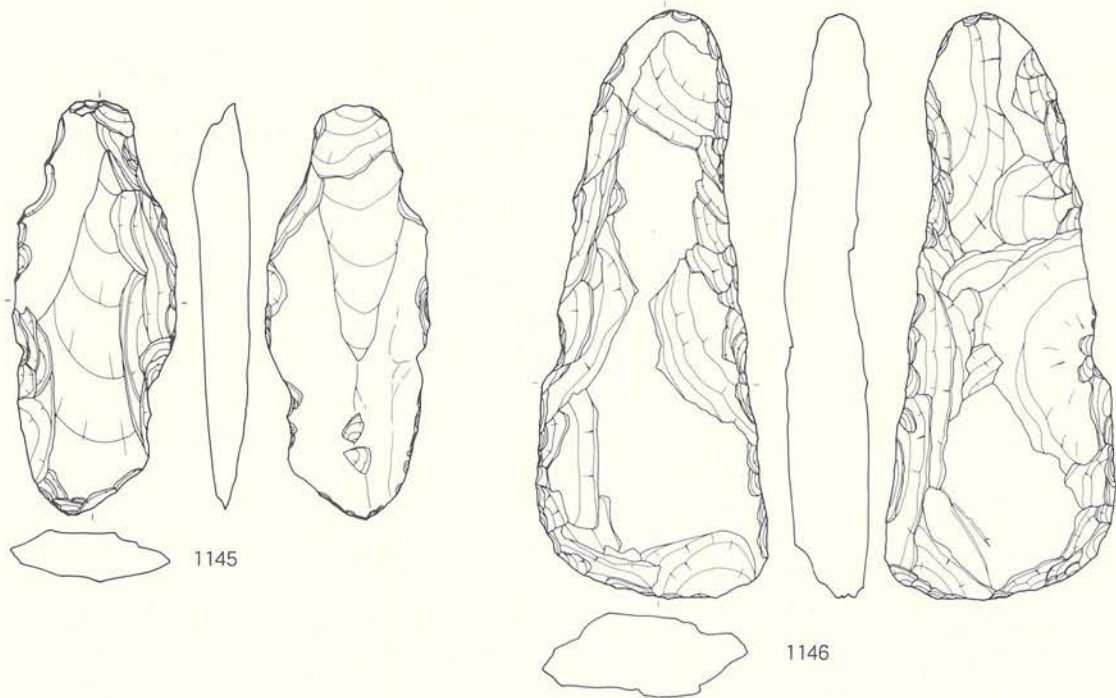
1143



1144

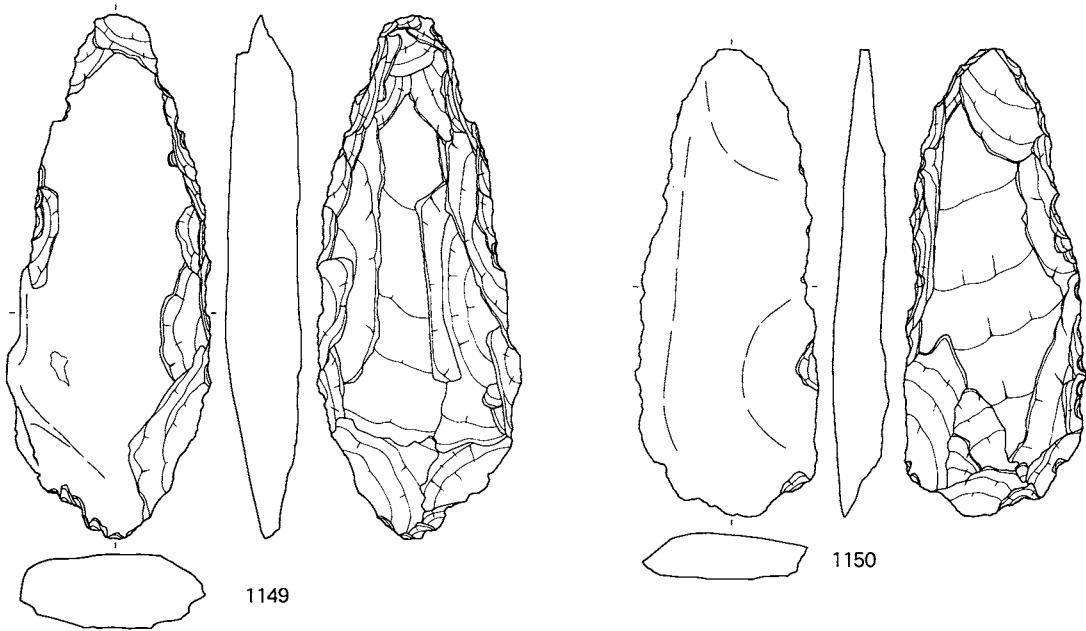
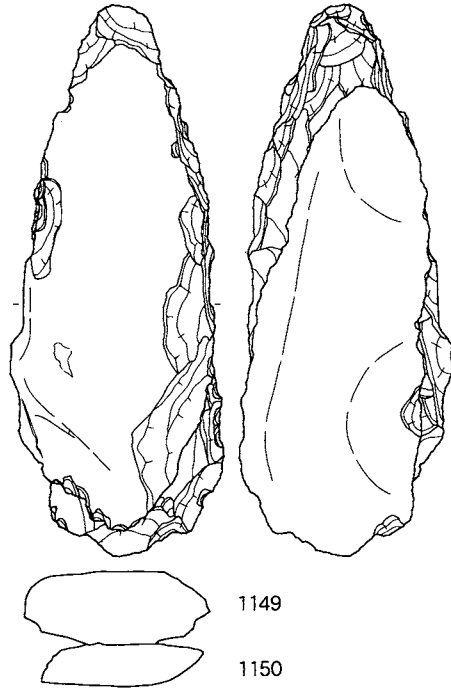


第150図 石器(11)



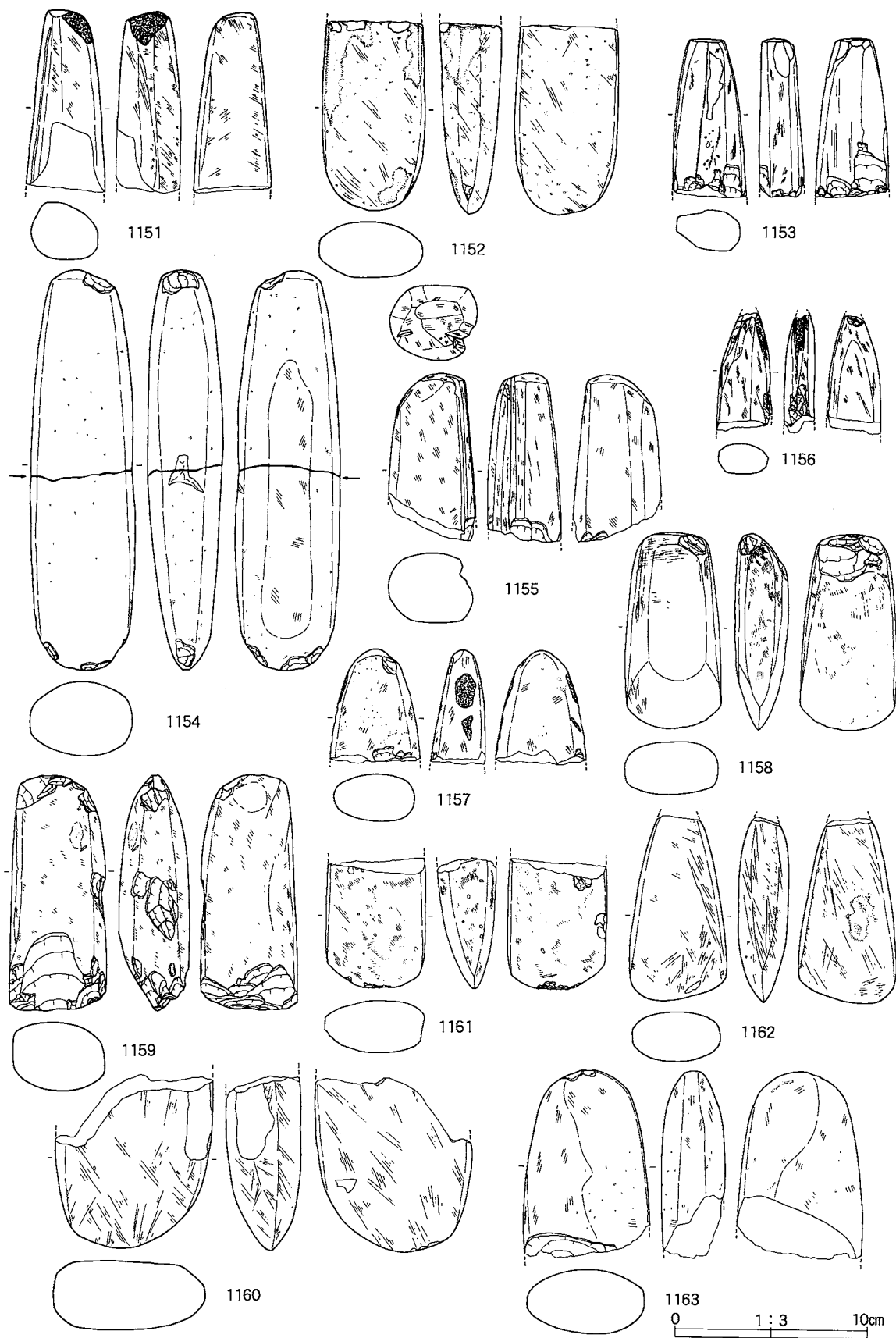
0 1 : 3 10cm

第151図 石器(12)



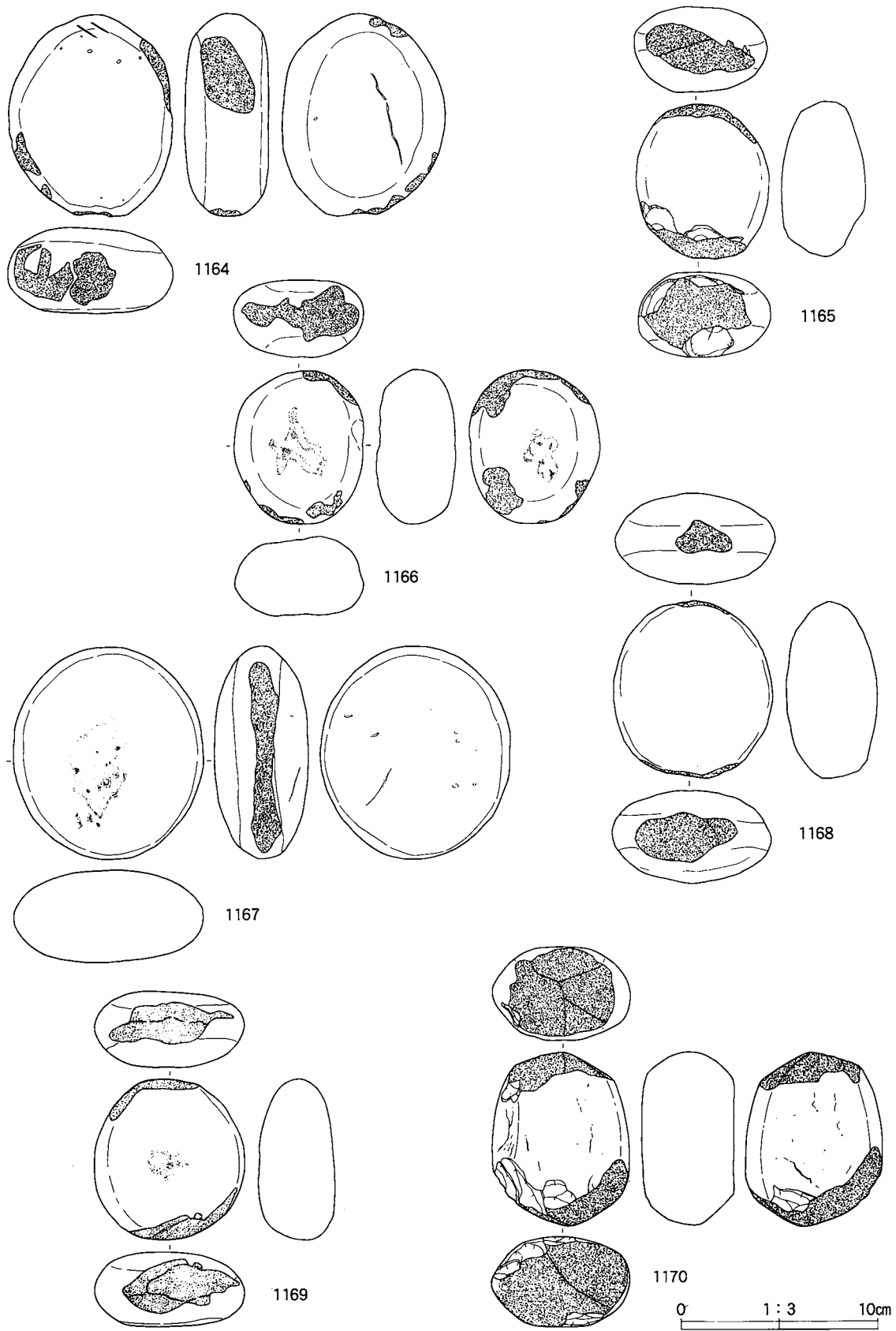
0 1 : 3 10cm

第152図 石器(13)

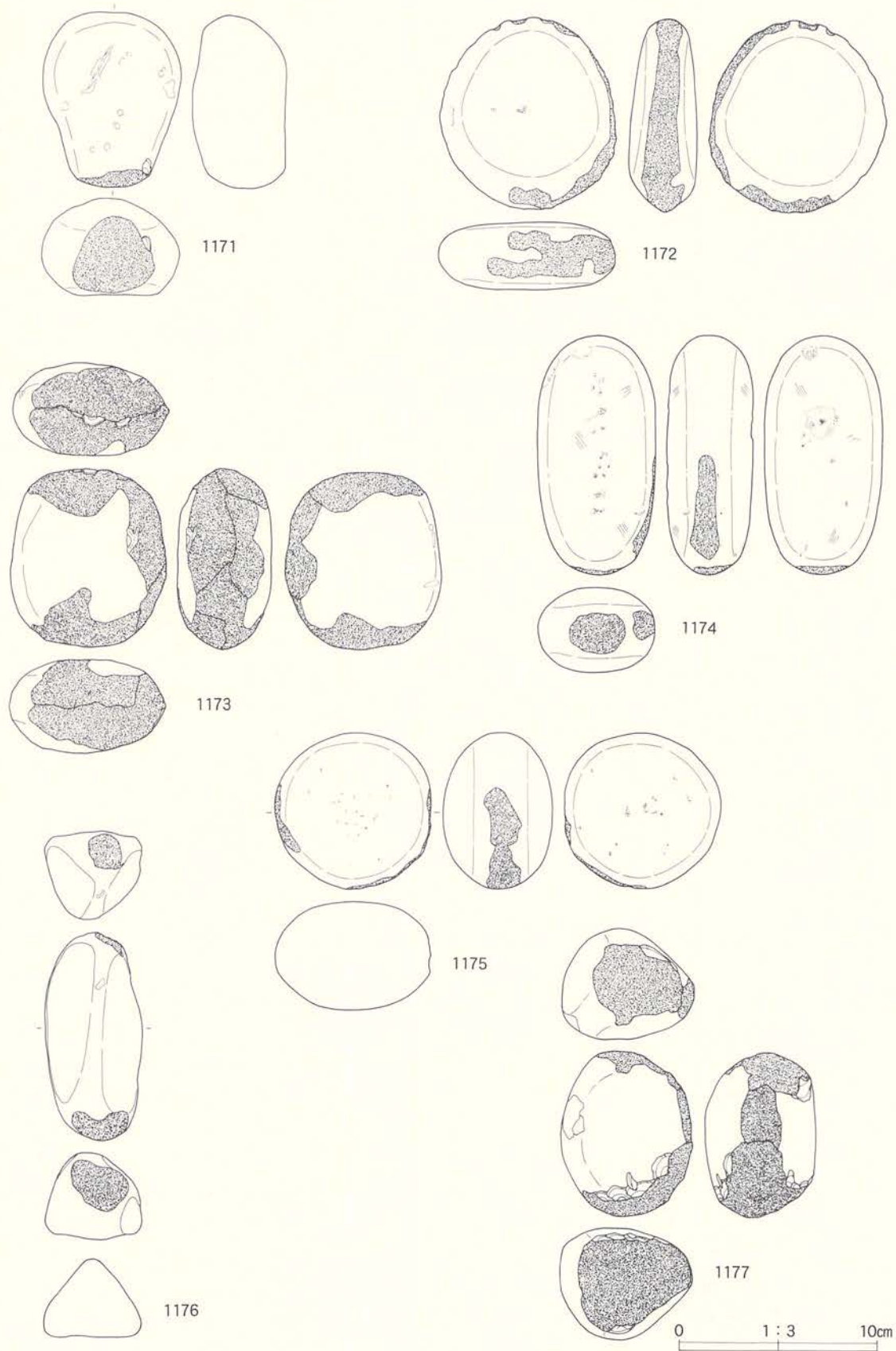


第153图 石器(14)

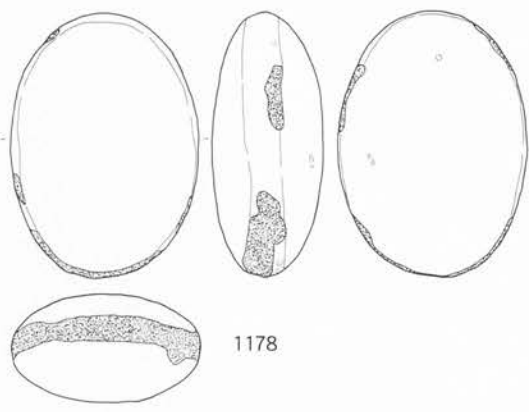




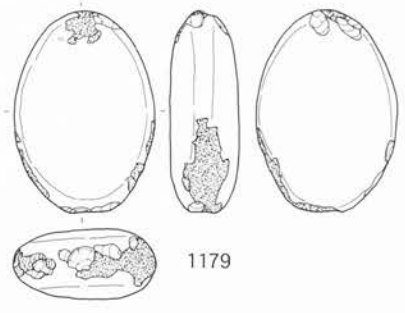
第154図 石器(15)



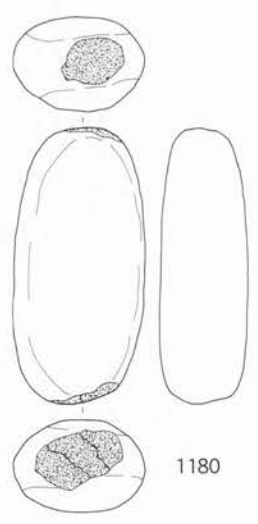
第155図 石器(16)



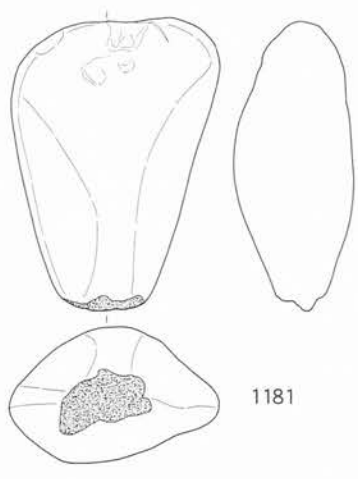
1178



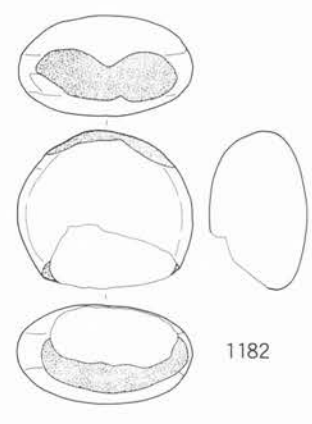
1179



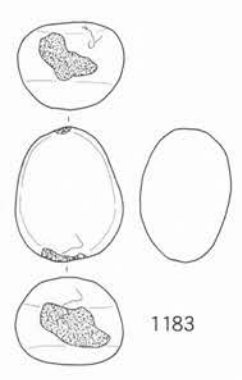
1180



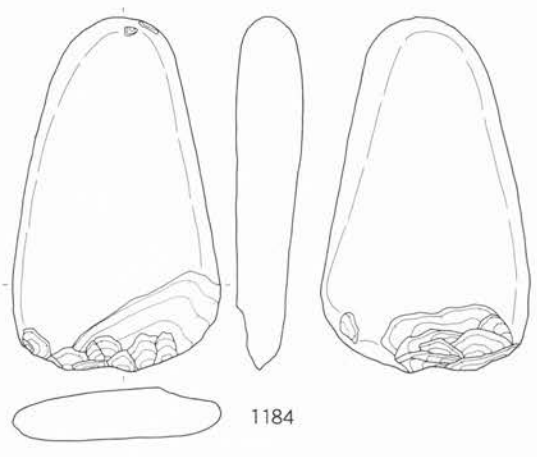
1181



1182



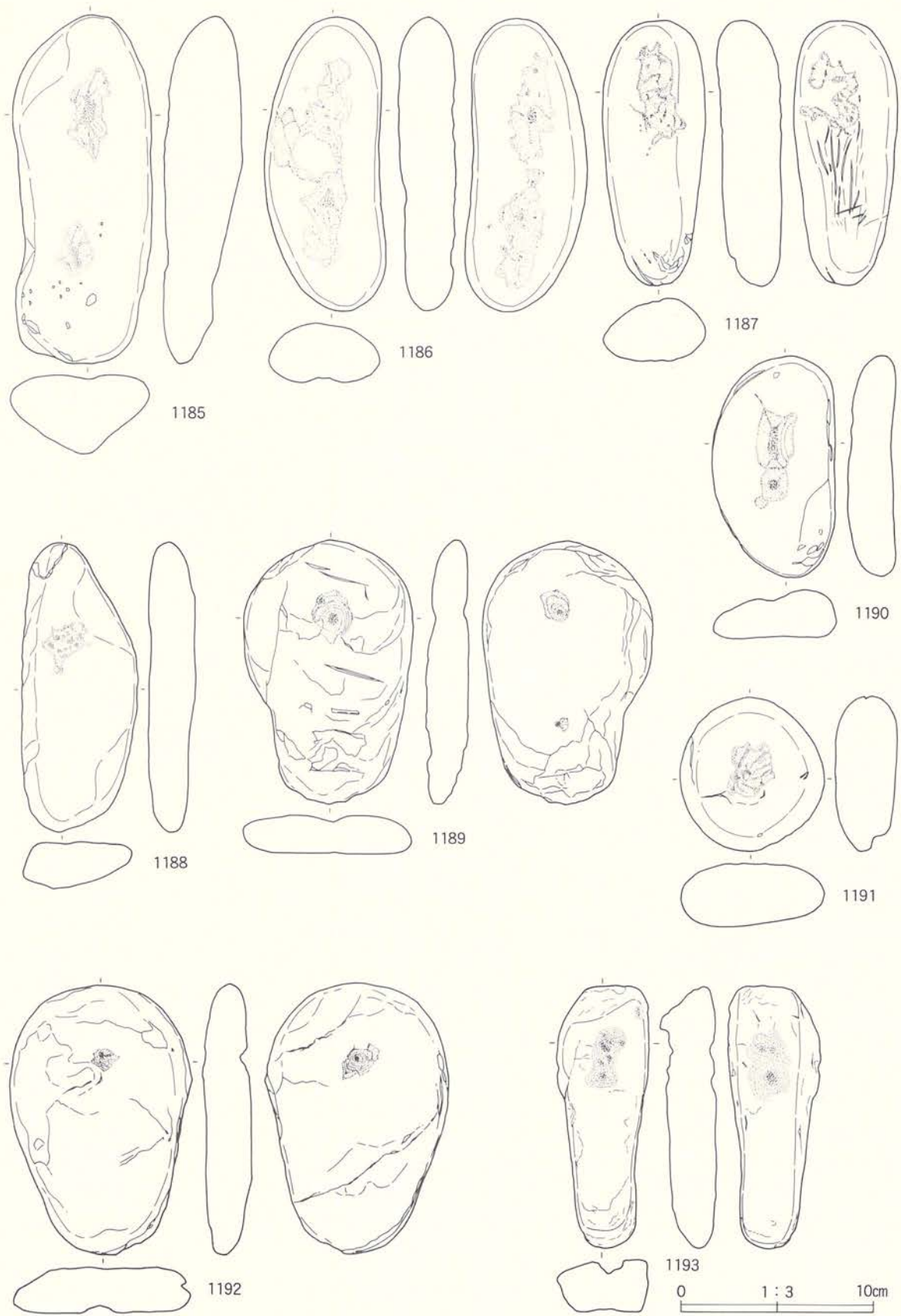
1183



1184

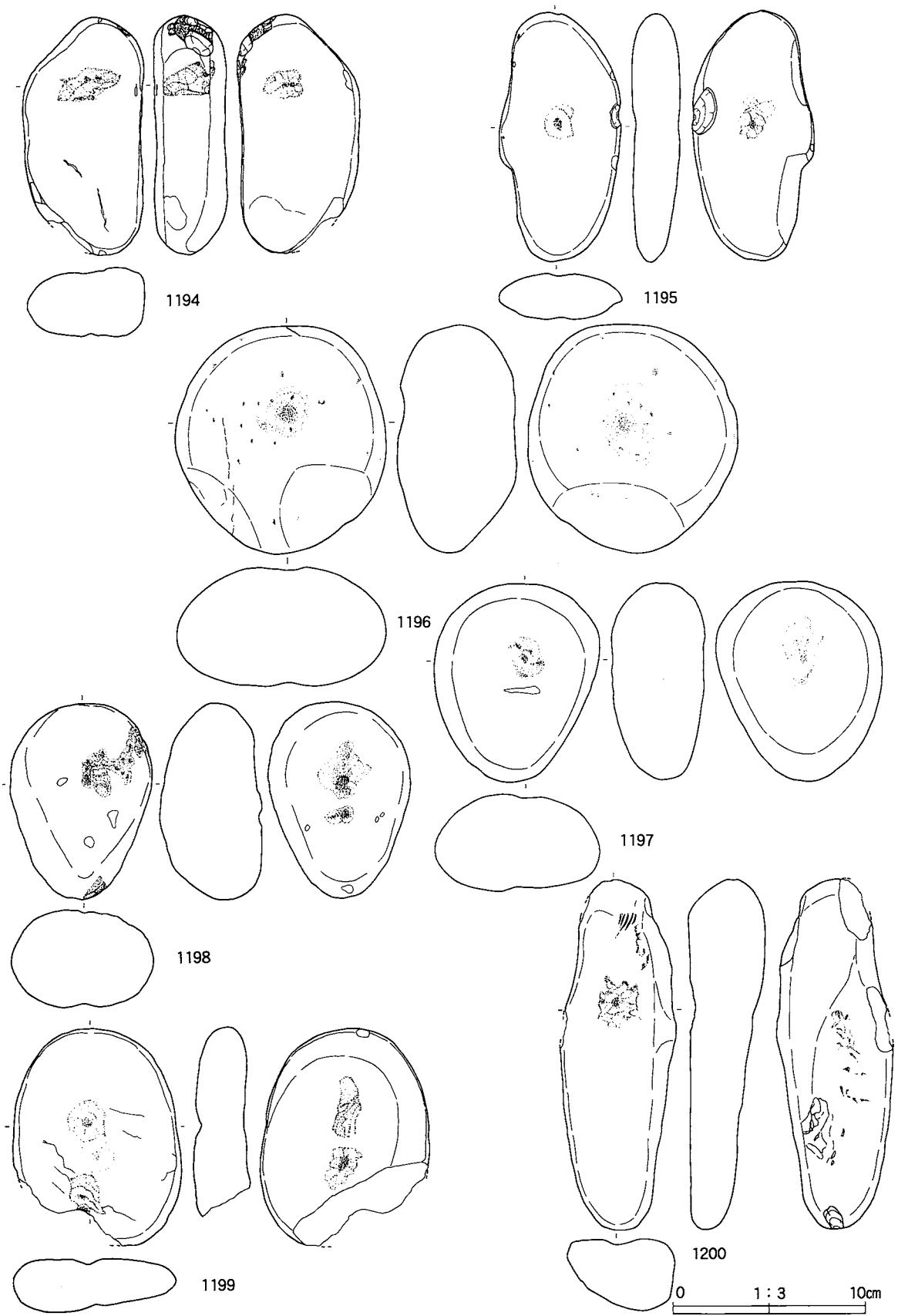


第156図 石器(17)

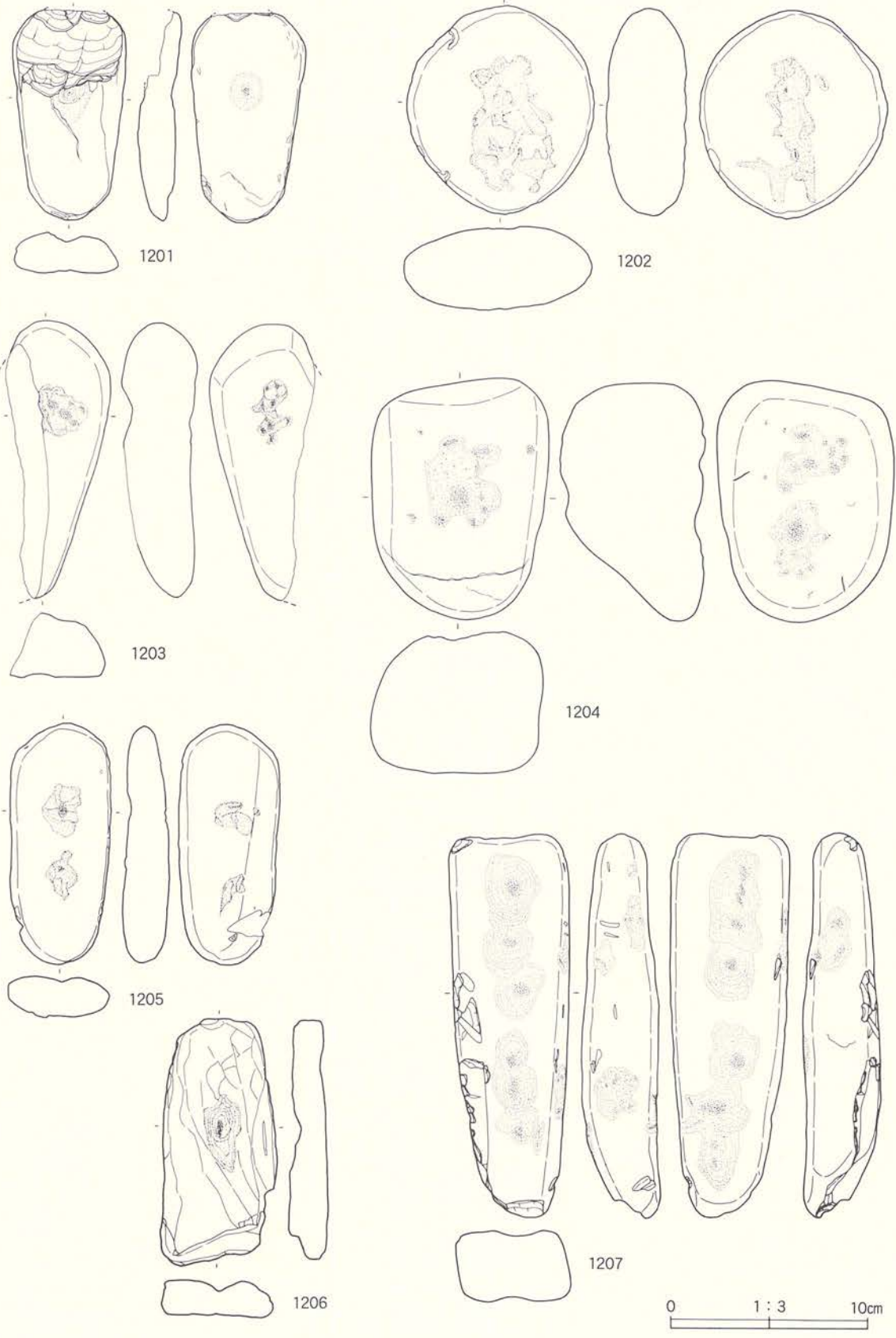


第157図 石器(18)

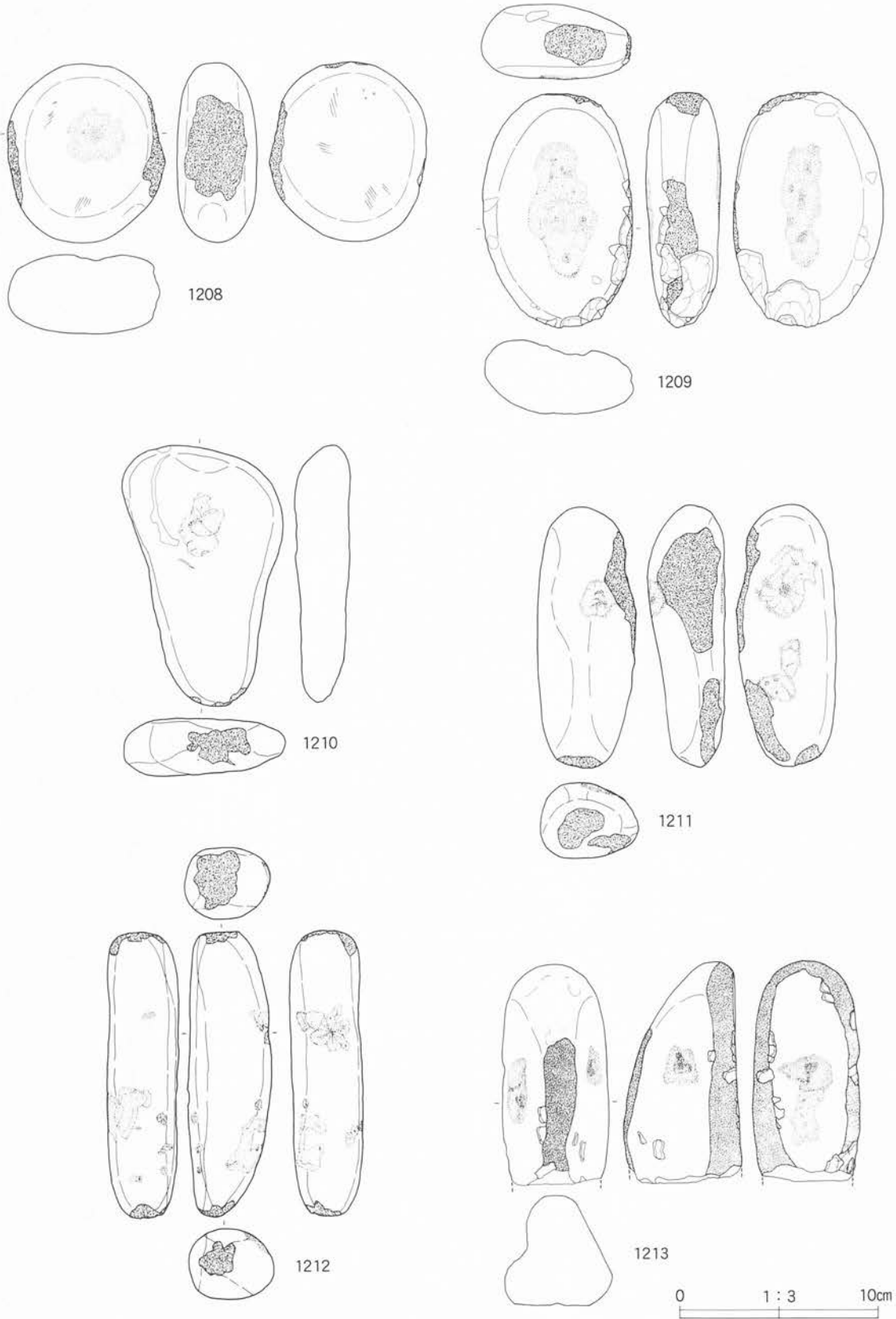




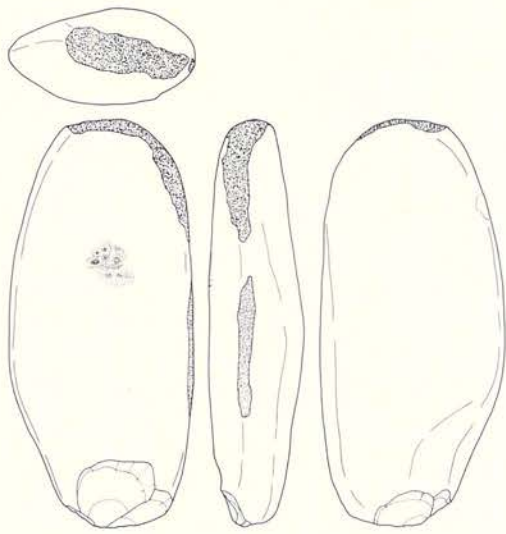
第158図 石器(19)



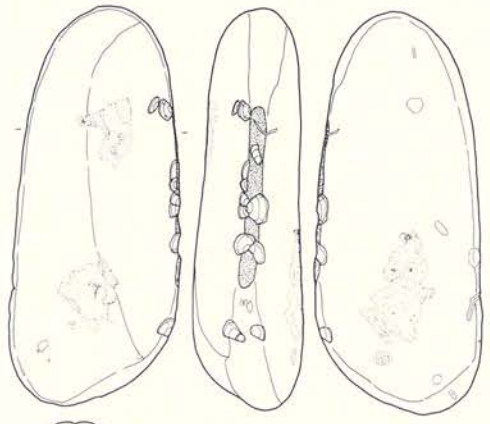
第159图 石器(20)



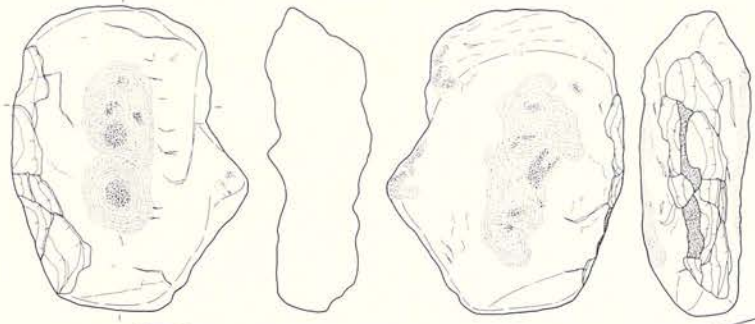
第160図 石器(21)



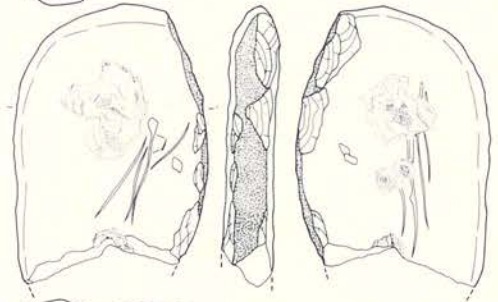
1214



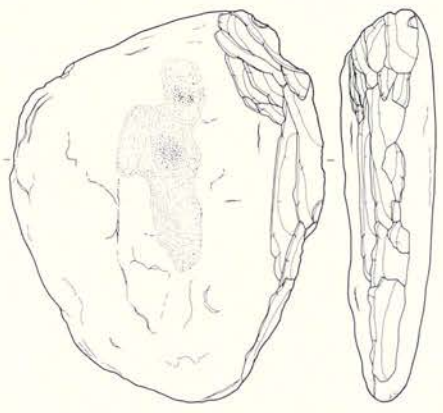
1215



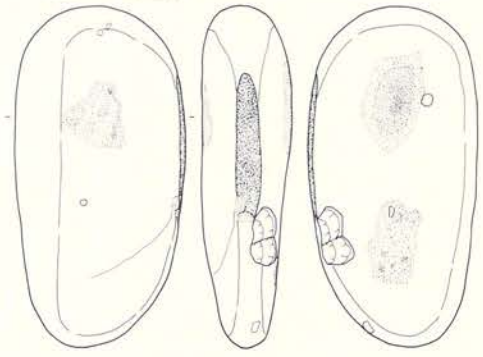
1216



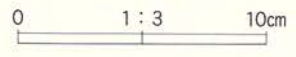
1218



1217

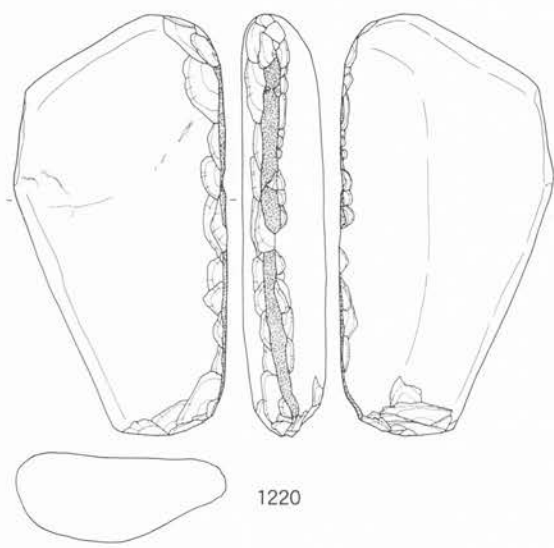


1219

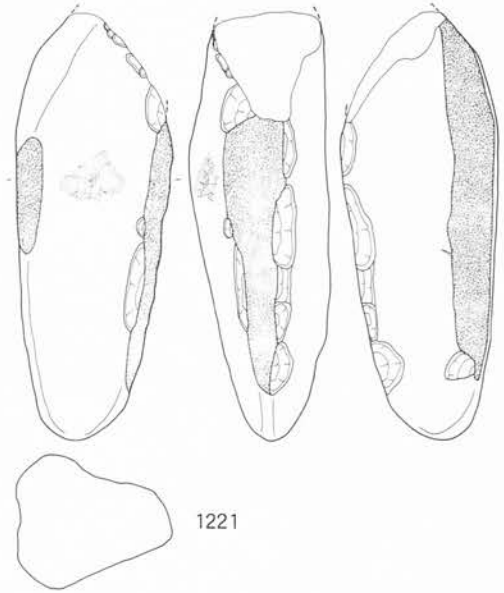


第161図 石器(22)

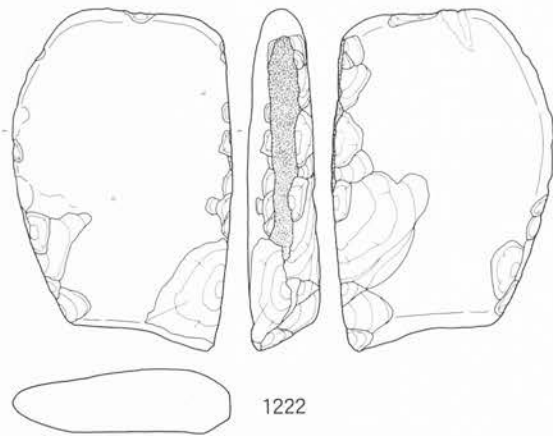




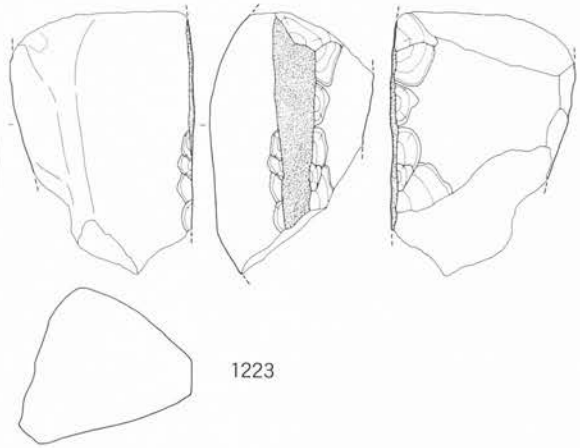
1220



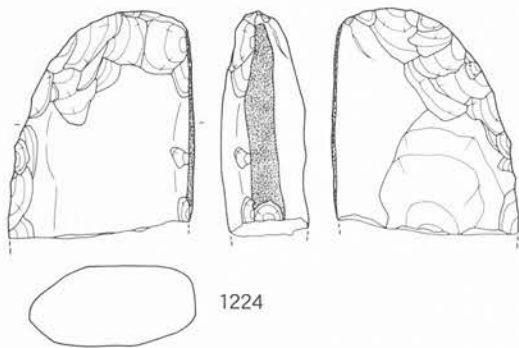
1221



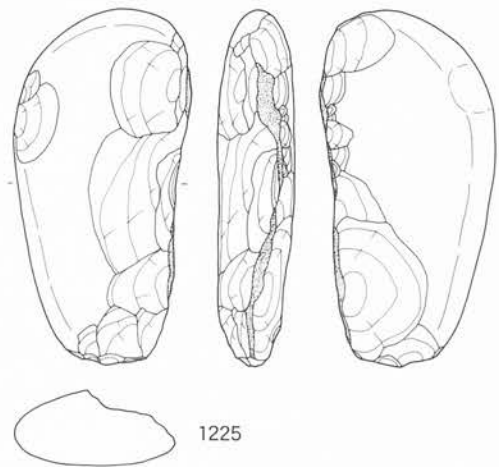
1222



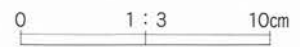
1223



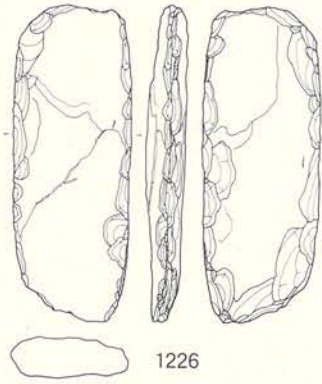
1224



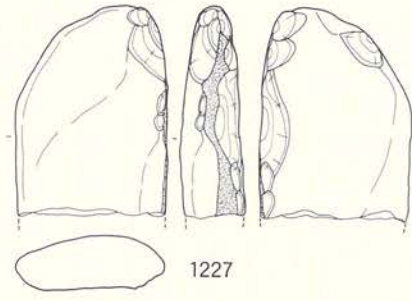
1225



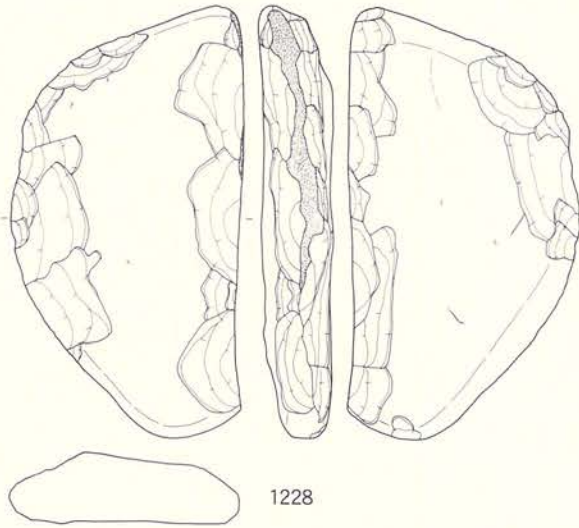
第162図 石器(23)



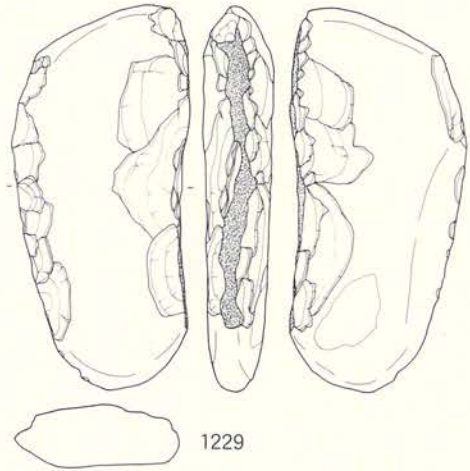
1226



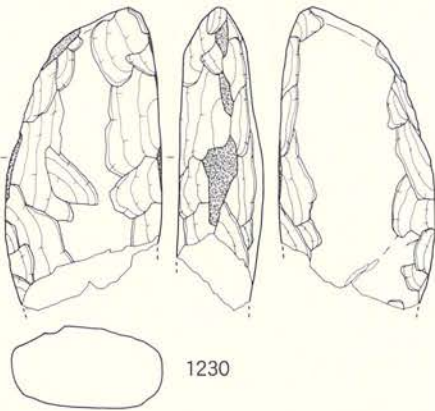
1227



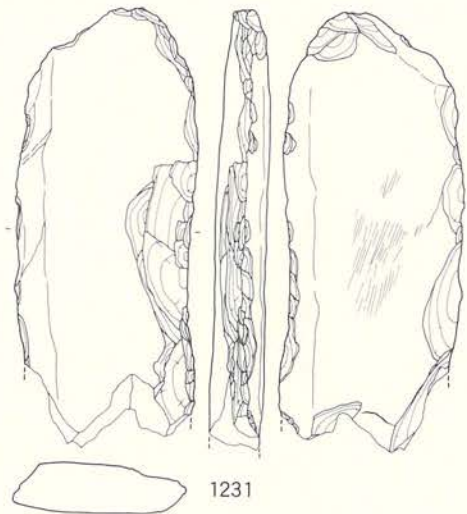
1228



1229



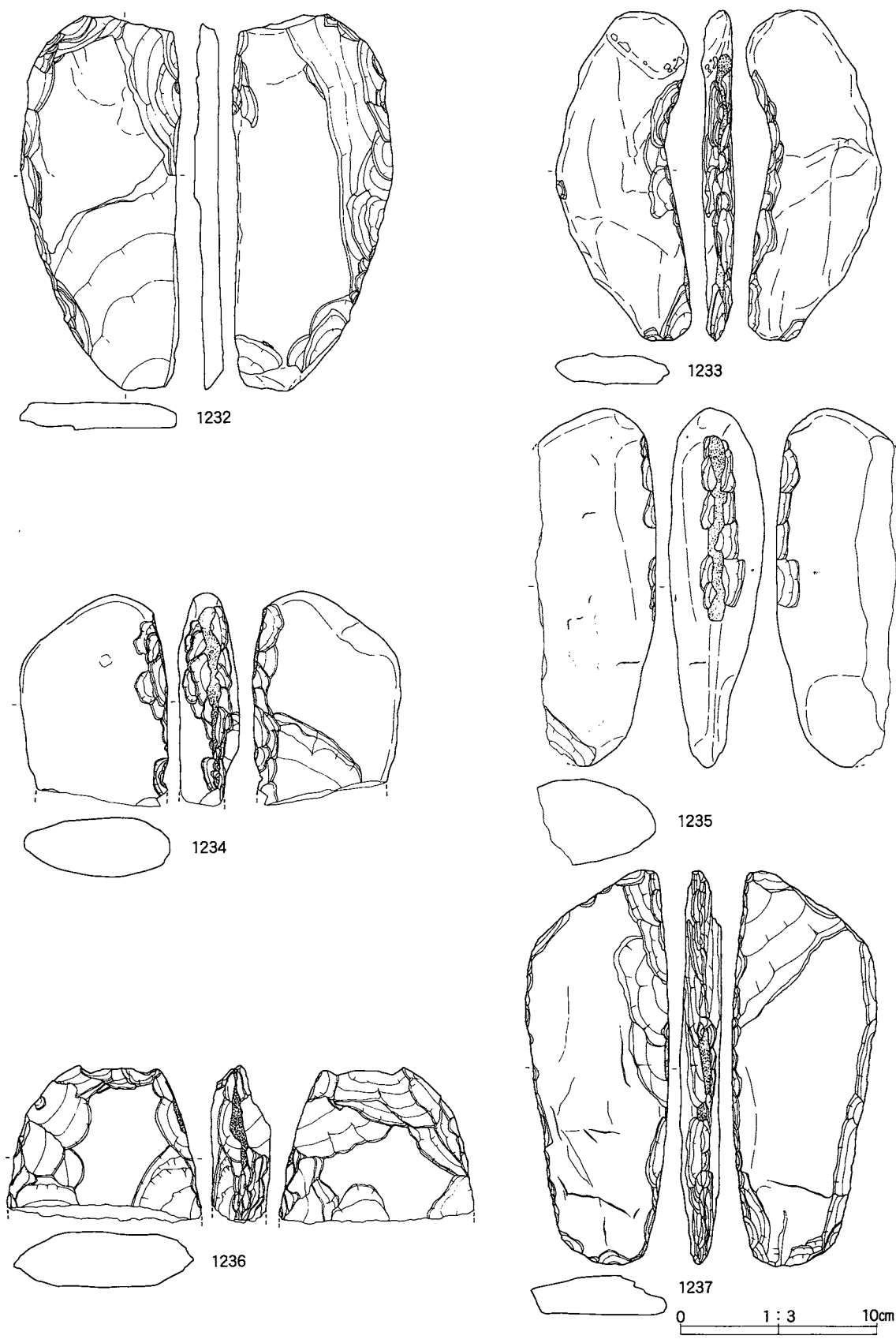
1230



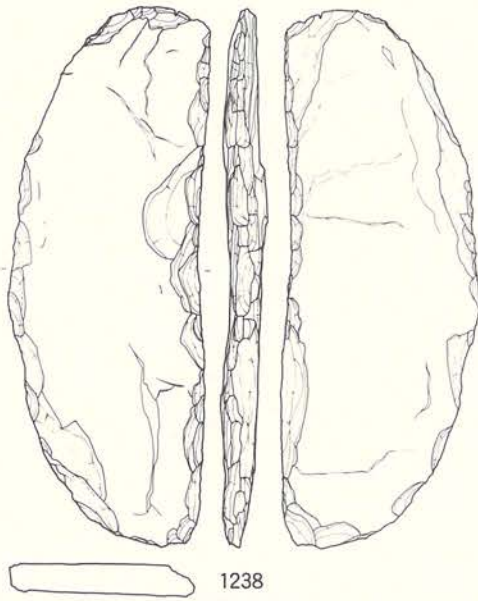
1231

0 1:3 10cm

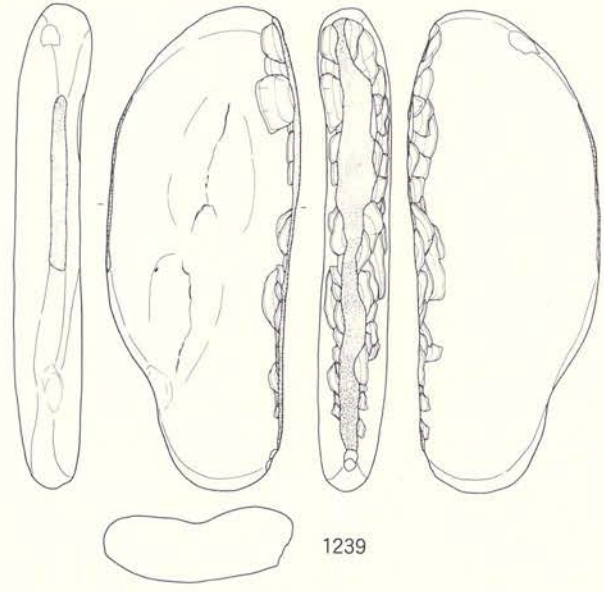
第163図 石器(24)



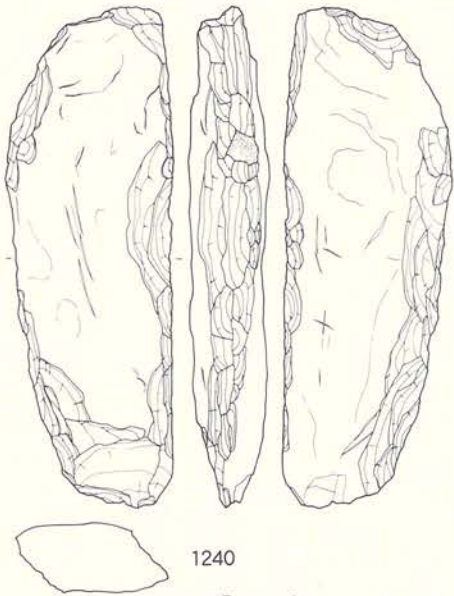
第164図 石器(25)



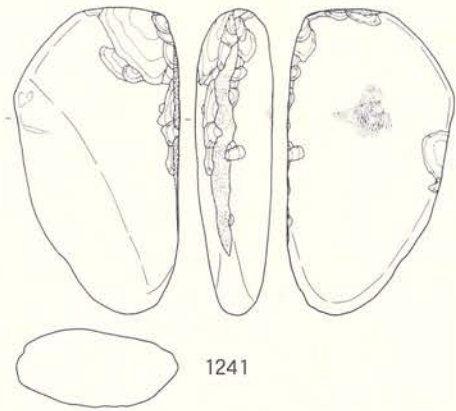
1238



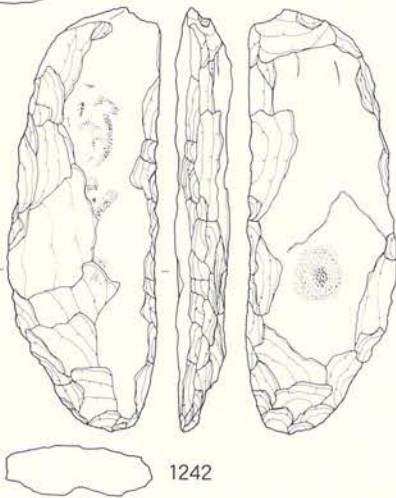
1239



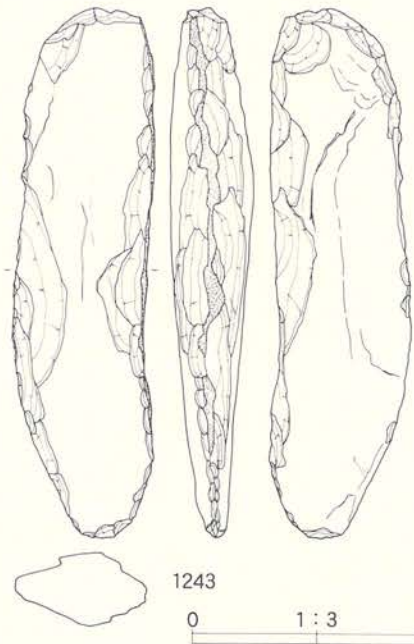
1240



1241



1242

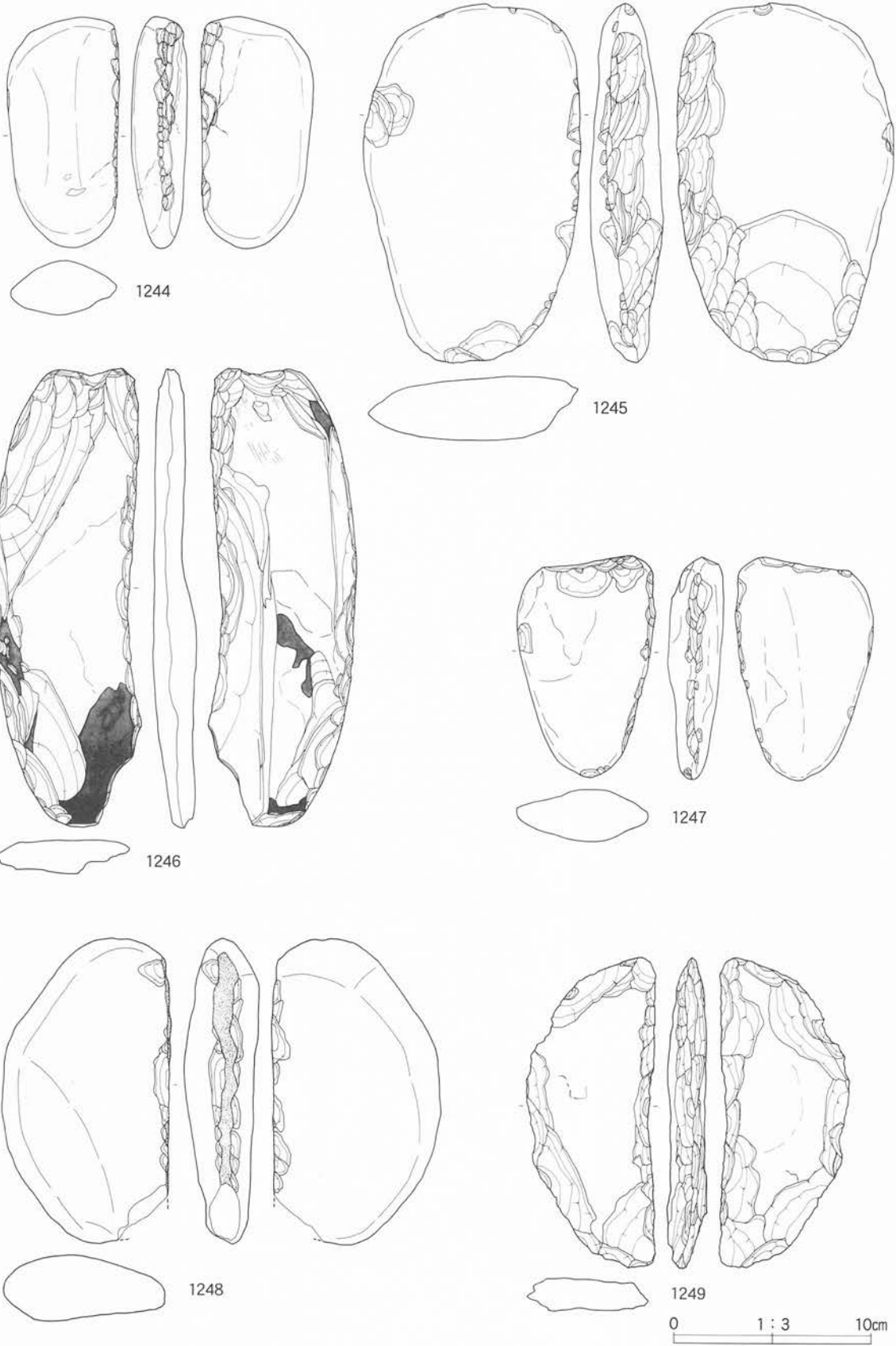


1243

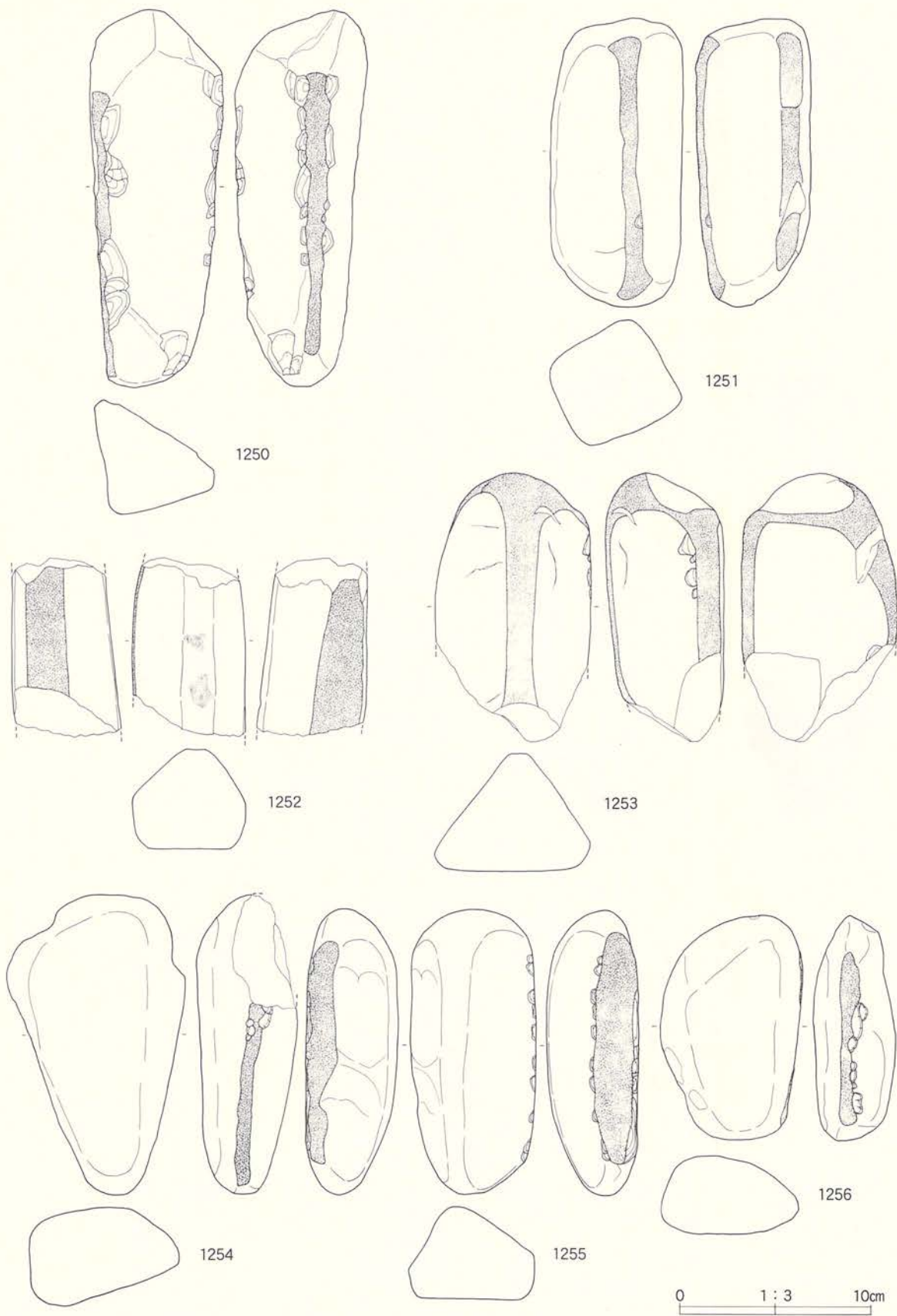
0 1 : 3 10cm

第165図 石器(26)

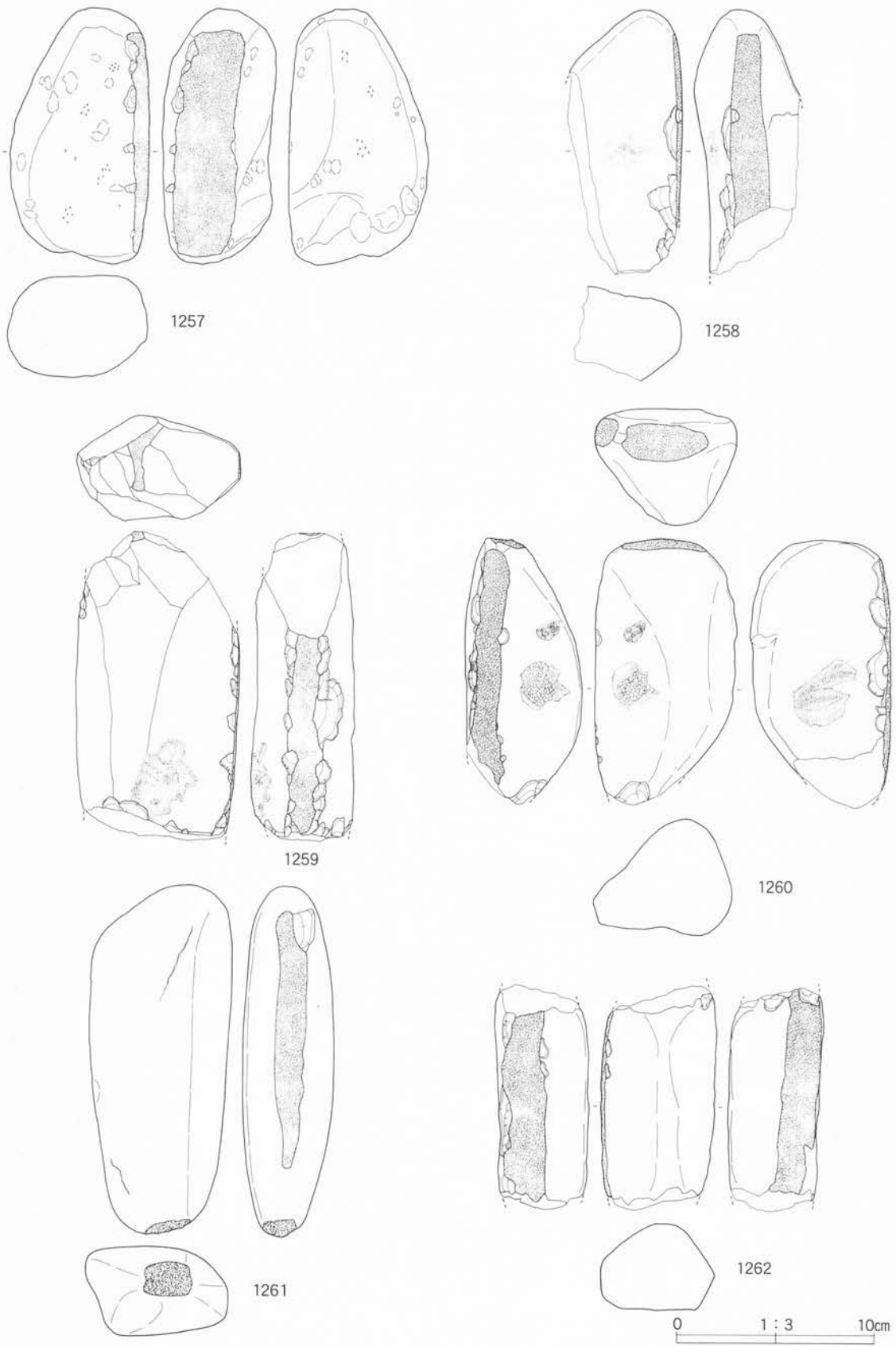




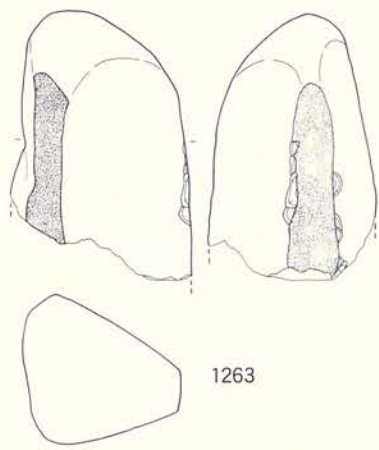
第166図 石器(27)



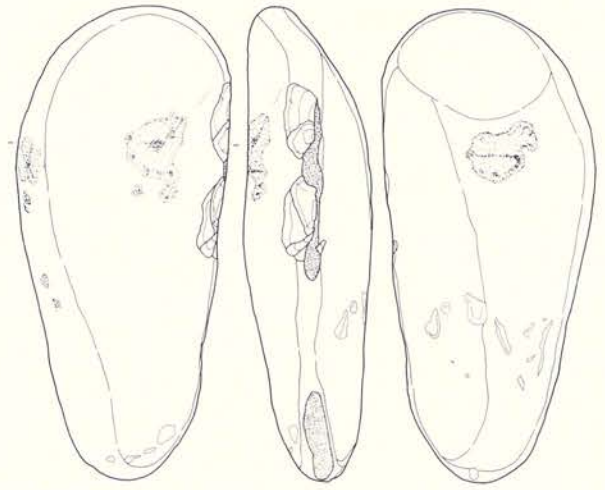
第167図 石器(28)



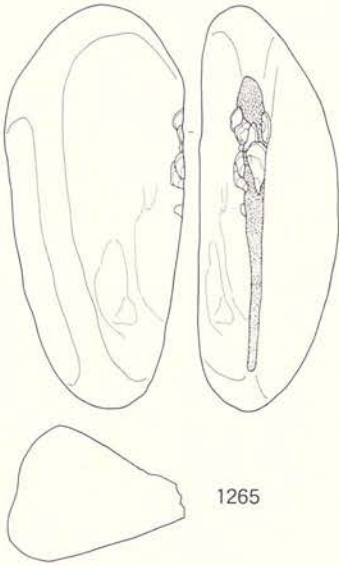
第168図 石器(29)



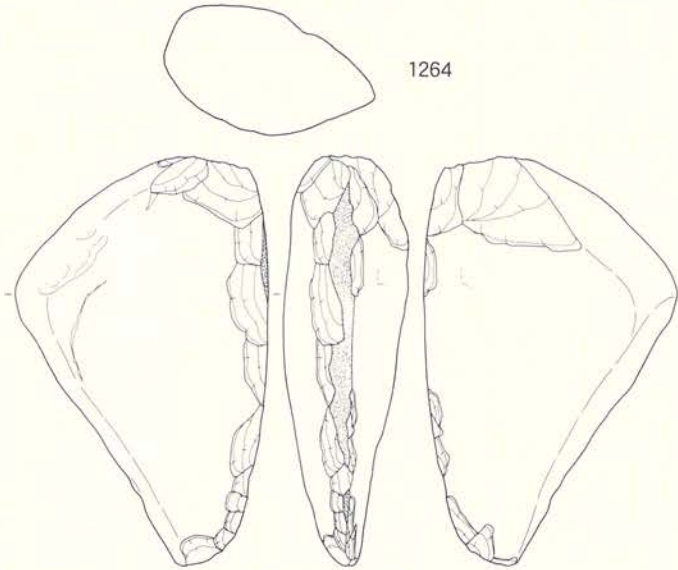
1263



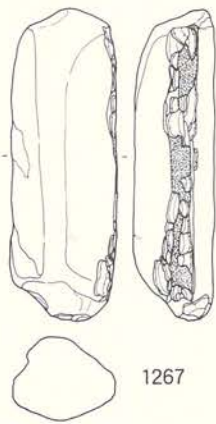
1264



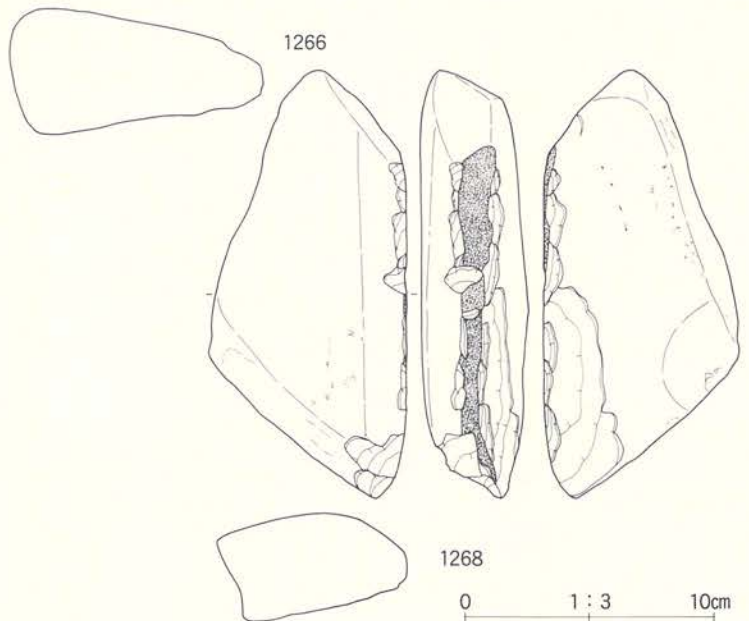
1265



1266



1267

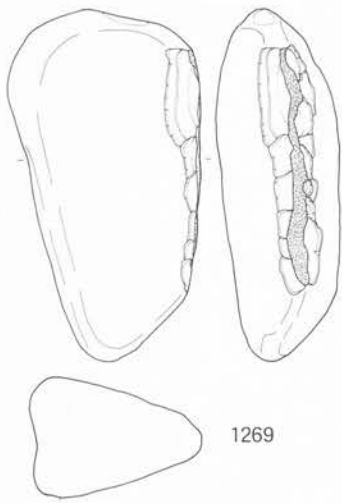


1268

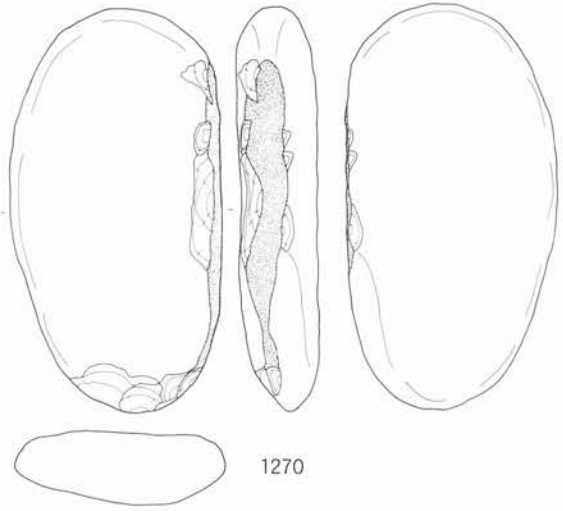


第169图 石器(30)

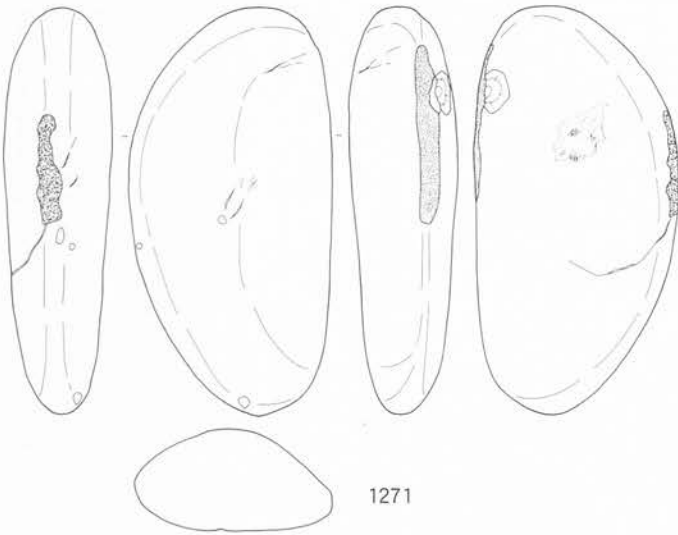




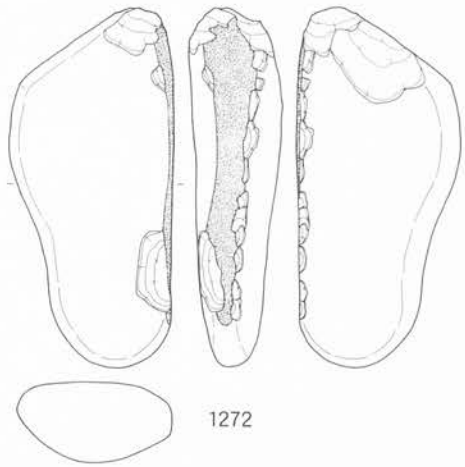
1269



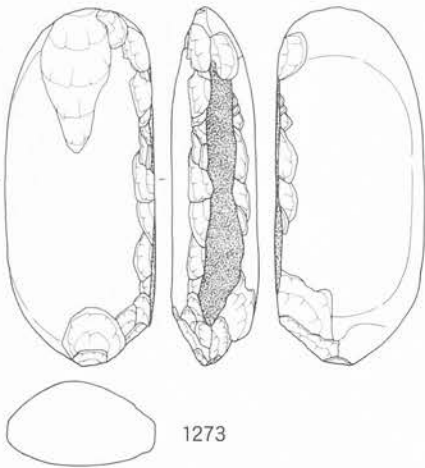
1270



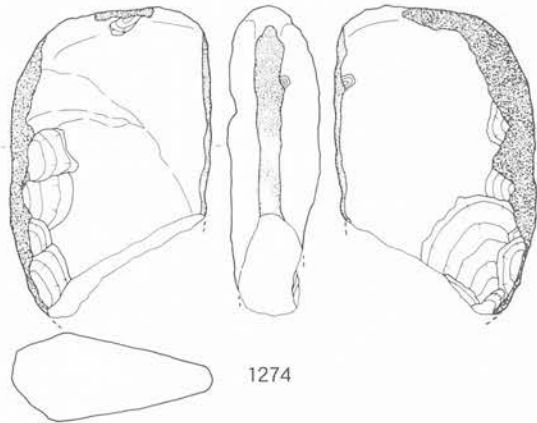
1271



1272



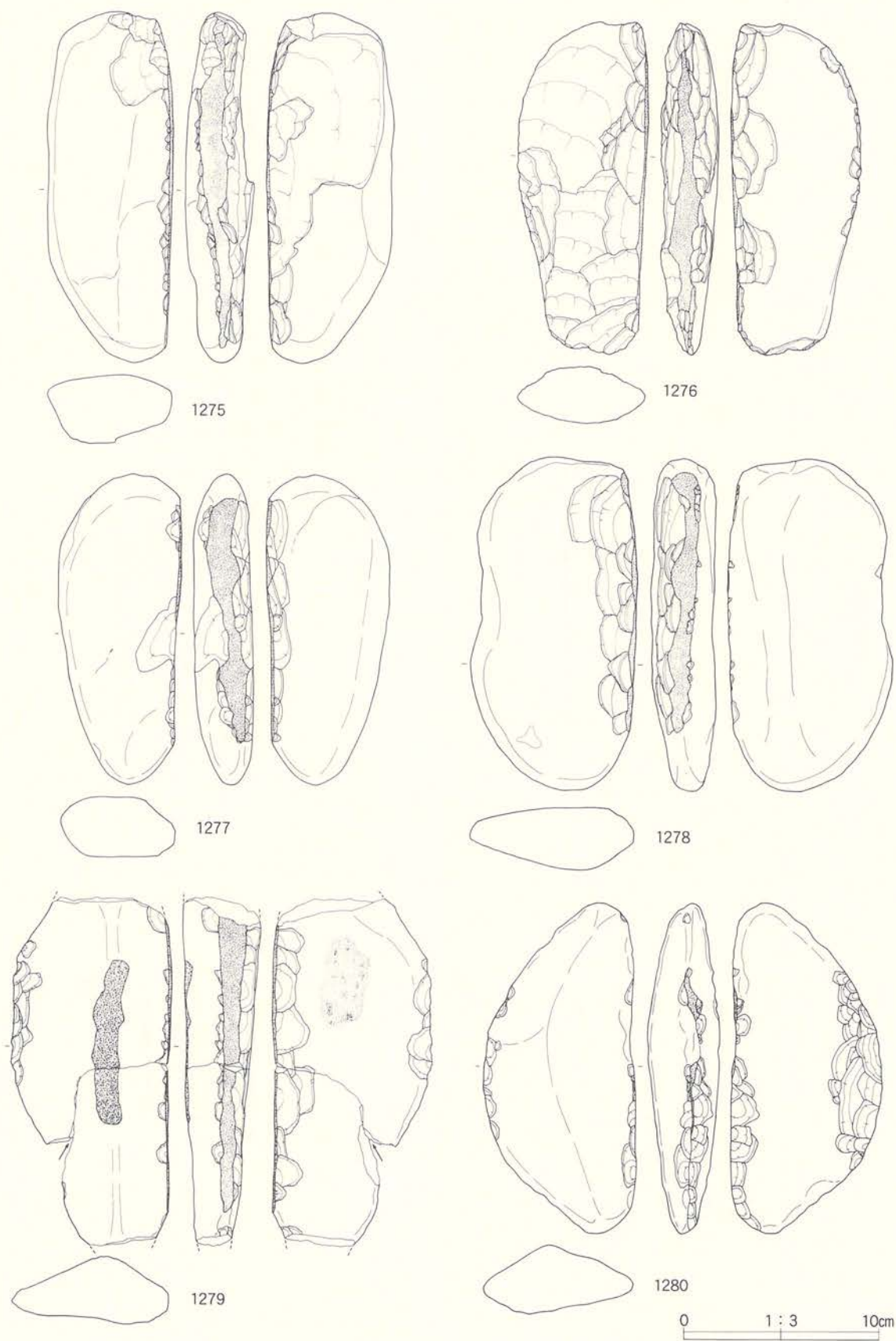
1273



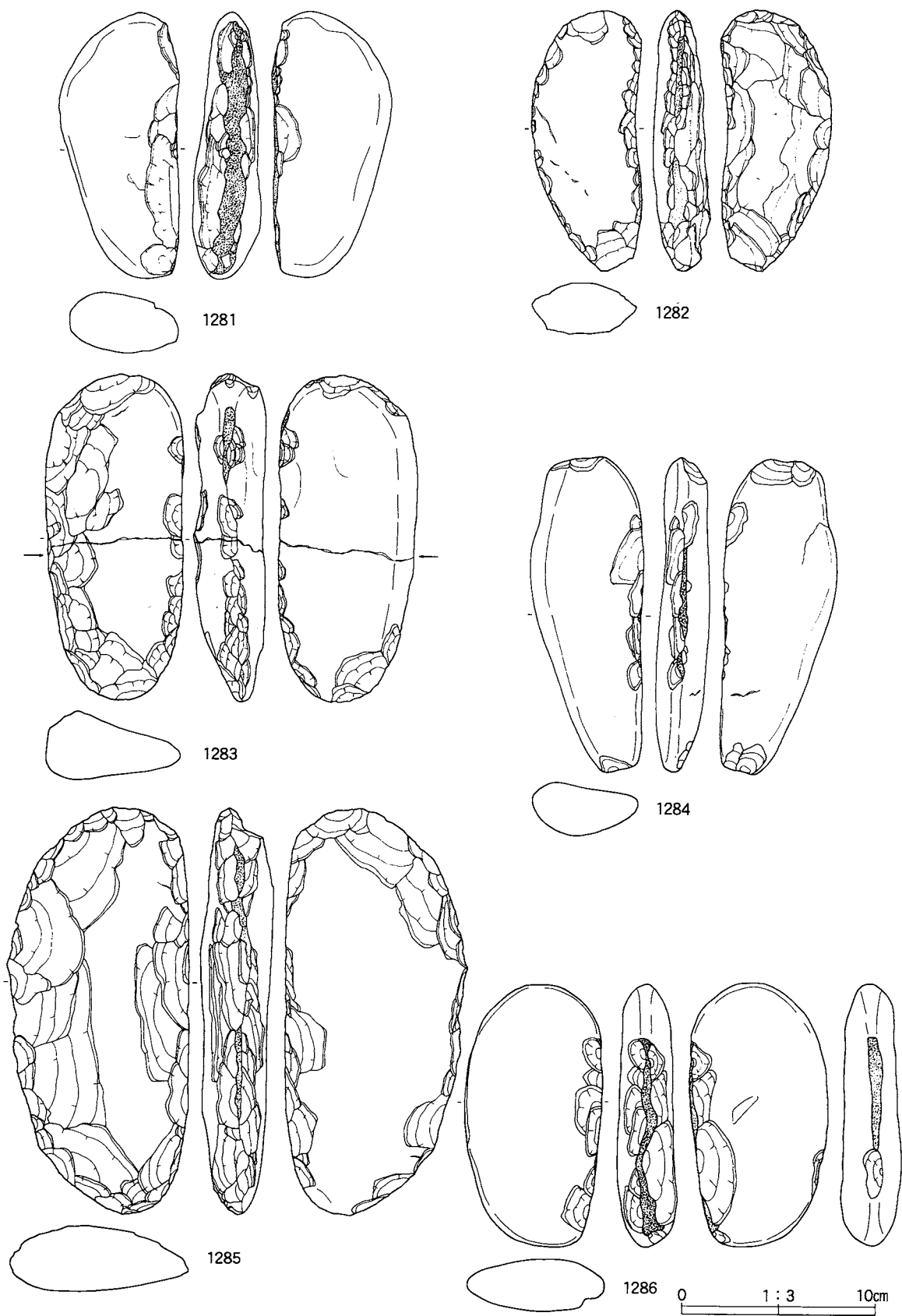
1274



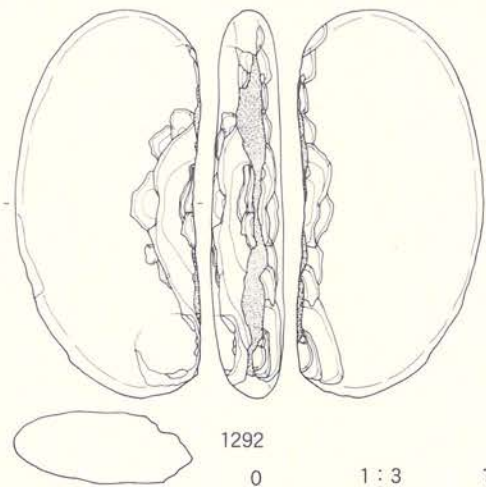
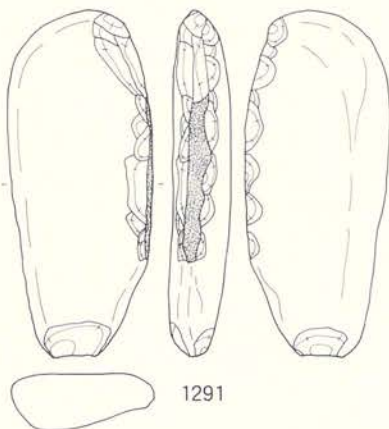
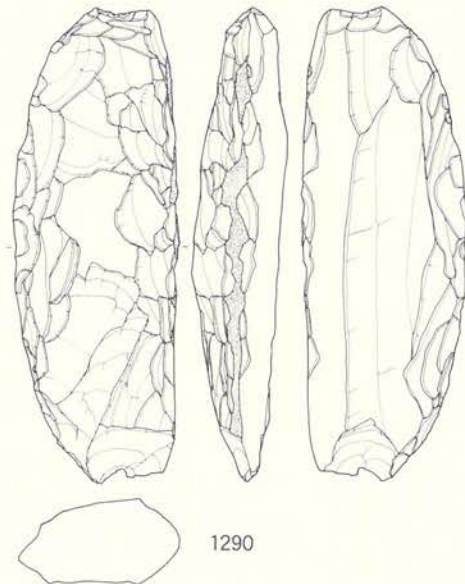
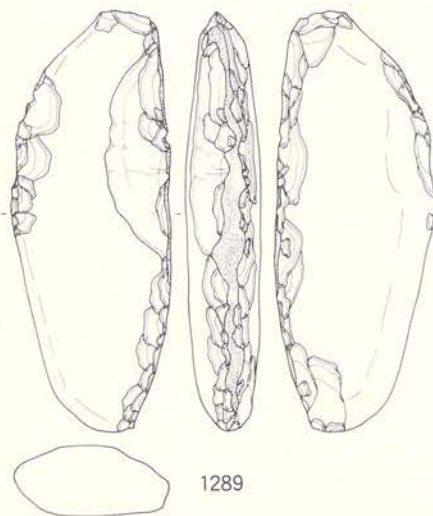
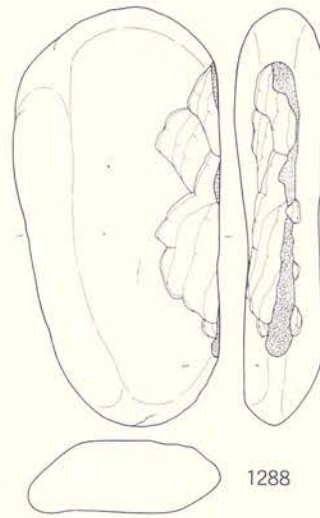
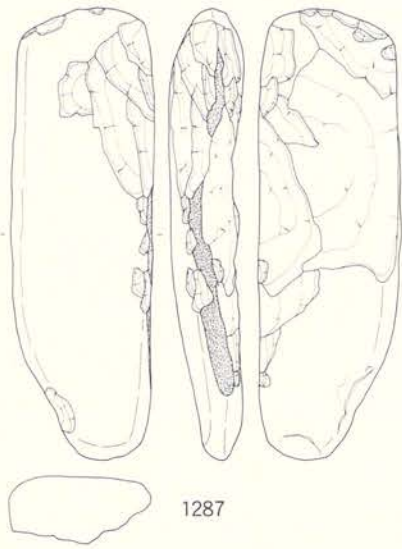
第170図 石器(31)



第171図 石器(32)



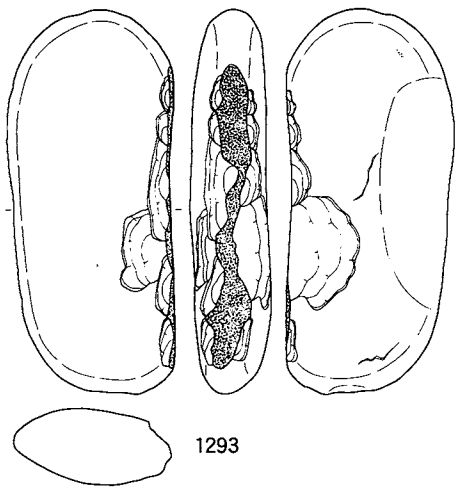
第172図 石器(33)



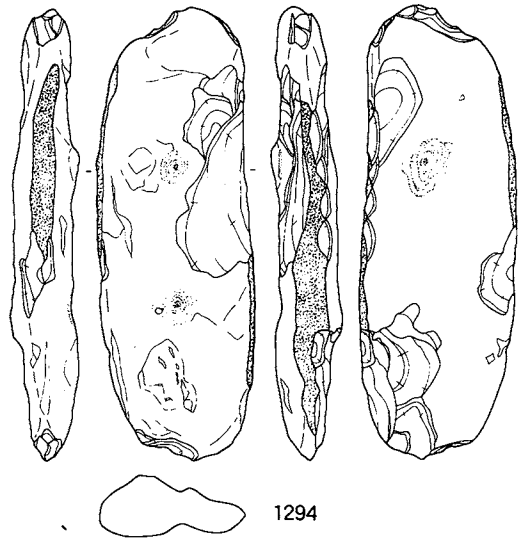
0 1 : 3 10cm

第173図 石器(34)

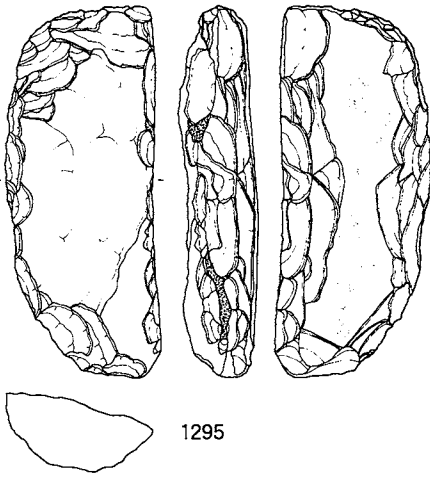




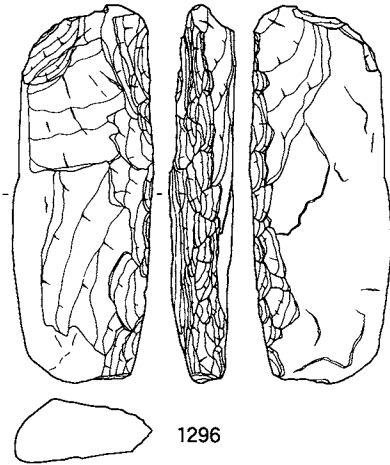
1293



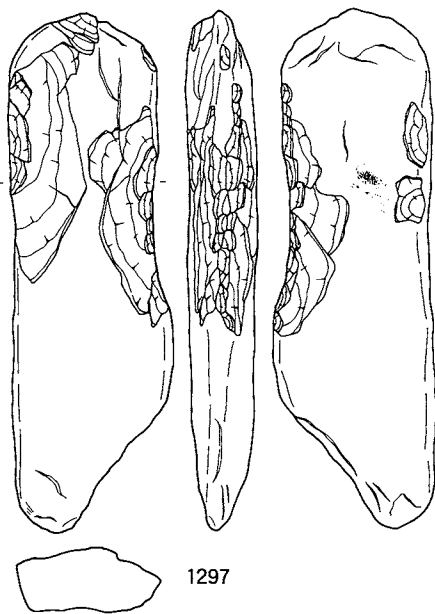
1294



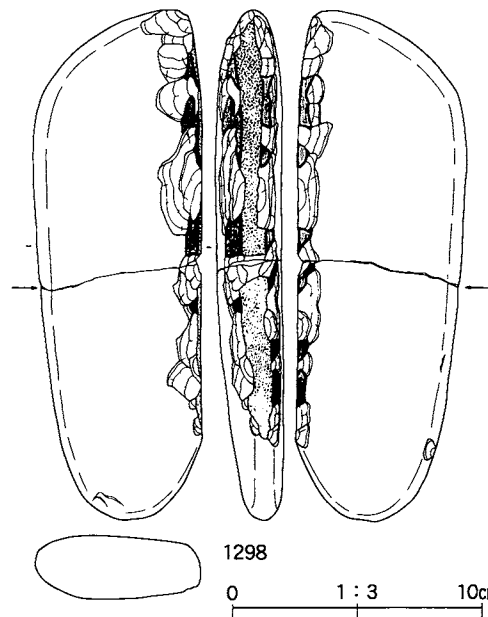
1295



1296



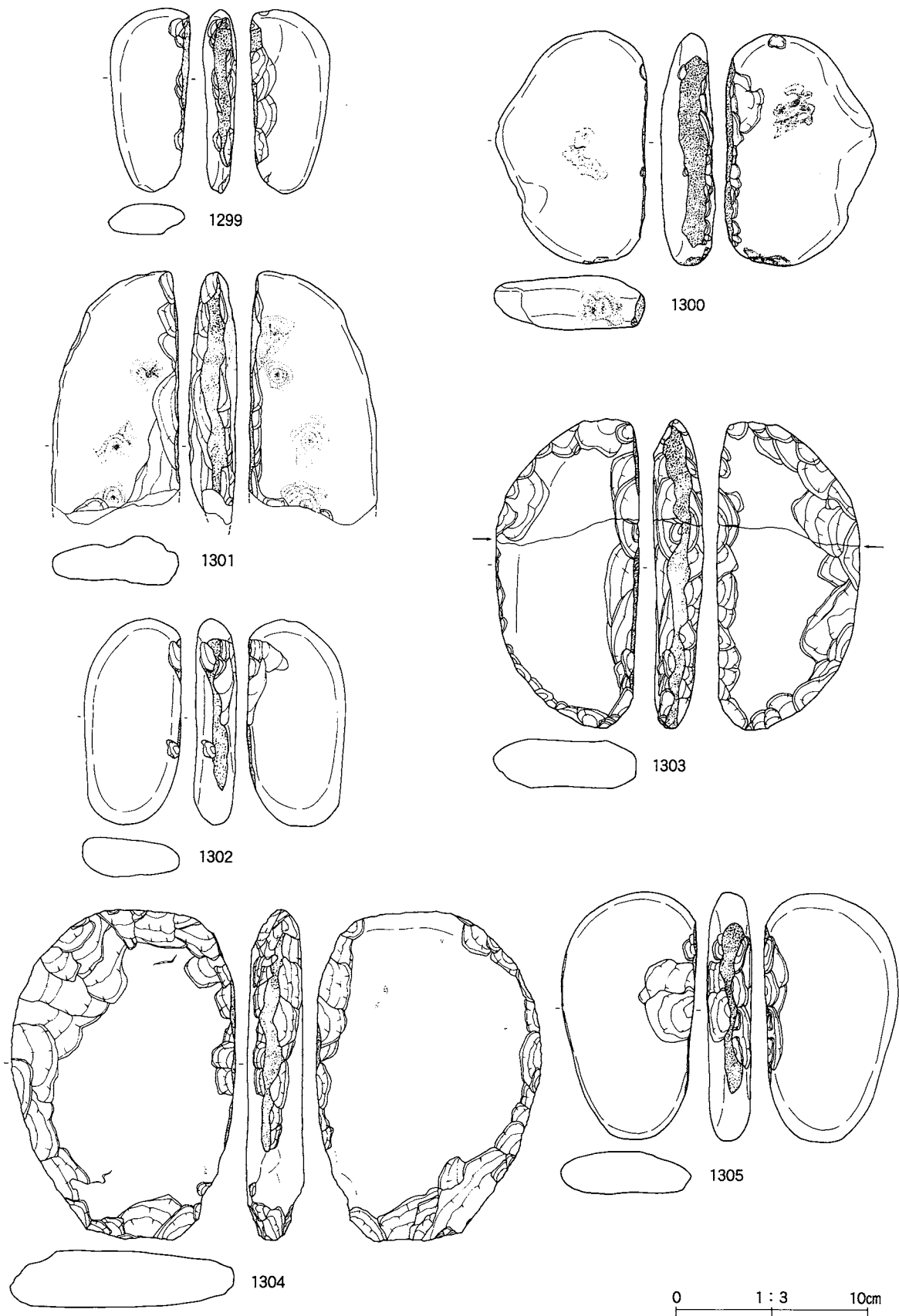
1297



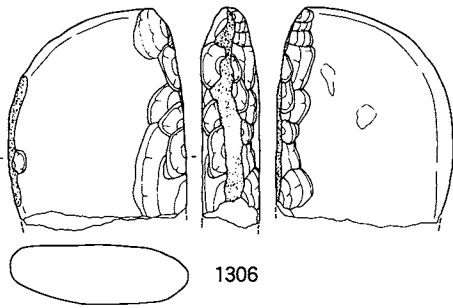
1298

0 1 : 3 10cm

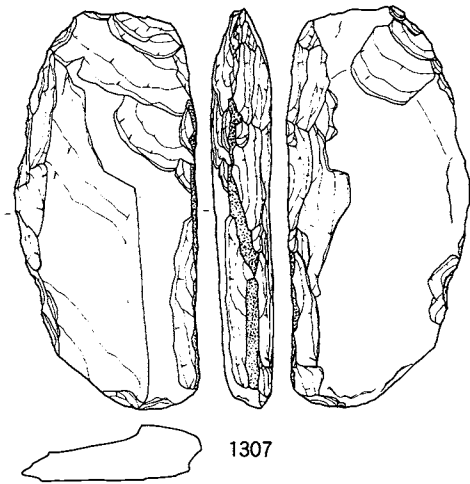
第174図 石器(35)



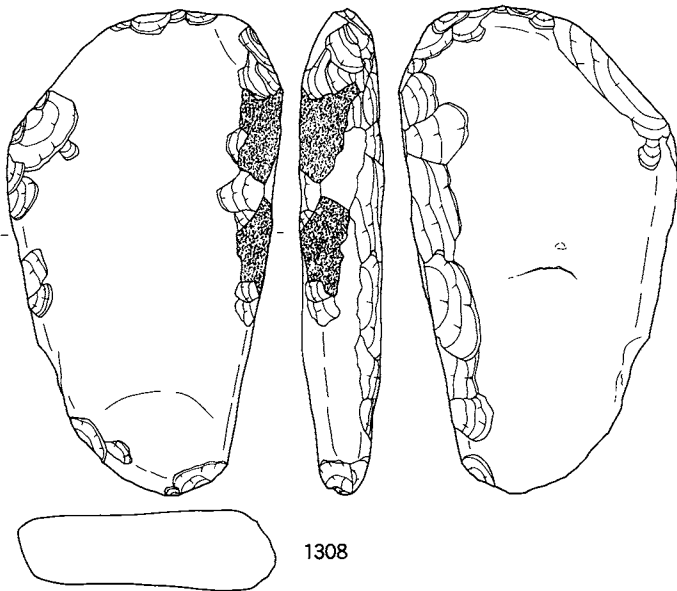
第175图 石器(36)



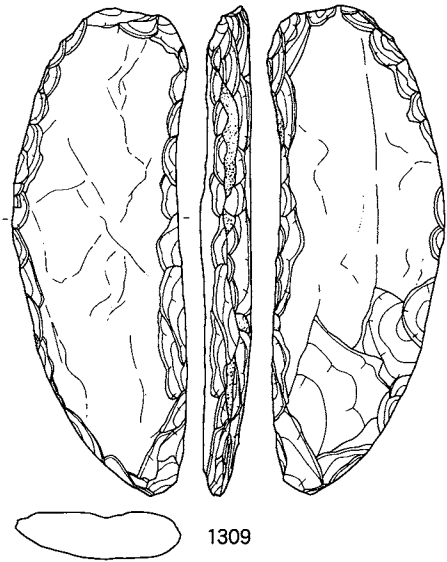
1306



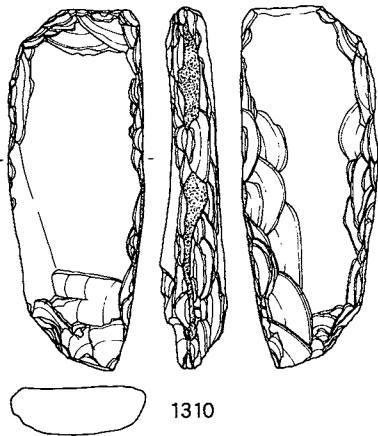
1307



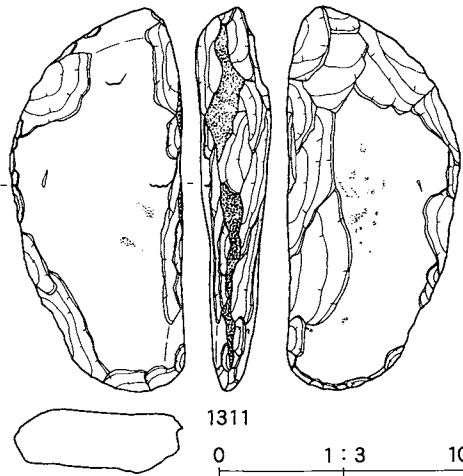
1308



1309



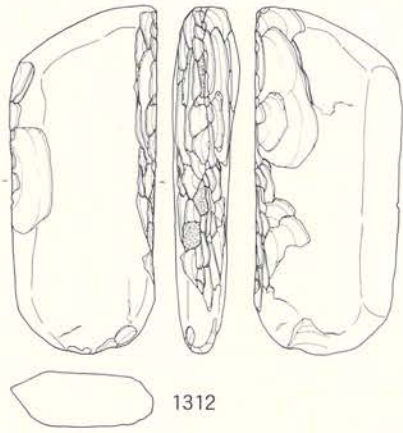
1310



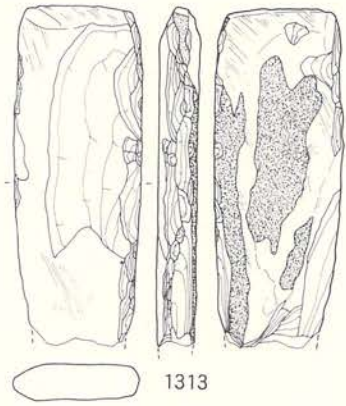
1311

0 1 : 3 10cm

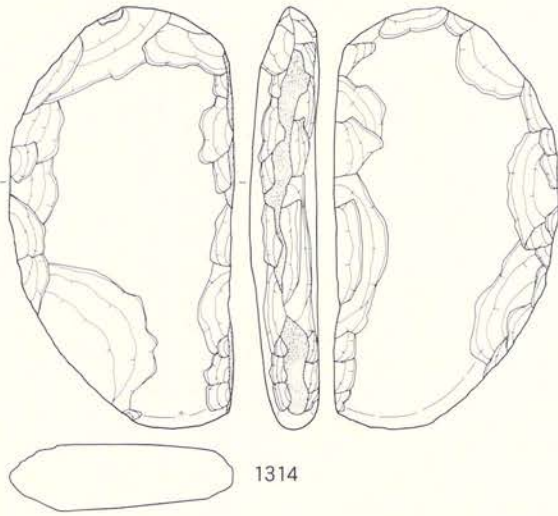
第176圖 石器(37)



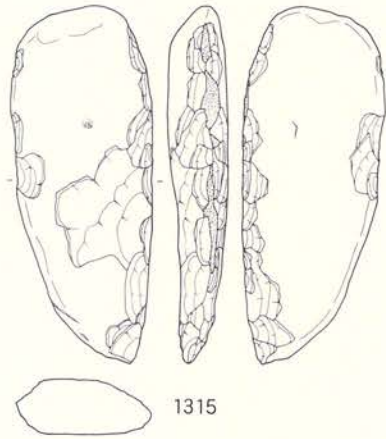
1312



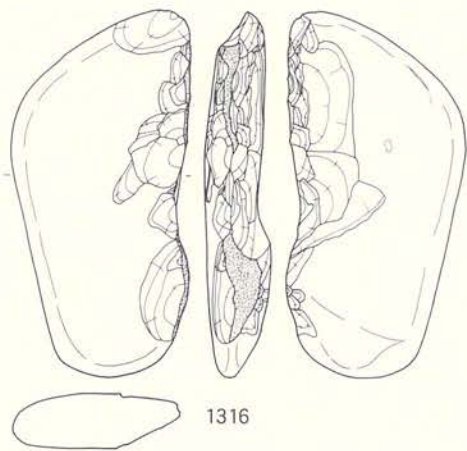
1313



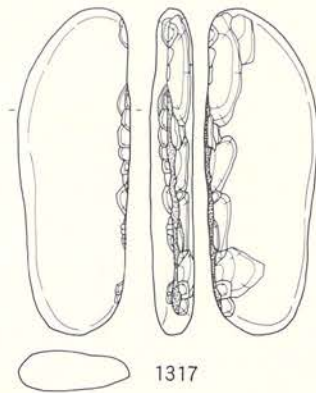
1314



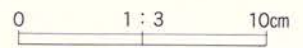
1315



1316

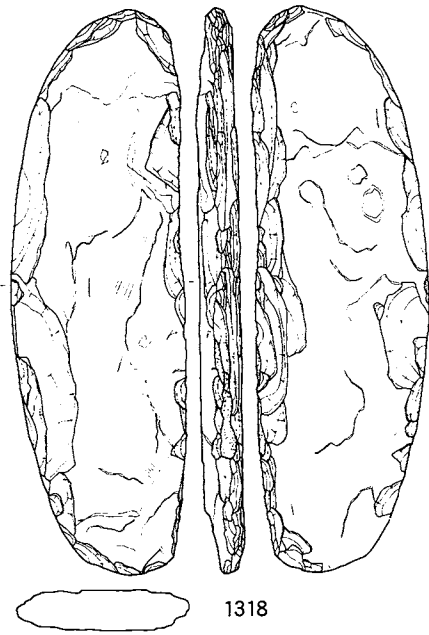


1317

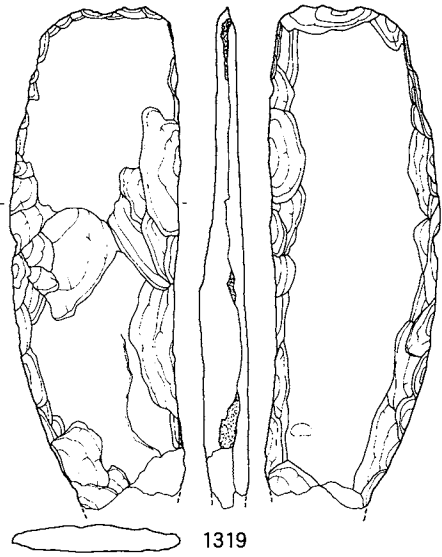


第177図 石器(38)

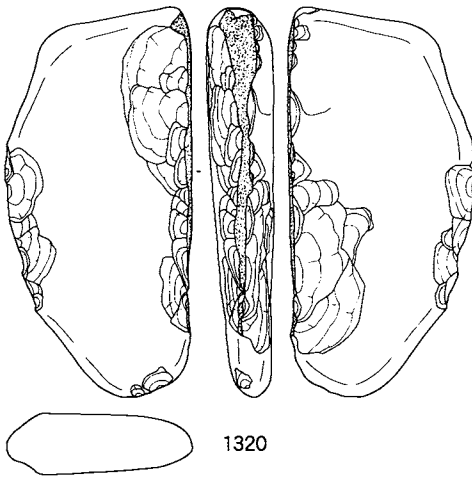




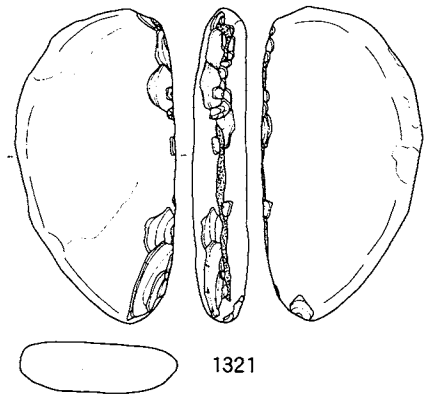
1318



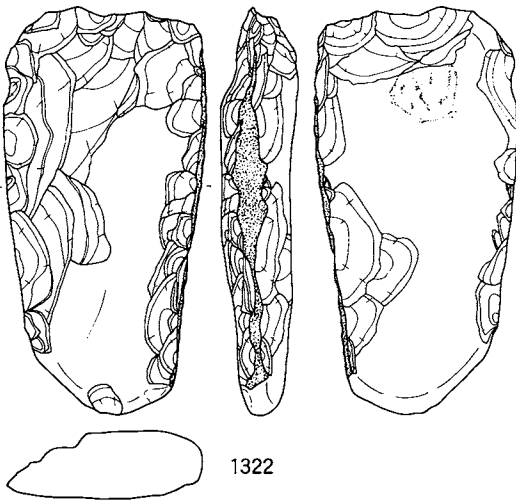
1319



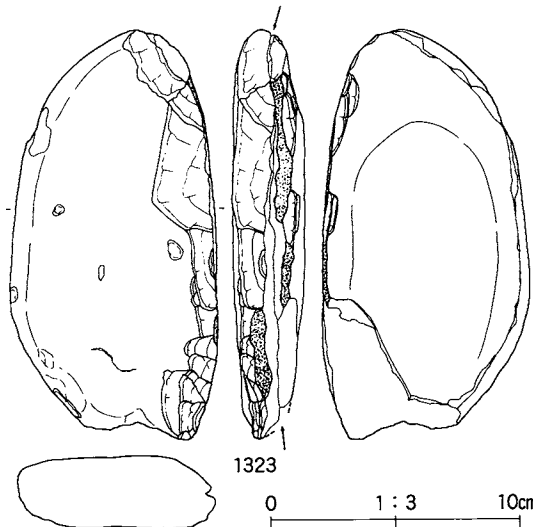
1320



1321



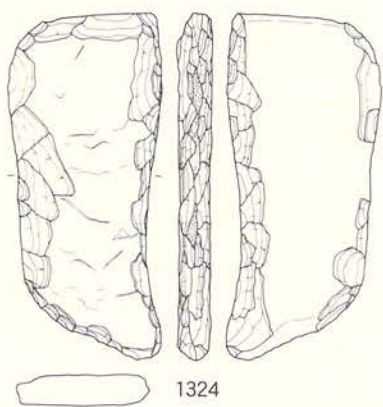
1322



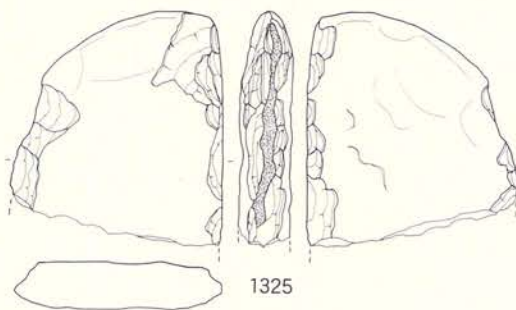
1323

0 1 : 3 10cm

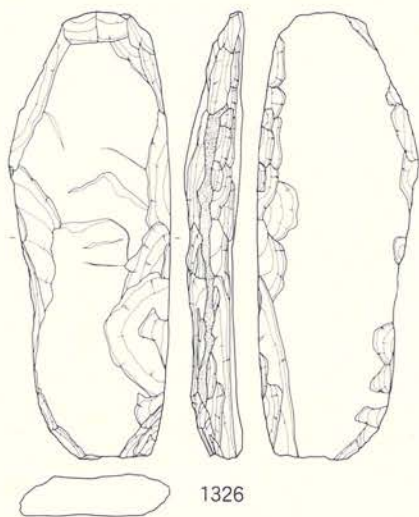
第178図 石器(39)



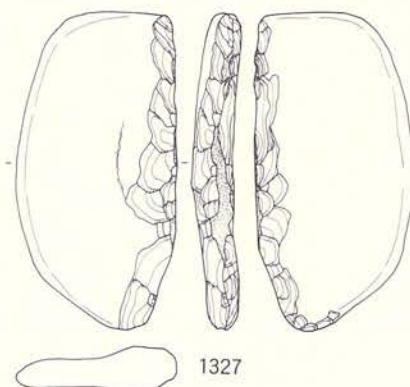
1324



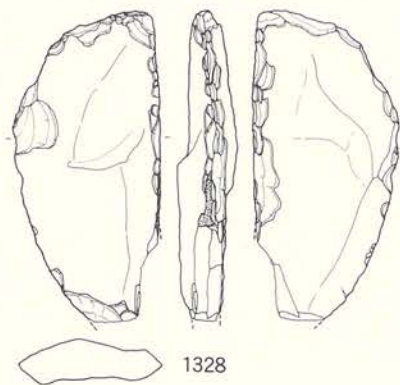
1325



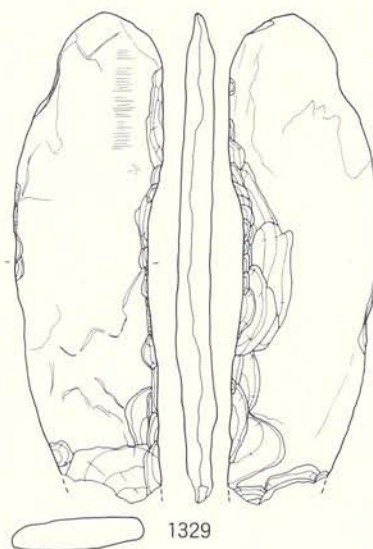
1326



1327



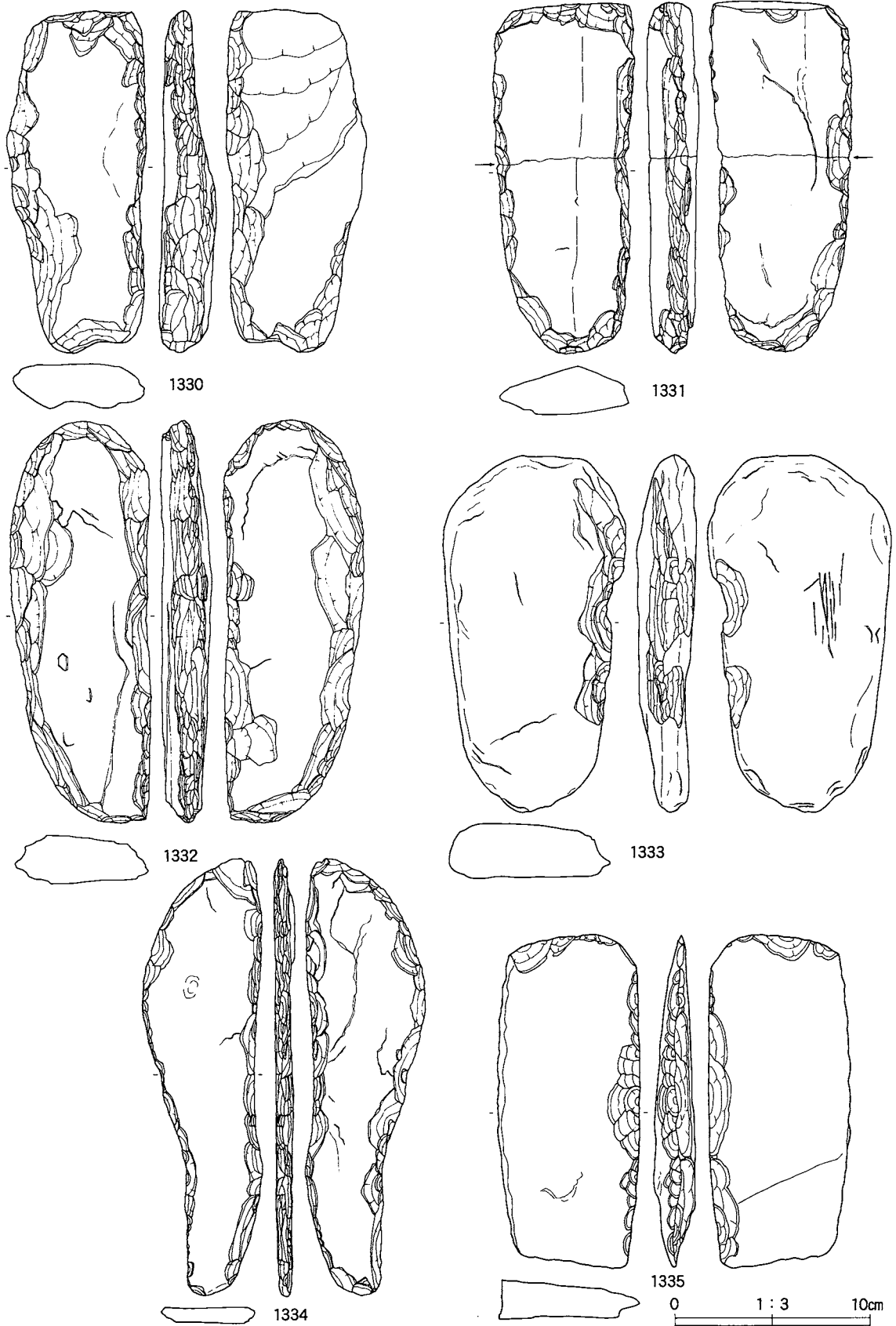
1328



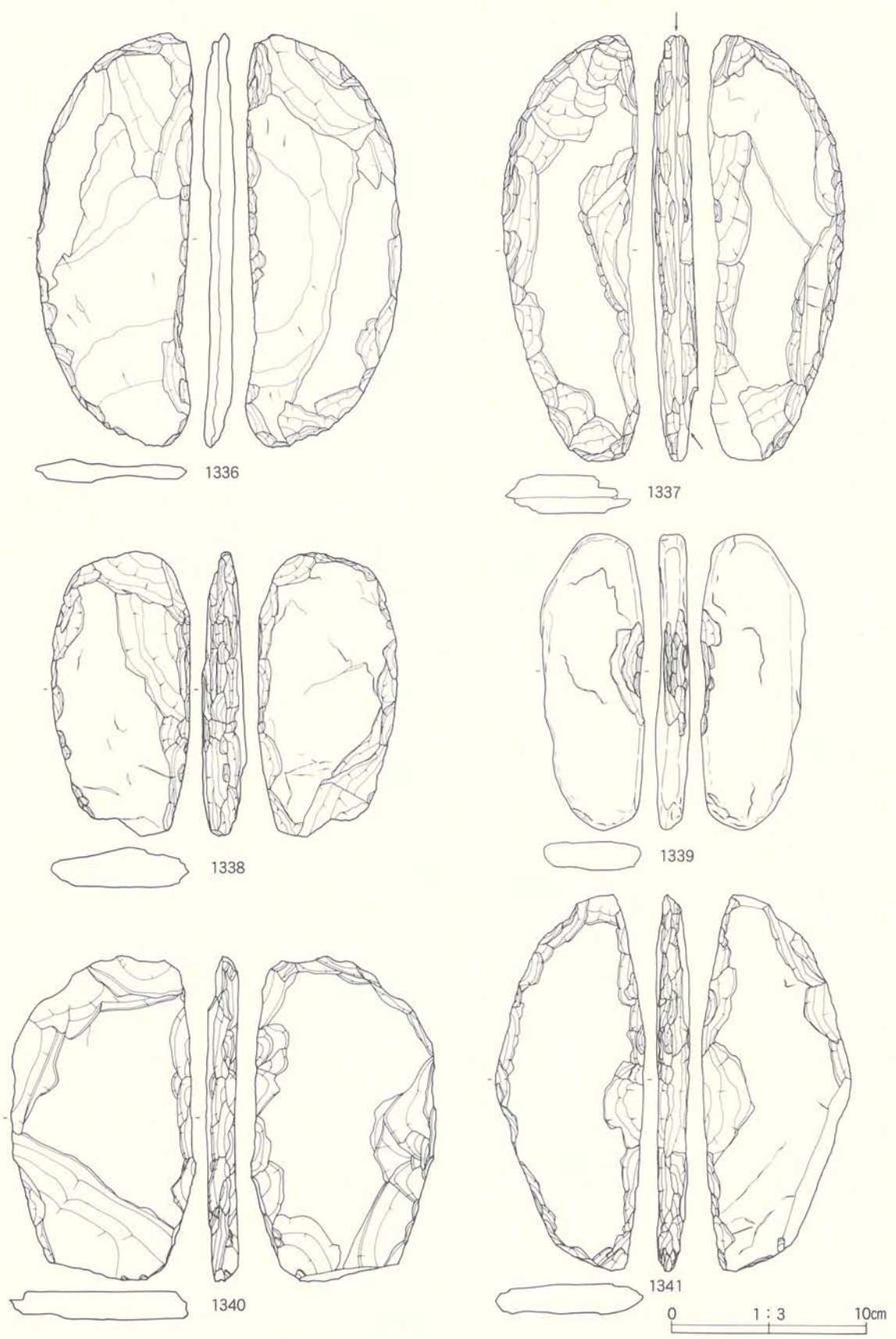
1329

0 1 : 3 10cm

第179图 石器(40)

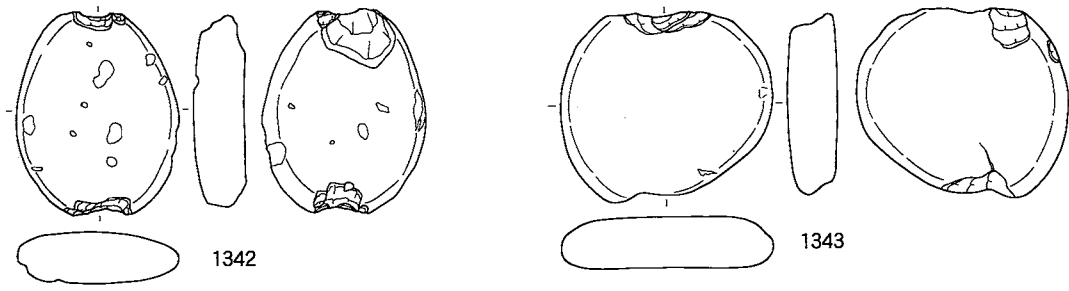


第180圖 石器(41)



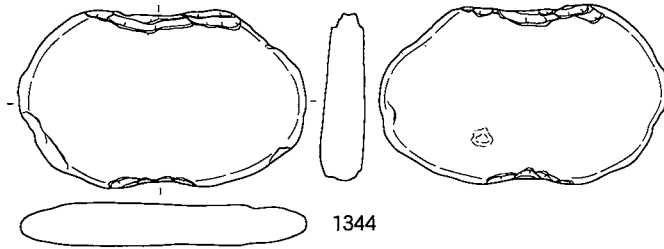
第181図 石器(42)



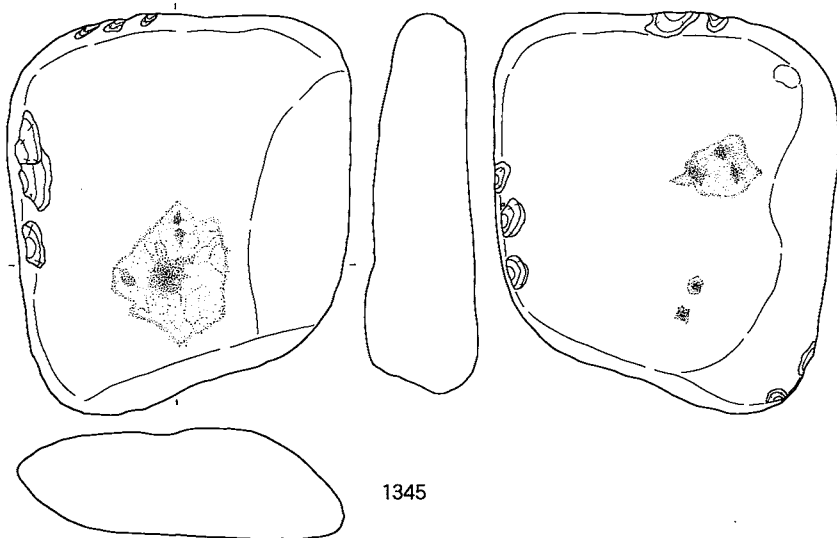


1342

1343



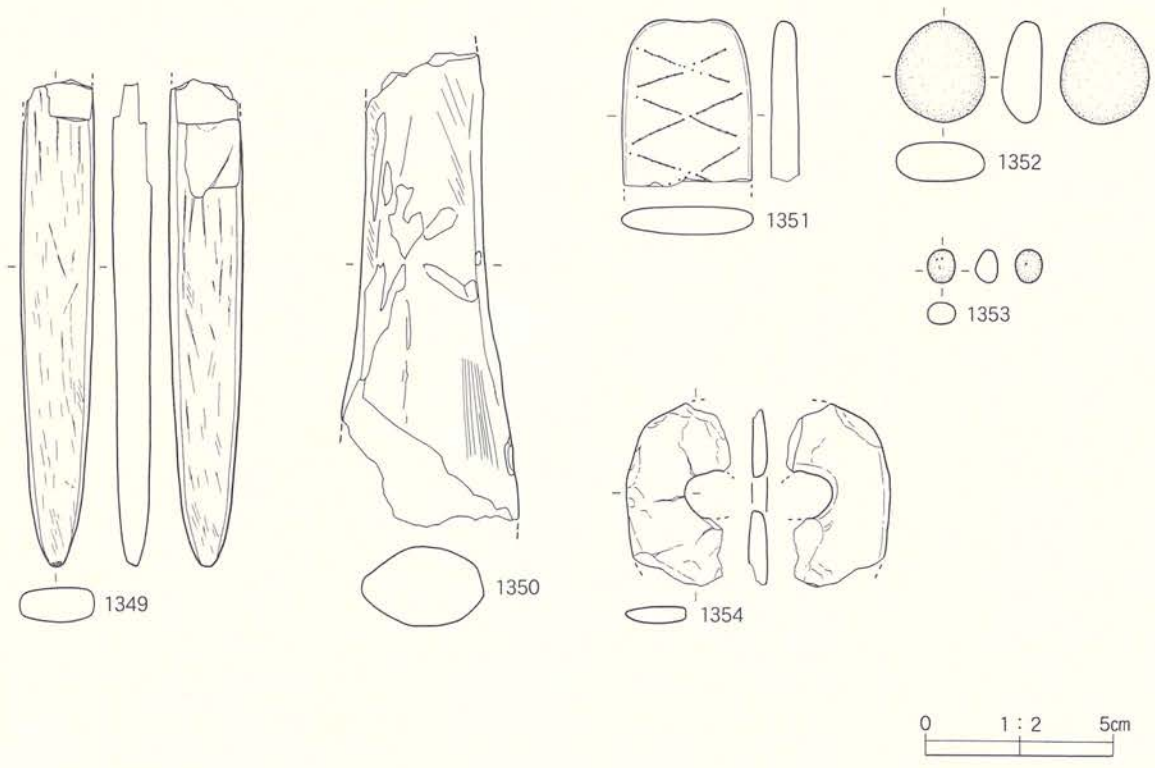
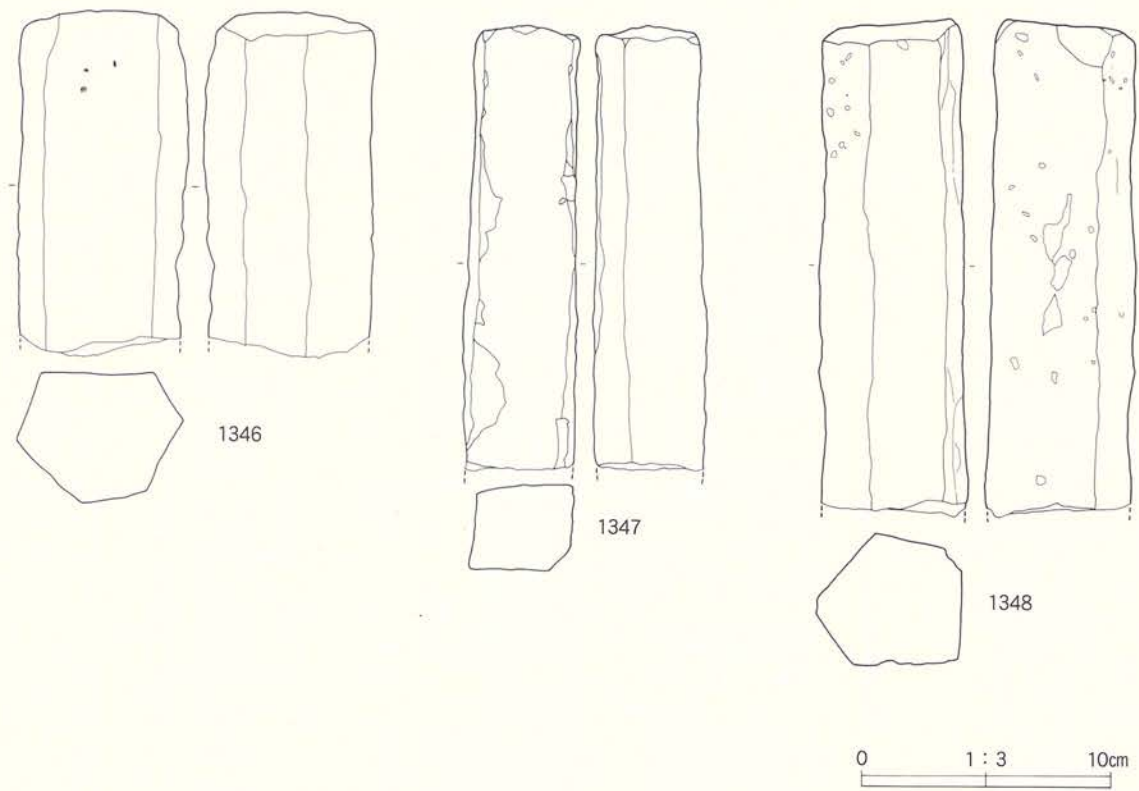
1344



1345

0 1 : 3 10cm

第182図 石器(43)



第183図 石製品

## 6. 金属製品 (第184～190図、写真図版139～143：1401～1470)

### 鉄鍋 (第184・185図・写真図版139：1401)

鉄鍋は1点出土している。RD51墓壙からの出土である。3耳式の内耳鉄鍋で完形品である。大きさは、口径28.5cm、底径20.8cm、器高15.0cm、重量は3,900gである。器形は、底部は緩く湾曲し、胴部は直線的にやや開いて立ち上がる。外帯の幅は4cmあり、口縁部は、胴部と明瞭な段差をもって外傾する。口縁内面には、二等辺三角形の三つの頂点に位置するようにL字状に折れ曲がった形状の耳が縦位に取り付けられている。耳の断面形は円形である。底面外側の中央付近には、長さ6.6cm、幅1.2cmの一文字の湯口跡があり、0.8cmほど隆起している。鉄鍋の内面底部と耳部に繊維状の付着物がみられ、口唇部には木質状の付着物がみられる。成分分析は、白鑄鉄であるとの鑑定結果を得ている。

### 鉄製鎌 (第185図・写真図版139：1402)

鎌は1本出土している。RD51墓壙からの出土である。地金部分は残存しているが、木製の柄は部分的にしか遺っていない。刃部は、長さ14.6cm、幅4.6cm、厚さ0.1cmである。刃と柄の部分は120度開いている。地金部分と木製柄の部分は、鉄輪状のもので抑えられていたようで、地金部分に目釘穴は確認されていない。

### 鉄釘 (第186図・写真図版140：1403～1419)

鉄釘は18本出土している。17本を掲載した。RB01掘立柱建物跡-PP2、RD21・RD25・RD46墓壙・RD40土坑からの出土である。墓壙と考えられる遺構から出土しており、木質部が付着していることから、棺桶に使用された部材片と考えられる。鉄釘の形状は、残存する状況での長さは1.5cm～4.6cmで、断面の形状は、径0.4～0.5cmの方形を呈する角釘で、折れ釘もある。

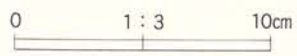
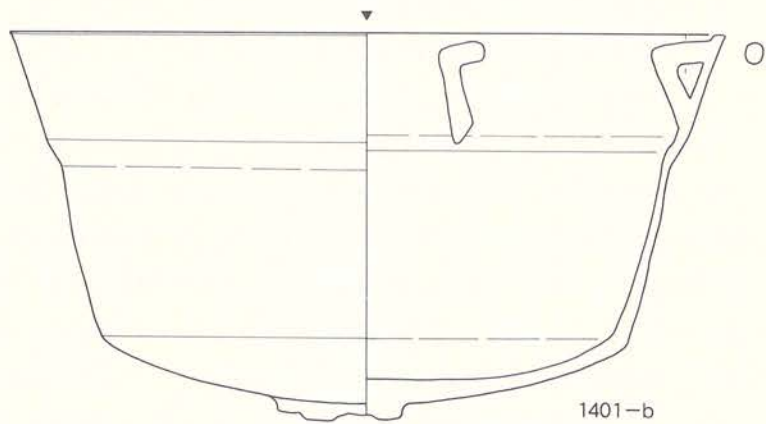
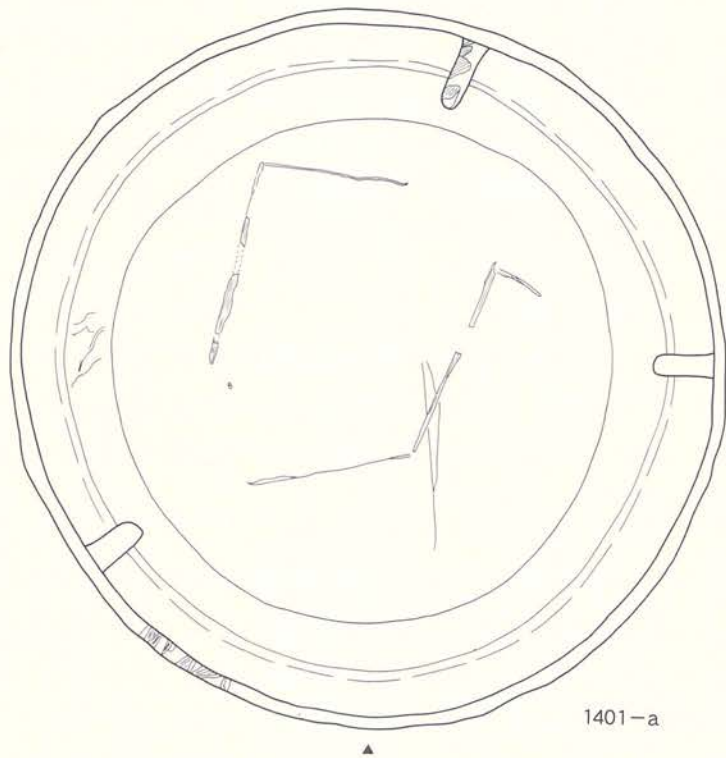
### 銭貨 (第187～190図・写真図版140～143：1420～1470)

銭貨は51点・114枚出土しており、全て掲載した。複数枚の貨幣が密着しているものもあり、正確な枚数は不明な部分もある。銭貨の種類は、元豊通寶(初鑄年1078年)1枚、洪武通寶(初鑄年1368年)3(6カ)枚、無文銭90(87カ)枚、寛永通寶(初鑄年1636年)19枚：古寛永(初鑄年1636年)2(7カ)枚、新寛永(初鑄年1697年)5(10カ)枚、文銭(初鑄年1668年)2枚、鉄銭1枚である。

銭貨が出土した遺構は、RB01掘立柱建物跡-PP13・RB02掘立柱建物跡-PP2、RD22・RD24・RD25・RD51墓壙がある。前者は柱穴埋土から出土した混入品で、後者は墓壙の副葬品と考えられる。

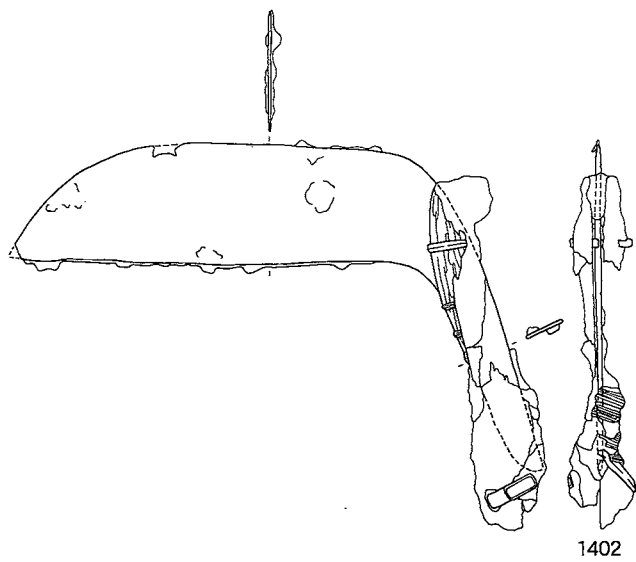
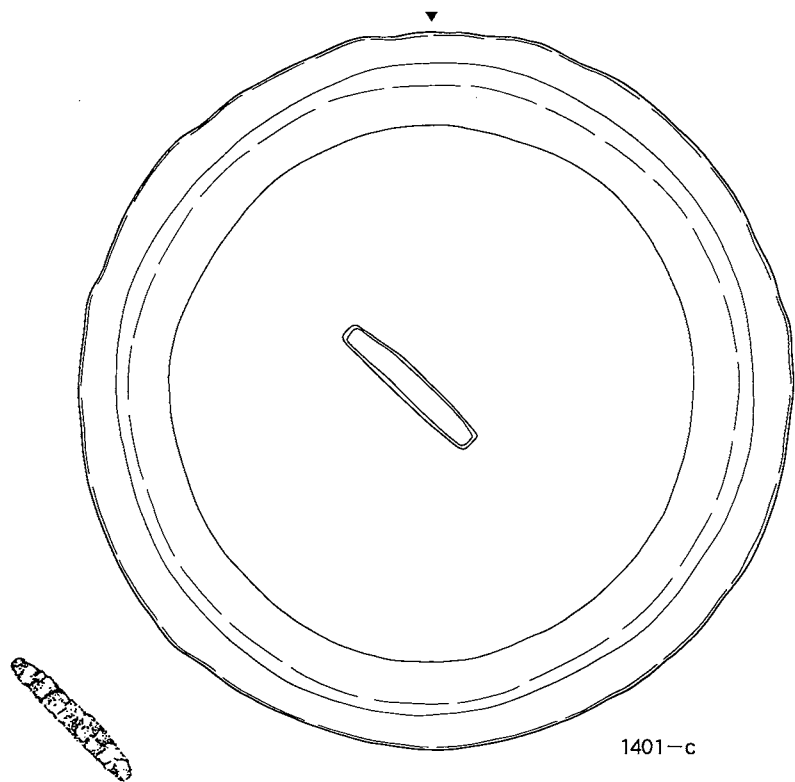
墓壙から出土した銭貨の内訳をみると、RD22墓壙から寛永通寶5枚(古寛永)、RD24墓壙から寛永通寶7枚(新寛永)、元豊通寶1枚、RD25墓壙から寛永通寶4枚(古寛永2枚・新寛永2枚(背文))である。

RD51墓壙からは、洪武通寶と無文銭からなる鏹銭(模鑄銭)が緇銭の状態出土している。39点93枚であるが、密着した状態であり、全て切り放した状態ではないので、枚数は推定である。緇銭の内訳は、洪武通寶と無文銭に大別され、無文銭は穿の形状から方形穿、隅丸胴張穿、円形穿などの種類がみられる。1435・1436・1438の3枚には、洪武通寶の銭銘がみえる。1435・1439は、鑄型の中に溶銅が行き渡らないもの。1467は、鑄型の中に溶銅を流し込んだとき、上下の鑄型から銅が外に流れ出して固まったバリを残している。枝銭として鑄造された貨幣の切り離しの際に本体の一部を切断した痕跡がみられるものが16枚と多い。1459は、ふたつの無文銭が連なった状態である。参考までに、本来の緇銭の状態の長さ(分銅)と重量を推定すると、約7cm(分銅)の長さ(分銅)と重量(分銅)の集計値(7.07cm)、46.7g(分銅)の重量(分銅)の集計値(46.7g)である。



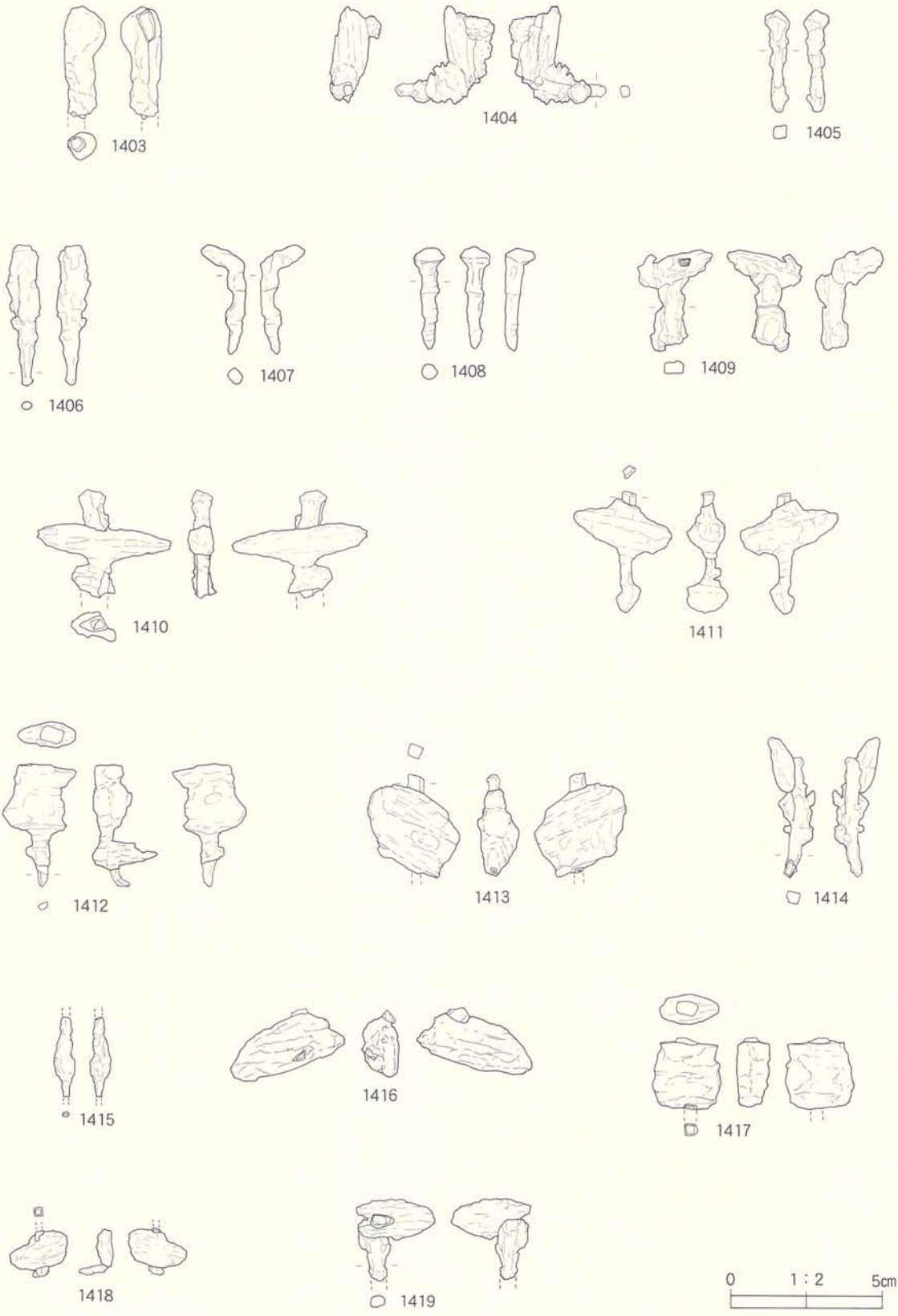
第184図 金属製品(1)





0 1:3 10cm

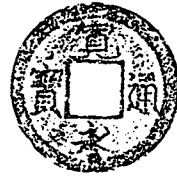
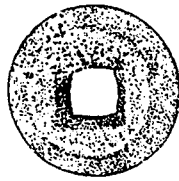
第185図 金属製品(2)



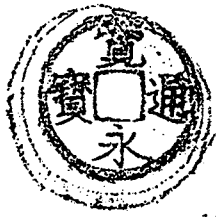
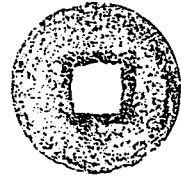
第186図 金属製品(3)



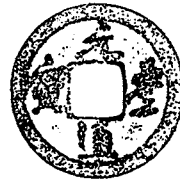
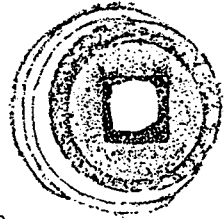
1420



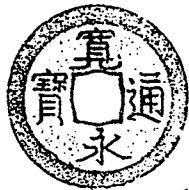
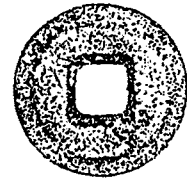
1421



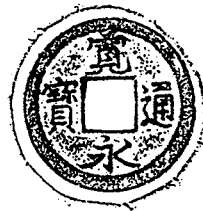
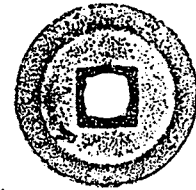
1422



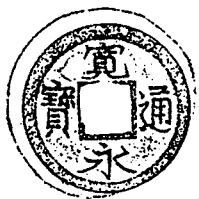
1423



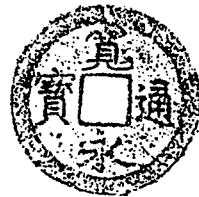
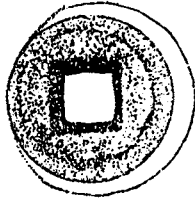
1424



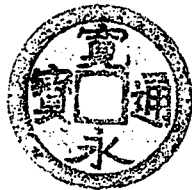
1425



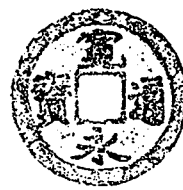
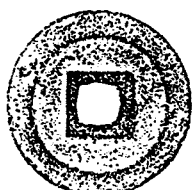
1426



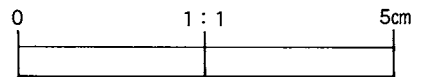
1427



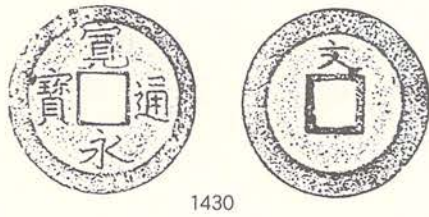
1428



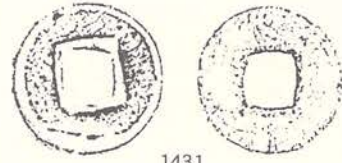
1429



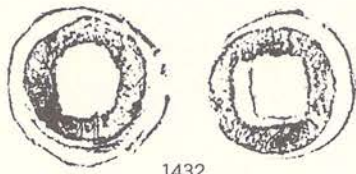
第187圖 金屬製品(4)



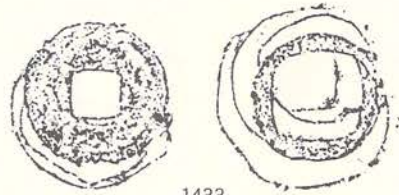
1430



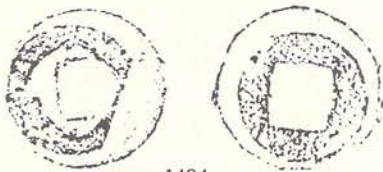
1431



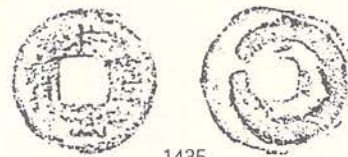
1432



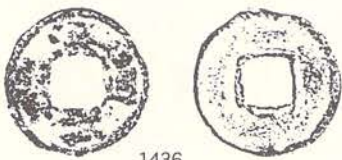
1433



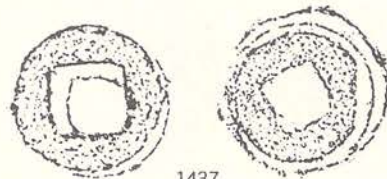
1434



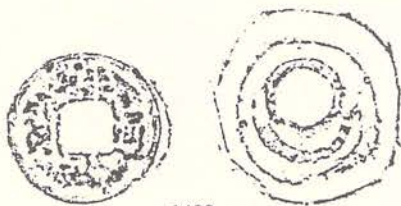
1435



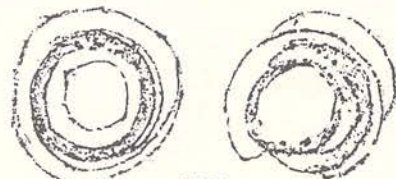
1436



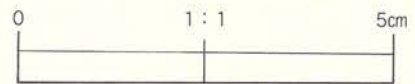
1437



1438

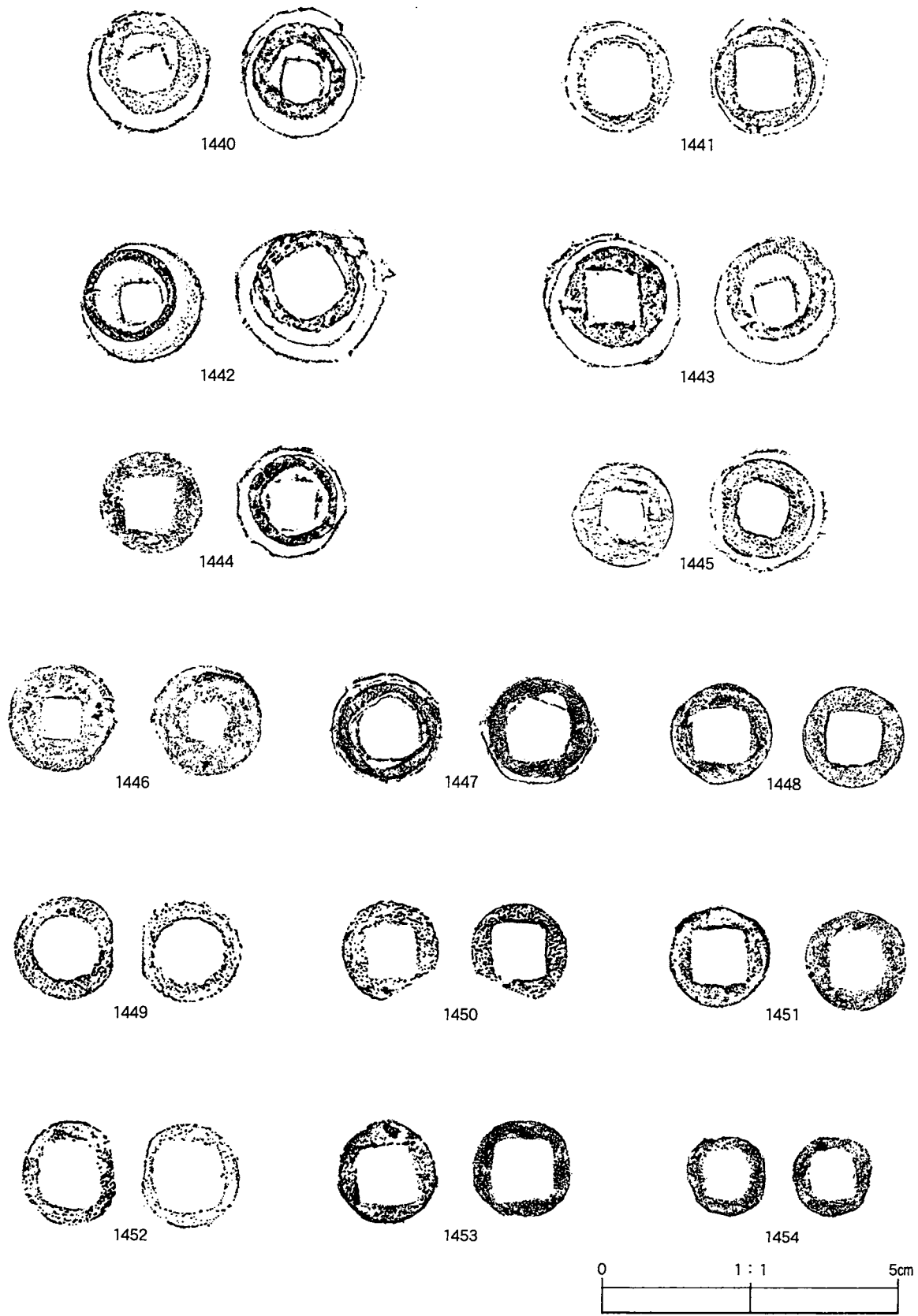


1439

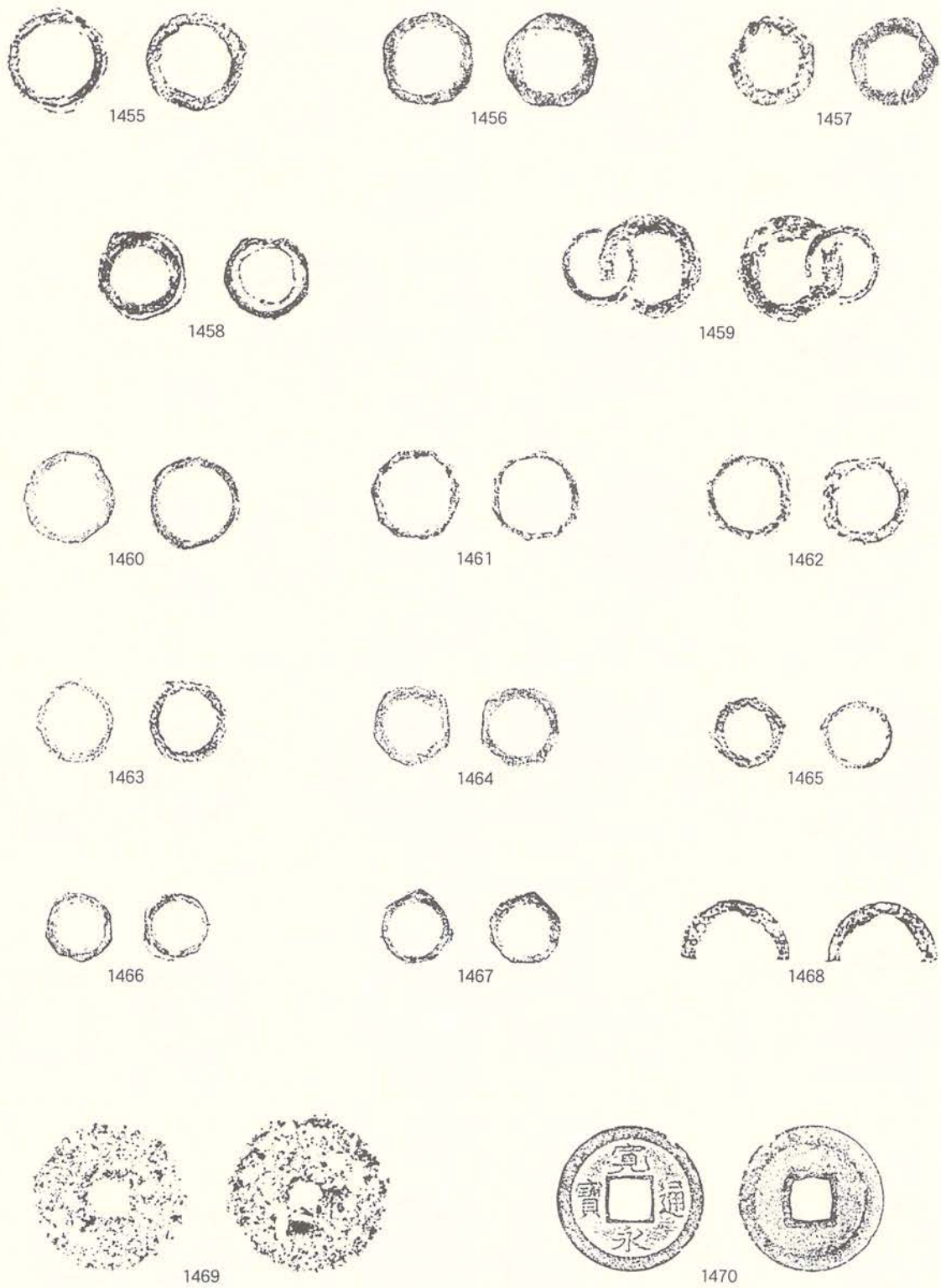


第188図 金属製品(5)





第189圖 金属製品(6)



第190図 金属製品(7)

表4 土器観察表(2) 縄文土器

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
58	1	RD15	埋土	深鉢	胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	2	II
58	2	RD19	Pot1	深鉢	胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II
58	3	RD53	埋土下位	深鉢	口唇: 原体側圧RL・LR、頸: 原体側圧LR・RL、胴: 結束1LR・RLヨコ。	Mb	4	II 3a
58	4	RD53	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧RL・LR、頸: 原体側圧RL、胴: 結束1LR・RLヨコ。	Mb	4	II 3a
58	5	RD53	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧R、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3a
58	6	RD53	埋土	深鉢	口唇: 刻目、口~胴: 結束1RL・LRヨコ。	-	4	II 2a
59	7	RD53	埋土下位	深鉢	口唇: 原体側圧RL、口~胴: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧RL。	Mb	4	II 2b
59	8	RD53	埋土下位	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧RL・LR。	Mb	4	II 2b
59	9	RD53	埋土下位	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ/原体側圧LR・RL。	Mb	4	II 2b
59	10	RD53	埋土下位	深鉢	胴: 単軸絡6、Rタテ、単軸絡1、Rヨコ。	Nd	4	II
59	11	RD54	埋土6層	深鉢	胴: 単軸絡1、Rヨコ?	Nd	4	II
59	12	RD54	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3a
60	13	RD54	埋土	深鉢	口: 原体側圧L、頸: 刻目、胴: 結束1LR・RLタテ。	Mb	4	II 3b
60	14	RD54	埋土	深鉢	口唇: 圧痕、口: 単軸絡3ヨコ、頸: 隆帯+圧痕、胴: 単軸絡3ヨコ→LRヨコ。	Nb	4	II 1b
60	15	RD54	埋土	小型深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+原体側圧、胴: 単軸絡1、Rヨコ→LRヨコ。	Nb	4	II 1b
60	16	RD54	埋土	小型深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ?	Ma	4	II 2b
60	17	RD54	埋土	小型深鉢	胴: 結束1RL・LRタテ/結節タテ。	Nd	3	II
60	18	RD54	北半埋土2層	ミニチュア	無文。	Nb	3	II 5
60	19	RD55	埋土	深鉢	口・胴: 結束1LR・RLヨコ、頸: 圧痕2列。	Nb	3	II 2b
60	20	RD55	埋土	深鉢	口~胴: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯2+刺突。	Mb	4	II 2b
61	21	RD56	北半埋土	深鉢	胴: RLヨコ、底: 網代痕?	Mb	4	II
61	22	RD60	埋土上位	深鉢	口唇: 原体側圧RL、口~胴: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯+刻目。	Mb	3	II 2b
61	23	RD60	埋土上位	深鉢	口: 結束1ヨコ、頸: 隆帯+刻目、胴: RLRヨコ/単軸絡1、Rタテ、底: 単軸絡1。	Mb	3	II 2b
62	24	RD60	埋土上位	深鉢	口~胴: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯2+刻目。	Mb	4	II 2b
62	25	RD60	埋土上位	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯2+刻目、胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II 2b
62	26	RD60	埋土上位	深鉢	口: RLRヨコ、胴: 単軸絡1、LRタテ。	Mb	4	II 2a
62	27	RD60	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: RLヨコ。	Mb	3	II 3b
62	28	RD60	埋土下位	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、頸: 絡条体圧(単軸絡1)、胴: 単軸絡6、Rタテ。	-	4	II 2b
63	29	RD60	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+圧痕、胴: 結束1LR・RLタテ/ヨコ。	Mb	3	II 2b
63	30	RD60	埋土下位	深鉢	口~胴: 単軸絡1、Lタテ、頸: 隆帯+原体側圧r。	Nb	4	II 2b
63	31	RD60	埋土下位	深鉢	口~胴: 結束1LR・RLタテ。	Nb	4	II 2a
63	32	RD60	南半埋土下位	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡1、Rタテ。	Nb	4	II 2b
63	33	RD60	埋土下位	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、胴: 結束1LR・RLタテ。	-	4	II 2a
64	34	RD60	埋土下位	深鉢	口唇: 結節ヨコ、胴: LRヨコ/結節ヨコ。	-	4	II 1a
64	35	RD60	埋土下位	深鉢	胴: LRヨコ(0段多糸)。	-	4	II
64	36	RD60	埋土下位	深鉢	胴: 単軸絡1、Rタテ。	-	4	II
64	37	RD60	埋土	深鉢	口~胴: RLRヨコ、頸: 隆帯+刻目。	Nb	4	II 2b
64	38	RD60	埋土	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 刺突。	Nb	4	II 2b
64	39	RD60	埋土	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧LR、底: 網代痕?	Nb	4	II 2b
65	40	RD60	埋土	深鉢	口~胴: LRヨコ。	-	4	II 2a
65	41	RD60	埋土下位	深鉢	胴: 単軸絡1、Rタテ/結節ヨコ。	Na	4	II
65	42	RD60	埋土	深鉢	胴: 結束1LR・RLヨコ/結節ヨコ。	Ma	4	II
65	43	RD60	埋土	深鉢	胴: RLRヨコ?	-	4	II
65	44	RD60	北半埋土	深鉢	胴: 単軸絡1、Rタテ、底: 網代痕?	-	4	II
65	45	RZ01	埋設土器	深鉢	胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II
66	46	RG02	Pot44	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 結束1LR・RLヨコ/LRヨコ。	Mb	4	II 3a
66	47	RG02	Pot45	深鉢	口: 単軸絡1、Rヨコ、胴: 単軸絡1、Rタテ。	-	4	II 2a
66	48	RG02	Pot42	深鉢	口唇・口: 原体側圧L、頸: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3a
66	49	RG02	Pot36	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 単軸絡1、Rタテ/結節Rタテ。	Mb	4	II 3a
66	50	RG02	Pot41	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧LR・RL/刺突列、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3b
66	51	RG02	Pot42	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧LR、穿孔。	Nb	4	II 2b
67	52	RG03	23層	深鉢	口~胴: 多軸絡(?), Rタテ。	-	4	II 2a
67	53	RG03	31層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: RLRタテ/LRタテ。	Nb	4	II 2a
67	54	RG03	4層	小型深鉢	口~胴: 結束1LR・RLヨコ。	N	4	II 2a
67	55	RG03	4層	深鉢	口: 原体側圧R、頸: 隆帯+原体側圧R、胴: 結束1RL・RLタテ。	Nb	3	II 3b

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
67	56	RG03	4層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。頸: 隆帯+原体側圧RL。胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	3	II 2b
67	57	RG03	4層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。頸: 隆帯+原体側圧RL。胴: 結束1RL・LRタテ。	Nb	4	II 2b
68	58	RG03	4層	深鉢	口: 原体側圧LR。胴: 単軸絡5, Rタテ。	Mb	3	II 3a
68	59	RG03	4層	深鉢	口: 原体側圧LR・RL。胴: LRタテ。	Mb	3	II 2b
68	60	RG03	4層	深鉢	胴: LRヨコ→Rヨコ。	—	3	II
68	61	RG03	4層	深鉢	頸: 隆帯+刻目/原体側圧LR。胴: 多軸絡(?), タテ。	Na	3	II
68	62	RG03	4層	深鉢	頸: 隆帯+刺突。胴: 結束1RL・LRタテ。	Ma	3	II 2b
68	63	RG03	4層	深鉢	口~胴: RLRヨコ。頸: 原体側圧LR。	—	4	II 2b
69	64	RG03	4層	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+圧痕。胴: LRヨコ。	Nb	3	II 1b
69	65	RG03	4層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。胴: RLRヨコ。	Nb	3	II 2a
69	66	RG03	4~7層	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+原体側圧LR。胴: LRタテ/結節タテ。	Nb	4	II 1b
69	67	RG03	4層	深鉢	口~胴: 結束1LR・RLタテ。	—	4	II 2a
69	68	RG03	7層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。胴: 結束1RL・LRタテ→単軸絡1, Rタテ。	Nb	3	II 2b
69	69	RG03	4層	深鉢	口: 単軸絡1, Rヨコ。頸: 隆帯+刻目。胴: 単軸絡1, タテ/ヨコ。	Mb	3	II 2b
70	70	RG03	西半埋土4層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR。頸: 隆帯+原体側圧LR。胴: LRヨコ/結節Rヨコ。	Mb	4	II 3b
70	71	RG03	4層	深鉢	口: 原体側圧LR。頸: 隆帯+原体側圧。胴: 結束1RL・RLタテ。	Mb	3	II 3b
70	72	RG03	7層	深鉢	口: 原体側圧LR。頸: 刺突列。胴: 結束1RL・LRタテ/結節タテ。	Nb	3	II 3b
71	73	RG03	7層	深鉢	口: 原体側圧LR。頸: 隆帯+刻目。胴: RLヨコ/結節ヨコ。	Nc	3	II 3a
71	74	RG03	7層	深鉢	口~胴: 結束1LR・RLヨコ→単軸絡1, Rタテ。頸: 隆帯+原体側圧RL。	Ma	3	II 2b
71	75	RG03	12層	深鉢	胴: LRタテ・ヨコ・ナナム/単軸絡1, Rタテ。底: 単軸絡1, R。	—	3	II
71	76	RG03	14層	深鉢	口~胴: RLRヨコ。	Nb	4	II 2a
71	77	RG03	23層	深鉢	口: LRヨコ。頸: 隆帯+刻目。胴: LRヨコ→単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II 2b
72	78	RG03	31層	深鉢	口: 原体側圧L・R/刺突列。胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4b
72	79	RG03	埋土	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。頸: 隆帯+刻目。胴: 単軸絡1, Rタテ。	Nb	3	II 2b
72	80	RG03	埋土	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+刺突。胴: 単軸絡1A, タテ。	Nb	3	II 1b
72	81	RG03	12層	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+刺突。胴: 多軸絡タテ。	Mb	4	II 1b
72	82	RG03	埋土	深鉢	口~胴: LRタテ。頸: 隆帯+原体側圧LR。	Nb	3	II 2b
73	83	RG03	埋土	深鉢	口: RLヨコ/結節ヨコ。頸: 隆帯。胴: RLRヨコ。	Mb	3	II 2b
73	84	RG03	埋土	深鉢	口: 結節ヨコ。胴: 単軸絡1A, タテ/結節ヨコ。	—	4	II 1a
73	85	RG03	埋土	深鉢	口: 単軸絡3, ヨコ。頸: 原体側圧r?。胴: 単軸絡1, rタテ。	—	4	II 1b
73	86	RG03	23層	深鉢	胴: 結束1RL・LRヨコ。	—	4	II
73	87	RG03	西半埋土	深鉢	口: 単軸絡3, ヨコ。	M	4	II 1
73	88	RG03	東半埋土	深鉢	口: LRヨコ。頸: 隆帯+刺突。胴: 多軸絡(?), Lタテ。	Nb	4	II 2b
73	89	RG03	埋土	深鉢	無文。	Ma	4	II 5
73	90	RG03	北半埋土	深鉢	胴: 単軸絡1, Rタテ。底: 上げ底。	Nb	4	II 4?
74	91	RG05	3層	深鉢	口: 縄巻き縄ヨコ。頸: 隆帯。胴: LRヨコ→単軸絡3, ヨコ。	Nb	3	II 2b
74	92	RG05	埋土	深鉢	口: 原体側圧LR。頸: 刻目。胴: 結束1RL・LRヨコ。	Ma	4	II 3a
74	93	RG05	埋土	深鉢	口: 原体側圧LR・LR。頸: 隆帯+刺突・刻目。胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II 3a
75	94	RG05	東半埋土	深鉢	口唇: 刺突。口: 縄巻き縄ヨコ。頸: 隆帯+原体側圧LR。胴: 単軸絡1, Rタテ/結節ヨコ。	Nb	4	II 1b
75	95	RG05	2層	深鉢	頸: 隆帯+刻目。胴: 結束1RL・LRタテ。	Ma	4	II
75	96	RG05	埋土	深鉢	口: 単軸絡5, Lタテ。頸: 隆帯+刺突。胴: RLRヨコ。	—	4	II 2b
75	97	F7H04	II b層	深鉢	口: 原体側圧R。胴: 単軸絡1A, Lタテ。	Mb	3	II 4a
76	98	F7H05	II c層	深鉢	口唇~口: 原体側圧RL+r・LR+1。胴: 結束1RL+r・LR+1ヨコ。	Mb	4	II 4a
76	99	F7H05	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR。胴: 結束1LR+LL・RL+LLヨコ。	Mb	3	II 4a
76	100	F7H05	II c層	深鉢	口: 原体側圧R。胴: 結束第1LR・RLヨコ。	Mb	3	II 3a
76	101	F7H05	II c層	深鉢	口: 原体側圧R。胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 3a
76	102	F7H05	II a層	ミニチュア	無文。	N?	4	II 5
76	103	F7H05	II 層	深鉢	口: 絡糸体圧(単軸絡5)。頸: 刺突列。胴: 単軸絡1A, Rタテ。	Mb	3	II 4b
76	104	F7H05	4層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR。頸: 原体側圧RL。胴: 結束1LR・RLヨコ。底: 結束1。	Mb	4	II 3a
76	105	F7H05~105	4層	深鉢	口唇: LRヨコ。口: 原体側圧R。胴: 結束1LR・RLヨコ。	Mb	3	II 4a
76	106	F7H05~105	3層	深鉢	胴: 結束1LR・LRヨコ。	Md	3	II 4a
77	107	F7H05~105	3層	深鉢	口: 原体側圧L/LR。胴: 結節ヨコ/結束1LR+LL・RL+RRヨコ。	Mc	3	II 4a
77	108	F7H05~105	4層	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 2a
77	109	F7105	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突。胴: 結束1RL・LRヨコ/単軸絡1, Lタテ。	Mb	3	II 4a
77	110	F7105	II c層	台付深鉢	胴: 多軸絡(?), Rタテ。脚: 原体側圧R・Rヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II 4b
77	111	F7105	II c層	深鉢	口: 絡糸体圧(単軸絡1, L)。胴: 単軸絡1, Lタテ。	Mb	4	II 2a



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
77	112	F7I05	IIc層	深鉢	口:原体側圧R、頸:結節、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
77	113	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突列(縦位)、胴:結束1RL・LR+r。	Mb	3	II4b
77	114	F7H06	IIc層	深鉢	口:絡条体圧(単軸絡5、R)/刺突列、胴:単絡体1A、Lタテ。	Me	3	II4a
77	115	F7H06	IIc層	深鉢	口:絡条体圧(単軸絡5、L)、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	116	F7H06	IIc層	深鉢	口:絡条体圧、頸:刺突/補修孔、胴:結束1RL・LRヨコ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	117	F7H06	IIc層	深鉢	口唇~口:原体側圧L、頸:刺突列/貫通孔、胴:単軸絡1A、L・Rタテ。	Mb	3	II4a
78	118	F7H06	IIc層	深鉢	口:単軸絡1RL・LRヨコ、胴:結束1RL・LRヨコ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	119	F7H06	II d層	深鉢	口唇:RLヨコ、口:原体側圧L・R/刺突、頸:刺突/貫通孔、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	120	F7H06	II d層	深鉢	胴:結束1RL・LRヨコ。	Md	3	II4a
79	121	F7H06	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:原体側圧RLR、胴:RLRヨコ。	Nb	4	II3a
79	122	F7H06	II d層	深鉢	口:LRヨコ、頸:原体側圧LR、胴:RLヨコ/結節ヨコ。	Nb	3	II2b
79	123	F7H06	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II2a
79	124	F7I06	II a層	深鉢	口唇:LRヨコ、原体側圧LR、胴:単軸絡1A、L・Rタテ。	Mb	3	II4a
79	125	F7I06	II a層	深鉢	口唇・口:原体側圧LR、胴:単軸絡1A、L・Rタテ。	Mb	3	II4a
80	126	F7G07	II a層	深鉢	口:原体側圧R、頸:隆帯+原体側圧RL/絡条体圧(単軸1)、胴:LRヨコ。	Mb	4	II3b
80	127	F7G07	IIc層	深鉢	口:絡条体圧、頸:隆帯+圧痕、胴:多軸絡(?), Rタテ、底縁:圧痕。	Mb	4	II3b
80	128	F7G07	IIc層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ、頸:原体側圧LR、胴:多軸絡(?), Rタテ。	Mb	3	II2b
80	129	F7G07	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:結束1LR・RRヨコ。	-	4	II4a
81	130	F7G07	Pot31	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ。	-	4	II2a
81	131	F7H07	II a層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2b
81	132	F7H07	10層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突列、胴:結束1RL・LRタテ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
81	133	F7H07	10層	深鉢	口:絡条体圧(単軸絡1、L)、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
81	134	F7H07	II b層	深鉢	口:絡条体圧(単軸絡1、R)、頸:刺突列、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mc	3	II4a
82	135	F7H07	IIc層	深鉢	口唇:原体側圧RL、口~胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
82	136	F7H07	II d層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ、頸:隆帯+原体側圧RL/LR、胴:LRヨコ。	Nb	4	II2b
82	137	F7H07	II d層	深鉢	口唇:RLヨコ、口:原体側圧/絡条体圧、頸:隆帯+刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4b
82	138	F7H07	II d層	深鉢	胴:多軸絡5、Rタテ。	Md	3	II
82	139	F7H07	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:RL・LRタテ。	Nb	4	II2b
82	140	F7H07	9層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ、頸:原体側圧、胴:単軸絡1、Rタテ。	Mb	3	II2b
83	141	F7I07	IIc層	深鉢	口:原体側圧L、胴:単軸絡6、Rタテ。	Mb	4	II3a
83	142	F7I07	IIc層	深鉢	口:結節ヨコ/原体側圧R、胴:結束1RL・LRヨコ/結節LRヨコ。	Mb	4	II2b
83	143	F7I07	IIc層	深鉢	口~胴:結束1LR・RLヨコ/単軸絡1、Rタテ、頸:隆帯+刻目/原体側圧LR・RL。	Mb	4	II2b
83	144	F7I07	IIc層	深鉢	口唇:RLヨコ、口:絡条体圧(単軸絡5)、頸:隆帯+刺突、胴:多軸絡(7)、タテ。	Mb	4	II4a
83	145	F7I07	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:結束1RL・LRヨコ/結束2LR・RLヨコ。	Mb	4	II4a
84	146	F7G08	Pot26	深鉢	口:原体側圧LR、頸:沈線、胴:結束1RL・LRヨコ。	-	4	II3a
84	147	F7H08	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:結束1RL・LRヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II3a
84	148	F7H08	II b層	深鉢	口唇~口:原体側圧R、頸:原体側圧LR・RL、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
84	149	F7H08	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刺突、胴:単軸絡1、LRタテ。	Mb	4	II3b
84	150	F7H08	II d層	深鉢	胴:多軸絡(?), タテ、底:痕癢?	Nb	4	II
84	151	F7I08	II e層	深鉢	口:原体側圧LR・RL、胴:結束1RL・LRヨコ/単軸絡1、Rタテ。	Mb	4	II3a
85	152	F7I08	IIc層	深鉢	口:原体側圧R、頸:結節Lヨコ、胴:単軸絡1A、LRタテ。	Mb	3	II3a
85	153	F7I08	IIc層	深鉢	胴:RLRヨコ、底:RLR→ミガキ。	Nb	4	II
85	154	F7I08	IIc層	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
85	155	F7I08	II d層	深鉢	口~胴:多軸絡(?), Lタテ?	Nb	4	II2a
85	156	F7I08	II d層	深鉢	口:原体側圧R、胴:LRヨコ/結節Rヨコ。	Nb	4	II3a
85	157	F7I08	II d層	深鉢	口:原体側圧R、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
85	158	F7I08	II d層	深鉢	口:原体側圧L、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
86	159	F7I08	II e層	深鉢	口:原体側圧R、胴:LRヨコ。	Mb	4	II3a
86	160	F7I08	II e層	深鉢	口唇:刻目、口:原体側圧LR、胴:LRヨコ。	Mb	4	II3a
86	161	F7I08	II e層	深鉢	口~胴:LRヨコ。	-	4	II2a
86	162	F7I08	IIc層	深鉢	口唇:刺突、胴:結束1LR・RLヨコ/結節Rヨコ。	Mb	4	II2a
86	163	F7I08	II e層	深鉢	胴:多軸絡(?), Rタテ/RLRヨコ、底:RLR。	Nb	4	II
86	164	F7J08	II a層	深鉢	口:原体側圧、胴:結節ヨコ。	Mb	4	II4a
86	165	F7J08	II b層	深鉢	胴:単軸絡1、Rヨコ、底:単軸絡1、R。	-	3	II
87	166	F7F09	II b層	深鉢	口:絡条体圧、胴:多軸絡、タテ?	Mb	3	II3b
87	167	F7F09	Pot49	深鉢	口唇:刻目、口:原体側圧LR、頸:隆帯+刻目/原体側圧、胴:結束1RL・LRタテ、底縁:刻目。	-	4	II3b

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
87	168	F7F09	IIb層	深鉢	口: 原体側圧RL/補修孔1対、頸: 刻目、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 3a
87	169	F7F09	IIb層	深鉢	口: 原体側圧L、頸: 隆帯+刻目、胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II 3b
87	170	F7F09	Pot53	深鉢	口~胴: 単軸絡1, Rタテ、頸: 隆帯+圧痕。	Nb	3	II 2b
87	171	F7F09	IIb層	深鉢	口: 単軸絡3?, ヨコ、胴: 単軸絡1, Rタテ→単軸絡3?, ヨコ。	-	4	II 1a
87	172	F7F09	IIb層	深鉢	口: 原体側圧、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3a
88	173	F7G09	II d層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2b
88	174	F7G09	II d層	深鉢	胴: 単軸絡1A, L・Rタテ/ヨコ、底: 単軸絡1A→ミガキ。	-	4	II
88	175	F7G09	IIa~b層	深鉢	口~胴: 結束1L・Rヨコ。	-	4	II 2a
88	176	F7G09	2層	深鉢	胴: 多軸絡(?), Lタテ/結束1RL・LRヨコ、底: 結束1RL・LR。	Nb	4	II
88	177	F7G09	IIb層	台付深鉢	口: 原体側圧/結節ヨコ、胴: 結束1RL・LRヨコ/結節ヨコ。	Mb	3	II 4b
89	178	F7G09	IIb層	深鉢	口: 結節R、胴: 単軸絡1, Rタテ/結節タテ。	N?	4	II 1a
89	179	F7G09	IIb層	深鉢	口~胴: 多軸絡タテ。	Nb	3	II 2a
89	180	F7G09	IIb層	深鉢	口: 結節ヨコ、胴: LRヨコ。	Nb	4	II 1a
89	181	F7G09	IIb層	深鉢	口唇: 原体側圧LR、口: 原体側圧LR/結束ヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: LR・結節ヨコ/単軸絡5, タテ。	Mb	4	II 3b
89	182	F7G09	IIc層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧RL、胴: RLタテ。	Mb	4	II 3b
90	183	F7G09	Pot24	深鉢	口~胴: 単軸絡1A, タテ/単軸絡1A, ヨコ。	Mb	3	II 2a
90	184	F7G09	Pot24	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2a
90	185	F7G09	Pot14b	深鉢	口~頸: 原体側圧RL・LR、胴: 結束1RL・LRタテ/ヨコ。	-	4	II 3a
90	186	F7G09	Pot46	深鉢	口~胴: LRヨコ。	-	4	II 2a
90	187	F7G09	Pot50	深鉢	口: 単軸絡4, ヨコ、頸: 隆帯+原体側圧、胴: RLRヨコ/単軸絡4, ヨコ/結節。	Mb	3	II 2b
90	188	F7G09	Pot65	深鉢	口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRタテ。	Ne	3	II 3b
91	189	F7H09	IIb層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+刺突、胴: 単軸絡1A, R・Lタテ。	Mb	4	II 3b
91	190	F7区ベルト2	3層	深鉢	口~胴: 単軸絡1, Rタテ。	M?	3	II 2a
91	191	F7109	IIe層	深鉢	口: 原体側圧L, 頸: 隆帯+圧痕、胴: 単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II 3b
91	192	F7区ベルト2	8層	深鉢	口: 原体側圧LR・RL、頸: 隆帯+原体側圧LR・RL、胴: 単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II 3b
91	193	F7109	IIe層	小型深鉢	底: 糜痕?	-	3	II
91	194	F7H09	Pot29	小型深鉢	無文。	Nb	4	II 5
91	195	F7109	IIe層	深鉢	口~胴: RLRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧RL。	Mb	4	II 2b
92	196	F7109	IIe層	深鉢	口: 縄巻き縄ヨコ、頸: 隆帯+刺突/沈線、胴: 単軸絡1A, RLタテ。	Ne	4	II 1b
92	197	F7区ベルト2	8層	深鉢	口: 結節ヨコ、胴: 単軸絡1, Rタテ/結節ヨコ。	Nb	4	II 1a
92	198	F7区ベルト2	8層	深鉢	口: 縄巻き縄ヨコ、胴: 単軸絡1, Rタテ/結節Rヨコ。	N?	4	II 1a
92	199	F7J09	IIa層	深鉢	底: 圧痕?→粘土貼付、内面に貼り瘤。	-	4	II
92	200	F7J09	II d層	深鉢	口唇: 原体側圧R?, 口~胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 2a
92	201	F7J09	II d層	深鉢	胴: LRタテ、底: 網代痕?→ミガキ。	Nb	4	II
92	202	F7J09	IIe層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡4, タテ。	Nb	3	II 1b
93	203	F7F10ベルト	IIa層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3b
93	204	F7F10	IIa層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: LRヨコ。	Nb	4	II 1b
93	205	F7F10ベルト	IIa層	深鉢	口: 単軸絡3, Lヨコ、頸: 圧痕、胴: RLRヨコ/単軸絡3, Lタテ。	-	4	II 1b
93	206	F7F10	IIb層	深鉢	胴: 単軸絡1A, タテ/LRヨコ、底縁: 刻目。	-	4	II
93	207	F7F10	IIb層	深鉢	口~胴: LRLタテ/結束1RL・LRヨコ。	-	4	II 2a
93	208	F7F10	IIb層	深鉢	口唇: 原体側圧LR、口: 結束1ヨコ、頸: 隆帯+刺突+原体側圧LR、胴: 結束1タテ。	Nb	4	II 2b
93	209	F7F10	IIa層	ミニチュア	無文。	-	4	II 5
93	210	F7F10	IIa層	ミニチュア	無文。	Nb	4	II 5
93	211	F7F10	II d層	ミニチュア	胴: RLタテ。	Nb	4	II 5
94	212	F7F10	II d層	深鉢	口~胴: 単軸絡1, Rタテ。	-	4	II 2a
94	213	F7G10	IIa層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ、底: 圧痕?→ミガキ。	Mb	4	II 3a
94	214	F7G10	IIb層	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧。	Ne	4	II 2b
94	215	F7G10	IIb層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: RLRヨコ。	Nb	4	II 2b
94	216	F7G10	IIb層	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	-	4	II 2b
95	217	F7G10	IIb層	深鉢	胴: RLRヨコ/結節ヨコ、底: 糜痕。	Nb	4	II
95	218	F7G10	IIb層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯、胴: RLRヨコ。	Mb	4	II 1b
95	219	F7G10	IIb層	浅鉢	口: 単軸絡5, Rタテ。	Nb	4	II 5
95	220	F7G10	IIb層	浅鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+刻目、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 1b
95	221	F7G10	II d層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、頸: 隆帯2+原体側圧LR、胴: RLRヨコ/結節ヨコ。	Nb	4	II 2b
96	222	F7G10~F10	II d層	深鉢	口~胴: LRLヨコ、頸: 刺突。	-	4	II 2b
96	223	F7G10	II d層	深鉢	口~胴: LRタテ/ヨコ/単軸絡1, Rタテ。	-	4	II 2a

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
96	224	F7G10	7層	浅鉢	口~胴:LRヨコ、頸:原体側圧LR。	Nb	4	II2b
96	225	F7G10	7層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ、頸:隆帯2+原体側圧、胴:多軸絡(?), タテ/単軸絡3, ヨコ。	Mb	3	II2b
96	226	F7G10	7層	深鉢	口~胴:多軸絡(6), R・Rタテ、頸:隆帯+刻目。	Nb	4	II2b
96	227	F7G10	7層	深鉢	口:結節ヨコ、頸:隆帯、胴:RLRヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II1a
97	228	F7G10	Pot56	深鉢	口:絡条体圧(単軸絡1, R)、頸:隆帯+絡条体圧、胴:RLRヨコ。	Nb	4	II3b
97	229	F7G10	IIa層	深鉢	口唇~口:縄巻き縄ヨコ、頸:隆帯+圧痕、胴:多軸絡(?), タテ?	Nb	4	II1b
97	230	F7G10	Pot58	深鉢	口:縄巻き縄ヨコ、頸:隆帯+絡条体圧、胴:単軸絡1, Rタテ/LRヨコ。	Nb	3	II1b
97	231	F7G10	IIf層	深鉢	口唇:原体側圧R、口:原体側圧LR、胴:単軸絡1, Rタテ/ナナム。	Nb	4	II3a
97	232	F7H10	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刺突、胴:LLRヨコ。	Mb	4	II3b
98	233	F7F11	4層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刻目、胴:LRヨコ。	Nb	4	II3a
98	234	F7G11	3層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	-	4	II3b
98	235	F7G11	IIa層	小型深鉢	胴:縄巻き縄ヨコ?、底:縄巻き縄。	-	4	II
98	236	F7G11	II d層	小型深鉢	胴:LRタテ、底:LR?	-	4	II
98	237	F7G11	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:原体側圧/刺突、胴:単軸絡1, LRタテ。	Mb	4	II3a
98	238	F7G11	II d層	浅鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:単軸絡1A, Lタテ。	Mb	4	II3b
98	239	F7G11	II d層	深鉢	口:原体側圧LR・RL、頸:隆帯+原体側圧、胴:結束1RL・LRタテ、底:圧痕。	-	4	II3b
99	240	F7G11	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+圧痕、胴:単軸絡1A, L・Rタテ。	Nb	4	II3b
99	241	F7G11	6層	深鉢	胴:LRヨコ→沈線。	Na	4	II
99	242	F7G11	6層	深鉢	口:原体側圧LRヨコ、胴:LRタテ。	-	4	II2b
99	243	F7G11	6層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ、頸:隆帯+原体側圧LR・RL、胴:結束1RL・LRタテ。	Nb	3	II2b
99	244	F7G11	II f層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:単軸絡1A, L・Rタテ。	Mb	4	II3b
100	245	F7G11	II f層	深鉢	口:沈線、頸:隆帯、胴:単軸絡1, Rタテ。	Ma	4	II5
100	246	F7G11	Pot55	深鉢	胴:LRヨコ。	-	4	II
100	247	F7G11	II f層	深鉢	口~胴:LRヨコ、頸:刺突/原体側圧LR。	-	4	II2b
100	248	F7H10~11	3層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突、胴:多軸絡(9), R・Rタテ。	Mb	3	II4a
101	249	F7H10~11	II f層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯3+刺突、胴:単軸絡1, Rタテ、底:RLR。	Mb	4	II3b
101	250	F7H10~11	II f層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刻目、胴:RLヨコ。	Mb	4	II3b
101	251	F7H10~11	II f層	深鉢	口~胴:LRヨコ/補修孔1対。	Mb	4	II2a
101	252	F7H11	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:単軸絡1A, LL・RRタテ。	Mb	4	II3a
101	253	F7H11	IIa層	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
102	254	F7H11ベルト	IIa層	深鉢	胴:結束1RL・LRヨコ、底:LR。	N	4	II
102	255	F7H11	IIe層	深鉢	胴:LRヨコ。	Ma	4	II
102	256	F7H11	IIe層	深鉢	口:原体側圧R、頸:隆帯+刻目、胴:結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II3b
102	257	F7H11	IIe層	深鉢	口:原体側圧R、頸:絡条体圧(単軸絡1,R)、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
102	258	F7H11	IIe層	深鉢	胴:結束1RL・LRヨコ。	Ma	4	II
102	259	F7H11	7層	深鉢	底:縄巻き縄ヨコ?	-	3	II
102	260	F7H11	II d層	ミニチュア	無文。	N	2	II5
102	261	F7I11	IIa層	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ。	-	4	II
103	262	F7J11	IIa層	深鉢	口:原体側圧R、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II3b
103	263	F7J11	IIa層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ、胴:結束1RL・LRタテ。	-	4	II2a
103	264	F7G12~I12	II d層	深鉢	口:原体側圧R、頸:隆帯+圧痕、胴:LRヨコ/タテ、結節Rタテ、底:LR。	Mb	4	II3b
103	265	F7G12	IIa層	深鉢	胴:RLRタテ、底:RLR。	-	4	II
103	266	F7G12	IIb層	深鉢	底:痕?	N?	4	II
103	267	F7G12~I12	IIb層	深鉢	口~胴:結束1LR・RL+LLヨコ、頸:隆帯。	Mb	4	II2a
103	268	F7G12~I12	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+圧痕、胴:結節ヨコ/単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II3b
104	269	F7G12~I12	II d層	深鉢	口:結束1R・Lヨコ、頸:隆帯、胴:結束1R・Lヨコ/多軸絡(9), Rタテ。	Mb	4	II2b
104	270	F7I12	Pot67	深鉢	口:RL・LR 結束1LR・RLヨコ/原体側圧L、頸:圧痕、胴:LRヨコ・ナナム。	Nb	4	II2b
104	271	F7L13	不明	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:単軸絡1A, Rタテ。	Nb	4	II3b
104	272	F6L24	I層	深鉢	口:原体側圧R・R、胴:RLRナナム。	Mb	3	II4a
105	273	F7I~東側	I層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:単軸絡1, Lタテ。	Mb	4	II4b
105	274	F7区	表土	深鉢	胴:LRタテ、底:LR。	Nb	4	II
105	275	不明	不明	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ、頸:原体側圧LR、胴:単軸絡1A, Rタテ。	Mb	4	II2b
105	276	F5区	トレンチ	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刺突、胴:単軸絡1, Lタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II3b



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
106	277	RA01	埋土	深鉢	口唇・口:原体側圧LR。	Nb	2	II 3?
106	278	RA02付近	II層	深鉢	胴:単軸絡1A, Rタテ。	Na	4	II
106	279	RA02	埋土	深鉢	胴:結束1RL・LRヨコ。	Me	4	II
106	280	RD09	埋土	深鉢	胴:沈線。	Ma	1	IV
106	281	RD09	埋土	深鉢	口:LRタテ/ヨコ。	Nb	1	IV
106	282	RD14	埋土	深鉢	胴:RLRヨコ。	Na	1	IV
106	283	RD15	南半埋土	深鉢	胴:RLRヨコ。	Na	4	II
106	284	RD15	南半埋土	深鉢	胴:RLヨコ。	Na	4	II
106	285	RD15	南半埋土	深鉢	胴:LRヨコ。	Na	4	II
106	286	RD22	埋土	深鉢	胴:LRタテ。	Ma	1	IV
106	287	RD30	埋土1層	深鉢	胴:沈線。	Ma	1	IV
106	288	RD49	1層	深鉢	胴:LRヨコ。	Ma	1	IV
106	289	RD52	埋土	深鉢	口:LRヨコ。	Mb	4	II
106	290	RD52	埋土	深鉢	口:RLタテ/結節Lヨコ。	Mb	4	II
106	291	RD53	埋土下位	深鉢	口唇~口:原体側圧LR、頸:隆帯2+原体側圧LR、胴:多軸絡(?), Rタテ。	Mb	4	II 3b
106	292	RD53	埋土下位	深鉢	口唇~口:原体側圧LR、頸:原体側圧LR、胴:多軸絡, タテ?	Mb	4	II 3a
106	293	RD53	埋土	深鉢	口唇~口:原体側圧LR、頸:隆帯+刺突、胴:単軸絡, タテ?	Nb	4	II 3b
107	294	RD53	埋土下位	深鉢	口唇:原体側圧(結節部)、口:原体側圧R/刻目、胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3a
107	295	RD53	埋土下位	深鉢	口:単軸絡1A, RLヨコ、頸:隆帯+刺突、胴:単軸絡1A, R・Lタテ。	Mb	3	II 4a
107	296	RD53	埋土	深鉢	口:単軸絡1, Rヨコ、胴:単軸絡1, Rタテ/結節ヨコ。	Nb	3	II 4a
107	297	RD53	東半埋土	深鉢	口唇~口:結節Rヨコ、胴:LRヨコ。	Nb	4	II 1a
107	298	RD53	東半埋土	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ、頸:原体側圧LR。	Mb	4	II 2b
107	299	RD53	埋土	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2
107	300	RD53	埋土	深鉢	口:結節Rヨコ、胴:LRタテ。	Nb	4	II 1a
107	301	RD54	南半埋土	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯2+刺突、胴:多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3b
107	302	RD54	北半埋土2層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:RLヨコ。	Mb	4	II 3a
107	303	RD54	埋土2層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刻目、胴:単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II 3b
107	304	RD54	北半埋土3層	深鉢	口:LRヨコ→原体側圧LR。	-	4	II 2b
107	305	RD54	北半埋土3層	深鉢	口唇~口:結節Rヨコ、胴:単軸絡1A, Rタテ。	-	4	II 1a
108	306	RD54	北半埋土5層	深鉢	口:結節Rヨコ、胴:LRタテ。	Mb	4	II 1a
108	307	RD54	埋土7層	深鉢	口:結節Rヨコ、胴:LRヨコ。	Nb	4	II 1a
108	308	RD54	南半埋土	深鉢	口:原体側圧LR、胴:LRヨコ。	Mb	4	II 2b
108	309	RD54	南半埋土	深鉢	口唇~口:結節Rヨコ、頸:隆帯+圧痕、胴:結節Rヨコ、単軸絡1, タテ?	Nb	4	II 1b
108	310	RD54	埋土	深鉢	口:単軸絡3, ヨコ、胴:LRヨコ。	Nb	4	II 1a
108	311	RD54	埋土	深鉢	口:結節Rヨコ、胴:LRヨコ。	Nb	4	II 1a
108	312	RD54	北半埋土	深鉢	口唇:圧痕?口:RLヨコ→沈線。	Nb	2	I
108	313	RD55	北半埋土1層	深鉢	口:縄巻き縄ヨコ。	Nb	4	II 1
108	314	RD55	北半埋土1層	深鉢	口:原体側圧LR。	Mb	4	II 3
108	315	RD55	埋土	深鉢	口:原体側圧LR、胴:LRヨコ。	-	4	II 2b
108	316	RD55	埋土	深鉢	口:RLRヨコ。	-	4	II 2
108	317	RD55	南半埋土	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 2
108	318	RD55	埋土1層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ/タテ。	-	4	II 2
108	319	RD55	埋土下位	深鉢	胴:LRタテ/ヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	-	4	I
108	320	RD55	南半埋土	深鉢	胴:結束1RL・LRヨコ(表)、原体側圧LR(裏)。	Ma	3	II
108	321	RD55	だめ押し	深鉢	口唇~口:LRヨコ。	Mb	4	II 2
109	322	RD56	北半埋土	深鉢	口:単軸絡1?	Mb	4	II 2
109	323	RD56	埋土	深鉢	口:LRヨコ、頸:原体側圧R。	-	4	II 2b
109	324	RD56	埋土	深鉢	口:結節ヨコ。	Mb	4	II 1
109	325	RD56	埋土	深鉢	口:RLヨコ(表)、RLヨコ(裏)。	N	2	I
109	326	RD57	埋土	深鉢	胴:RLタテ/ヨコ。	Ma	4	II



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
109	327	RD57	埋土	深鉢	胴：単軸絡5, Rタテ。	Ma	4	II
109	328	RD58	埋土	深鉢	胴：単軸絡1A, R・Lタテ。	Ma	4	II
109	329	RD58	埋土	深鉢	胴：絡条体圧、胴：多軸絡(?), タテ。	Me	3	II4
109	330	RD60	南半埋土下位	深鉢	口：原体側圧LR、頸：隆帯+原体側圧、胴：LRヨコ。	-	4	II3b
109	331	RD60	南半埋土下位	深鉢	口：結束1RL・LR、頸：隆帯+圧痕、胴：単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II2b
109	332	RD60	南半埋土上位	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ。	Na	4	II2b
109	333	RD60	南半埋土下位	深鉢	口唇～口：結節ヨコ?	Nb	4	II1a
109	334	RD60	北半埋土	深鉢	口：原体側圧L、頸：隆帯+原体側圧LR、胴：LRヨコ。	Nb	4	II3b
110	335	RD60	北半埋土	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ、頸：隆帯+原体側圧LR、胴：結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II2b
110	336	RD60	北半埋土	深鉢	口：単軸絡1A, RLタテ、頸：隆帯+絡条体圧(単軸絡1A)、胴：単軸絡1, タテ。	Mb	4	II2b
110	337	RD60	北半埋土	深鉢	口：単軸絡1, Rヨコ/タテ、頸：隆帯+原体側圧L、胴：単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II2b
110	338	RD60	北半埋土	深鉢	口：RLRヨコ、頸：結節ヨコ。	-	4	II2a
110	339	RD60	北半埋土1層	深鉢	口：LRヨコ?	-	4	II
110	340	RD60	北半埋土	深鉢	口：結節R, ヨコ、頸：隆帯+原体側圧、胴：単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II1b
110	341	RD60	北半埋土1層	深鉢	口：縄巻き縄ヨコ、胴：単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II1a
110	342	RD60	北半埋土	深鉢	口：結節ヨコ、頸：LRタテ/ヨコ、胴：単軸絡1, R・Lタテ。	-	4	II2a
110	343	RG02	埋土下位	深鉢	口：原体側圧LR、頸：原体側圧+刻目、胴：結束1LR・RLヨコ。	Mb	4	II3a
111	344	RG02	埋土下位	深鉢	口：原体側圧R、頸：隆帯、胴：結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II3b
111	345	RG02	埋土下位	深鉢	口：原体側圧RL、胴：LRヨコ。	Mb	4	II3a
111	346	RG02	埋土下位	深鉢	口：原体側圧LR、頸：隆帯+圧痕、胴：結束1LR・RLヨコ。	Mb	4	II3b
111	347	RG02	埋土下位	深鉢	口：原体側圧RL、胴：結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
111	348	RG02	埋土下位	深鉢	口：原体側圧LR、胴：LRヨコ/Rタテ。	Mb	4	II2b
111	349	RG02	埋土下位	深鉢	口：沈線ヨコ/タテ、胴：沈線タテ。	Mb	4	II5
111	350	RG02	埋土下位	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ、頸：原体側圧結束1RL・LR。	Mb	4	II2b
111	351	RG02	埋土下位	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2
111	352	RG02	埋土下位	深鉢	口：絡条体圧(単軸絡1, R)/補修孔1対。	-	4	II3
111	353	RG03	西半埋土4層	深鉢	口：原体側圧RL、頸：隆帯+刻目。	Mb	4	II3b
111	354	RG03	4層	深鉢	口：原体側圧LR、頸：隆帯2+原体側圧RLR、胴：RLRヨコ。	Mb	4	II3b
111	355	RG03	東半埋土	深鉢	口：原体側圧R、頸：隆帯、胴：LRタテ。	-	4	II3b
111	356	RG03	東半埋土	深鉢	口：原体側圧RL/刺突。	Nb	4	II3
111	357	RG03	東半埋土	深鉢	口：原体側圧LR、頸：隆帯+圧痕。	Na	4	II3b
112	358	RG03	西半埋土7層	深鉢	口：原体側圧LR、頸：隆帯+刻目、胴：単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II3b
112	359	RG03	東半埋土	深鉢	口～胴：LRヨコ、頸：隆帯+圧痕。	Mb	4	II2b
112	360	RG03	西半埋土4層	深鉢	口唇：単軸絡1, RLヨコ、口～胴：単軸絡1, RLタテ、頸：隆帯+圧痕。	Nb	4	II2b
112	361	RG03	東半埋土	深鉢	口唇：刺突、口～胴：LRヨコ、頸：隆帯+刺突。	Mb	4	II2b
112	362	RG03	東半埋土	深鉢	口：LRヨコ、頸：隆帯+刺突。	-	4	II2b
112	363	RG03	西半埋土	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ、頸：隆帯+刻目、胴：結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2b
112	364	RG03	東半埋土	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ→原体側圧LR/RL。	-	4	II2b
112	365	RG03	東半埋土	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ。	-	4	II2a
112	366	RG03	東半埋土4層	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ、補修孔。	Nb	4	II2a
112	367	RG03	東半埋土	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ、頸：隆帯。	Mb	4	II2b
112	368	RG03	4層	深鉢	口：結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
112	369	RG03	東半埋土	深鉢	口唇：圧痕、口：結節L?ヨコ、頸：隆帯+圧痕、胴：単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II1b
112	370	RG03	東半埋土	深鉢	口：結節?ヨコ、頸：隆帯+圧痕、胴：単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II1b
113	371	RG03	東半埋土	深鉢	口：結節Rヨコ。	-	4	II1
113	372	RG03	東半埋土	深鉢	口唇：LR? 口：結節Lヨコ、頸：LRヨコ。	Mb	4	II1
113	373	RG03	東半埋土	深鉢	口：縄巻き縄(LR)ヨコ。	-	4	II1
113	374	RG03	東半埋土	深鉢	口：縄巻き縄(LR)ヨコ。	Nb	4	II1
113	375	RG03	東半埋土	深鉢	口唇：刻目、口：RLヨコ/タテ(表)、RLタテ(裏)。	-	2	I
113	376	RG03	東半埋土	深鉢	口～胴：LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	-	2	I
113	377	RG03	東半埋土	深鉢	口唇：刻目、口：LRヨコ。	Nb	2	I

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
113	378	RG03	東半埋土	深鉢	口:RLヨコ/ナナム(表)、RLタテ(裏)。	-	2	I
113	379	RG03	東半埋土	深鉢	胴:RLヨコ(表)、RLヨコ(裏)。	-	2	I
113	380	RG03	東半埋土	深鉢	胴:RLヨコ/ナナム(表)、RLタテ(裏)。	-	2	I
114	381	RG03	東半埋土	深鉢	底(尖底):RLナナム。	-	2	I
114	382	RG03	東半埋土	深鉢	底(尖底):LRナナム。	N	2	I
114	383	RG03	北半埋土	深鉢	口:LRヨコ。	-	4	II 2a
114	384	RG03	西半埋土	深鉢	口唇:刻目、胴:結束1RL・LRタテ。	Nb	4	II 2a
114	385	RG05	東半埋土4層	深鉢	口:縄巻き縄LRヨコ?頸:隆帯+刺突。	Nb	4	II 1b
114	386	RG05	東半埋土	深鉢	口:単軸絡2、Rヨコ、頸:隆帯+絡条体圧、胴:単軸絡2、Rタテ?。	-	4	II 1b
114	387	RG05	東半埋土	深鉢	口:結節?ヨコ、頸:隆帯+刺突、胴:RLRヨコ。	Nb	4	II 1b
114	388	RG05	西半埋土	深鉢	口:単軸絡1、Rタテ。	Nb	4	II 2a
114	389	RG05	東半埋土7層	深鉢	無文。	-	4	II
114	390	RG05	東半埋土	深鉢	底(尖底):RLタテ。	N	2	I
114	391	RG05	東半埋土	深鉢	底:圧痕?	N	4	II
115	392	F7H04	IIb層	深鉢	口:単軸絡6A、ヨコ、頸:原体側圧、胴:単軸絡1、Rタテ。	Mb	3	II 4a
115	393	F7H05	I層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:単軸絡1A、タテ。	Mb	3	II 4a
115	394	F7H05	I層	深鉢	底(尖底):RLヨコ。	-	4	I
115	395	F7H05	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:単軸絡1、Lタテ。	Mb	3	II 4a
115	396	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:原体側圧、口:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II
115	397	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:刻目、頸:刺突、胴:多軸絡(?),タテ。	Mb	4	II
115	398	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:刺突、口:RLヨコ(表)、RLナナム(裏)。		2	I
115	399	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:LRヨコ、口:絡条体圧(単軸絡5)、胴:結束1LR・RLヨコ。	Mb	3	II 4a
115	400	F7H05	I層	深鉢	口唇:突起、口:隆帯/原体側圧L。	Nb	4	III
115	401	F7H05	I層	深鉢	口:隆帯+原体側圧LR、頸:刺突、胴:単軸絡1A、タテ/結節タテ。	Mb	4	II 4b
115	402	F7H05	I層	深鉢	口唇・口:隆帯/原体側圧LR、頸:隆帯+刺突。	Nb	4	II 4b
115	403	F7H05	3層	深鉢	口唇・口:原体側圧RL/刺突、胴:多軸絡(?),タテ。	Mb	3	II 4a
115	404	F7H05	4層	深鉢	口:原体側圧L/刺突、胴:単軸絡1A、Rタテ。	Mb	3	II 4a
115	405	F7H05	4層	深鉢	口:原体側圧L/刺突、胴:単軸絡1A、R・Lタテ。	Mb	3	II 4a
116	406	F7H05	4層	深鉢	口:原体側圧R/刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
116	407	F7H05	4層	深鉢	口唇:原体側圧L、口:結束1RL・LRヨコ、頸:原体側圧RL/LR。	Mb	4	II 2b
116	408	F7I05	IIc層	深鉢	口:原体側圧L、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 2b
116	409	F7I05	IIc層	深鉢	口:縄巻き縄?ヨコ、頸:隆帯+原体側圧、胴:RLヨコ。	Nb	4	II 1b
116	410	F7I05	IIc層	深鉢	口唇:LR? 口:縄巻き縄?ヨコ、胴:LRヨコ。	Nb	4	II 1a
116	411	F7G06	IIa層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ+原体側圧、胴:RLナナム。	Mb	3	II 4a
116	412	F7G06	IIa層	深鉢	口:原体側圧、頸:隆帯+刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
116	413	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR。	Mb	2	III
116	414	F7H06	IIc層	深鉢	口:単軸絡1A、ヨコ、頸:隆帯+刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
116	415	F7H06	II層	深鉢	口:原体側圧R・L、頸:隆帯+刺突、胴:単軸絡1A、タテ。	-	3	II 4a
116	416	F7H06	IIa層	深鉢	口:絡条体圧(多軸絡)/刺突、胴:RLヨコ/多軸絡(?),タテ。	Mb	3	II 4a
116	417	F7H06	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:多軸絡タテ?	Nb	4	II 3a
117	418	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
117	419	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR・RL、胴:結節1LR・RLヨコ。	Mb	3	II 4a
117	420	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧L/刺突、胴:結束1LR・LRヨコ。	Ma	3	II 4b
117	421	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刺突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
117	422	F7H06	IIc層	深鉢	口唇・口:原体側圧L/刺突、胴:単軸絡1A、Lタテ。	Mb	3	II 4a
117	423	F7H06	IIc層	深鉢	口:単軸絡1A、ヨコ、胴:結束1RL・LRタテ。	-	3	II 4a
117	424	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/絡条体圧(単軸絡5)、頸:隆帯+刺突、胴:単軸絡1A、タテ。	Mb	3	II 4a
117	425	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:結節1LR・RLヨコ。	Mb	3	II 4a
117	426	F7H06	IIc層	深鉢	口唇~口:原体側圧R、胴:LRヨコ/結節ヨコ。	Mb	3	II 4a
117	427	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/RL、胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2b
117	428	F7H06	IIc層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ。	Mb	4	II 2a

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
117	429	F7H06	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+刺突、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 3b
118	430	F7I06	II a層	深鉢	口: 原体側圧RL? 胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 4a
118	431	F7I06	II a層	深鉢	口唇・口: 貝殻腹縁文。	Nb	3	II
118	432	F7I06	II b層	深鉢	口: 単軸絡6A, ヨコ、胴: 単軸絡4, タテ。	Mb	3	II 4a
118	433	F7I06	II b層	深鉢	口唇~口: 原体側圧R・L/結節ヨコ、頸: 刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
118	434	F7I06	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡1A, タテ。	Me	3	II 4a
118	435	F7I06	II c層	深鉢	底(尖底): RLナナメ。	-	2	I
118	436	F7I06	Pot38	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ/補修孔。	Mb	3	II 4a
118	437	F7I06	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・RLヨコ。	Mb	3	II 3b
118	438	F7F07ベルト1	10層	深鉢	口唇: RL、口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡1A, タテ。	Mb	3	II 4a
118	439	F7F07	II c層	深鉢	口: 原体側圧RL、頸: 隆帯2+原体側圧RL、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3b
118	440	F7G07	II b層	深鉢	口: 単軸絡6A, ヨコ、頸: 原体側圧LR、胴: 単軸絡1A, タテ。	Nb	4	II 4?
118	441	F7G07	II c層	深鉢	口唇: 刻目、口: 原体側圧LR、胴: 単軸絡1, LRタテ?	Mb	4	II 3a
118	442	F7G07	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 3a
118	443	F7G07	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3b
119	444	F7G07	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3a
119	445	F7G07	II g層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3b
119	446	F7G07ベルト1	4層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 4a
119	447	F7G07	II c層	深鉢	口: 絡糸体圧(単軸絡1)、頸: 隆帯2+原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ/結節ヨコ。	Nb	4	II 3b
119	448	F7G07	4層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+原体側圧LR/刺突、胴: 結束1RL・LL/RLヨコ。	Mb	4	II 3b
119	449	F7G07ベルト1	4層	深鉢	口: 原体側圧RL、胴: RLヨコ。	Nb	4	II 3a
119	450	F7区	4層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	Mb	4	II 2b
119	451	F7G07ベルト1	4層	深鉢	口: 原体側圧LR・RL/RLヨコ。	Mb	4	II 2b
119	452	F7G07	Pot39	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2
119	453	F7G07	Pot31	深鉢	口唇: 原体側圧LR、口: LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	Nb	4	II 2b
120	454	F7H07	I層	深鉢	胴: 沈線/LRタテ。	M	1	III
120	455	F7区ベルト1	I層	深鉢	胴: 沈線/LRタテ。	Ne	1	III
120	456	F7H07	II a層	深鉢	底(尖底): LR。	-	4	I
120	457	F7H07	10層	深鉢	口唇~口: 絡糸体圧(単軸絡5)/刺突、胴: 単軸絡1A, タテ/結節タテ。	Me	4	II 4a
120	458	F7H07	10層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1LR・RLヨコ/補修孔。	Mb	4	II 4a
120	459	F7H07	3層	深鉢	口唇: RLヨコ、口: 原体側圧RL/刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a
120	460	F7H07	10層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2a
120	461	F7区ベルト1	12層	深鉢	口: 原体側圧RL、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	3	II 4a
120	462	F7H07	II b層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3a
120	463	F7H07	II b層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3a
120	464	F7H07	II b層	深鉢	口: 隆帯(逆U字状)/RLタテ。	Nb	4	II 2b
120	465	F7H07	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 刺突、胴: RLRヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II 4b
120	466	F7H07	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR/隆帯。	-	3	III
120	467	F7H07	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR/LR。	Mb	4	II 3a
121	468	F7H07	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3a
121	469	F7H07	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突、頸: 原体側圧、胴: LRヨコ/多軸絡(?), タテ。	Nb	4	II 3b
121	470	F7H07ベルト1	21層	深鉢	口: 原体側圧/結節ヨコ/刺突、胴: 単軸絡1A, タテ。	Mb	4	II 4a
121	471	F7I07	II c層	深鉢	口: 原体側圧R、胴: 結束1RL・Lヨコ。	Mb	4	II 4a
121	472	F7I07	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR・RL/結節ヨコ、胴: 単軸絡R, タテ。	Mb	4	II 4a
121	473	F7I07	II c層	深鉢	口: 単軸絡6A, ヨコ、頸: 原体側圧/刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a
121	474	F7I07	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ。	Nb	4	II 3a
121	475	F7I07	II c層	深鉢	口: 原体側圧R/刺突、胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II 4a
121	476	F7I07	II c層	深鉢	口唇: RLヨコ、口: 原体側圧、頸: 隆帯+刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a
121	477	F7I07	II c層	深鉢	口唇: LRヨコ、口: 絡糸体圧(単軸絡1)/刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a
121	478	F7I07	II c層	深鉢	口唇: LR? 口: 原体側圧R、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 4a
122	479	F7I07	II c層	深鉢	口唇: 庄痕、口: 単軸絡1, RLヨコ、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
122	480	F7107	IIc層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 4a
122	481	F7107	IIc層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a
122	482	F7107	IIc層	深鉢	口: 絡条体圧(単軸絡1)/棘突、胴: 結束1RL・LRヨコ/単軸絡1, Rタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II 4a
122	483	F7107	IIb~c層	深鉢	口唇: LRヨコ、口: 絡条体圧(単軸絡1)/刺突、胴: 結束2RL・RLヨコ。	Mb	4	II 4a
122	484	F7107	IIc層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ、原体側圧LR/RL。	Mb	4	II 4a
122	485	F7107	IIc層	深鉢	口: 結節ヨコ。	Nb	4	II a
122	486	F7G08	IIb層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧/刺突、胴: 単軸絡5, Rタテ。	Nb	4	II 3b
122	487	F7G08	IIb層	深鉢	口~胴: 単軸絡1A, LRタテ。	-	4	II 2a
122	488	F7G08	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: RLRヨコ。	-	4	II 3a
122	489	F7G08	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: LRヨコ/結節ヨコ。	Ma	4	II 3b
122	490	F7G08	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+圧痕。	Mb	4	II 3b
122	491	F7G08	Pot11	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	-	4	II 2b
123	492	F7G08	II d層	深鉢	口: 結節ヨコ/タテ、頸: 隆帯+圧痕、胴: 単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II 1b
123	493	F7G08	Pot45	深鉢	胴: LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	N	3	I
123	494	F7G08	II d層	深鉢	胴: RLヨコ(表)、RLタテ(裏)。	N	3	I
123	495	F7G08	トレンチ	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Na	4	II 2a
123	496	F7H08	I層	深鉢	口唇~口: 縄巻き縄ヨコ、頸: 隆帯2+刺突、胴: RLRヨコ。	Nb	4	II 1b
123	497	F7H08	II d層	深鉢	胴: LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	N	3	I
123	498	F7H08	II b層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Nb	4	II 3a
123	499	F7H08	II b層	深鉢	口: 縄巻き縄ヨコ、胴: LRヨコ。	-	4	II 1a
123	500	F7H08	II c層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+原体側圧LR、胴: LRヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II 3b
123	501	F7H08	II d層	深鉢	口唇: LRヨコ、口: 結節LRヨコ、胴: LRヨコ。	Nb	4	II 1a
123	502	F7H08	II d層	深鉢	口: 原体側圧R、胴: LRタテ/ヨコ。	Mb	4	II 3a
123	503	F7H08	II e層	深鉢	口: 原体側圧R・L、頸: 隆帯2+刻目。	Mb	4	II 3b
124	504	F7108	II a層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRタテ。	Nb	4	II 2b
124	505	F7108	II a層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 3a
124	506	F7108	II a層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧、胴: 非結束RL・LRタテ。	Mb	4	II 2b
124	507	F7108	II c層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR/隆帯? 胴: LRヨコ。	Mb	2	II 4b
124	508	F7108	II c層	深鉢	口唇: RLヨコ、口: 原体側圧RL、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 4a
124	509	F7108	II c層	深鉢	口唇: RLヨコ、口: 原体側圧R/刺突、胴: 単軸絡1A、タテ。	Mb	3	II 4a
124	510	F7108	II c層	深鉢	口: 単軸絡6A、ヨコ、頸: 原体側圧R、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	3	II 4a
124	511	F7108	II d層	深鉢	口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II 4a
124	512	F7108	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 3a
124	513	F7108	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II 3b
124	514	F7108	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+原体側圧LR、胴: 単軸絡5, Rタテ。	Nb	4	II 3b
124	515	F7108	II d層	深鉢	胴: LRタテ、輪積痕。	M	3	I ?
125	516	F7108	II e層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3a
125	517	F7108	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 3a
125	518	F7108	II e層	深鉢	口: 原体側圧RL、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 2b
125	519	F7108	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR/LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: 単軸絡1、Lタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II 3b
125	520	F7108	II e層	深鉢	口唇・口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 2b
125	521	F7108	II e層	深鉢	口~胴: 単軸絡1, Rタテ? 頸: 原体側圧LR。	Nb	4	II 2b
125	522	F7108	II e層	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧LR。	Nb	4	II 3a
125	523	F7108	II e層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR、胴: 単軸絡1, Lタテ/結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II 2b
125	524	F7108	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR・RL、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 2b
125	525	F7108	II e層	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ、頸: 絡条体圧(単軸絡1)。	Mb	4	II 2b
126	526	F7108	II e層	深鉢	口: 原体側圧RL、胴: RLタテ/ヨコ。	Nb	4	II 2b
126	527	F7108	II e層	深鉢	口唇: 原体側圧LR、口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	Mb	4	II
126	528	F7108	II e層	深鉢	無文・仕切り?	Mb	4	II
126	529	F7108	II e層	深鉢	底(尖底): RLナナメ。	-	4	I
126	530	F7108	II e層	深鉢	口唇: 刺突、口~胴: 隆帯+刺突、胴: 多軸絡(?), Rタテ。	Mb	4	II



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
126	531	F7I08	砂層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
126	532	F7J08	IIa層	深鉢	口唇: RLヨコ、口: 絡条体圧(単軸絡5)、頸: 隆帯+絡条体圧、胴: 単軸絡1A、タテ。	Mb	4	II4b
126	533	F7J08	IIa層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突、頸: 隆帯2+刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II3b
126	534	F7J08	IIa層	深鉢	口唇・口: 原体側圧LR、胴: 単軸絡1, Lタテ。	Nb	4	II3b
126	535	F7J08	IIa層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: LRヨコ。	Nb	4	II3b
126	536	F7J08	IIb層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRタテ。	Nb	4	II2b
126	537	F7J08	IIb層	深鉢	口: RLヨコ(表)、RLタテ/ナナメ(裏)。	N	3	I
126	538	F7J08	IIb層	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧LR/刻目。	-	4	II2b
126	539	F7J08	IIb層	深鉢	口: RLヨコ(表)、RLヨコ(裏)。	N	2	I
126	540	F7J08	IIb層	深鉢	口唇: 刻目、口: 隆帯+刻目/貝殻腹縁文。	Nb	2	I
126	541	F7J08	IIc層	深鉢	口: 原体側圧RL、頸: 隆帯2+刻目、胴: 結節ヨコ?	Nb	4	II3b
127	542	F7F09	IIb層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧/刺突、胴: RLRヨコ。	Nb	4	II3a
127	543	F7F09	IIb層	深鉢	口: LRヨコ→沈線。	Nb	4	II
127	544	F7G09	IId層	深鉢	口: 単軸絡6A、ヨコ、頸: 結節ヨコ、胴: 単軸絡1A、Rタテ。	Mb	3	II4a
127	545	F7G09	IIa層	深鉢	口唇: LR、口: 原体側圧RL/刺突、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡1A、Rタテ。	Mb	3	II4a
127	546	F7G09	IIa~b層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 結束1LR・RLヨコ。	Mb	3	II4a
127	547	F7G09	IIb層	深鉢	口唇・口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧RL・LR、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
127	548	F7G09	IIc層	深鉢	口: LRヨコ、頸: 圧痕、胴: 単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II2b
127	549	F7G09	IIc層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧R/刺突、胴: 結束1RL・LRタテ。	-	4	II2b
127	550	F7G09	IIc層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧LR・RL、胴: 単軸絡1, Rタテ。	Nb	4	II2b
127	551	F7G09	IId層	深鉢	口: 原体側圧L・R/刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	3	II4a
127	552	F7G09	Pot53	深鉢	口: LRタテ/ナナメ/絡条体圧?。	-	3	II2a
127	553	F7区ベルト2	1層	深鉢	口唇: LR、口: 原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ?	Mb	3	II4a
127	554	F7H09	IIa層	深鉢	口: LRタテ。	-	3	II2a
127	555	F7区ベルト2	3層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突/補修孔、胴: RLRヨコ/結節ヨコ。	Nb	3	II4a
127	556	F7H09	IIa層	深鉢	口: 縄巻き縄?ヨコ、頸: 隆帯+刺突、胴: LRヨコ。	Nb	4	II1b
127	557	F7H09	IIb層	深鉢	口: 原体側圧RL/LR、胴: RLヨコ。	Mb	4	II3a
128	558	F7H09	IIb層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+圧痕、胴: RLRヨコ。	Nb	4	II1b
128	559	F7H09	IIb層	深鉢	口唇・口~胴: 単軸絡1A、Rタテ(表)、単軸絡1A、Rヨコ(裏)/補修孔。	Mb	4	II2a
128	560	F7H09	IIc層	深鉢	口唇: 圧痕?口: LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	-	4	I
128	561	F7H09	IIc層	深鉢	口~胴: 単軸絡1, Rタテ。	-	4	II2a
128	562	F7H09	IId層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR、頸: 刺突+原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Mb	4	II3a
128	563	F7I09	IIb層	深鉢	口: 縄巻き縄ヨコ、頸: 隆帯、胴: 単軸絡1A、R・Lタテ。	Mb	4	II1b
128	564	F7I09	IIb層	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)ヨコ、頸: 隆帯、胴: RLRヨコ。	Mb	4	II1b
128	565	F7I09	IIc層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束2RL・LRヨコ。	Mb	4	II4a
128	566	F7I09	IIc層	深鉢	口: 絡条体圧(単軸絡5)/原体側圧LR、頸: 刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4b
128	567	F7I09	IIe層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR/絡条体圧、頸: 刺突、胴: 結束1LR・RLヨコ/結節タテ。	Mb	4	II4a
128	568	F7I09	IIe層	深鉢	口唇: LRヨコ、口: 原体側圧RL、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4a
128	569	F7I09	IIe層	深鉢	口唇: RLヨコ、口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4a
128	570	F7I09	IIe層	深鉢	底(尖底): RL。	-	3	I
129	571	F7I09	IIe層	深鉢	口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+原体側圧RL、胴: 単軸絡1A、R・Rタテ。	Mb	4	II4a
129	572	F7I09	8層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II3b
129	573	F7I09	IIe層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突、頸: 隆帯2+刻目、胴: 単軸絡1A、L・Rタテ。	Mb	4	II3b
129	574	F7I09	IIe層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突、頸: 隆帯2+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3b
129	575	F7I09	IIe層	深鉢	口唇~口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II3b
129	576	F7I09	IIe層	深鉢	口: 結節1RL・LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧、胴: 単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II2b
129	577	F7I09	IIe層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+刻目、胴: RLRヨコ。	Nb	4	II1b
129	578	F7J09	I層	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	-	4	II2a
129	579	F7J09	IIa層	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 原体側圧LR。	Nb	4	II2b
129	580	F7J09	IId層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 燃り戻し?ヨコ。	Nb	4	II3b
129	581	F7J09	IId層	深鉢	口: 原体側圧LR/刺突、頸: 隆帯+圧痕、胴: RLタテ/結節タテ。	Nb	4	II3b

図版 №	№	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
129	582	F7J09	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡1、LRタテ。	Mb	4	II 3b
130	583	F7J09	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: 結節1RL・LRタテ。	Mb	4	II 3b
130	584	F7J09	II d層	深鉢	口唇・頸: 原体側圧LR、口~胴: 単軸絡1A、R・Lタテ。	-	4	II 2b
130	585	F7J09	11層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯2+刻目、胴: 結節/単軸絡1A、R・Lタテ。	Mb	4	II 1b
130	586	F7J09	II d層	深鉢	口~胴: 結節ヨコ、単軸絡1、Rタテ、頸: 隆帯+原体側圧。	Mb	4	II 2b
130	587	F7区ベルト2	11層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 結節ヨコ。	-	4	II 2a
130	588	F7J09	II d層	深鉢	口~胴: LRヨコ→頸: 原体側圧LR。	-	4	II 2b
130	589	F7J09	II d層	深鉢	口~胴: RLヨコ→頸: 原体側圧RL。	Nb	4	II 2b
130	590	F7J09	II d層	深鉢	胴: LRタテ/ヨコ、輪積痕。	Ma	4	I
130	591	F7J09	II d層	深鉢	底: 網代痕?	M	4	II
130	592	F7J09	II d層	深鉢	底: RLR。	N	4	II
131	593	F7J09	II e層	深鉢	口唇: 刻目、口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧L/刺突、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3a
131	594	F7J09	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯2+刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3b
131	595	F7J09	II e層	深鉢	口唇~口: 原体側圧RL、頸: 隆帯+刺突、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3b
131	596	F7J09	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: 多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3a
131	597	F7J09	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧RL、胴: RLRヨコ。	Mb	4	II 3a
131	598	F7J09	II e層	深鉢	口: LRヨコ、頸: 原体側圧LR、胴: RLRヨコ?	-	4	II 2b
131	599	F7J09	II e層	深鉢	口~胴: 単軸絡6、Rタテ、頸: 原体側圧RL。	Nb	4	II 2b
132	600	F7F10	II b層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: RLヨコ/単軸絡4、Rタテ。	Mb	4	II 3b
132	601	F7F10	II b層	深鉢	口~胴・底: 結束RL・LRヨコ。	Nd	4	II
132	602	F7F10	II d層	深鉢	口: 結節ヨコ、頸: 隆帯+原体側圧LR、胴: LRタテ/ヨコ。	-	4	II 1b
132	603	F7F10	II d~e層	深鉢	口: 結節ヨコ、胴: LRヨコ。	-	4	II 1a
132	604	F7F10	II g層	深鉢	口: LRヨコ、頸: 隆帯+圧痕、胴: LRヨコ。	-	4	II 2b
132	605	F7F10	II g層	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)ヨコ、頸: 隆帯+圧痕、胴: 単軸絡1、Rタテ。	-	4	II 1b
132	606	F7F10	Pot52	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)ヨコ、頸: 隆帯+圧痕、胴: RLRタテ。	Nb	4	II 1b
132	607	F7F10	II e層	深鉢	口: 原体側圧LR、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 2b
133	608	F7G10	II b層	深鉢	口: 原体側圧RL、頸: 隆帯、胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II 3b
133	609	F7G10	II d層	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ/結節タテ/ヨコ、頸: 隆帯+刺突。	Nb	4	II 2b
133	610	F7G10	II e層	深鉢	胴: 貝殻腹縁文。	Nb	2	I
133	611	F7G10	II f層	深鉢	口唇: 刻目、口: 原体側圧RLR、頸: 隆帯+刻目、胴: 多軸絡(?), タテ。	Nb	4	II 3b
133	612	F7G10	Pot56	深鉢	口~胴: 単軸絡1、Rタテ/未補修孔1。	-	4	II 1a
133	613	F7I10	II a層	深鉢	口唇: LRヨコ、口: 結節ヨコ、胴: LRヨコ。	Nb	4	II 2a
133	614	F7I10	II b層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 隆帯2+刺突、胴: LRヨコ?	Mb	4	II 2b
133	615	F7I10	9層	深鉢	口: 貝殻腹縁文/刻目。	Na	4	I
133	616	F7J10	1層	深鉢	口: 結節ヨコ、胴: 単軸絡1、Rタテ。	Na	4	II 1a
133	617	F7J10	1層	深鉢	口唇: 原体側圧?口: LRヨコ(表)、LRタテ(裏)/補修孔1。	N	4	I
134	618	F7G11	1層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 原体側圧LR/刺突列、胴: 結節/LRヨコ?	Nb	4	II 3a
134	619	F7G11	1層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: LRヨコ。	Mb	4	II 3b
134	620	F7G11	II a層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 絡条体圧(単軸絡1)、胴: 単軸絡1、Rタテ。	Mb	4	II 3a
134	621	F7G11	II a層	深鉢	口唇~口: 原体側圧LR、頸: 刺突、胴: LRヨコ?	Mb	4	II 3a
134	622	F7G11	II a層	深鉢	口~胴: LRヨコ、頸: 隆帯+原体側圧LR。	Mb	4	II 2b
134	623	F7区ベルト3	II a層	深鉢	底: 内面に貼り瘤?	N	4	II
134	624	F7G11	II b層	深鉢	口: 原体側圧LR。	Mb	4	III
134	625	F7G11	II b層	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)?ヨコ、胴: LRタテ/ヨコ。	Nb	4	II 1a
134	626	F7G11ベルト3	3層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: 単軸絡1、LRタテ。	Mb	4	II 3b
134	627	F7G11	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刺突、胴: LRヨコ。	Ma	4	II 3b
134	628	F7G11	II d層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刻目、胴: 単軸絡1、Rタテ/結節ヨコ。	Nb	4	II 3b
134	629	F7G11ベルト3	6層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刻目、胴: 単軸絡1、Rタテ。	Nb	4	II 3b
134	630	F7区ベルト3	11層	深鉢	口: 原体側圧LR、頸: 隆帯+刻目、胴: LRヨコ?	Mb	4	II 3b
134	631	F7G11	II d層	深鉢	口: 沈線/ボタン貼り付け/LRヨコ。	Me	4	II 5
135	632	F7G11	II d層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ、頸: 原体側圧LR/刺突。	Nb	4	II 2b

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
135	633	F7G11	6層	深鉢	口~胴:単軸絡1A, L・Rタテ。	-	4	II 2a
135	634	F7G11	IIg層	深鉢	口:結末1RL・LRヨコ、頸:隆帯2+刺突、胴:結末1RL・LRタテ。	Mb	4	II 2b
135	635	F7H11	IIb層	深鉢	口:原体側圧R・R、頸:刺突/原体側圧R、胴:多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 4a
135	636	F7H11	IIb層	深鉢	口唇~口:絡条体圧(単軸絡1)、頸:隆帯+刺突。	Nb	4	II 3b
135	637	F7H11	IIb層	深鉢	口:LRヨコ/タテ、原体側圧LR。	-	4	II 2b
135	638	F7H11	7層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:単軸絡1A, R・Lタテ。	Nb	4	II 3a
135	639	F7H11	II層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:単軸絡1A, R・Lタテ。	Mb	4	II 3b
135	640	F7H11	II層	深鉢	口唇:原体側圧RL、口:絡条体圧(単軸絡1)。	Mb	4	II 3
135	641	F7H11	8層	深鉢	口:単軸絡1, Rタテ。	-	4	II 2a
135	642	F7J11	IIa層	深鉢	口:LRヨコ(表)、LRナナム(裏)。	N	2	I
135	643	F7F12	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯2+刻目、胴:結節1RL・LRタテ。	Mb	4	II 3b
135	644	F7G12	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯2+原体側圧LR・RL、胴:多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 3b
136	645	F7G12	IIa層	深鉢	口唇:刺突、口:縄巻き縄(結節)ヨコ。	Mb	4	II 1?
136	646	F7H12	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯2+刻目、胴:単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II 3b
136	647	F7G12	II d層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突/結節ヨコ、胴:単軸絡1A, RLタテ。	Mb	4-3	II 4a
136	648	F7G12	II d層	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:単軸絡1, Rタテ。	Mb	4	II 3b
136	649	F7G12	II d層	深鉢	口:LRヨコ、頸:原体側圧LR。	-	4	II 2b
136	650	F7G12	II d層	深鉢	口~胴:結末1RL・LRヨコ、頸:隆帯+刺突。	Nb	4	II 2b
136	651	F7G12	II d層	深鉢	口:結節→原体側圧LR、頸:隆帯+圧痕、胴:単軸絡1, Rタテ/ナナム。	-	4	II 1b
136	652	F7G12	II d層	深鉢	口:縄巻き縄(結節)?ヨコ、頸:隆帯+刺突、胴:多軸絡(?), タテ。	Mb	4	II 1b
136	653	F7G12	II d層	深鉢	口:縄巻き縄(結節)?ヨコ、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:LRタテ/ヨコ。	Nb	4	II 1b
136	654	F7G12	II d層	深鉢	口唇:LR、口:結節?ヨコ、胴:LRヨコ。	Mb	4	II 1a
136	655	F7G12	II d層	深鉢	口:結節ヨコ/RLRヨコ?	Nb	4	II 1a
136	656	F7G12	II d層	深鉢	口:LRヨコ(表)、LRタテ(裏)。	-	2	I
136	657	F7G12	II d層	深鉢	口唇:LR、口:LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	-	2	I
136	658	F7G12	II d層	深鉢	口唇:LR、口:LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	-	2	I
136	659	F7G12	II d層	深鉢	口唇:RL、口:RLヨコ(表)、RLヨコ(裏)。	-	2	I
137	660	F7G12	II d層	深鉢	口唇:刺突、口:RLヨコ→沈線(表)、条痕(裏)。	N	2	I
137	661	F7G12	II d層	深鉢	口唇:刺突、口:RLヨコ→沈線(表)、条痕(裏)。	N	2	I
137	662	F7G12	II d層	深鉢	胴:LRヨコ(表)、LRヨコ(裏)。	-	2	I
137	663	F7G12	II d層	深鉢	胴:RLヨコ(表)、RLタテ(裏)。	-	2	I
137	664	F7G12	II d層	深鉢	底(尖底):RLヨコ。	-	2	I
137	665	F7G12	II d層	深鉢	底(尖底):RL。	-	2	I
137	666	F7G12	II d層	深鉢	底(尖底):無文。	N	1	I
137	667	F7L13	II d層	深鉢	胴:LRヨコ(表)、LRナナム(裏)。	N	1	I
137	668	F5区	IIe層	深鉢	口:原体側圧RL、頸:原体側圧RL、胴:結節1RL・LRタテ。	-	4	II 3a
137	669	F5区	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:多軸絡(?), タテ。	-	4	II 3a
137	670	F5区	IIb層	深鉢	口:原体側圧RL、胴:結節ヨコ。	Mb	4	II 3b
137	671	F5区	排土	深鉢	口唇~口:原体側圧R、頸:隆帯2+刻目/圧痕、胴:LRヨコ。	Mb	4	II 3b
137	672	F5区	トレンチ4	深鉢	口~胴:結末1RL・LRヨコ、頸:絡条体圧(単軸絡1, R)ヨコ。	Mb	4	II 2b
137	673	F5区	II d層	深鉢	口唇:圧痕?口:結節ヨコ、胴:LRヨコ。	Mb	4	II 1a
137	674	F7区	I層	深鉢	口唇:刺突、口:RLタテ(表)、RLタテ(裏)。	N	2	I
137	675	F7区	I層	深鉢	頸:沈線。	Me	2	III
137	676	F7区	I層	深鉢	口:沈線。	Mb	2	III
137	677	F8区	トレンチ	深鉢	口唇:刺突、口:刺突/貝殻腹縁文。	Nb	2	I

部位の名称、口唇:口唇部、口:口縁部、頸:頸部、胴:胴部、底:底部。 内面調整、M:ミガキ  
文様、原体側圧:原体側面圧痕、絡条体圧:絡条体圧痕。 N:ナデ  
単軸絡:単軸絡条体、多軸絡:多軸絡条体。 - :なし  
結末1:結末第1種、結末2:結末第2種、結節:結節細文。 調整方向、a~e  
胎土、1:緻密である。  
2:繊維は含まず、砂粒を含む。  
3:繊維をわずかに含む。  
4:繊維を多量に含む。



表5 石器・石製品観察表

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
140	1001	RD15	1~2層	石鏃	4.1	1.5	0.7	3.2	凸基有茎鏃	C	KC
140	1002	RD39	埋土下位	石鏃	2.9	1.1	0.7	1.9	尖基鏃	C	KC
140	1003	RD55	北半埋土1層	石鏃	2.7	1.2	0.4	1.1	尖基鏃	B	KC
140	1004	RG02	埋土下位	石鏃	3.6	1.8	0.7	4.4	平基無茎鏃	A	KC
140	1005	RG03	西半埋土23層	石鏃	3.2	2.6	0.8	5.7	尖頭状石器?	B	KC
140	1006	RB03-PP9	中掘上面	石鏃	3.6	1.3	0.4	1.7	凸基有茎鏃	I	KC
140	1007	F7K05	I層	石鏃	2.8	1.4	0.4	1.3	凹基無茎鏃	B	KC
140	1008	F7I08	IIc層	石鏃	2.8	1.8	0.4	1.4	凹基無茎鏃	B	KC
140	1009	F7G09	IIb層	石鏃	3.0	1.5	0.4	1.1	凹基無茎鏃	B	KC
140	1010	F7J09	3層	石鏃	2.2	1.6	0.4	1.3	平基無茎鏃	C	KC
140	1011	F7F10	IIb層	石鏃	3.5	1.7	0.6	2.7	凹基無茎鏃	A	KC
140	1012	F7G10	IIb層	石鏃	2.8	1.8	0.5	2.0	凹基無茎鏃	B	KC
140	1013	F7H~II2	4層	石鏃	2.7	1.5	0.4	1.4	凹基無茎鏃	A	KC
140	1014	F7区	不明	石鏃	(3.6)	1.9	0.6	3.8	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	B	KC
140	1015	F7区	不明	石鏃	1.8	1.2	0.4	0.6	平基無茎鏃	I	KC
140	1016	F7区	不明	石鏃	6.3	1.7	0.4	3.8	凹基無茎鏃	A	KC
140	1017	F7H09	IIb層	石鏃	(3.1)	1.6	0.4	2.3	平基無茎鏃 尖頭部欠損	I	KC
140	1018	F7I09	IIc層	石鏃	3.1	1.4	0.5	2.2	平基無茎鏃	B	KC
140	1019	F7J09	3層	石鏃	2.4	1.4	0.3	1.1	平基無茎鏃	I	KC
140	1020	F7F10	IIc層	石鏃	(2.9)	1.9	0.6	2.9	平基無茎鏃 尖頭部欠損	A	KC
140	1021	F7G10	IIb層	石鏃	(1.9)	1.6	0.4	0.8	平基無茎鏃 尖頭部欠損	B	KC
141	1022	F7G11	IIa層	石鏃	3.6	1.8	0.5	2.3	平基無茎鏃	C	KC
141	1023	F7F10	4層	石鏃	2.6	1.4	0.4	1.3	平基無茎鏃	C	KC
141	1024	F7H07	IIb層	石鏃	3.1	1.6	0.5	2.0	平基無茎鏃	A	KC
141	1025	F7I09	8層	石鏃	3.1	1.7	0.3	1.5	平基無茎鏃	I	KC
141	1026	F7G08	IIb層	石鏃	3.9	1.0	0.3	1.1	尖基鏃	B	KC
141	1027	F7F09	IIb層	石鏃	3.3	1.0	0.3	1.0	尖基鏃	C	KC
141	1028	F7I09	IIc層	石鏃	(2.5)	1.5	0.4	1.3	尖基鏃 尖頭部欠損	B	KC
141	1029	F7G11	7層	石鏃	4.1	1.6	0.5	2.8	尖基鏃	B	KC
141	1030	F7H13	I層	石鏃	4.4	1.4	0.5	2.5	尖基鏃	B	KC
141	1031	F7区	I層	石鏃	3.7	1.5	0.4	1.8	尖基鏃	C	KC
141	1032	F7区	不明	石鏃	4.0	1.7	0.5	2.6	凸基有茎鏃	I	KC
141	1033	F7区	-20cm黒色	石鏃	(2.2)	1.6	0.7	1.8	基部欠損	C	KC
141	1034	不明	-80cm暗褐色	石鏃	(3.1)	1.6	0.4	1.7	基部欠損	B	KC
141	1035	F7G12	IIc層	石鏃	(4.0)	1.4	0.5	1.8	基部欠損	B	KC
141	1036	F7I09	IIc層	尖頭器	(4.9)	3.2	1.0	16.1	尖頭部・基部欠損	C	KC
141	1037	F7F10ベルト	4層	尖頭器	9.5	2.5	1.0	23.6	尖頭部を錐に転用?	B	KC
142	1038	F7G~H05	IIc層	石錐	4.5	2.3	0.5	3.4	両面加工	N	KC
142	1039	F7I08	3層	石錐	(3.0)	1.3	0.4	1.6	両面加工	B	KC
142	1040	F7G11	7層	石錐	2.9	1.8	0.4	1.6	両面加工	B	KC
142	1041	F7区ベルト3	4層	石錐	6.9	1.7	0.9	9.5	両面加工	C	KC
142	1042	F7区	I層	石錐	4.0	1.9	0.8	4.9	両側縁加工	N	KC
142	1043	RD53	埋土	石匙	4.1	5.8	0.6	11.1	横型 刃部:片面の片縁加工	C	KC
143	1044	RD55	埋土	石匙	6.0	2.0	0.5	4.2	縦型 刃部:片面の片縁加工	C	KC
142	1045	RD60	北半埋土	石匙	(3.8)	2.1	0.8	7.2	縦型 刃部:両面加工	B	KC
142	1046	RG02	埋土下位	石匙	(4.9)	2.9	0.5	4.8	縦型 刃部:片面の両縁加工	C	KC
142	1047	RG03	東半埋土	石匙	3.2	5.3	0.7	11.7	横型 刃部:片面の周縁加工	C	KC
142	1048	RG03	東半埋土	石匙	(3.6)	2.2	0.8	6.0	縦型 刃部:片面の片縁加工	B	KC
142	1049	RG03	西半埋土14層	石匙	4.1	6.3	0.8	13.2	横型 刃部:片面の周縁加工	C	KC
142	1050	RG03	東半埋土	石匙	4.4	(3.0)	0.4	6.7	横型 刃部:片面の周縁加工	C	KC
142	1051	RG03	西半埋土12層	石匙	(3.0)	(5.7)	0.7	6.4	両面調整 錐として使用?	B	KC



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
142	1052	F7H06	Ⅱc層	石匙	(2.7)	(2.2)	0.9	4.4	摘み?	N	KC
142	1053	F7H06	Ⅱd層	石匙	5.2	2.9	0.7	6.6	縦型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
143	1054	F7I08	3層	石匙	5.9	2.3	1.0	16.1	縦型 刃部：両面の両縁加工	B	KC
143	1055	F7I08	3層	石匙	6.3	2.9	0.9	14.8	縦型 刃部：片面加工	C	KC
143	1056	F7H09	Ⅱb層	石匙	6.8	4.1	0.8	18.2	縦型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
143	1057	F7I09	Ⅱc層	石匙	5.6	2.5	1.0	10.7	縦型 刃部：両面の周縁加工	C	KC
143	1058	F7J09	I層	石匙	7.0	3.3	1.3	18.8	縦型 刃部：片面加工	B	KC
143	1059	F7J09	Ⅱc層	石匙	2.6	2.0	0.5	2.3	縦型 刃部：両面の周縁加工	B	KC
143	1060	F7H10	Ⅱa層	石匙	8.7	3.7	1.4	25.3	縦型 刃部：片面の片縁加工	A	KC
143	1061	F7F10	Ⅱb層	石鎌	6.0	2.0	1.0	5.8	縦型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
143	1062	F7F10	Ⅱb層	石匙	6.9	3.8	1.3	24.8	縦型 刃部：片面加工	C	KC
143	1063	F7G10	Ⅱb層	石匙	7.1	2.2	1.2	12.1	縦型 刃部：片面加工	B	KC
143	1064	F7J10	I層	石匙	6.5	3.4	1.1	18.7	縦型 刃部：片面の両縁加工	B	KC
143	1065	F7H11	—	石匙	8.1	2.5	0.9	15.0	縦型 刃部：片面加工	I	KC
144	1066	F7H11	Ⅱe層	石匙	7.3	2.4	1.4	15.2	縦型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
144	1067	F7I11	Ⅱd層	石匙	6.7	4.1	0.8	20.7	縦型 刃部：片面加工	A	KC
144	1068	F7G12	3層	石匙	3.4	(4.1)	1.0	8.4	縦型 刃部：両面の片縁加工	I	KC
144	1069	F7H13	I層	石匙	(4.8)	2.7	0.9	11.6	縦型 刃部：片面の片縁加工	B	KC
144	1070	不明	-80cm暗褐色	石匙	6.5	3.1	1.0	15.4	縦型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
144	1071	F7区	不明	石匙	6.9	2.8	1.2	21.6	縦型 刃部：片面の周縁加工	C	KC
144	1072	F7区	不明	石匙	4.5	2.1	0.9	5.1	縦型 刃部：片面加工	A	KC
144	1073	F7G07	Ⅱb層	石匙	(2.9)	(3.2)	0.7	5.8	横型 刃部：片面加工	B	KC
144	1074	F7G07	Ⅱb層	石匙	3.1	5.2	0.9	9.5	横型 刃部：両面の片縁加工	C	KC
144	1075	F7H07	Ⅱb層	石匙	3.8	2.6	0.5	5.2	横型 刃部：片面の片縁加工	A	KC
144	1076	F7I08	Ⅱd層	石匙	3.5	(4.0)	0.6	8.3	横型 刃部：片面の周縁加工	B	KC
144	1077	F7I08	Ⅱd層	石匙	3.3	4.4	0.7	8.4	横型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
145	1078	F7H10ベルト	4層	石匙	3.7	6.2	1.0	19.2	横型 刃部：片面加工	C	KC
145	1079	F7H10	Ⅱa層	石匙	5.0	6.5	2.0	39.6	横型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
145	1080	F7区ベルト3	Ⅱa層	石匙	3.8	4.5	0.6	10.4	横型 刃部：片面の周縁加工	C	KC
145	1081	F7H11	Ⅱd層	石匙	2.0	4.5	0.8	5.4	横型 刃部：片面の片縁加工	A	KC
145	1082	F7G12~I12	4層	石匙	2.9	5.1	0.8	9.4	横型 刃部：片面の周縁加工	A	KC
145	1083	F7H12	Ⅱa層	石匙	4.0	4.8	0.7	9.4	横型 刃部：片面の周縁加工	N	KC
145	1084	F7G12	Ⅱa層	石匙	4.0	6.5	1.1	20.3	横型 刃部：片面の周縁加工	C	KC
145	1085	F7G~I12	4層	石匙	3.0	3.1	0.5	3.3	横型 刃部：片面の周縁加工	A	KC
145	1086	F7区	表土	石匙	5.1	5.5	1.1	20.6	横型 刃部：片面の周縁加工	H	KC
145	1087	F7区	I層	石匙	3.1	5.4	0.7	9.5	横型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
146	1088	RG03	東半埋土	両極石器	2.4	2.9	1.1	8.2	2個1対の剥離	M	KC
146	1089	F7H~I05	3層	両極石器	3.0	2.9	1.3	10.9	2個1対の剥離	A	KC
146	1090	F7H07	Ⅱc層	両極石器	3.4	3.5	1.1	14.2	2個1対の剥離	C	KC
146	1091	F7J08	Ⅱb層	両極石器	2.8	2.3	0.8	4.8	2個1対の剥離	C	KC
146	1092	F7H08	Ⅱb層	両極石器	3.5	2.9	0.8	9.7	2個1対の剥離	B	KC
146	1093	F7G09	Ⅱb層	両極石器	3.2	4.0	1.0	9.3	4個2対の剥離	B	KC
146	1094	F7F10	Ⅱa層	両極石器	3.4	2.3	0.9	6.8	2個1対の剥離	C	KC
146	1095	F7I10ベルト	9層	両極石器	2.9	2.5	0.6	4.7	2個1対の剥離	B	KC
146	1096	F7H10~11	不明	両極石器	2.9	1.9	0.9	6.1	2個1対の剥離	A	KC
146	1097	F7H11	Ⅱe層	両極石器	2.8	2.1	0.4	3.0	2個1対の剥離	C	KC
146	1098	F7H11	Ⅱa層	両極石器	3.2	2.2	1.1	7.1	2個1対の剥離	A	KC
146	1099	F7G~I12	4層	両極石器	3.8	2.8	0.7	7.5	2個1対の剥離	B	KC
147	1100	RD53	埋土	不定形石器	2.9	5.8	0.6	8.7	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1101	RD53	埋土	不定形石器	3.0	(2.5)	1.0	5.9	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1102	RD53	埋土	不定形石器	6.9	2.1	0.9	12.5	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1103	RD54	埋土	不定形石器	(3.2)	2.3	0.6	4.5	刃部：片面の周縁加工 直刃	B	KC

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
147	1104	RD55	埋土	不定形石器	4.5	3.8	0.7	9.1	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1105	RG02	埋土下位	不定形石器	3.6	3.2	0.7	5.6	刃部：両面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1106	RG03	西半埋土4層	不定形石器	5.8	2.1	0.7	16.0	刃部：片面加工 直刃	A	KC
147	1107	RG05	東半埋土	不定形石器	2.7	4.4	0.9	8.1	刃部：片面の片縁加工 直刃	A	KC
147	1108	F7G05	Ⅱb層	不定形石器	4.4	3.8	1.2	21.7	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1109	F7H05	Ⅱb層	不定形石器	5.1	3.5	1.0	17.0	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1110	F7H06	Ⅱc層	不定形石器	3.4	3.2	0.7	7.7	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1111	F7I08	Ⅱc層	不定形石器	(4.7)	3.2	0.9	14.3	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1112	F7I08	3層	不定形石器	2.6	(3.3)	1.1	8.5	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1113	F7G09	Ⅱb層	不定形石器	(3.3)	2.2	0.6	5.6	刃部：片面の両縁加工 直刃	C	KC
147	1114	F7G10ベルト	1層黒褐	不定形石器	3.4	5.7	0.7	7.8	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
148	1115	F7G10	Ⅱb層	不定形石器	2.0	4.7	0.8	7.6	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
148	1116	F7区	I層	不定形石器	6.3	3.3	0.7	11.9	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
148	1117	F7H11	Ⅱd層	不定形石器	4.7	4.1	0.7	12.8	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
148	1118	F7G12、T12	4層	不定形石器	4.5	3.0	1.2	12.2	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
148	1119	F7H12	Ⅱc層	不定形石器	3.1	7.5	1.5	30.5	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
148	1120	F7H07	Ⅱc層	不定形石器	4.8	2.8	0.9	10.4	刃部：片面の両縁加工 凸刃	B	KC
148	1121	F7区ベルト3	3層	不定形石器	(3.8)	4.7	0.4	7.8	刃部：片面の周縁加工 凸刃	B	KC
148	1122	F7区	表土	不定形石器	(3.8)	2.4	0.7	6.0	刃部：両面の片縁加工 凸刃	C	KC
148	1123	F7H08	Ⅱa層	不定形石器	(4.8)	3.0	1.0	12.1	刃部：片面の片縁加工 凹刃	A	KC
148	1124	F7H08	Ⅱc層	不定形石器	3.2	4.2	0.8	6.5	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
148	1125	F7G09	Ⅱb層	不定形石器	6.3	3.3	0.7	12.2	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
148	1126	F7G09	Ⅱa層	不定形石器	5.1	2.8	0.6	6.5	刃部：片面加工 凹刃	C	KC
148	1127	F7G11	Ⅱa層	不定形石器	3.8	3.0	0.5	5.4	刃部：片面の片縁加工 凹刃	B	KC
149	1128	F7区ベルト2	3層	不定形石器	3.7	2.0	0.75	5.4	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
149	1129	F7区ベルト3	1層	不定形石器	5.2	3.5	1.1	13.7	刃部：片面の両縁加工 凹刃	C	KC
149	1130	F7G11	Ⅱb層	不定形石器	4.3	3.2	0.7	6.6	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
149	1131	F7H08	Ⅱa層	不定形石器	(3.8)	2.7	0.9	10.8	刃部：片面加工 急斜度 凸刃	A	KC
149	1132	F7I08	3層	不定形石器	4.6	3.7	0.9	15.4	刃部：片面の周縁加工 急斜度 凸刃	A	KC
149	1133	F7F09	Ⅱb層	不定形石器	5.5	1.8	1.1	8.9	刃部：片面加工 急斜度 凸刃	N	KC
149	1134	F7I09	Ⅱc層	不定形石器	5.3	2.7	1.0	12.4	刃部：片面の周縁加工 急斜度 凸刃	C	KC
149	1135	F7F10	灰白色土	不定形石器	3.5	1.7	0.7	3.5	刃部：片面加工 急斜度 凸刃	A	KC
149	1136	F7H11	Ⅱa層	不定形石器	3.4	2.6	0.8	5.9	刃部：片面加工 急斜度 凸刃	C	KC
149	1137	F7F10	Ⅱb層	不定形石器	8.3	5.0	2.1	78.4	刃部：片面加工 急斜度 凸刃	C	KC
149	1138	F7G8トレンチ4	不明	不定形石器	4.9	3.0	1.5	15.3	刃部：片面の周縁加工 急斜度 凸刃	C	KC
150	1139	RD15	埋土	石筥	4.4	2.6	1.4	11.9	刃部：両面加工	L	KC
150	1140	C8区PP	埋土	石筥	4.6	3.2	1.1	12.3	刃部：片面の周縁加工	C	K
150	1141	F7F10	Ⅱb層	石筥	8.2	3.6	1.7	47.7	刃部：両面加工	B	KC
150	1142	F7F10	Ⅱb層	石筥	8.1	3.2	1.5	40.9	刃部：両面加工	C	KC
150	1143	F7G09	Ⅱb層	石筥	5.9	3.6	1.4	29.0	刃部：両面加工	P	KC
150	1144	F7区	不明	石筥	(4.4)	2.9	1.2	16.2	刃部：両面加工	N	KC
151	1145	F7I05	Ⅱc層	打製石斧	16.6	6.6	2.4	235.6	片面の周縁加工	B	KC
151	1146	F7I06	Ⅱd層	打製石斧	23.6	9.3	3.4	822.4	両面の周縁加工	B	KC
151	1147	F7F09	Ⅱb層	打製石斧	25.0	9.9	2.6	869.3	両面の片縁加工	B	KC
151	1148	F6K25	I層	打製石斧	16.6	8.1	3.3	523.7	両面の片縁加工	D	KC
152	1149	C8P11	Ⅳ層	打製石斧	21.1	8.2	3.2	649.9	片面加工 1150と接合	G	KC
152	1150	C8P11	Ⅳ層	打製石斧	18.8	7.4	2.2	380.9	片面加工 1149と接合	B	KC
153	1151	RG02	埋土下位	磨製石斧	(9.3)	4.1	3.3	188.3	未製品	L	KC
153	1152	RG02	埋土	磨製石斧	(9.7)	5.3	3.3	266.6	刃部のみ	P	KC
153	1153	RG03	8層	磨製石斧	(8.2)	3.8	2.1	120.1	基部のみ	L	KC
153	1154	F7区ベルト1	12層	磨製石斧	20.5	5.4	3.9	731.8		U	KC
153	1155	F7H07	21層	磨製石斧	(8.7)	4.5	3.8	224.4	擦切磨製石斧	L	KC

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
153	1156	F7I09	IIc層	磨製石斧	(6.1)	2.8	1.5	44.7	基部欠損	L	KC
153	1157	F7I08	II d層	磨製石斧	(5.9)	4.6	2.8	102.2	端部のみ	J	KC
153	1158	F7G08	不明	磨製石斧	10.1	5.0	2.8	248.7		L	KC
153	1159	F7I08	IIa層	磨製石斧	(12.1)	5.0	3.7	340.8		B	KC
153	1160	F7F10	IIb層	磨製石斧	(8.9)	8.1	4.0	421.1	刃部のみ	U	KC
153	1161	F7H11	II d層	磨製石斧	(6.7)	5.1	3.0	175.3	刃部のみ	J	KC
153	1162	F7H13	I層	磨製石斧	(9.5)	5.0	2.6	186.7	端部欠損	L	KC
153	1163	F7区	I層	磨製石斧	(9.7)	6.5	3.3	311.2	基部のみ	R	KC
154	1164	RD30	1層	敲磨器Ab	10.2	8.3	4.3	547.6	両端に敲打痕	P	KC
154	1165	RG02	埋土下位	敲磨器Ab	7.8	6.7	4.3	323.0	両端に敲打痕	B	KC
154	1166	F7H05	3層	敲磨器Ab	7.7	6.6	4.1	297.4	両面に凹み 周縁に敲打痕	V	KC
154	1167	F7H~I05	5層	敲磨器Ab	10.8	9.6	4.8	710.1	片面に凹み 1側縁に敲打痕	P	KC
154	1168	F7H06	2層	敲磨器Ab	9.0	8.1	4.6	455.1	両端に敲打痕	A	KC
154	1169	F7H06	I層	敲磨器Ab	8.2	7.6	3.9	369.6	片面に凹み 両端に敲打痕	R	KC
154	1170	F7I06	II d層	敲磨器Ab	8.8	7.0	4.7	437.4	両端に敲打痕	V	KC
155	1171	F7G07	IIc層	敲磨器Ab	8.8	6.9	4.9	418.3	1端に敲打痕	V	KC
155	1172	F7区ベルト	1層	敲磨器Ab	9.7	8.9	3.0	438.3	側縁に敲打痕	U	KC
155	1173	F7I07	IIc層	敲磨器Ab	8.9	7.8	4.7	496.4	両端・1側縁に敲打痕	S	KC
155	1174	F7G08	II d層	敲磨器Ab	12.0	5.9	4.3	520.9	両面に凹み 1端・1側縁に敲打痕	R	KC
155	1175	F7I08	II d層	敲磨器Ab	7.9	7.9	5.5	476.4	周縁に敲打痕	R	KC
155	1176	F7I08	II d層	敲磨器Ab	10.5	4.9	4.0	288.0	両端に敲打痕	P	KC
155	1177	F7I08	II d層	敲磨器Ab	8.3	6.6	5.6	428.3	両端・1側縁に敲打痕	B	KC
156	1178	F7I08	II d層	敲磨器Ab	10.7	7.5	4.4	506.5	1側縁に敲打痕	P	KC
156	1179	F7I08	II d層	敲磨器Ab	8.1	5.6	2.8	192.6	両端に敲打痕	A	KC
156	1180	F7J08	IIb層	敲磨器Ab	11.1	5.3	3.8	329.8	両端に敲打痕	P	KC
156	1181	F7G09	2層	敲磨器Ab	11.7	8.3	5.5	608.3	1端に敲打痕	D	KC
156	1182	F7G10	IIb層	敲磨器Ab	(7.4)	7.0	3.9	238.7	両端に敲打痕	A	KC
156	1183	F7H11	IIa層	敲磨器Ab	5.4	4.3	3.6	116.3	両端に敲打痕	A	KC
156	1184	F7G09	IIc層	敲磨器Ab	14.2	8.4	2.3	421.5	1端に刃部加工	P	KC
157	1185	RD53	東半埋土	敲磨器Ac	18.0	7.3	4.0	740.6	片面に凹み	P	KC
157	1186	RD60	南半埋土下位	敲磨器Ac	15.2	5.9	2.9	403.5	両面に凹み	T	NS
157	1187	RG03	東半埋土	敲磨器Ac	13.7	5.3	3.3	345.0	両面に凹み	Q	KC
157	1188	RG02ベルト3	8層	敲磨器Ac	15.0	6.0	2.5	311.9	片面に凹み	P	KC
157	1189	F7J02	I層	敲磨器Ac	13.6	8.8	2.2	542.0	両面に凹み	P	KC
157	1190	F7H06	II d層	敲磨器Ac	11.5	6.4	2.5	273.3	片面に凹み	P	KC
157	1191	F7I07	IIc層	敲磨器Ac	8.0	7.5	3.2	255.6	片面に凹み	P	KC
157	1192	F7H07	II d層	敲磨器Ac	14.1	9.5	2.6	461.3	両面に凹み	B	KC
157	1193	F7H07	3層	敲磨器Ac	13.6	4.8	2.9	252.1	両面に凹み	B	KC
158	1194	F7I08	II d層	敲磨器Ac	12.4	6.3	3.8	475.8	両面・1側縁に凹み	P	KC
158	1195	F7I08	II d層	敲磨器Ac	12.9	6.3	2.5	279.1	両面に凹み	P	KC
158	1196	F7I08	II d層	敲磨器Ac	11.9	10.9	6.2	1085.4	両面に凹み	P	KC
158	1197	F7I08	IIc層	敲磨器Ac	10.3	8.6	5.1	586.9	両面に凹み	P	KC
158	1198	F7J09	3層	敲磨器Ac	10.2	7.4	5.3	491.9	両面・1端に凹み	P	KC
158	1199	F7J09	不明	敲磨器Ac	(11.3)	8.8	2.9	376.6	両面に凹み	P	KC
158	1200	F7J09	I層	敲磨器Ac	18.2	(6.0)	4.0	539.5	両面に凹み	P	KC
159	1201	F7F09	IIb層	敲磨器Ac	(10.6)	5.8	2.1	170.0	両面に凹み	M	KC
159	1202	F7H11	II d層	敲磨器Ac	10.6	9.5	4.3	586.3	両面に凹み	P	KC
159	1203	F7F10ベルト	4層	敲磨器Ac	14.1	(5.3)	3.8	279.4	両面に凹み	M	KC
159	1204	F7G~112	4層	敲磨器Ac	12.3	9.0	7.4	1121.0	両面に凹み	M	KC
159	1205	F7G10	6層	敲磨器Ac	12.2	(5.1)	2.2	226.0	両面に凹み	P	KC
159	1206	F7L13	不明	敲磨器Ac	12.5	5.9	2.0	244.3	片面に凹み	D	KC
159	1207	F7区	表採	敲磨器Ac	19.4	6.1	3.9	697.6	4面に凹み	G	KC



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
160	1208	F7J02	I層	敲磨器Ac	9.0	8.0	4.0	433.1	2面に擦痕 片面に凹み 2側縁に敲打痕	P	KC
160	1209	F7J09	不明	敲磨器Ac	11.8	7.5	3.7	498.6	両面に凹み 両端・1側縁に敲打痕	P	KC
160	1210	RD49	I層	敲磨器Ac	13.1	8.1	2.8	402.9	片面に凹み 1端に敲打痕	P	KC
160	1211	F7J08	IIb層	敲磨器Ac	13.2	5.0	3.8	336.2	両面に凹み 1端・1側縁に敲打痕	P	KC
160	1212	RA02	埋土	敲磨器Ac	13.4	4.2	3.6	307.8	3面に凹み 両端に敲打痕	O	KC
160	1213	RD60	南半埋土	敲磨器Ac	(11.1)	5.4	5.7	461.4	I a(3)1 欠損状況d	P	KC
161	1214	F7G06	IIb層	敲磨器Ac	16.3	7.4	3.8	602.0	片面に凹み 両端に敲打痕	P	KC
161	1215	F7H06	IIb層	敲磨器Ac	16.2	6.8	3.9	605.6	両面に凹み 1側縁に擦痕	P	KC
161	1216	F7I06	IIb~c層	敲磨器Ac	12.2	9.5	4.4	626.2	I b(1)1 両面に凹み	B	KC
161	1217	F7I06	II d層	敲磨器Ac	15.7	12.6	3.9	886.4	II c(1)1 片面に凹み	B	KC
161	1218	F7I07	II c層	敲磨器Ac	(11.2)	7.8	2.1	247.3	III a(1)1 欠損状況d 両面に凹み	P	KC
161	1219	F7F08	II b層	敲磨器Ac	13.7	6.8	3.6	433.6	III a(1)1 両面に凹み 1側縁に擦痕	P	KC
162	1220	RA01	埋土	敲磨器B	16.9	8.6	3.4	707.9	II b(1)2	P	KC
162	1221	RD06	埋土	敲磨器B	(17.1)	6.3	5.2	720.4	I a(3)1 欠損状況b 1面に凹み	P	KC
162	1222	RD15	南半埋土	敲磨器B	13.7	8.8	3.1	503.9	III b(1)2	P	KC
162	1223	RD15	埋土	敲磨器B	(10.5)	7.4	6.3	558.4	I a(2)1 欠損状況C	P	KC
162	1224	RD30	埋土上位	敲磨器B	(9.1)	7.5	3.3	309.6	II a(1)3 欠損状況d	P	KC
162	1225	RD30	埋土上位	敲磨器B	13.3	7.0	3.1	402.3	II b(1)1	P	KC
163	1226	RD53	埋土	敲磨器B	12.6	4.8	1.7	127.0	III b(1)3	G	KC
163	1227	RD53	埋土	敲磨器B	(8.6)	6.1	2.7	187.1	II b(1)1 欠損状況d	P	KC
163	1228	RD53	西半埋土下位	敲磨器B	17.2	9.3	3.0	623.6	III b(1)2	P	KC
163	1229	RD53	埋土下位	敲磨器B	15.5	7.1	2.8	407.4	III b(1)2	O	KC
163	1230	RD53	西半埋土下位	敲磨器B	(12.1)	6.3	3.5	323.6	II b(1)2 欠損状況d	P	KC
163	1231	RD53	埋土下位	敲磨器B	(17.7)	7.3	2.3	403.0	III c(1)2 欠損状況b 片面に擦痕	B	KC
164	1232	RD54	南半埋土	敲磨器B	19.0	8.2	1.4	299.8	III c(1)3	D	KC
164	1233	RD54	南半埋土	敲磨器B	16.6	6.9	1.6	220.2	III b(1)1	D	KC
164	1234	RD54	南東埋土	敲磨器B	(10.8)	7.5	3.1	339.8	II b(1)1 欠損状況d	P	KC
164	1235	RD55	北半埋土2層	敲磨器B	18.1	(6.1)	(4.9)	596.1	I b(1)1? 欠損状況f	P	KC
164	1236	RD55	西半埋土下位	敲磨器B	(8.0)	9.9	3.3	297.3	III b(1)3 欠損状況e	P	KC
164	1237	RD60	北半埋土	敲磨器B	19.9	7.3	2.0	390.1	III b(1)3	B	KC
165	1238	RD60	北半埋土	敲磨器B	21.6	7.9	1.8	340.6	III c(1)3	B	KC
165	1239	RD60	南東埋土下位	敲磨器B	19.4	7.8	3.0	645.7	II a(2)1	P	KC
165	1240	RG02	埋土4層	敲磨器B	19.9	6.7	3.2	543.0	II b(1)3	B	KC
165	1241	RG02ベルト3	4層	敲磨器B	12.3	6.2	3.1	328.1	II b(1)1 片面に凹み	P	KC
165	1242	RG02	南側落ち込み	敲磨器B	16.9	6.1	2.3	280.1	III c(1)3 両面に凹み	E	KC
165	1243	RG02ベルト3	4層	敲磨器B	21.2	5.7	3.4	465.1	II b(1)3	J	KC
166	1244	RG03	東半埋土	敲磨器B	11.7	5.7	2.8	259.6	II b(1)1	B	KC
166	1245	RG03	西半埋土27層	敲磨器B	18.1	11.0	3.7	933.6	II b(1)2	P	KC
166	1246	RG05	18層	敲磨器B	23.2	7.5	2.2	391.4	III c(1)3 両面に磨面	B	KC
166	1247	RG05	18層	敲磨器B	11.2	7.0	2.6	231.0	II c(1)2	D	KC
166	1248	RG05	東半埋土	敲磨器B	(15.6)	8.6	3.8	591.3	II a(1)2 欠損状況b	P	KC
166	1249	RG05	底面直上	敲磨器B	15.6	6.5	2.0	239.8	III c(1)3	G	KC
167	1250	F7H05	2層	敲磨器B	19.6	6.9	6.9	1055.6	I a(1)1	P	KC
167	1251	F7H05	II c層	敲磨器B	15.1	6.8	6.5	924.5	I a(2)1	R	KC
167	1252	F7区ベルト	20層	敲磨器B	(9.3)	5.9	5.2	419.1	I a(2)1 欠損状況c 1側縁に凹み	T	NS
167	1253	F7I08	II c層	敲磨器B	(13.9)	8.1	6.2	533.8	I a(3)1 欠損状況d	P	KC
167	1254	F7I08	II d層	敲磨器B	15.7	9.2	5.2	780.5	I a(1)1	P	KC
167	1255	F7I08	II c層	敲磨器B	14.9	6.5	4.8	691.8	I a(2)1	P	KC
167	1256	F7I08	II d層	敲磨器B	11.7	7.4	4.3	543.5	I a(1)1	U	KC
168	1257	F7G10	II b層	敲磨器B	13.0	7.1	5.7	788.0	I a(1)1	V	KC
168	1258	F7G11	II d層	敲磨器B	(13.2)	(5.8)	(5.3)	431.0	I a(1)? 欠損状況e 片面に凹み	D	KC
168	1259	F7G11	7層	敲磨器B	(15.6)	8.2	5.2	881.7	II a(1)1 欠損状況c 片面に凹み	P	KC



図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
168	1260	F7G12	4層	敲磨器B	(13.4)	7.1	5.8	687.4	I a(1)1 欠損状況b 2面に凹み	P	KC
168	1261	F7G~112	4層	敲磨器B	17.7	7.2	4.6	837.4	1端に敲打痕	O	KC
168	1262	F7区	I層	敲磨器B	(10.3)	5.9	4.7	470.0	I a(2)1 欠損状況c	P	KC
169	1263	F7区	I層	敲磨器B	(10.7)	6.6	7.2	558.4	I a(2)1 欠損状況e	P	KC
169	1264	F7H~J05	2層	敲磨器B	19.0	8.5	5.0	1028.0	I b(1)1 3面に凹み	P	KC
169	1265	F7H05	2層	敲磨器B	15.1	7.3	5.2	723.3	I b(1)1	P	KC
169	1266	F7I08	II d層	敲磨器B	16.3	10.1	5.0	820.5	I b(1)1	P	KC
166	1267	F7I08	II d層	敲磨器B	12.6	4.4	3.0	264.0	I b(1)1	B	KC
169	1268	F7F10ベルト	1層	敲磨器B	17.1	7.9	4.3	708.6	I b(1)1	P	KC
170	1269	F7G10	II b層	敲磨器B	14.1	7.7	4.9	612.6	I b(1)1	P	KC
170	1270	F7F10ベルト	1層	敲磨器B	16.1	8.5	3.2	643.1	II a(1)2	P	KC
170	1271	F7J10	I層	敲磨器B	16.4	8.2	4.4	765.9	I a(1)1 片面に凹み	P	KC
170	1272	F7G11	II a層	敲磨器B	14.3	6.6	3.7	444.5	II a(1)1	P	KC
170	1273	F7H11	I層	敲磨器B	14.4	6.0	3.5	455.3	II a(1)2	P	KC
170	1274	F7H12	II b層	敲磨器B	(12.5)	7.9	3.5	433.0	II a(1)2 欠損状況d 1側縁に敲打痕	P	KC
171	1275	F7H06	I層	敲磨器B	17.9	6.4	3.5	542.9	I a(1)1	P	KC
171	1276	F7H06	II b層	敲磨器B	17.0	6.7	3.0	428.3	II a(1)3	P	KC
171	1277	F7H09	II b層	敲磨器B	15.8	6.3	3.1	456.3	II a(1)1	P	KC
171	1278	F7G09	II b層	敲磨器B	17.0	8.5	3.3	630.1	II a(1)1	D	KC
171	1279	F7G08	II b層	敲磨器B	(17.8)	8.2	4.0	650.2	II a(1)2 欠損状況c 接合 (F7G08内) 1端に凹み	P	KC
171	1280	F7G08	II b層	敲磨器B	16.9	7.7	3.7	476.4	II b(1)2	P	KC
172	1281	F7I08	II c層	敲磨器B	13.8	6.2	3.5	368.1	II a(1)1	P	KC
172	1282	F7I08	II d層	敲磨器B	13.3	5.6	2.9	262.4	II b(1)3	P	KC
172	1283	F7I08	II d層	敲磨器B	16.8	7.1	3.7	563.8	II b(1)2 接合 (F7I08内)	P	KC
172	1284	F7G09	II b層	敲磨器B	16.2	5.9	27.5	295.4	II b(1)2	P	KC
172	1285	F7H09	II a層	敲磨器B	20.9	9.3	3.7	963.1	II b(1)3	P	KC
172	1286	F7I09	2層	敲磨器B	13.5	7.1	3.1	407.1	II b(2)1	P	KC
173	1287	F7H~I05	5層	敲磨器B	18.0	5.7	3.0	428.5	II b(1)2	P	KC
173	1288	F7H06	I層	敲磨器B	16.7	8.3	3.6	677.9	II b(1)1	P	KC
173	1289	F7H06	II c層	敲磨器B	16.8	6.4	3.0	418.0	II b(1)2	P	KC
173	1290	F7H06	II b層	敲磨器B	18.9	6.5	3.9	521.8	II b(1)3	G	KC
173	1291	F7区ベルト1	20層	敲磨器B	13.9	5.9	2.5	275.4	II b(1)1	P	KC
173	1292	F7H08	II c層	敲磨器B	15.6	7.5	29.5	494.8	II b(1)1	P	KC
174	1293	F7F10ベルト	4層	敲磨器B	15.4	6.8	3.2	508.5	II b(1)1	P	KC
174	1294	F7G10	II b層	敲磨器B	18.0	6.3	2.8	378.4	II b(2)1 両面に凹み	G	KC
174	1295	F7G11	7層	敲磨器B	14.9	6.3	3.2	400.6	II c(1)3 片面に凹み	E	KC
174	1296	F7F09	II b層	敲磨器B	15.0	5.7	2.7	279.5	II c(1)2	B	KC
174	1297	F7区ベルト	II a層	敲磨器B	20.8	6.5	2.8	532.2	II b(1)2 片面に凹み	B	KC
174	1298	F7G07	不明	敲磨器B	20.5	6.8	2.8	602.0	III a(1)1 接合 (F7G09内)	P	KC
175	1299	F7H07	I層	敲磨器B	9.5	4.2	1.8	86.0	III b(1)1	P	KC
175	1300	F7I07	II c層	敲磨器B	12.0	7.7	2.8	368.1	III a(1)1 両面・1端に凹み	P	KC
175	1301	F7G08	II b層	敲磨器B	(13.2)	6.7	2.7	281.3	III b(1)1 欠損状況d 両面に凹み	O	KC
175	1302	F7F10ベルト	1層	敲磨器B	10.7	5.1	2.2	169.6	III b(1)1	P	KC
175	1303	F7I~東側	表土	敲磨器B	16.0	7.5	2.7	438.1	III b(1)3 接合 (F7I08内)	P	KC
175	1304	F7G10	6層	敲磨器B	17.1	11.6	3.0	898.7	III b(1)3	P	KC
175	1305	F7区	不明	敲磨器B	12.8	7.0	2.3	366.9	II b(1)1	J	KC
176	1306	C6区	IV層	敲磨器B	(8.9)	7.1	2.4	250.7	III a(1)2 欠損状況a	P	KC
176	1307	F7I09	2層	敲磨器B	15.9	7.3	2.4	342.8	III b(1)3	B	KC
176	1308	F7G07	不明	敲磨器B	19.4	11.1	3.4	948.8	III b(1)2	P	KC
176	1309	F7G08	II d層	敲磨器B	19.5	7.0	2.1	313.7	III b(1)3	D	KC
176	1310	F7I08	II a層	敲磨器B	14.5	5.5	2.7	265.2	III b(1)3	B	KC
176	1311	F7I08	II c層	敲磨器B	15.4	6.9	3.0	358.6	II b(1)3	G	KC

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
177	1312	F7I08	II d層	敲磨器B	13.9	5.9	2.7	309.9	III b(1)2	B	KC
177	1313	F7G09	II b層	敲磨器B	(13.6)	5.1	1.6	195.1	III c(1) 欠損状況b 両面に擦痕あり	F	KC
177	1314	F7F10ベルト	4層	敲磨器B	16.8	9.0	2.0	604.1	III b(1)2	D	KC
177	1315	F7H11	II d層	敲磨器B	14.3	5.7	2.4	262.0	II b(1)2	G	KC
177	1316	F7H10	II b層	敲磨器B	14.7	7.1	2.8	354.4	III b(1)1	P	KC
177	1317	F7G10	II b層	敲磨器B	13.0	4.5	1.8	152.2	III b(1)1	P	KC
178	1318	F7H10~11	不明	敲磨器B	22.7	6.9	1.7	415.7	III b(1)3 片面に擦痕あり	D	KC
178	1319	F7H10~11	不明	敲磨器B	(20.5)	7.0	2.0	307.7	III b(1)3、欠損状況b	J	KC
178	1320	F7H10~11	不明	敲磨器B	15.6	7.5	2.7	430.2	II b(1)2	P	KC
178	1321	F7H10~11	不明	敲磨器B	12.6	6.5	2.2	253.1	III b(1)1	B	KC
178	1322	F7G11	7層	敲磨器B	16.3	8.1	3.1	474.4	III b(1)2 片面に凹み	G	KC
178	1323	F7G11	7層	敲磨器B	(16.4)	8.3	2.9	581.7	III b(1)1 欠損状況b 接合 (F7G11内)	P	KC
179	1324	F7H11	II e層	敲磨器B	13.8	6.2	1.4	186.9	III b(1)3	D	KC
179	1325	F7H12	II b層	敲磨器B	(9.4)	(8.5)	(2.2)	252.3	III b(1)2 欠損状況d	U	KC
179	1326	F7H12	II b層	敲磨器B	17.8	6.5	2.3	321.8	III b(1)2	P	KC
179	1327	F7H12	II b層	敲磨器B	12.8	6.4	2.0	179.7	I b(1)1	P	KC
179	1328	F5区トレンチ	-	敲磨器B	(11.4)	5.9	2.4	162.2	III b(1)2 欠損状況b	P	KC
179	1329	F7H03	II b層	敲磨器B	(19.6)	6.0	1.7	190.1	III c(1)1 欠損状況b 片面に擦痕あり	B	KC
180	1330	F7H05	II b層	敲磨器B	17.5	7.1	2.4	444.1	III c(1)3	P	KC
180	1331	F7H06	II d層	敲磨器B	17.8	7.2	2.6	440.4	III c(1)3 接合 (F7H07・F7H06)	W	KC
180	1332	F7H07	II d層	敲磨器B	20.6	7.2	2.6	567.6	III c(1)3	B	KC
180	1333	F7G08	II b層	敲磨器B	18.2	9.3	3.0	699.9	III c(1)1	B	KC
180	1334	F7I08	II a層	敲磨器B	22.4	6.1	1.0	162.0	III c(1)3	D	KC
180	1335	F7F09	II b層	敲磨器B	17.1	5.2	2.2	360.4	III c(1)2	T	KC
181	1336	F7G09	II b層	敲磨器B	21.1	8.0	1.6	240.7	III c(1)3	G	KC
181	1337	F7G09	II b層	敲磨器B	21.9	7.0	2.3	396.8	III c(1)3、接合 (F7G09内)	D	KC
181	1338	F7F10	不明	敲磨器B	14.5	7.1	2.3	294.1	III c(1)3	B	KC
181	1339	F7G10	6層	敲磨器B	15.1	5.4	1.7	183.5	III c(1)3	D	KC
181	1340	F7G10	II b層	敲磨器B	16.7	9.5	1.7	128.5	III c(1)3	B	KC
181	1341	F7H11	II b層	敲磨器B	19.4	7.6	1.7	324.9	III c(1)3	B	KC
182	1342	F7J02	I層	石錘	8.2	6.6	2.1	164.8	縦型	P	KC
182	1343	F7I08	II d層	石錘	7.5	8.5	2.0	210.9	横型	P	KC
182	1344	F7H06	I層	石錘	7.1	11.5	1.8	227.3	横型	B	KC
182	1345	F7区ベルト1	12層	台石	16.1	13.8	4.4	1487.9	両面に浅い凹み	P	KC
183	1346	F7G08	II d層	石棒	(13.8)	6.8	5.2	729.3	角柱礫	D	KC
183	1347	F7G09	II b層	石棒	(17.8)	4.6	3.5	490.9	角柱礫	D	KC
183	1348	F7G12~112	4層	石棒	(20.0)	4.8	5.2	992.2	角柱礫	D	KC
183	1349	F7J09	不明	石剣	(12.9)	2.0	1.0	38.5		B	KC
183	1350	RG02	埋土	石剣	(12.6)	4.6	2.1	154.2		J	KC
183	1351	RG05	東半埋土	石製品	(4.4)	3.5	0.8	17.6	片面に線刻	I	KC
183	1352	RD21	埋土	石製品	2.8	2.4	1.1	9.6	副装品?	A	KC
183	1353	RD21	埋土	石製品	0.9	0.8	0.6	0.5	副装品?	A	KC
183	1354	F7I08	II c層	石製品	(4.9)	(2.7)	0.5	8.2	穿孔?	I	KC

※敲磨器類の分類 断面形・機能面(数)・周縁の加工状況、欠損状況

※石材略号 A:チャート B:粘板岩 C:チャート質粘板岩 D:凝灰質粘板岩 E:緑色凝灰質粘板岩  
F:赤褐色凝灰質粘板岩 G:砂質粘板岩 H:凝灰岩 I:チャート質凝灰岩 J:緑色凝灰岩  
K:細粒凝灰岩 L:細粒緑色凝灰岩 M:赤褐色凝灰岩 N:凝灰質泥岩 O:アルコース砂岩  
P:凝灰質硬砂岩 Q:緑色凝灰質硬砂岩 R:安山岩 S:変質安山岩 T:輝石安山岩  
U:花崗閃緑岩 V:デイサイト W:白雲母片岩

※産地時代 K:北上山地 N:二戸 C:中生界 S:新第三系中新統

表6 金属製品観察表

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	欠損状況		金属の 種類	備考
					口径	器高	底径		完形	一部		
184	1401	RD51	埋土	鍋	28.5	15.5	20.8	3.900	○		鉄	内耳鉄鍋・三耳式・一文字湯口

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	欠損状況		金属の 種類	備考
					長さ	幅	厚さ		完形	一部		
185	1402	RD51	埋土	鎌	(14.6)	4.6	0.1	110.0		○	鉄	木製柄・目釘穴無し?

図版 No.	No.	出土地点	層位	種別	計測値(cm)		重量 (g)	欠損状況		金属の 種類	備考
					長さ	径 (cm)		完形	一部		
186	1403	RB01-PP2	埋土	釘	(3.6)	0.4×0.4	4.6		○	鉄	
186	1404	RD21	埋土	釘	3.2	0.3×0.4	5.2		○	鉄	
186	1405	RD25	埋土	釘	3.8	0.4×0.4	1.5		○	鉄	
186	1406	RD40	1層	釘	(4.7)	0.3×0.3	3.0		○	鉄	
186	1407	RD40	埋土	釘	3.6	0.5×0.4	1.9		○	鉄	
186	1408	RD40	埋土	釘	(3.3)	0.5×0.5	1.8		○	鉄	
186	1409	RD46	埋土	釘	3.4	0.7×0.4	4.7		○	鉄	
186	1410	RD46	埋土	釘	(3.6)	0.8×0.5	5.9		○	鉄	
186	1411	RD46	埋土	釘	4.0	0.5×0.3	3.1		○	鉄	
186	1412	RD46	埋土	釘	4.1	0.7×0.5	3.5		○	鉄	
186	1413	RD46	埋土	釘	(3.4)	0.4×0.4	5.7		○	鉄	
186	1414	RD46	埋土	釘	4.6	0.2×0.1	2.5		○	鉄	
186	1415	RD46	埋土	釘	(2.7)	0.7×0.4	0.5		○	鉄	
186	1416	RD46	埋土	釘	(1.8)	0.5×0.3	3.9		○	鉄	
186	1417	RD46	埋土	釘	(2.3)	0.4×0.4	3.6		○	鉄	
186	1418	RD46	埋土	釘	(1.5)	0.3×0.3	0.8		○	鉄	
186	1419	RD46	埋土	釘	(2.7)	0.5×0.4	3.1		○	鉄	

図版 No.	No.	出土地点	層位	銭種	計測値(cm)			重量 (g)	欠損状況		金属の 種類	備考
					外径	内径	厚さ		完形	一部		
187	1420	RB01-PP13	掘り方	寛永通寶	2.30	0.60	0.30	1.84	○		銅	新寛永1
187	1421	RB02-PP2	埋土	寛永通寶	2.30	0.60	1.20	2.55	○		銅	新寛永1
187	1422	RD22	埋土	寛永通寶	2.30	0.60	0.62	15.80	○		銅	古寛永(5枚)
187	1423	RD24	埋土	元豊通寶	2.35	0.65	0.10	2.90	○		銅	元豊通寶1
187	1424	RD24	埋土	寛永通寶	2.45	0.60	0.15	4.10	○		銅	新寛永(1枚)
187	1425	RD24	埋土	寛永通寶	2.45	0.65	0.24	6.70	○		銅	新寛永(2枚)
187	1426	RD24	埋土	寛永通寶	2.50	0.60	0.42	10.60	○		銅	新寛永(4枚)
187	1427	RD25	埋土	寛永通寶	2.55	0.55	0.15	3.65	○		銅	新寛永:背文1
187	1428	RD25	埋土	寛永通寶	2.50	0.55	0.11	3.20	○		銅	古寛永1
187	1429	RD25	埋土	寛永通寶	2.35	0.55	0.12	2.40	○		銅	古寛永1
188	1430	RD25	埋土	寛永通寶	2.50	0.60	0.13	3.90	○		銅	新寛永:背文1
188	1431	RD51	埋土	無文	1.97	0.70	0.15	1.86	○		銅	無文銭2
188	1432	RD51	埋土	無文	1.95	0.95	0.35	2.57	○		銅	無文銭5・切断痕
188	1433	RD51	埋土	無文	1.95	0.60	0.10	4.83	○		銅	洪武通寶1?・無文銭5
188	1434	RD51	埋土	無文	2.10	0.80	0.20	1.79	○		銅	無文銭3・切断痕
188	1435	RD51	埋土	洪武・無文	2.00	0.60	0.15	1.61	○		銅	洪武通寶1・無文銭1・銅行き渡らない
188	1436	RD51	埋土	洪武通寶	2.00	0.65	0.10	1.32	○		銅	洪武通寶1
188	1437	RD51	埋土	無文	1.90	0.95	0.25	3.01	○		銅	無文銭3・切断痕
188	1438	RD51	埋土	洪武・無文	2.00	0.60	0.05	3.10	○		銅	洪武通寶1・無文銭6?・半欠状態
188	1439	RD51	埋土	無文	2.00	1.20	0.15	7.84	○		銅	無文銭13・洪武通寶1?・銅行き渡らない
189	1440	RD51	埋土	無文	1.90	0.65	0.30	3.10	○		銅	無文銭4・切断痕
189	1441	RD51	埋土	無文	1.70	1.00	0.20	1.03	○		銅	無文銭3
189	1442	RD51	埋土	無文	2.00	0.70	0.50	3.55	○		銅	無文銭8
189	1443	RD51	埋土	無文	2.00	0.65	0.30	2.19	○		銅	無文銭4
189	1444	RD51	埋土	無文	1.80	0.70	0.10	0.93	○		銅	無文銭2
189	1445	RD51	埋土	無文	1.80	0.65	0.20	1.70	○		銅	無文銭3・切断痕
189	1446	RD51	埋土	洪武通寶	1.90	0.65	0.10	0.91	○		銅	洪武通寶1?・切断痕
189	1447	RD51	埋土	無文	1.70	1.05	0.12	0.83	○		銅	無文銭2・外バリ
189	1448	RD51	埋土	無文	1.70	0.95	0.07	0.56	○		銅	無文銭1・切断痕
189	1449	RD51	埋土	無文	1.72	1.04	0.07	0.45	○		銅	無文銭1・切断痕
189	1450	RD51	埋土	無文	1.65	0.88	0.08	0.45	○		銅	無文銭1・切断痕
189	1451	RD51	埋土	無文	1.73	0.90	0.08	0.52	○		銅	無文銭1・切断痕
189	1452	RD51	埋土	無文	1.74	1.14	0.08	0.43	○		銅	無文銭1・切断痕
189	1453	RD51	埋土	無文	1.70	1.00	0.06	0.42	○		銅	無文銭1
189	1454	RD51	埋土	無文	1.35	0.75	0.04	0.18	○		銅	無文銭1
190	1455	RD51	埋土	無文	1.56	1.13	0.06	0.25	○		銅	無文銭1
190	1456	RD51	埋土	無文	1.50	0.85	0.08	0.29	○		銅	無文銭1・切断痕
190	1457	RD51	埋土	無文	1.47	0.85	0.06	0.28	○		銅	無文銭1・切断痕
190	1458	RD51	埋土	無文	1.40	1.05	0.10	0.32	○		銅	無文銭2
190	1459	RD51	埋土	無文 a 無文 b	1.65 1.20	1.10 0.95	0.05 0.05	0.50	○		銅	無文銭2・ふたつの輪状
190	1460	RD51	埋土	無文	1.50	1.10	0.07	0.26	○		銅	無文銭1・切断痕
190	1461	RD51	埋土	無文	1.45	1.10	0.05	0.13	○		銅	無文銭1
190	1462	RD51	埋土	無文	1.40	0.95	0.09	0.19	○		銅	無文銭1・切断痕
190	1463	RD51	埋土	無文	1.27	0.88	0.05	0.10	○		銅	無文銭1
190	1464	RD51	埋土	無文	1.25	0.89	0.04	0.12	○		銅	無文銭1
190	1465	RD51	埋土	無文	1.15	0.75	0.07	0.10	○		銅	無文銭1
190	1466	RD51	埋土	無文	1.12	0.76	0.06	0.09	○		銅	無文銭1
190	1467	RD51	埋土	無文	1.10	0.75	0.07	0.13	○		銅	無文銭1・切断痕・外バリ
190	1468	RD51	埋土	無文	1.75	-	0.07	0.15	○	○	銅	無文銭1(半欠状態)
190	1469	C7区Pit	埋土	判読不能	2.40	0.40	1.40	3.19	○		鉄	鉄銭1
190	1470	E2区	表土	寛永通寶	2.35	0.65	0.10	1.95	○		銅	新寛永1



## VI. 考察とまとめ

はじめに、調査成果の概要を述べ、次にいくつかの事項について若干の考察を行い、総括したい。

### 1. 遺跡の性格—調査成果の概要— (第191図)

#### (1) 遺跡の立地

遺跡は、雪谷川左岸の河岸段丘上に立地する。標高109m~120mほどで、北流する雪谷川との比高は約10mである。遺跡の面積は、約90,000㎡である。遺跡の現況は、山林・畑地である。

#### (2) 検出された遺構

縄文時代の竪穴住居跡1棟・土坑類39基・陥し穴状遺構1基・遺物包含層1ヶ所・平安時代の竪穴住居跡1棟・土坑類1基・近世の掘立柱建物跡3棟・墓壇9基・土坑7基、時期不明土坑3基である。

#### (3) 遺構の占地—縄文時代—

縄文時代前期の遺構は、土坑類がC区とA区の南端において段丘の縁に沿うかたちで分布し、遺跡の中央付近の段丘縁下位の東斜面に遺物包含層が形成されている。遺物の表面採取される範囲は、遺跡全体の中で、南北方向から雪谷川に向かって流れるふたつの沢に挟まれた平坦面にほぼ限定される。調査した範囲では、A区から出土した遺物総量は遺構内外併せて大コンテナ1箱で、総じて遺構・遺物の密度は希薄である。以上のことから、大鳥I遺跡の縄文時代前期の集落の範囲(中心)は、ふたつの沢に挟まれた遺跡中央付近の平坦面(面積約15,000㎡)にあると推定され、この平坦面の東斜面であるC区で検出された遺物包含層は、この集落の捨て場であると考えられる。

土坑は、前期と後期の2時期がある。後期の土坑は、前期の土坑に比べて、平面形は円形基調で、規模はやや小さく、埋土は黒褐色土が主体であるのが特徴で、段丘の縁より中に入った部分にまとまって分布している。

#### (4) 出土遺物

出土した遺物は、縄文土器・土師器・須恵器・土製品・石器・石製品・金属製品・炭化材である。他に、人骨6体・漆の皮膜が出土している。

a. 土器：縄文土器は大コンテナ150箱が出土している。時期の内訳は、早期(寺の沢式・吹切沢式・赤御堂式)が少量、前期(円筒下層式)が大部分を占め、中期・後期が極少量ある。土師器・須恵器は中コンテナ1箱出土している。土製品は、円盤状土製品が出土している。

b. 石器：696点出土している。内訳は、石鎌40点・尖頭器2点・石錐5点・石匙45点・不定形石器73点・両極石器15点・石篋6点・打製石斧6点・磨製石斧24点・敲磨器類452点・石錘6点・台石1点・石棒4点・石剣2点・石製品4点・石核11点である。石器組成では、石器全体の中で剥片石器では石匙、礫石器では敲磨器B類の占める割合が高く、そのなかでもⅢc3類(いわゆる半円状偏平打製石器)の占める割合が高い。

石材は、いずれも北上山地産で、剥片はチャート、礫石器では凝灰質の粘板岩、硬砂岩が多く使用されている。いずれも北上山地産の礫であることから、遺跡周辺から採取される原石を使用していたようである。敲磨器類(擦石・敲石・凹石・特殊磨石・半円状偏平打製石器)については、使用痕のない素材と考えられる礫が包含層中から出土しており、石核の出土などと併せ考えると、本遺跡でも石器が製作され、使用されていたものと考えられる。

c. 金属製品：鉄鍋1点・鉄製鎌1点・鉄釘18本・銭貨51点(114枚)が出土している。いずれも墓壇に係わるものである。

d. 炭化材：炭化材が13点得られており、樹種はケヤキ(縄文)とナラ(近世)である。



軽米町  
軽米  
大鳥



第191図 大鳥 | 遺跡縄文時代前期の集落概念図

## 2. 縄文時代：円筒下層式土器について（第192～202図）

ここでは、大鳥Ⅰ遺跡から出土した土器のうち、前期、円筒下層式土器（Ⅱ群）について、器形・文様などの特徴からいくつかに分類し、従来の土器型式との関係を把らえてみたい。

分類の基準は、文様は、部位（口縁部・胴部）と文様の種類（原体と施文方向）の関係を主とし、器形・その他（胎土・調整）を参考とした。土器集成図中の掲載No.は、Ⅴ. 出土遺物の図版掲載No.と同一である。

### Ⅱ群1類a（第192図：171～84）

口縁部：不整の撚糸文が横位に施文される。

頸部：区画を意識した文様はない。

胴部：斜縄文（横）・撚糸文・木目状撚糸文（縦）が施文され、底部付近は不整撚糸文が横位に施文される。

器形：ほぼ直立ぎみのものと口縁が直線的に外傾するタイプ（1・4）が多い。

その他：内面の調整は概して粗く、器壁に含有する礫が露出する無調整のものも多い。繊維の混入も多い。

### Ⅱ群1類b（第192・193図：85～15）

口縁部：不整の撚糸文が横位に施文される。

頸部：隆帯貼付、沈線、刺突、刻目、隆帯貼付＋原体圧痕・刺突などにより口縁部と胴部の文様帯を明確に区画する。隆帯は1本の場合と2本の場合がある。

胴部：斜縄文（横）・撚糸文・木目状撚糸文（縦）が施文され、底部付近は不整撚糸文が横位に施文される。

器形：胴部はほぼ直立ぎみで、口縁部のみ外反するタイプがあり（3・6）、器形は大型化する。

その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。繊維の混入は多い。

### Ⅱ群2類a（第193・194図：53～139）

口縁部～胴部：器面全体に同一原体による文様が施文される。用いられる文様には、斜縄文・羽状縄文・撚糸文・多軸絡条体などがある。斜縄文・羽状縄文は横位に施文されるものが多く、撚糸文・多軸絡条体は、縦位に施文される。

器形：口縁部が直線的に外傾するタイプと、直立するもの、ほぼ直立で口縁部のみ外反するものが多い（1・4・6）。器高の大きいものはあまりない。

その他：内面の調整は概して粗く、器壁に含有する礫が露出する無調整のものもある。繊維の混入も多い。

### Ⅱ群2類b（第194・195・196・197図：216～181）

口縁部～胴部：器面全体に同一原体による文様が施文される。用いられる文様には、斜縄文・羽状縄文・撚糸文・多軸絡条体などがある。斜縄文・羽状縄文は横位に施文されるものが多く、撚糸文・多軸絡条体は、縦位に施文される。

頸部：原体圧痕・刺突・刻目・隆帯貼付、隆帯貼付＋原体圧痕・刺突により口縁部と胴部を区画する。

器形：口縁部が直線的に外反するものと、頸部で一度括れて、口縁部が外反するものがある（3・6・9）。口縁部の形状は平縁のものと緩い波状口縁のものがある。

その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。繊維の混入は多い。

Ⅱ群3類a (第197・198・199図：213～92)

- 口縁部：原体側面圧痕による幾何学的な文様を施文する。文様帯の巾は、広いものと狭いものがある。
- 頸部：原体圧痕・沈線による区画を伴う。
- 胴部：撚糸文・木目状撚糸文など縦位に施文される。斜縄文・羽状縄文は、横位に施文される。
- 器形：口縁部が直線的に外反するものと、頸部で一度括れて外反するものがある(3・2・8)。口縁部の形状は平縁のものと緩い波状口縁があり、口唇部は反るものが多い。細長い器形が多くなる。
- その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。

Ⅱ群3類b (第199・200・201図：70～127)

- 口縁部：原体側面圧痕による幾何学的な文様を施文する。文様帯の巾は広い。
- 頸部：隆帯貼付による区画を伴う。隆帯の上には刻目や圧痕や原体圧痕が加えられる。
- 胴部：撚糸文・木目状撚糸文・羽状縄文などが縦位に施文される。斜縄文は横位に施文される。
- 器形：口縁部が直線的に外反するものと、頸部で一度括れて、口縁部が外反するものがあり、細長い円筒状の器形が多くなる(3・5)。口縁部の先端が僅かに反るもの多くみられる。
- その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。

Ⅱ群4類a (第201・202図：272～144)

- 口縁部：原体側面圧痕・縄文による巾の狭い直線的な文様帯をもつ。
- 頸部：細く狭い微隆帯の貼付などによる区画を伴い、刺突・刻目が施される。
- 胴部：羽状縄文(横位)が多用される。木目状撚糸文・多軸絡条体も用いられる。
- 器形：口縁部が直線的に外傾する例が多く、底径より口径が広がるバケツ形の器形(1・7)が出現する。口縁部は平縁のものが多く、頸部に横位楕円形の貫通孔が数ヶ所に入るものもある。
- その他：内面調整は横位にミガキがよく施され、繊維の混入は極めて少なくなる。

Ⅱ群4類b (第202図：137～78)

- 口縁部：原体側面圧痕・縄文による巾の狭い直線的な文様帯をもつ。
- 頸部：細く狭い微隆帯の貼付などによる区画を伴い、刺突・刻目が施される。
- 胴部：羽状縄文(横位)が多く施文される。
- 器形：頸部が屈曲するもの、4単位の波状口縁のものが多く、台付深鉢が出てくる。
- その他：内面調整は横位にミガキがよく施される。

Ⅱ群5類 (第202図：231～260)

大木式系あるいは大木式と円筒式の折衷的な土器とミニチュア土器である。

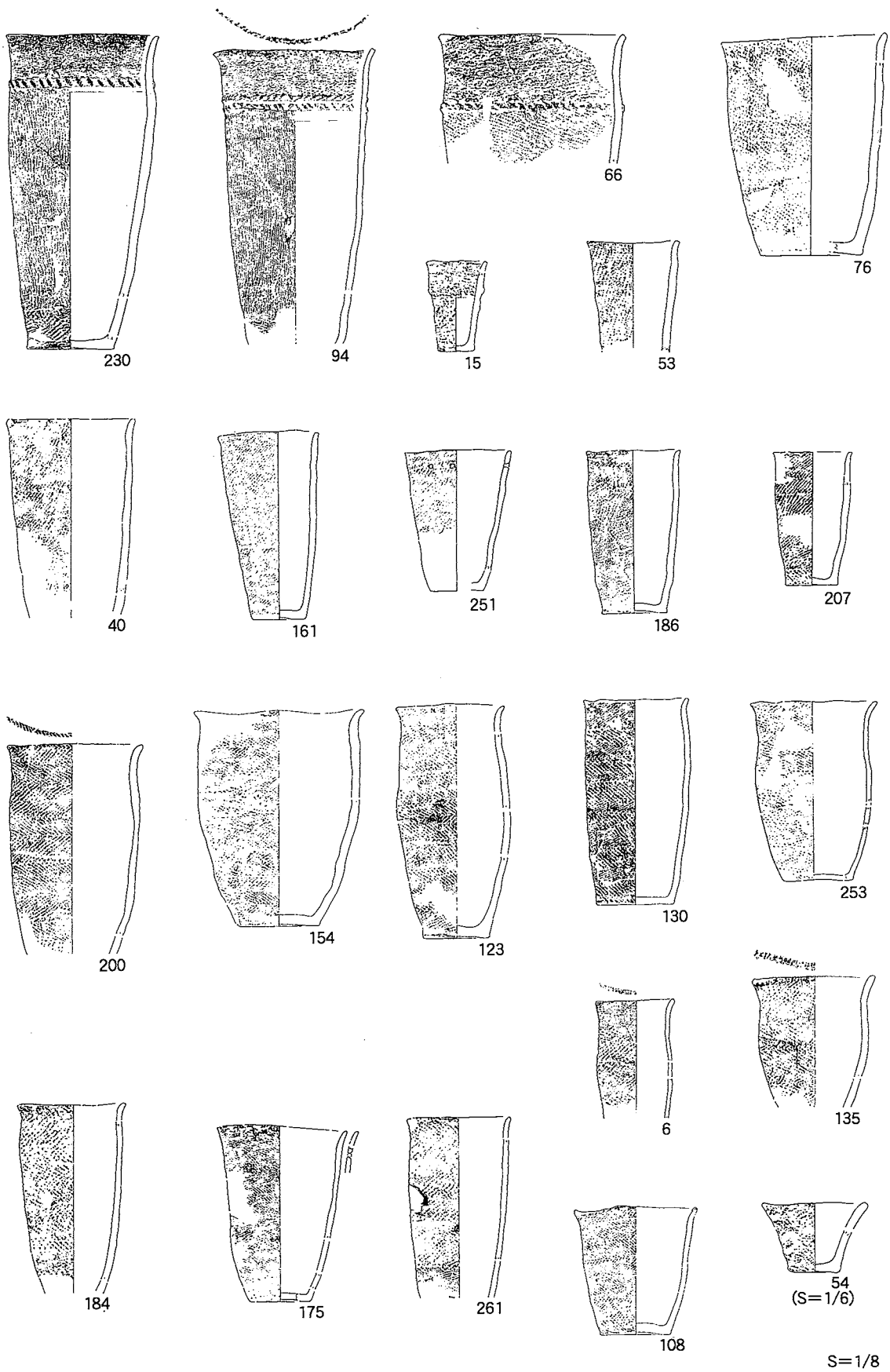
以上に分類される、それぞれ特徴を有する大鳥Ⅰ遺跡の土器群は、従来、指摘されてきた円筒下層式の土器型式と以下のような対応関係にあると考えられる(註1)。

- Ⅱ群1類a・Ⅱ群2類a：円筒下層a式      Ⅱ群1類b・Ⅱ群2類b：円筒下層b式  
Ⅱ群3類a・Ⅱ群3類b：円筒下層c式      Ⅱ群4類a・Ⅱ群4類b：円筒下層d式



第192图 土器集成图(1)

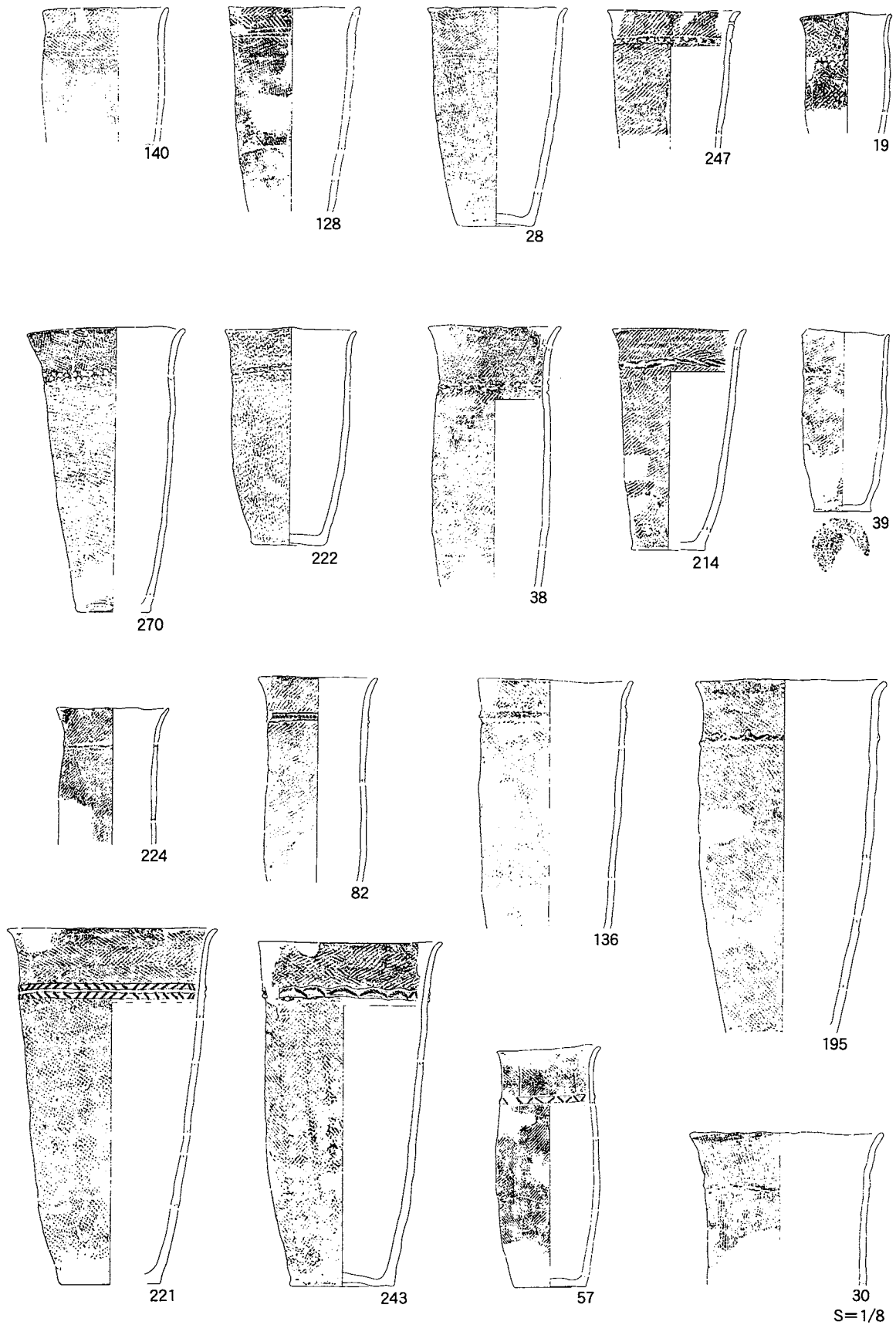




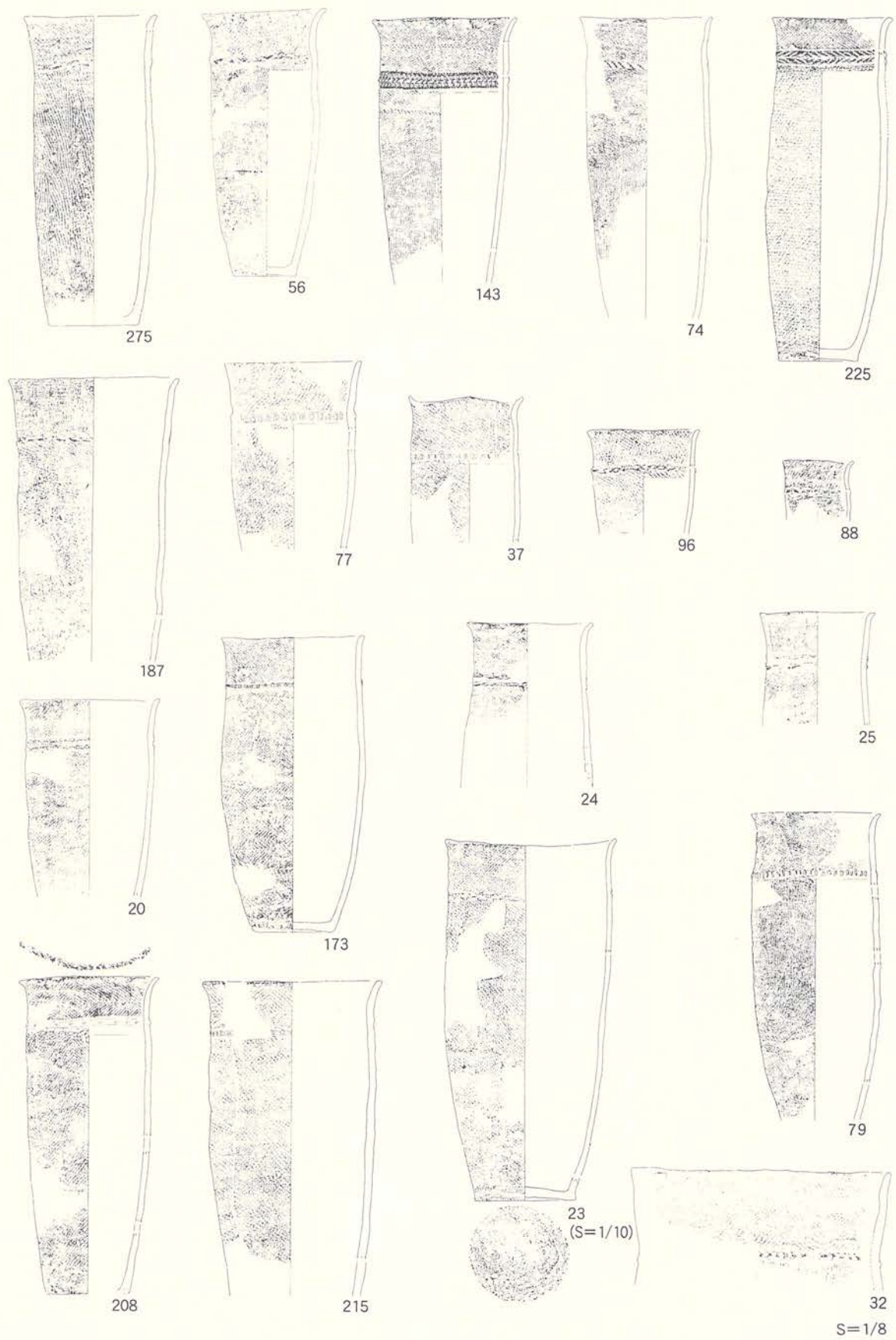
第193图 土器集成图(2)



第194図 土器集成図(3)

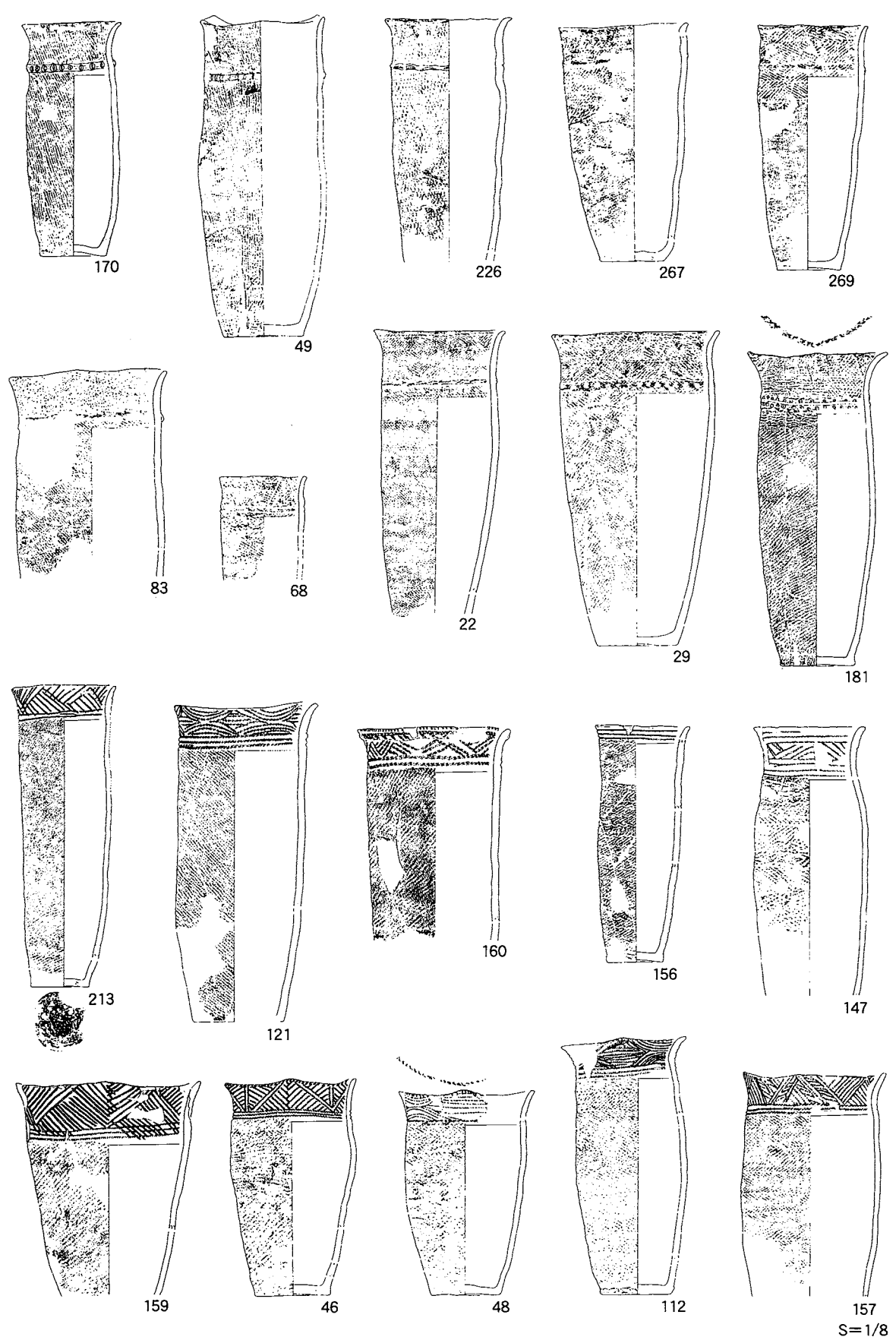


第195图 土器集成图(4)

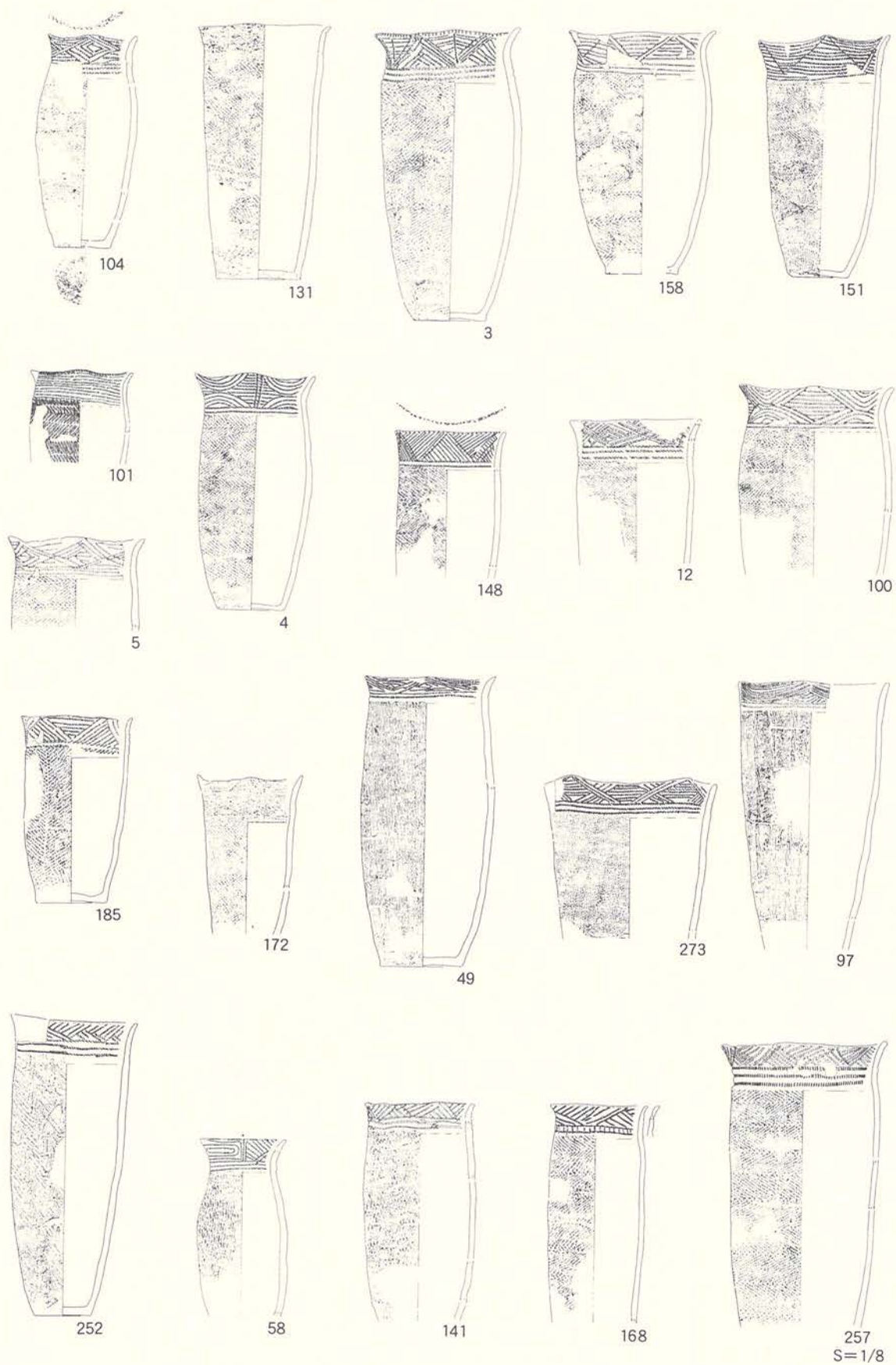


第196図 土器集成図(5)

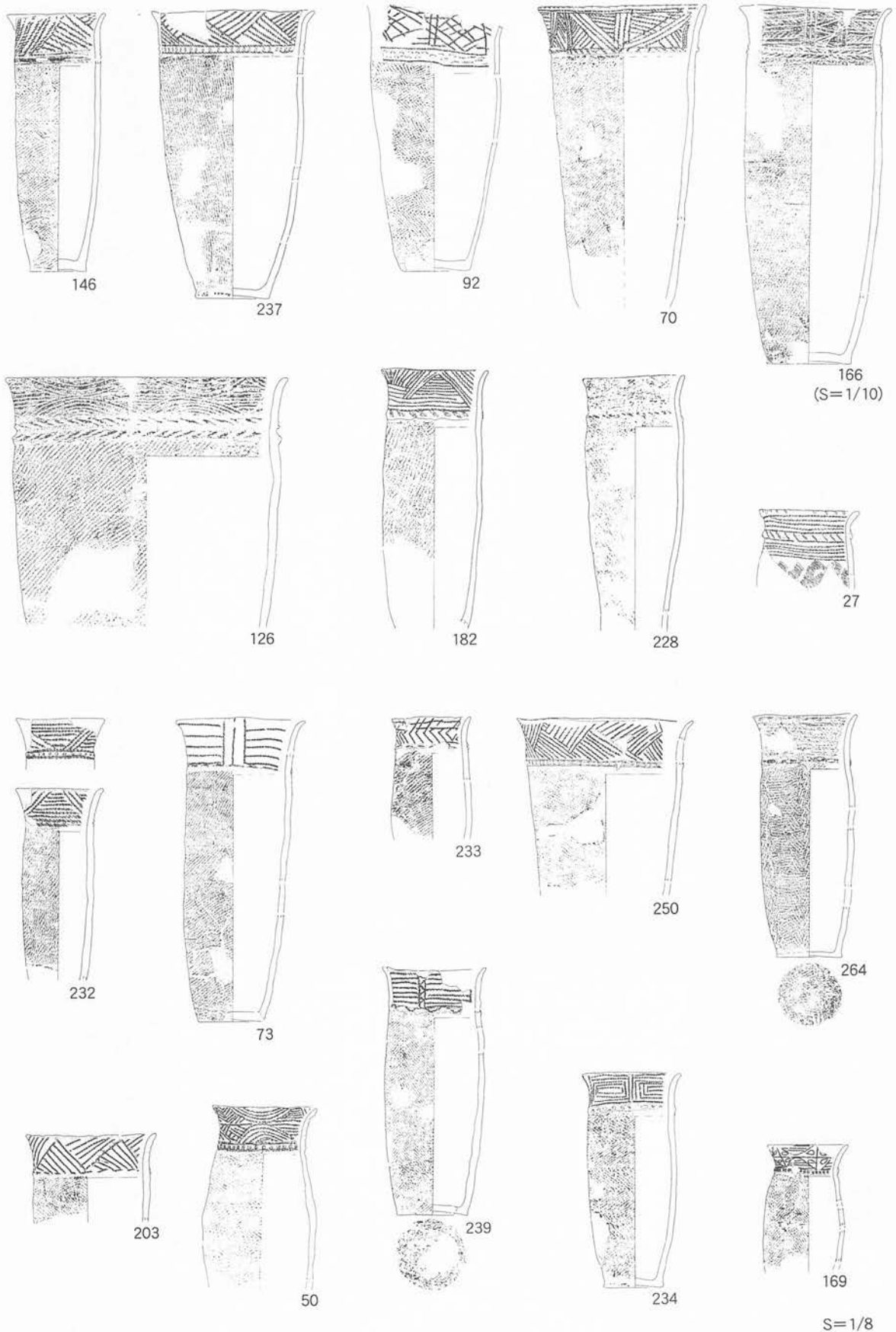




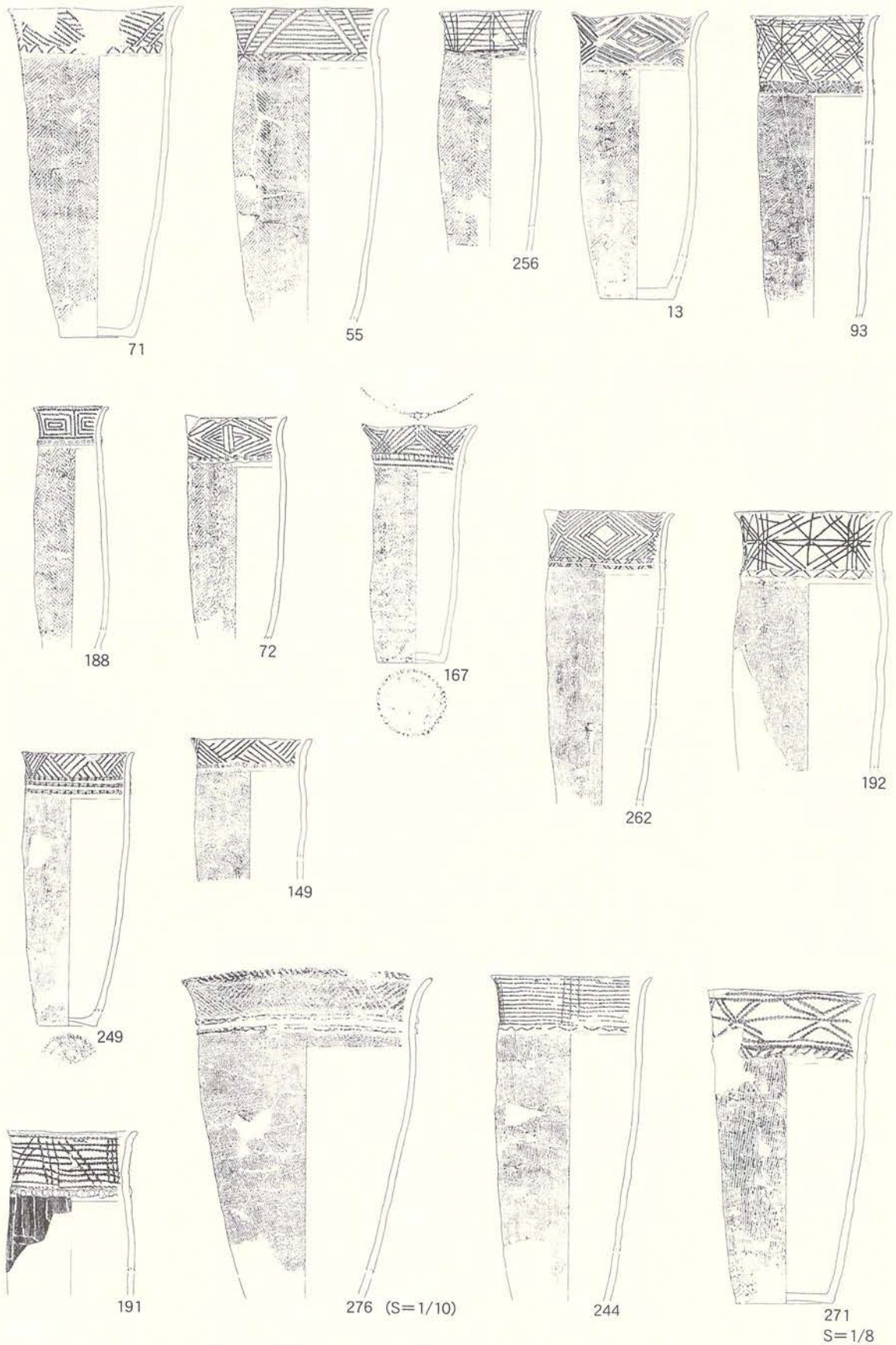
第197图 土器集成图(6)



第198图 土器集成图(7)

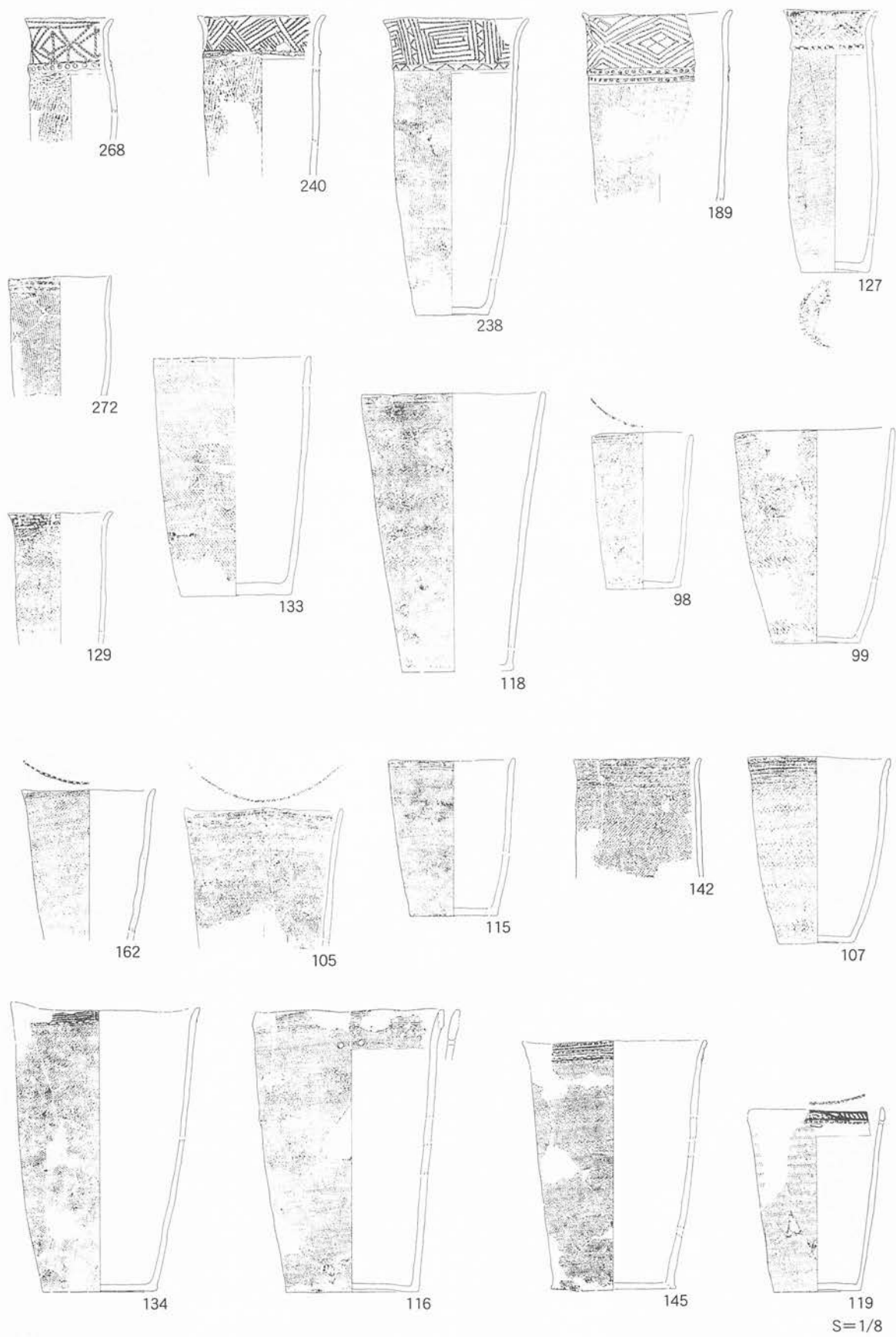


第199図 土器集成図(8)

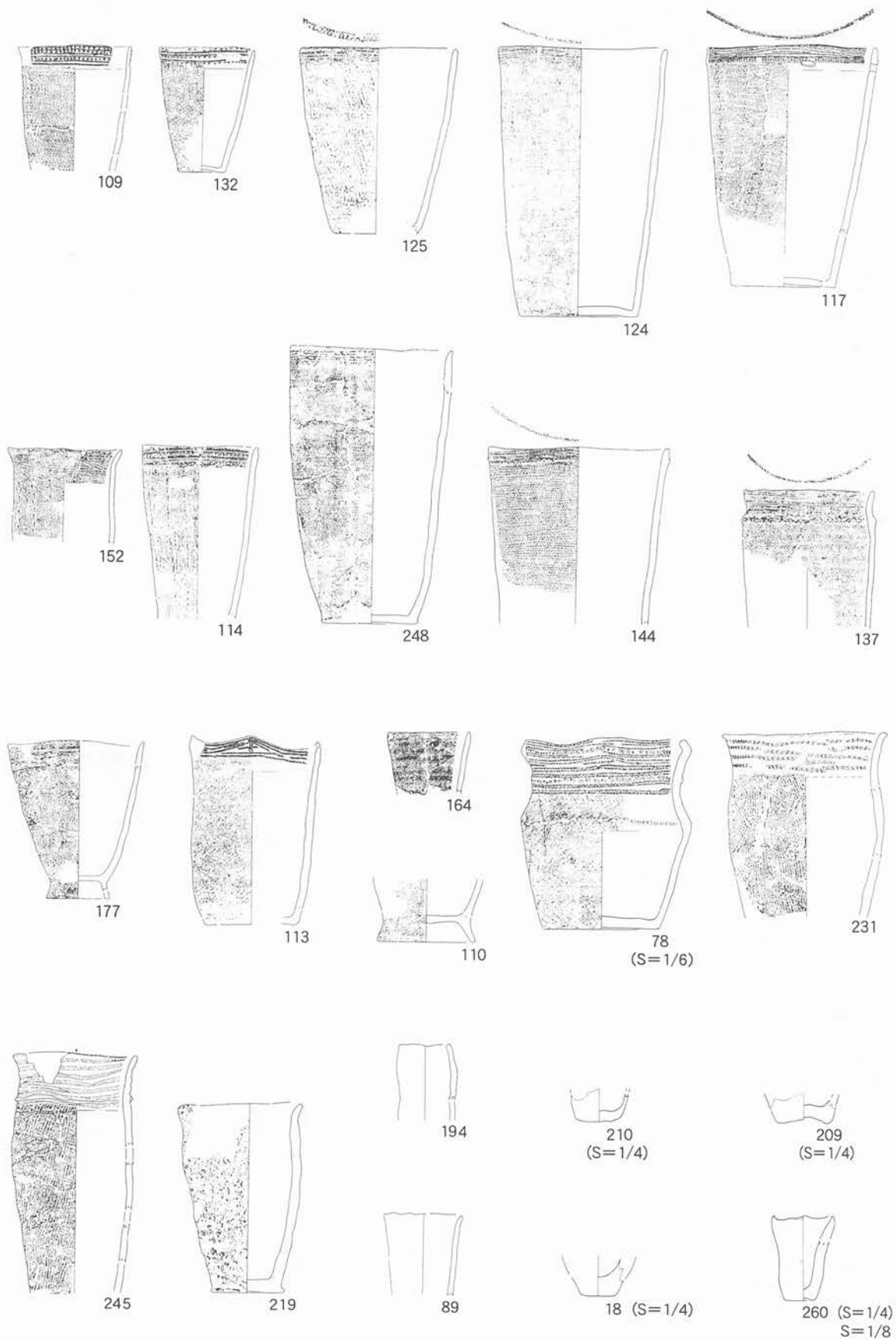


第200图 土器集成图(9)





第201图 土器集成图(10)



第202図 土器集成図(11)

### 3. 中・近世：墓壇について

今回の調査で墓壇と考えられるものが9基検出された。うち人骨が出土した墓壇が6基、副葬品のみ出土した墓壇が1基ある。以下、検出された墓壇について、中世・近世に大別し、それぞれの位置・立地・規模・形態・埋葬形態、副葬品、時期などについて検討し、まとめてみたい。

#### (1) 中世の墓壇

RD51墓壇が該当する。

##### a. 位置・立地

F7区に位置し、雪谷川を望む段丘の縁に立地する。調査した範囲では、周辺で他に墓壇は検出されておらず、この墓壇は、場所的に孤立しているか、あるいは墓域の端に位置する可能性が高い。なお、C区南西側の約30m付近に旧大鳥集落の墓所があるが、RD51墓壇との関係については不明である。

##### b. 規模・形態

RD51墓壇の規模は、他の墓壇に比して、開口部が小さく、掘り込みが深い。形状は、小判型を呈する。

##### c. 埋土

埋土は、墓壇を掘った際の土を埋め戻したもので、Ⅶ層・Ⅷ層（ローム）を起源とする混土である。

##### d. 出土遺物

人骨と副葬品が出土している。副葬品として、鉄鍋1・鉄製鎌1・緞銭1・漆皮膜（椀？）1が埋土下位から底面付近にかけて出土している。人骨は頭骨を北側にしており、鉄鍋が伏せられて接した状態で出土している。他の副葬品は、墓壇の南側から出土している。

##### e. 時期

下限は銭貨に寛永通寶が含まれないこと、上限は洪武通寶を含む緞銭が出土していることから、1636年より旧く、16世紀代の可能性が高い。墓壇の時期は、16世紀（中世後半）～17世初頭（近世初頭）と考えられる。

#### (2) 近世の墓壇

##### a. 位置・立地

RD21・22・23・24・25・26・46・48墓壇の8基が該当する。

RD21～RD26墓壇の6基が、調査区（A区）の南端（D9区）に位置する。雪谷川左岸の台地の縁で、対岸を望める緩い南斜面に立地する。うちRD23～RD26墓壇の4基は、台地の縁に沿って直列に並んでおり、墓域として設定された可能性が高い。A区の北側で検出されたRD46・48墓壇は、調査区域内において単独で検出されているが、本来は、群集する墓壇群のひとつである可能性がある。

##### b. 規模・形態

削平などにより、構築された段階の状況を留めている墓壇は少ない。検出された範囲での墓壇の規模は、開口部の規模は、最大は、RD22墓壇が径155cm、最小は、RD26墓壇の径88cmであり、開口部径96cm～120cmの範囲に6基がまとまりをみせている。深さは25～115cmとばらつきがあるが、著しく浅い墓壇は上部を削平されているものと考えられる。

墓壇の形状は、円形基調のものが7基、方形基調のものが1基である。

墓壇の上部構造を知りえたものにRD46墓壇がある。RD46墓壇の東側には、粘板岩の自然礫が検出さ

れている。封土後に墓壙のすぐ東側に、墓石として設置されたようである。

#### c. 埋土

墓壙の埋土は、基本的に墓壙を掘った土を埋め戻したものと考えられ、Ⅶ層（ローム）起源の土と、当時の表土（旧表土）と考えられる黒色土との混土である。他の遺構の埋土に比して、締まりが著しく弱い特徴がある。

#### d. 出土遺物

人骨は、5基から出土した。RD21・22・25墓壙の3基については、ほぼ完全な状態で遺存していた。いずれも頭位は北側で、膝を折り曲げた状態で出土している。RD46墓壙の頭位は不明、RD48墓壙の頭位は西側である。

副葬品が出土した墓壙は4基（RD21・22・24・25墓壙）である。副葬品の内訳は、六道銭と考えられる銭貨が出土した墓壙3基（RD22・24・25墓壙）、石製品が出土した墓壙1基（RD21墓壙）、衣類と推定される繊維質の遺物が出土した墓壙1基（RD22墓壙）である。いずれも墓壙の底部付近から出土している。また、木質部付着の鉄釘が3基（RD21・25・46墓壙）から出土している（註2）。

#### e. 時期

出土した銭貨がいずれも寛永通寶（初鑄年1636年）を含むことから、近世に属すると考えられる。

### (3) まとめ

中世の墓壙は、埋葬形態は、土葬と考えられ、頭を北側にして、膝を折り曲げた状態で埋葬されたものと推定される。鉄鍋は、伏せられて頭骨に接した状態で出土しており、頭骨にすっぽりと被せられた状態ではない。その点、すでに報告されている類例と厳密には異なるが、ここでは、同様の意図をもって行われた埋葬の形態であったと考えたい。時期は、出土した銭貨から16世紀～17世紀初頭の可能性が高い。また小判形を呈する墓壙の規模・形態も、円形・方形を基調とする他の8基の近世の墓壙に比べて、より古い要素を示している（註3）。

近世の墓壙は、埋葬方法は、埋土の状態から土葬と考えられる。人骨は膝を折り曲げた状態で出土していることから、屈葬であり、木質付着の鉄釘が出土していることから、木製の棺の使用が考えられる。これらは、民家の近くに形成された家族墓の可能性が高い。

## 墓壙観察表

No.	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	埋土	副葬品	人骨	埋葬形態	時期	備考
1	RD21	円形	120	32	人為堆積	石製品?	○	土葬・座棺	近世	鉄釘
2	RD22	隅丸方形	155	75	人為堆積	寛永通寶5(古)・衣類?	○	土葬・屈葬	近世	
3	RD23	円形	104×102	100	人為堆積			土葬・屈葬	近世	
4	RD24	楕円形	110×96	84	人為堆積	元豊通寶1・寛永通寶7(新)		土葬・屈葬	近世	
5	RD25	円形	106×96	25	人為堆積	寛永通寶4(古・新)	○	土葬・屈葬	近世	鉄釘
6	RD26	円形	84×80	42	人為堆積			土葬・屈葬	近世	
7	RD46	円形	128	125	人為堆積		○	土葬・座棺	近世	頭石・鉄釘
8	RD48	円形	114	58	人為堆積		○	土葬・屈葬	近世	
9	RD51	小判形	120×80	115	人為堆積	内耳鉄鍋・鉄製鎌・桶・繒銭	○	土葬・屈葬	中世	鍋破り?



#### 4. 総括

ここでは、調査成果を総括し、今後の課題を提示しておわりとしたい。今回の大鳥Ⅰ遺跡の調査で検出された遺構・出土した遺物から、遺跡の様相を各時代毎に概観すると次のようになる。

時代	縄文	弥生	古代	中世	近世	近代	現代
	草 早 前 中 後 晩		10c		16c 17c		
遺構	○ ○ ○		○		○ ○	○	○
遺物	○ ◎ ○ ○		○		○ ○	○	○
備考	包含層				墓塚・墓塚・建物		平成2年移転

大鳥Ⅰ遺跡の今回の調査で、当地の縄文時代～近世に至る人々の生活の痕跡が明らかになった。限られた範囲の調査なので、断絶（遺構・遺物の確認できなかった時代）もあったが、約8,000年に及ぶ大鳥の地の歴史の一端を明らかにすることが出来たものと思う。旧大鳥の集落は、すでに世増ダム建設にともない平成2年に移転しているが、遺跡の現況は、依然として人々の生活の痕跡と原風景を残している。世の中が急激に移り変わり、過去の人々の生活の痕跡が急速に失われつつある今日、この大鳥の地に生きた人々の歴史を後のために記しておくことも意味のあることと思われる。本報告書がその一助になればと思う。

今回の調査で、大鳥Ⅰ遺跡を特徴づけることになったのは、縄文時代前期の円筒下層式土器群と内耳鉄鍋が付せられた状態で出土した墓塚のふたつが挙げられる。

縄文時代前期の円筒下層式土器群については、出土状態は良好とはいえないが、量的にまとまっているという特徴があり、一地域における円筒下層式土器の様相を把握することができる資料である。出土資料の再検討と、周辺他遺跡の出土資料との比較検討を行い、当該地域における円筒下層式土器の様相を明らかにすることが今後の課題である。

内耳鉄鍋が付せられた状態で出土した墓塚については、隣接する地域において同様の事例がいくつかみられるが、調査成果として報告されている事例は意外に少なく、依然として不明な部分も多い。

同様の埋葬形態の事例の集成と特徴を抽出することが第1の課題であるが、その後、考えなければならぬことは、当時（中世：大鳥Ⅰ遺跡出土事例の場合）の人々の感覚（鍋に対する意識あるいは鍋を被せる行為の意味するところ）であろう。今後の課題である（註4）。

本報告をまとめるにあたり、多くの諸先生、職場の先輩・同僚に沢山の貴重なご指導をいただいた。また整理を担当していただいた臨時職員の方々には、拙ない指示にもかかわらず、的確・迅速に作業を進めていただいた。厚くお礼を申し上げたい。

また農林水産省八戸平原開拓建設事業所・軽米町教育委員会には、多くの便宜を図っていただいた。お礼を申し上げる次第である。

## 註

- (1) 円筒下層式土器の分類の基準、型式分類については、三宅1989を参考にした。
- (2) C7区付近で検出された土坑に、埋土の状況から近世以降としたものが6基(RD35~40土坑)ある。このうちRD40土坑から鉄釘が出土している。これらの土坑は、群集する状態や掘立柱建物跡(RB03)に近接することなどから、墓壇の可能性はある。ただしこの区域はV~VII層まで削平されており、遺構の遺存状態は極めて不良で、調査時には、墓壇と判断できなかった。
- (3) 石川1983では、土葬墓の形態の変化として、隅丸長方形(側臥：中世)から方形・円形(座棺：近世)の推移が指摘されている。また墓壇から出土する貨幣は、渡来銭のみのもの：中世、寛永通寶を伴うもの：近世と、概ね時期の判断ができることが指摘されている。
- (4) 阿部1998。

## 参考文献

- 青森県教育委員会 1980『板留(2)遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第59集。
- 青森県教育委員会 1991『鬼沢猿沢・尾上山(2)(3)遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第135集。
- 青森県教育委員会 1994『畑内遺跡Ⅰ』青森県埋蔵文化財調査報告書第161集。
- 青森県教育委員会 1995『畑内遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第178集。
- 青森県教育委員会 1996『畑内遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第187集。
- 青森県教育委員会 1997『畑内遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第211集。
- 秋田県教育委員会 1990『はりま館遺跡発掘調査報告書(上巻)』秋田県文化財調査報告書第192集。
- 阿部勝則 1997『軽米町大鳥Ⅰ遺跡墓壇出土の内耳鉄鍋』『紀要』XVII(財)岩埋文。
- 石川長喜 1983『発掘調査された墳墓について』『紀要』III(財)岩埋文。
- 岩手県立博物館 1982『岩手の土器—県内出土資料の集成—』。
- 江坂輝弥 1970『石神遺跡』ニュー・サイエンス社(1976再版)。
- 草間俊一・森本岩太郎 1972『内耳鉄鍋と人骨』九戸村教育委員会。
- 久慈市教育委員会 1987『大尻遺跡発掘調査報告書』久慈市埋蔵文化財報告書第7集。
- 工藤竹久 1989『縄文尖底系土器様式』『縄文土器大観』1 小学館。  
(財)岩埋文 1995『水吉Ⅵ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第219集。  
(財)岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。  
(財)岩埋文 1995『上八木田遺跡発掘調査報告書』岩埋文第227集。  
(財)岩埋文 1996『長倉Ⅳ遺跡・長倉Ⅴ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第231集。  
(財)岩埋文 1996『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度分)』岩埋文第246集。  
(財)岩埋文 1998『大鳥Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第270集。
- 本沢慎輔 1998『東北地方に分布する鋳写しビタ銭について』『紀要』XVIII(財)岩埋文。
- 三宅徹也 1974『青森県における円筒下層式土器群の地域展開』『北奥古代文化』第6号。
- 三宅徹也 1982『円筒土器』『縄文文化の研究』第3巻 雄山閣。
- 三宅徹也 1989『円筒土器下層様式』『縄文土器大観』1 小学館。
- 村越 潔 1974『円筒土器文化』考古学選書10、雄山閣。
- 村越 潔 1976『円筒土器に伴う特殊な石器』『東北考古学の諸問題』東北考古学会。
- 山内清男 1979『日本先史土器の縄紋』先史考古学会。

# 軽米・大鳥 I 遺跡出土 内耳鉄鍋の調査

平成8年11月20日

新日本製鐵株釜石製鐵所  
釜石試験分析センター

## 1. 経緯

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが発掘調査を進めてきた軽米町軽米の大鳥 I 遺跡で、つるをひっかける「耳」が内側についた「内耳鉄鍋」が墓壙(ぼこう)から見つかった。

今回、その「内耳鉄鍋」を当所の文化財保存処理センターで保存処理作業を依頼された機会に

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの了解のもとに一部金属学的調査を行った。

## 2. 調査対象品

写真1に出土品・「内耳鉄鍋」の外観を示す。

- |        |                    |        |
|--------|--------------------|--------|
| ① 外観寸法 | 口縁部の直径             | 28.5cm |
|        | 深さ                 | 15.0cm |
| ② 形態   | 内側3か所に内耳のある三耳式内耳鉄鍋 |        |

## 3. 調査方法

鉄鍋の外側底部の凸部より試料を採取して下記2項目の調査を実施した。(写真1参照)

- (1) 科学分析による成分調査
- (2) 金属光学顕微鏡によるミクロ組織の観察  
(3%硝酸アルコールで腐食)

## 4. 調査項目と調査結果

- (1) 科学分析による成分調査

調査結果を表1.に示す。Cu, Pが高く、かつNi, Coも無視出来ないレベルの特徴を有している成分系である。

- (2) 金属光学顕微鏡によるミクロ組織の観察

調査結果を写真2に示す。この組織は代表的な白鑄鉄の組織を示している。

白い部分はセメンタイト ( $\text{Fe}_3\text{C}$ )、黒い部分はパーライト (フェライト+ $\text{Fe}_3\text{C}$ )、蜂の巣状の部分はセメンタイトとオーステナイトの共晶 (レデブライト) となっている。

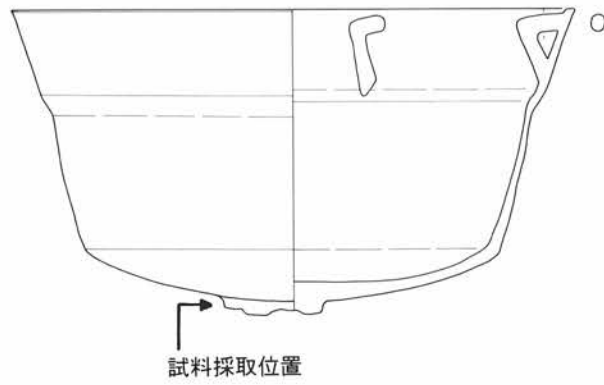
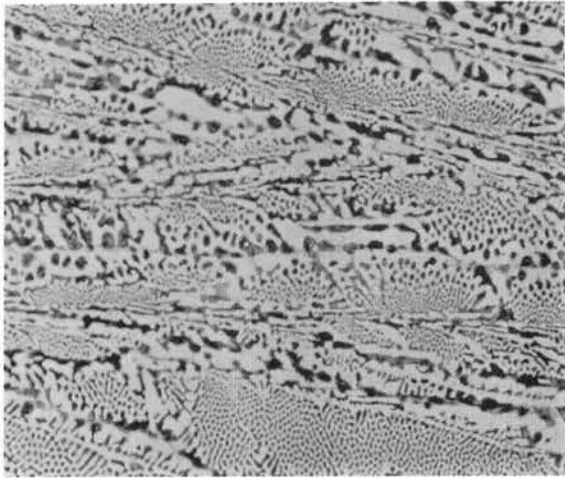


写真1 内耳鉄鍋の外観（含むサンプリング箇所）

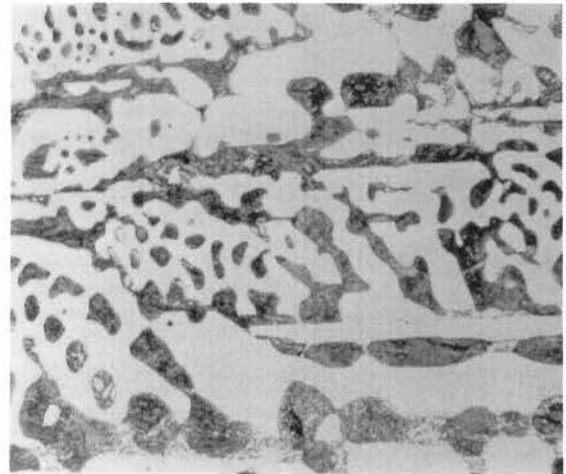


**表 1 化学分析による成分値**

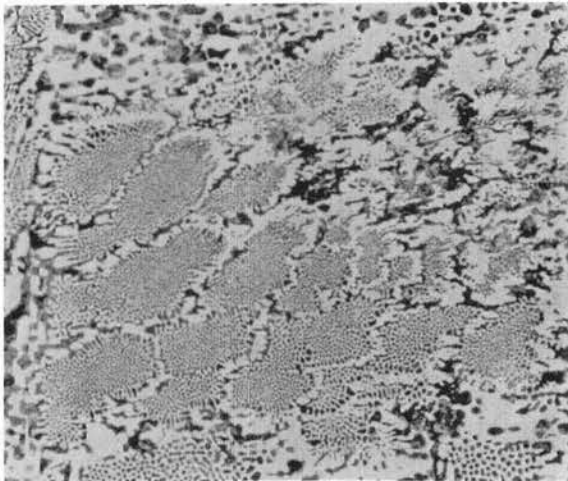
成分名	単位	分析値	分析方法
C	%	4.28	JIS G1211 赤外線吸収法
Si	%	0.04	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
P	%	0.320	JIS G1214 モリブドリン酸青吸光光度法
S	%	0.032	JIS G1215 赤外線吸収法
Cu	%	0.121	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Ni	%	0.010	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Cr	%	0.007	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Co	%	0.024	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Ti	%	0.009	JIS G1258 ICP 発光分光分析法



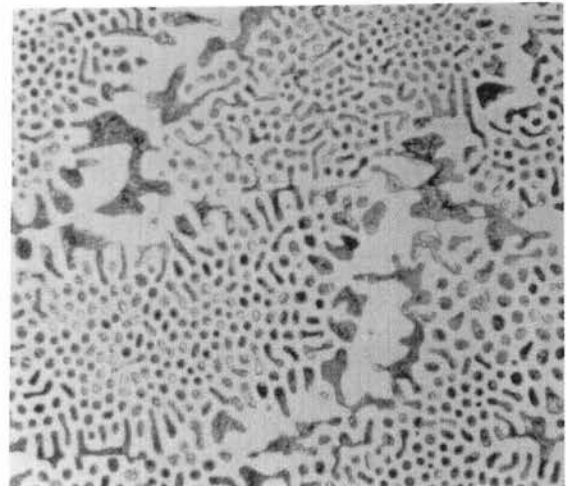
(×100)



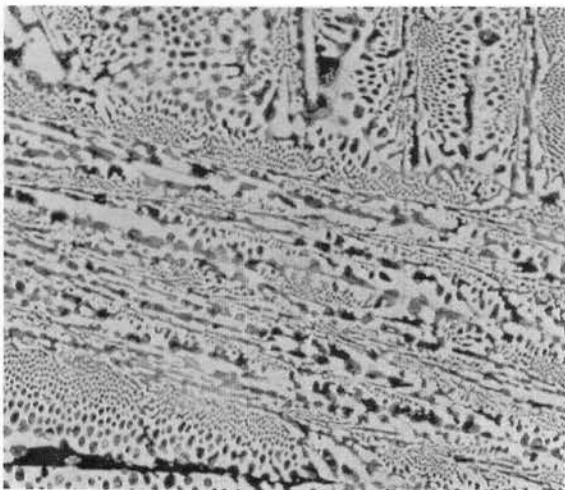
(×400)



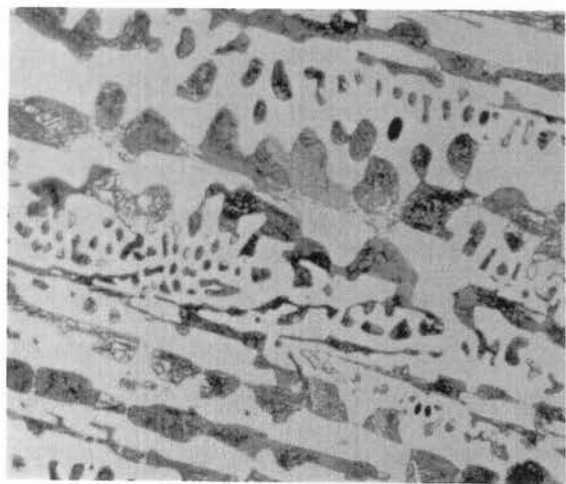
(×100)



(×400)



(×100)



(×400)

写真2 顕微鏡組織写真 (×100, ×400)

# 写 真 图 版



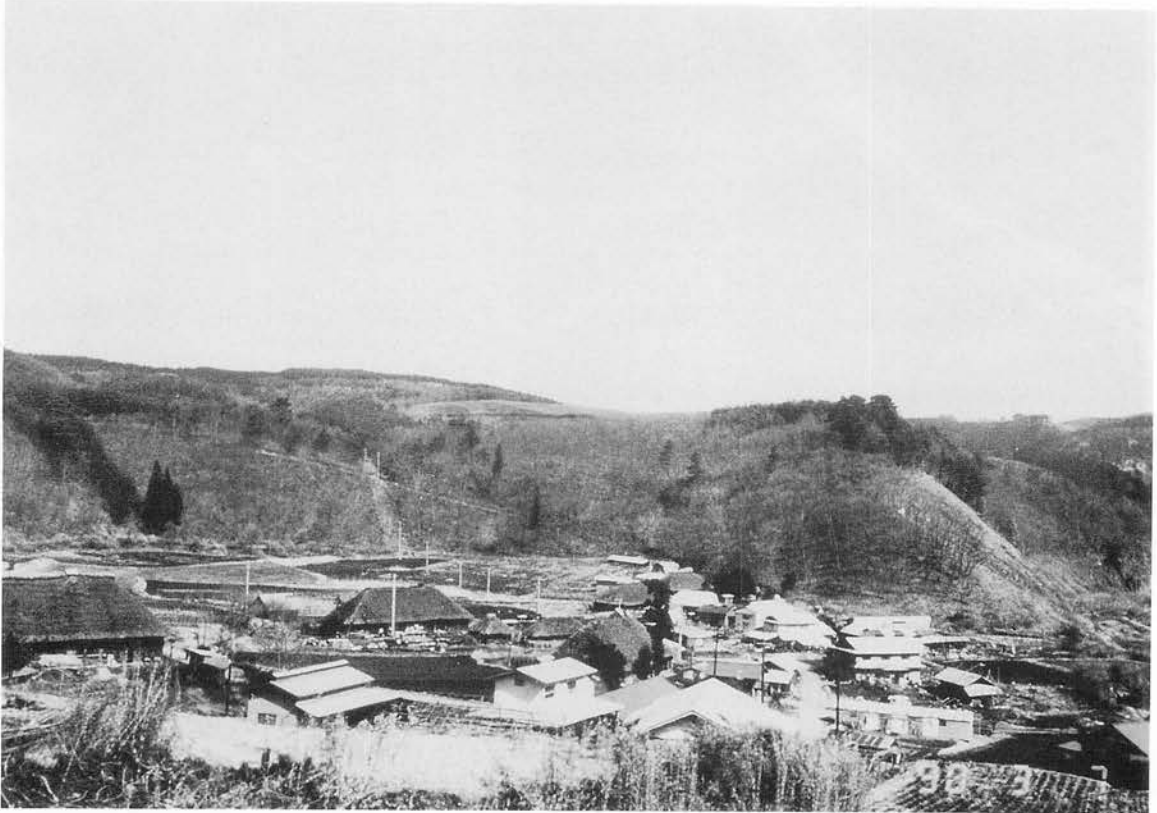
遺跡遠景(東から)



遺跡全景(南から)

写真図版 1 遺跡全景(1)



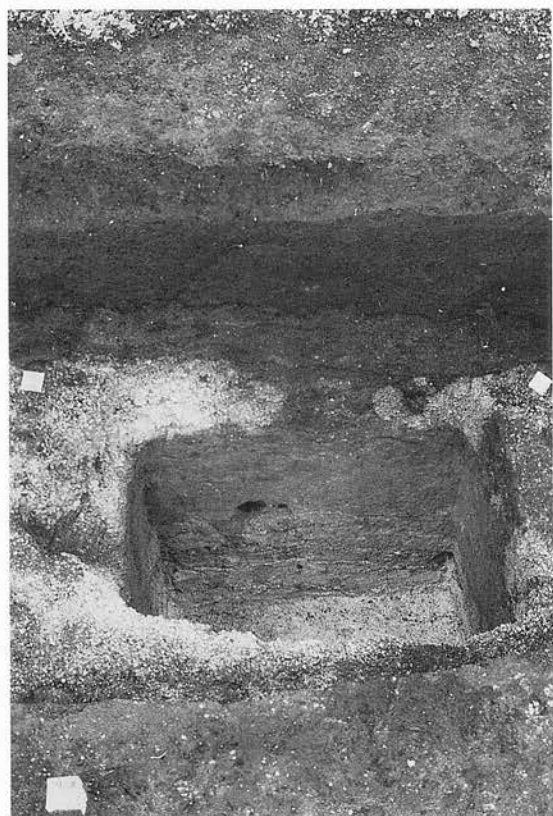


旧大鳥集落(平成2年)



集落移転後遺跡現況

写真図版 2 遺跡全景(2)



D9区 基本土層



G3A16 基本土層



C6区 基本土層



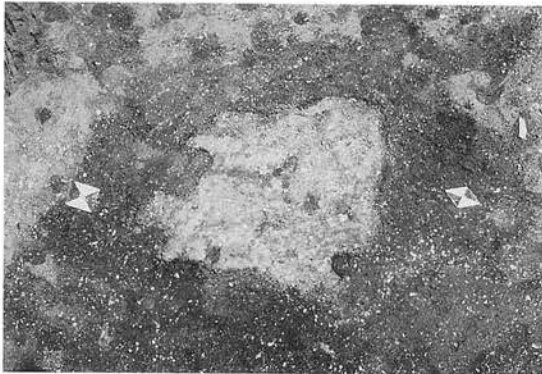
F7区 基本土層



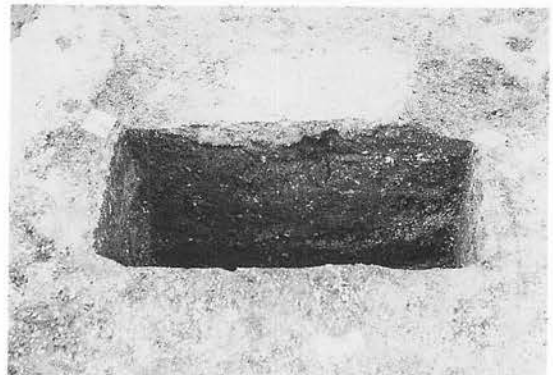
RA01住居跡 平面



RA01住居跡 断面



炉 平面

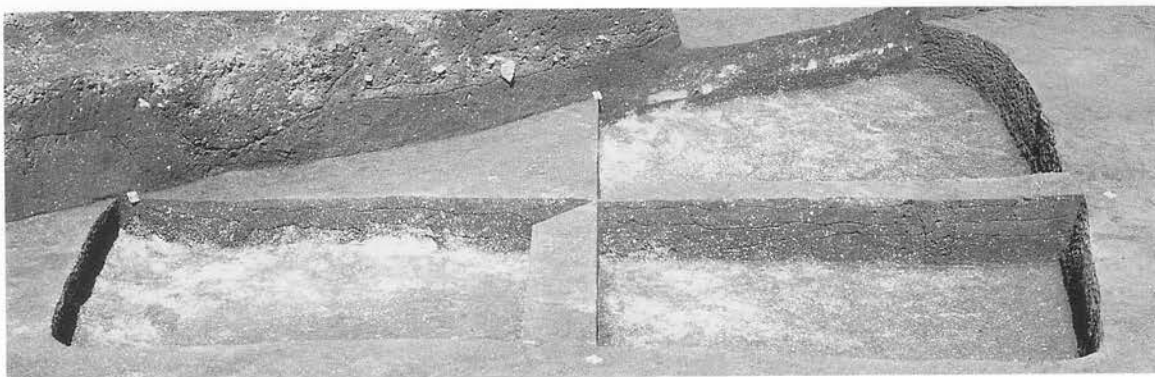


炉 断面





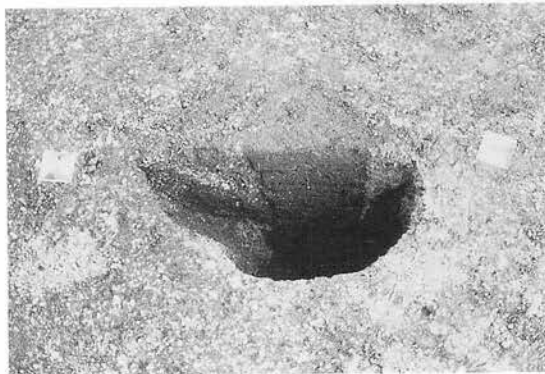
RA02住居跡 平面



RA02住居跡 断面



火山灰・遺物出土状況

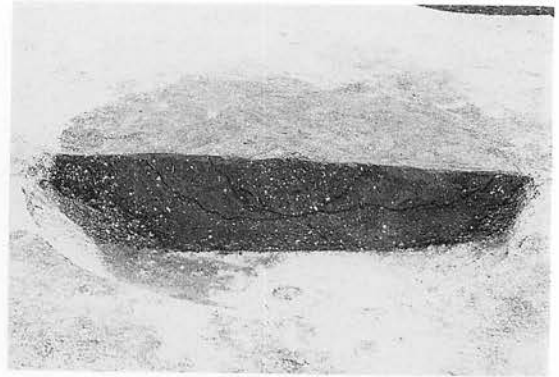


柱穴 断面

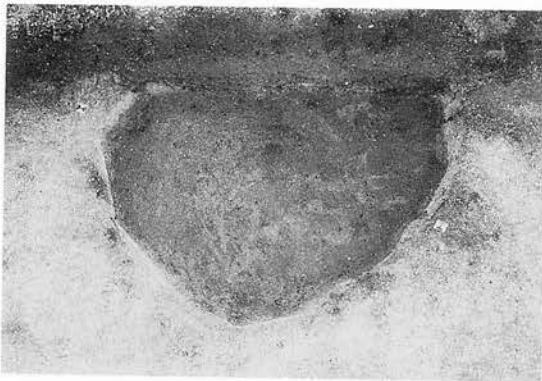




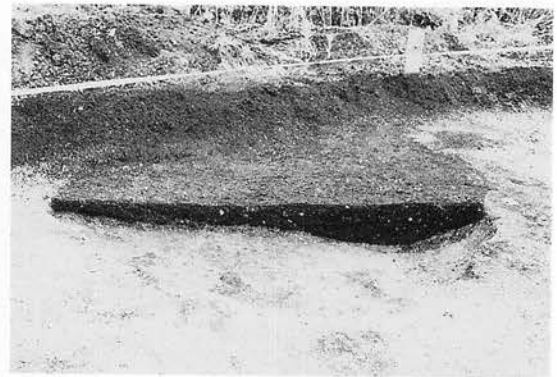
RD01土坑 平面



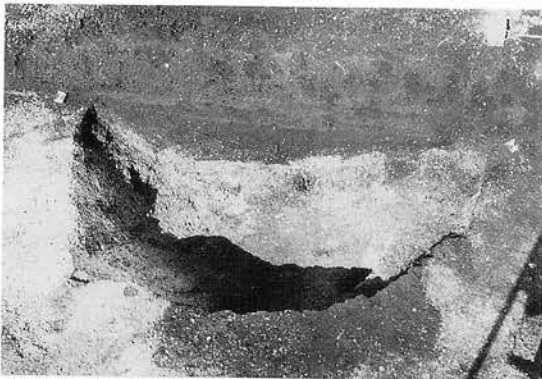
RD01土坑 断面



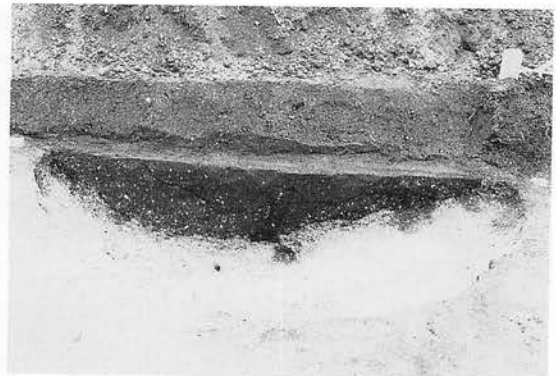
RD02土坑 平面



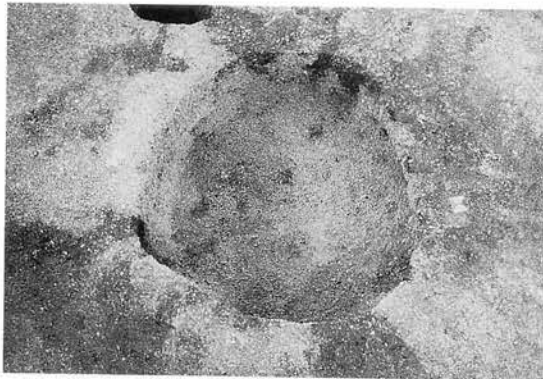
RD02土坑 断面



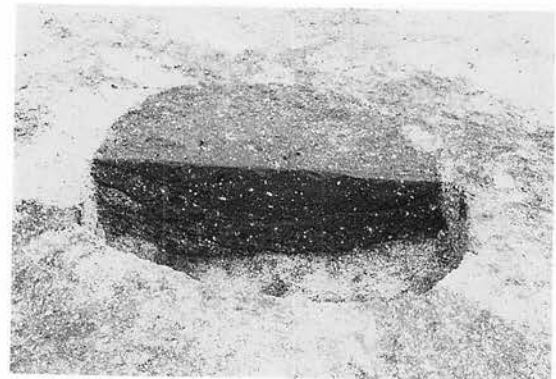
RD03土坑 平面



RD03土坑 断面



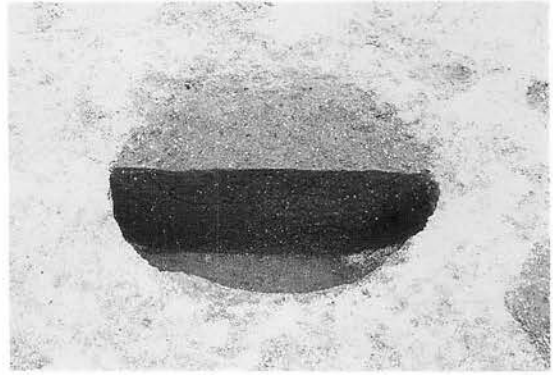
RD04土坑 平面



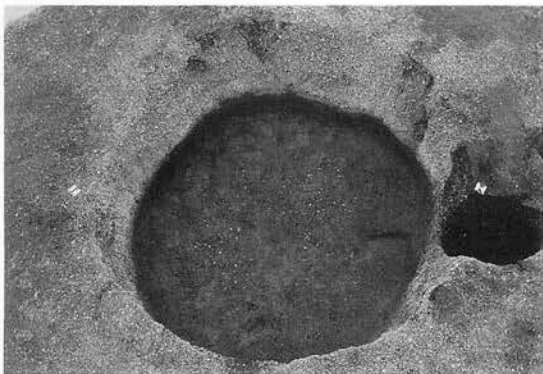
RD04土坑 断面



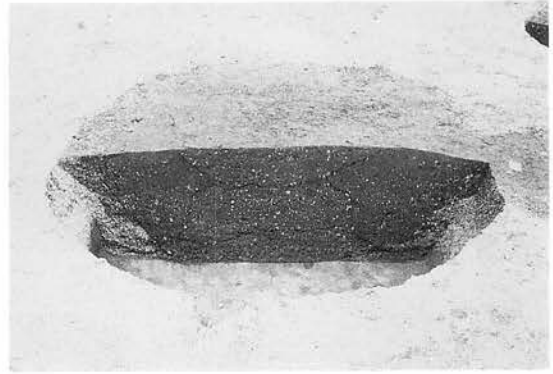
RD05土坑 平面



RD05土坑 断面



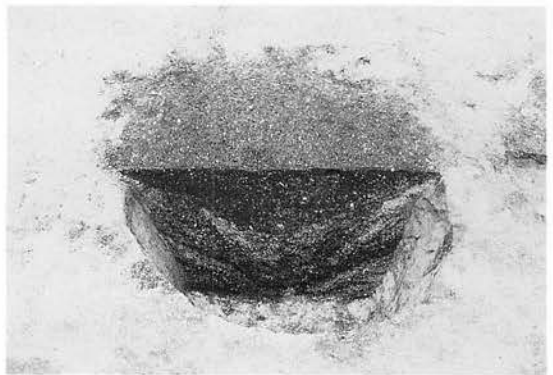
RD06土坑 平面



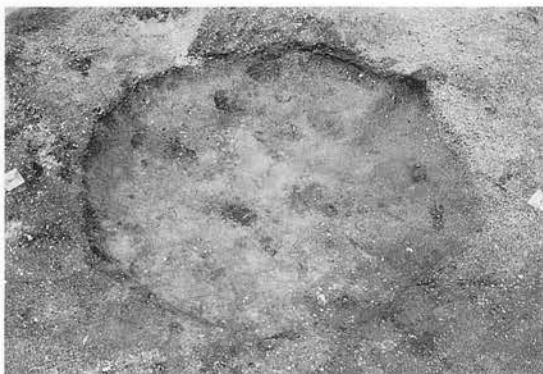
RD06土坑 断面



RD07陥し穴状遺構 平面



RD07陥し穴状遺構 断面

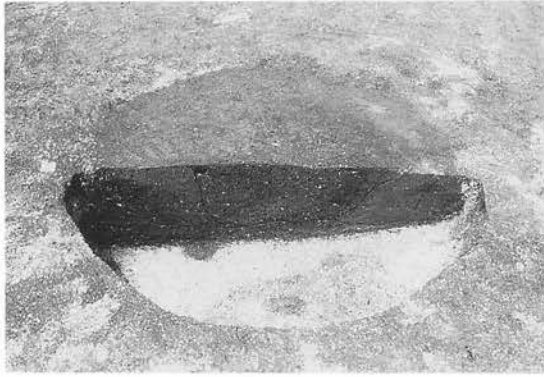


RD08土坑 平面



RD08土坑 断面

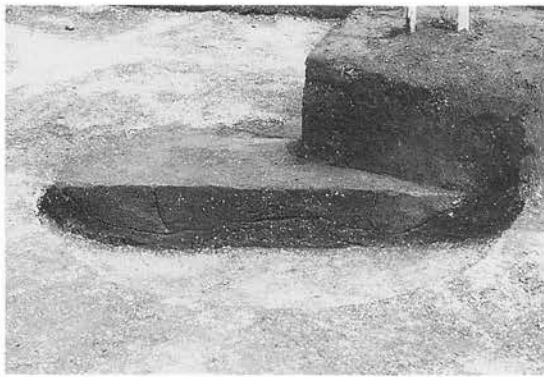
写真図版 7 RD05・06・08土坑、07陥し穴状遺構



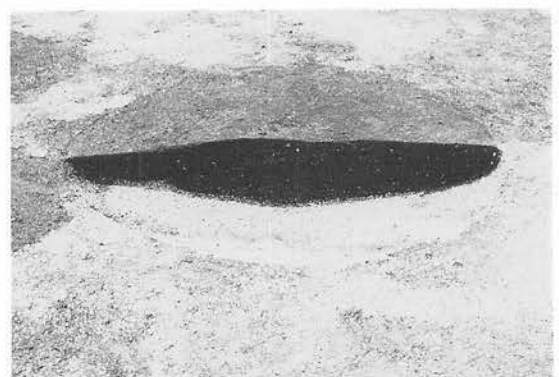
RD09土坑 断面



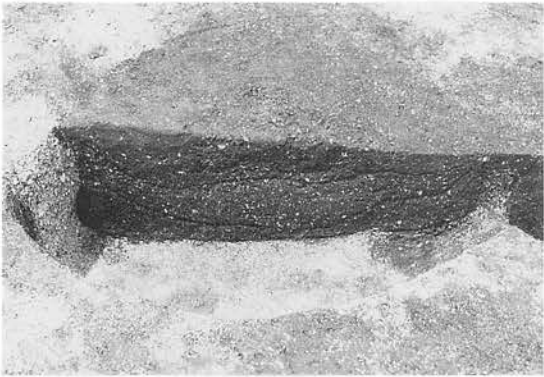
RD10土坑 平面



RD10土坑 断面



RD11土坑 断面



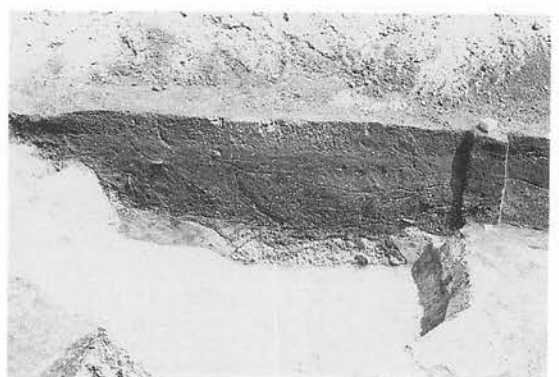
RD12土坑 断面



RD13土坑 断面



RD14·50土坑 平面



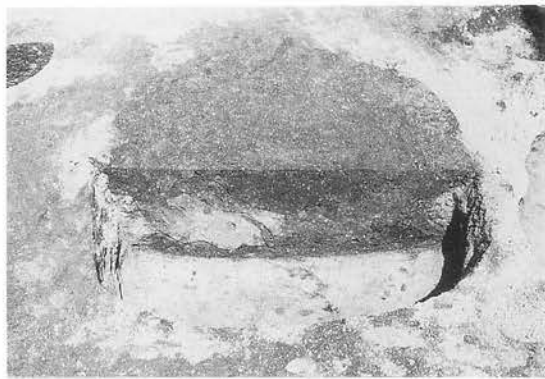
RD14土坑 断面

写真图版 8 RD09 · 10 · 11 · 12 · 13 · 14 · 50土坑





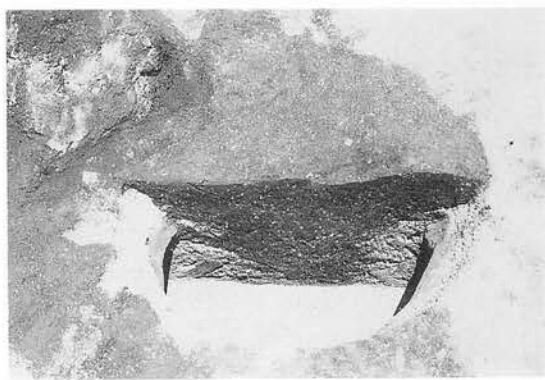
RD15土坑 平面



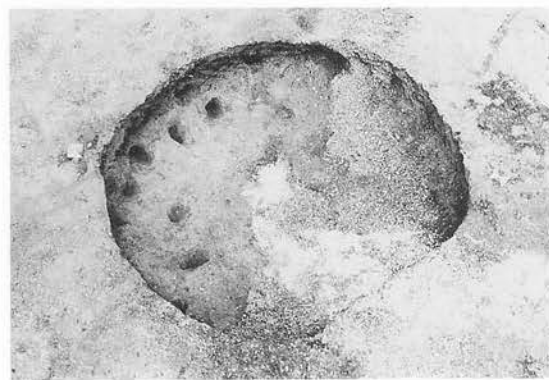
RD15土坑 断面



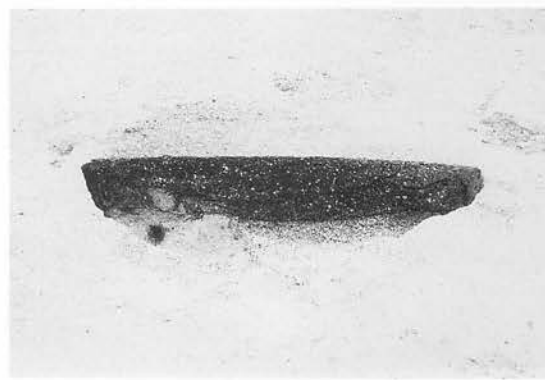
RD16土坑 平面



RD16土坑 断面



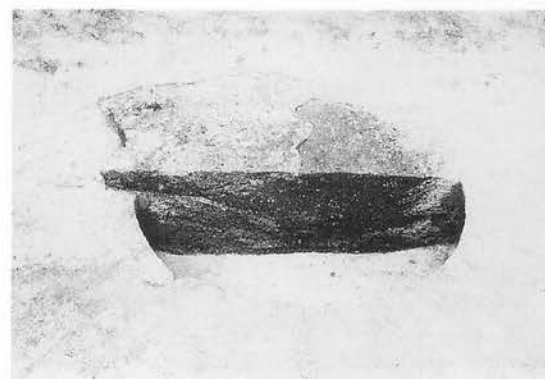
RD17土坑 平面



RD17土坑 断面



RD18土坑 平面



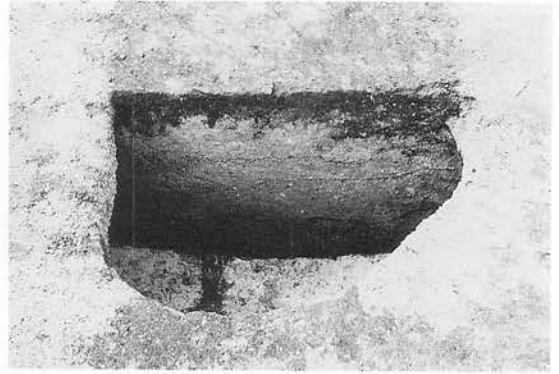
RD18土坑 断面

写真図版 9 RD15・16・17・18土坑

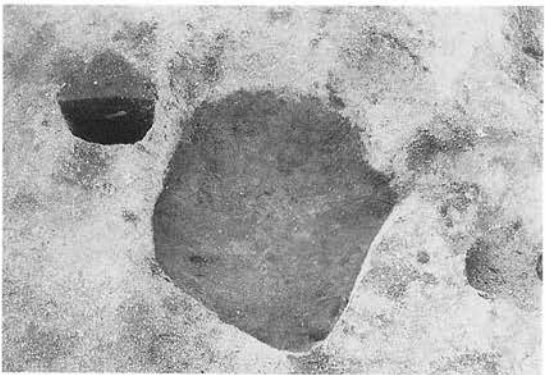




RD19土坑 平面



RD19土坑 断面



RD20土坑 平面



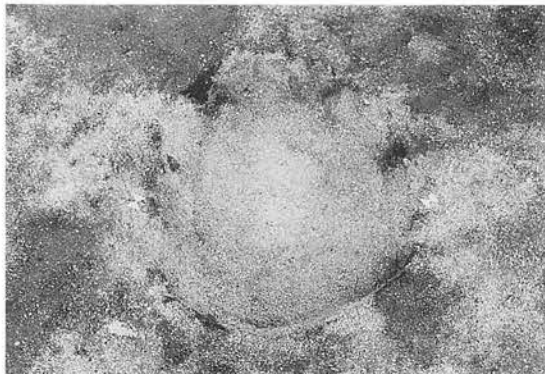
RD20土坑 断面



RD27土坑 平面



RD28土坑 平面



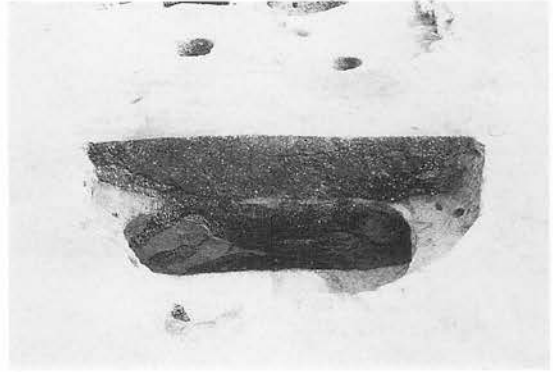
RD29土坑 平面



RD17・27土坑 検出状況



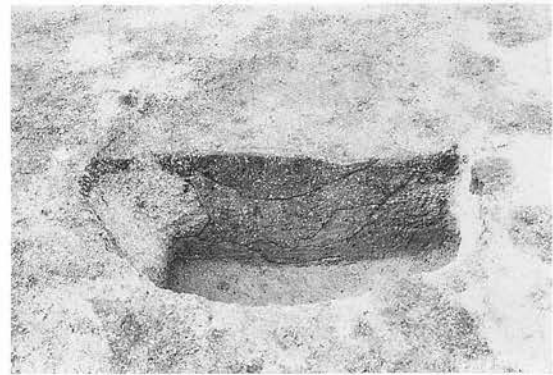
RD30土坑 平面



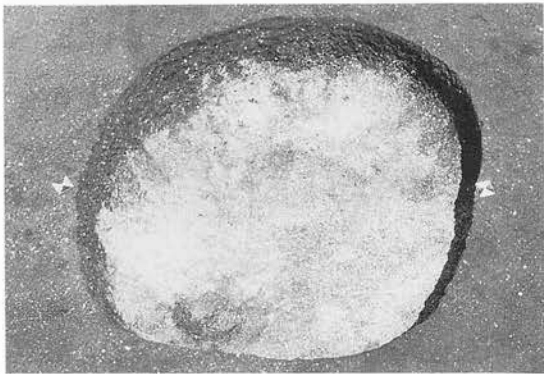
RD30土坑 断面



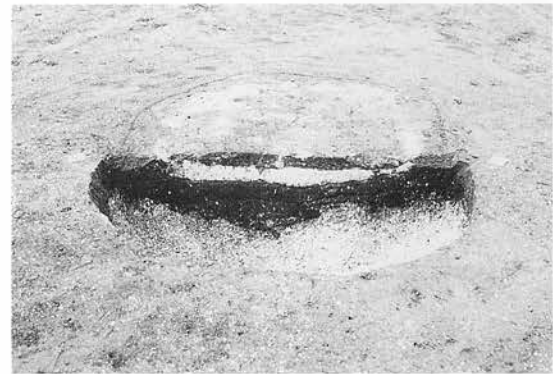
RD31土坑 平面



RD31土坑 断面



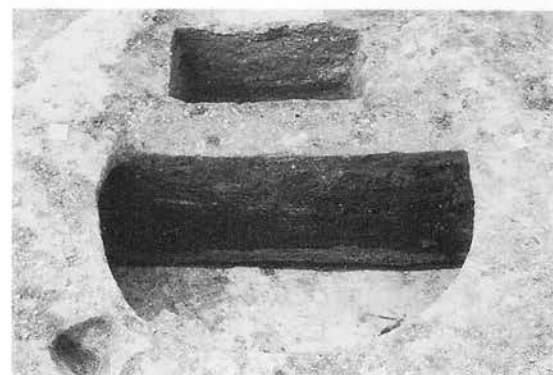
RD32土坑 平面



RD32土坑 断面



RD33土坑 平面



RD33土坑 断面

写真図版11 RD30・31・32・33土坑



RD34土坑 平面



RD34土坑 断面



RD35・36・37土坑 平面



RD35・36・37土坑 断面



RD38土坑 平面



RD38土坑 断面



RD39土坑 平面



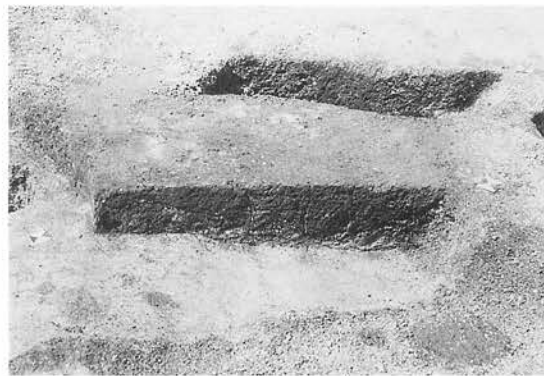
RD39土坑 断面

写真図版12 RD34・35・36・37・38・39土坑





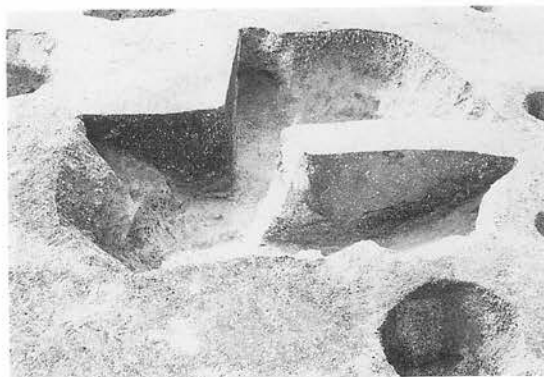
RD40土坑 平面



RD40土坑 断面



RD41土坑 平面



RD41土坑 断面



RD43土坑 平面



RD43土坑 断面



RD42土坑 平面

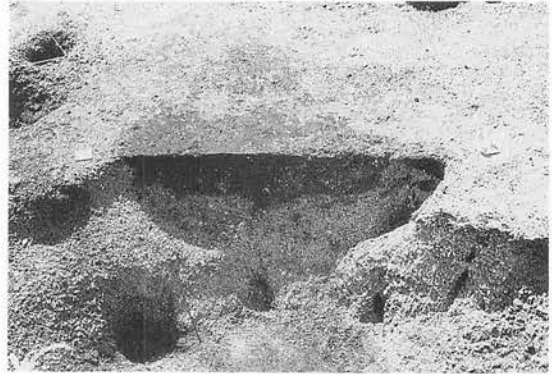


RD42土坑 断面

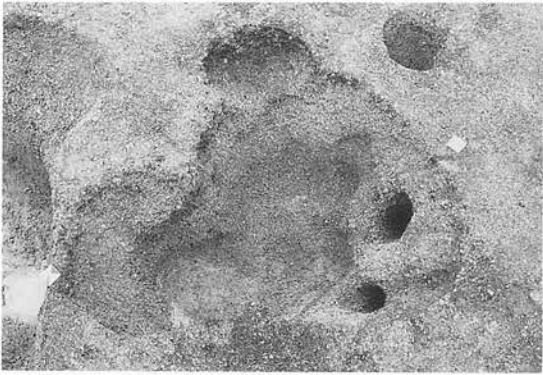




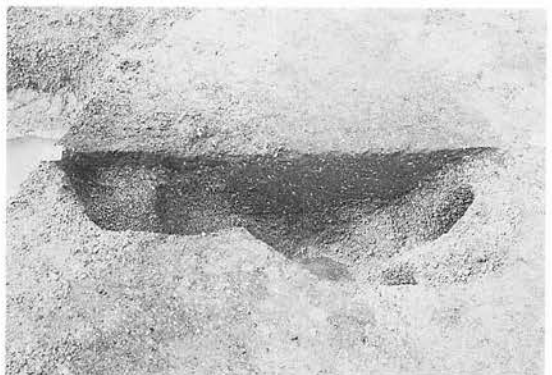
RD44土坑 平面



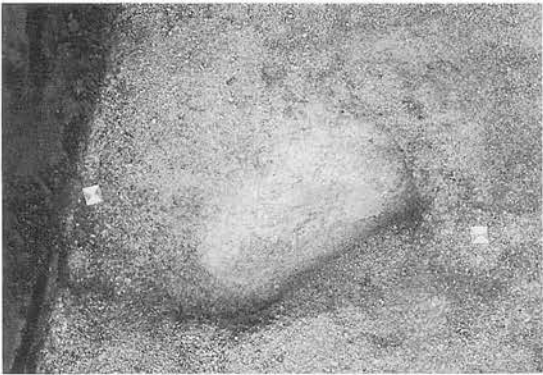
RD44土坑 断面



RD45土坑 平面



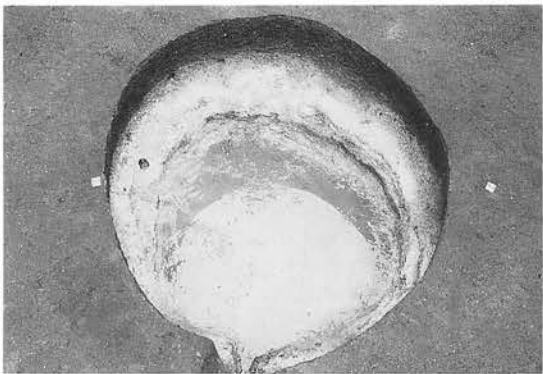
RD45土坑 断面



RD47土坑 平面



RD47土坑 断面



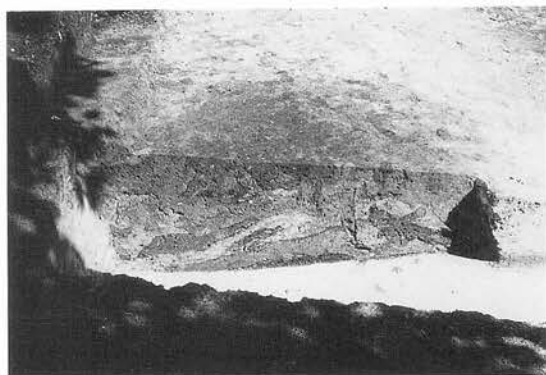
RD49土坑 平面



RD49土坑 断面



RD52土坑 平面



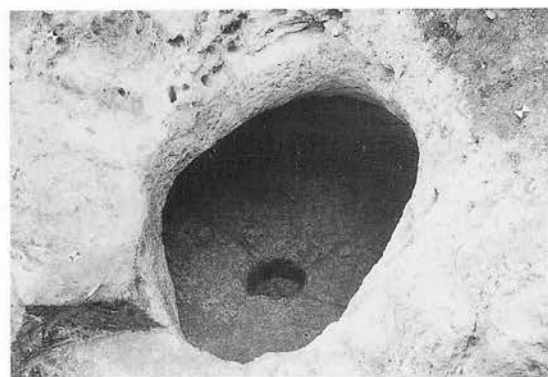
RD52土坑 断面



RD53土坑 平面



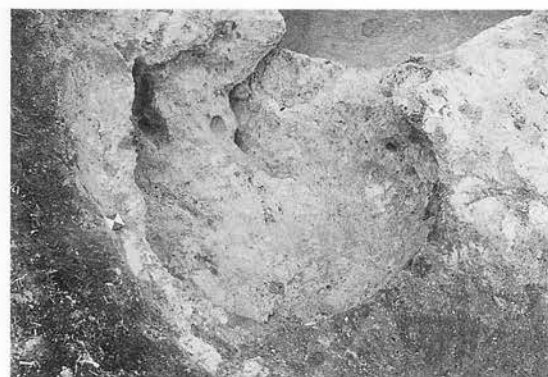
RD53土坑 断面



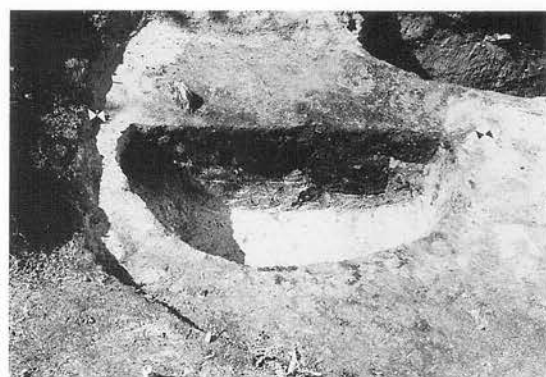
RD54土坑 平面



RD54土坑 断面



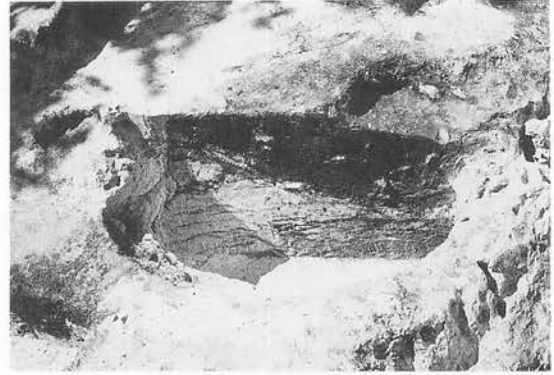
RD55土坑 平面



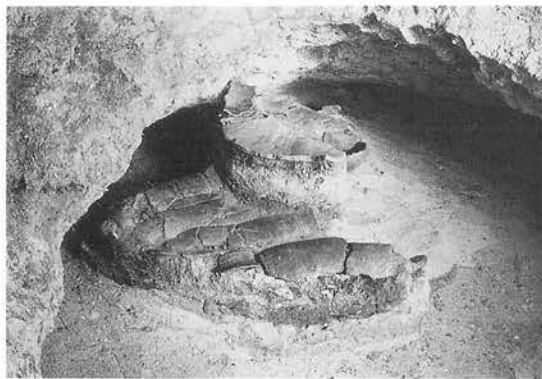
RD55土坑 断面



RD56土坑 平面



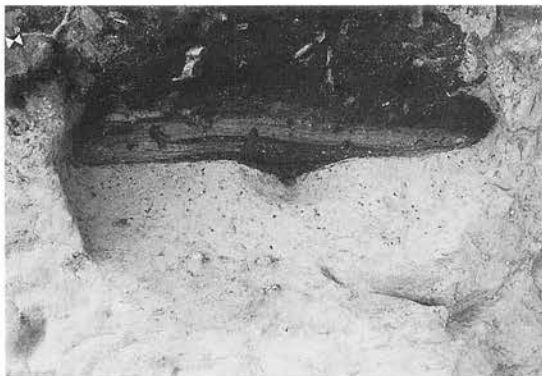
RD56土坑 断面



RD53土坑 遺物出土狀況



RD57土坑 断面



RD58土坑 平面



RD58土坑 断面



RD59土坑 平面



RD59土坑 断面

写真図版16 RD53・56・57・58・59土坑





RD60土坑 平面



RD60土坑 断面



RD52~56土坑 平面



RD57~59土坑 平面



RF01焼土遺構 平面



RF01焼土遺構 断面



RF02焼土遺構 平面



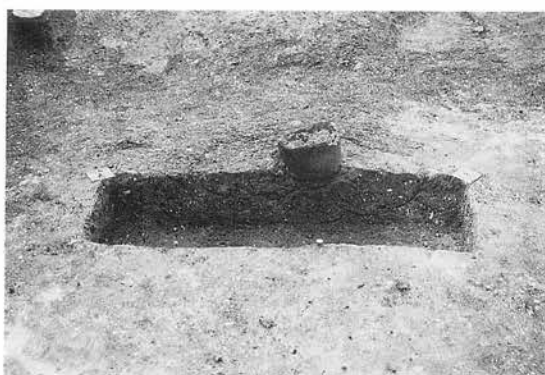
RF02焼土遺構 断面

写真図版17 RD52~59・60土坑、RF01・02焼土遺構





RZ01土器埋設遺構 平面



RZ01土器埋設遺構 断面



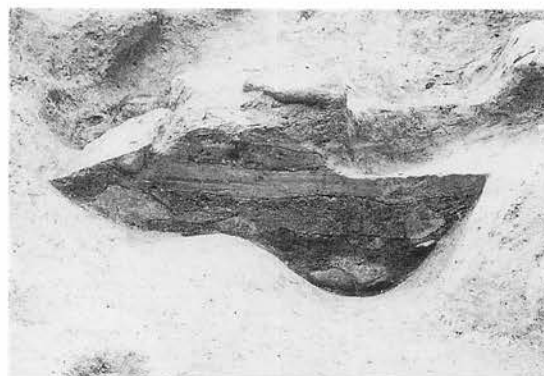
RG01溝状遺構 平面



RG02溝状遺構 平面



RG02溝状遺構 断面



RG02溝状遺構 断面

写真図版18 RZ01土器埋設遺構、RG01・02溝状遺構



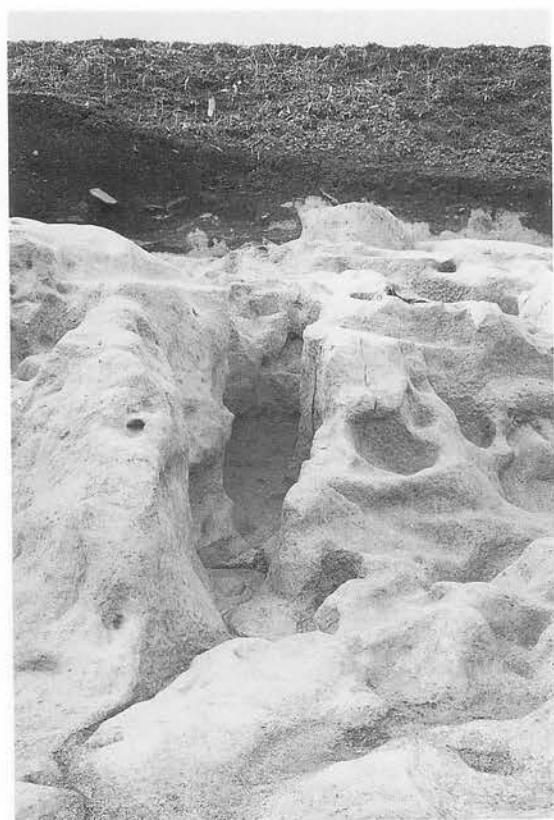
RG03溝状遺構 平面



RG03溝状遺構 断面



RG04溝状遺構 平面



RG05溝状遺構 平面



RG04溝状遺構 断面



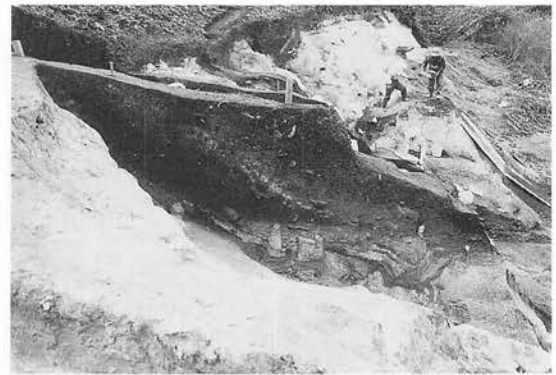
RG05溝状遺構 断面



C区 全景



F7区A-A' 断面



F7区ベルトC-C' 断面

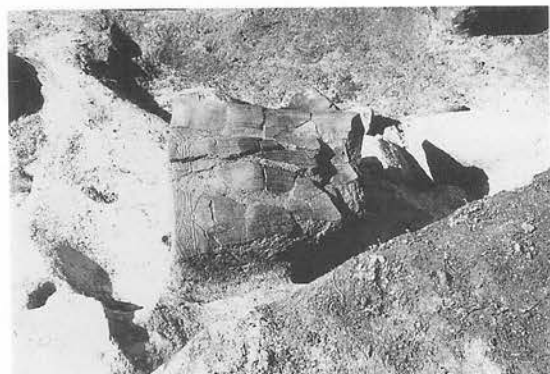


F7区調査前全景



作業風景





Pot004・005



Pot014



Pot042



Pot050



Pot051~064



Pot067



Pot073



Pot075~078

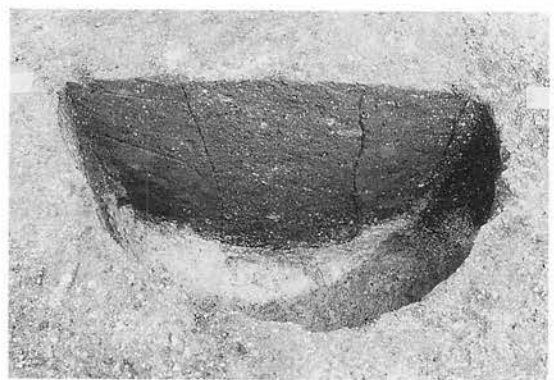




RB01掘立柱建物跡 平面



PP 1 断面



PP 3 断面



PP 4 断面

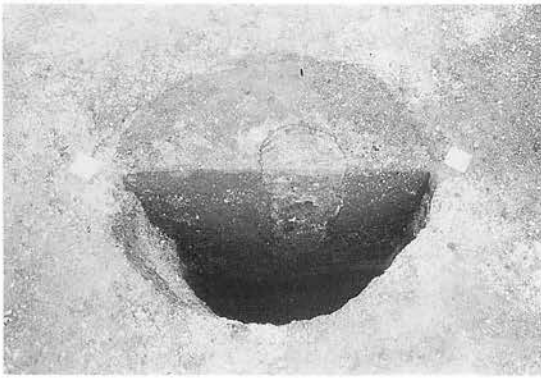


PP 5 断面

写真図版22 RB01掘立柱建物跡



RB02掘立柱建物跡 平面



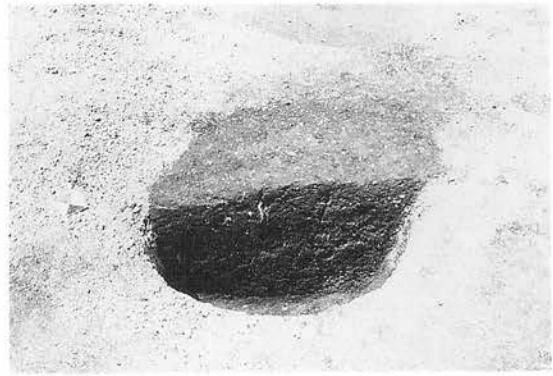
PP 1 断面



PP 2 断面



PP 4 断面



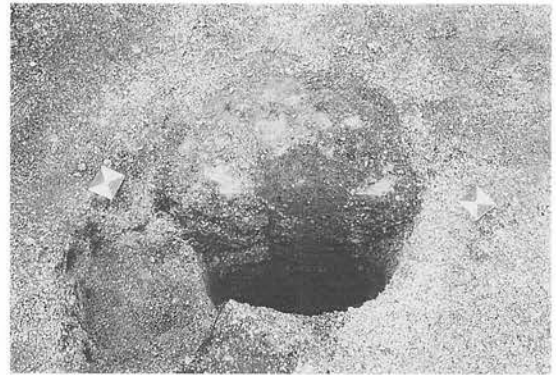
PP 5 断面



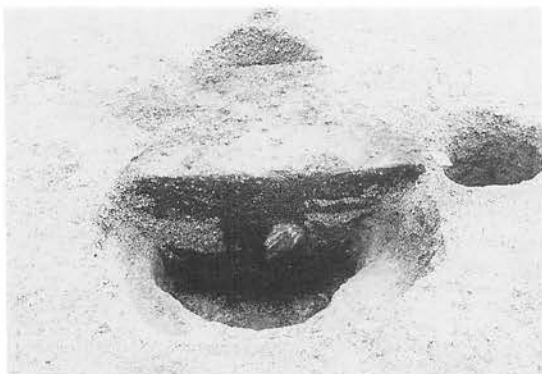
RB03掘立柱建物跡 平面



PP 5 断面



PP 6 断面



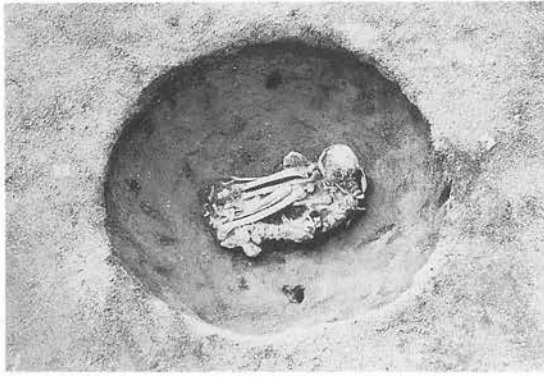
PP 9 断面



PP 10 断面

写真図版24 RB03掘立柱建物跡

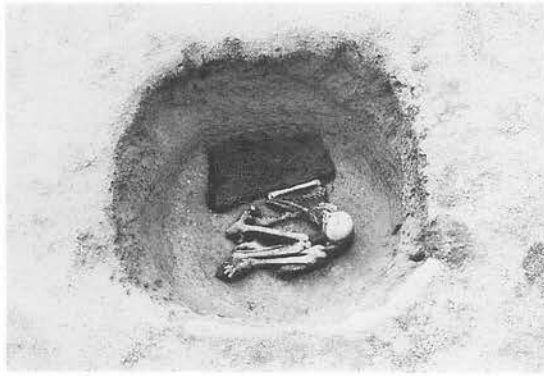




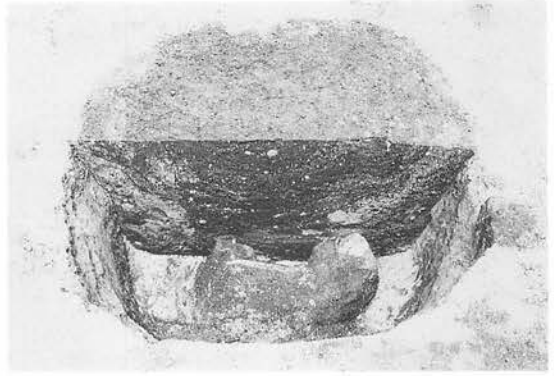
RD21墓坑 平面



RD21墓坑 断面



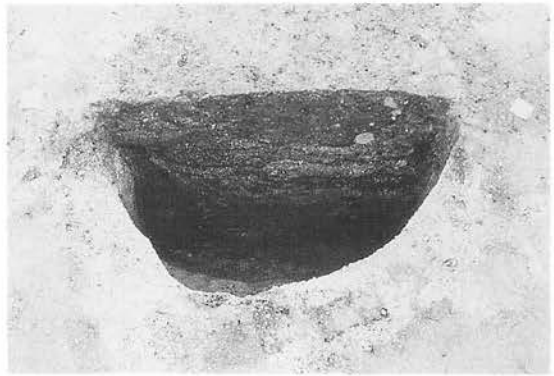
RD22墓坑 平面



RD22墓坑 断面



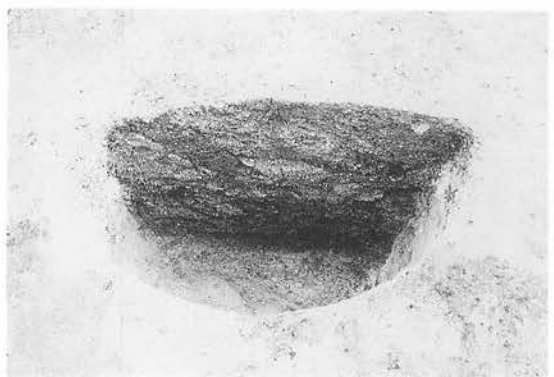
RD23墓坑 平面



RD23墓坑 断面

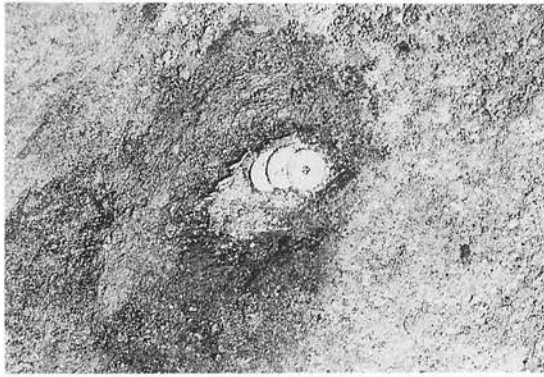


RD24墓坑 平面



RD24墓坑 断面





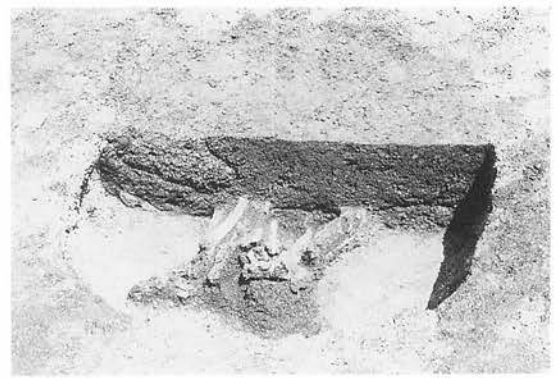
RD24墓墳 古銭出土状況



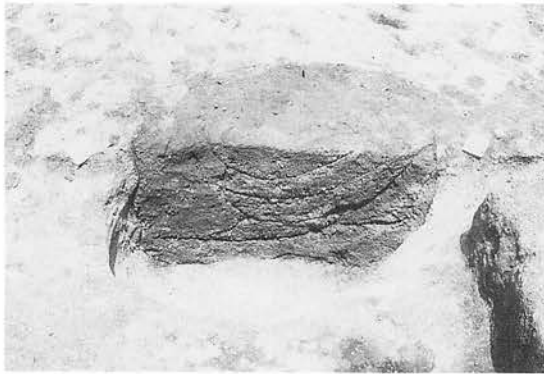
RD25墓墳 平面



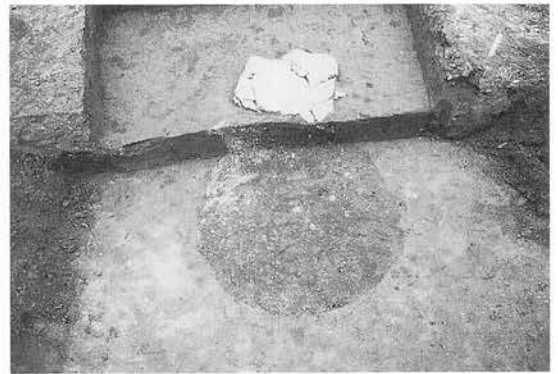
RD26墓墳 平面



RD25墓墳 断面



RD26墓墳 断面



RD46墓墳 検出状況



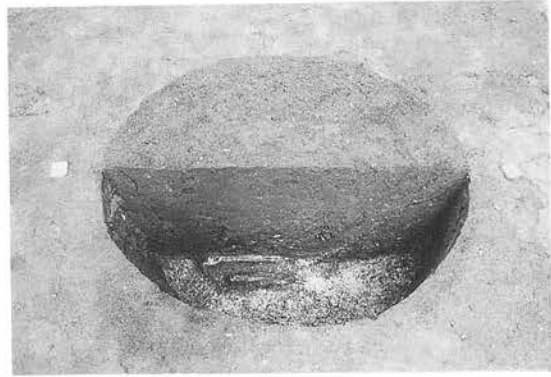
RD46墓墳 平面



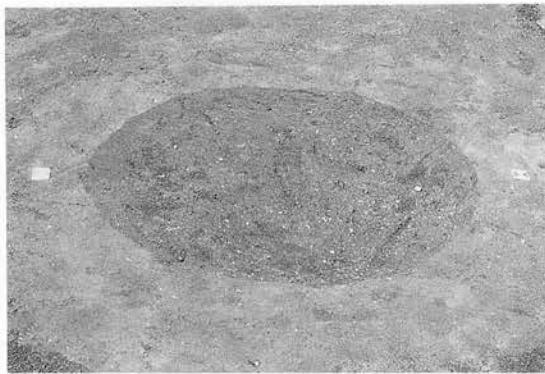
RD46墓墳 断面



RD48墓墳 平面



RD48墓墳 断面



RD48墓墳 検出状況



RD51墓墳 平面



RD51墓墳 断面



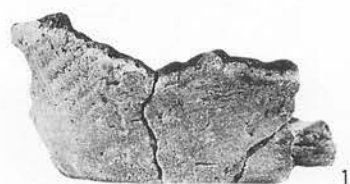
RD51墓墳 遺物出土状況



RD51墓墳 遺物出土状況



RD51墓墳 人骨取り上げ状況



1



2



3



4

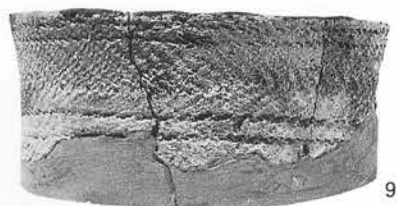
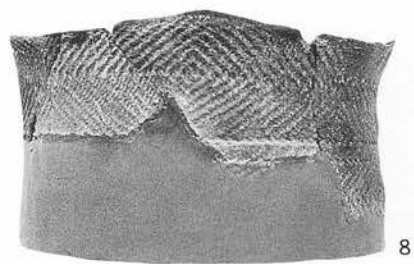


5



S=1/2(1)  
6 S=1/3(2·4·5·6)  
S=1/4(3)

写真図版28 土器(1)



S=1/3(8~12)  
S=1/4(7)

写真図版29 土器(2)





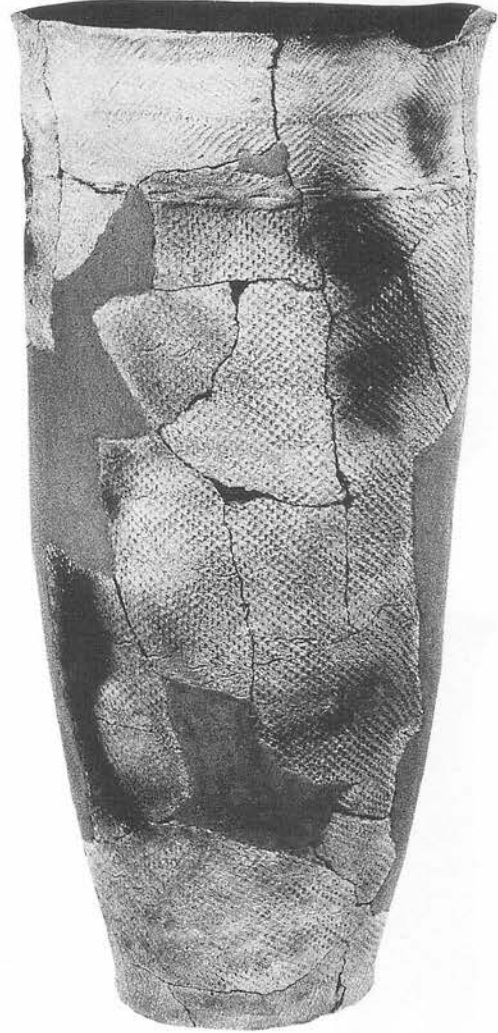
写真図版30 土器(3)



21



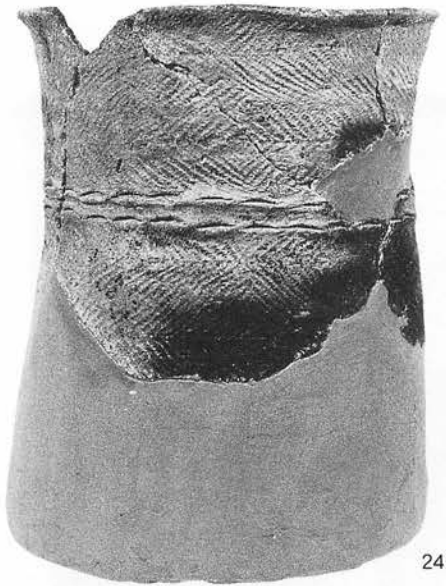
22



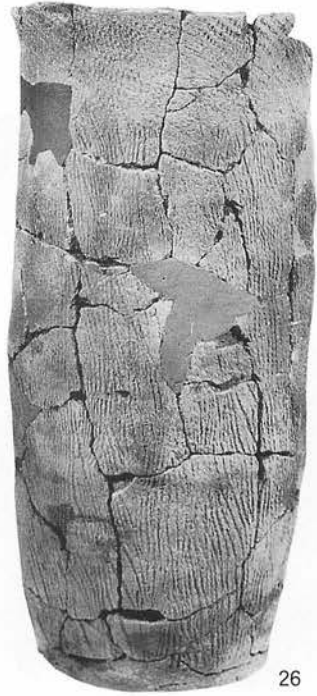
23



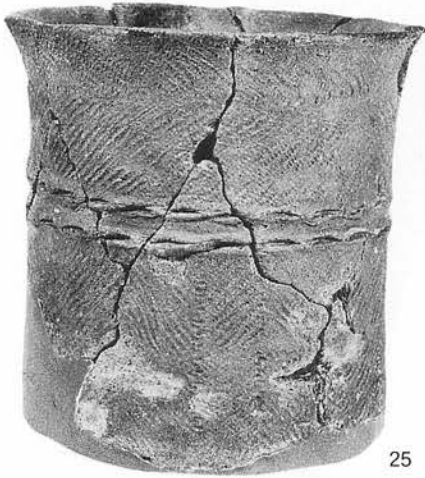
S=1/3(21)  
S=1/5(22·23)



24



26



25



28

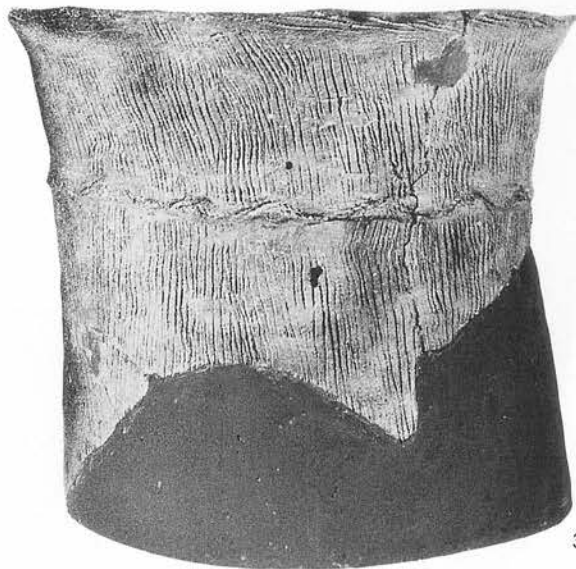


27

S=1/3(24·25·27·28)  
S=1/5(26)



29



30



31



33



32

S=1/3(30·31·33)  
S=1/4(32)  
S=1/5(29)





34



35



36



37



38



39



S=1/3(34~37·39)  
S=1/5(38)

写真図版34 土器(7)



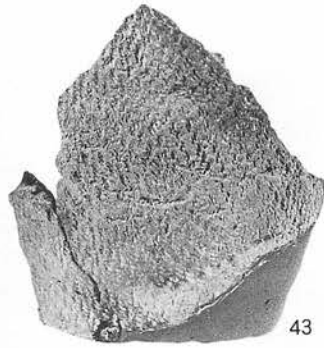
40



41



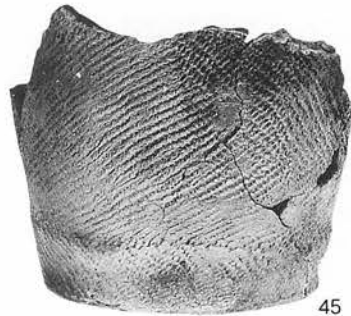
42



43



44



45

S=1/3

写真図版35 土器(8)



S=1/3(46~48)  
S=1/4(49)

写真図版36 土器(9)



50



51



52



53



54



55

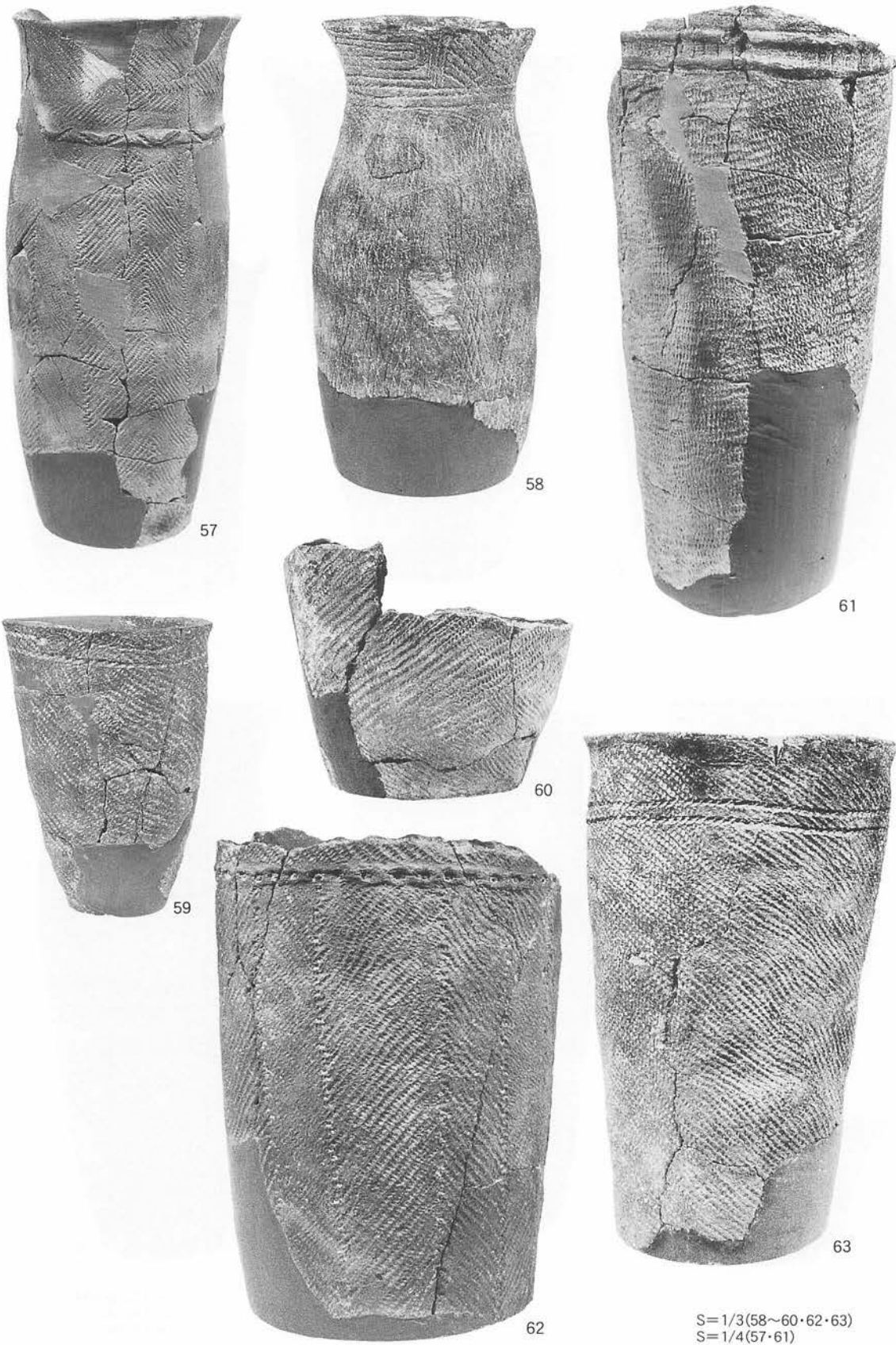


56

S=1/3(50~54)  
S=1/4(56)  
S=1/5(55)

写真図版37 土器(10)





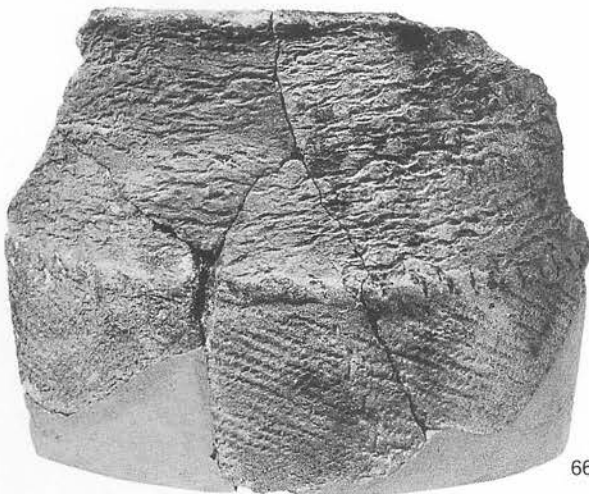
写真図版38 土器(11)



64



65



66



67



68



69

S=1/3(65~68)  
S=1/4(64·69)

写真図版39 土器(12)



70



71



72



73



74

S=1/3(70·72~74)  
S=1/5(71)

写真図版40 土器(13)



75



76



78



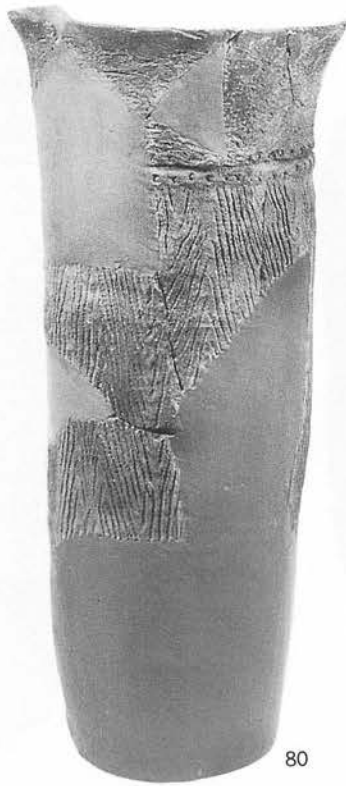
77

S=1/3





79



80



81



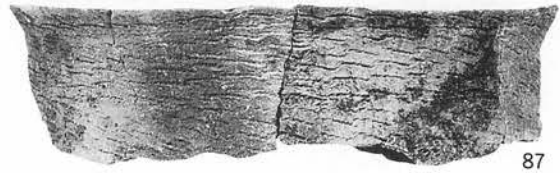
82



83

S=1/3(82·83)  
S=1/4(80·81)  
S=1/5(79)

写真図版42 土器(15)



S=1/2(90)  
S=1/3(84~89)



91



92



93

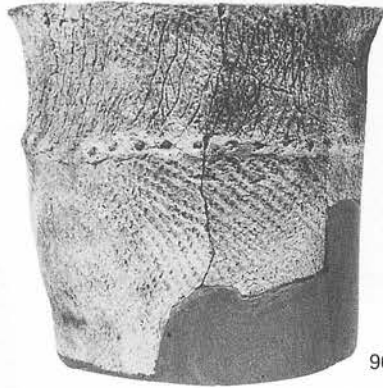


94

S=1/3(91)  
S=1/4(92~94)



95



96



97



98



99

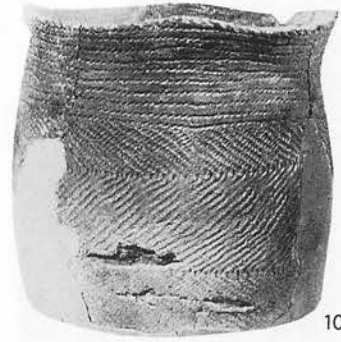
S=1/3(96·98·99)  
S=1/4(95·97)

写真図版45 土器(18)





100



101



102



104



103



106



S=1/2(102)  
S=1/3(100·101·103·104·106)

写真図版46 土器(19)



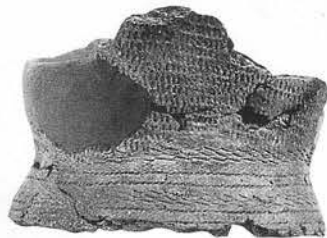
105



107



108



110



112



109



111

S=1/3(105・107~111)  
S=1/4(112)

写真図版47 土器(20)



113



114



115



116

S=1/3(113~115)  
S=1/4(116)



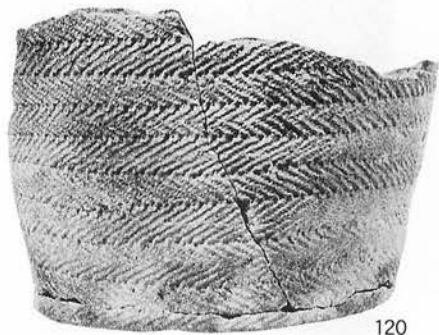
117



118



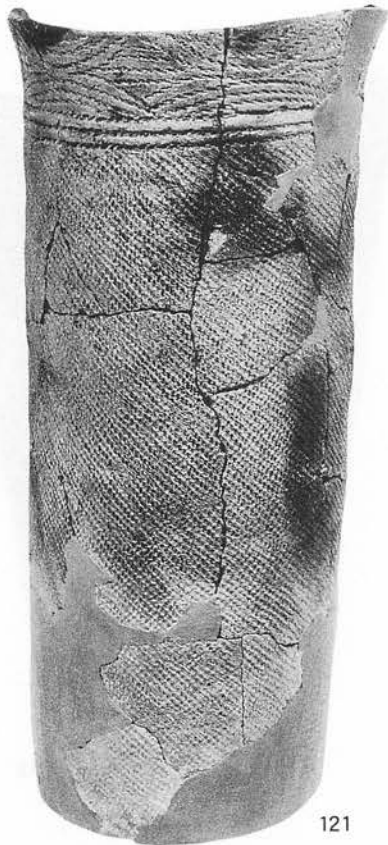
119



120

S=1/3(117·119·120)  
S=1/4(118)





121



123



122



124

S=1/3(122·123)  
S=1/4(121·124)

写真図版50 土器(23)



125



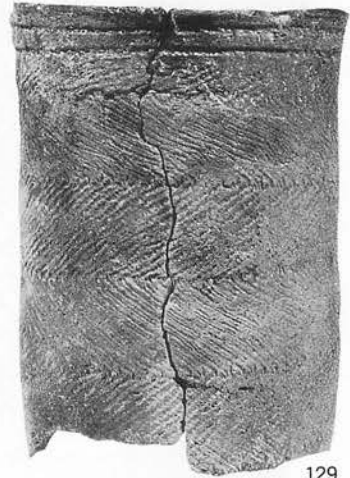
126



127



128



129

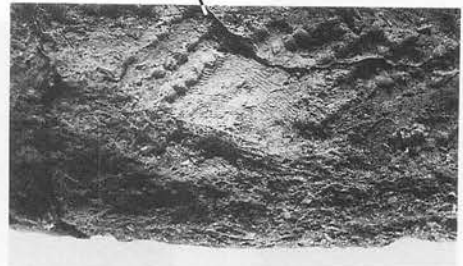
S=1/3(125·128·129)  
S=1/4(127)  
S=1/5(126)



130



131a



131b



133



132

S=1/3

写真図版52 土器(25)



134



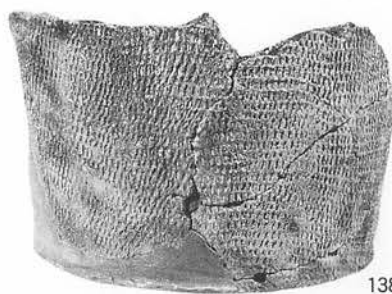
135



137



136



138

S=1/3(135~138)  
S=1/4(134)





139



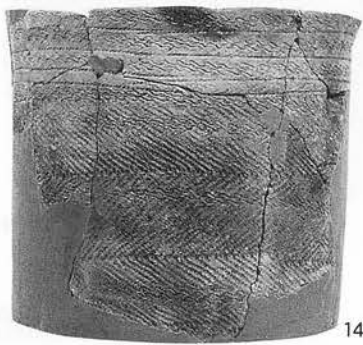
140



141



143



142

S=1/3(139·140)  
S=1/4(141~143)



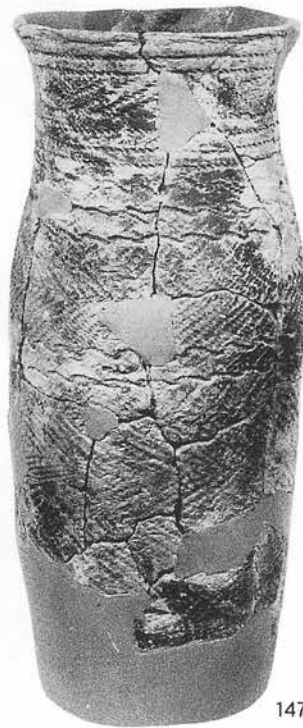
144



145



146

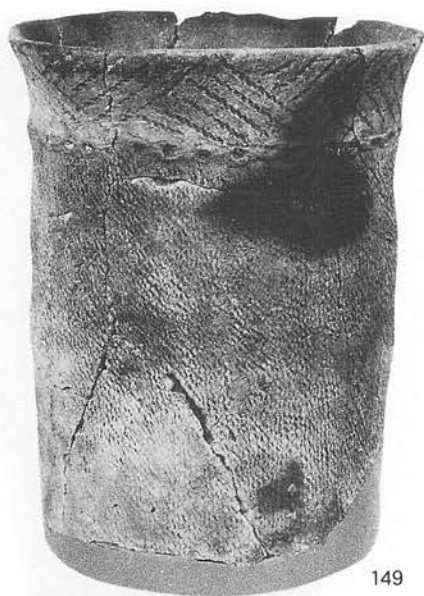


147



148

S=1/3(148)  
S=1/4(144~147)



149



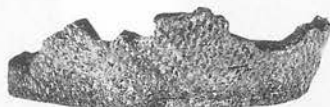
150



151



152



153



S=1/3



154



155



156



157

S=1/3





158



159



160

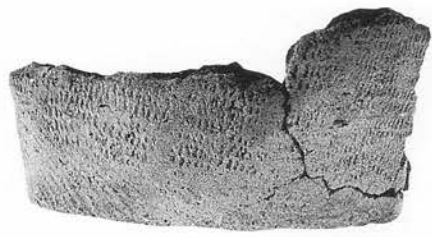


161

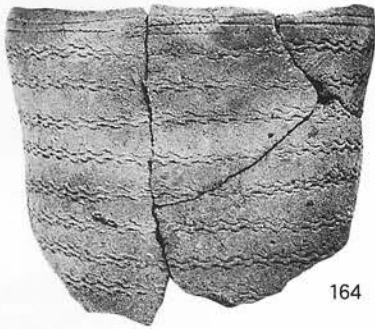
S=1/3(158·160·161)  
S=1/4(159)



162



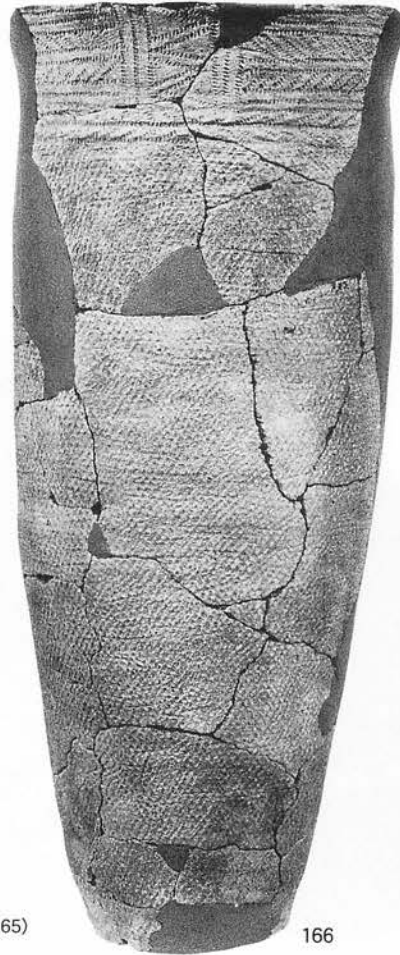
163



164

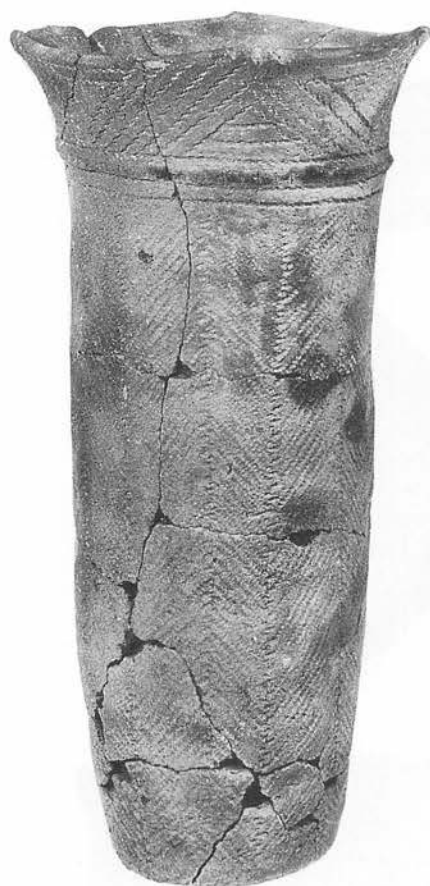


165



166

S=1/2(164)  
S=1/3(162·163·165)  
S=1/5(166)



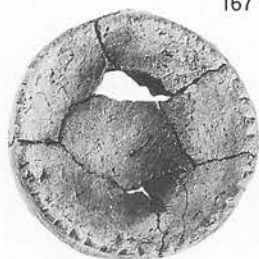
167



168



170



169



171



172

S=1/3



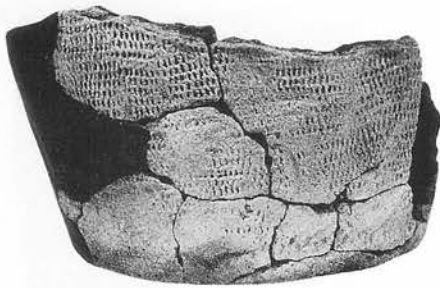
173



174



175



176



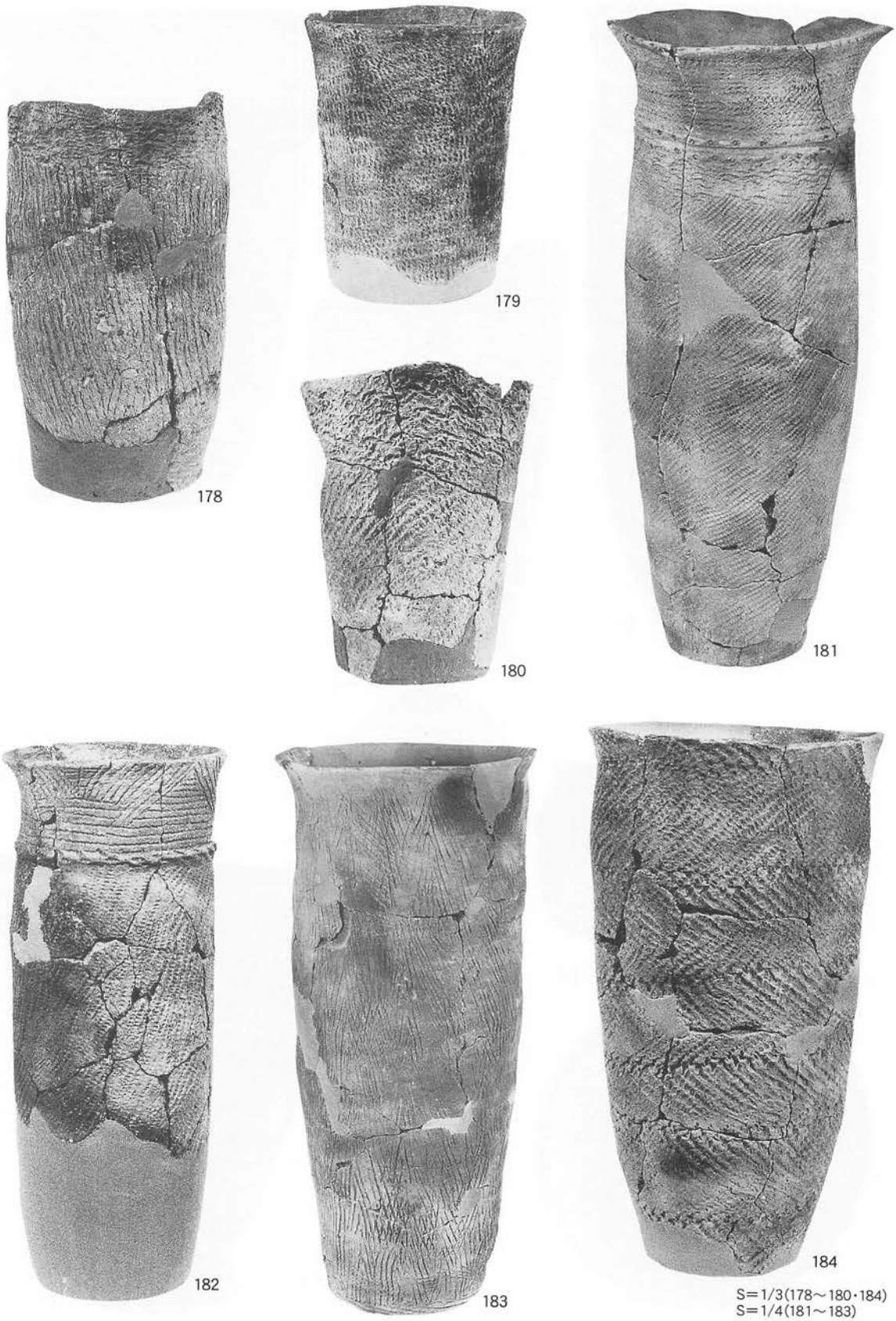
S=1/3(174~177)  
S=1/5(173)



177

写真図版61 土器(34)





写真図版62 土器(35)



185



186



188



187

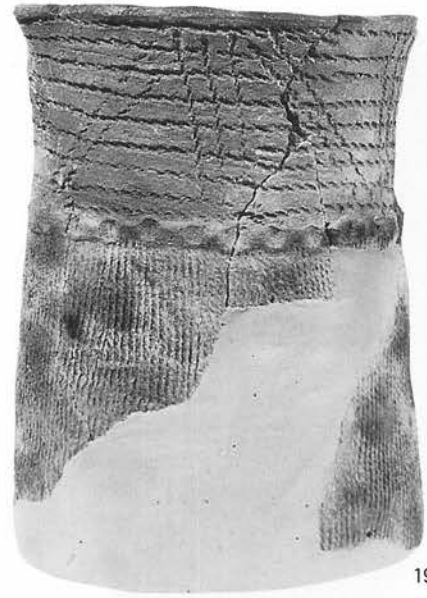


189

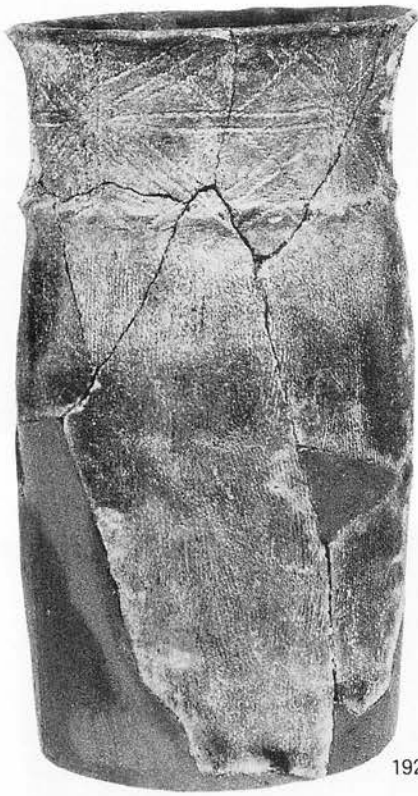
S=1/3(185·186·188·189)  
S=1/4(187)



190



191



192



195



193



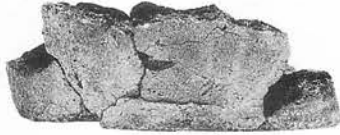
194

S=1/2(193)  
S=1/3(190·191·194)  
S=1/4(192)  
S=1/5(195)

写真図版64 土器(37)



196



199



197



198

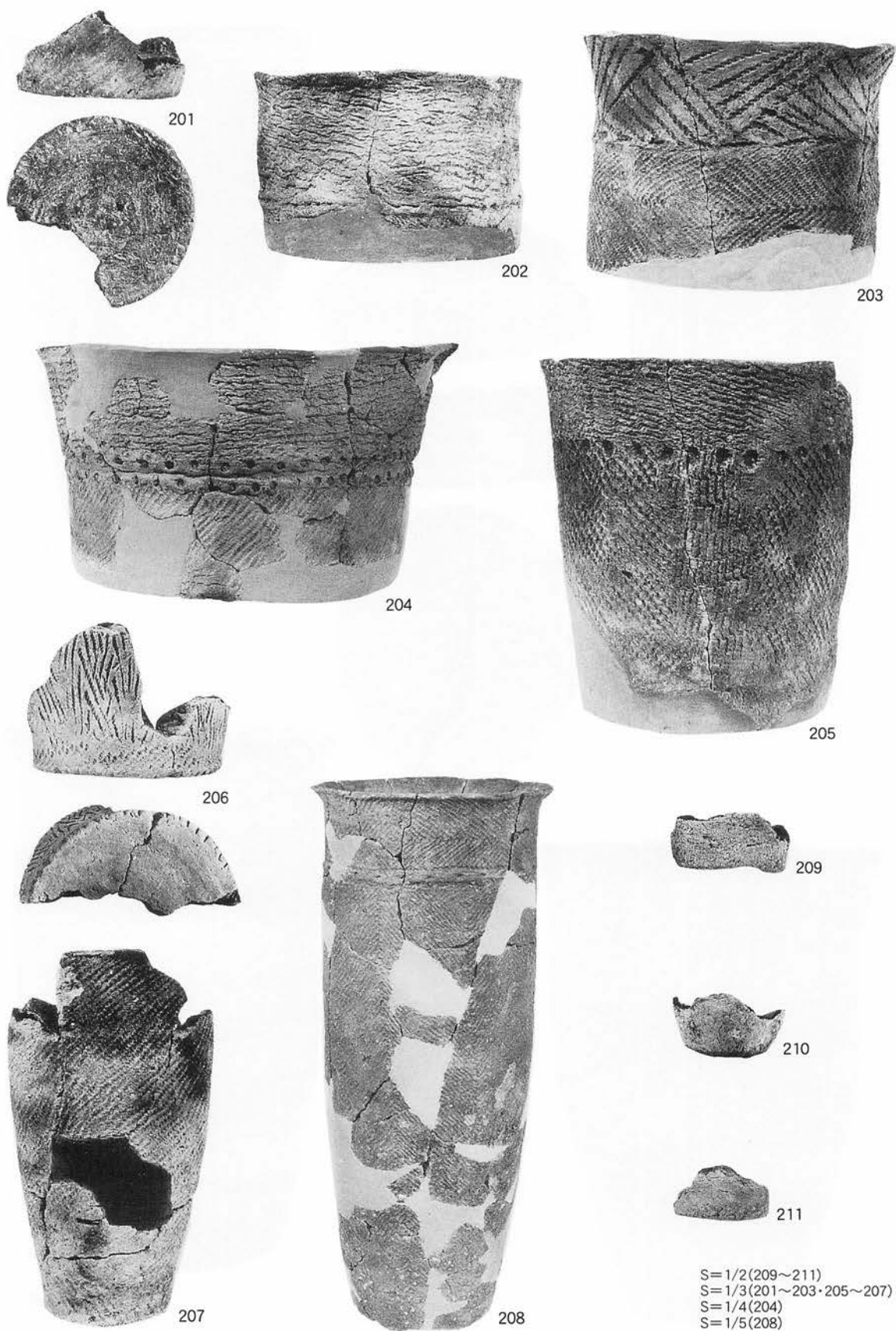


200

S=1/3(197~200)  
S=1/5(196)

写真図版65 土器(38)





写真図版66 土器(39)



212



213



214

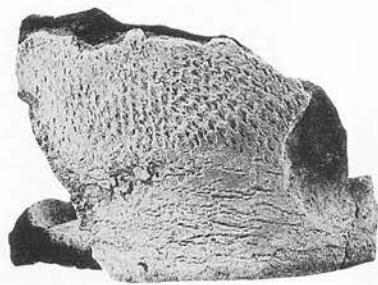


215



216

S=1/3(212·214·216)  
S=1/4(213·215)



217



218



219



220

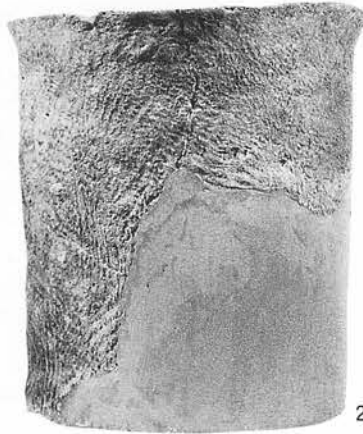


221

S=1/3(217·219·220)  
S=1/4(218)  
S=1/5(221)



222



223



225



224



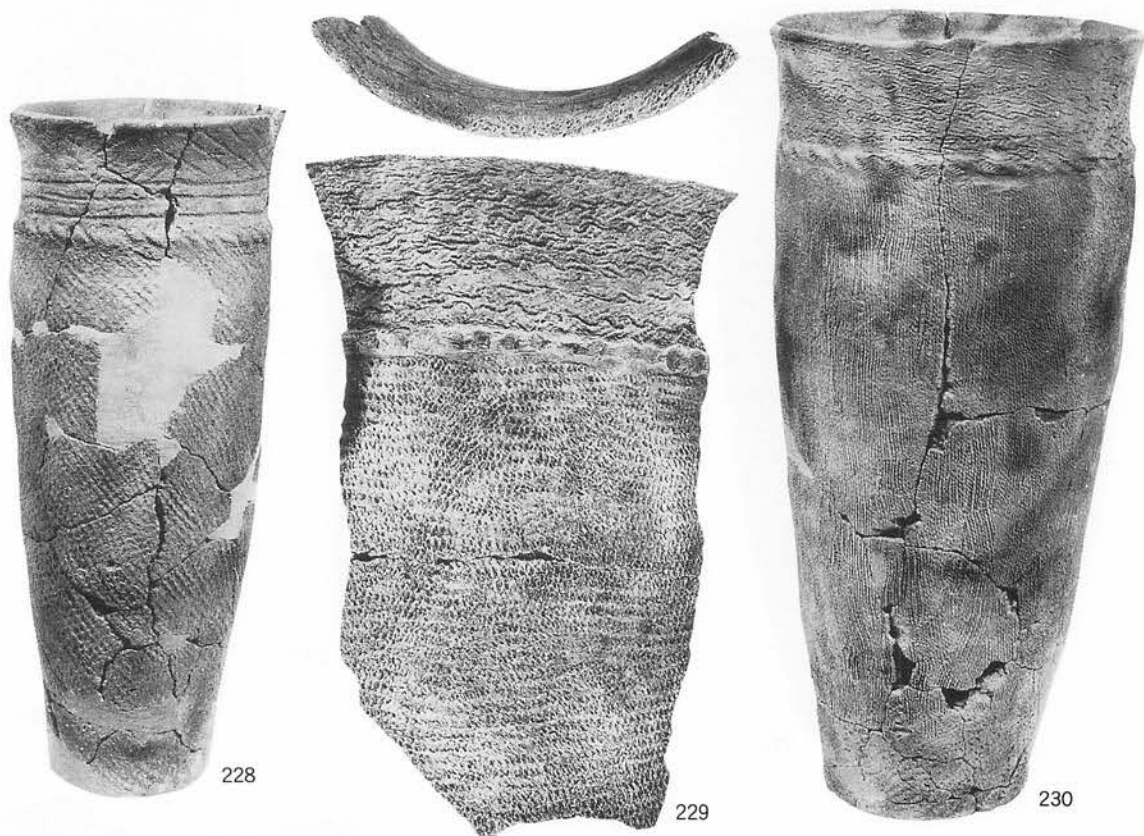
226



227

S=1/3(222~224)  
S=1/4(226·227)  
S=1/5(225)





228

229

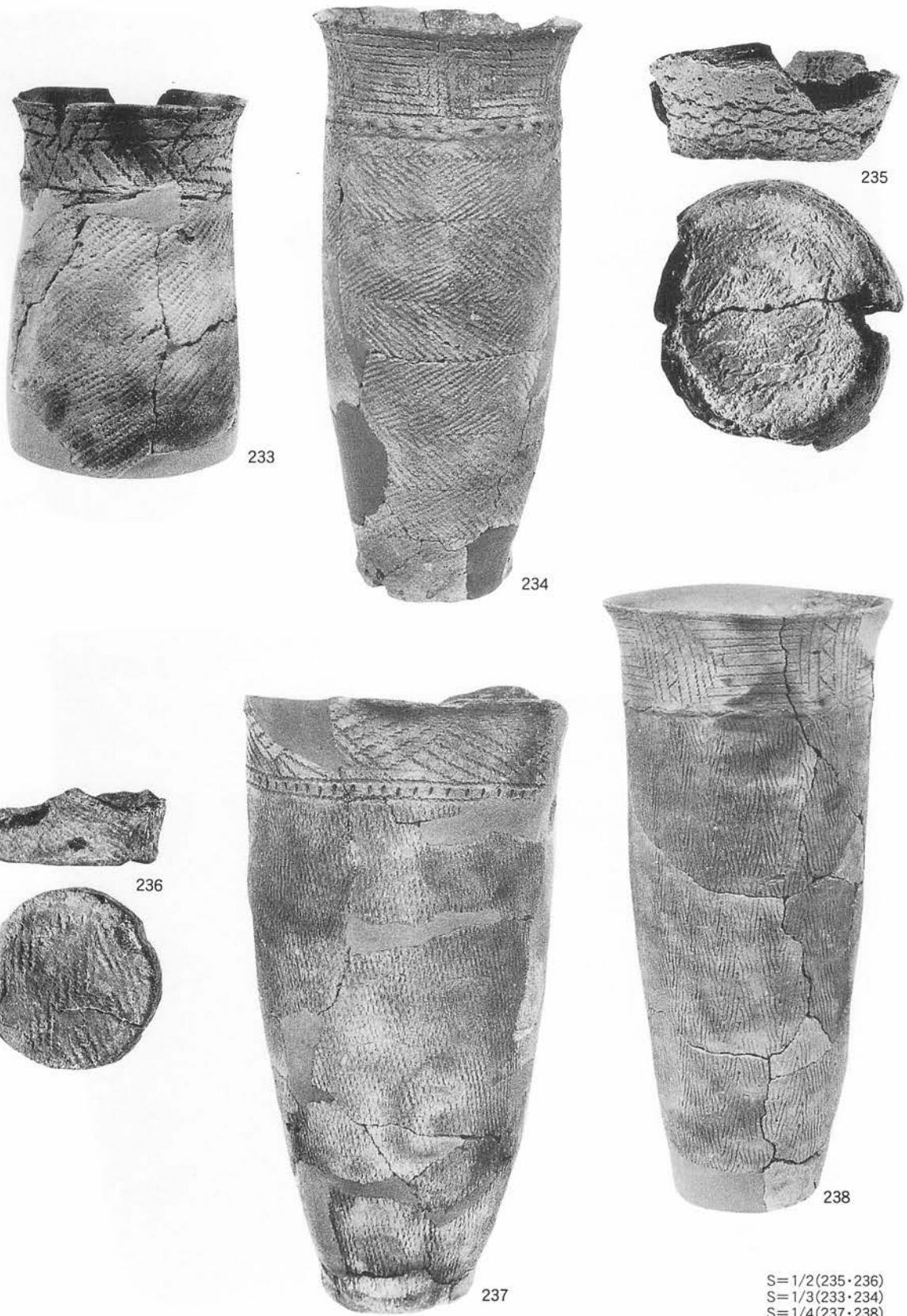
230

231

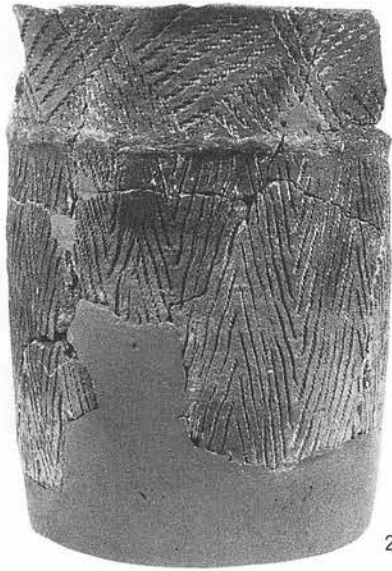
232

S=1/3(229·231·232)  
S=1/4(228·230)

写真図版70 土器(43)



写真図版71 土器(44)



240



241



242



243



244

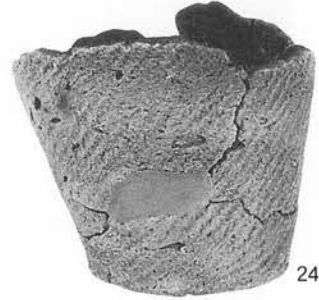
S=1/3(240~242)  
S=1/4(244)  
S=1/5(243)



239



245



246



247



248

S=1/3(239·246·247)  
S=1/4(245·248)

写真図版73 土器(46)





249



250



251



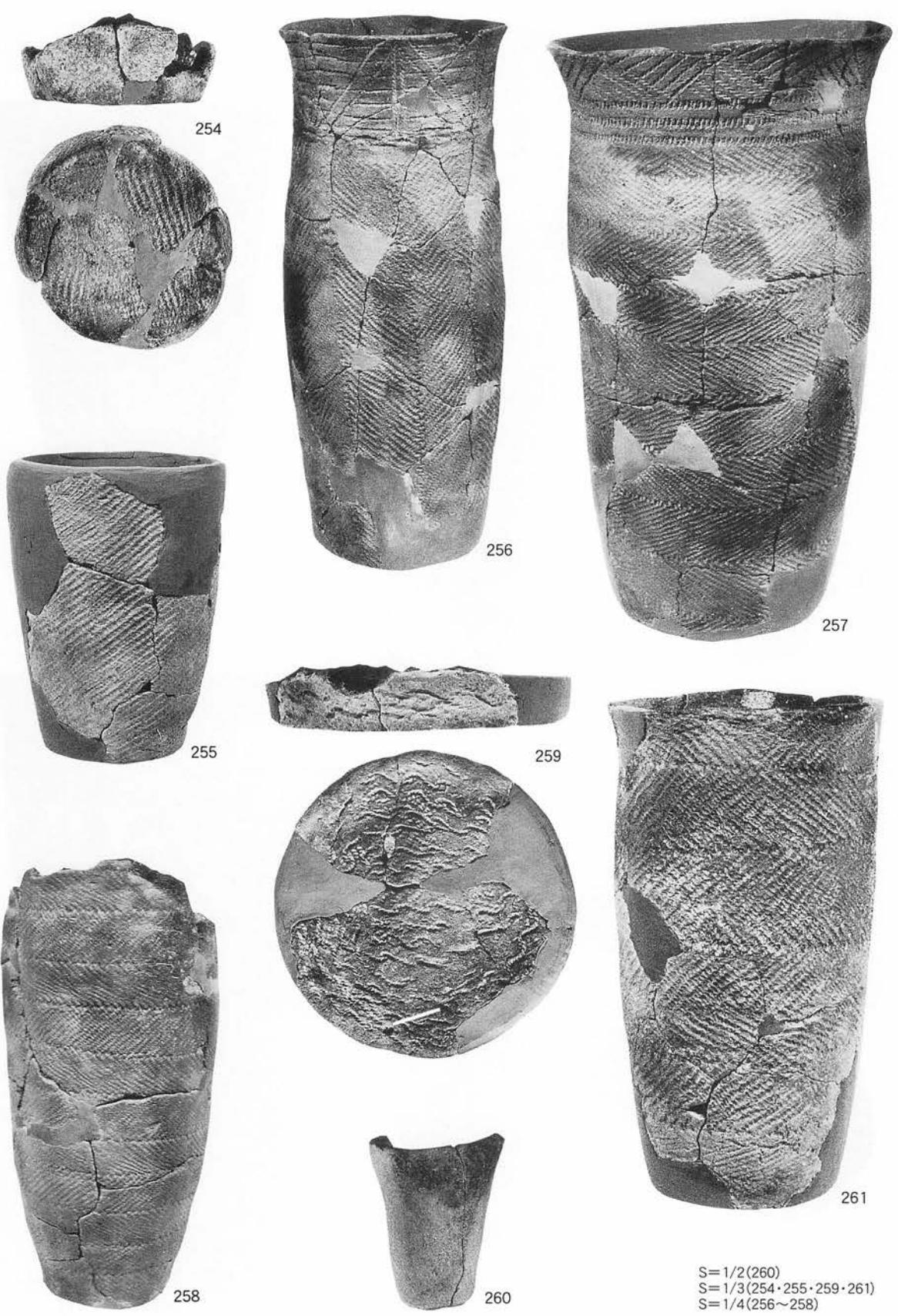
252



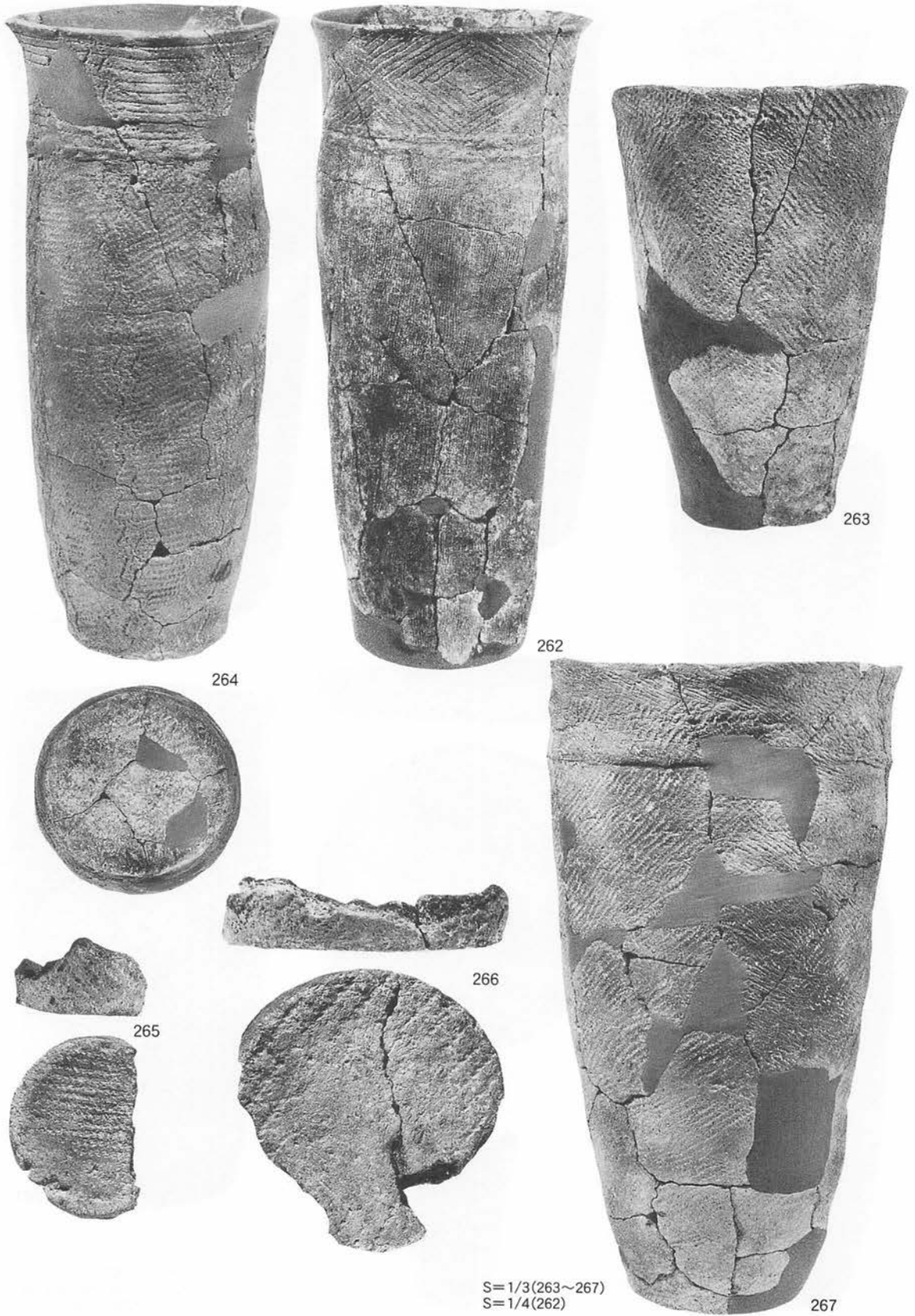
253

S=1/3(251~253)  
S=1/4(249·250)

写真図版74 土器(47)



写真図版75 土器(48)

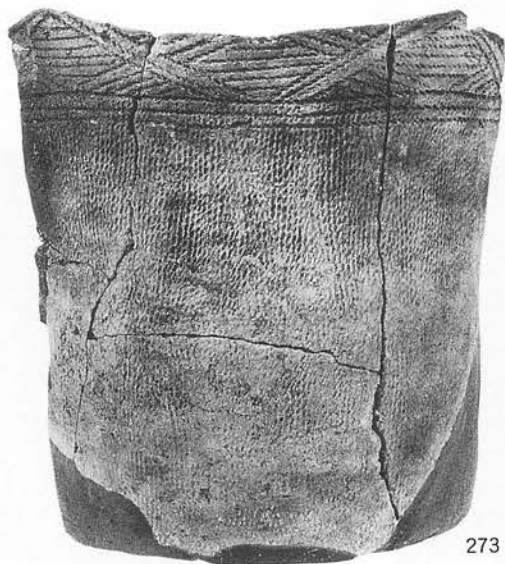


写真図版76 土器(49)



写真图版77 土器(50)





273



274

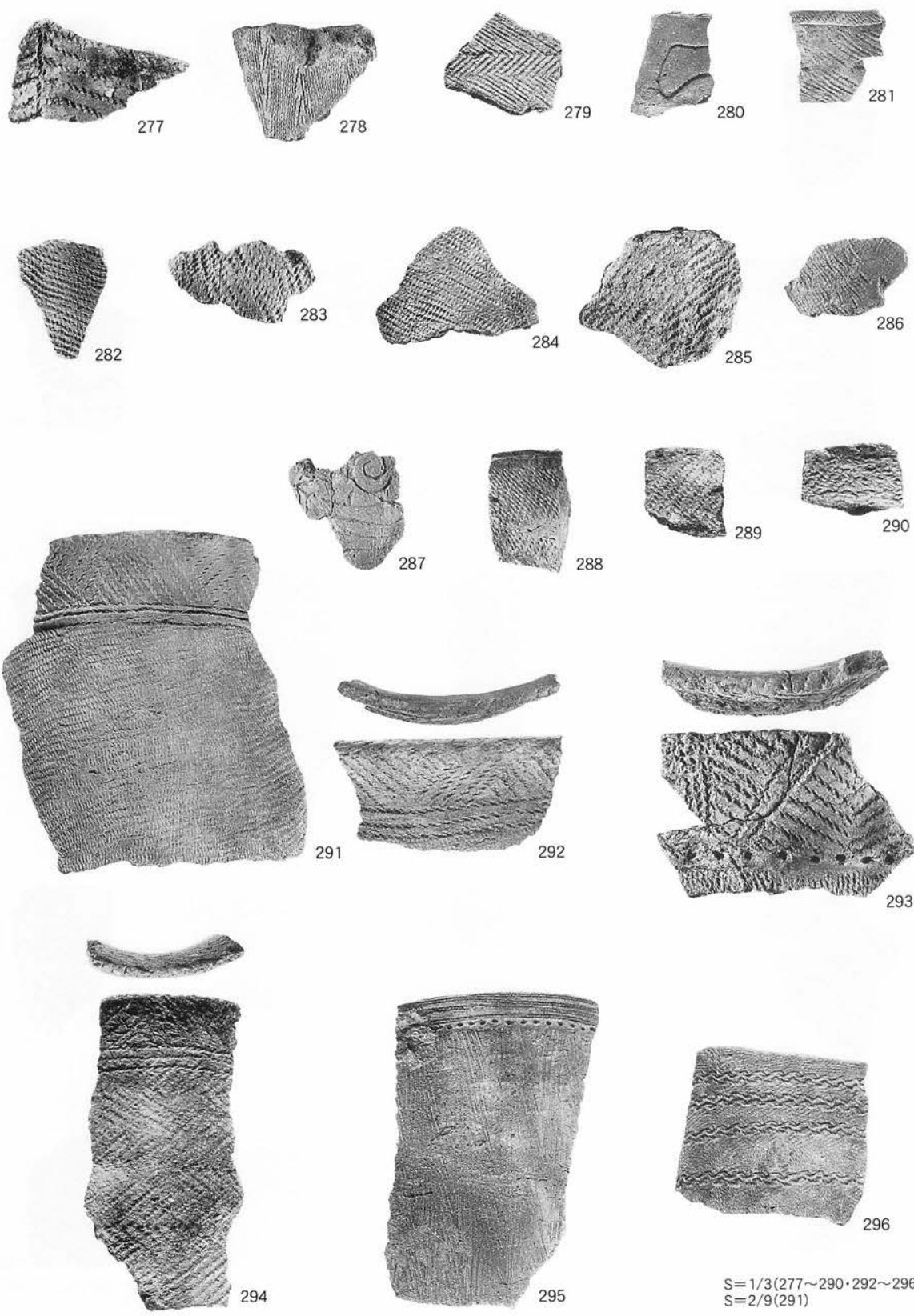


275



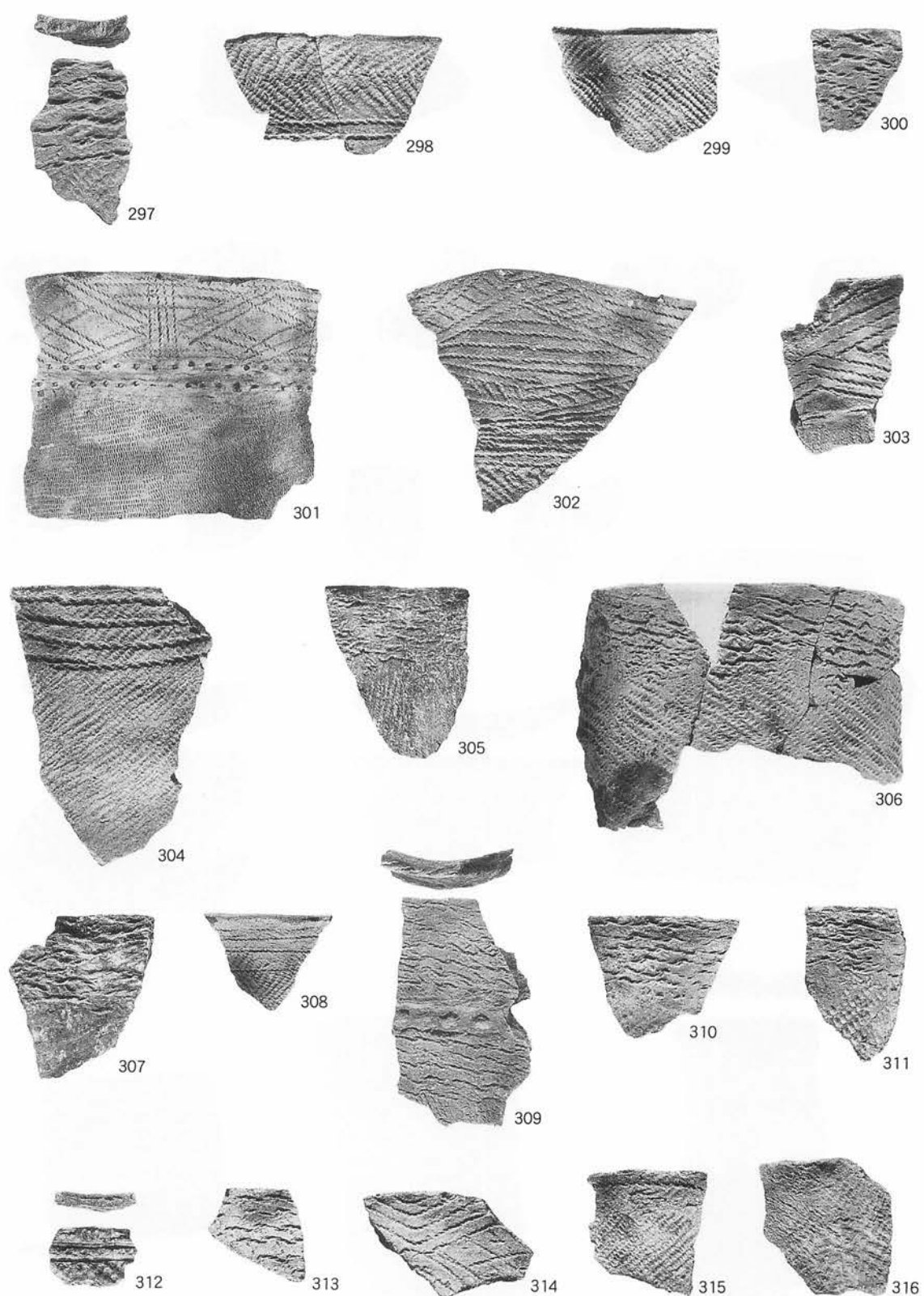
276

S=1/3(273-274)  
S=1/4(275)  
S=1/5(276)



S=1/3(277~290·292~296)  
S=2/9(291)

写真図版79 土器(52)

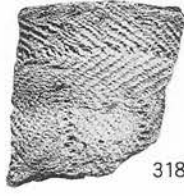


S=1/3(297~300·302~311)  
S=2/9(301)

写真図版80 土器(53)



317



318



319



320



321



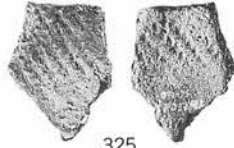
322



323



324



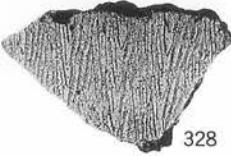
325



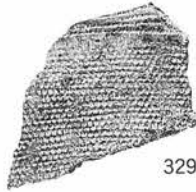
326



327



328



329



330



333



331



332



334

S=2/3

写真図版81 土器(54)

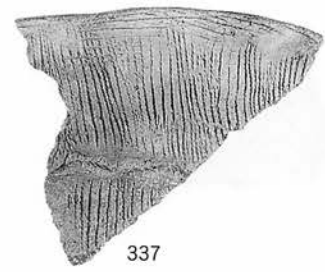




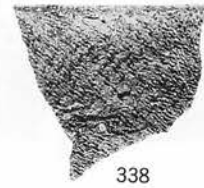
335



336



337



338



339



340



341



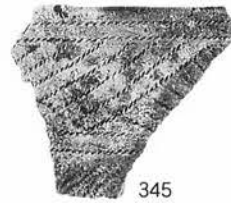
342



343



344



345



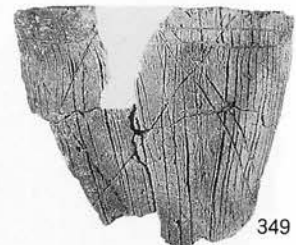
346



347

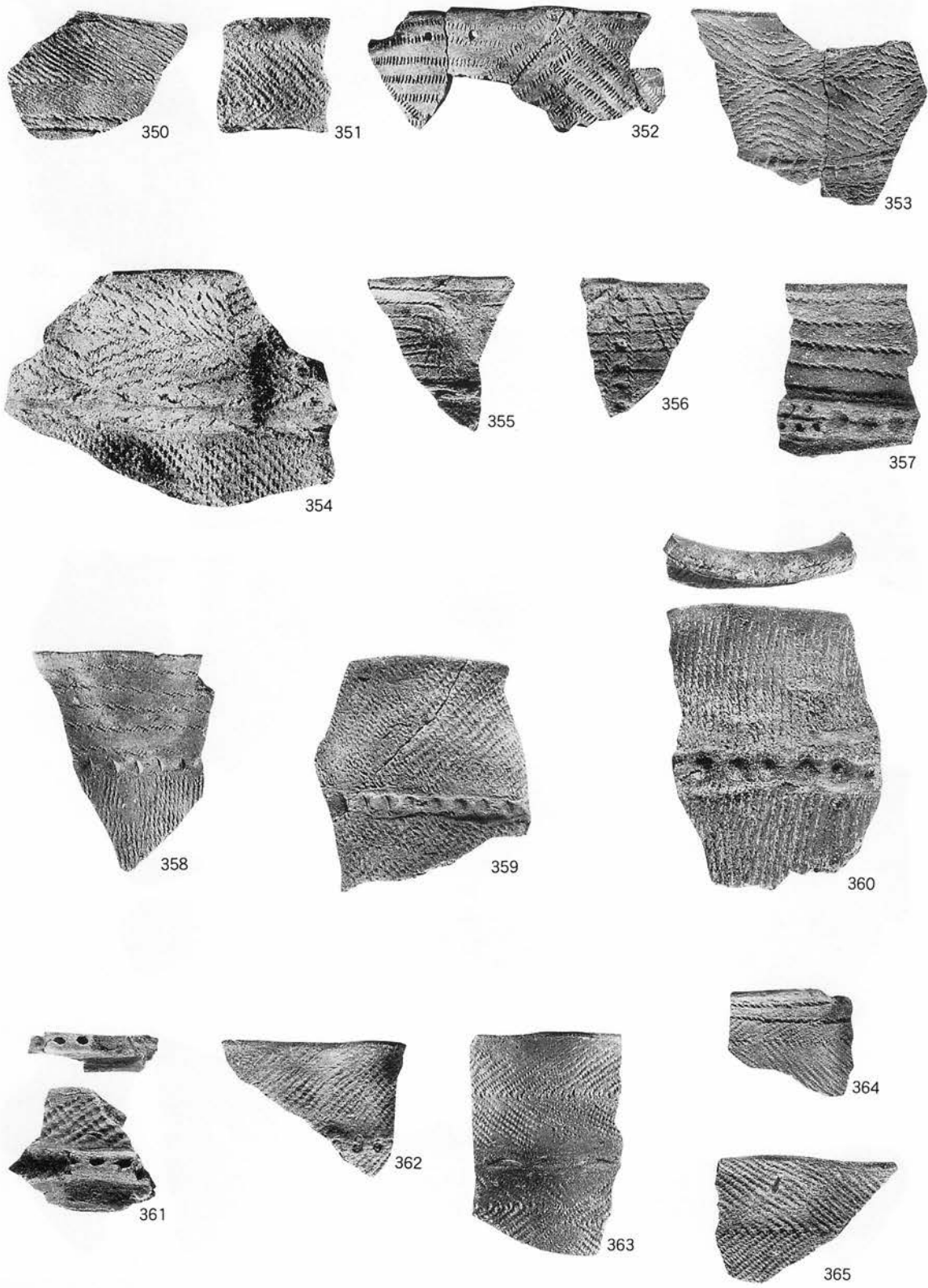


348



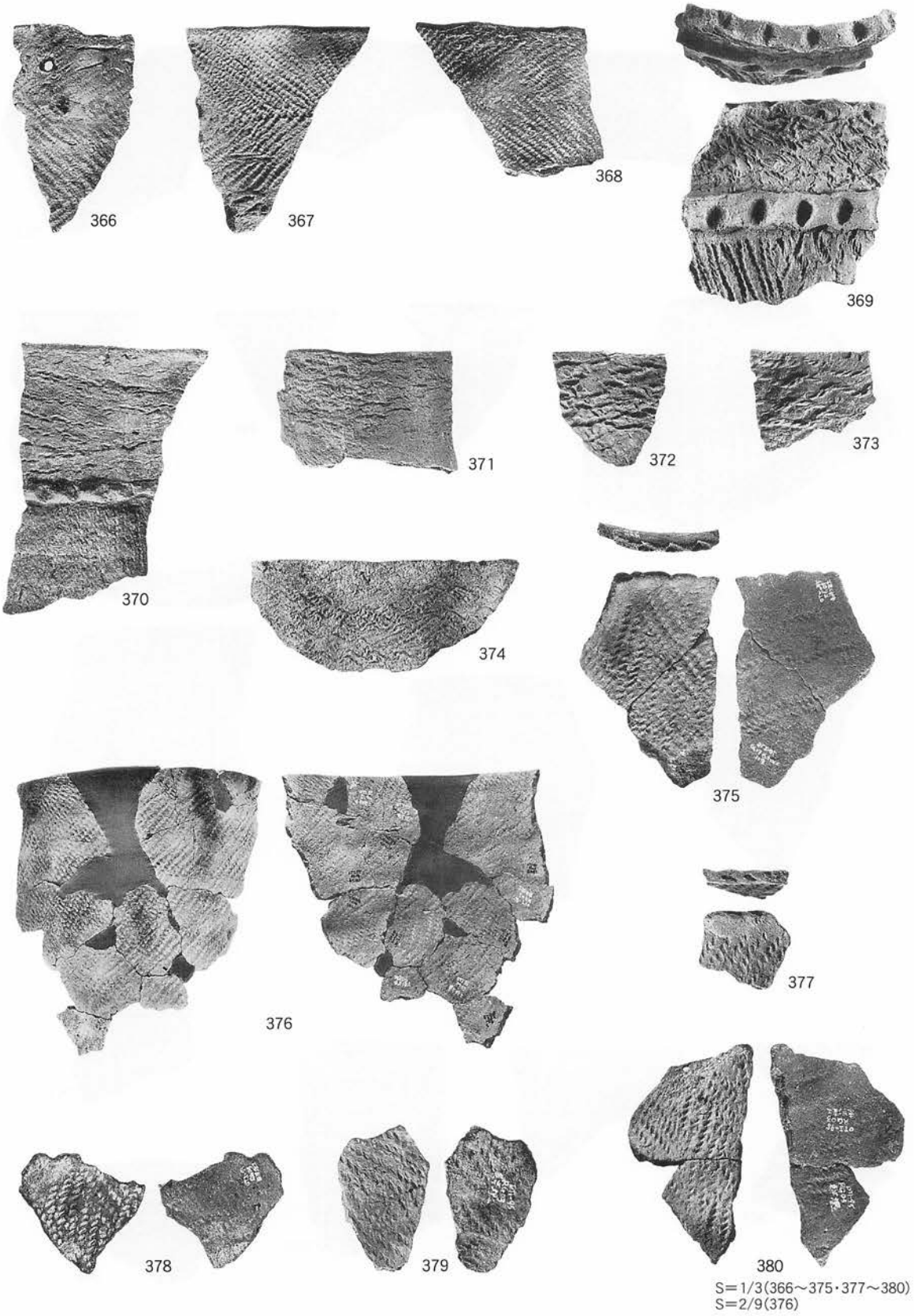
349

S=2/3(335~342·344~349)  
S=2/9(343)

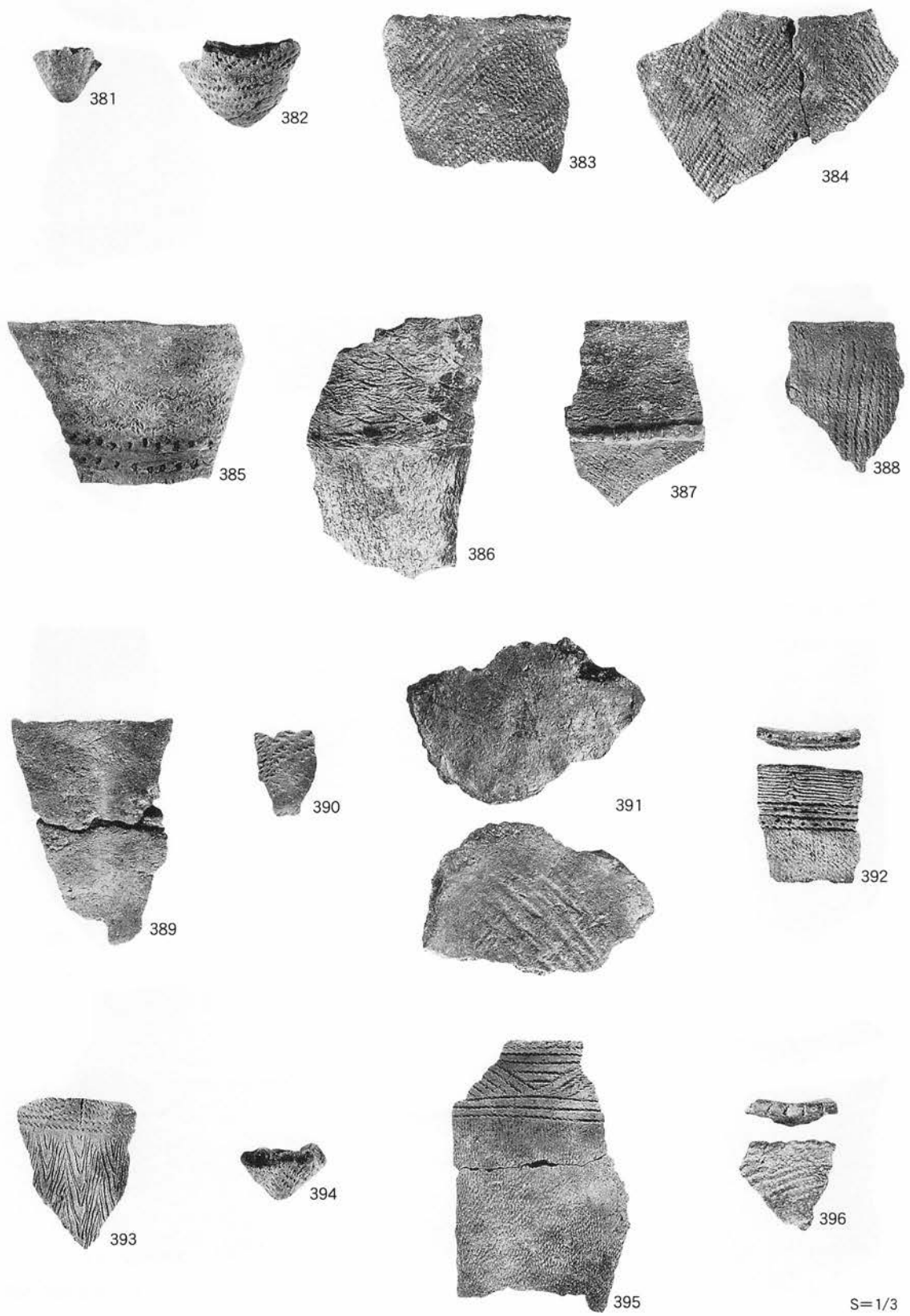


S=2/3

写真図版83 土器(56)

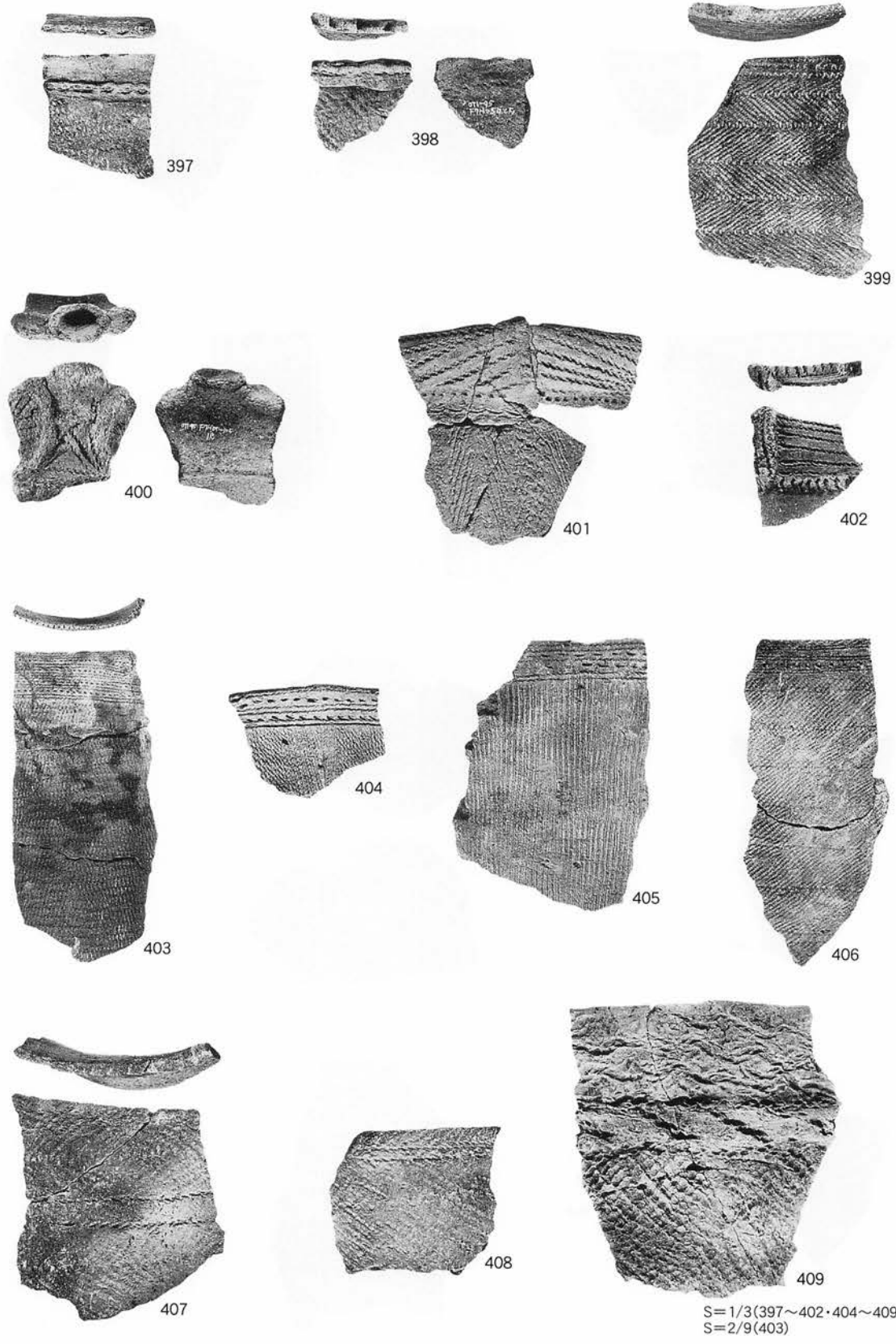


写真図版84 土器(57)

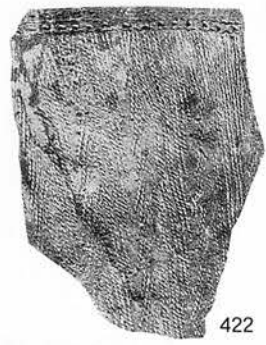
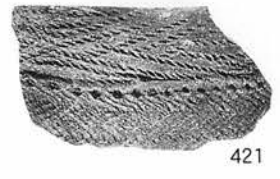
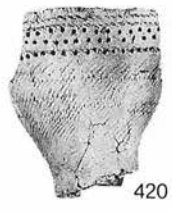
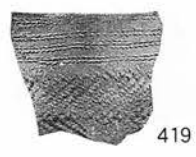
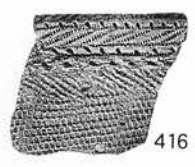
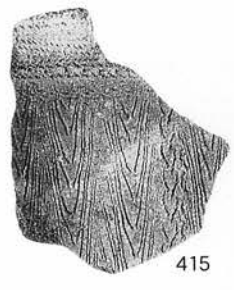


写真図版85 土器(58)



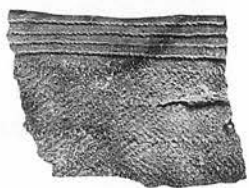


写真図版86 土器(59)



S=1/3

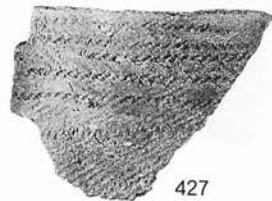
写真図版87 土器(60)



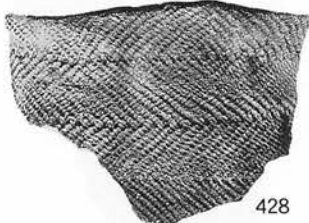
425



426



427



428



429



430



431



432



433



434



435



436



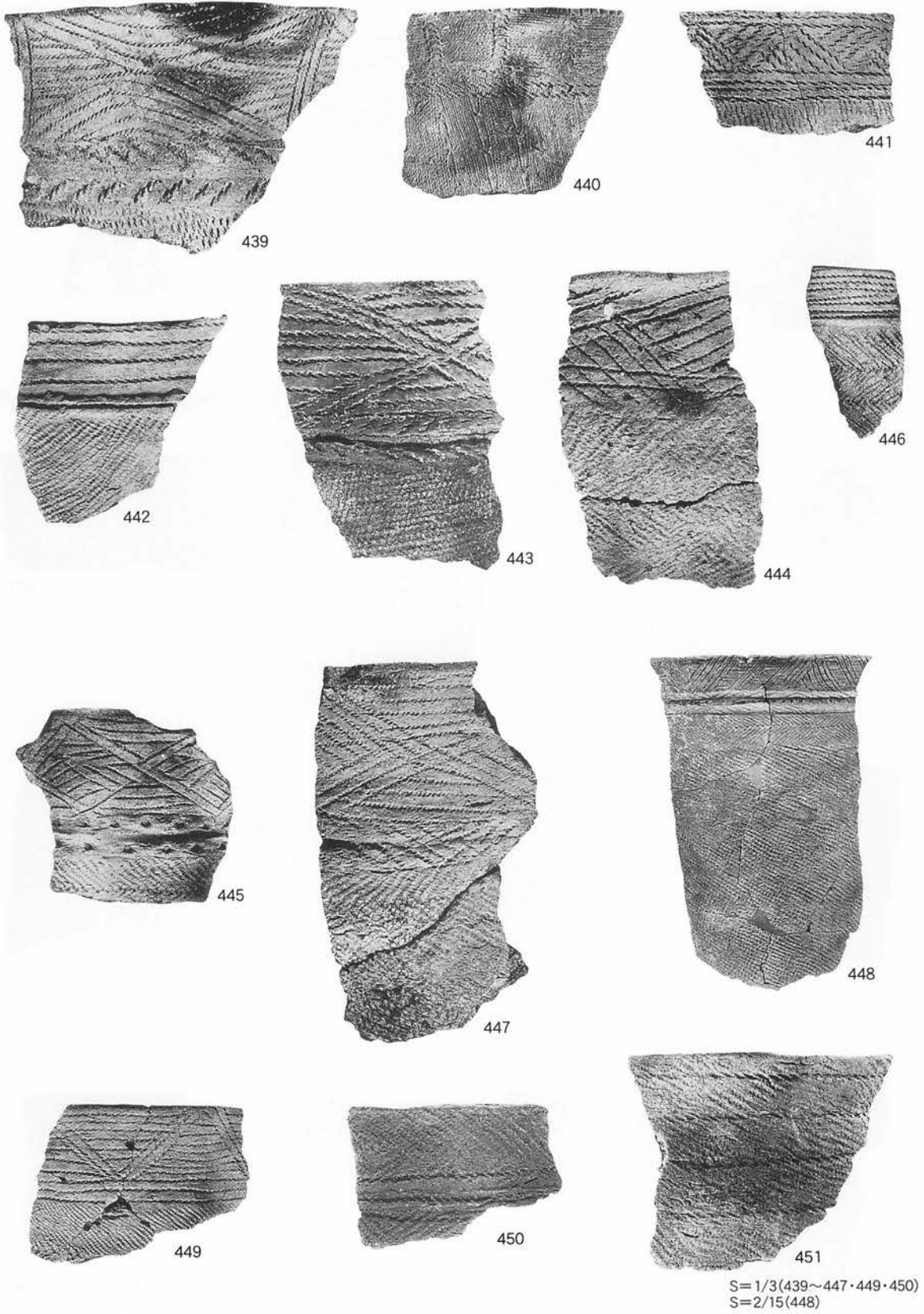
437



438

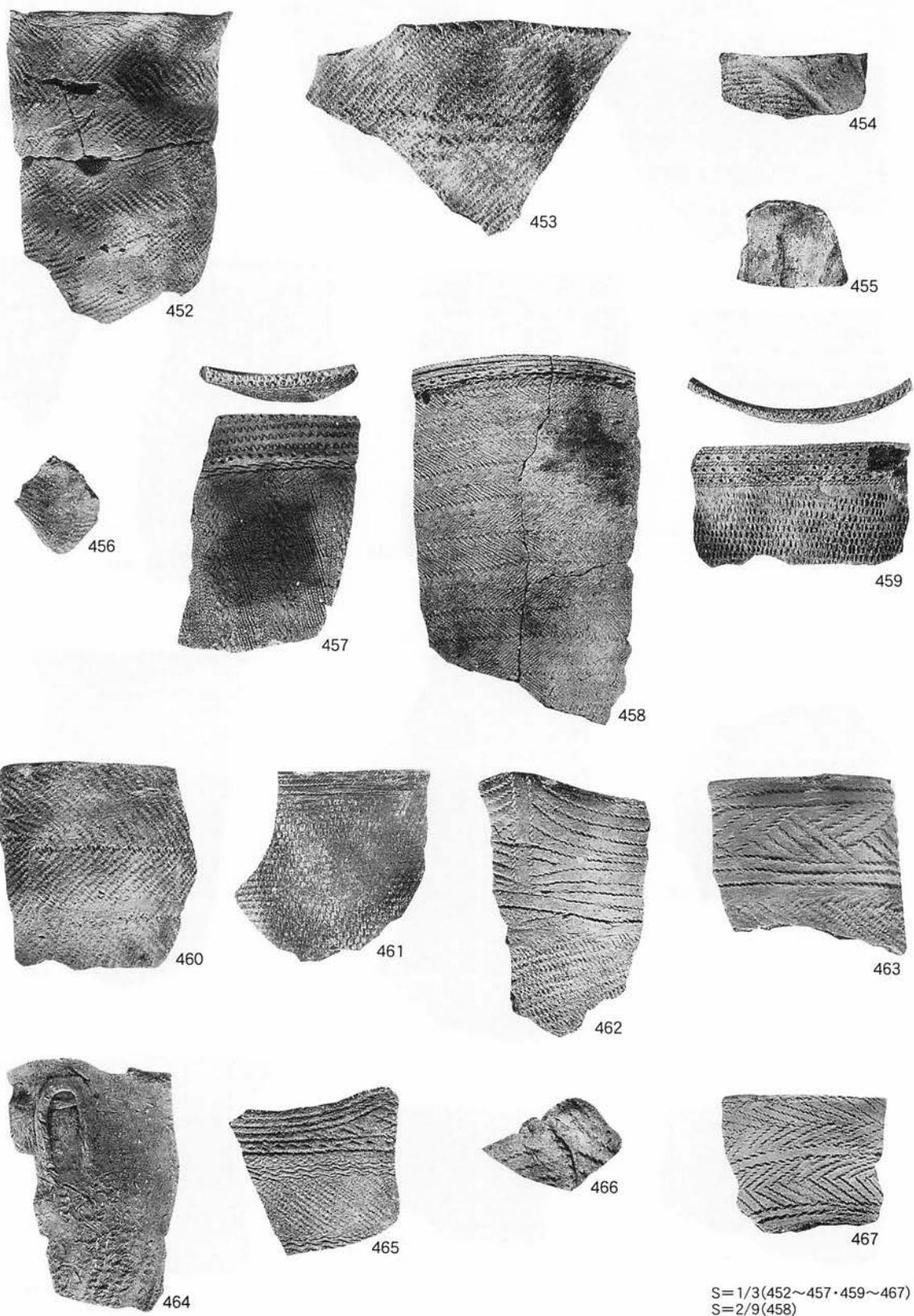
S=1/3(425~436·438)  
S=2/9(437)

写真図版88 土器(61)



写真図版89 土器(62)

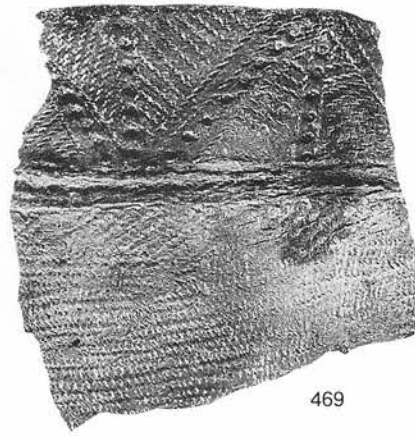




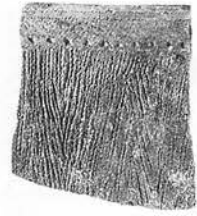
写真図版90 土器(63)



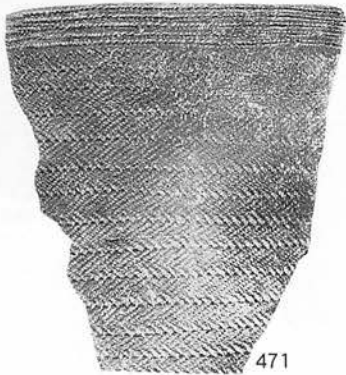
468



469



470



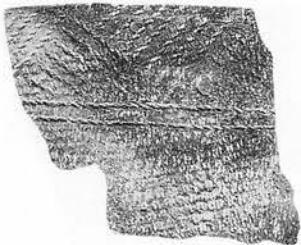
471



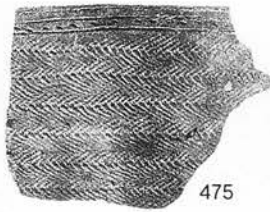
472



473



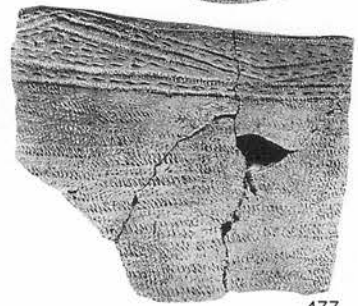
474



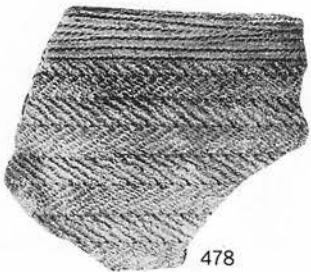
475



476



477



478



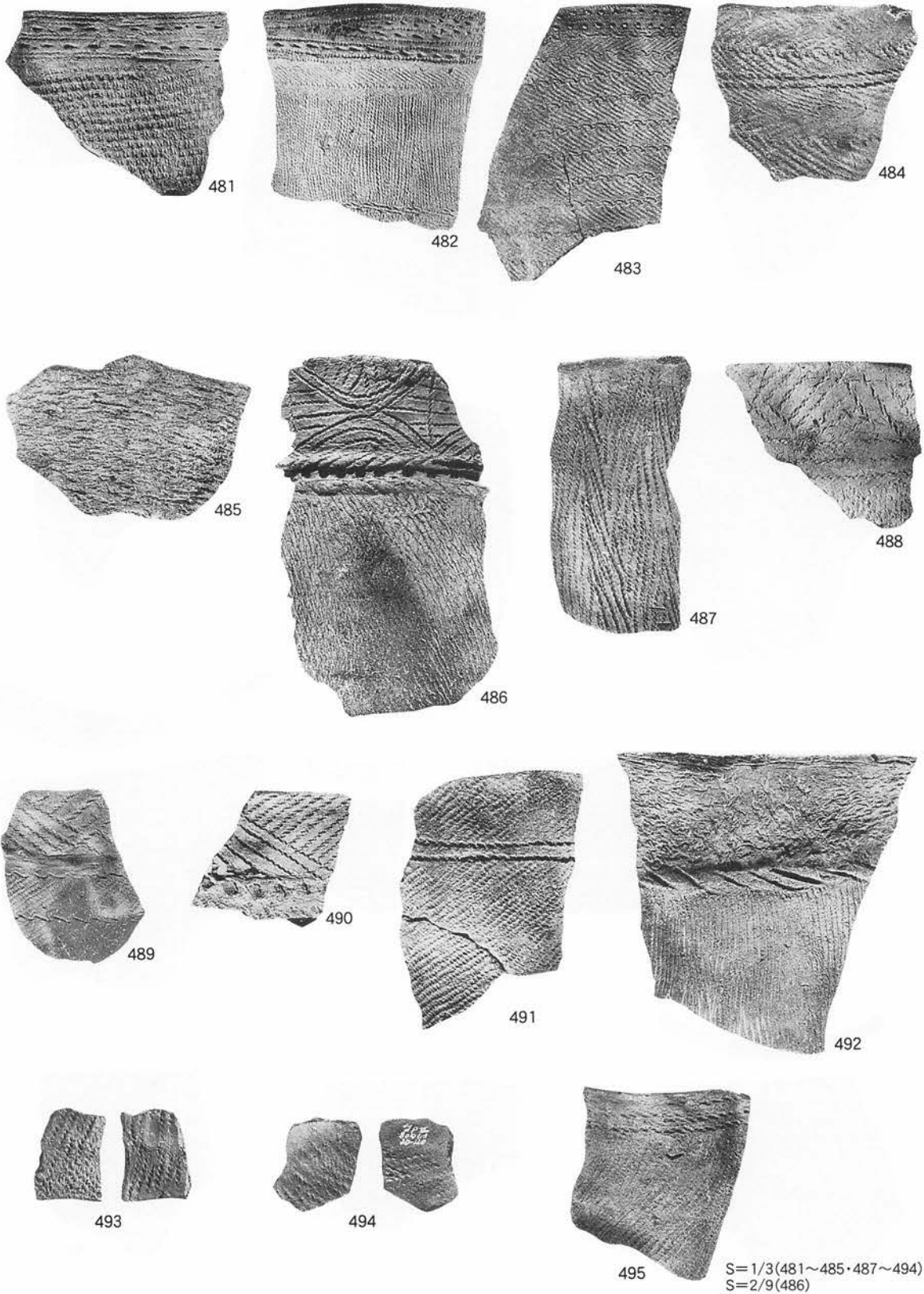
479



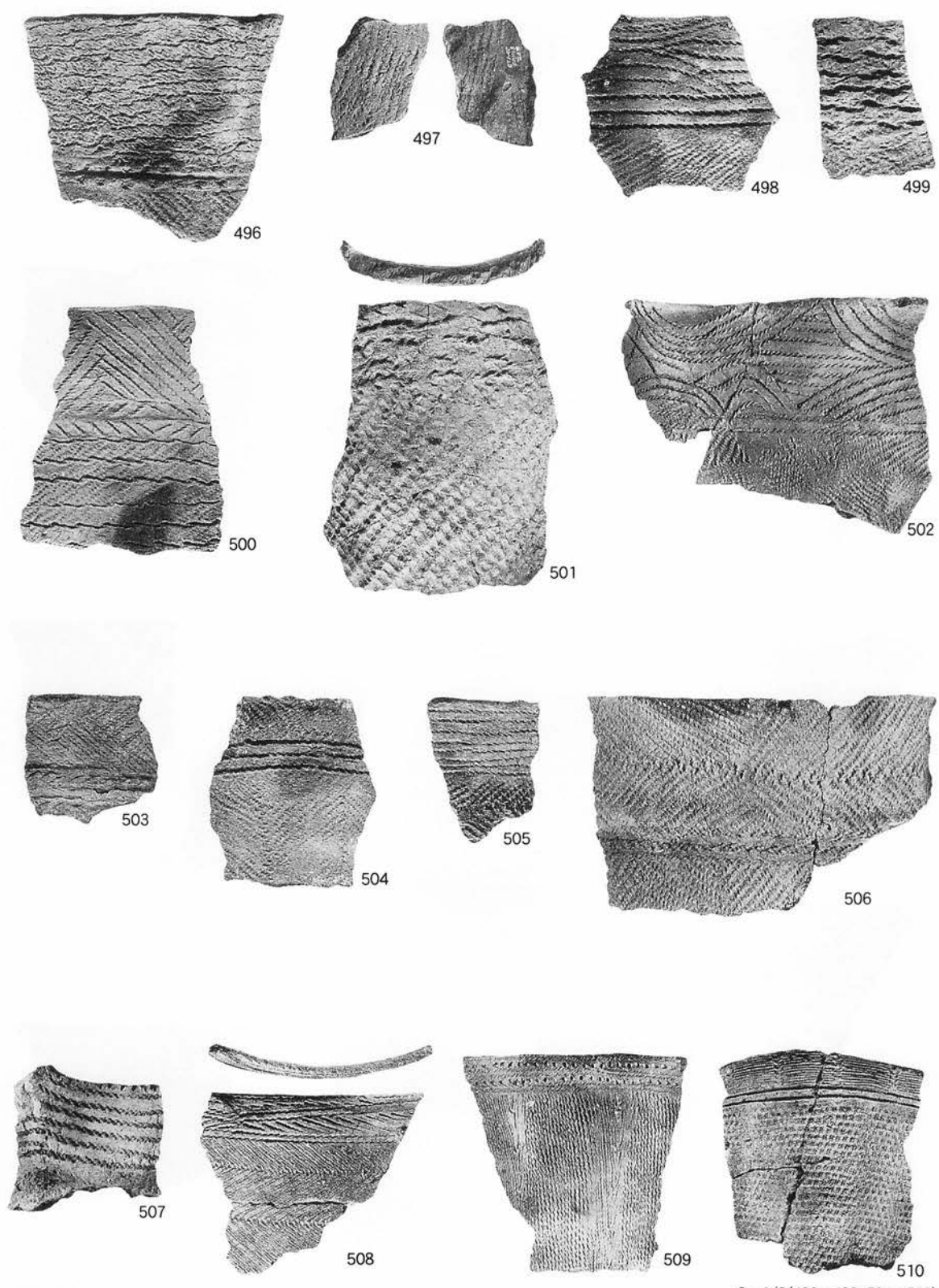
480

S=1/3

写真図版91 土器(64)



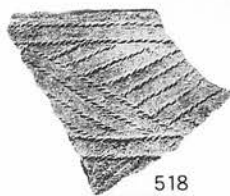
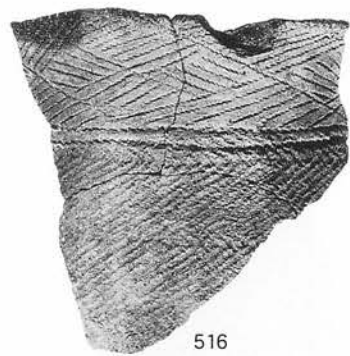
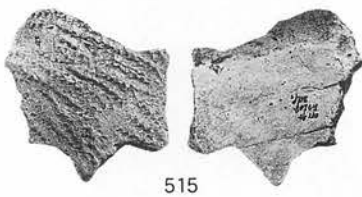
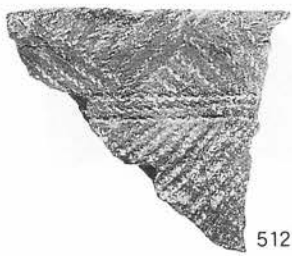
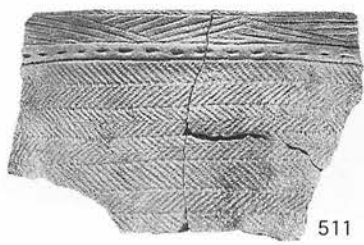
写真図版92 土器(65)



S=1/3(496~499・501~510)  
S=2/9(500)

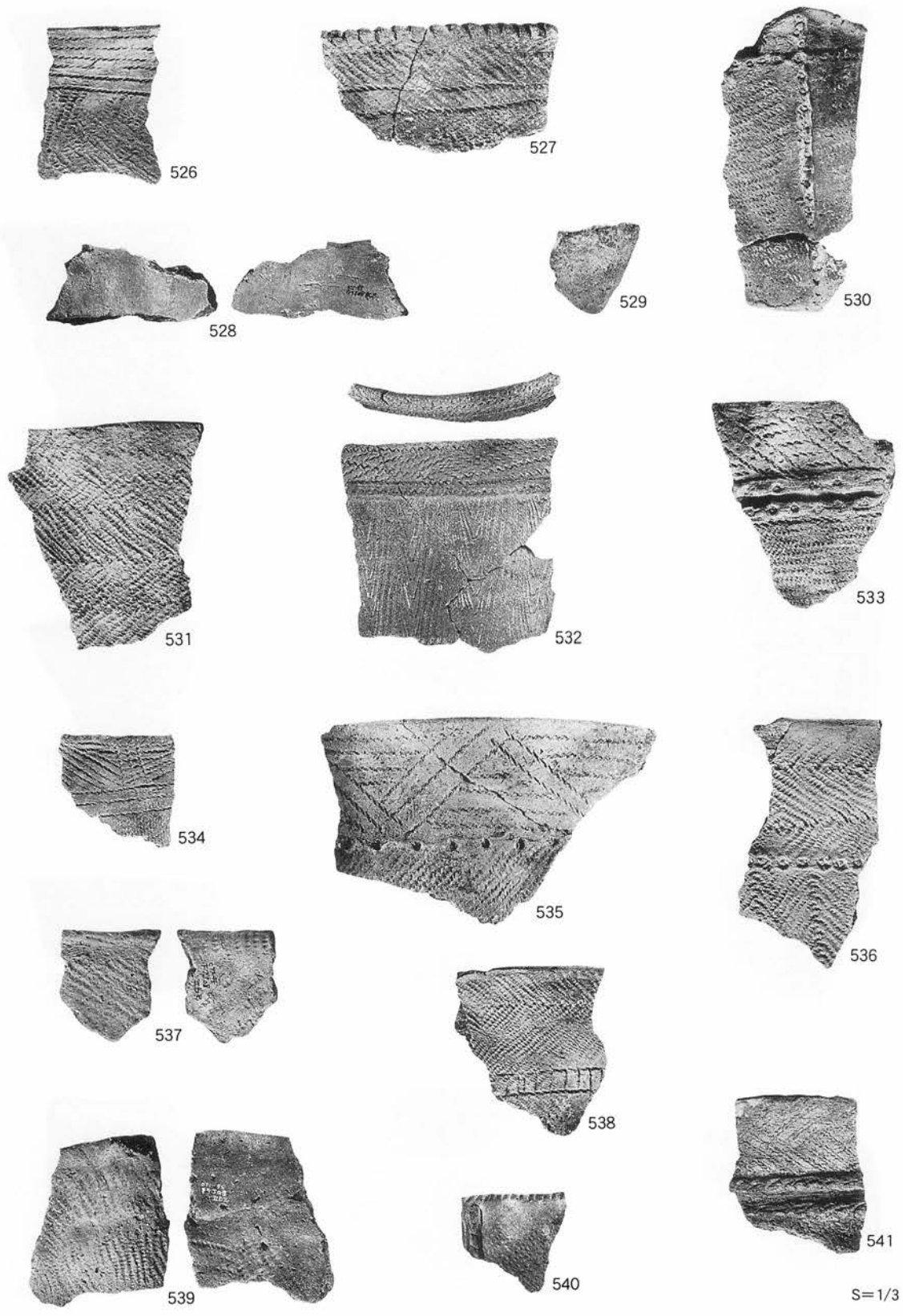
写真図版93 土器(66)





S=1/3(511~513·515~522·524·525)  
S=2/9(514·523)

写真图版94 土器(67)



S=1/3

写真図版95 土器(68)



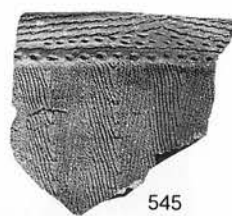
542



543



544



545



546



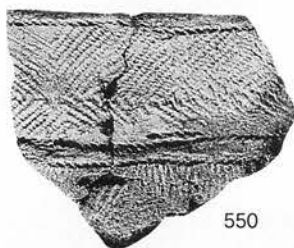
547



548



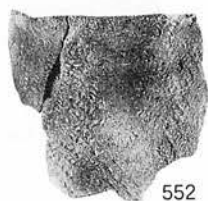
549



550



551



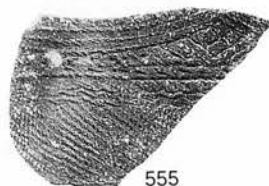
552



553



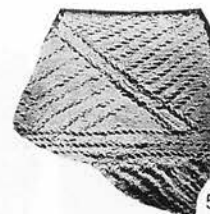
554



555

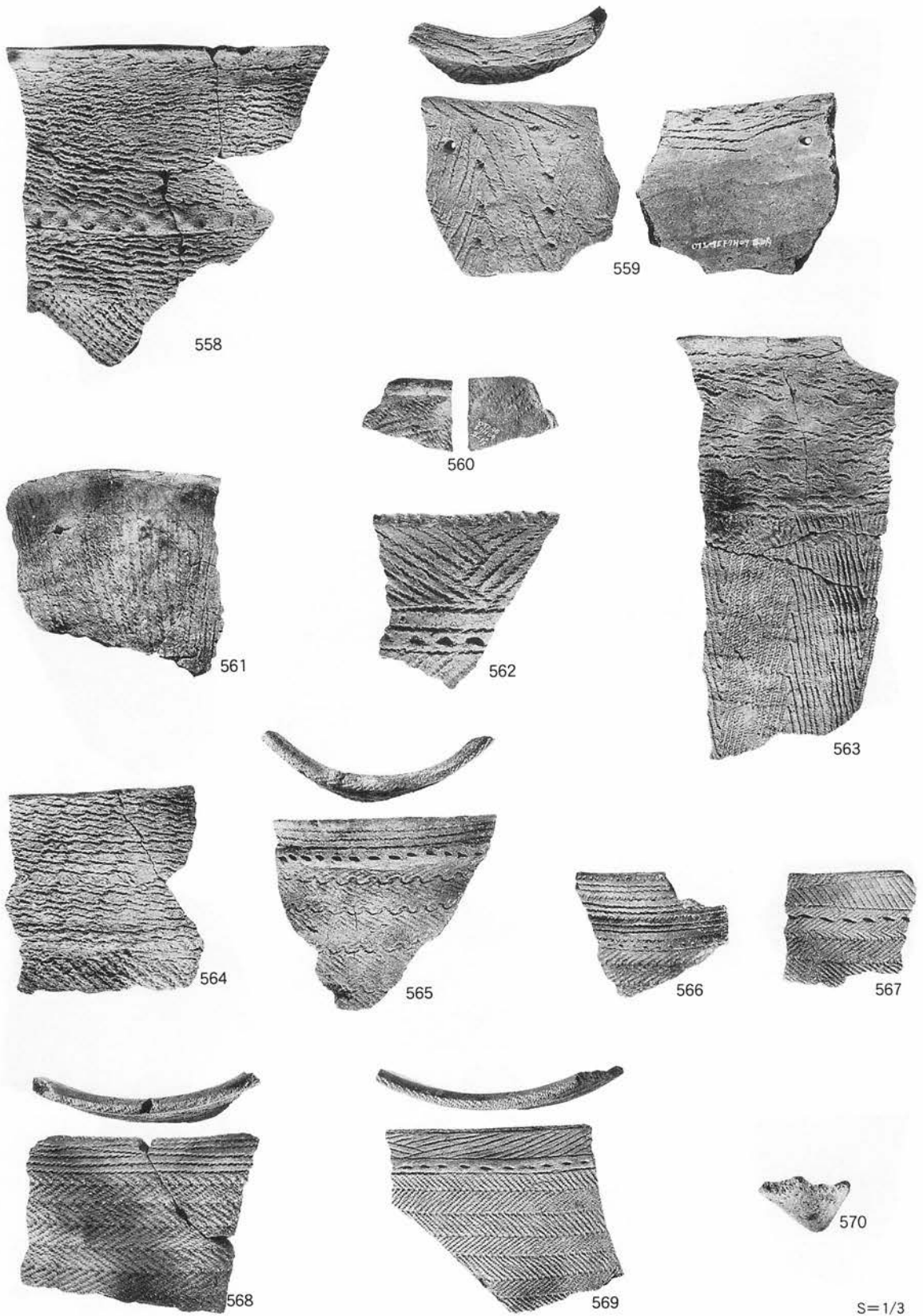


556



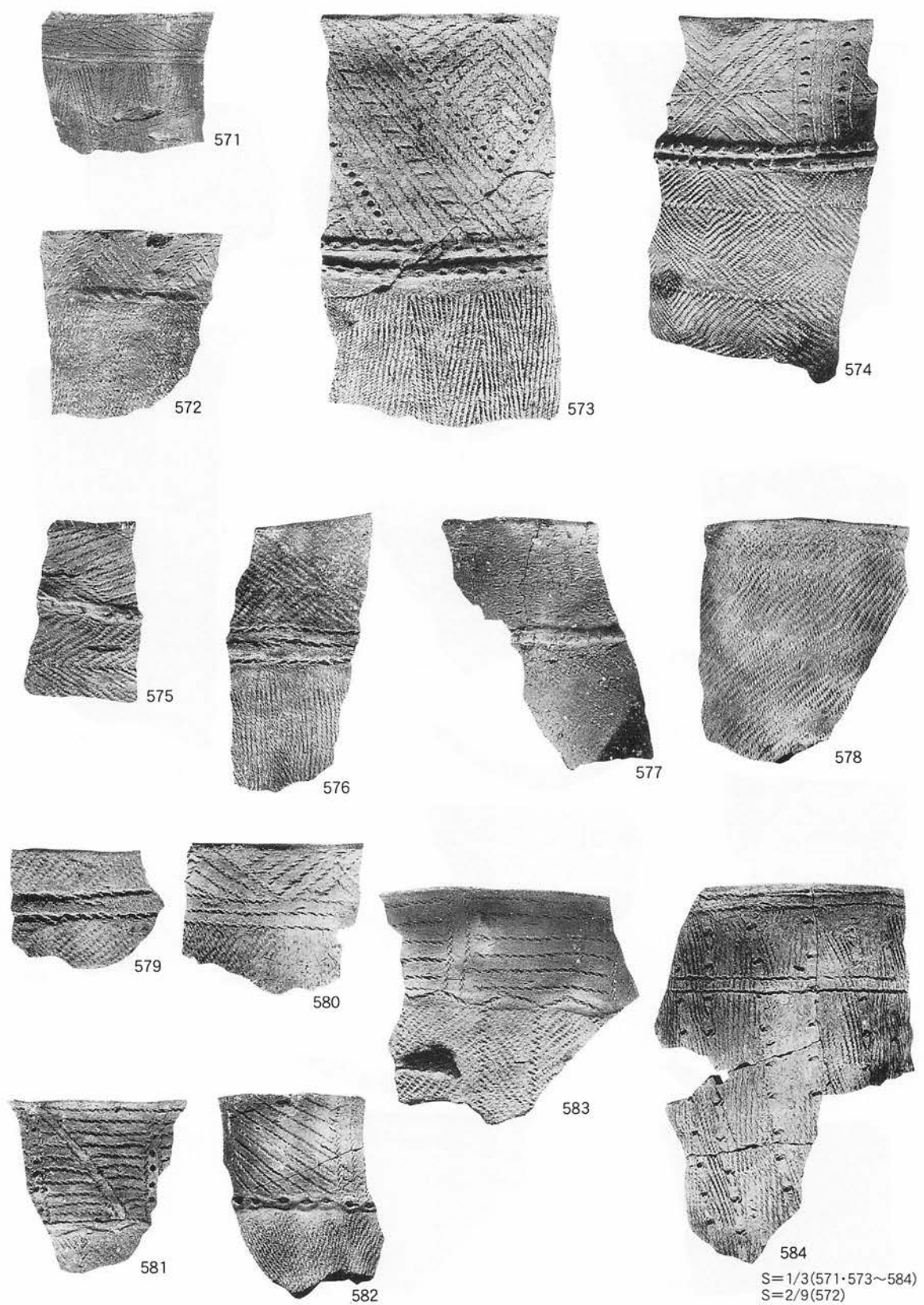
557

S=1/3



写真図版97 土器(70)





S=1/3(571·573~584)  
S=2/9(572)

写真図版98 土器(71)



585



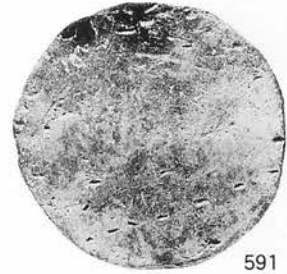
586



587



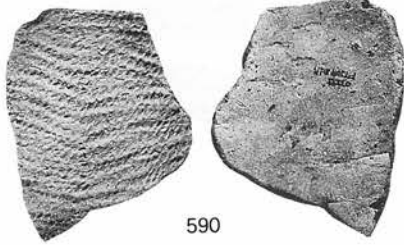
588



591



589



590



592



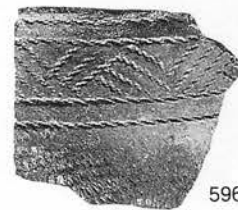
593



594



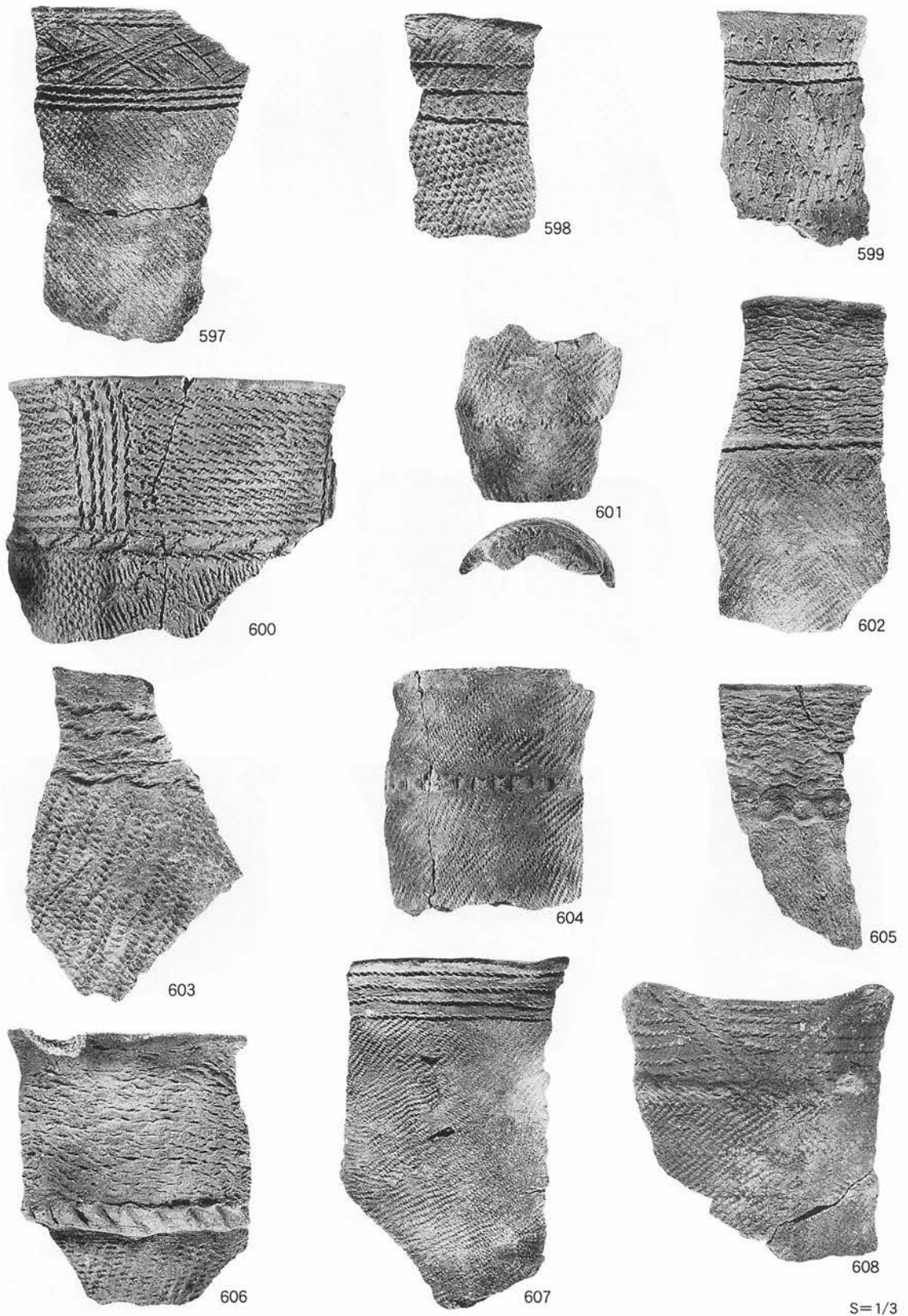
595



596

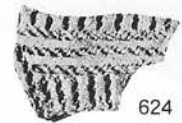
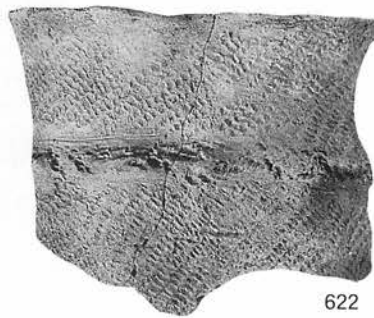
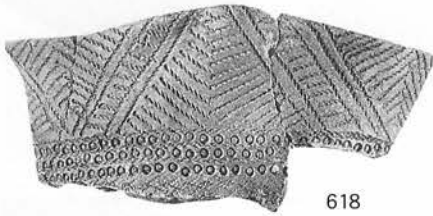
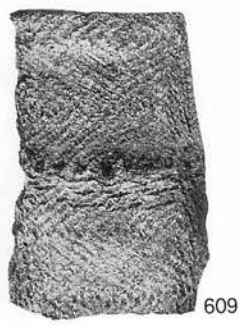
S=1/3(587~592·594~596)  
S=2/9(585·586·593)

写真図版99 土器(72)



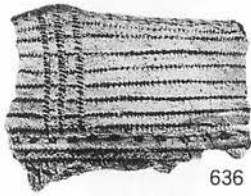
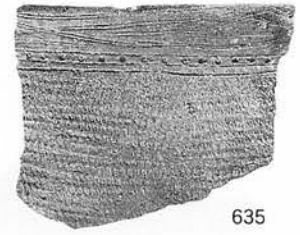
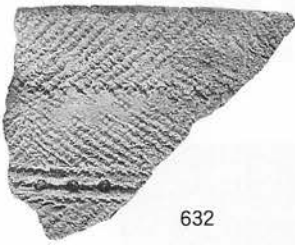
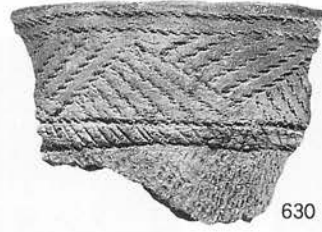
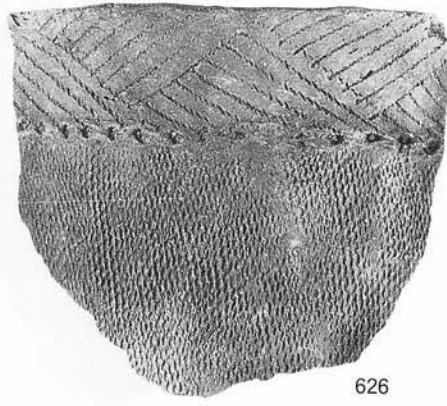
S=1/3

写真図版100 土器(73)

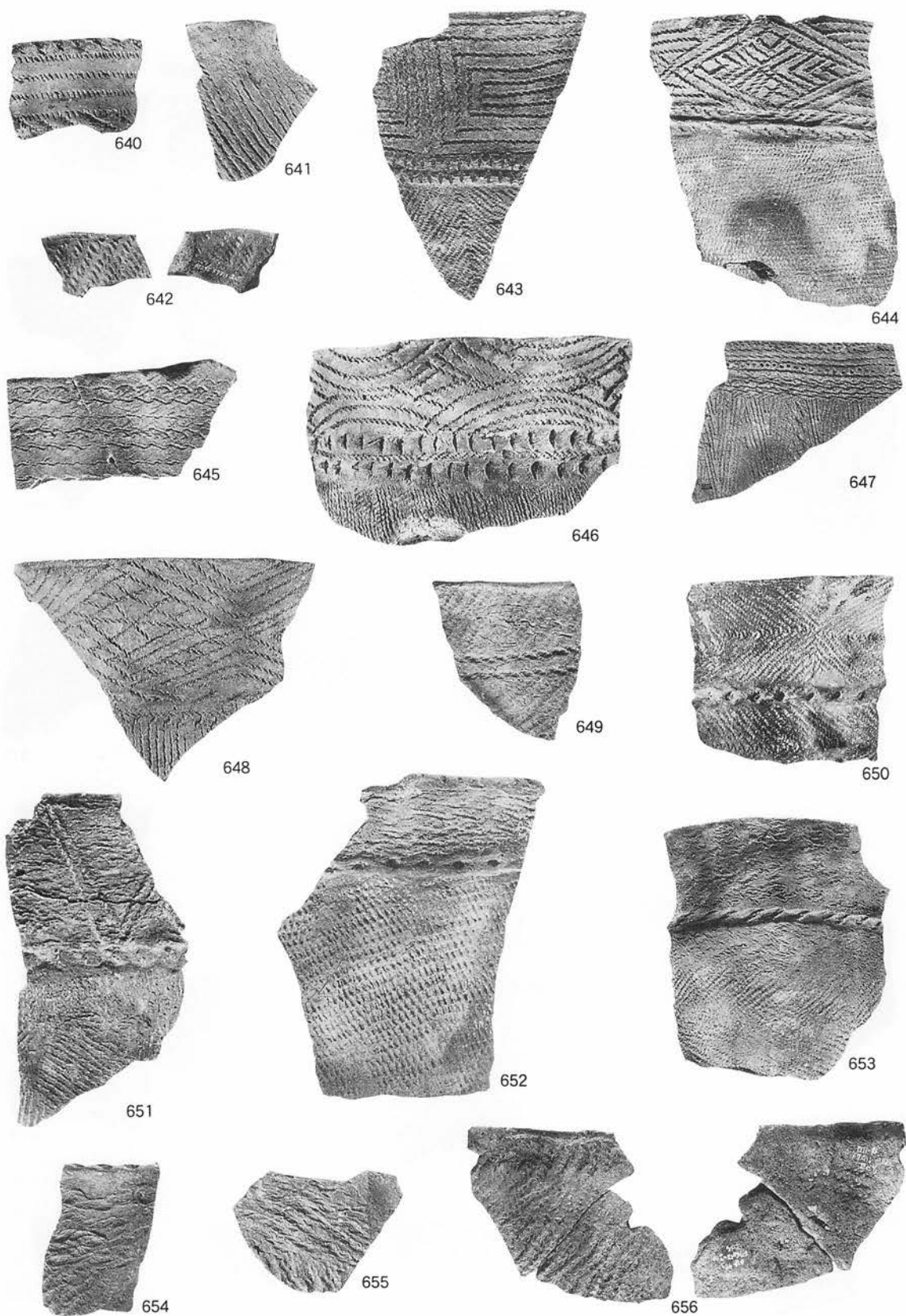


S=1/3(609·610·612~624)  
S=2/15(611)

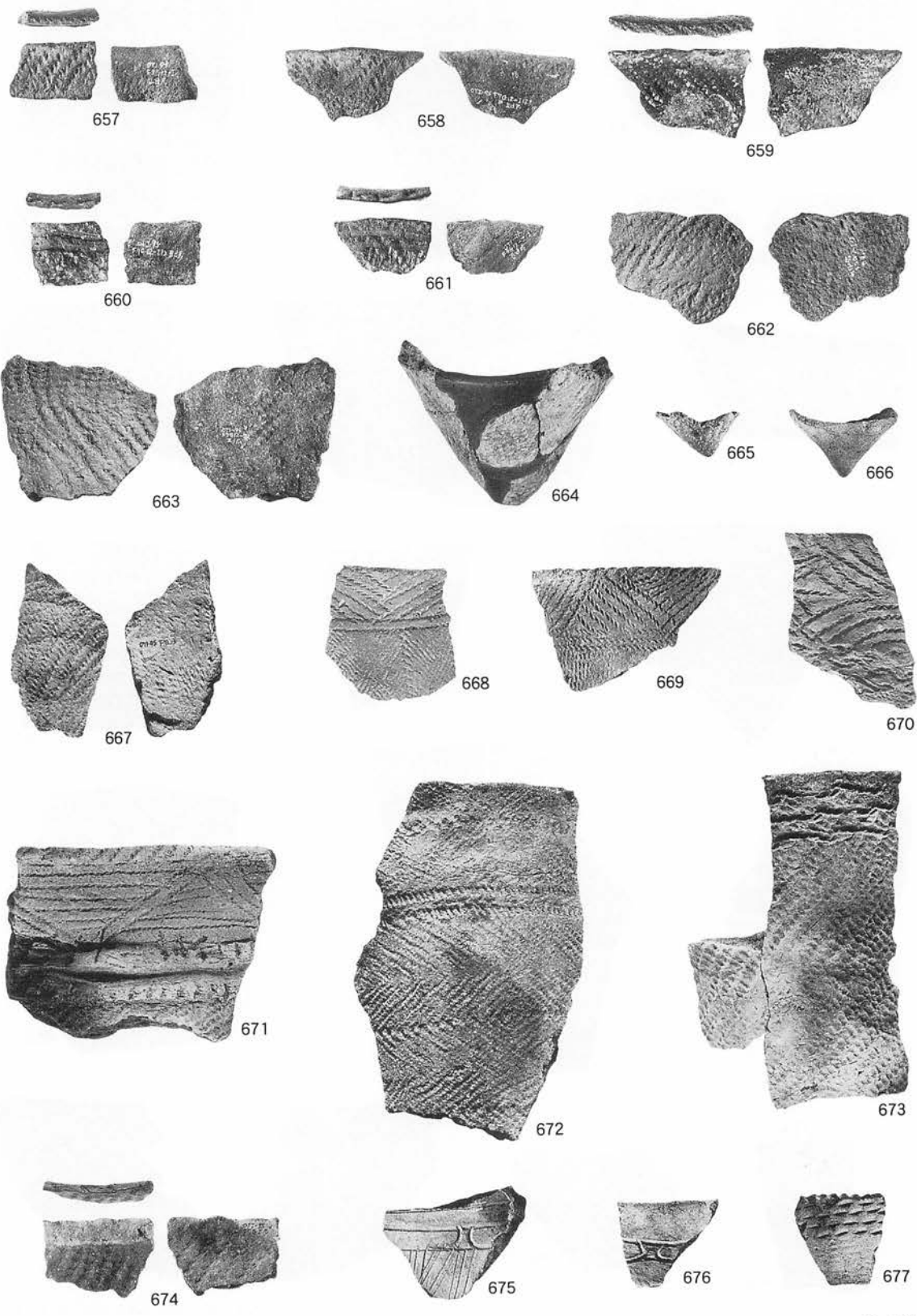




S=1/3



S=1/3(640~643·645~652·654~656)  
 S=2/9(644·653)



S=1/3

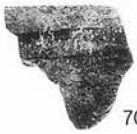
写真图版104 土器(77)



701



702



703



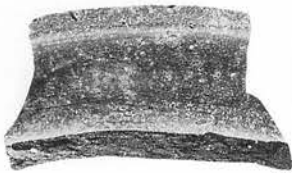
704



705



706



707



708



801



802



803



804



805



806



807



808



809



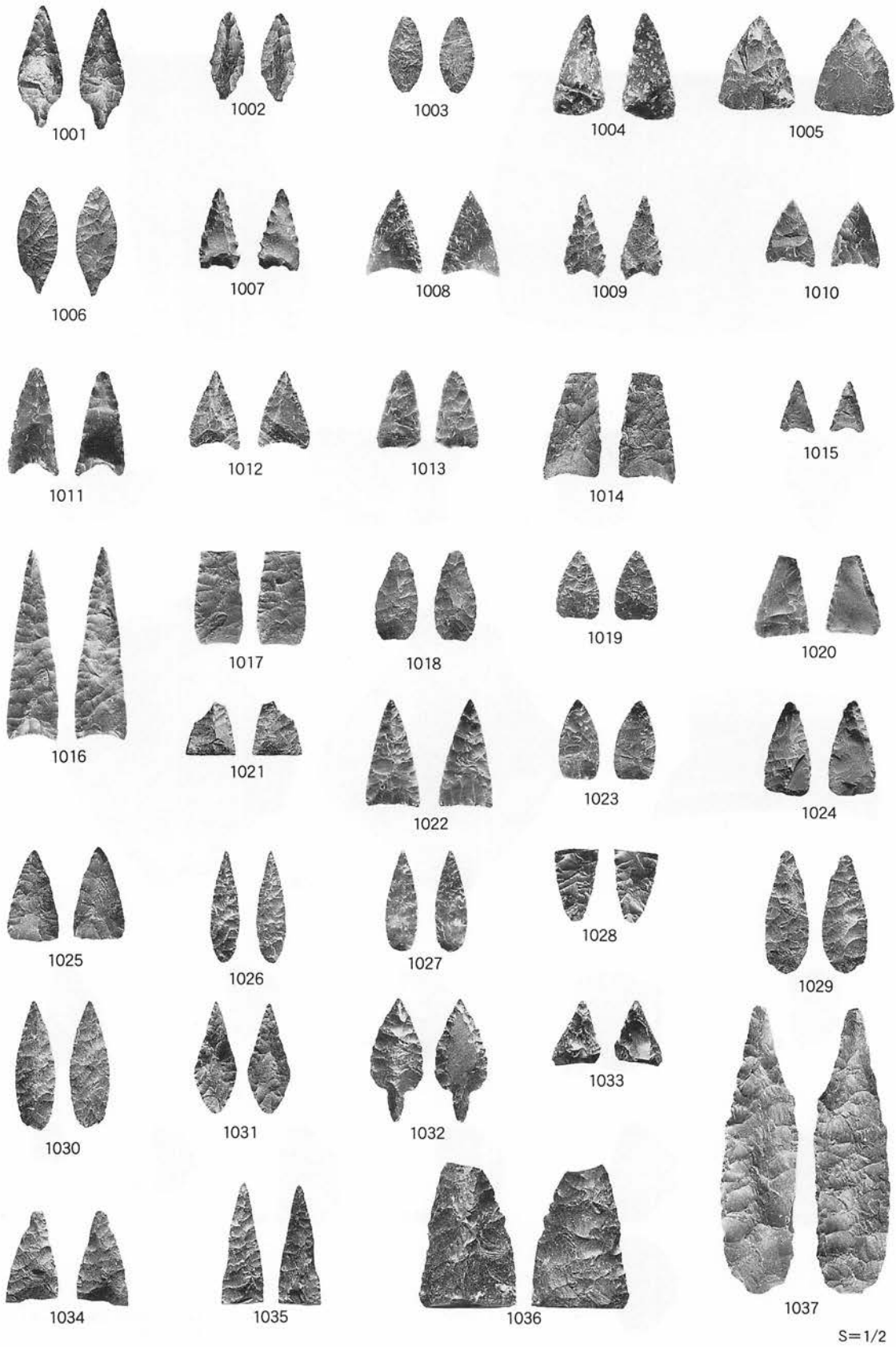
810



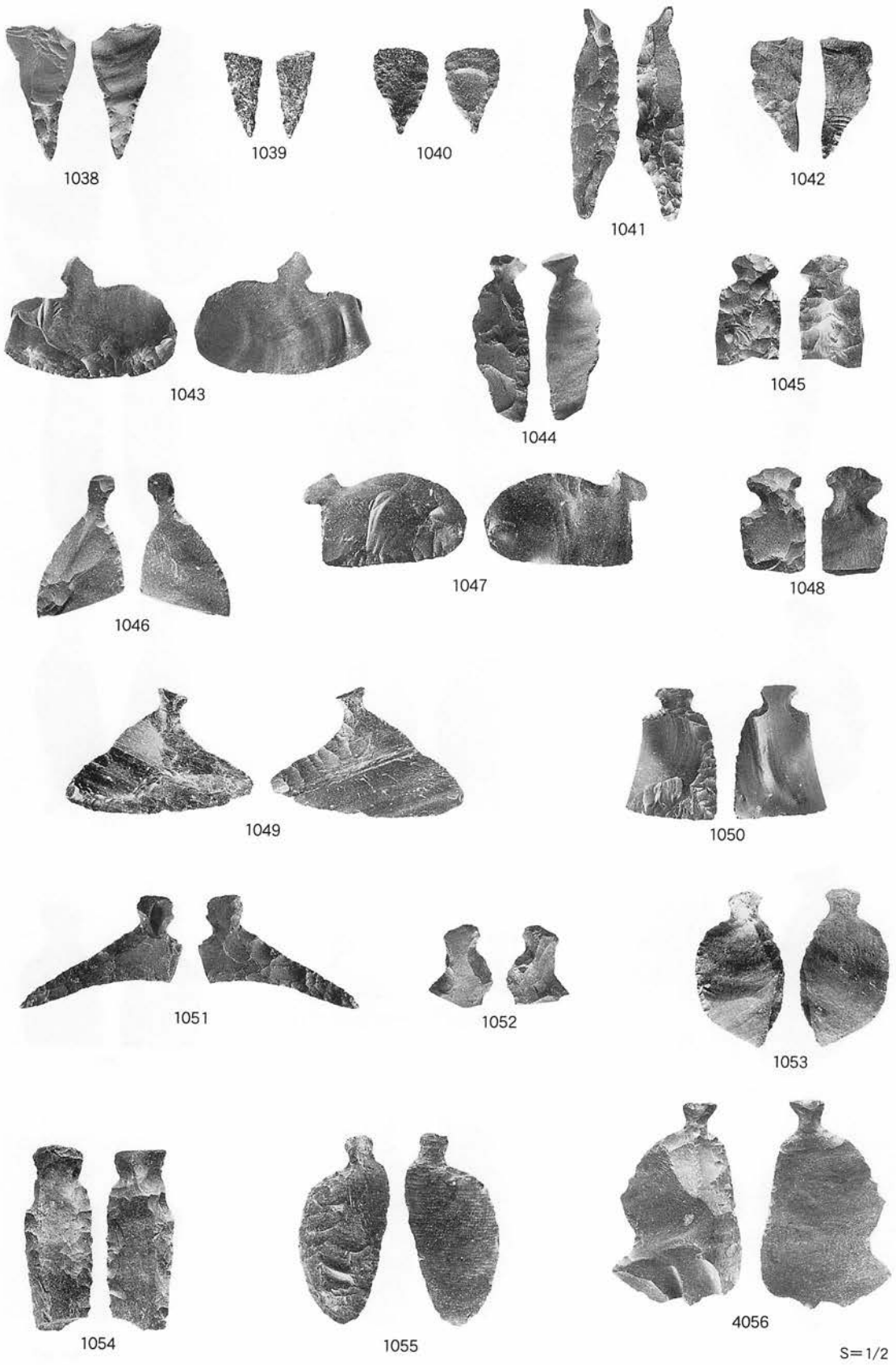
811

S=1/3(702~708・801~811)  
S=2/9(701)





写真图版106 石器(1)



写真图版107 石器(2)



1057



1058



1059



1060



1061



1062



1063



1064



1065



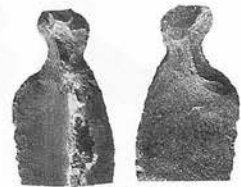
1066



1067



1068



1069



1070



1071



1072

S=1/2



1073



1074



1075



1076



1077



1078



1079



1080



1081



1082



1083



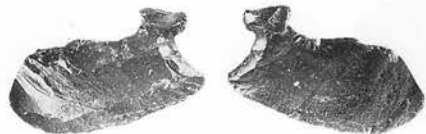
1084



1085



1086



1087

S=1/2





1088



1089



1090



1091



1092



1093



1094



1095



1096



1097



1098



1099



1100



1101



1102



1103



1104



1105



1106



1107



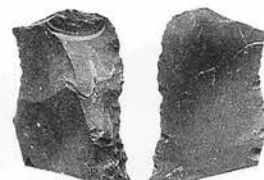
1108



1109



1110



1111

S=1/2

写真图版110 石器(5)



1112



1113



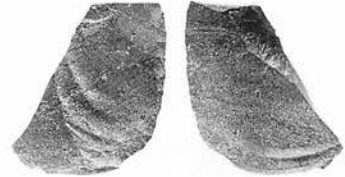
1114



1115



1116



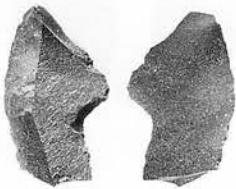
1117



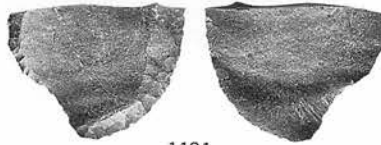
1118



1119



1120



1121



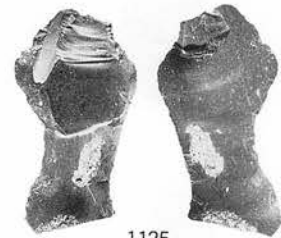
1122



1123



1124



1125



1126

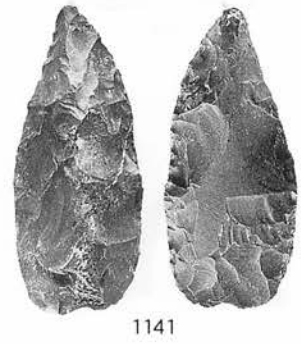
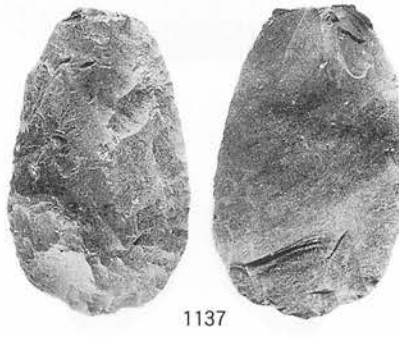
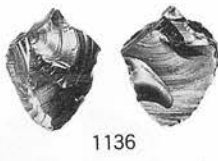
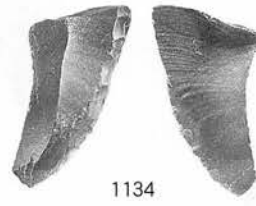
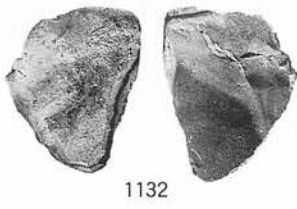
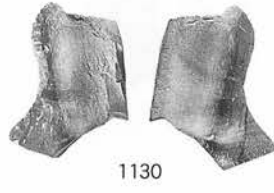
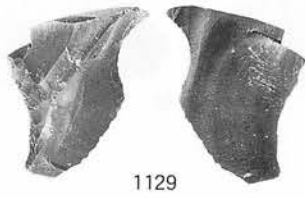


1127

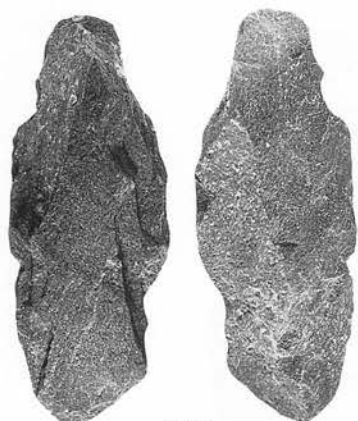


1128

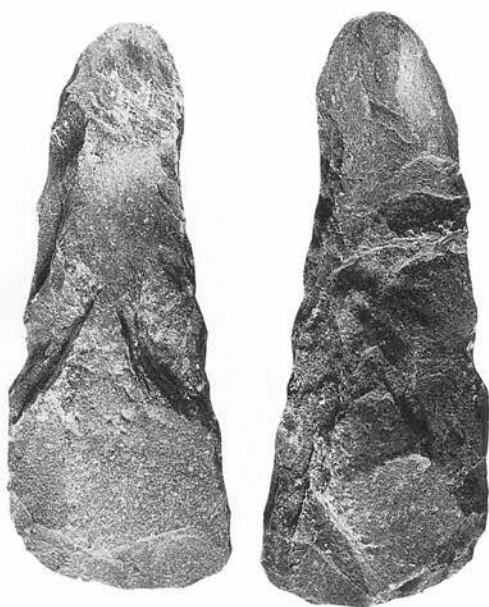
S=1/2



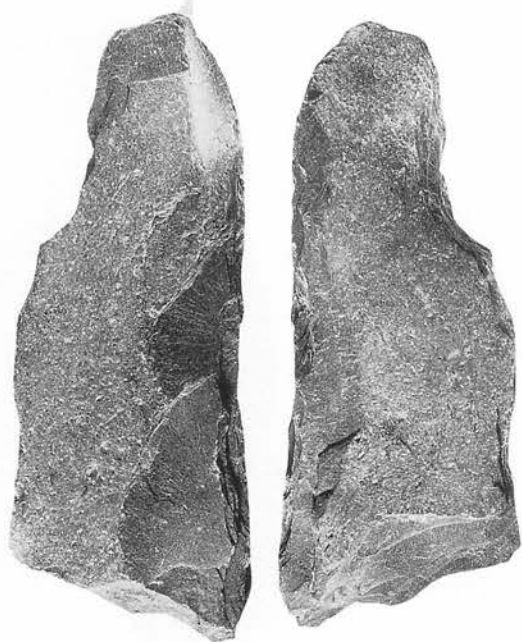
S=1/2



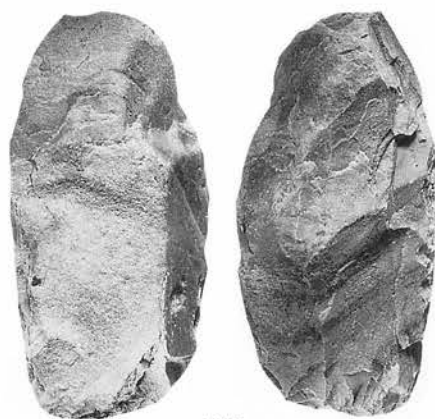
1145



1146



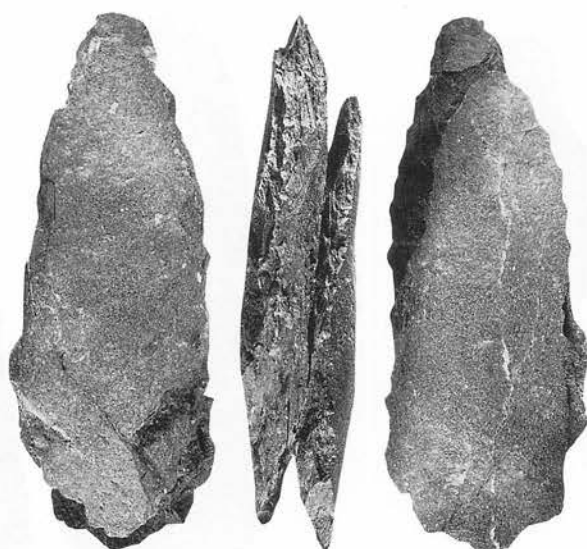
1147



1148

S=1/3





1149

1150



1149



1150



S=1/3



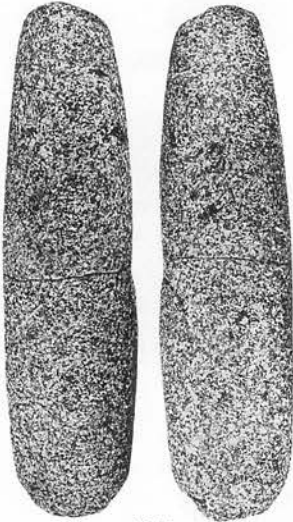
1151



1152



1153



1154



1155



1156



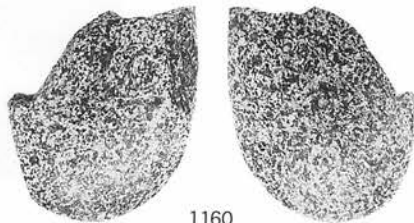
1157



1158



1159



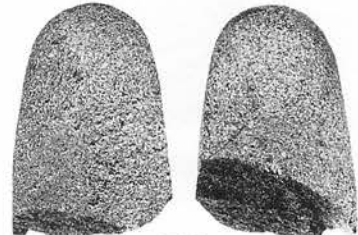
1160



1161



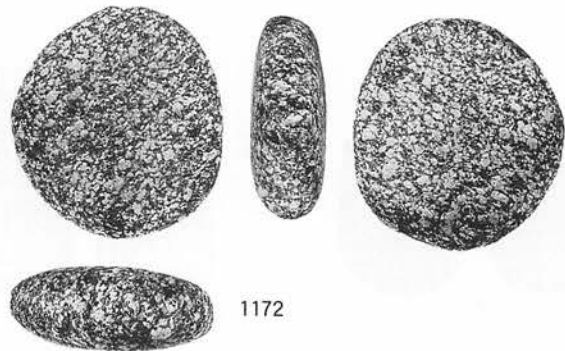
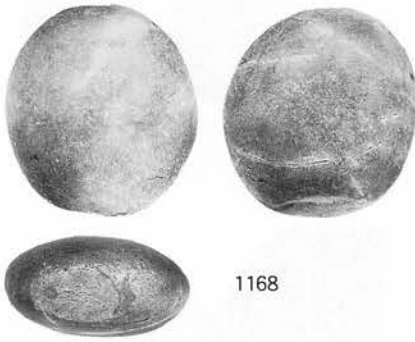
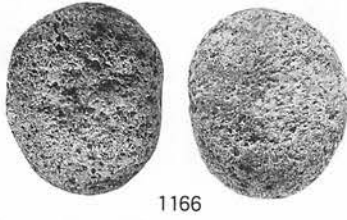
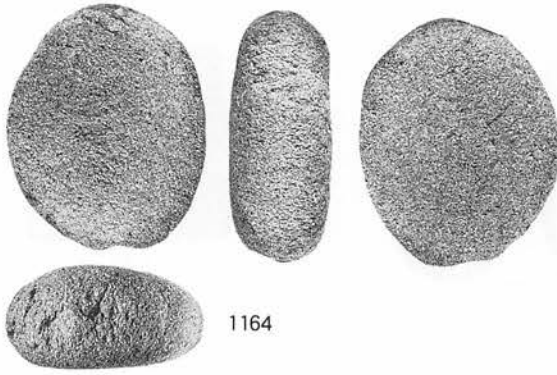
1162



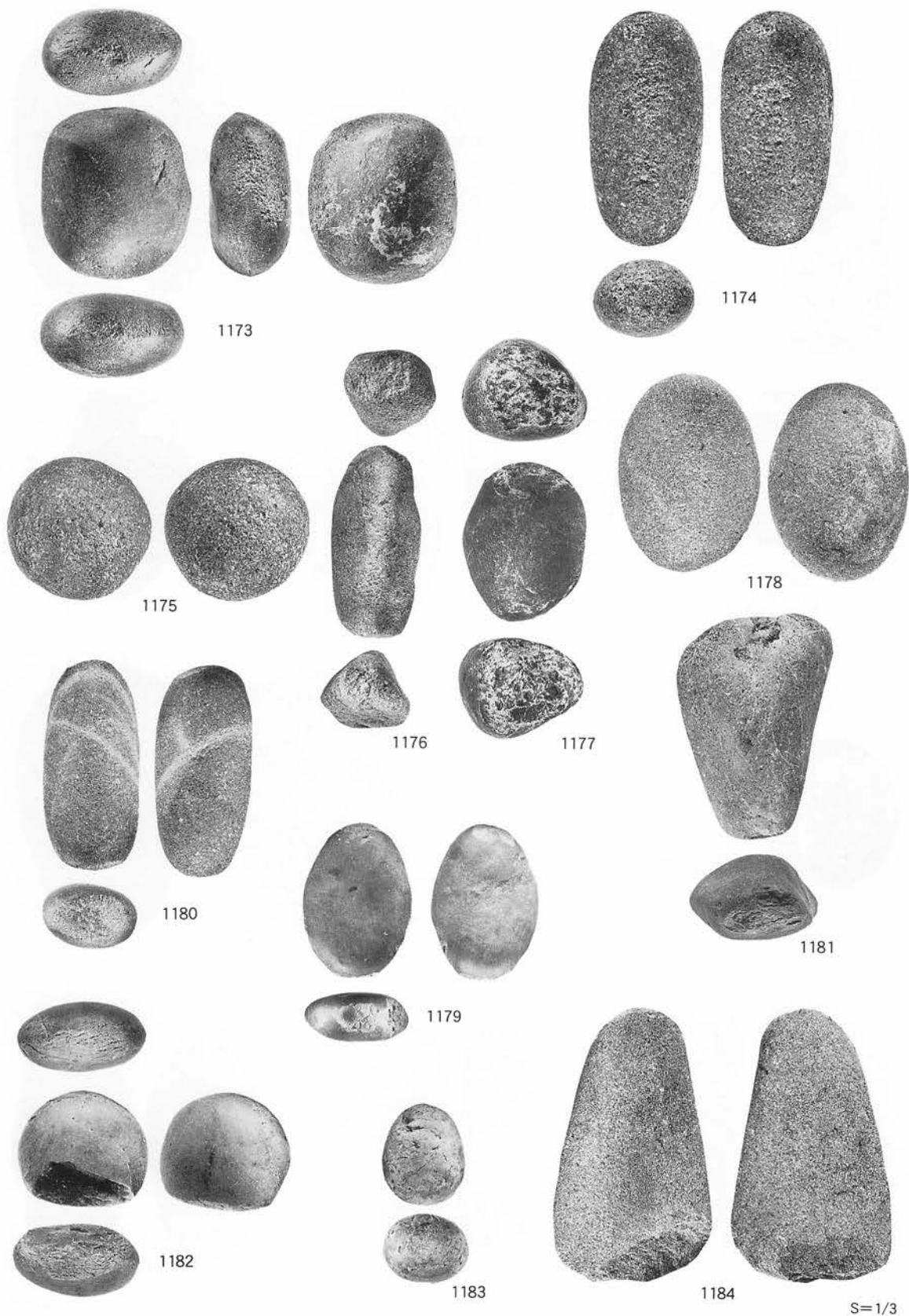
1163

S=1/3

写真図版115 石器(10)

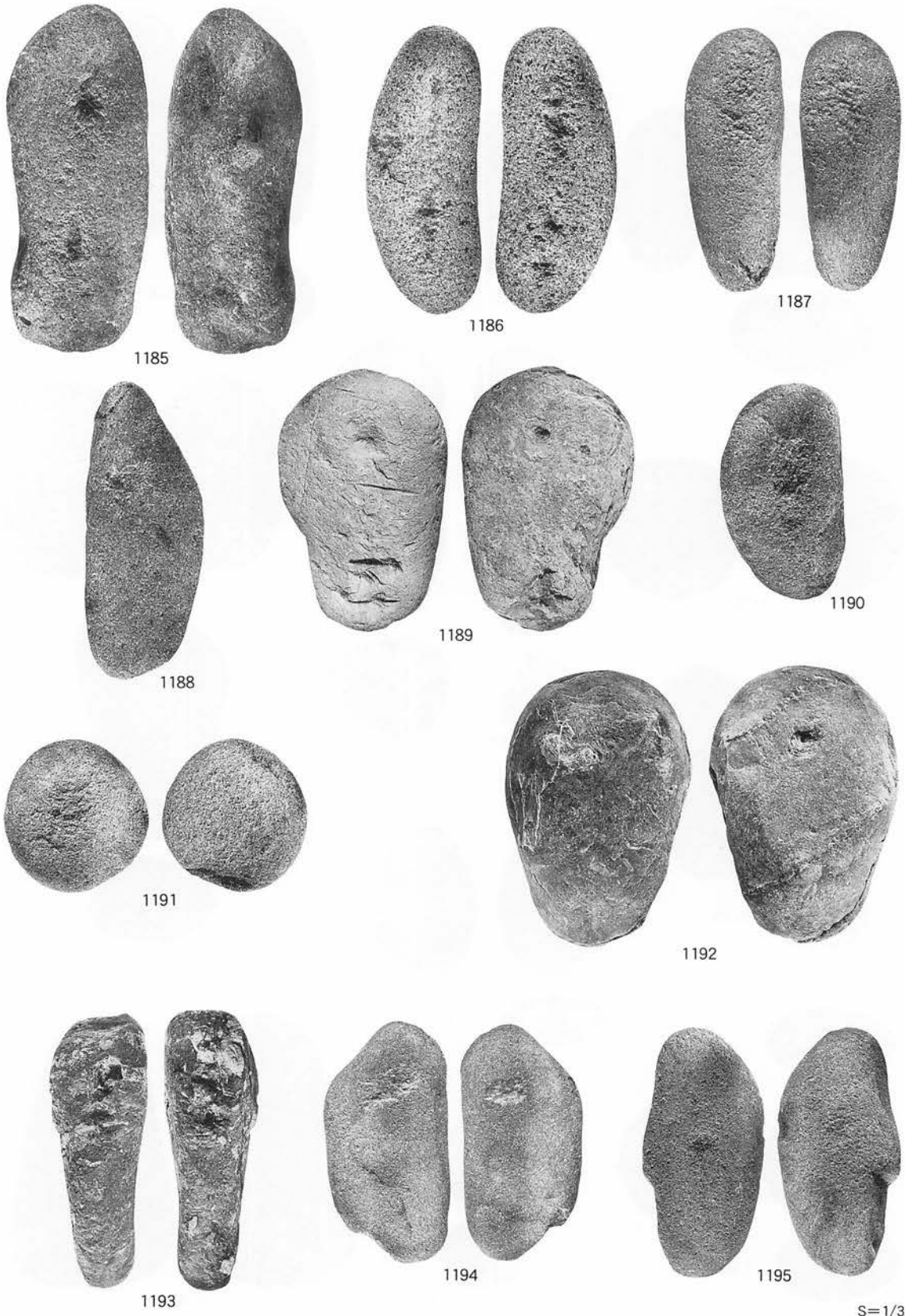


S=1/3



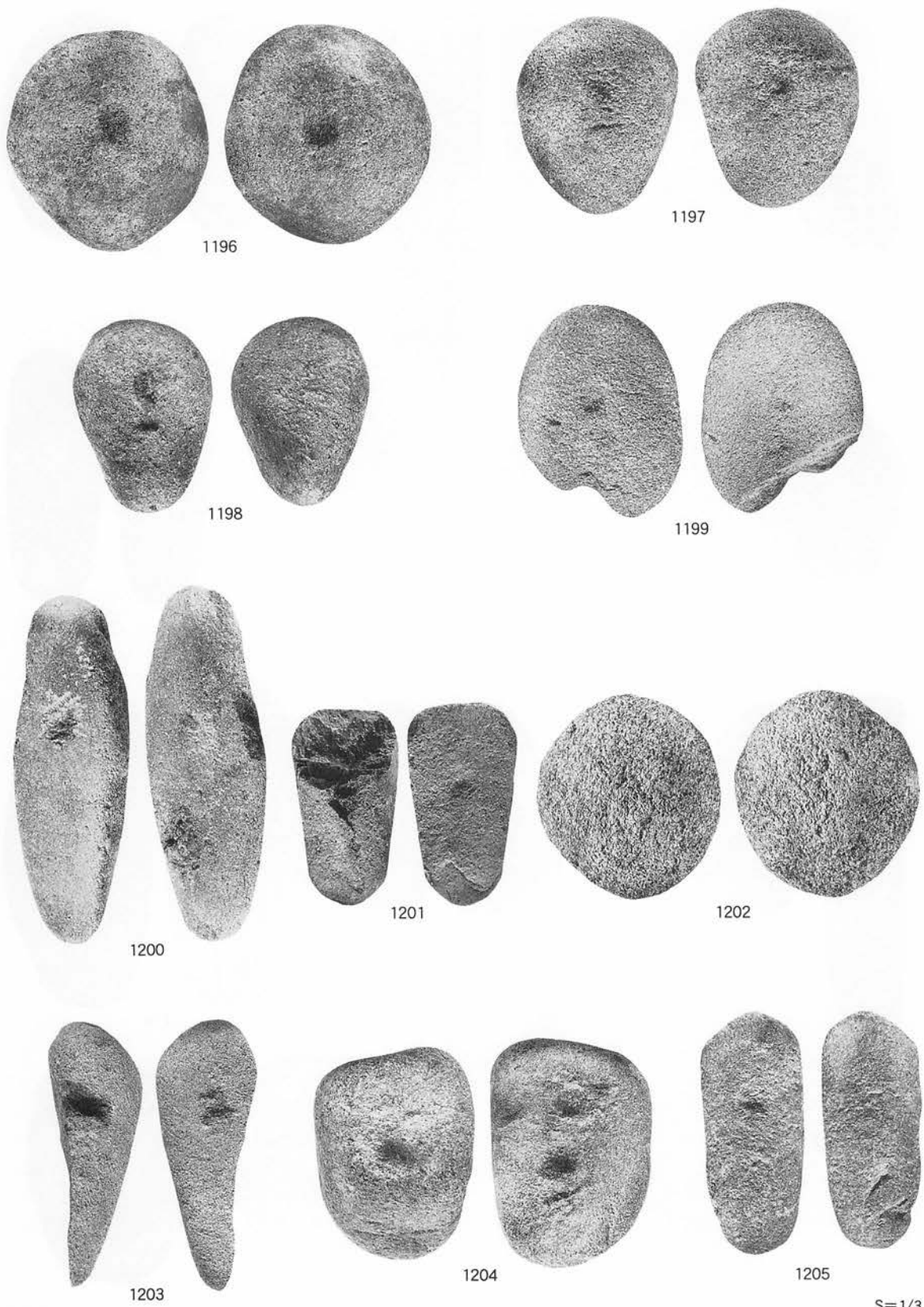
写真図版117 石器(12)





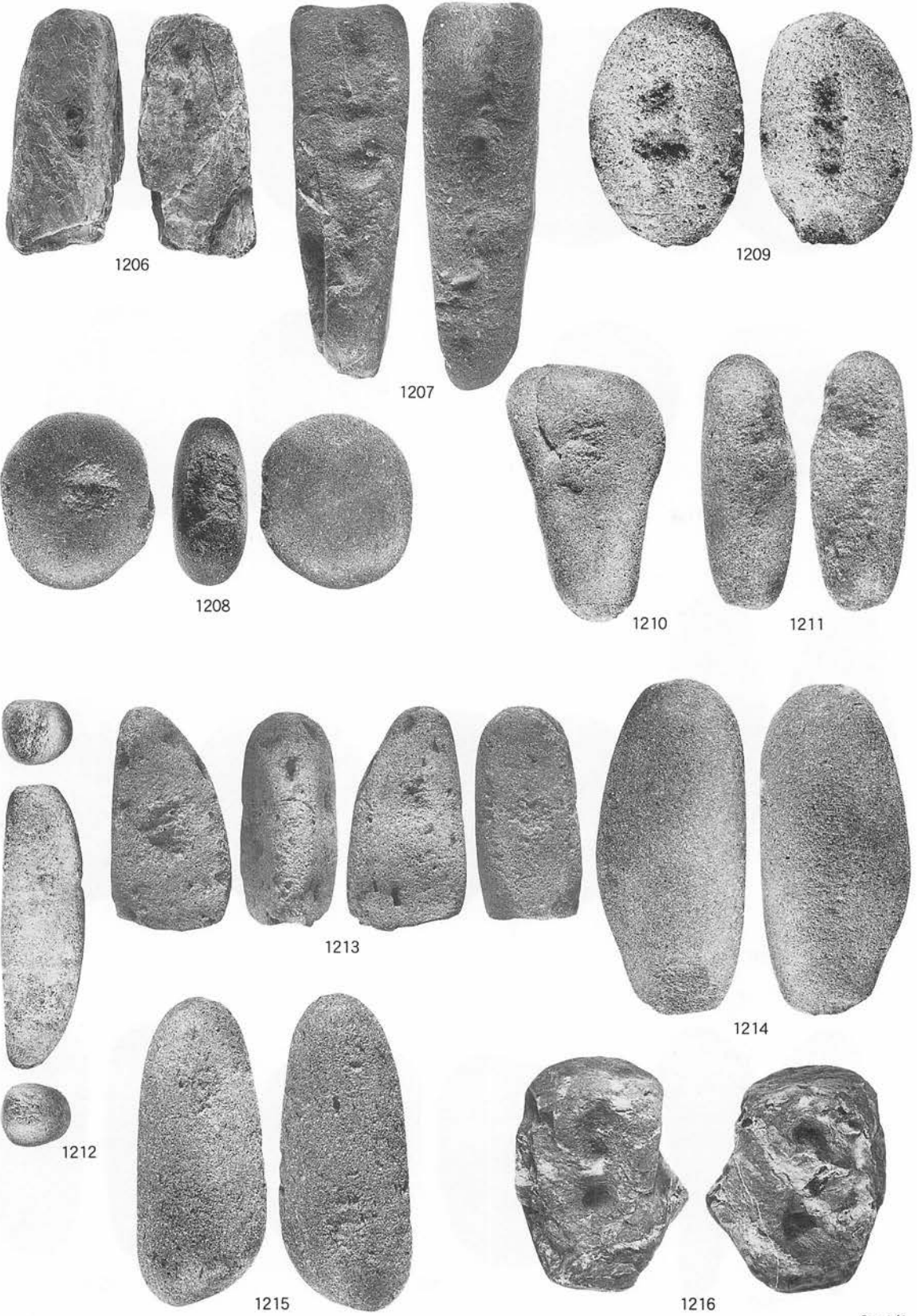
S=1/3

写真図版118 石器(13)



S=1/3

写真図版119 石器(14)



S=1/3

写真図版120 石器(15)



1217



1218



1219



1220



1221



1222



1223



1224

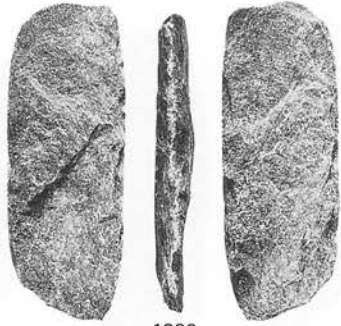


1225

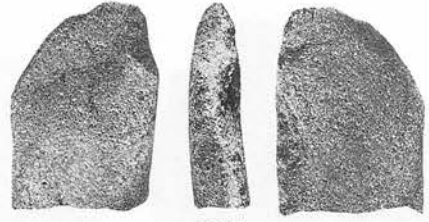


S=1/3

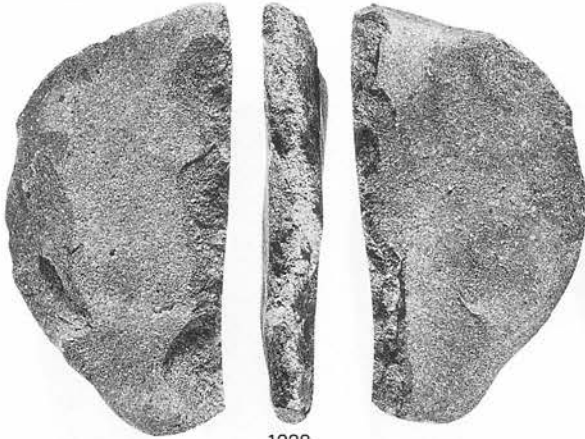




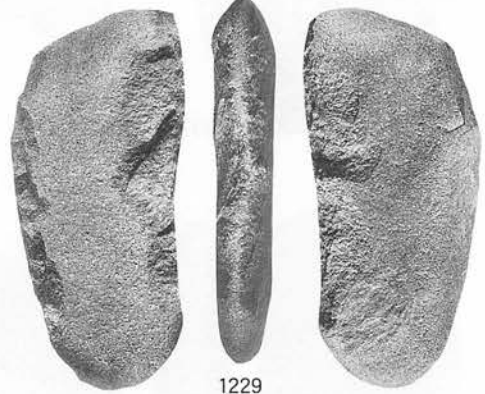
1226



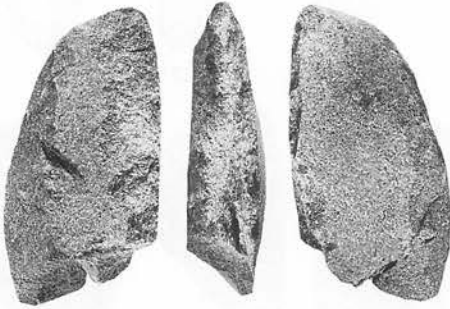
1227



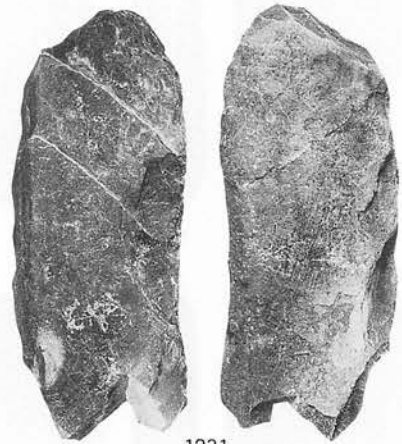
1228



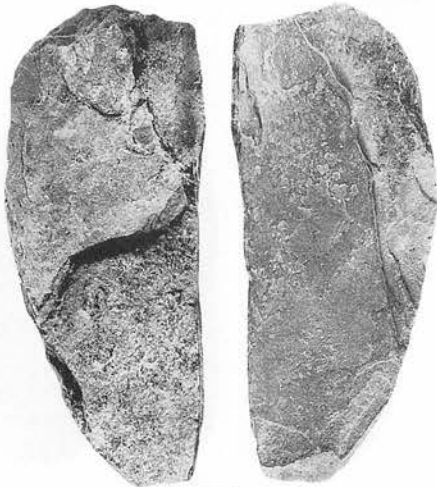
1229



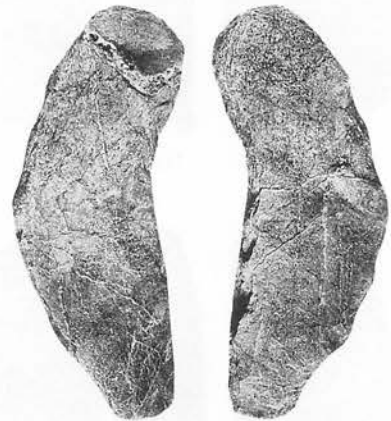
1230



1231



1232



1233

S=1/3



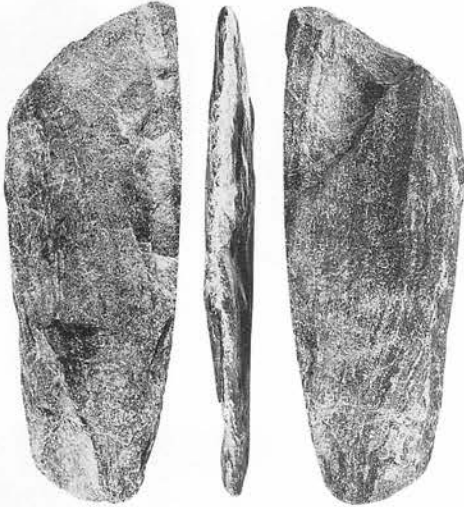
1234



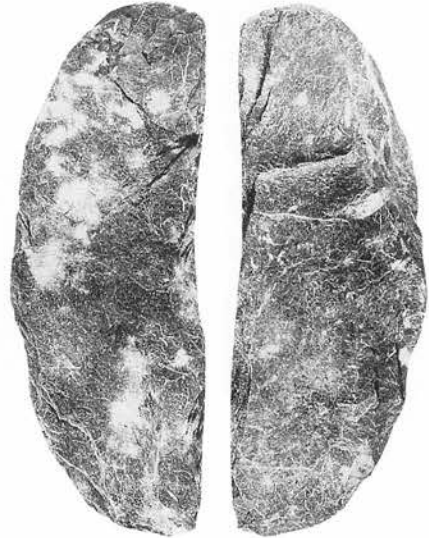
1235



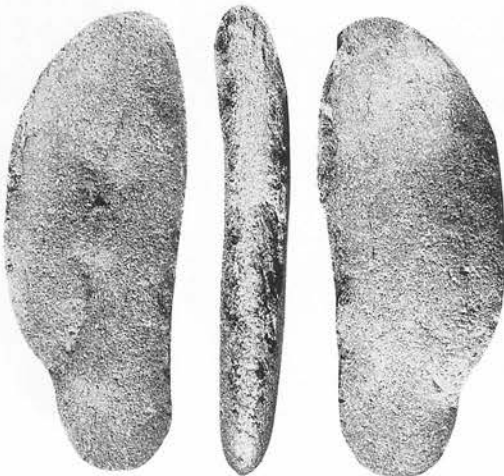
1236



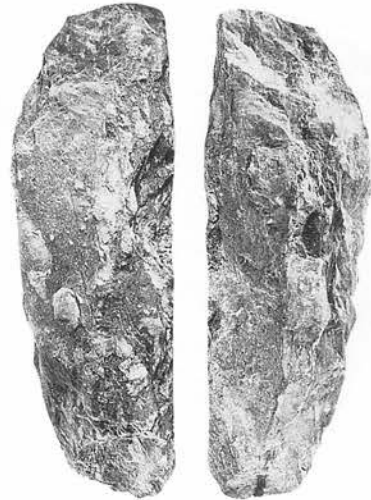
1237



1238



1239

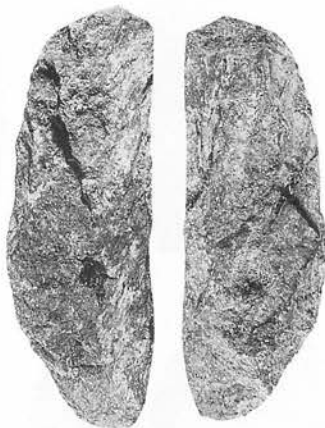


1240

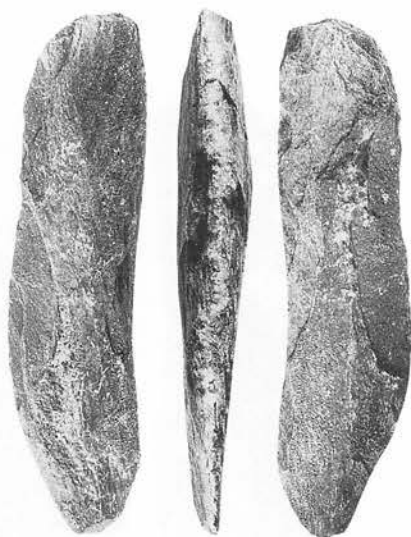
S=1/3



1241



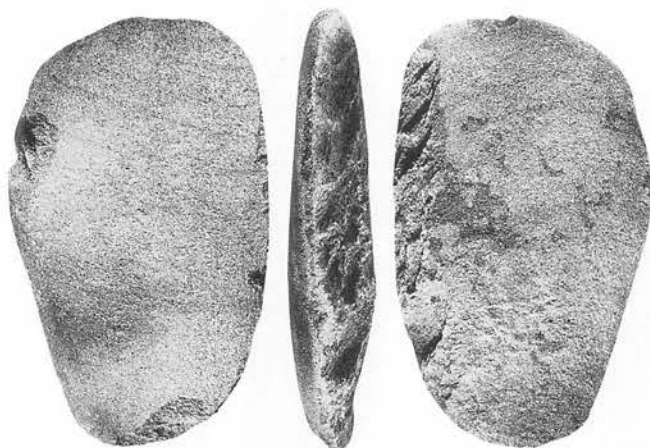
1242



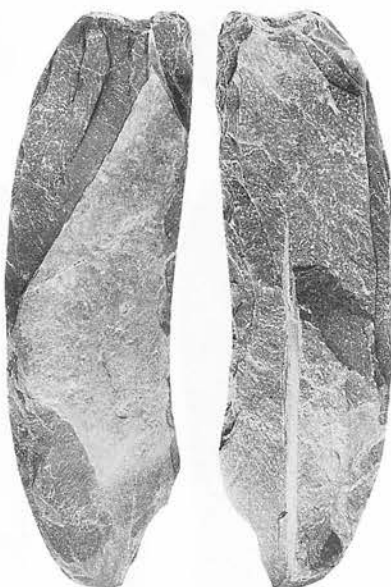
1243



1244

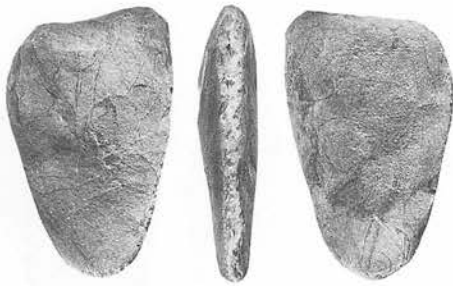


1245

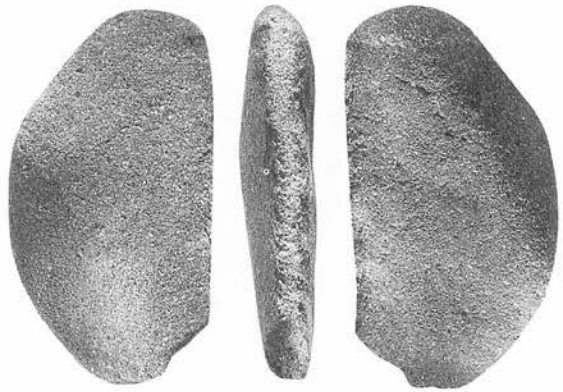


1246

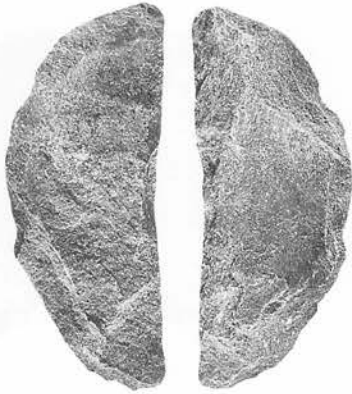
S=1/3



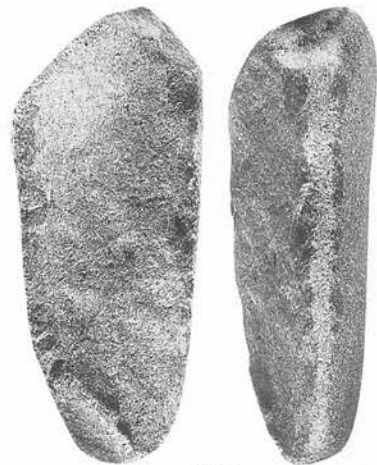
1247



1248



1249



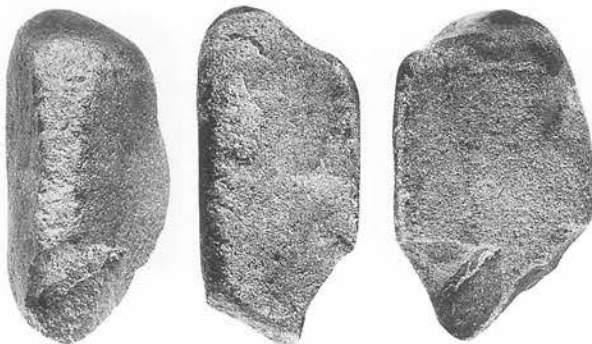
1250



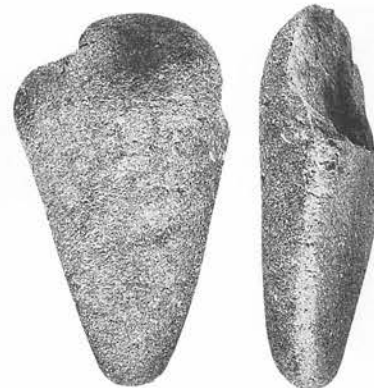
1251



1252



1253



1254

S=1/3

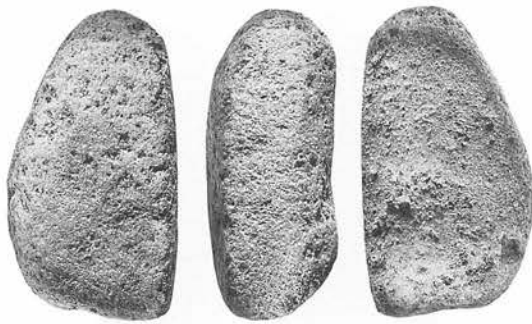




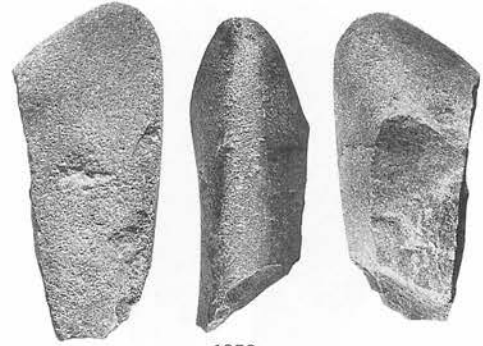
1255



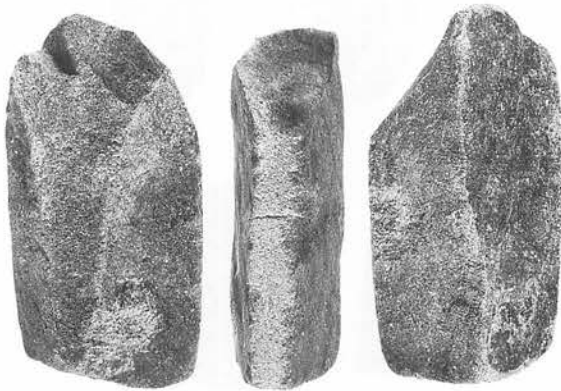
1256



1257



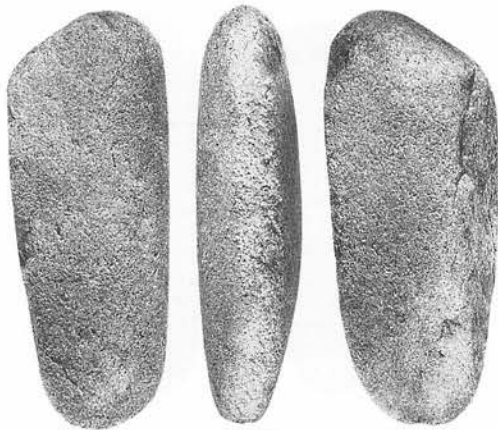
1258



1259



1260



1261



1262

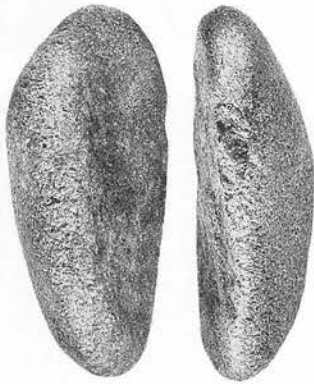
S=1/3



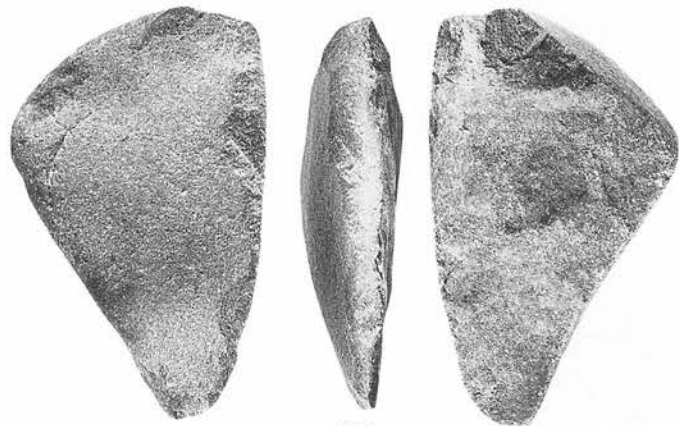
1263



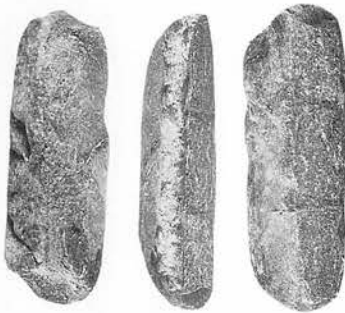
1264



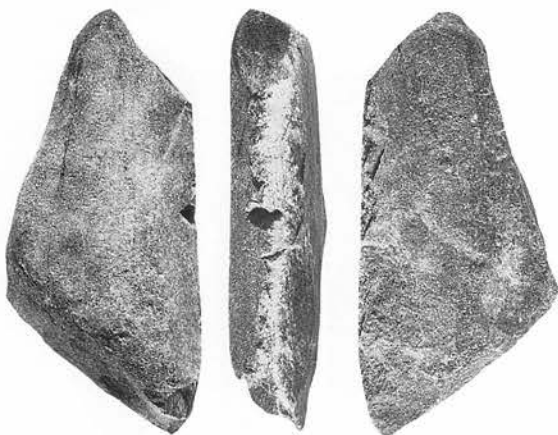
1265



1266



1267

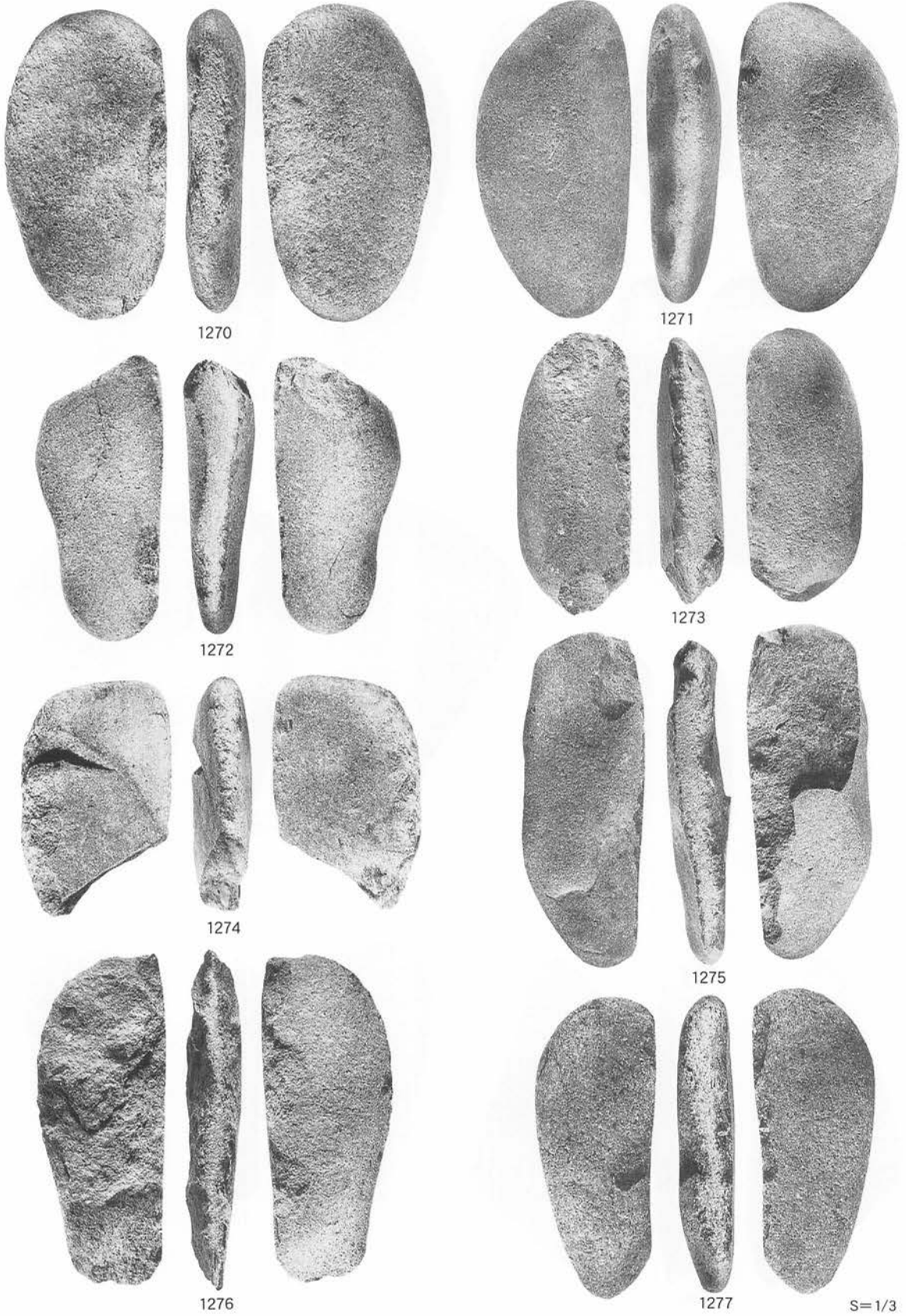


1268

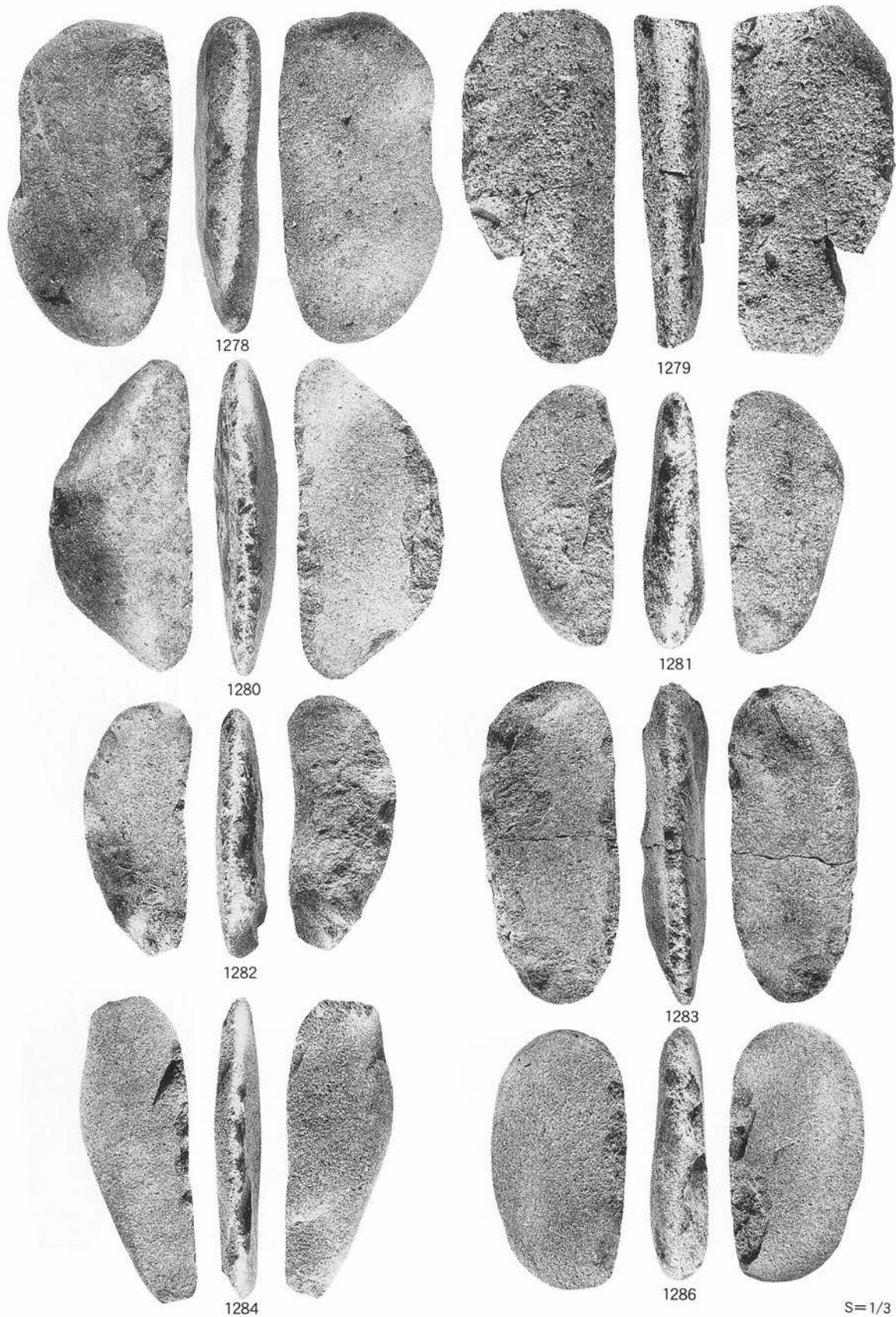


1269

S=1/3



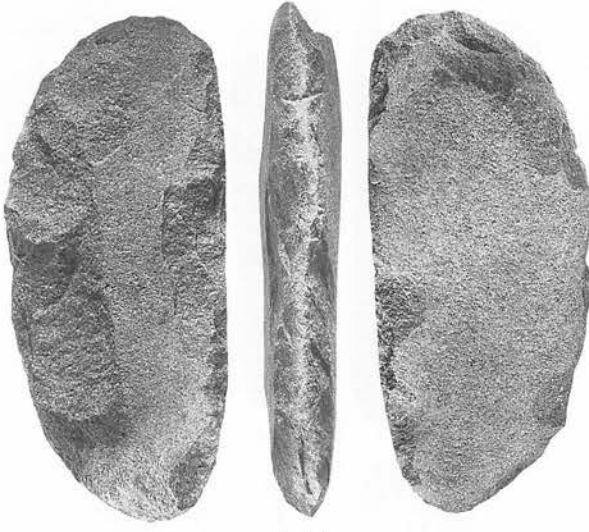
写真図版128 石器(23)



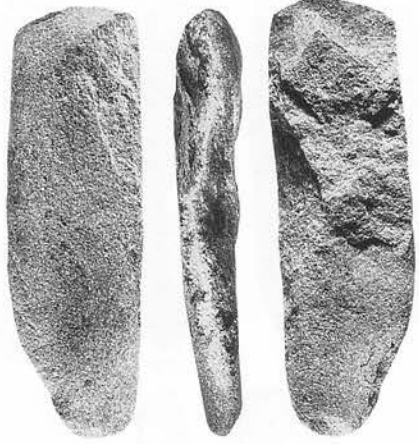
S=1/3

写真図版129 石器(24)

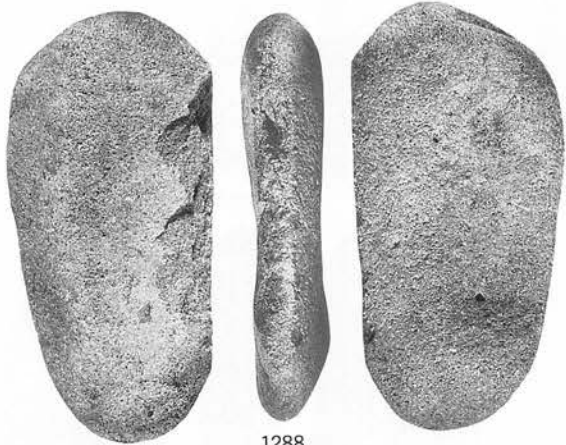




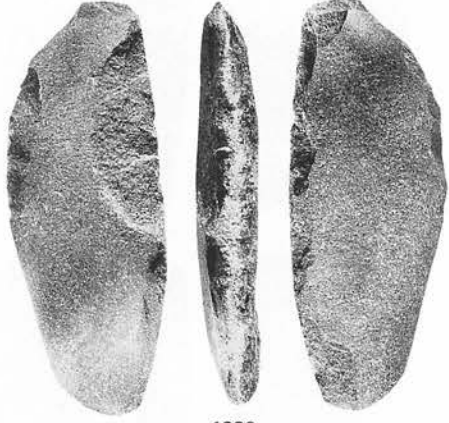
1285



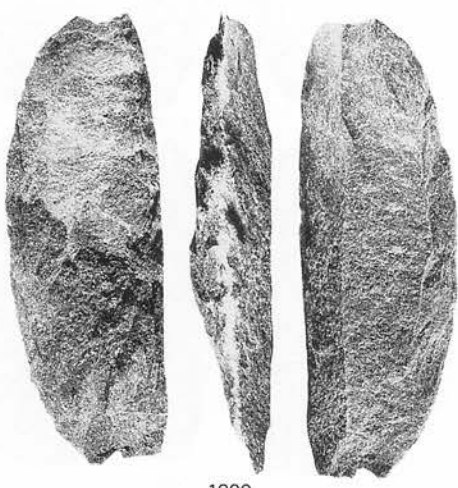
1287



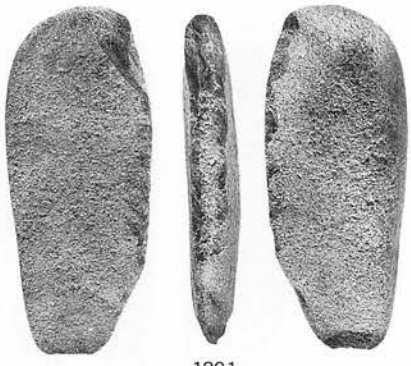
1288



1289

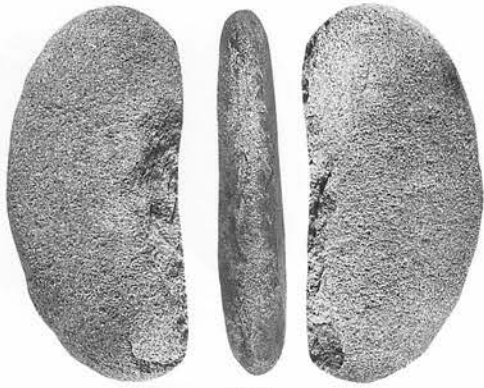


1290

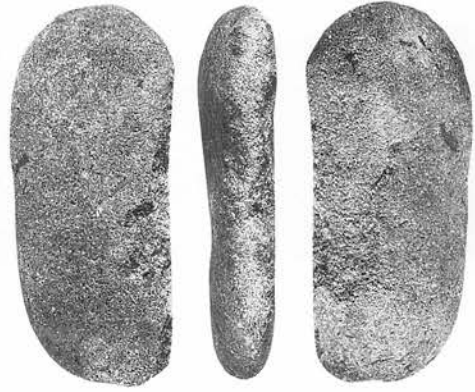


1291

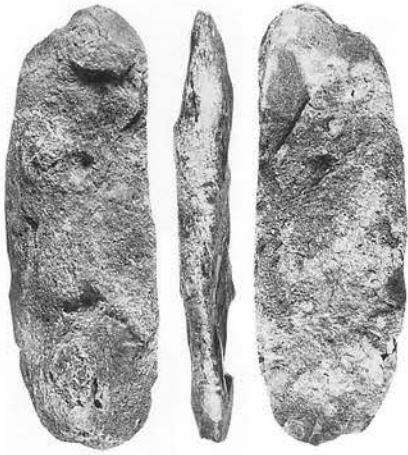
S=1/3



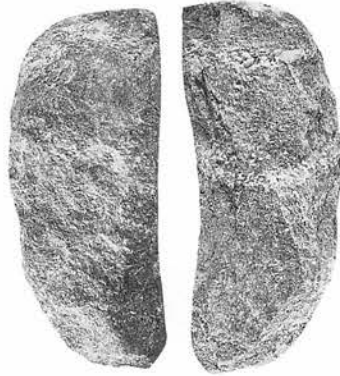
1292



1293



1294



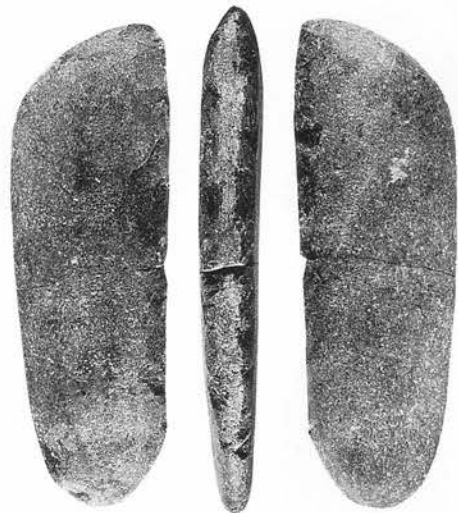
1295



1296



1297

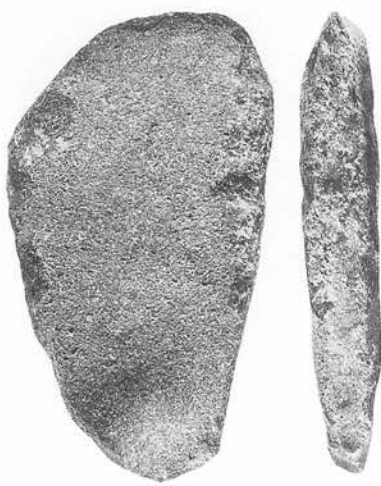


1298

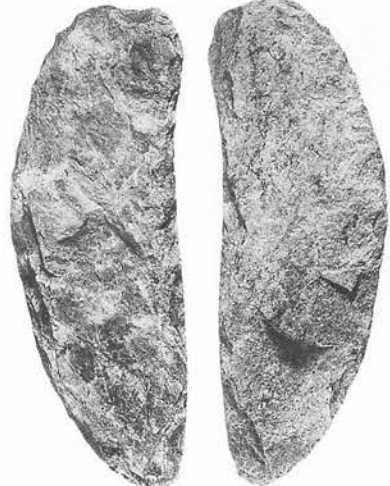
S=1/3



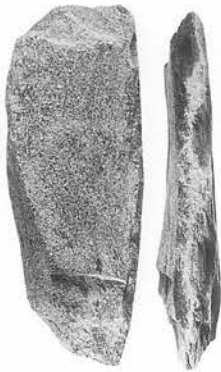
写真図版132 石器(27)



1308



1309



1310



1311



1313



1312



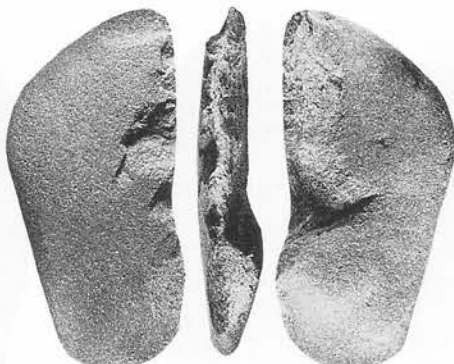
1314

S=1/3

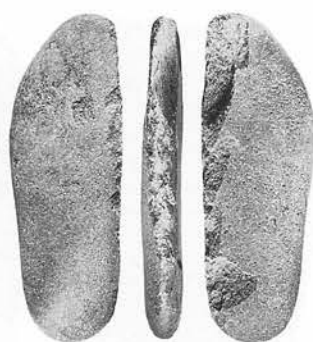




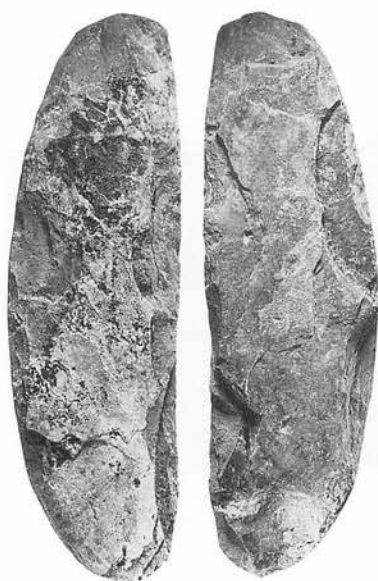
1315



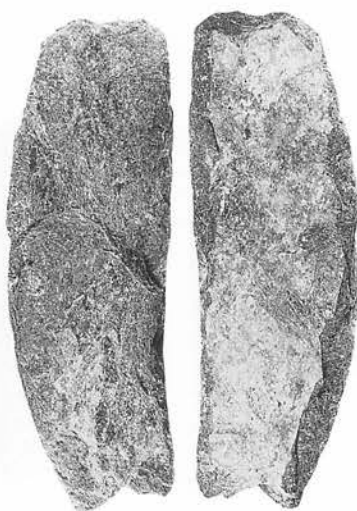
1316



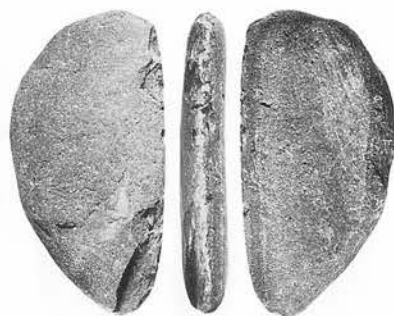
1317



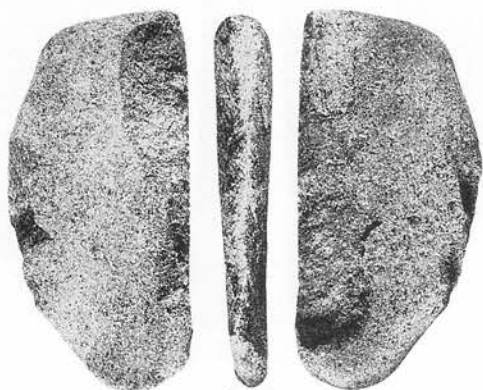
1318



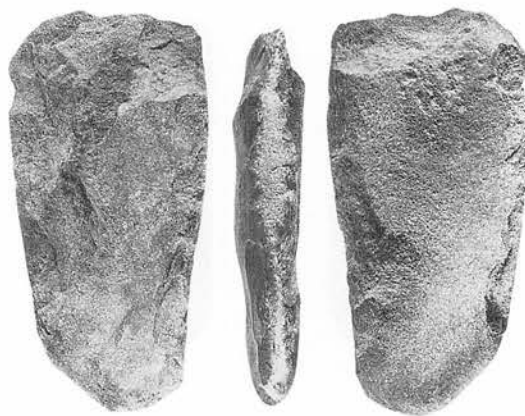
1319



1321



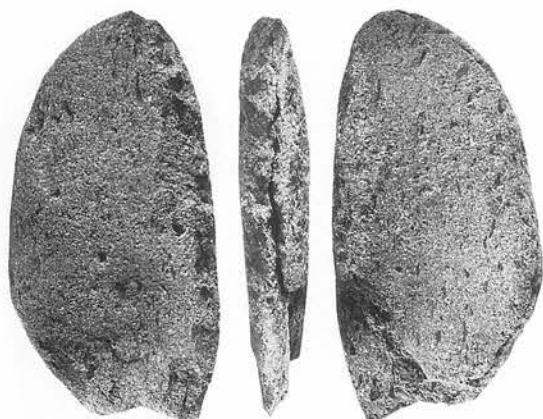
1320



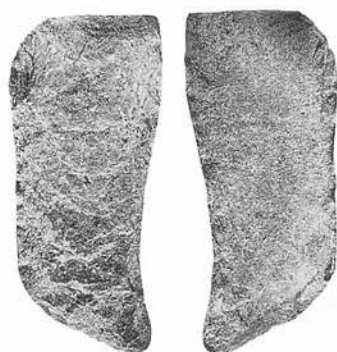
1322

S=1/3

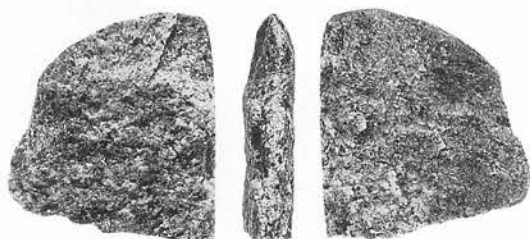
写真図版134 石器(29)



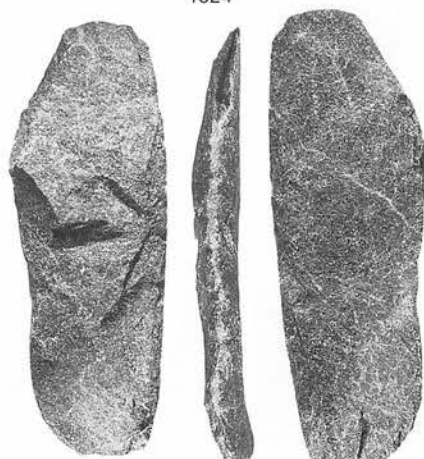
1323



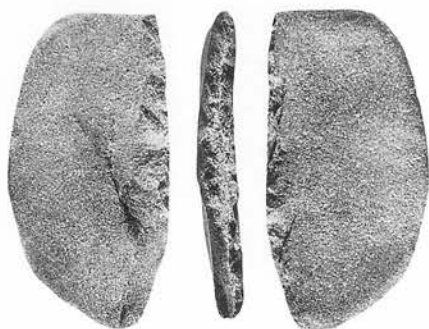
1324



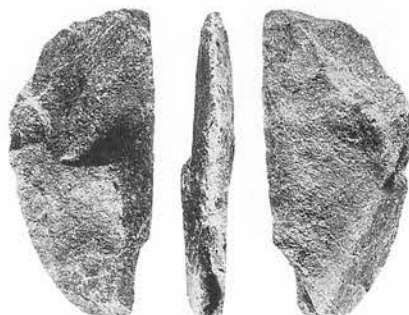
1325



1326



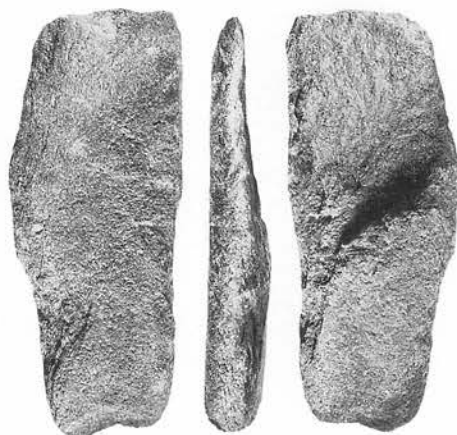
1327



1328

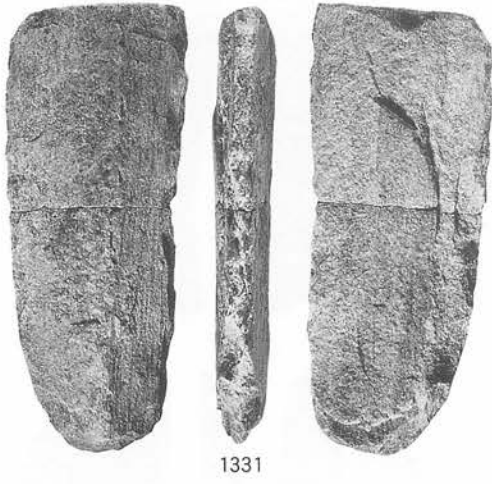


1329



1330

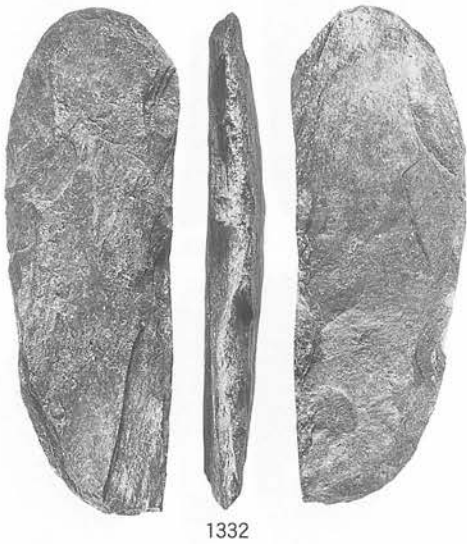
S=1/3



1331



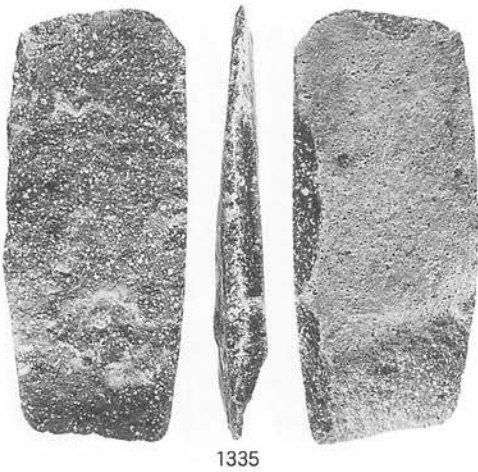
1333



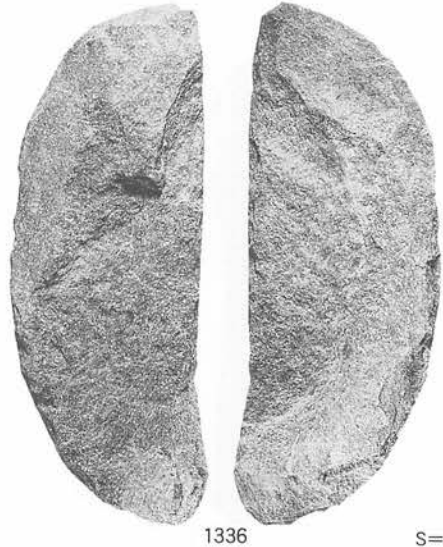
1332



1334

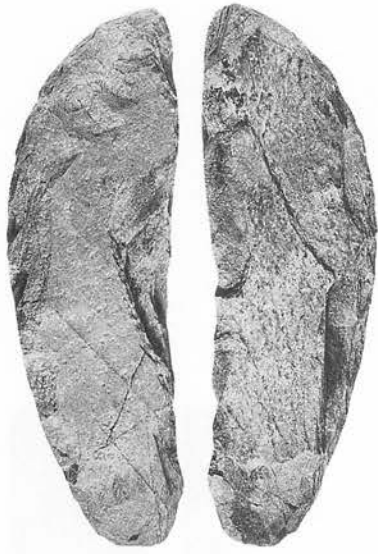


1335

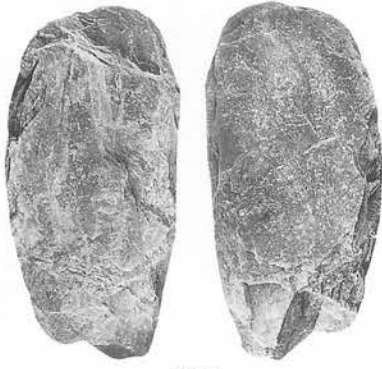


1336

S=1/3



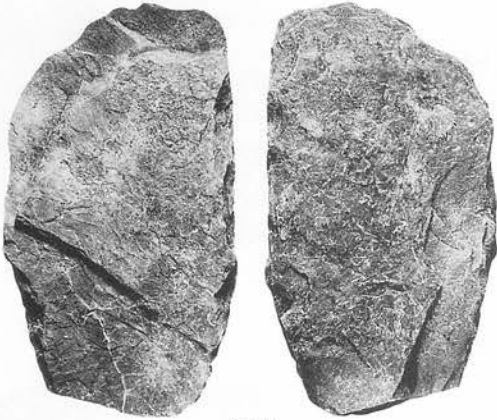
1337



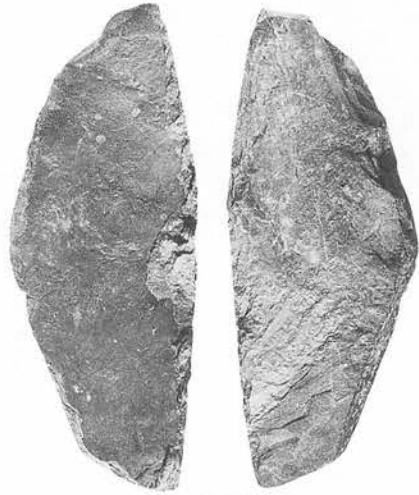
1338



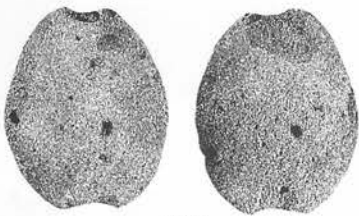
1339



1340



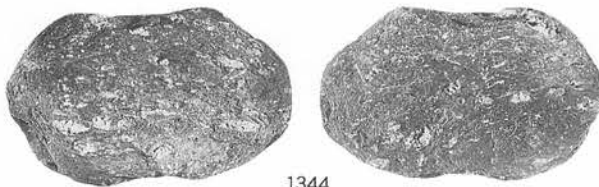
1341



1342



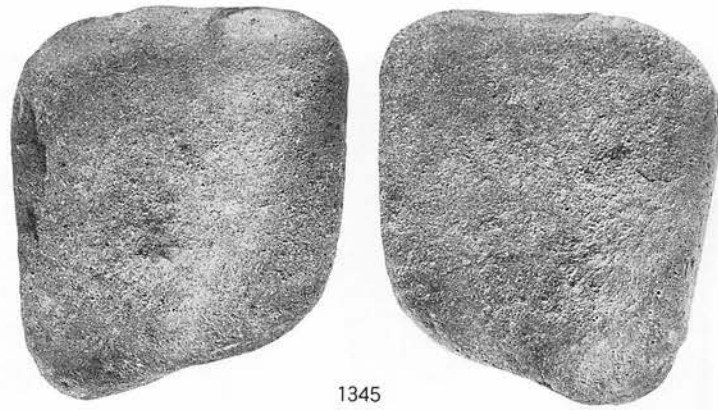
1343



1344

S=1/3

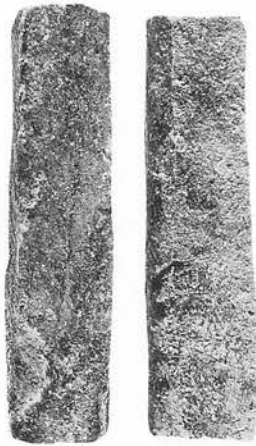




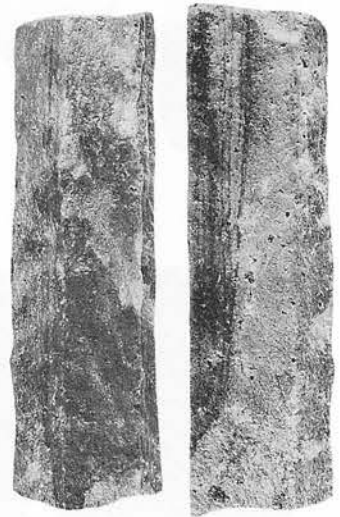
1345



1346



1347



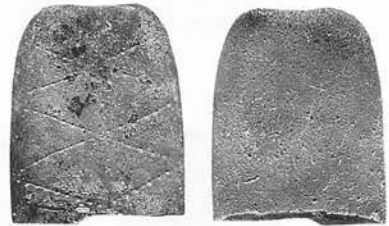
1348



1349



1350



1351



1352

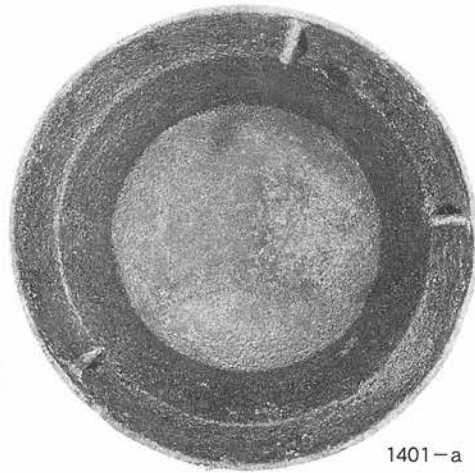


1353



1354

S=1/3(1345~1350)  
S=1/2(1351~1354)



1401-a



1401-b



1401-c



1402

S=2/9



1403



1404



1405



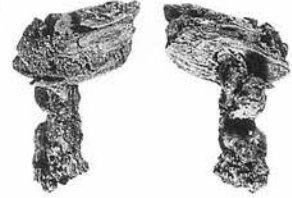
1406



1407



1408



1409



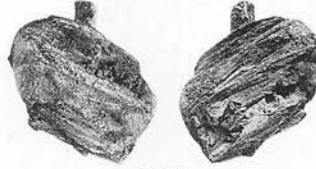
1410



1411



1412



1413



1414



1415



1416



1417

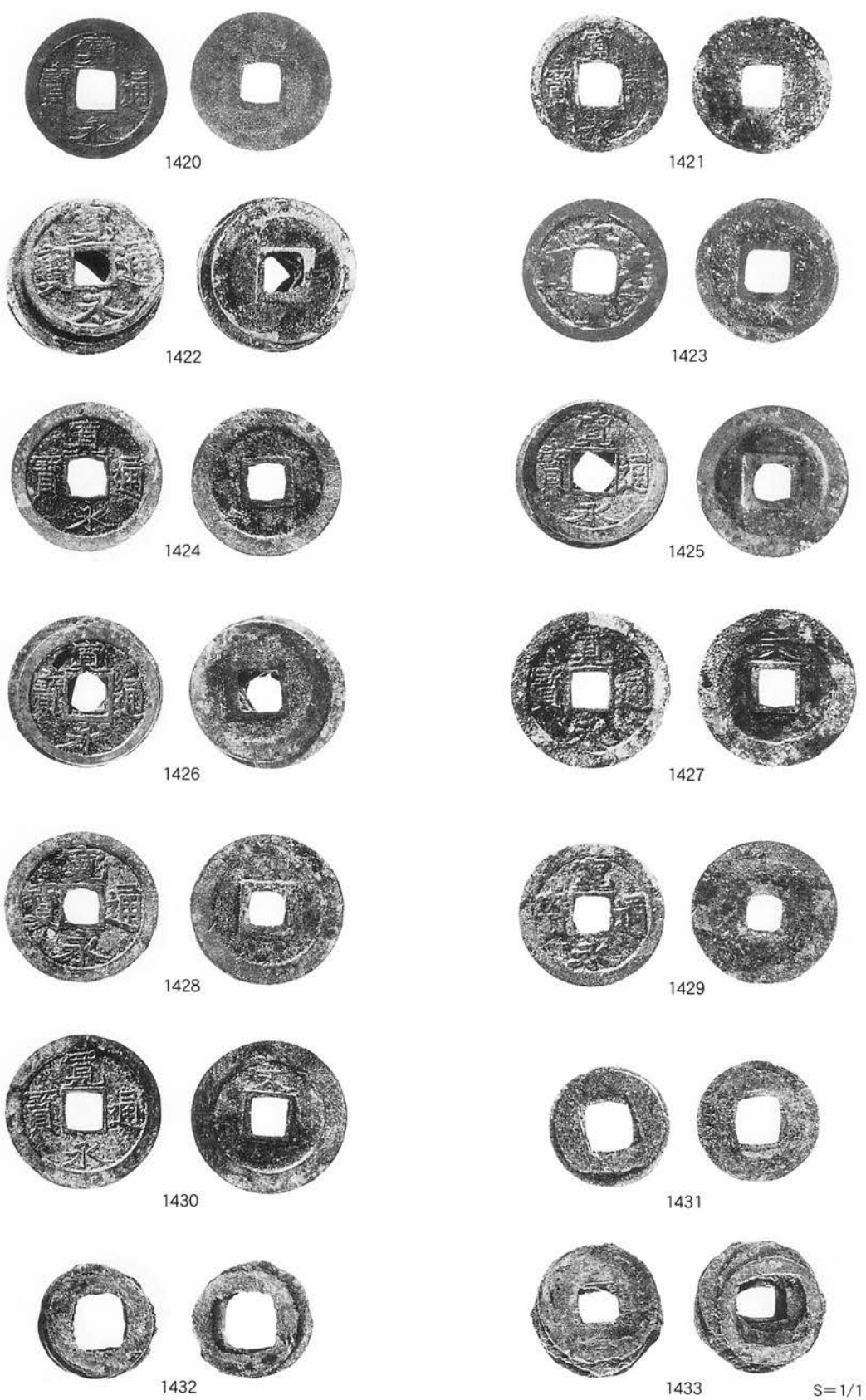


1418



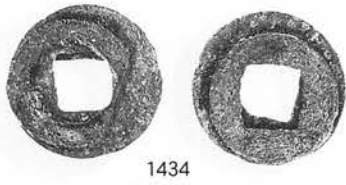
1419

S=2/3



写真図版141 金属製品(3)

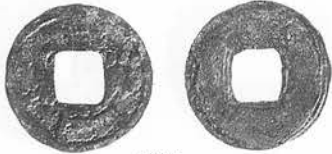




1434



1435



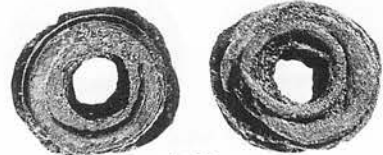
1436



1437



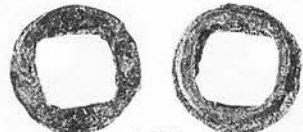
1438



1439



1440



1441



1442



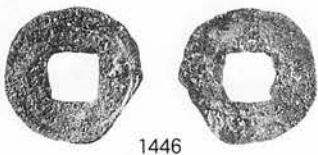
1443



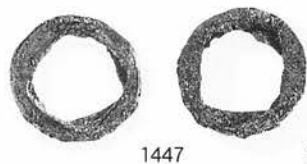
1444



1445



1446



1447

S=1/1



1448



1449



1450



1451



1452



1453



1454



1455



1456



1457



1458



1459



1460



1461



1462



1463



1464



1465



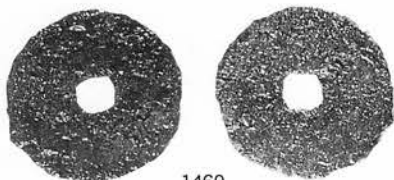
1466



1467



1468



1469



1470

S=1/1

報告書抄録

ふりがな	おおとりいちいせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	大鳥 I 遺跡発掘調査報告書							
副書名	世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第290集							
編著者名	阿部勝則 高橋與右衛門							
編集機関	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL019-638-9001							
発行年月日	西暦 1999年3月25日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
	市町村	遺跡番号						
おおとりいちいせき 大鳥 I 遺跡	いわてけんくのへぐん 岩手県九戸郡 かるまいちようおおあぎかる 軽米町大字軽 まいだいちわり 米第17地割 あぎおおとり 字大鳥163- 1ほか	03501		40° 7' 17"	141° 2' 35"	19950616~ 19951116	5,812㎡	世増ダム建設事業に伴う事前調査
所収遺構名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大鳥 I 遺跡	集落跡	縄文 古代 中世 近世	竪穴住居跡 土坑 陥し穴状遺構 焼土遺構 土器埋設遺構 遺物包含層 掘立柱建物跡 墓壇	2棟 50基 1基 2基 1基 1箇所 3棟 9基	縄文土器 石器 金属製品 内耳鉄鍋 鉄製鎌 鉄釘 銭貨	150箱 696点  1点 1点 18点 51点	縄文時代前期 円筒下層式土器 中世 内耳鉄鍋を伏せて、埋葬した墓壇	

## 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

	所 長 佐 藤 基		
	副 所 長 伊 藤 直 司		
〔管理課〕			
	管 理 課 長 澤 田 寛	嘱 託	藤 島 恵 子
	主 任 立 花 多加志	"	新 田 卜 三
	主 事 千 葉 勝 彦		
〔調査課〕			
	調 査 課 長 小 田 野 哲 憲	文 化 財	星 雅 之
	課 長 補 佐 高 橋 與 右 衛 門	專 門 調 査 員	"
	" 中 川 重 紀	"	高 木 晃
	主任文化財 佐々木 清 文	"	佐々木 琢
	専門調査員	"	半 澤 武 彦
	" 高 橋 義 介	"	朝 倉 雄 大
	" 酒 井 宗 孝	"	杉 沢 昭 太 郎
	文 化 財	"	溜 浩 二 郎
	専門調査員	"	古 舘 貞 身
	" 小 笠 原 健 一 郎	"	菊 池 貴 広
	" 中 村 比 呂 志	"	村 上 拓
	" 工 藤 徹	"	中 村 直 美
	" 小 山 内 透	期 限 付	鈴 木 浩 二
	" 金 子 佐 知 子	專 門 調 査 員	"
	" 岩 渕 計	"	鈴 木 聡
	" 菊 地 榮 壽	"	平 澤 里 香
	" 宮 本 節 子	"	山 口 俊 規
	" 下 田 隆 衛	"	熊 谷 佳 恵
	" 早 坂 悟	"	佐 々 木 志 麻
	" 鳥 居 達 人	"	佐 藤 綾 子
	" 濱 田 宏	"	玉 山 健 一
	" 金 子 昭 彦	"	中 野 敦 夫
	" 晴 山 雅 光	"	布 谷 義 彦
	" 木 戸 口 俊 子	"	松 川 由 次
	" 相 津 吉 彦	"	七 田 芳 直
	" 阿 部 勝 則	"	鈴 木 見 誌
	" 羽 柴 直 人	"	平 め ぐ み
〔資料課〕			
	資 料 課 長 佐 々 木 嘉 直	文 化 財	松 尾 芳 幸
		專 門 調 査 員	



---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第290集

## 大鳥 I 遺跡発掘調査報告書

世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査

印刷 平成11年3月18日

発行 平成11年3月25日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 盛岡市下飯岡11-185

電話 (019)638-9001・9002

FAX (019)638-8563

印刷 株式会社 杜陵印刷

〒020-0122 盛岡市みたけ2-22-50

電話 (019)641-8000

FAX (019)641-8085